平成28年度

全国学力・学習状況調査

調査結果報告書

国語

算数
数学

質問紙
調査

平 成 ２ ８ 年 １ ２ 月
福 岡 県 教 育 委 員 会

※　調査結果についての基本的な考え方

　全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であることや学校における教育活動の一側面であることを踏まえて、本調査報告書を作成しています。

※　Ｗｅｂページへの掲載

　本調査結果報告書は、平成２８年１２月２６日（月）１７：００以降、次のＷｅｂページで閲覧することができます。

①　福岡県庁ホームページ

　　ＵＲＬ：http://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/5/41/

（トップページ→子育て・教育→教育→義務教育→一般情報）

②　福岡県教育庁教育振興部義務教育課各種資料のページ

　　ＵＲＬ：http://gimu.fku.ed.jp/Default1.aspx

平成28年度全国学力・学習状況調査
調査結果報告書

目　　次

Ⅰ　調査の概要　・・　1

1　調査の目的
2　調査対象の学年
3　調査の方式
4　調査の内容
5　調査日
6　４月１９日に調査を実施した県内公立学校・児童生徒数
7　調査問題の内容

Ⅱ　調査結果の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

1　調査結果の概況
2　教科に関する調査の結果（全体の状況）
3　本県と全国の平均正答率の差の推移
4　地区別の状況
5　県全体の平均正答率度数分布（市町村単位）
6　標準化得点による本県の調査結果の概要
7　市町村別の状況
(1) 平均正答率
(2) 成果が見られる市町村の取組
(3) 特に中学校において成果が見られる市町村の取組
(4) 成果が見られる学校の取組
8　児童生徒の無解答の状況（地区別）

Ⅲ　各教科の調査結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５６

1　小学校国語
2　小学校算数
3　中学校国語
4　中学校数学
5　過去の調査問題（同一問題）との正答率比較

Ⅳ　児童生徒質問紙に関する調査結果と分析　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７６

1　学力基盤づくり
(1) 将来に関する意識
(2) 自尊意識
(3) 学校生活
(4) 規範意識
(5) 学習に対する関心・意欲・態度
(6) 基本的な生活習慣

2　授業づくり
(1) 各教科の内容
(2) 発表の機会
(3) 課題を立てて、解決するなどの学習活動
(4) 話し合う活動
(5) 学習内容を振り返る活動

3　家庭・関係機関との連携
(1) 家庭学習
(2) 読書時間
(3) テレビやビデオ・ＤＶＤの視聴時間
(4) 携帯電話やスマートフォンの使用時間
(5) 家庭でのコミュニケーション
(6) 地域や社会に対する興味・関心

Ⅴ　学校質問紙に関する調査結果と分析　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２６
1　学力基盤づくり
学習規律

2　授業づくり
(1) 指導方法
(2) 補充的な学習
(3) 教職員の取組

3　教員の意識・指導力の向上
(1) カリキュラム・マネジメント
(2) 調査結果の活用
(3) 教員研修
(4) 教職員の取組

4　家庭・関係機関との連携
(1) 調査結果の活用
(2) 家庭学習
(3) 地域の人材の活用

5　その他
就学援助

Ⅵ　児童生徒質問紙と学校質問紙の調査結果の対比・・・・・・・・・・・・・・・１６８
1　小学校
■　授業のめあての提示
■　授業の振り返り
■　発表の機会の確保
■　話合い活動を通しての児童の考えの深まり

2　中学校
■　授業のめあての提示
■　授業の振り返り
■　発表の機会の確保
■　話合い活動を通しての生徒の考えの深まり

Ⅶ　まとめと今後の取組　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７６
1　分析結果の総括
2　改善に向けた今後の取組

平成２８年度全国学力・学習状況調査
調査結果報告書
国語　算数・数学　質問紙調査
福岡県教育委員会

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査対象の学年

小学校第６学年、特別支援学校小学部第６学年
中学校第３学年、中等教育学校第３学年、特別支援学校中学部第３学年

３　調査の方式

文部科学省による悉皆方式の調査として実施する。

４　調査の内容

(1) 教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 ［国語Ａ、算数・数学Ａ］	主として「活用」に関する問題 ［国語Ｂ、算数・数学Ｂ］
・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容 ・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容 など

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

(3) 調査時間

小学校

１時限目（４５分）	２時限目（４５分）	３時限目（４５分）	
国語Ａ（２０分） 算数Ａ（２０分）	国語Ｂ（４０分）	算数Ｂ（４０分）	児童質問紙（２０分程度）

※　児童質問紙は、３時限目終了後以降に、各学校の状況に応じて実施。

中学校

１時限目（５０分）	２時限目（５０分）	３時限目（５０分）	４時限目（５０分）	
国語Ａ（４５分）	国語Ｂ（４５分）	数学Ａ（４５分）	数学Ｂ（４５分）	生徒質問紙（２０分程度）

※　生徒質問紙は、４時限目終了後以降に、各学校の状況に応じて実施。

５　調査日

平成２８年４月１９日（火）

６　４月１９日に調査を実施した県内公立学校・児童生徒数

小学校	児童数				学校数
	国語A	国語B	算数A	算数B	
福岡県（公立）	42,969	42,956	42,971	42,962	740
全国（公立）	1,021,905	1,021,635	1,021,910	1,021,637	19,335

中学校	生徒数				学校数
	国語A	国語B	数学A	数学B	
福岡県（公立）	42,046	42,068	42,074	42,072	346
全国（公立）	996,188	996,365	996,502	996,578	9,464

※　福岡県（公立）には、両政令市を含む。

７　調査問題の内容

■　各教科のＡ区分とＢ区分の問題数

	小学校国語	小学校算数	中学校国語	中学校数学
A　主として「知識」	15	16	33	36
B　主として「活用」	10	13	9	15

■　評価の観点別の問題数（※複数の観点を含む問題があるため、問題数とは必ずしも一致しない。）

国語の評価の観点	小学校		中学校	
	国語A	国語B	国語A	国語B
国語への関心・意欲・態度	0	4	0	3
話す・聞く能力	1	3	6	0
書く能力	2	6	4	3
読む能力	2	3	6	9
言語についての知識・理解・技能	10	0	17	0

算数・数学の評価の観点	小学校		中学校	
	算数A	算数B	数学A	数学B
算数（数学）への関心・意欲・態度	0	0	0	0
数学的な（見方や）考え方	0	9	0	11
数量や図形についての（数学的な）技能	5	2	19	4
数量や図形（など）についての知識・理解	11	2	17	0

■　問題形式別の問題数

問題形式	小学校				中学校			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
選択式	6	6	5	5	23	5	13	2
短答式	9	0	11	3	10	1	23	6
記述式	0	4	0	5	0	3	0	7

Ⅱ　調査結果の概要

１　調査結果の概況

小学校		平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
国語A	福岡県（公立）	10.8	71.7	11.0	3.1
	全国（公立）	10.9	72.9	12.0	3.1
国語B	福岡県（公立）	5.8	57.8	6.0	2.4
	全国（公立）	5.8	57.8	6.0	2.4
算数A	福岡県（公立）	12.4	77.8	13.0	3.3
	全国（公立）	12.4	77.6	13.0	3.4
算数B	福岡県（公立）	6.1	47.3	6.0	2.7
	全国（公立）	6.1	47.2	6.0	2.8

中学校		平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
国語A	福岡県（公立）	24.7	74.8	26.0	5.4
	全国（公立）	25.0	75.6	26.0	5.4
国語B	福岡県（公立）	5.9	65.8	6.0	2.3
	全国（公立）	6.0	66.5	6.0	2.3
数学A	福岡県（公立）	21.7	60.3	23.0	8.4
	全国（公立）	22.4	62.2	23.0	8.3
数学B	福岡県（公立）	6.4	42.4	6.0	3.5
	全国（公立）	6.6	44.1	6.0	3.5

平均正答数　:児童生徒の正答数の平均のこと。
平均正答率　:平均正答数を設問数で割った値を百分率で表示した値のこと。
中　央　値　:集団のデータを大きさの順に並べたときに真ん中に位置する値のこと。
標 準 偏 差　:集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値のこと。標準偏差が０とは、ばらつきがない（データの値が全て同じ）ことを意味する。

２　教科に関する調査の結果（全体の状況）

(1) 全国の状況

○　国語、算数・数学については、引き続き、下位県の平均正答率が全国平均に近づく状況が見られ、学力の底上げが図られている。
○　中学校数学の「空間における直線と直線の位置関係の理解」、「多角形の外角の和の性質の理解」の問題において、改善の傾向が見られた。
○　Ｂ問題における適切な根拠に基づいて説明することなどに課題が見られた。

(2) 福岡県の状況

○　小学校は、国語Ｂが全国の平均正答率と等しく、算数Ａ、算数Ｂは上回った。
○　中学校は、全ての教科区分において、全国の平均正答率を下回った。
○　小学校は、昨年度と比較して、国語Ａは下降し、国語Ｂ、算数Ａ、算数Ｂは上昇した。
○　中学校は、昨年度と比較して、全ての教科区分において、上昇した。

３　本県と全国の平均正答率の差の推移

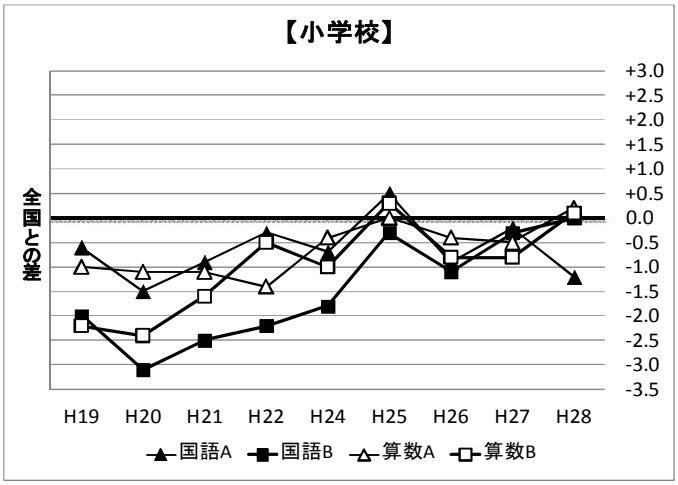
調査が開始された平成１９年度からの本県と全国の平均正答率の差の推移について分析する。なお、平成２３年度については、震災の影響により国が調査を実施せず、本県独自に国の調査問題を活用した悉皆調査を行った。そのため、適切に比較できる全国のデータがないことから、本報告書においては、平成２３年度の結果を省略することとした。また、平成２２年度及び平成２４年度は、全国調査が抽出方式で行われたため、全国の「平均正答率の９５％信頼区間の中間値」を全国の平均正答率とみなしている。

＜小学校＞

○　昨年度との比較では、国語Ａは下降し、国語Ｂ、算数Ａ、算数Ｂは上昇した。
○　平成１９年度との比較では、国語Ａを除く全ての教科区分において、上昇した。

■　本県と全国の平均正答率の差

	国語A	国語B	算数A	算数B
平成19年度	−0.6	−2.0	−1.0	−2.2
平成20年度	−1.5	−3.1	−1.1	−2.4
平成21年度	−0.9	−2.5	−1.1	−1.6
平成22年度	−0.3	−2.2	−1.4	−0.5
平成24年度	−0.7	−1.8	−0.4	−1.0
平成25年度	0.5	−0.3	0.0	0.3
平成26年度	−0.9	−1.1	−0.4	−0.8
平成27年度	−0.2	−0.3	−0.5	−0.8
平成28年度	−1.2	0.0	0.2	0.1

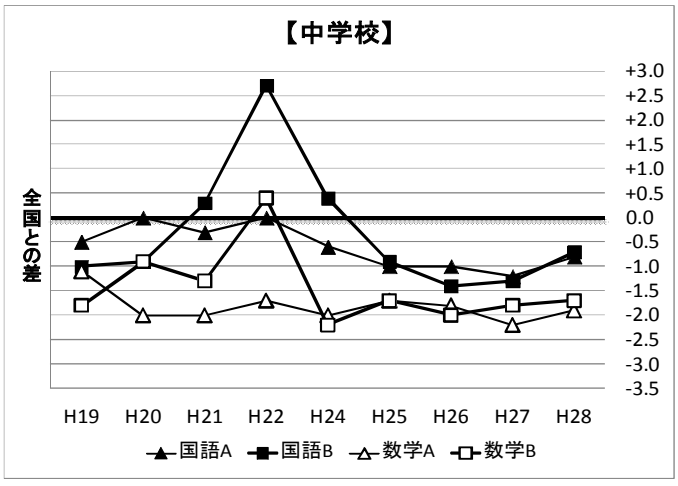


＜中学校＞

○　昨年度に引き続き、全ての教科区分において、全国の平均正答率を下回った。
○　昨年度との比較では、全ての教科区分において、上昇した。
○　平成１９年度との比較では、国語Ｂ、数学Ｂにおいて、上昇した。

■　本県と全国の平均正答率の差

	国語A	国語B	数学A	数学B
平成19年度	−0.5	−1.0	−1.1	−1.8
平成20年度	0.0	−0.9	−2.0	−0.9
平成21年度	−0.3	0.3	−2.0	−1.3
平成22年度	0.0	2.7	−1.7	0.4
平成24年度	−0.6	0.4	−2.0	−2.2
平成25年度	−1.0	−0.9	−1.7	−1.7
平成26年度	−1.0	−1.4	−1.8	−2.0
平成27年度	−1.2	−1.3	−2.2	−1.8
平成28年度	−0.8	−0.7	−1.9	−1.7



４　地区別の状況

県内を６つの教育事務所と政令市（北九州市・福岡市）の７つの地区に分けて分析した。

○　７つの地区間の平均正答率の最大・最小の差は、小学校では国語Ｂで最大 6.2 ポイント、中学校では国語Ｂで最大 10.1 ポイントある。
○　最大・最小の差は、数学を除いて、A問題（主として「知識」に関する問題）よりも、Ｂ問題（主として「活用」に関する問題）の方が大きい。
○　最大・最小の差は、全ての教科区分において、小学校に比べ中学校の方が大きい。
○　平成１９年度との比較では、７つの地区間の最大・最小の差は、全ての教科区分で縮小した。
○　県全体の平均正答率のばらつきを地区単位で見ると、平成２７年度と比較して、小学校は国語Ｂ、算数Ａ、中学校は国語Ａを除いてばらつきが拡大した。

■　地区別の平均正答率の最大・最小の差

	小学校				中学校			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
福岡地区	73.7	59.9	79.8	49.0	76.7	68.6	63.2	45.2
北九州地区	70.3	55.0	77.8	45.0	73.3	62.6	56.4	39.0
北筑後地区	69.9	58.3	77.2	47.3	73.6	64.8	59.0	40.8
南筑後地区	72.4	58.6	78.8	47.9	73.8	63.1	58.0	40.2
筑豊地区	68.8	53.7	75.9	43.8	70.2	58.5	53.3	35.6
京築地区	71.1	56.3	77.8	46.1	72.7	61.8	54.9	37.0
政令市	71.6	57.5	77.0	47.1	75.1	66.5	61.0	43.2
最大･最小の差（H28）	○4.9	○6.2	○3.9	○5.2	○6.5	○10.1	○9.9	○9.6
H27	4.1	7.6	3.9	4.2	6.4	7.4	8.9	9.8
H26	8.4	7.8	6.3	9.4	7.5	10.1	12.9	14.2
H25	6.1	9.2	4.9	8.8	7.0	10.6	9.5	10.1
H24	4.6	8.0	4.2	7.8	7.8	10.1	10.1	12.4
H22	4.6	8.1	5.9	7.8	8.8	11.6	14.1	14.4
H21	4.5	8.4	5.4	8.6	7.5	10.6	11.2	11.5
H20	6.5	7.2	6.0	7.4	7.5	10.9	12.8	11.4
H19	5.3	10.8	7.0	9.0	7.1	13.6	12.8	12.7

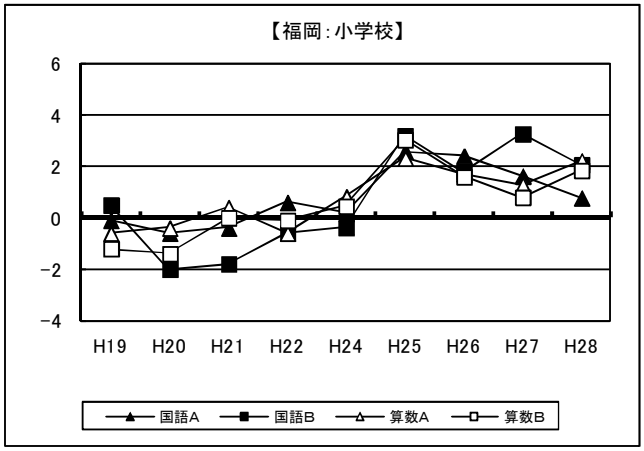
※　○印：H19 より差が縮小したことを示す。

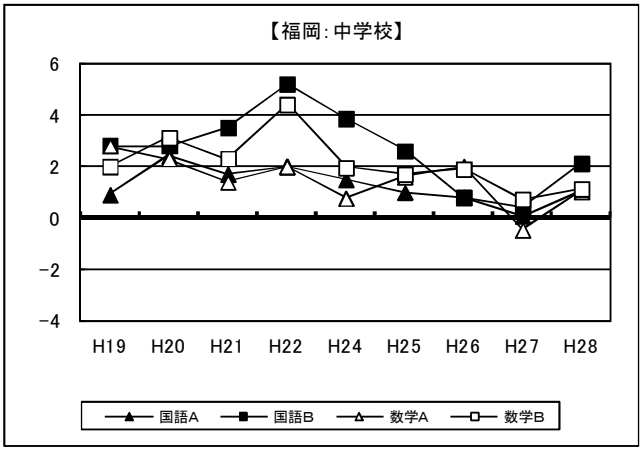
■　平均正答率のばらつき（標準偏差）

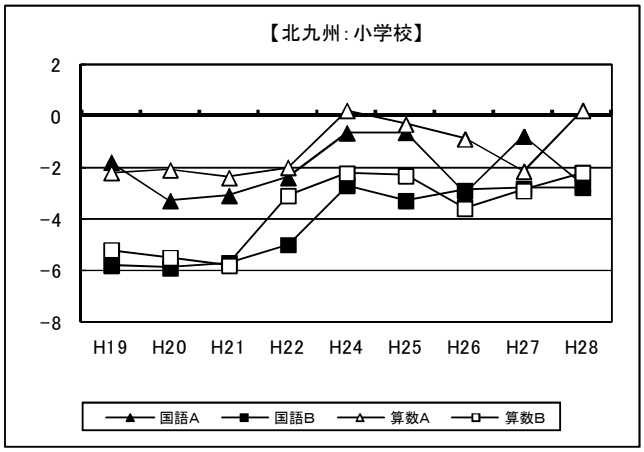
	小学校				中学校			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
平成28年度	1.6	2.2	1.3	1.8	2.0	3.3	3.5	3.4
平成27年度	1.4	2.7	1.3	1.4	2.3	2.5	3.0	3.3
平成26年度	3.0	2.5	2.1	3.1	2.3	3.3	4.0	4.6
平成25年度	2.0	2.8	1.6	2.8	2.2	3.3	2.9	3.1
平成24年度	2.9	2.6	3.5	3.1	5.6	2.0	7.9	3.8
平成22年度	1.6	1.7	1.7	2.4	2.6	3.7	4.1	4.4
平成21年度	1.5	2.6	1.7	2.9	2.3	3.3	3.5	3.9
平成20年度	2.0	2.5	1.7	2.5	2.2	3.3	3.8	3.5
平成19年度	1.6	3.5	2.0	2.8	2.1	3.9	3.8	4.0

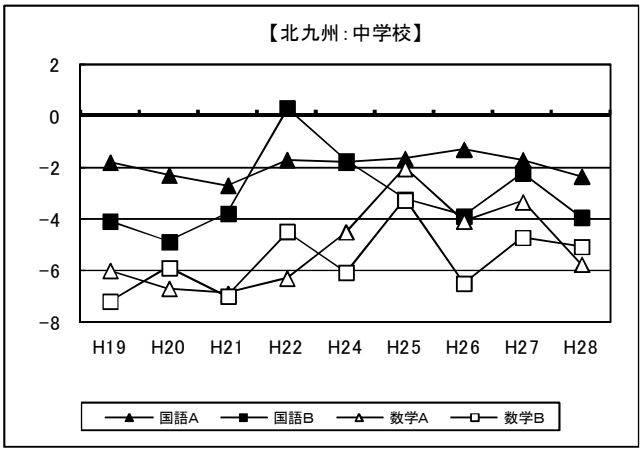
※　教科区分ごとの県全体（地区単位）の平均正答率のばらつきを「標準偏差」で示している。標準偏差は、ばらつきが小さくなるほど値が小さくなり、ばらつきがまったくない場合は、値が「０」となる。

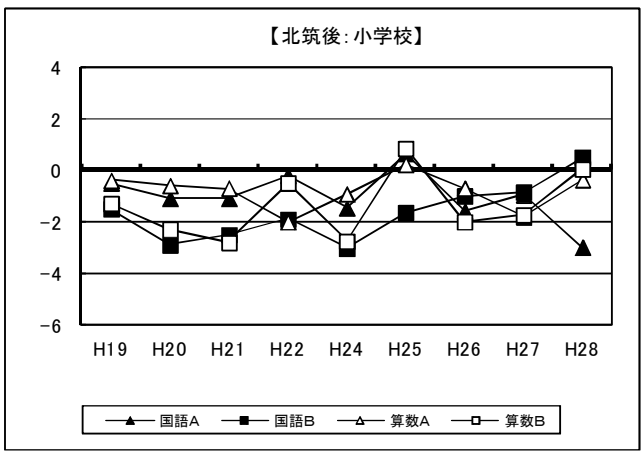
■　平均正答率の全国平均との差の推移

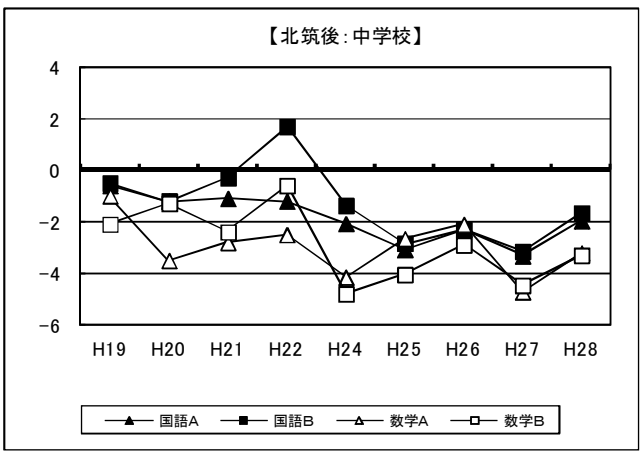


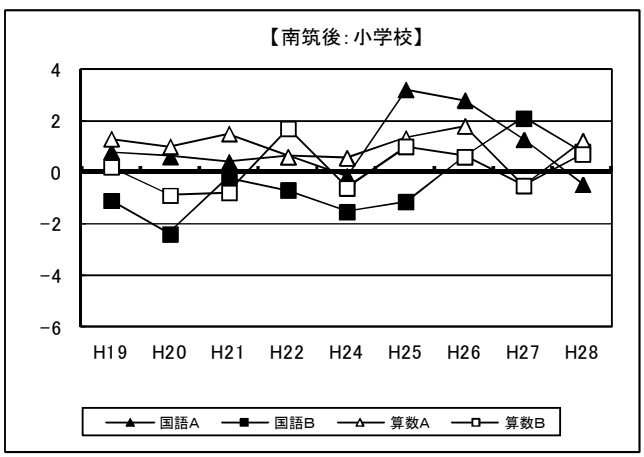


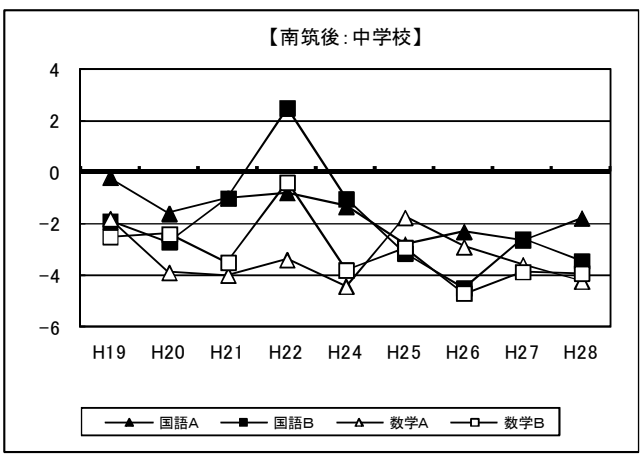


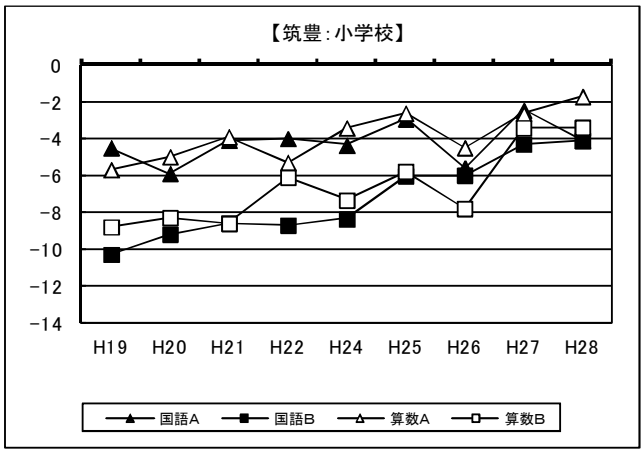


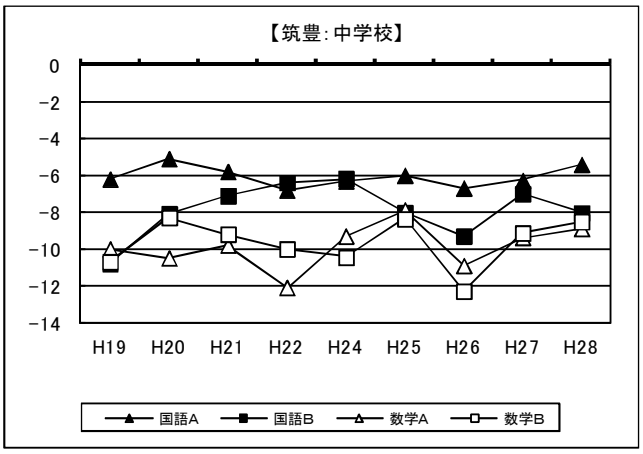


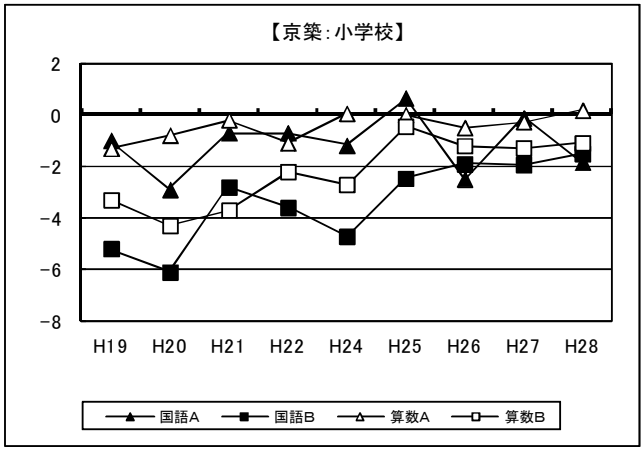


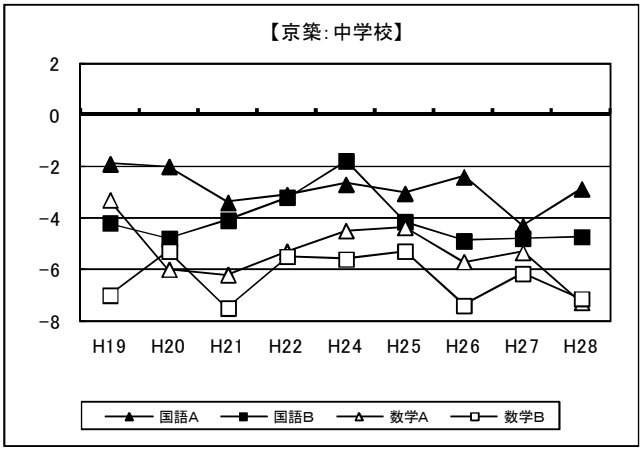


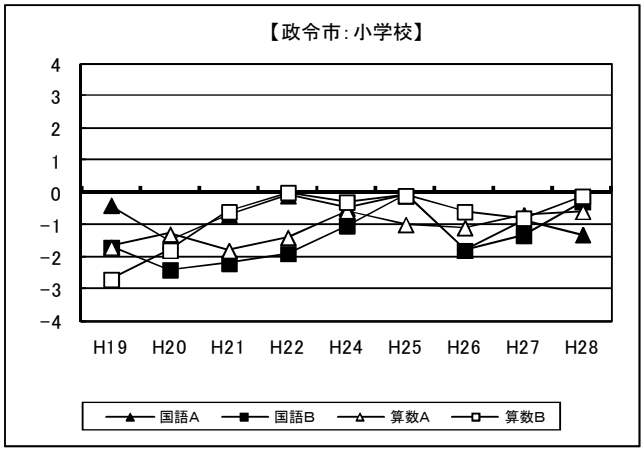


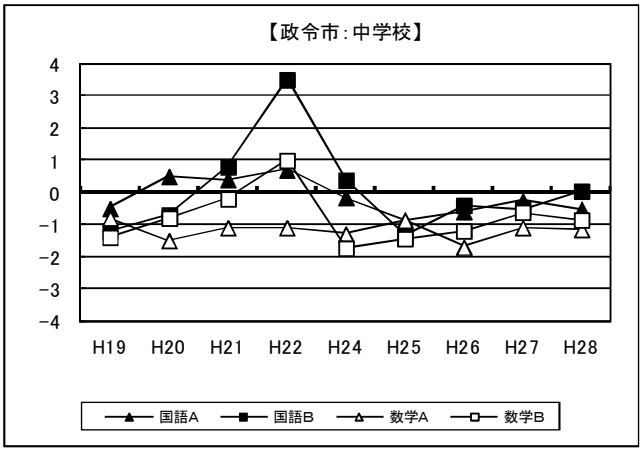

【筑豊:小学校】
0
-2
-4
-6
-8
-10
-12
-14
H19 H20 H21 H22 H24 H25 H26 H27 H28
国語A 国語B 算数A 算数B


【筑豊:中学校】
0
-2
-4
-6
-8
-10
-12
-14
H19 H20 H21 H22 H24 H25 H26 H27 H28
国語A 国語B 数学A 数学B


【京築:小学校】
2
0
-2
-4
-6
-8
H19 H20 H21 H22 H24 H25 H26 H27 H28
国語A 国語B 算数A 算数B


【京築:中学校】
2
0
-2
-4
-6
-8
H19 H20 H21 H22 H24 H25 H26 H27 H28
国語A 国語B 数学A 数学B

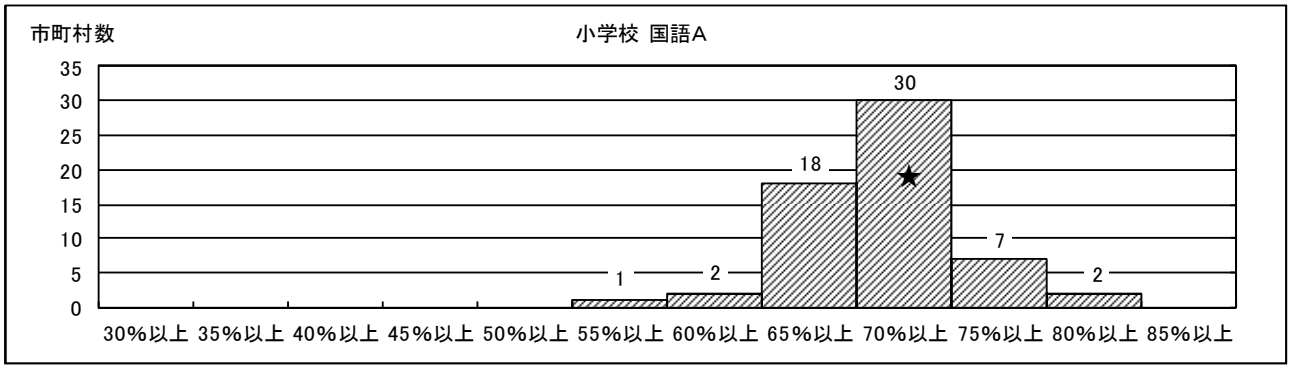

【政令市:小学校】
4
3
2
1
0
-1
-2
-3
-4
H19 H20 H21 H22 H24 H25 H26 H27 H28
国語A 国語B 算数A 算数B

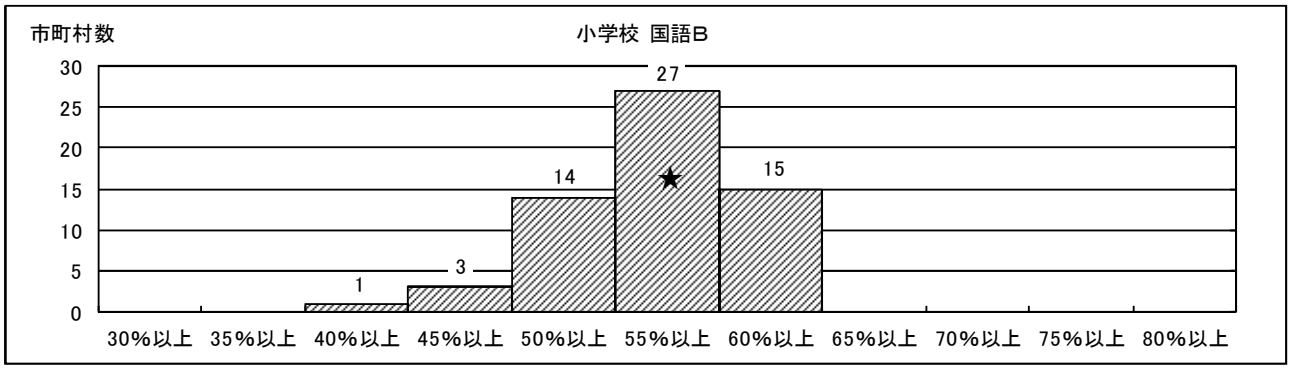

【政令市:中学校】
4
3
2
1
0
-1
-2
-3
-4
H19 H20 H21 H22 H24 H25 H26 H27 H28
国語A 国語B 数学A 数学B

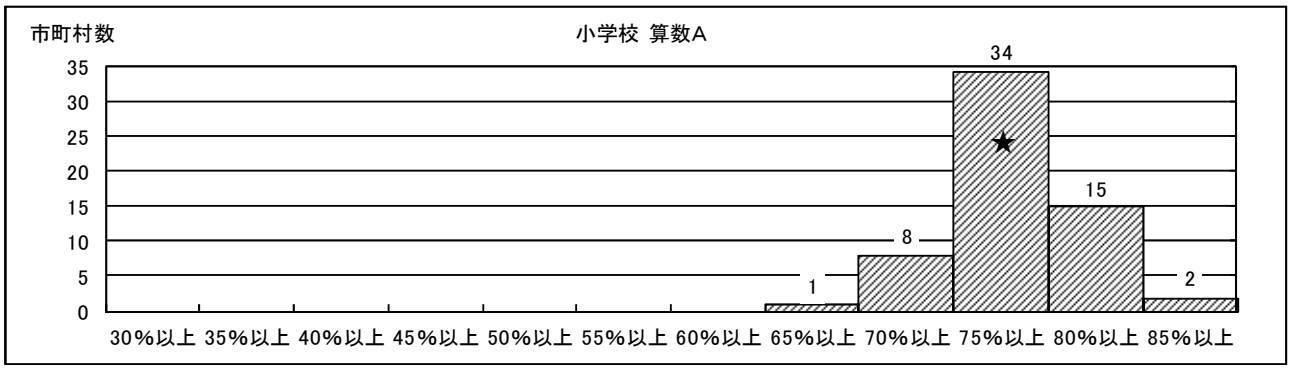
５　県全体の平均正答率度数分布（市町村単位）

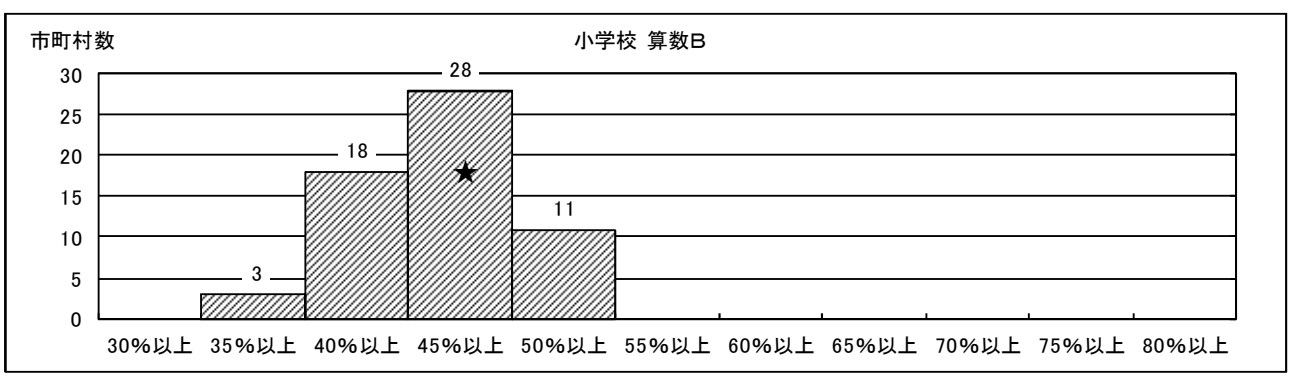
■　小学校

○　全ての教科区分で、全国の平均正答率のある階級（★印）に、最も多くの市町村が集まっている。
○　全国の平均正答率のある階級（★印）を含め、それ以上の階級に位置する市町村の数は、国語Ａでは３９、国語Ｂで４２、算数Ａで５１、算数Ｂで３９であり、小学校がある全市町村数（６０）の半数以上となっている。また、算数Ｂでは４９市町村が５０％未満に分布している。



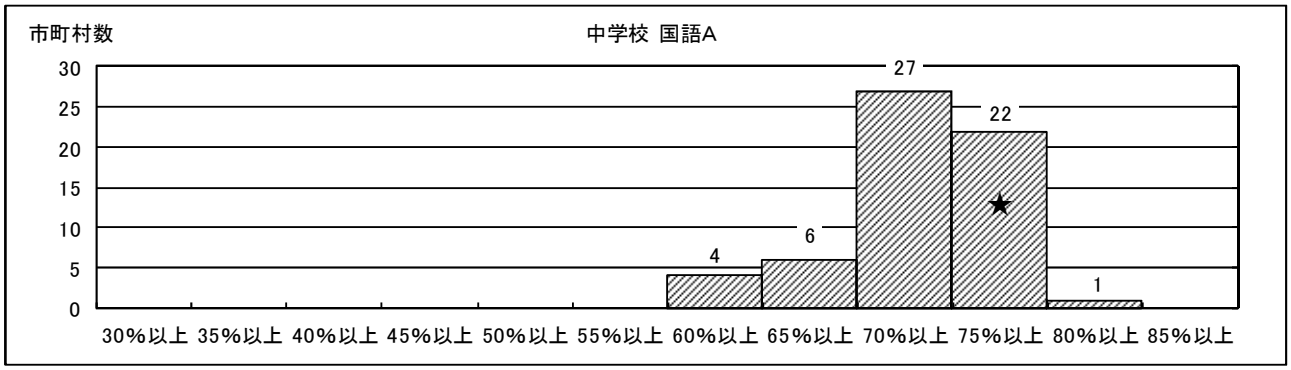


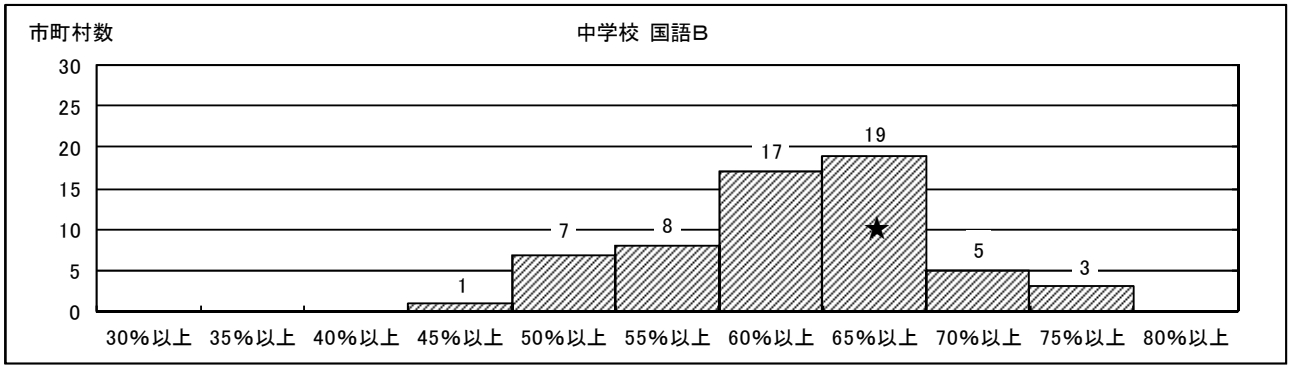


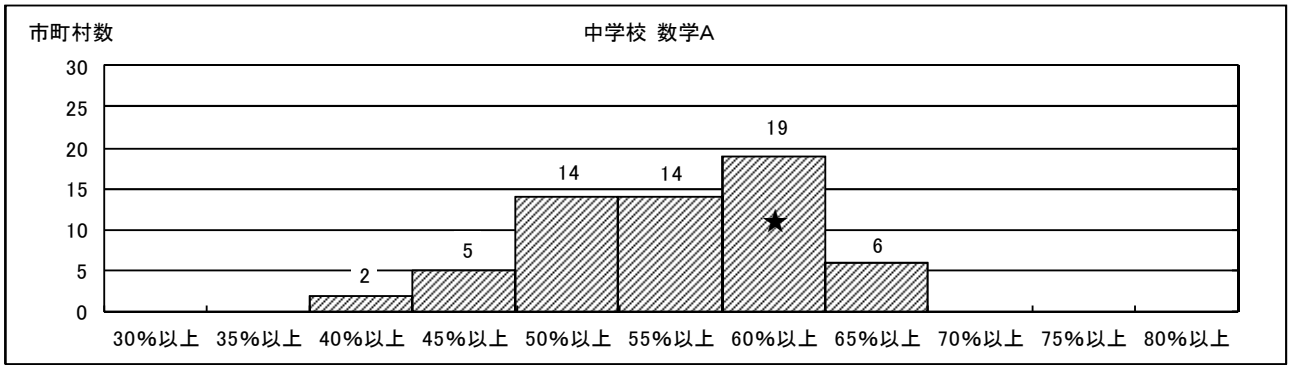


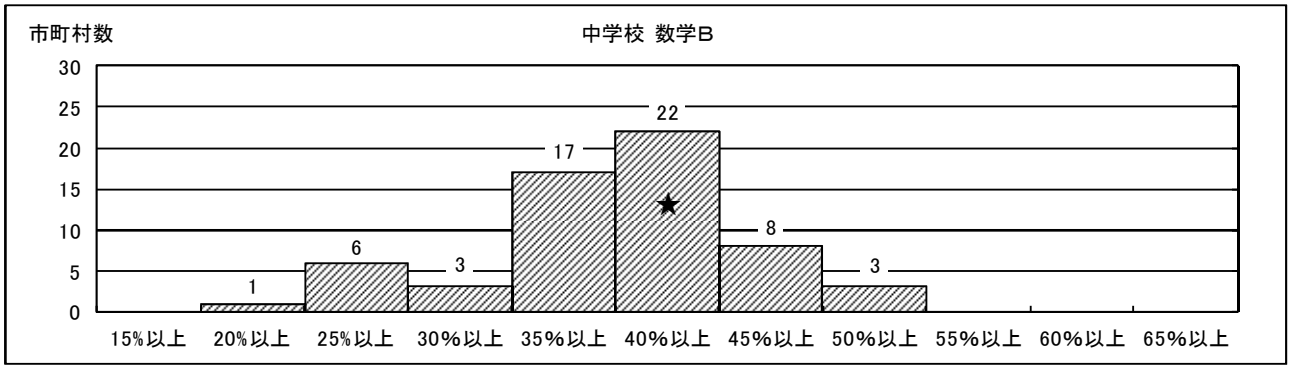
■　中学校

○　国語Ａ以外の全ての教科区分で、全国の平均正答率のある階級（★印）に、最も多くの市町村が集まっている。
○　全国の平均正答率のある階級（★印）を含め、それ以上の階級に位置する市町村の数は、国語Ａでは２３、国語Ｂで２７、数学Ａで２５、数学Ｂで３３であり、数学Ｂは中学校がある全市町村数（６０）の半数以上となっている。また、数学Ｂでは５７市町村が正答率５０％未満に分布している。









６　標準化得点による本県の調査結果の概要

標準化得点は、平均正答率よりも、年度や教科区分による全国調査の問題の難易度や設問数等の異なりの影響を受けにくく、年度間の相対的な比較により適しているため、ここに、各年度の全国の平均正答数をそれぞれ１００とした標準化得点による平成１９年度からの推移について示す。

標準化得点 ：各年度の全国の平均正答数をそれぞれ１００となるよう標準化した得点のこと。

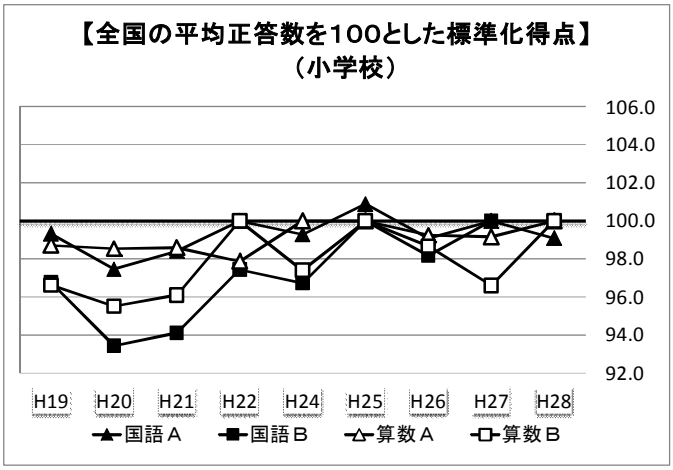
(1) 本県の標準化得点の推移

＜小学校＞

○　昨年度との比較では、国語Ｂは昨年度に引き続き全国と等しく、算数Ａ、算数Ｂは上昇し、国語Ａは下降した。
○　平成１９年度との比較では、国語Ａを除く全ての教科区分において、上昇した。

■　本県の標準化得点

	国語A	国語B	算数A	算数B
平成19年度	99.3	96.8	98.7	96.6
平成20年度	97.5	93.4	98.5	95.5
平成21年度	98.4	94.1	98.6	96.1
平成22年度	100.0	97.4	97.9	100.0
平成24年度	99.3	96.7	100.0	97.4
平成25年度	100.9	100.0	100.0	100.0
平成26年度	99.1	98.2	99.2	98.7
平成27年度	100.0	100.0	99.2	96.6
平成28年度	99.1	100.0	100.0	100.0

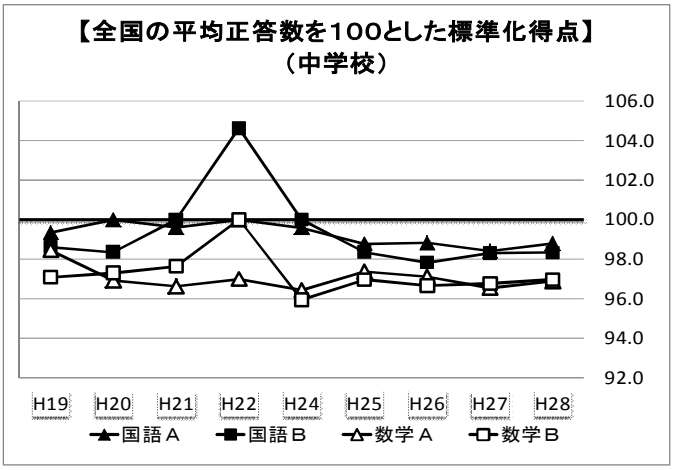


＜中学校＞

○　昨年度に引き続き、全ての教科区分で全国を下回った。
○　昨年度との比較では、国語Ｂを除く全ての教科区分において、上昇した。
○　平成１９年度との比較では、全ての教科区分において、下降した。

■　本県の標準化得点

	国語A	国語B	数学A	数学B
平成19年度	99.3	98.6	98.5	97.1
平成20年度	100.0	98.4	96.9	97.3
平成21年度	99.6	100.0	96.6	97.6
平成22年度	100.0	104.6	97.0	100.0
平成24年度	99.6	100.0	96.4	95.9
平成25年度	98.8	98.4	97.4	97.0
平成26年度	98.8	97.8	97.1	96.7
平成27年度	98.4	98.3	96.6	96.8
平成28年度	98.8	98.3	96.9	97.0



(2) 地区別の標準化得点の推移

○　７つの地区間の標準化得点の最大・最小の差は、小学校では算数Ｂで最大 11.5 ポイント、中学校では数学Ｂで最大 22.7 ポイントある。
○　最大・最小の差は、Ａ問題（主として「知識」に関する問題）よりも、Ｂ問題（主として「活用」に関する問題）の方が大きい。
○　最大・最小の差は、全ての教科区分において、小学校に比べ中学校の方が大きい。また、中学校では国語より数学の方が大きい。
○　平成１９年度との比較では、７つの地区間の最大・最小の差は、小学校では国語Ａを除く全ての教科区分で、中学校では数学Ｂを除く全ての教科区分で縮小した。

■　地区別の標準化得点

	小学校				中学校			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
福岡地区	101.8	103.4	103.2	104.9	101.2	103.3	101.8	103.0
北九州地区	96.3	94.8	100.0	96.7	96.8	93.3	90.6	89.4
北筑後地区	96.3	100.0	100.0	100.0	97.2	96.7	94.6	92.4
南筑後地区	100.0	101.7	101.6	101.6	97.6	95.0	93.3	90.9
筑豊地区	94.5	93.1	97.6	93.4	92.8	88.3	85.7	80.3
京築地区	98.2	96.6	100.0	98.4	96.0	93.3	88.4	84.8
政令市	98.2	100.0	99.2	100.0	99.2	100.0	98.2	98.5
最大･最小の差(H28)	**7.3**	**○10.3**	**○5.6**	**○11.5**	**○8.4**	**○15.0**	**○16.1**	**22.7**
H27	5.1	11.9	5.0	10.2	8.4	11.9	13.8	22.6
H26	11.9	12.7	8.3	15.8	9.5	19.6	19.4	24.4
H25	9.7	20.4	6.1	15.8	9.4	16.4	14.8	24.2
H24	5.8	14.8	5.7	13.0	10.4	15.8	16.1	25.7
H22	5.6	10.2	7.8	15.3	11.8	18.4	21.9	32.8
H21	7.1	15.6	6.3	15.6	9.9	14.7	17.9	20.0
H20	10.1	13.1	8.1	14.9	10.0	18.0	20.2	23.0
H19	6.8	17.7	8.4	13.5	8.6	19.5	17.8	20.4

※　○印：H19 より差が縮小したことを示す。

■　地区別の平均正答数

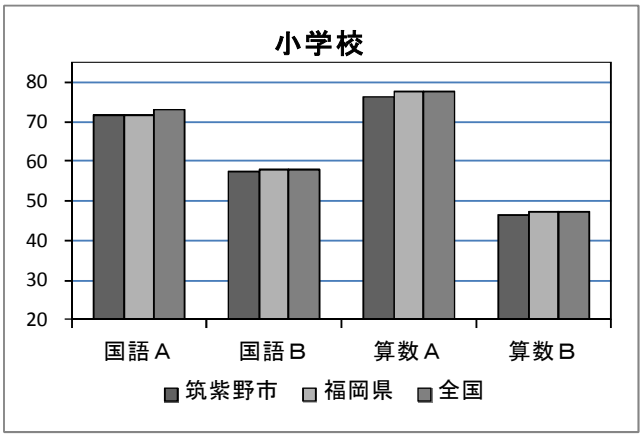
	小学校				中学校			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
福岡地区	11.1	6.0	12.8	6.4	25.3	6.2	22.8	6.8
北九州地区	10.5	5.5	12.4	5.9	24.2	5.6	20.3	5.9
北筑後地区	10.5	5.8	12.4	6.1	24.3	5.8	21.2	6.1
南筑後地区	10.9	5.9	12.6	6.2	24.4	5.7	20.9	6.0
筑豊地区	10.3	5.4	12.1	5.7	23.2	5.3	19.2	5.3
京築地区	10.7	5.6	12.4	6.0	24.0	5.6	19.8	5.6
政令市	10.7	5.8	12.3	6.1	24.8	6.0	22.0	6.5
福岡県(公立)	10.8	5.8	12.4	6.1	24.7	5.9	21.7	6.4

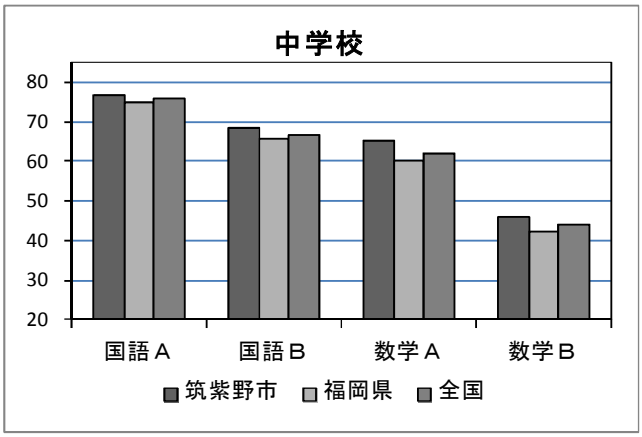
※平成２８年度は、全ての市町村教育委員会（小学校、中学校共に１校である市町村を除く）が公表に同意した。
なお、市町村内の学校数が１小学校又は１中学校である場合は、当該学校を公表の対象外としている（以下「公表対象外」と表記する。）。

7　市町村別の状況

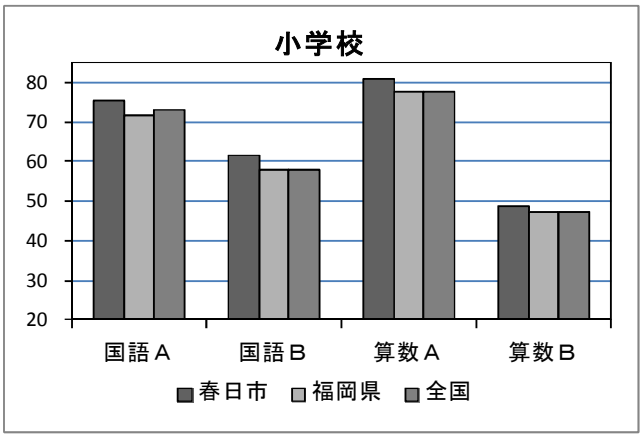
(1) 平均正答率

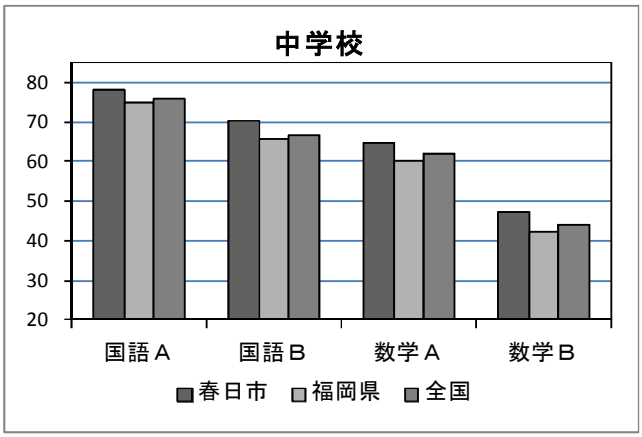
【筑紫野市】



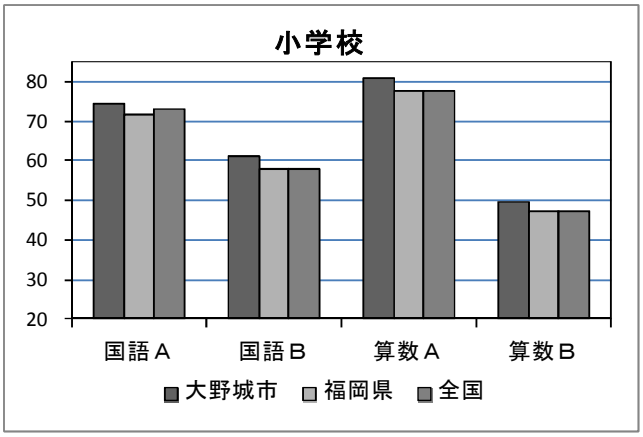


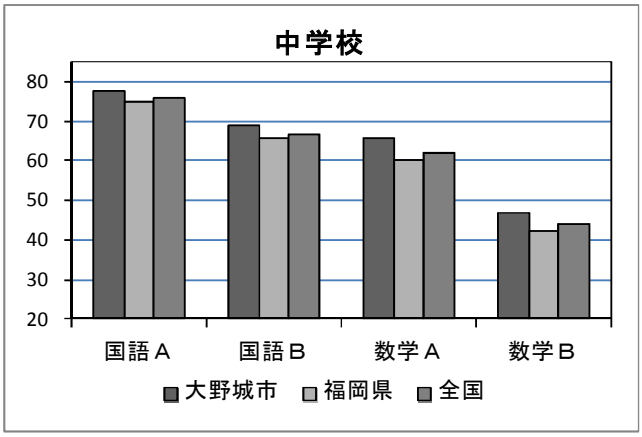
【春日市】



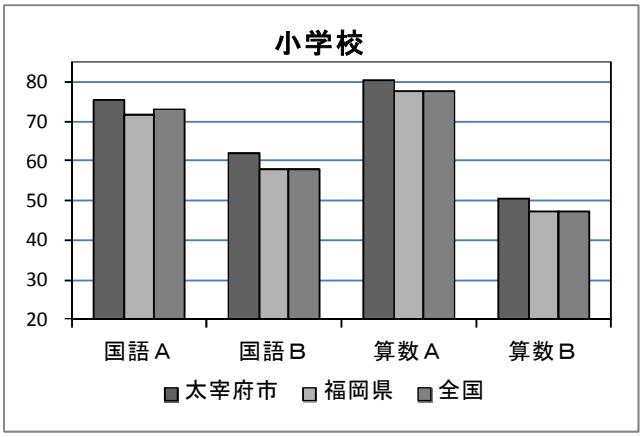


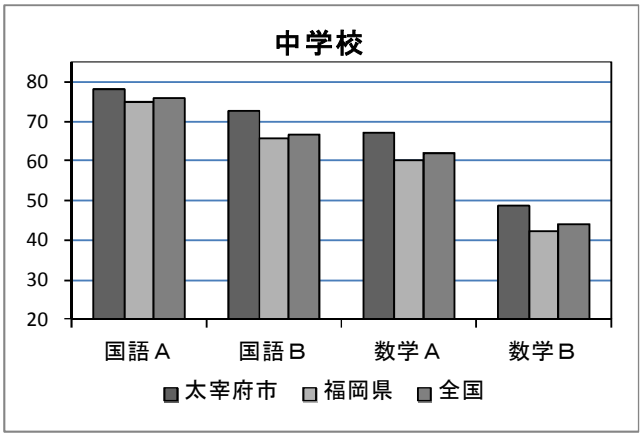
【大野城市】



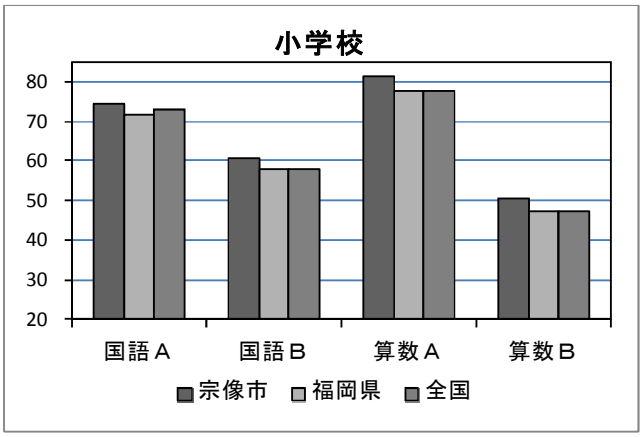


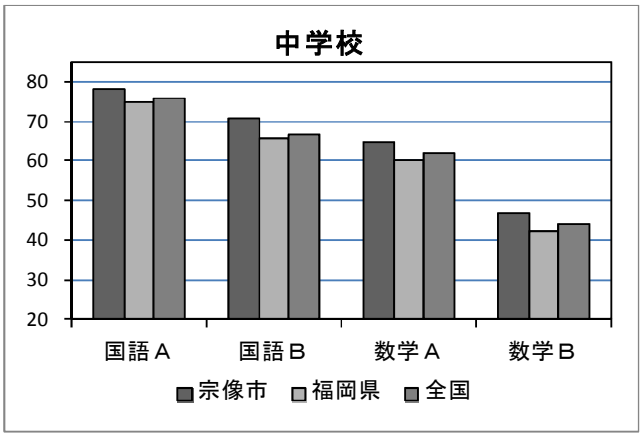
【太宰府市】



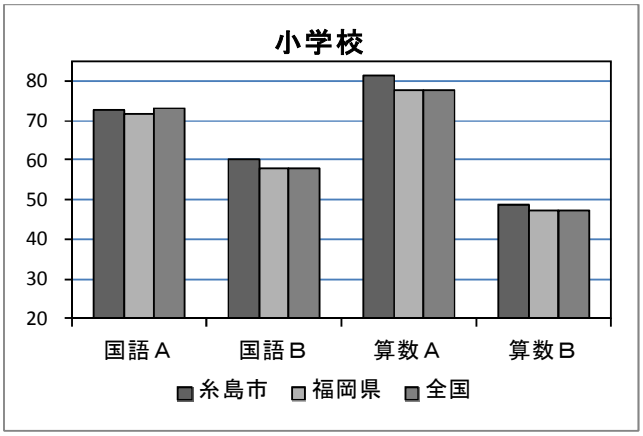


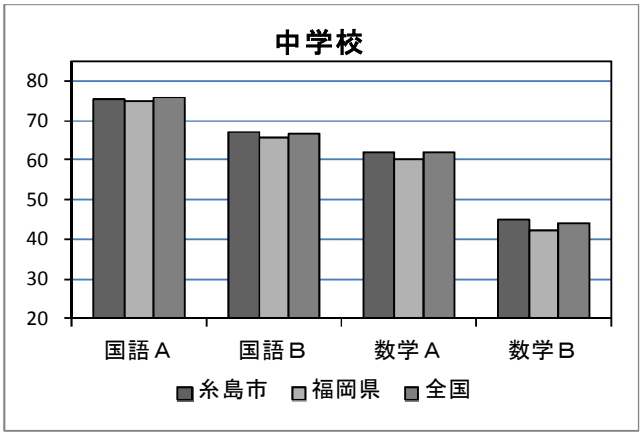
【宗像市】



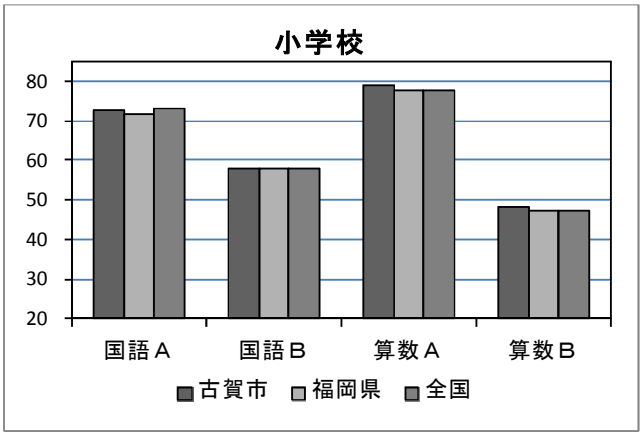


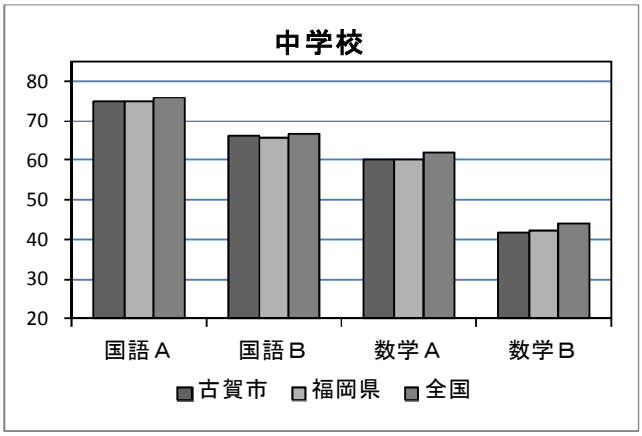
【糸島市】



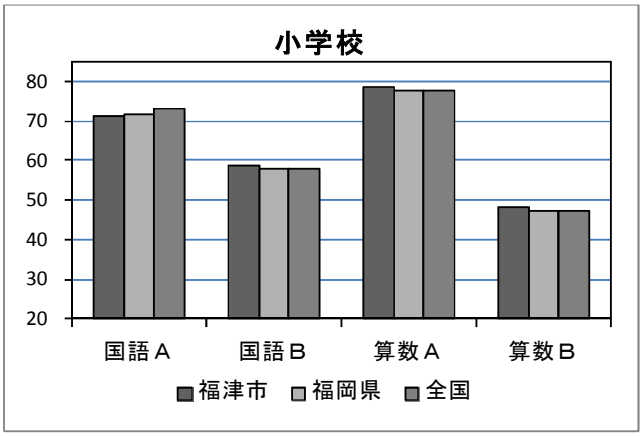


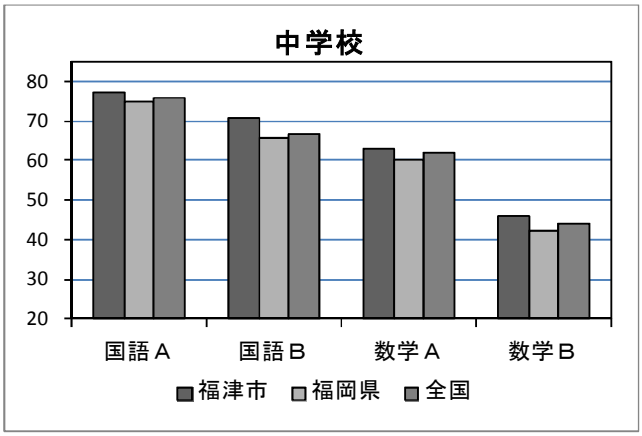
【古賀市】



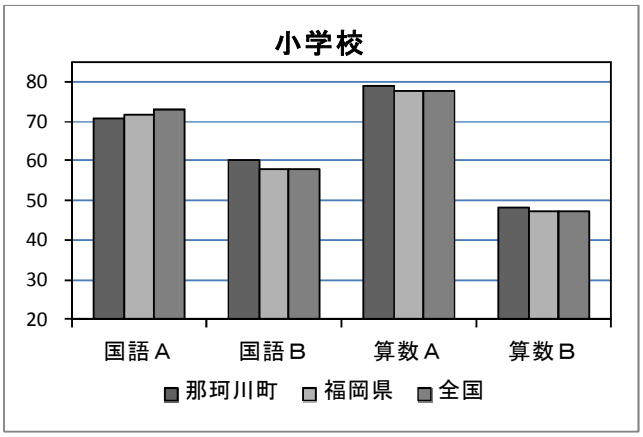


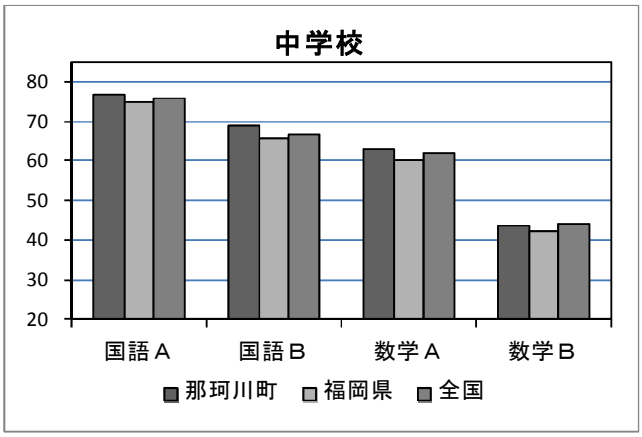
【福津市】



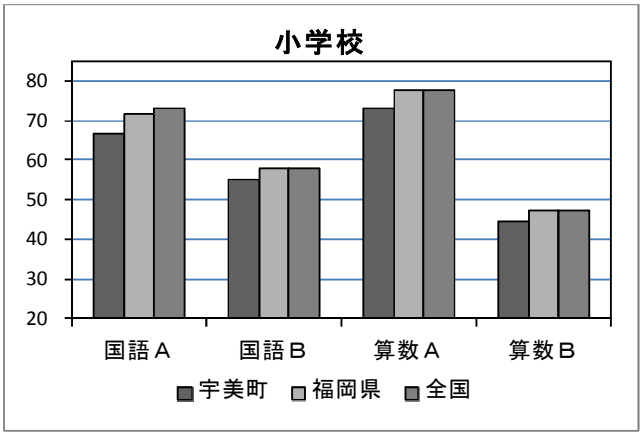


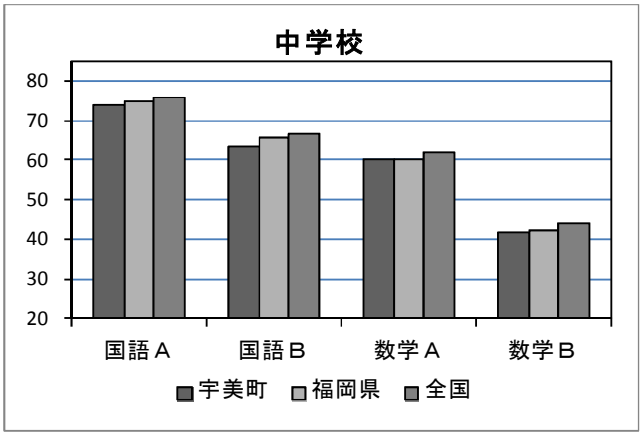
【那珂川町】



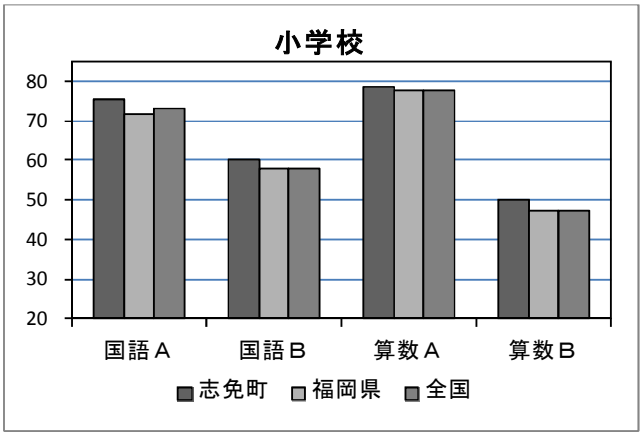


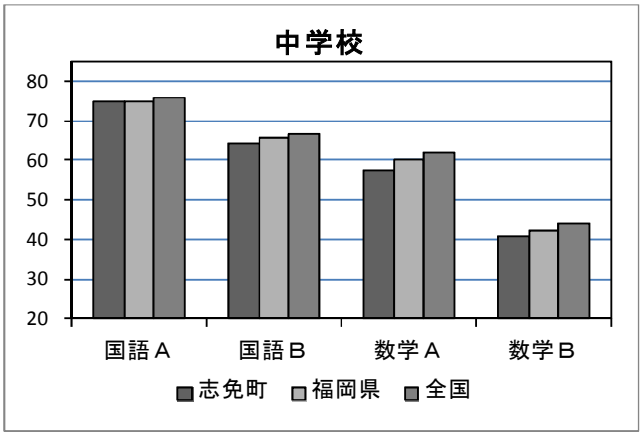
【宇美町】



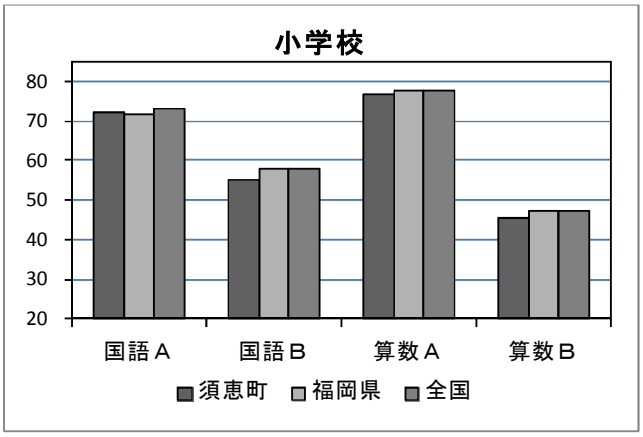


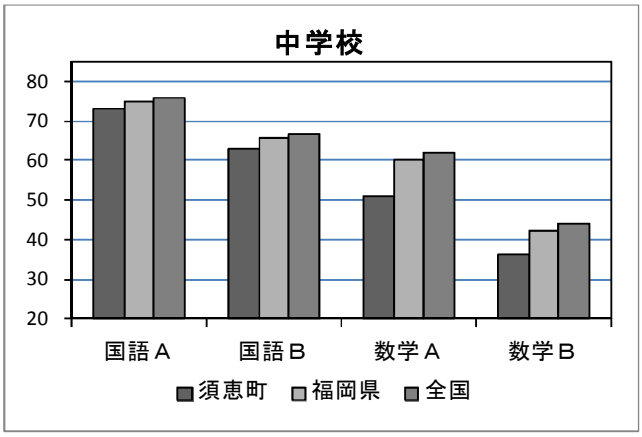
【志免町】



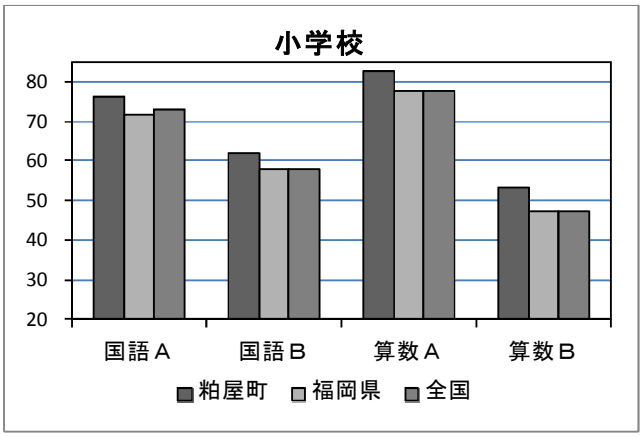


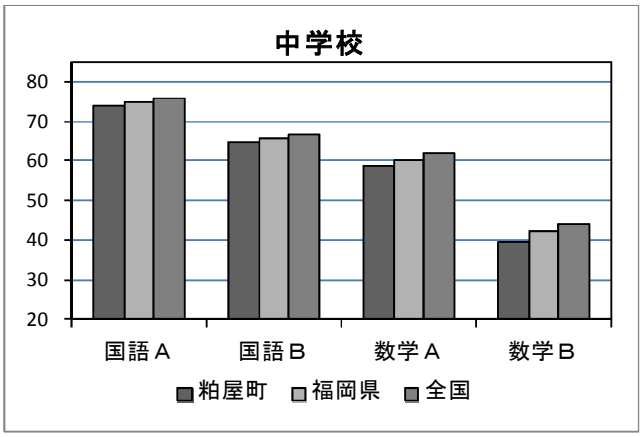
【須恵町】



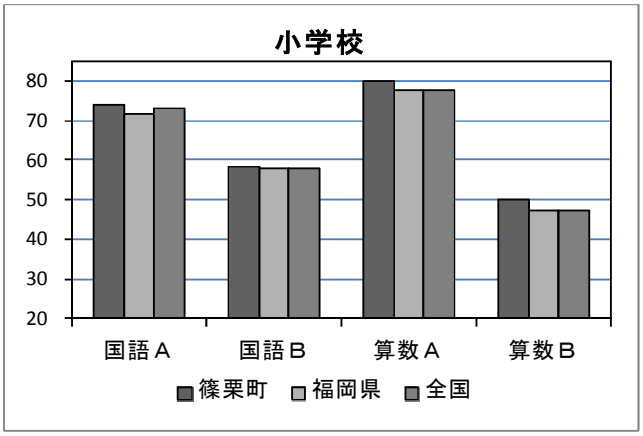


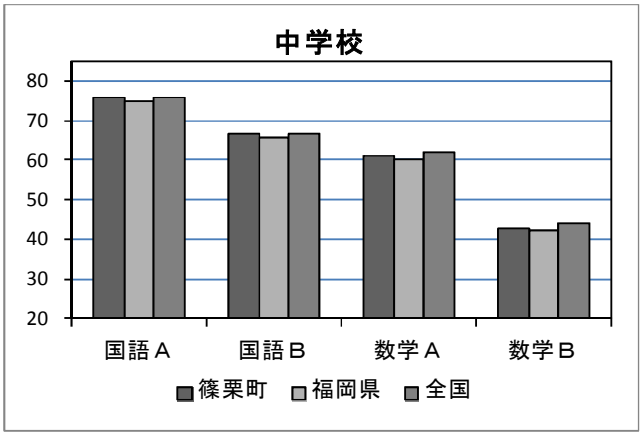
【粕屋町】



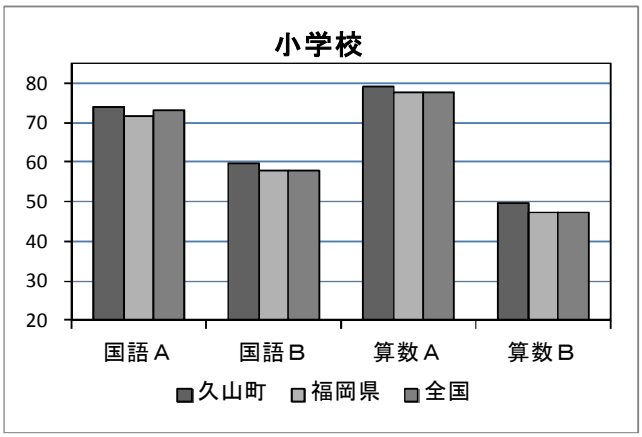


【篠栗町】



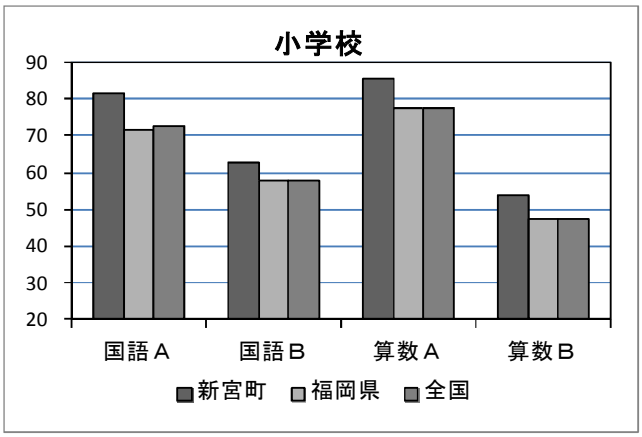


【久山町】



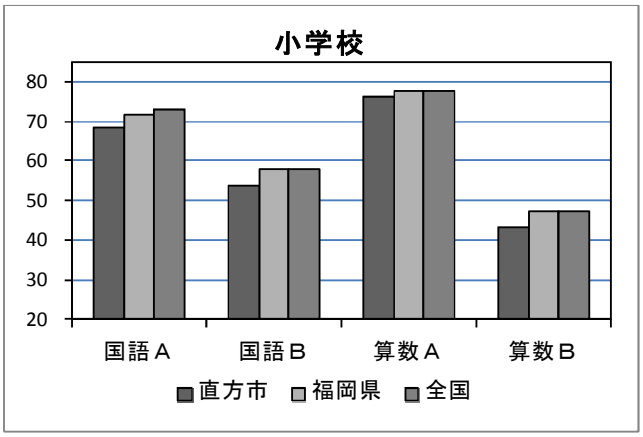
中学校は、公表対象外

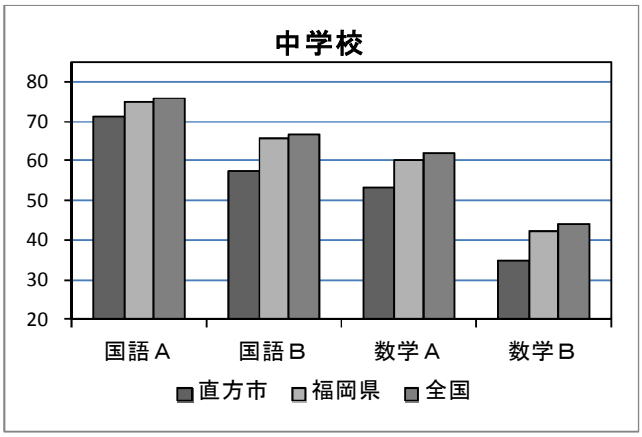
【新宮町】



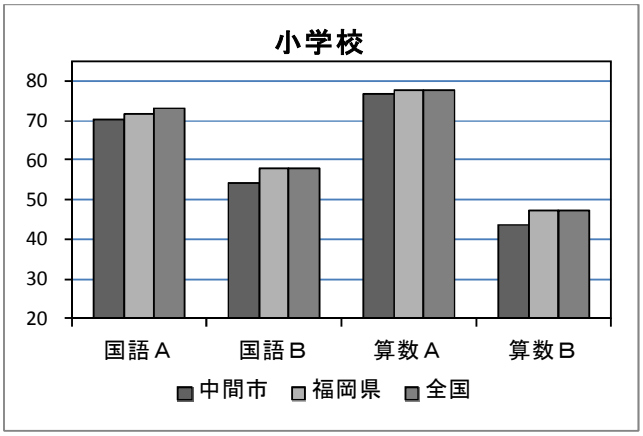
中学校は、公表対象外

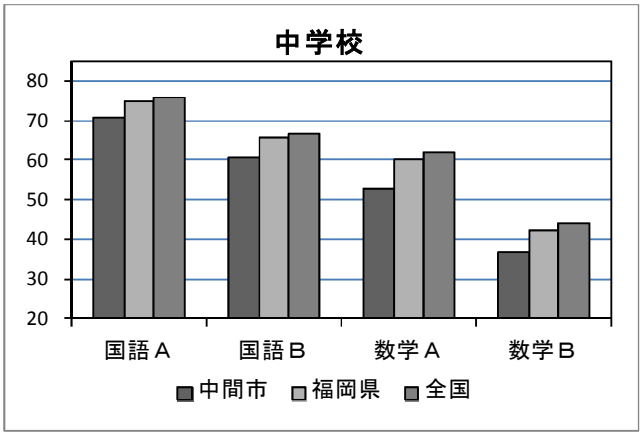
【直方市】



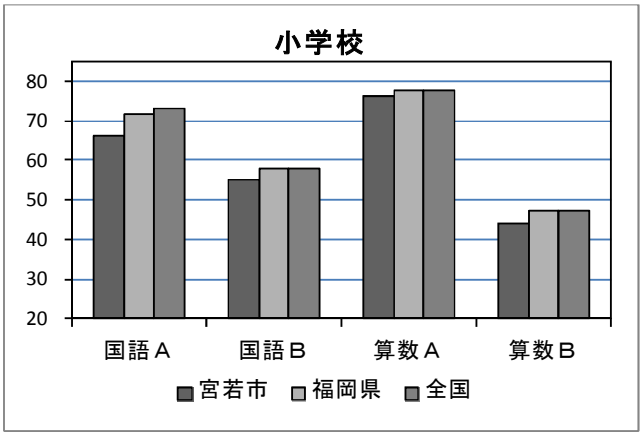


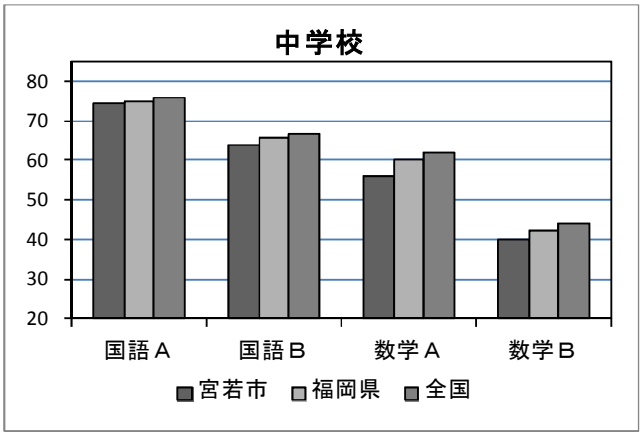
【中間市】



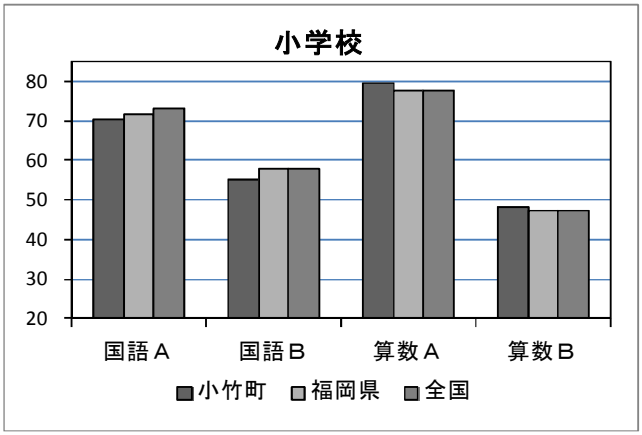


【宮若市】



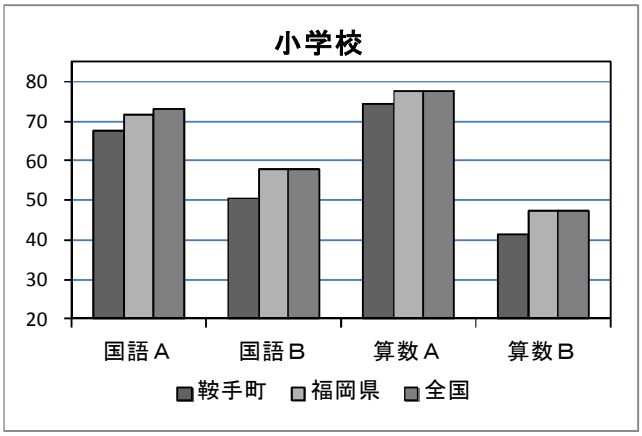


【小竹町】



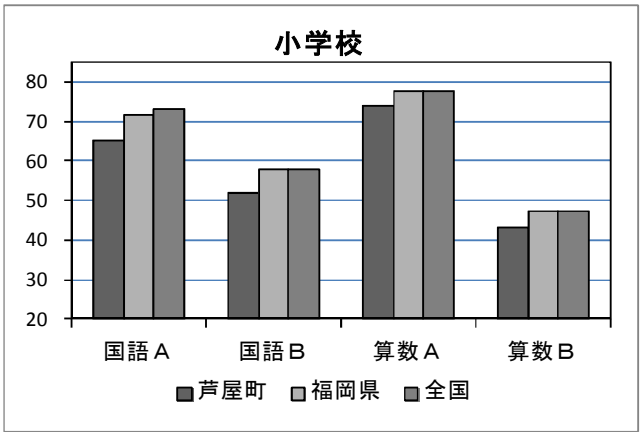
中学校は、公表対象外

【鞍手町】



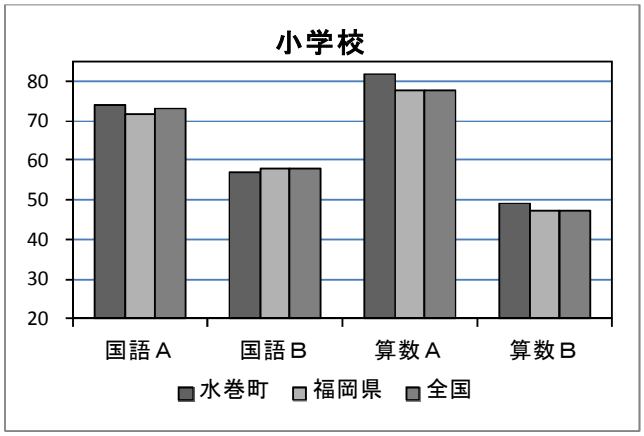
中学校は、公表対象外

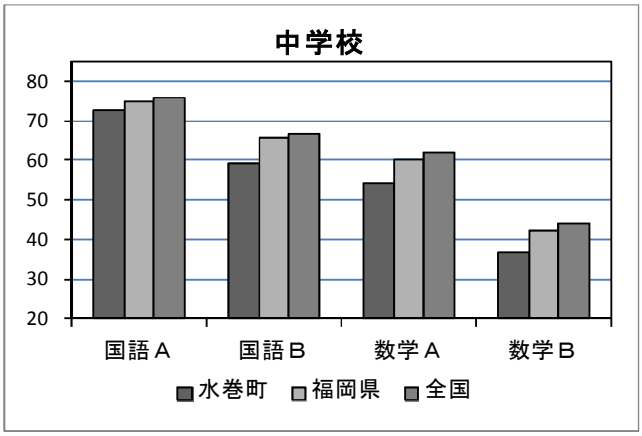
【芦屋町】



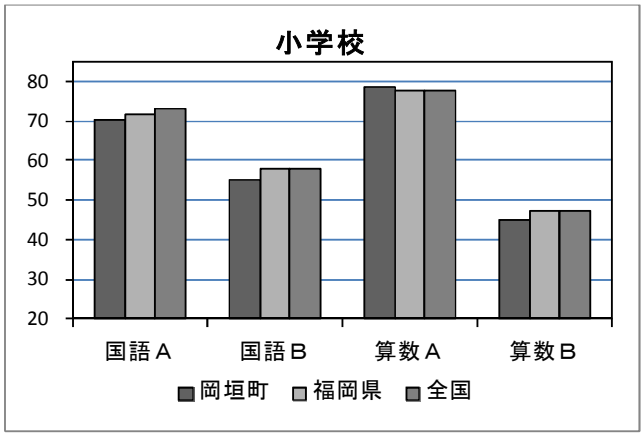
中学校は、公表対象外

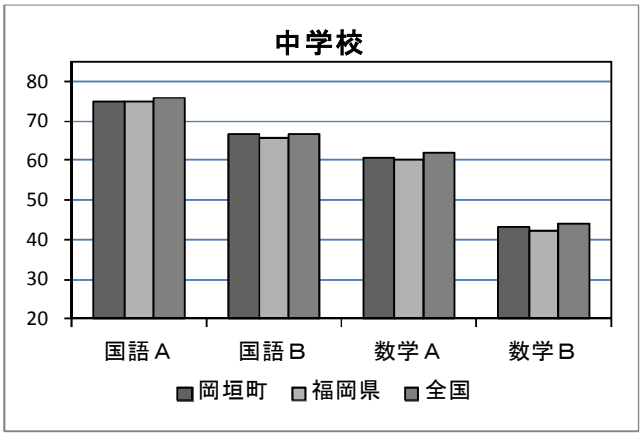
【水巻町】



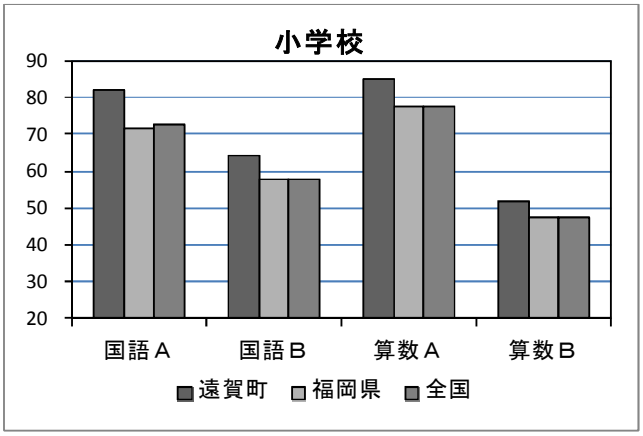


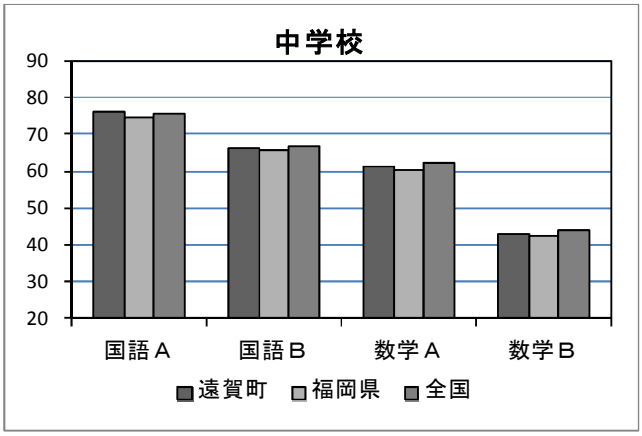
【岡垣町】



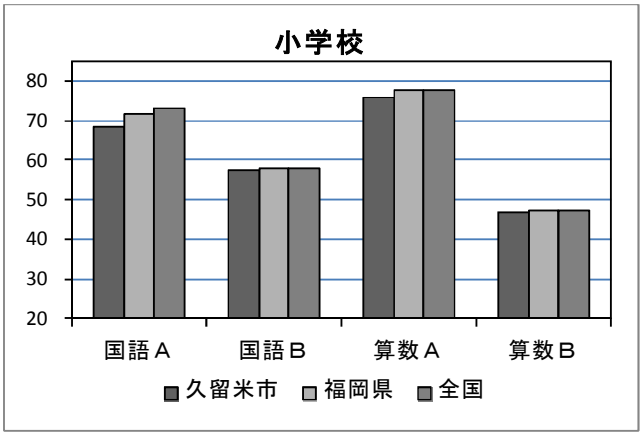


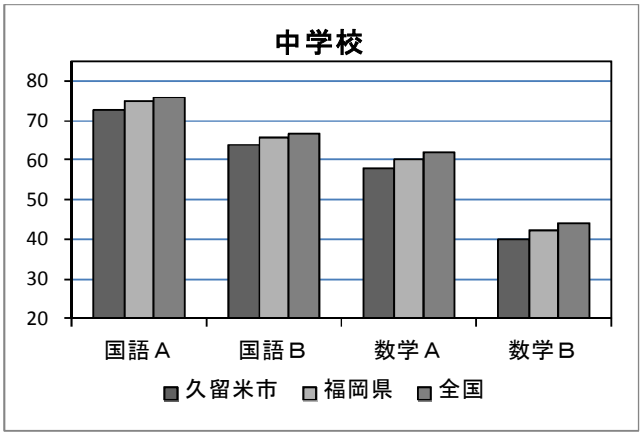
【遠賀町】



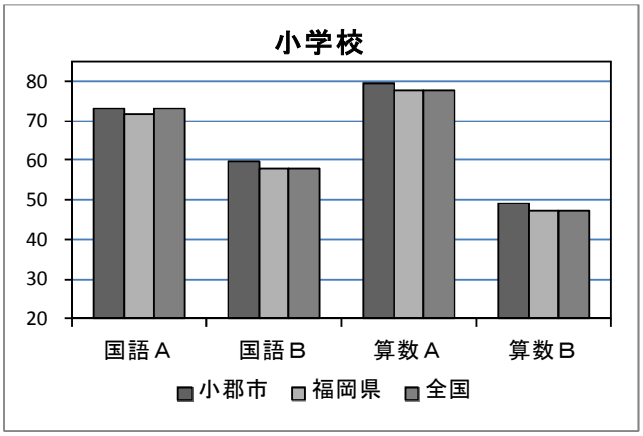


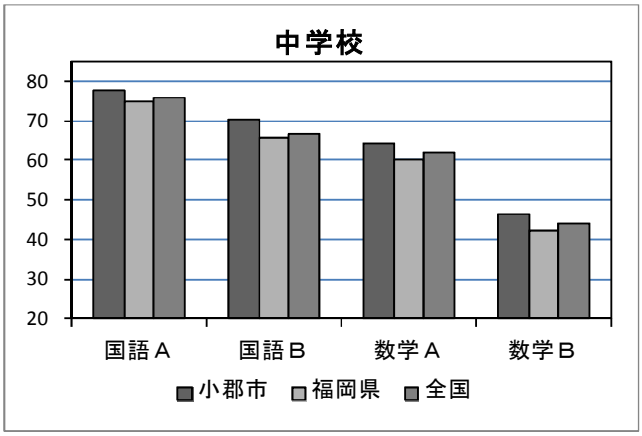
【久留米市】



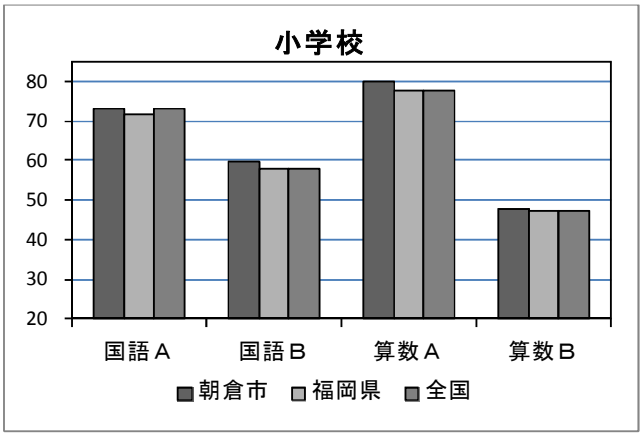


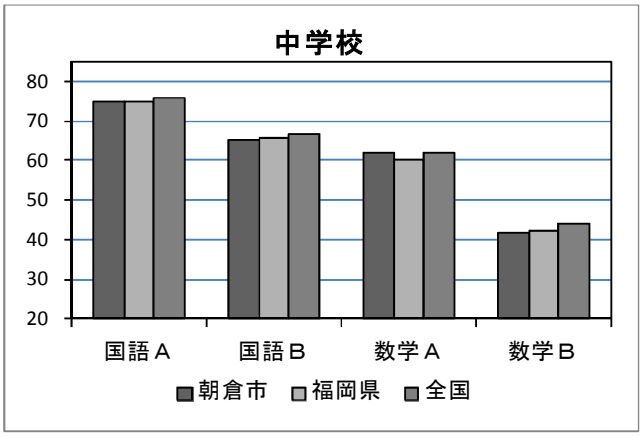
【小郡市】



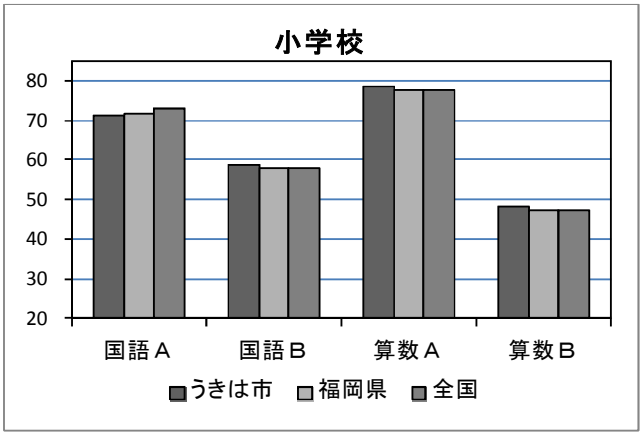


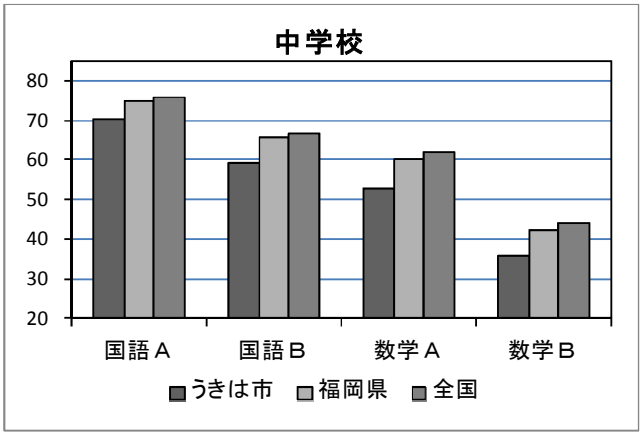
【朝倉市】



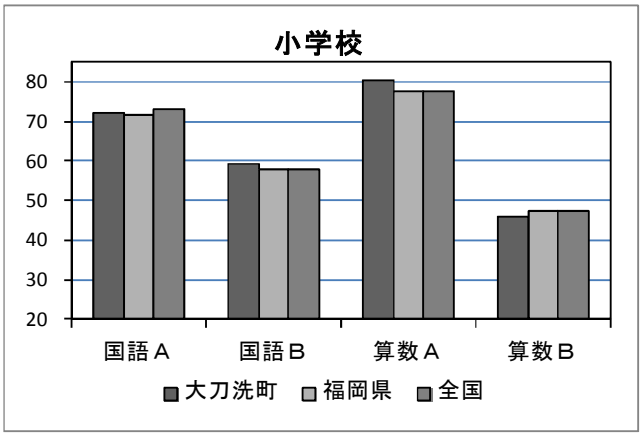


【うきは市】



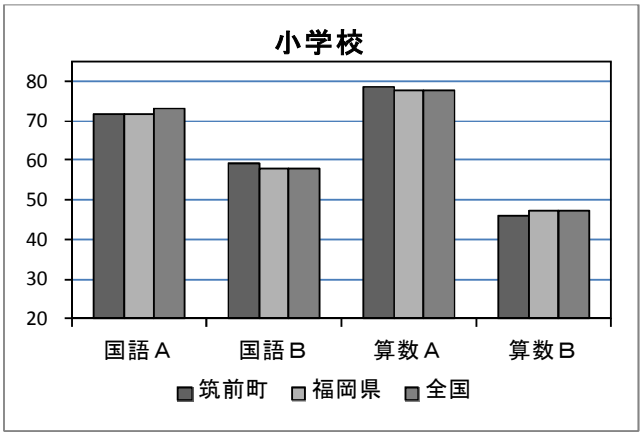


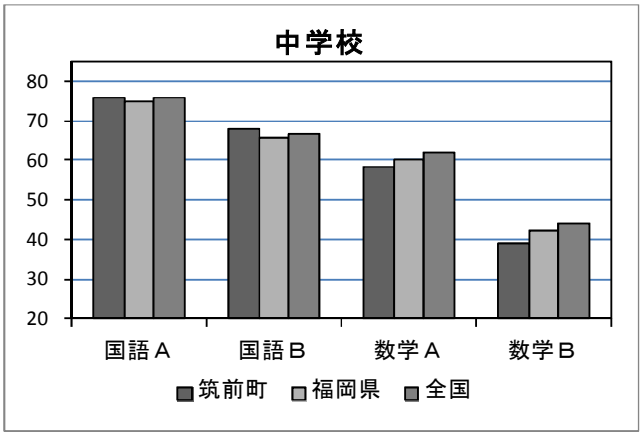
【大刀洗町】



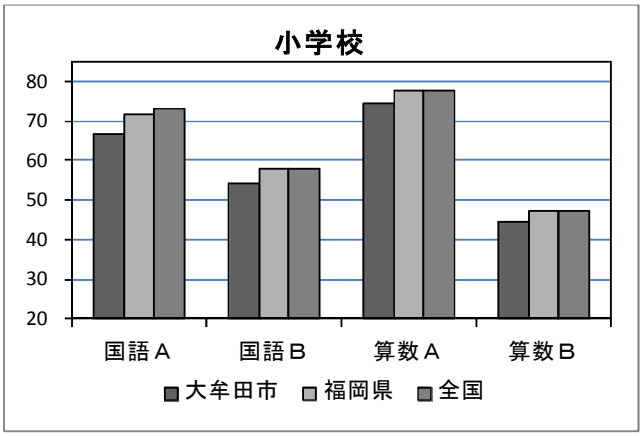
中学校は、公表対象外

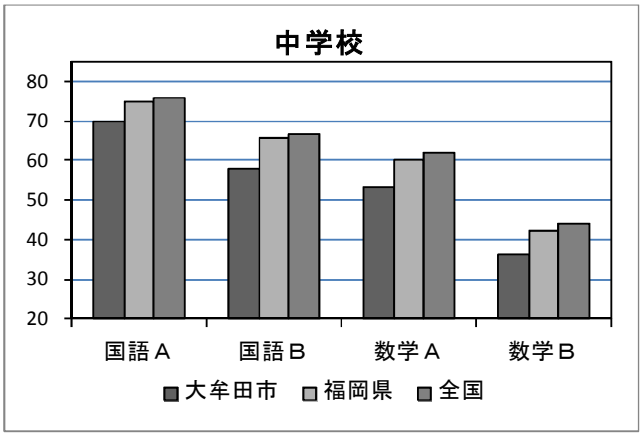
【筑前町】



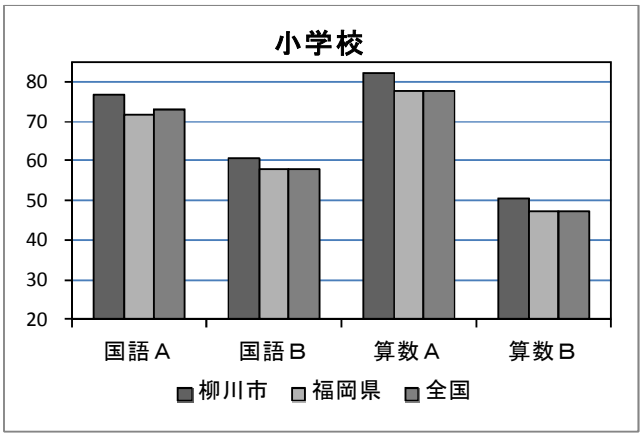


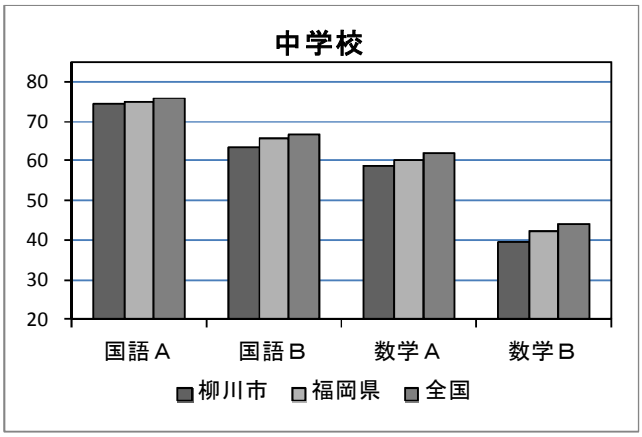
【大牟田市】



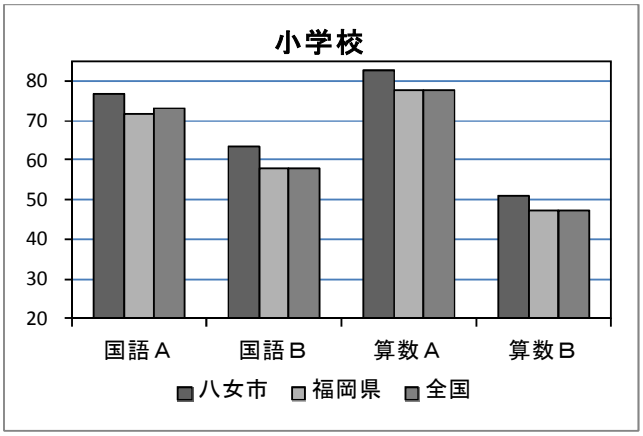


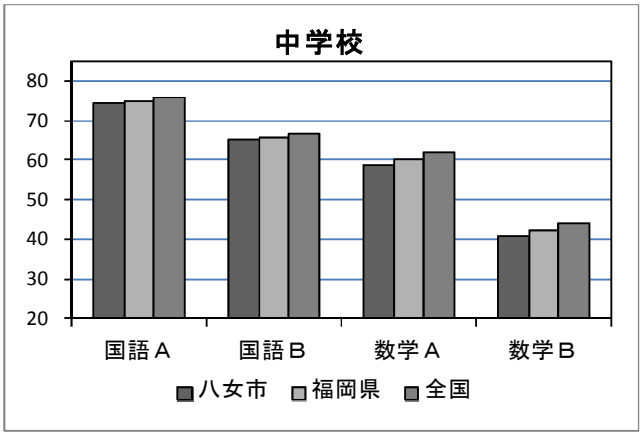
【柳川市】



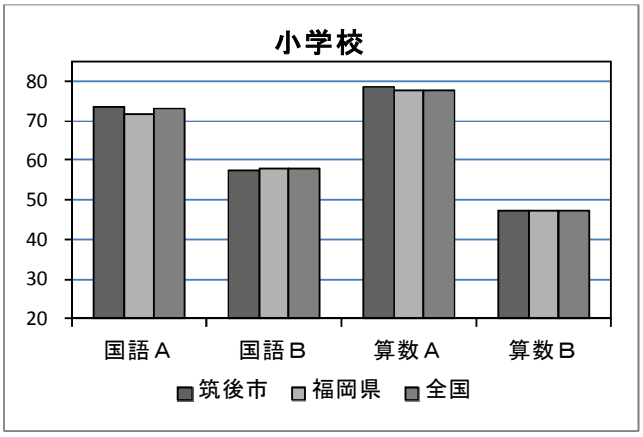


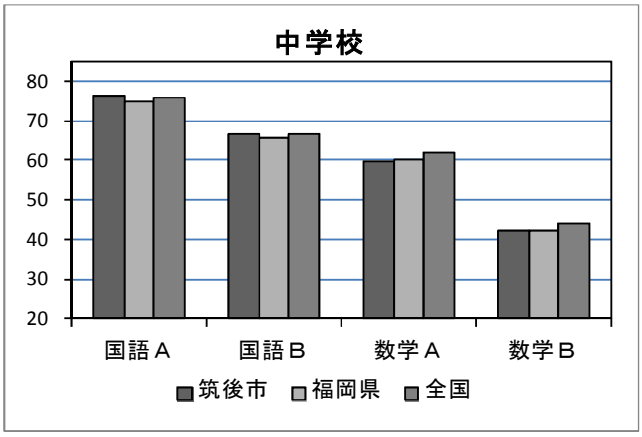
【八女市】



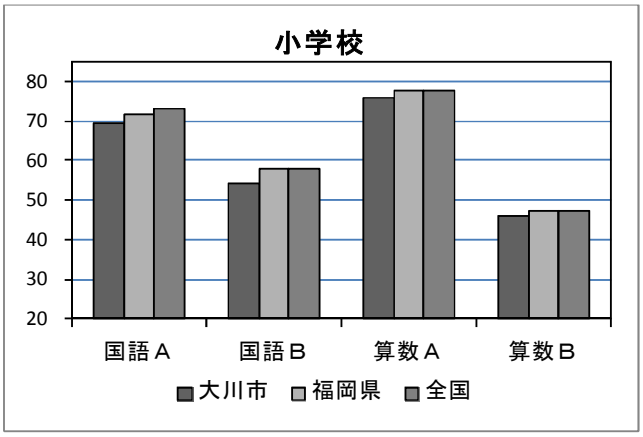


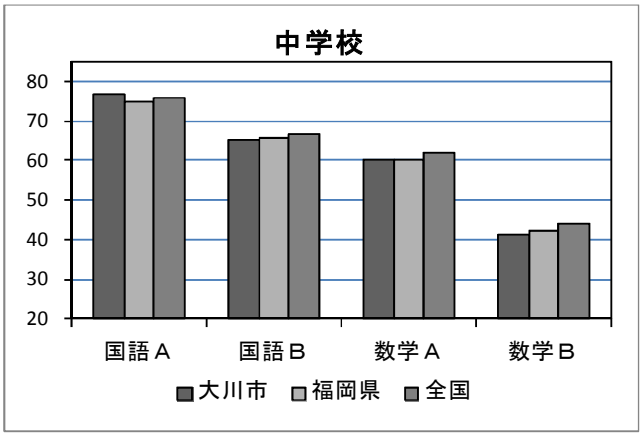
【筑後市】



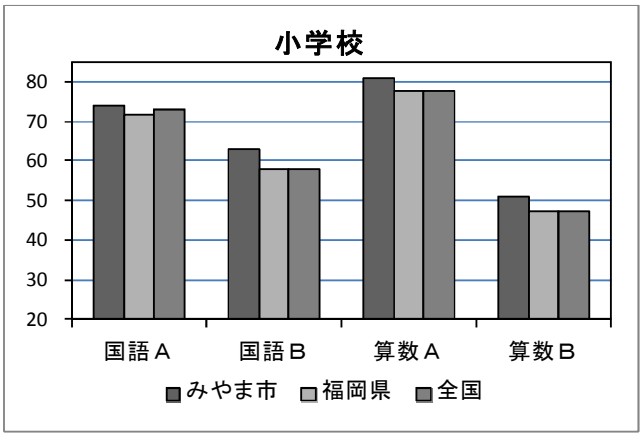


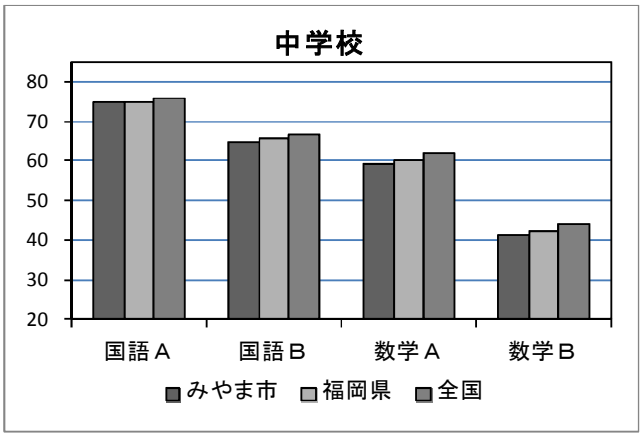
【大川市】



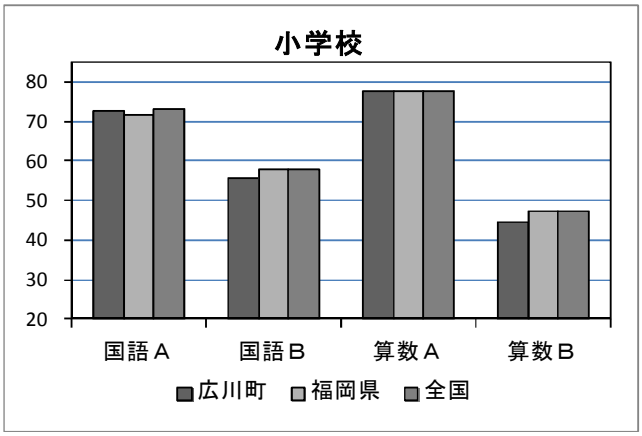


【みやま市】



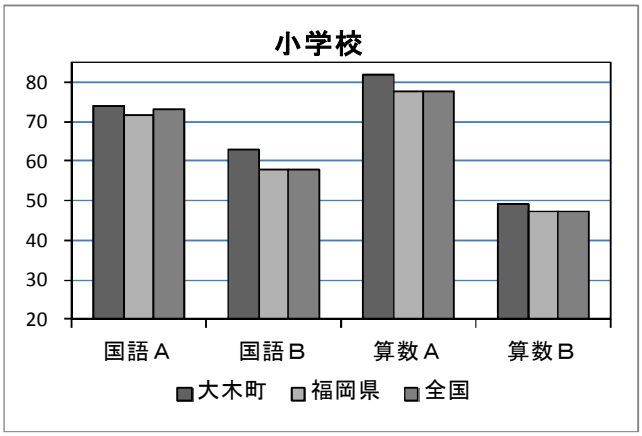


【広川町】



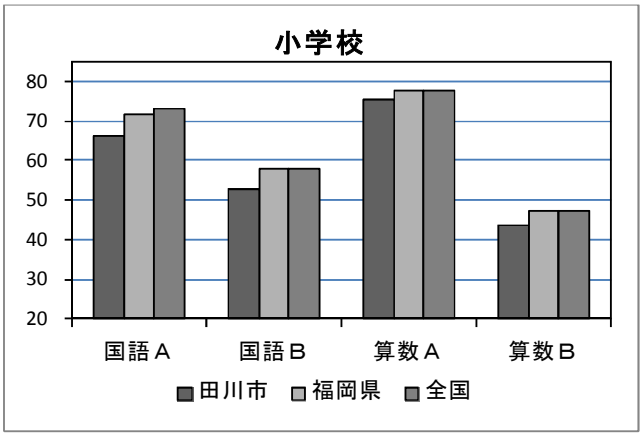
中学校は、公表対象外

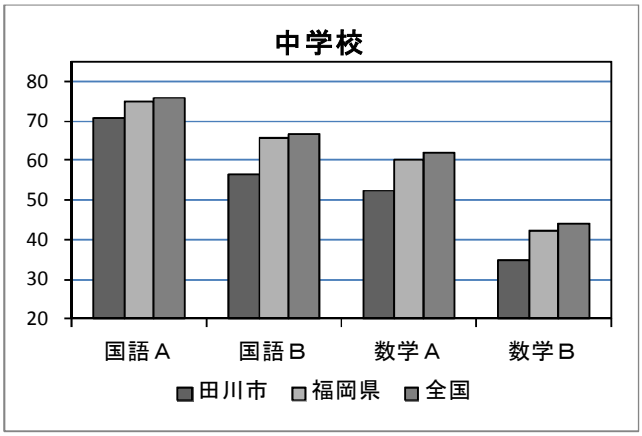
【大木町】



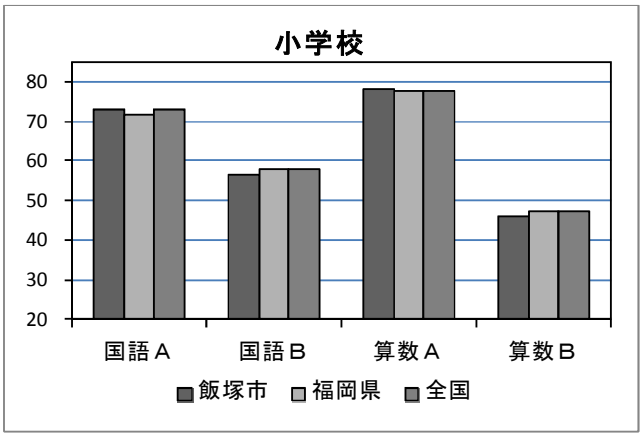
中学校は、公表対象外

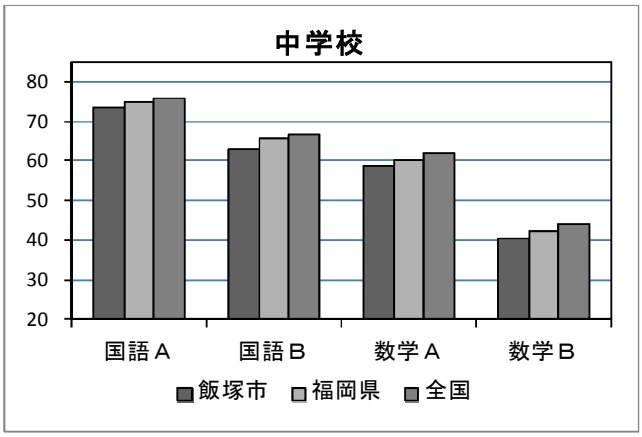
【田川市】



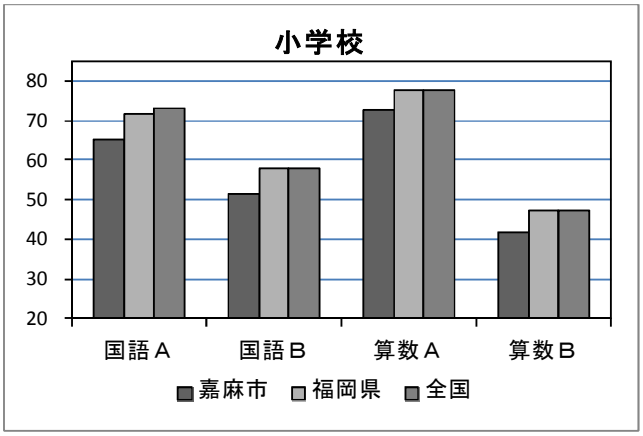


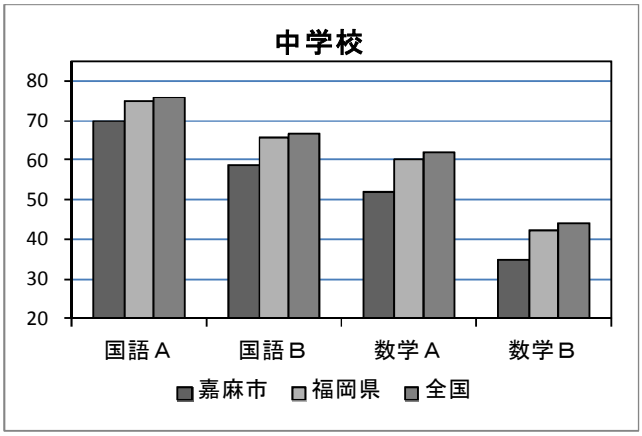
【飯塚市】



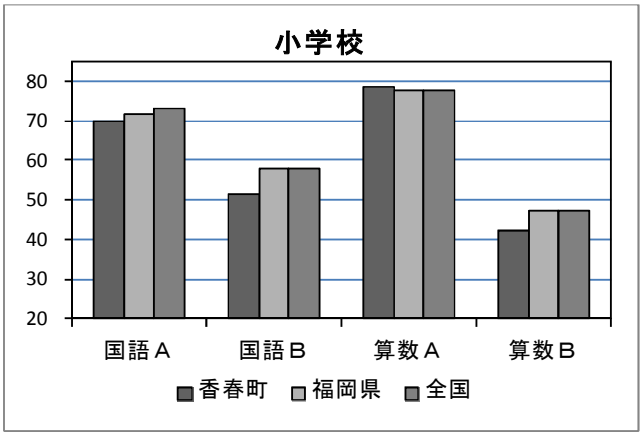


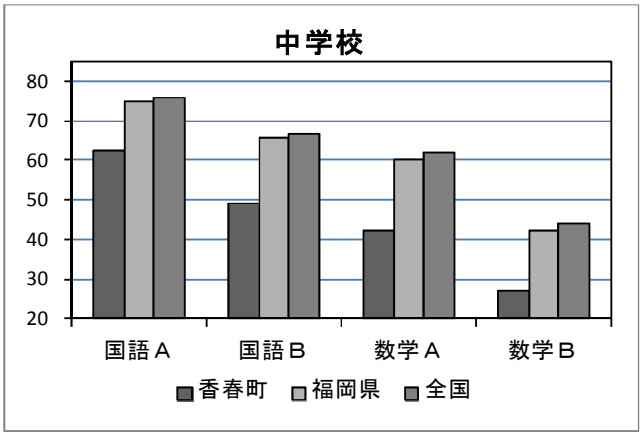
【嘉麻市】



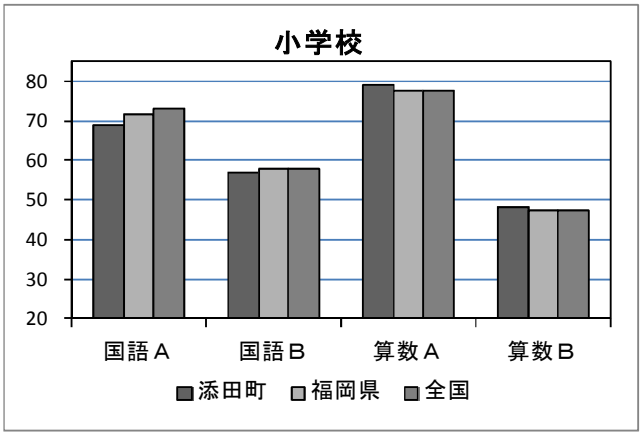


【香春町】



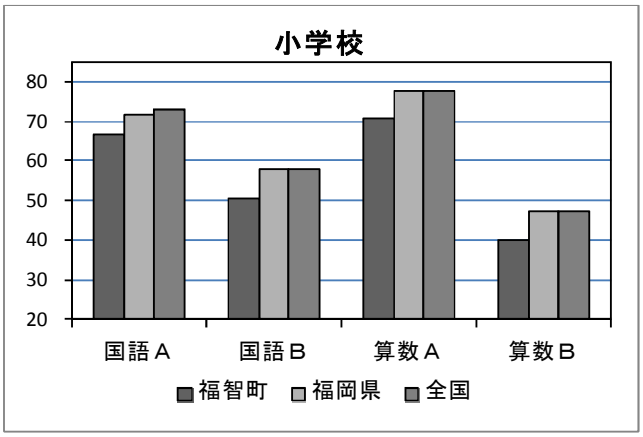


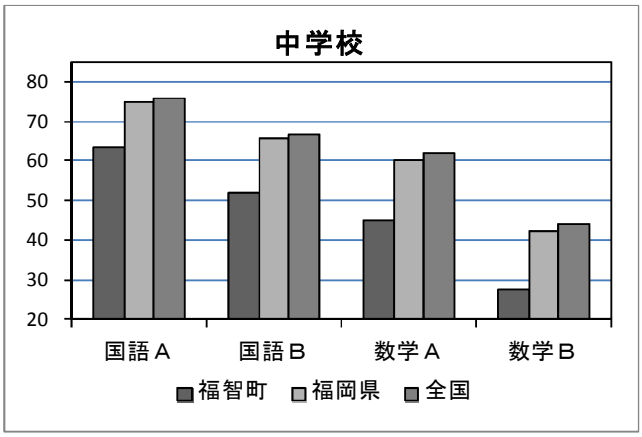
【添田町】



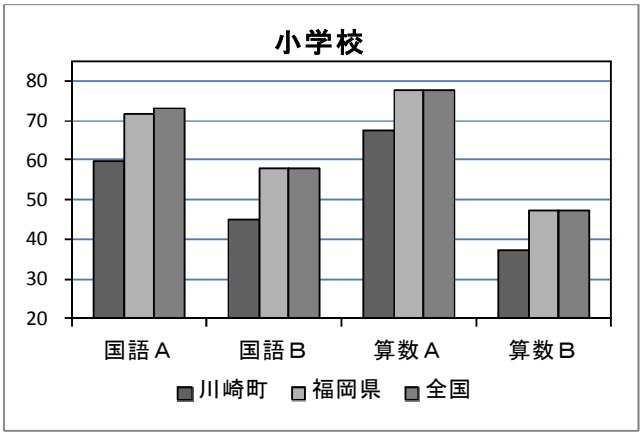
中学校は、公表対象外

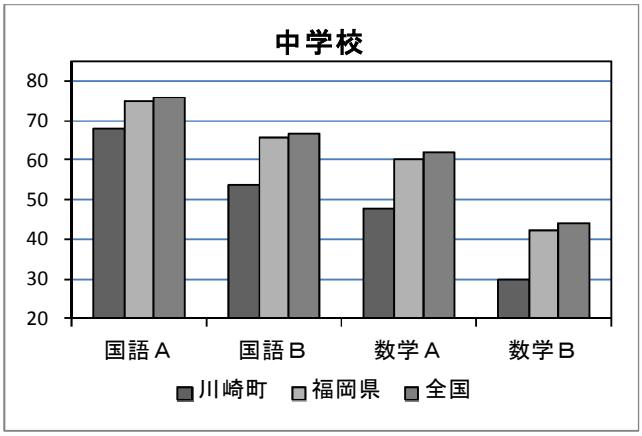
【福智町】



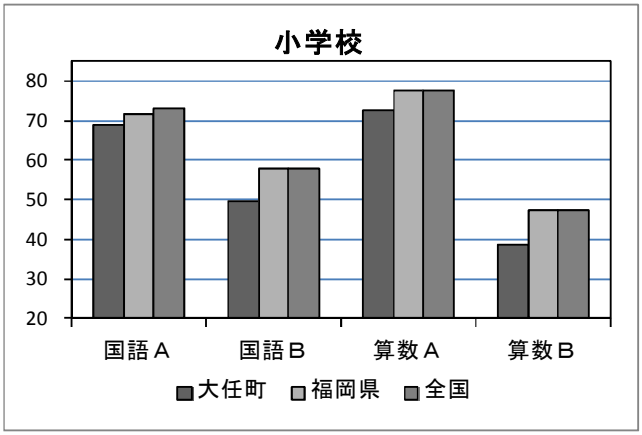


【川崎町】



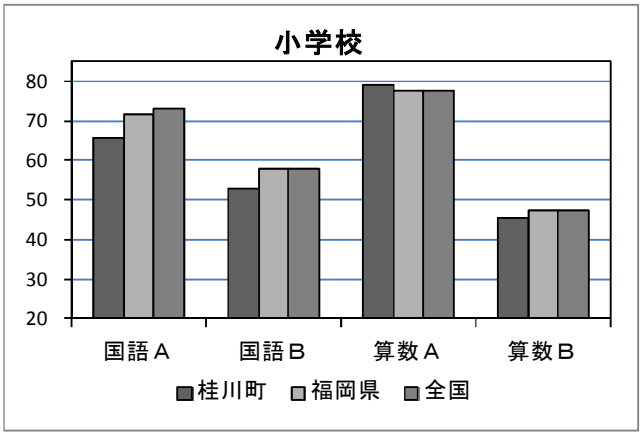


【大任町】



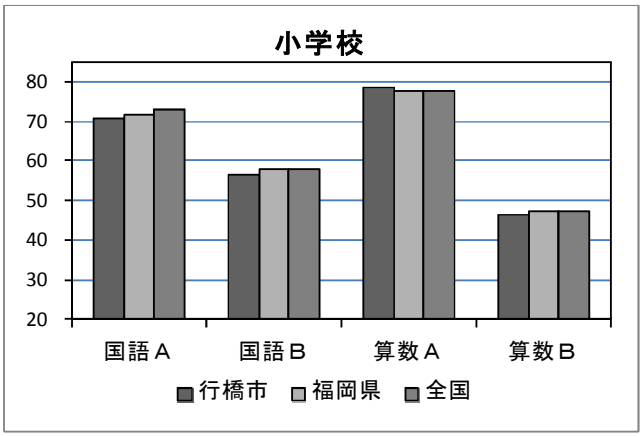
中学校は、公表対象外

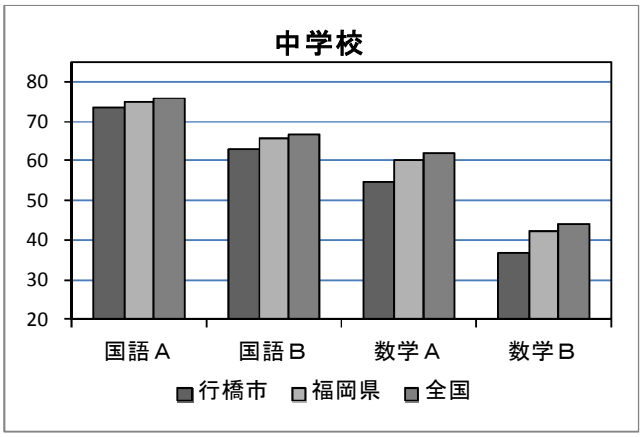
【桂川町】



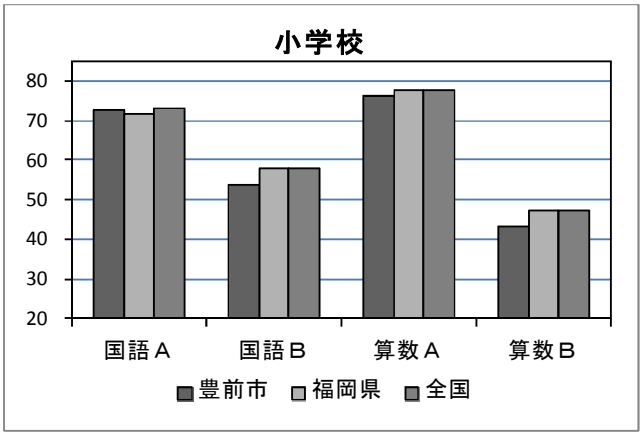
中学校は、公表対象外

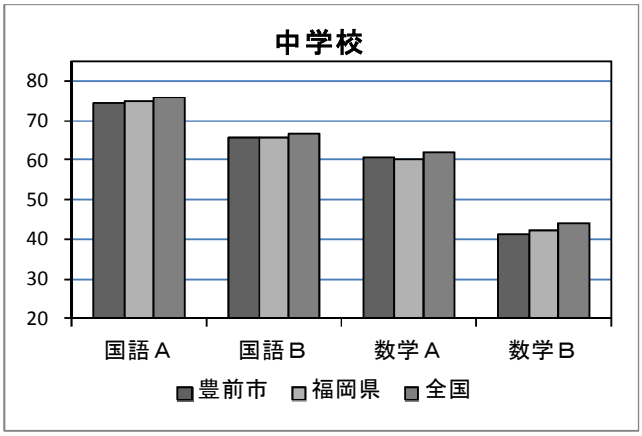
【行橋市】



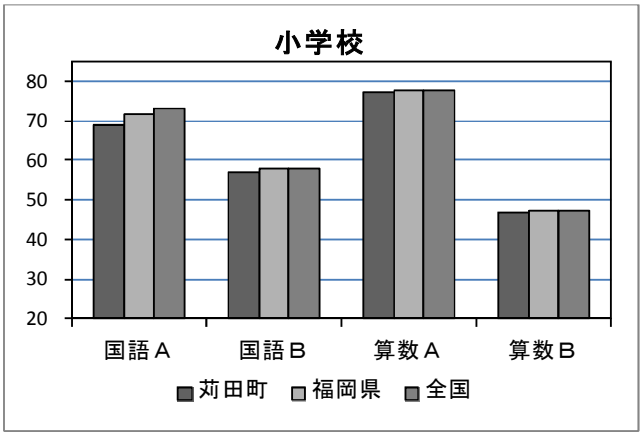


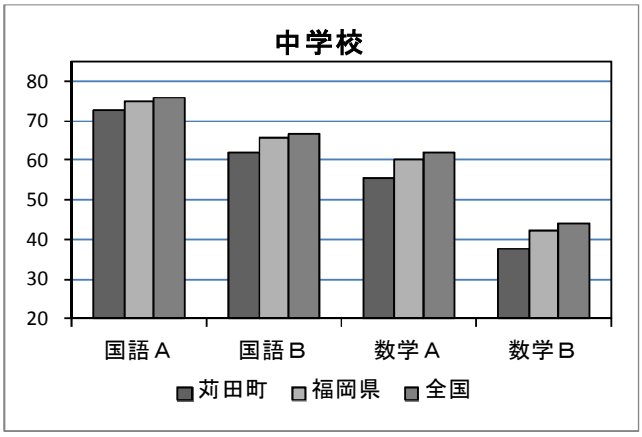
【豊前市】



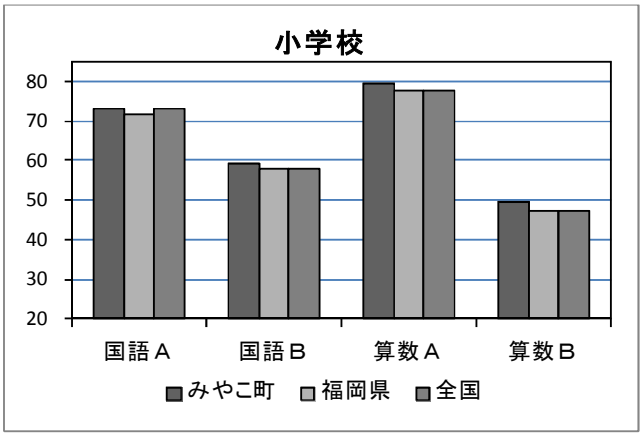


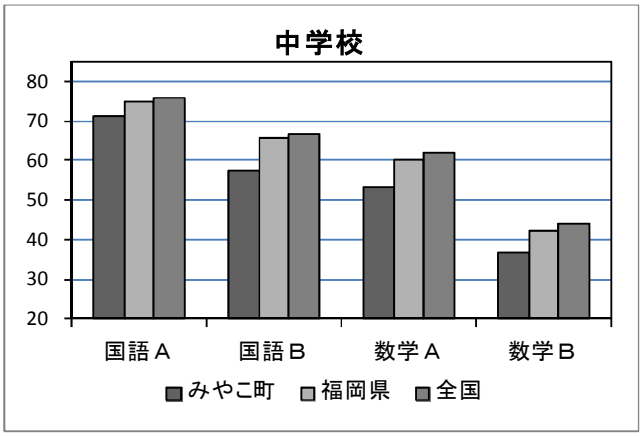
【苅田町】



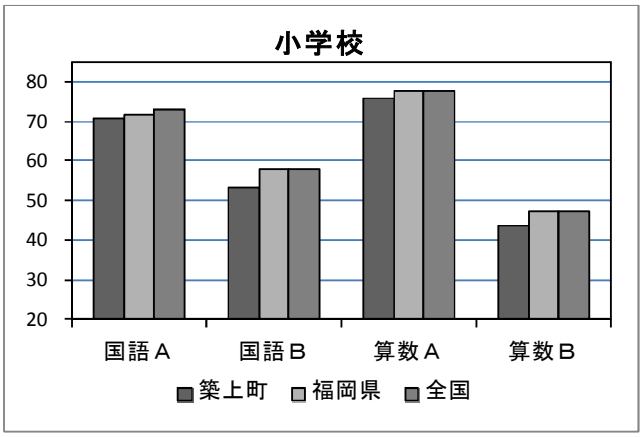


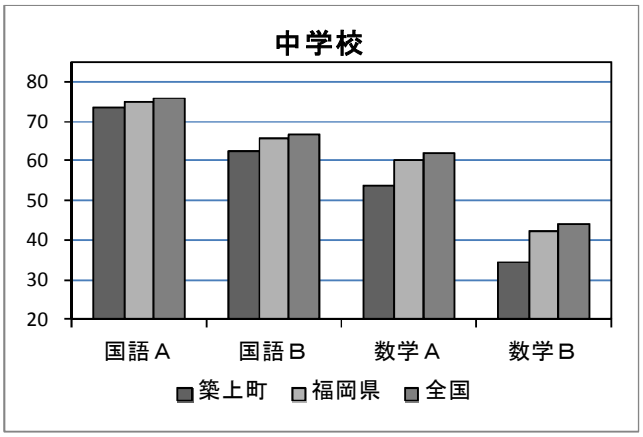
【みやこ町】



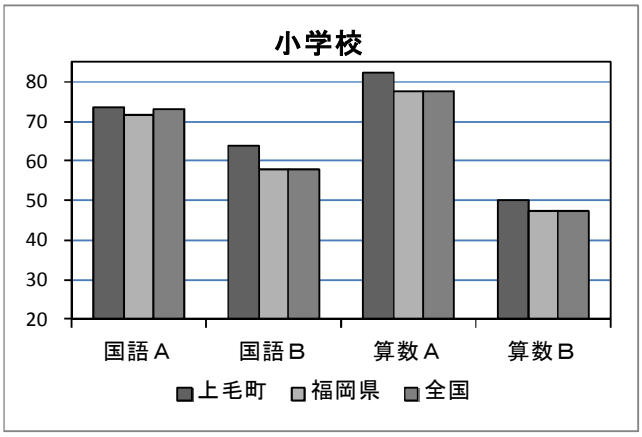


【築上町】



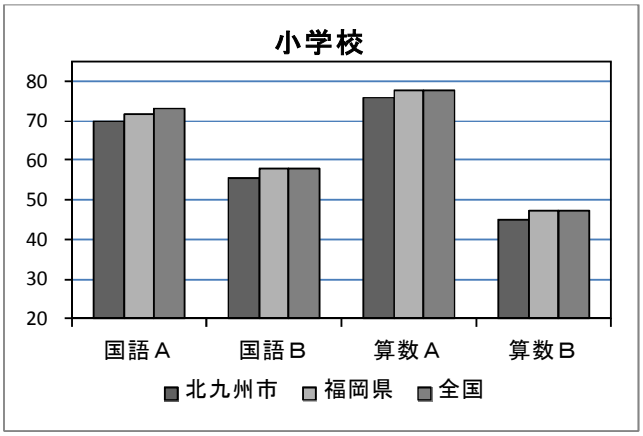


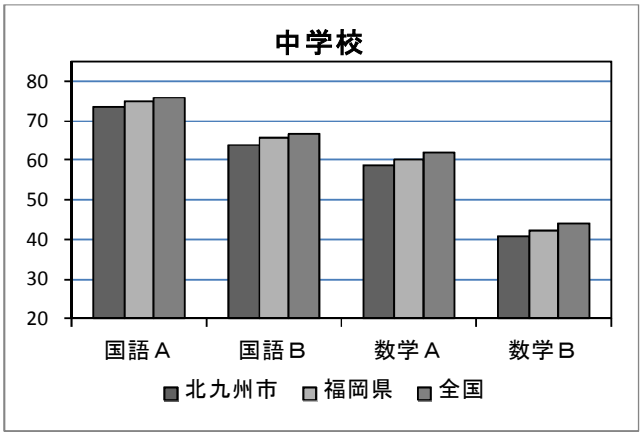
【上毛町】



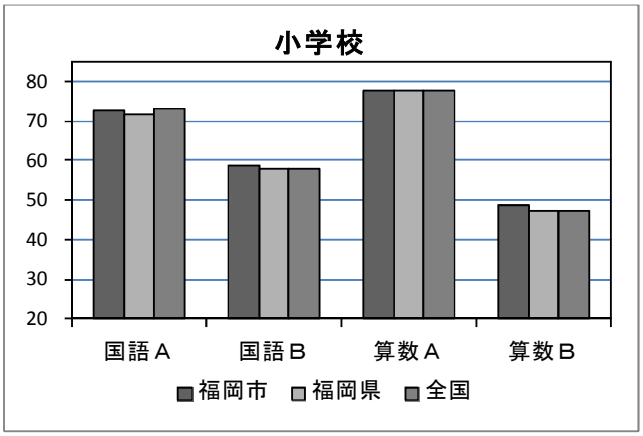
中学校は、公表対象外

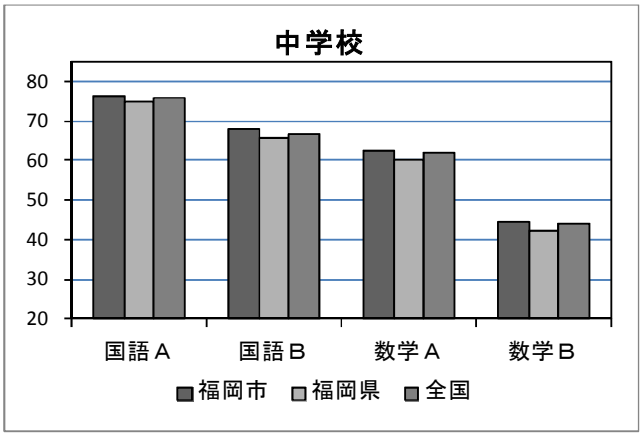
【北九州市】





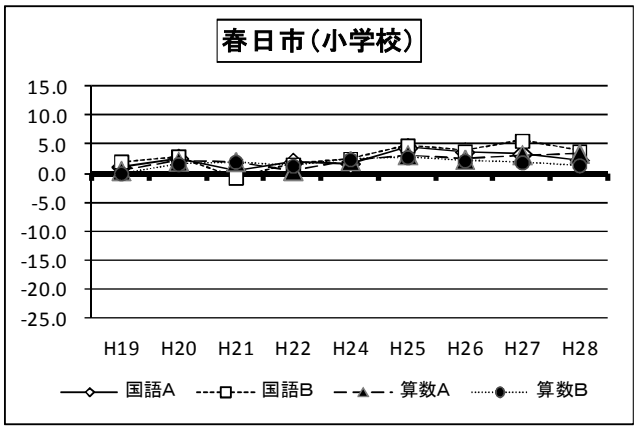
【福岡市】

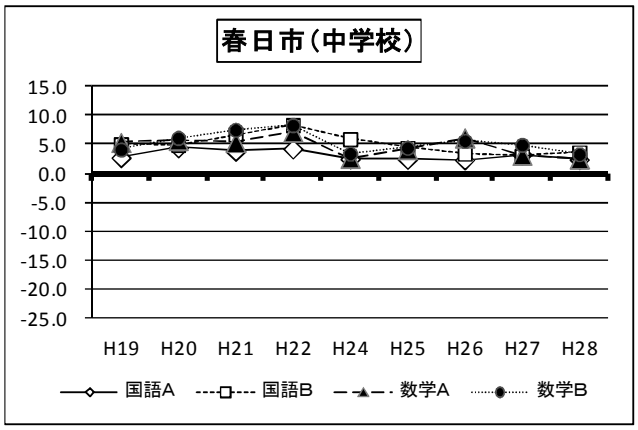




(2) 成果が見られる市町村の取組

【春日市】





【成果につながった取組の内容】

1　学力向上のための人的支援配置

個に応じたきめ細やかな指導のために、市独自の人的支援配置を行う。

①　小学校 6 年生 30 人以下学級（平成 20 年度から実施）

確かな学力の定着に向けて、小学校 6 年生 30 人以下学級のために、9 名の人的な配置を実施。

②　サポートティーチャー及び特別支援教育支援員配置

個に応じた支援や担任支援の充実のために、特別支援教育支援員 40 名の配置を実施。

2　学力向上につなぐ行動連携を推進・強化するコミュニティ・スクール（ＣＳ）の取組

学力向上のために、中学校区ごとにＣＳを指定し、学校、家庭、地域が連携した取組を推進する。

①　学力向上・生活習慣形成をめざした小中及び家庭との連携

「中学校ブロックで共通する『家庭学習の手引き』『親子でチェック表』」「○○校区式 15 年子育てサポート」「計画的な家庭学習をサポートするサクセスノート」「家庭学習強化週間」等の導入を行った。

②　学力向上に特化した学校・家庭・地域との連携

「保護者による丸付けの協力」「地域の方（中学生も含む）による小学生のための公民館学習」「大学生による中学生の個別学習支援や授業サポート」等の導入を行った。

③　「まなびや春日」の実施（試験的に 12 校中４校、昨年度 10 月より開始）

月２回、土曜日の午前中２時間、つまずきのある児童４～６年生を各学校から５名募って、全学年の復習プリントを中心に、学習の場を設定している。

3　学校への日常的・定期的・直接的な支援

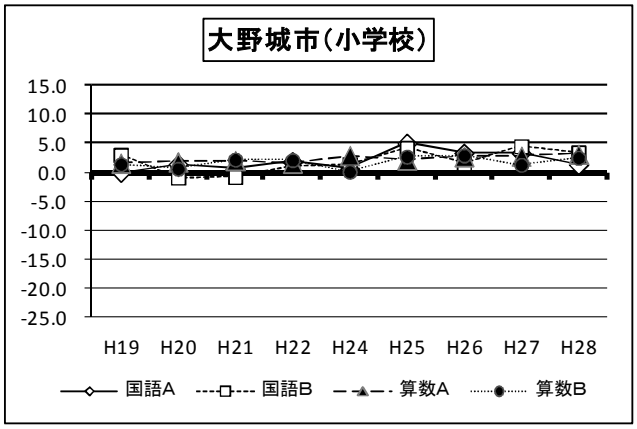
①　教育長「学校出前トーク」

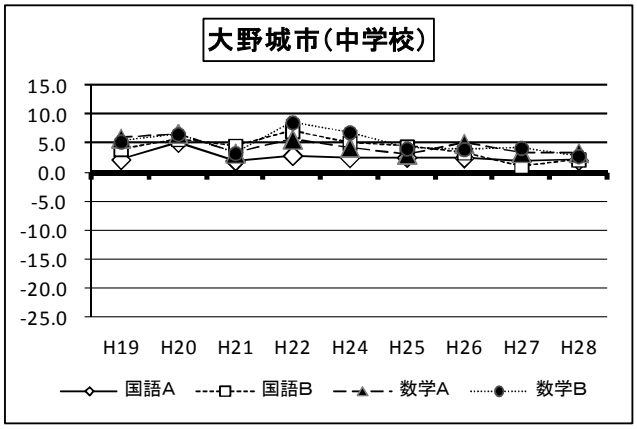
学習指導論や学力観（児童生徒観）等に関する協議をする教育長「学校出前トーク」を毎年度、夏季休業中に実施している。

②　指導主事・指導主幹による授業参観、各学校の学力向上コーディネーターからのヒアリング

授業改善の視点で全小中学校の提案授業を参観したり、各学校が抱える課題や悩み、具体的な取組、市への要望を聞いたりして各学校の実情に即した支援や助言を行い、市の施策につなげている。

【大野城市】





【成果につながった取組の内容】

1　学力向上の組織的な取組

市内小学校 10 校、中学校５校が学力向上の取組を統一して進めていくために、以下のような組織を編成している。

①　学力向上戦略会議

各小中学校の教頭で構成する組織である。市全体の全国学力・学習状況調査の結果分析を行い、課題を共有するとともに、各学校の学力向上策について情報交換する。特に、本年度は、週末に実施する課題テストに向けて、学校における朝学習・夕学習、家庭における自学を一つのサイクルとして、A問題の定着を目指すサイクル・スタディの習慣化や、B問題での思考力・判断力を養うためのアクティブ・ラーニングの視点を生かした授業づくりについて協議を行っている。

②　学力向上推進協議会・学力向上実行委員会

学力向上推進協議会は、各小中学校の主幹教諭、教務主任で構成する組織である。小学校を卒業した児童に中学校入学までに行わせる宿題の作成（４教科のステッププリント)、学力向上のための教育課程編成等について協議している。学力向上実行委員会は、各小中学校の研究主任や学力向上コーディネーターで構成する組織である。知識や技能を活用する力を育成するための授業づくりやブロック別の小学校算数科の授業研究を企画・運営している。特に、本年度は、２つの部会共催で、新学習指導要領に沿った授業づくりを学ぶために、講師を招聘し、中学校社会科の授業参観後、アクティブ・ラーニング研修会を実施した。

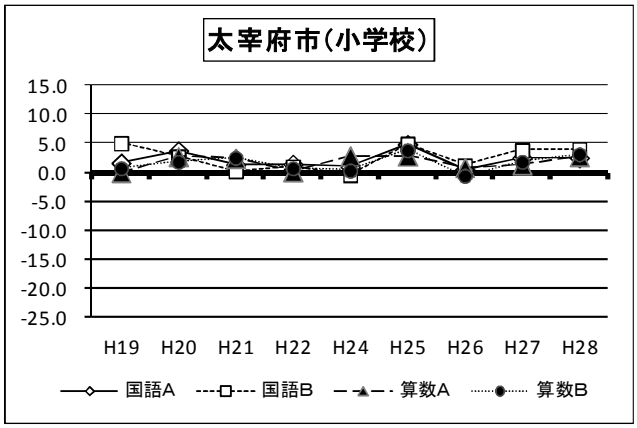
2　学力向上の取組を推進するための校長への啓発

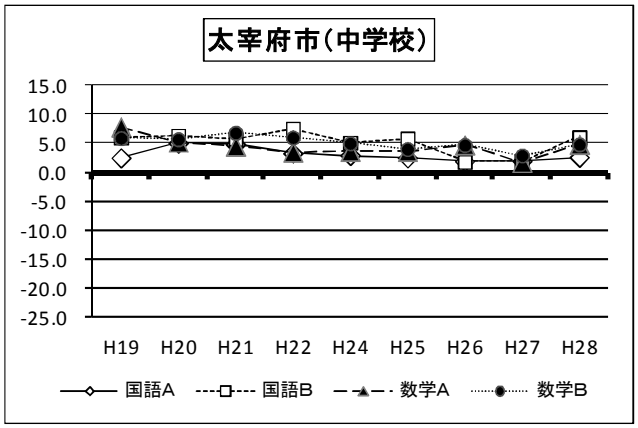
市校長会で、４月の全国学力・学習状況調査後から８月下旬の結果公表までの期間に、自校で結果分析する早期検証システムの奨励や短期・中期・長期目標を決め、ＰＤＣＡサイクルで検証していくことの重要性、日常的に継続できる取組等を資料をもとに説明した。さらに、市独自で全国学力・学習状況調査について、教科ごとに課題が見られる設問と改善方法、児童生徒質問紙と学力の相関等の分析を行い、自校での研修に反映できるようにした。

3　市教育委員会学校訪問におけるテーマを絞った協議

２学期に実施する市教育委員会の学校訪問については、「学力向上」に焦点化し、学力向上に係る学校の説明、授業参観、市教育委員会の指導助言を行っている。自校の教育課題、経営課題から学力向上について分析し、今後の学校経営、授業づくりに生かすことができるようにした。

【太宰府市】





【成果につながった取組の内容】

「太宰府市学力向上宣言」を策定し、学力向上の体制を整えた。

1　授業研修（授業力育成）

授業力向上のため、市内全教員を対象に授業研修を実施する。

①　太宰府市教育委員会主催授業研修会

主に活用する力を育成するための授業研修会を、市内学校を会場として行う。事前に公開授業の指導案をホームページで公開し、会場校以外の学校はその指導案で実際に実践して研修会に参加する。

研修会当日は、国立教育政策研究所調査官の講話を聞いたのちに授業を参観し、学年ごとの協議会でこれからの活用する力を育てる授業の在り方を協議する。

②　太宰府市教育委員会研究指定委嘱研究発表会

太宰府市の研修会として位置付け、午後は児童生徒を放課させて全教員参加の協議を行うことで、各学校の取組を市内の学校が共有する。「太宰府市で学び太宰府市で育つ」ことを目指し、指導講師も太宰府市内の人材を積極的に活用する。

2　市内留学研修（人材育成）

学級経営、授業など、教育活動全般の指導力向上のために、市内他校の優秀教員のもとに１日出向き、「間近に触れて考える」実践研修を実施する。

具体的には校長会で対象者をリストアップし、受け入れ学校及び学級を決定する。留学研修対象者の成長課題に応じたレポート項目を対象者の学校長が作成し、その項目を参観の観点として「間近に触れて考える」研修を行う。

3　学校の基盤整備（学校体制）

全小中学校で共通実践することで、市内の学校の学びの体制を整える。

①　活用する力を育てる授業

例：過去問を使う授業、活用問題の定期考査導入、書く・話す・交流の授業

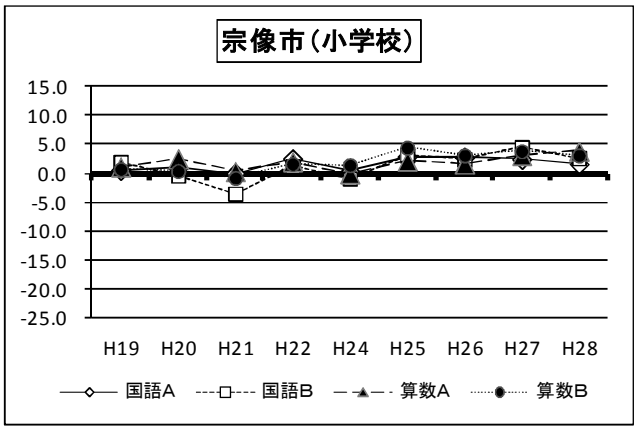
②　学習内容の定着を図る取組

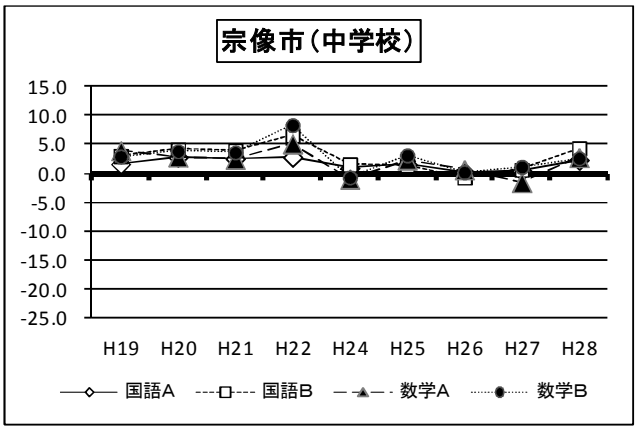
例：スキルタイムの実施、ノート指導、定期的な復習の実施

③　学習・生活のリズムを整える取組

例：宿題の目安「学年×１０＋１０分」、早寝・早起き・朝ご飯の取組の具体化

【宗像市】





【成果につながった取組の内容】

1　小中一貫教育における、確かな学力を育む教育活動の充実

①　各中学校区における小中一貫教育の推進

・校区の推進会議や部会（校長部会、教頭部会、主幹部会等）での課題の共有化
・学期に１回の授業交流会の実施（授業の後に授業整理会を設定。市の指導主事による指導）
・兼務教員制度の導入（中学校教員の専門性や小学校教員のきめ細かな指導の技術を小・中学校間で活用）
・学校の実態分析を基にした補充学習の実施、及び中学校区の小中学校の教員の交流
・中学校区における学習規律の共通理解

②　家庭・地域と連携した学力向上の取組

・毎月１０日を「学校の日」とし、保護者や地域に公開
「道徳」「学級活動」の授業を全学級一斉に年間に１度ずつ公開
・中学校の定期考査期間に合わせた、家庭学習の強化週間の位置付け
・地域のコミュニティ・センターでの学びの場としての「寺子屋」の実施（市の社会教育主事）

③　教育委員会における学校に対するサポート体制の充実

・４人の指導主事による、各中学校区の小中一貫教育の支援（担当校区の分担）
・４人の学園コーディネーターの配置による家庭や地域との協働
・２人の社会教育主事による、家庭や地域との協働を重視した小中一貫教育の推進
（ＰＴＡの研修での講師等による家庭教育の充実に向けた啓発）
・教職員の能力向上を図る、市教育委員会主催による教職員研修会の開催（年間９６回）

2　宗像市による学力向上支援事業の実施

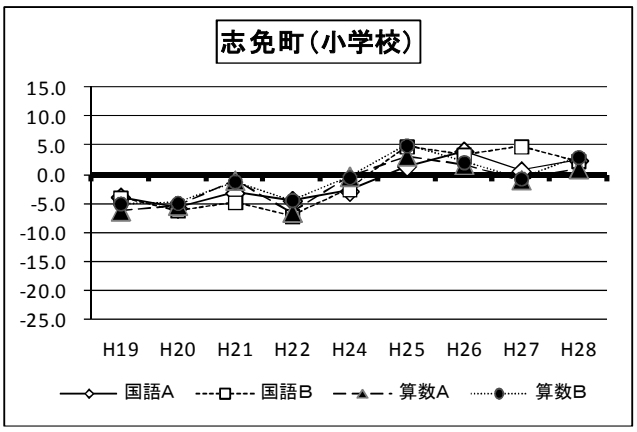
①　学力向上に向けた宗像市の人的、物的支援、事業

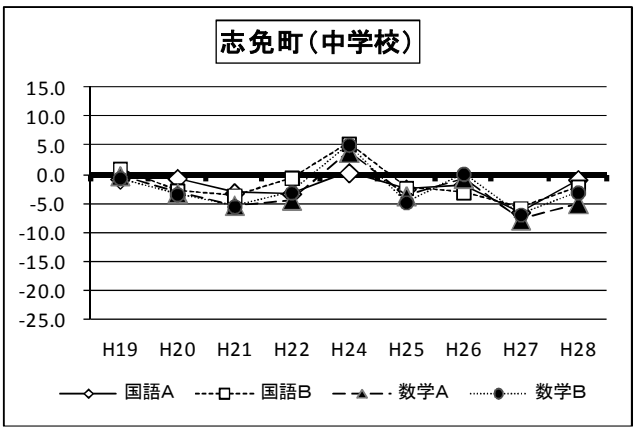
・２３人の学力向上支援教員を配置し、少人数指導やＴＴ指導等の充実を図った。
・各学校に電子黒板を４台、２校にタブレットＰＣをモデル配置し、ＩＣＴ教育の充実を図った。
・７人のＩＣＴ支援員を中学校区に配置し、ＩＣＴを効果的に活用するための支援を行った。
・各中学校区に１人（総数９人）のＡＬＴを配置し、小学校３年から外国語教育の充実を図った。
・小学生は日本語で、中学生は英語でスピーチする「スピーチコンテスト」を実施した。

②　福岡教育大学との連携事業

・宗像市教育委員会と福岡教育大学と連携を図るため連携コーディネーターを配置
・福岡教育大学と連携した実践研究を実施（ＩＣＴ、外国語教育、特別支援教育）
・福岡教育大学の教授との連携による研修会を１１回実施（教科の学習指導、学級経営等）
・福岡教育大学の学生ボランティア（延べ４，０００人程度）を活用した放課後補充学習の実施

【志免町】





【成果につながった取組の内容】

１　新スリーアップ運動

学力向上に向けて、ムラのない安定した取組を継続するための土壌づくりをするために、「授業づくり」「集団づくり」「習慣づくり」の３つの視点から重点的に強化する取組である。

①　授業づくりの取組

「授業づくり」では、基礎的・基本的な学習内容の定着や思考力・判断力・表現力を育成するために、個人で考えをつくり書き表す活動→書き表したことを基に自分の言葉で説明する活動といった一連の活動を意図的に仕組んでいる。

②　集団づくりの取組

児童生徒同士の好ましい人間関係づくりをベースとした「集団づくり」では、学級集団分析尺度ＱＵアンケートを年間２回実施し、活用している。活用に際しては、全職員の共通理解を図るためにＱＵアンケート結果に基づいたＲＶ−ＰＤＣＡサイクルを明確にした支援シートを作成し、協議する研修会を年間２回実施している。

③　習慣づくり

学習規律や家庭生活を含めた生活習慣の確立を図る「習慣づくり」では、授業における学習スタイルの確立や家庭学習の内容（家庭学習の手引き）等の統一を進めてきた。

２　学力向上検証委員会の機能化

学力向上のための学校組織の在り方や具体的な取組について、学力向上検証委員会を核として実地的・実践的な研修を行っている。

①　学力向上検証委員会実践交流会

年間２回、各学校の学力向上に向けた「新スリーアップ運動」の取組の成果と課題について、校長、主幹教諭、学力向上コーディネーターで実践交流会を行い、共通理解を深めている。各学校の実態を具体的に示し、小小連携、小中連携を意識した取組である。

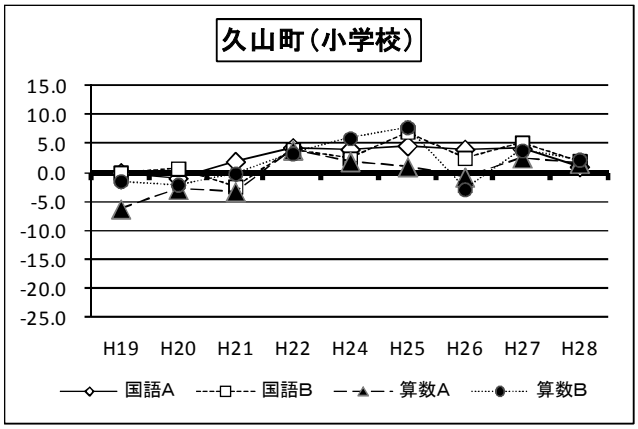
②　志免町教職員全員研修会

志免町教職員全員研修会では、中学校区別に研修会場を設け「新スリーアップ運動」に基づいた具体的な実践について協議している。

③　学力向上検証委員会先進校視察

年間２回、校長、主幹教諭、学力向上コーディネーター等で、学力向上で成果を上げている福岡県内の学校を視察し、学力向上のための学校組織の在り方等について研修を深めている。

【久山町】

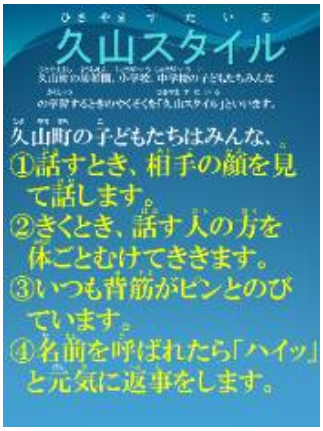


中学校は、公表対象外

【成果につながった取組の内容】

１　久山町教育力向上推進委員会の設置

久山町の地域の実情や課題に即して、２つの連携「幼稚園・小学校・中学校の連携」「学校・家庭・地域の連携」を通した「生きる力」及び「新しい時代に必要となる資質・能力」を育成するために、久山町の学校及び家庭･地域の教育力の向上を図り、４つの課題（学ぶ意欲の低下、自尊感情の低下、規範意識の低下、体力等の低下）を克服し、すべての児童生徒の確かな学力と豊かな心、たくましい体の育成を目指す。学力向上の取組としては以下の取組を実施した。



①　町内教職員全員研修会の実施

本町におけるめざす児童生徒像の共通認識及び教育施策についての共通理解を図るとともに、本町児童生徒の課題をもとに幼小中で取り組むべき具体的な取組について協議を行う。

②　町内幼小中統一した学習規律「久山スタイル」の徹底

話し方、聴き方に関する基本的な４つの観点を幼小中で統一し、徹底を図る。

③　「家庭学習のすすめ」の活用推進

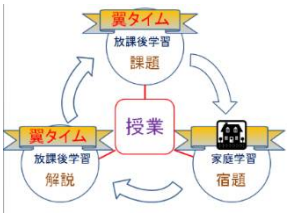
児童生徒の発達段階、学習内容等の目安、家庭学習例等を示した「家庭学習のすすめ」を幼小中児童生徒の全家庭に配布し、家庭教育の充実を図っている。

２　全国学力・学習状況調査及び県学力調査の結果を踏まえた分析報告会の実施

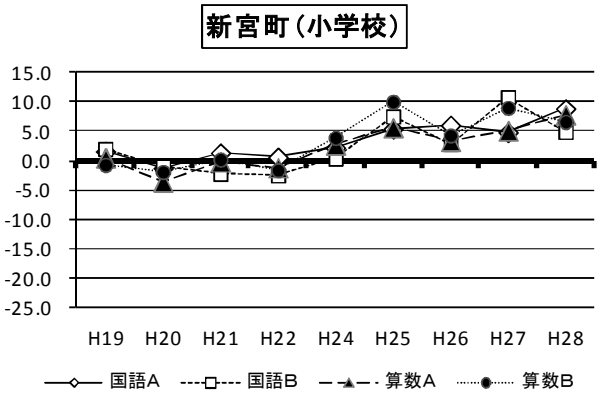
１１月に幼小中管理職、研究主任、学力向上コーディネーターを対象とした上記報告会を実施している。町全体及び各学校の調査結果分析を報告し、今後の学力向上の取組について交流・協議を行い、自校の学力向上の取組の参考としている。

３　中学校における放課後学習「翼タイム」を活用した家庭学習サイクル

毎日放課後の１５分間を宿題の一部分を行う「翼タイム」として設定している。この「翼タイム」での学習によって、生徒は宿題に関する学習内容が「半分かり状態」となり、家庭学習の見通しをもち、意欲的に取り組むことができるとともに、授業でその内容の定着を図ることができる。



【新宮町】



中学校は、公表対象外

【成果につながった取組の内容】

1　教職員の実践的指導力と意識改革の向上を図る研修会・協議会の実施

経験年数や職務内容に応じた専門的な指導力を高めるために、「研修会」と「協議会」を小中学校合同の形態で、連携・接続等の視点で年 35 回開催実施する（平成 22 年度～）。

①　実践的指導力の向上を図る「研修会」の実施について

公開授業や実践発表等の形態で、各学校担当者や若年教師を対象（町費職員を含む）に「ＩＣＴ活用について」「外国語活動の指導法について」「授業技術・学級経営について」「通級指導教室の指導について」「特別支援教育支援員の在り方について」の課題に応じた内容で行い、各学校における日々の授業改善につないでいる。

②　教職員の意識改革と組織マネジメント力の向上を図る「協議会」の実施について

実践発表や連絡会等の形態で、各学校の担当者を対象（町費職員を含む）に「校内研修について」「学年経営について」「特別支援教育について」「生徒指導について」「学力向上について」「心の教室相談について」等を年間３回実施し、「年間計画・中間報告・評価」についてそれぞれ周知し、各学校の運営等につないでいる。なお、研修会・協議会の講師については、ＯＪＴの推進に向けて、できるだけ町内校長、副校長・教頭等に依頼している。

2　児童生徒の学力向上に向けた調査・研究を行う会議の実施

児童生徒の学力向上や保護者・地域への啓発を図るために、各小中学校の学力向上コーディネーターを対象に、指導方法や指導体制の工夫改善等に係る研究及び効果的な諸施策を検討する会議『学力向上プロジェクト会議』を年３回実施している（平成 24 年度～）。

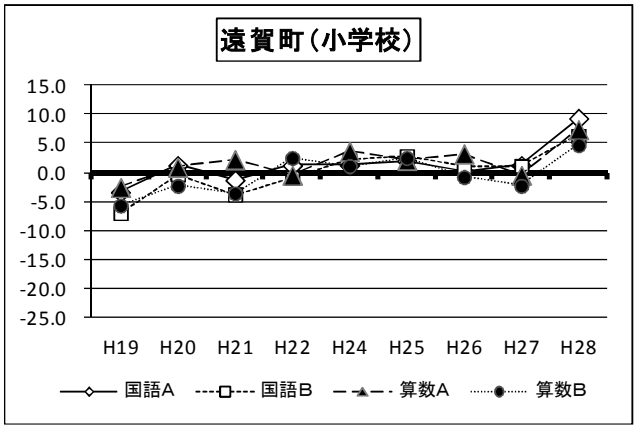
①　『家庭学習のすすめ』を活用した家庭学習強化週間の実施について

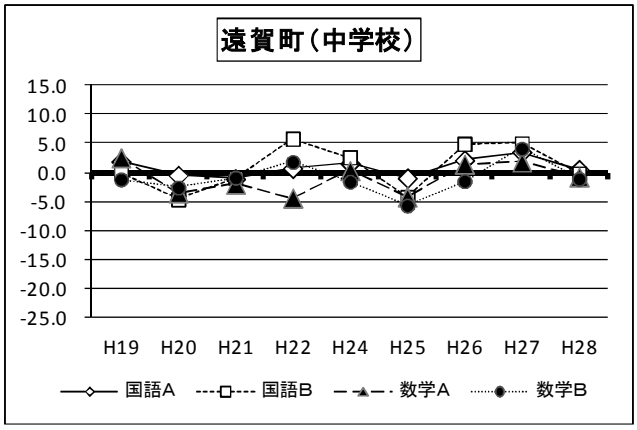
学校と家庭とが連携・協働しながら、学習の基礎をしっかりと身に付け、粘り強く家庭学習に取り組む児童生徒を育成することをねらいとして、６月下旬と１１月中旬のそれぞれ１週間（中学校の中間テストや期末テスト週)、『家庭学習のすすめ（小１から中３までの内容を合冊した手引き)』を活用した家庭学習強化週間を実施している（平成 24 年度～)。家庭学習強化週間前に、実行した時間や内容を記録し、保護者や担任が励まし評価することのできる「がんばりカード」を配布し、学習意欲を喚起する。実施後、「がんばりカード」のアンケート結果を集計し、教職員に対しては研修等で活用したり、保護者には参観後の学級集会や学校通信、児童・生徒には全校朝会で周知し啓発したりしている。

②　中学校入学準備課題『かけはし』を活用した取組の実施について

小中学校と家庭とが連携・協力を深め、規則正しい学習習慣や生活習慣を継続し、夢や目標を持って中学校入学を迎えることができるように、小学校卒業日から中学校入学日まで、中学校入学準備課題『かけはし』を活用した取組を実施している（平成 25 年度～)。

【遠賀町】





【成果につながった取組の内容】

１　小中連携による学力向上推進のための組織づくり

教育長、各校校長・教頭・主幹教諭、学校教育課長、指導主事で構成する「遠賀町小中学校連携教育協議会」を設置し、学力向上に関する有効な施策の策定及び成果の検証に当たっている。また、具体的な取組計画を立案するために、担当校長・教頭、各校主幹教諭で構成する「小中学校連携教育プロジェクト委員会」を設置し、その下部に「学習指導部会」「生徒指導部会」「特別支援教育部会」の３部会を置き、各組織で「何を」「いつまでに」「誰がするのか」を明確にして、学力向上に係る具体的取組の徹底と実践を推進している。このことにより、人事異動等で担当者が代わっても、組織の機能が揺るがないようにしている。

２　小中連携による学力向上の具体的な取組

本町児童生徒の学力・学習状況、アセス（学校適応感尺度）等の実態に基づき、育成すべき学力向上の指標及び具体的な取組内容を設定するとともに、その達成のための「授業づくり」と「基盤づくり」等を位置づけた「遠賀町学力向上プラン」を作成し、各学校の取組の基盤としている。

①　学力の定着を図る授業づくり

・アクティブ・ラーニングを基本とした小中学校で共通した「授業づくりの視点」を設定し、各学校で授業実践とその検証を行っている。

・「ノー部活デー」に合わせた小中合同授業研修会を、年間を通して計画的に実施し、本町が目指す「授業づくりの視点」についての共通理解の深化と、教職員の授業力の向上を図っている。

・学力の定着度合いを日常的に把握し、授業改善に生かすための学力検証改善サイクルを町及び各学校で構築している。

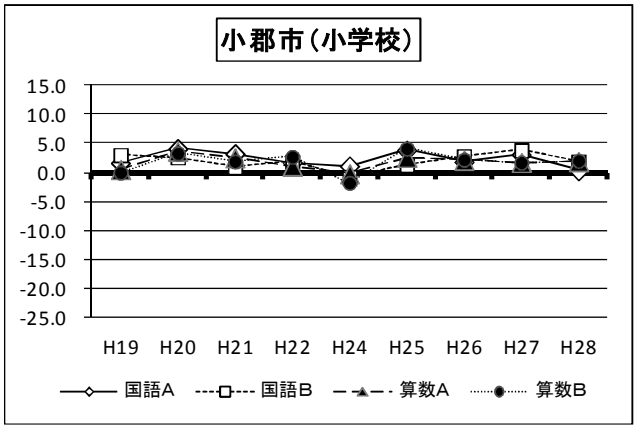
②　学力向上の基盤づくり

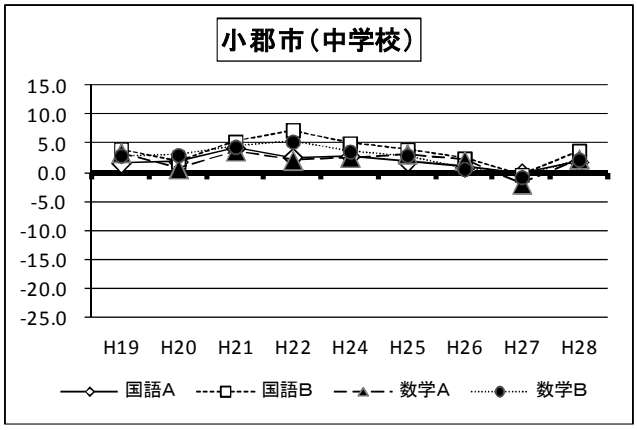
・学習習慣や基本的生活習慣の定着を、学校・家庭・地域が一体となって取り組む体制を整備するため、各学校で早寝・早起き・朝ごはん等の基本的生活習慣の確立に向けた取組を行うとともに、「家庭学習の手引き」「授業規律（授業の約束）」「携帯・スマホのルール」を作成・配布し、遠賀町として取組の徹底を図っている。

・習熟度別少人数学習の実施、補充学習時間の設定、「家庭学習がんばり週間」の定期的な実施等を行い、基礎学力の確実な定着を図っている。

・夏季休業中等に各学校の実態に応じて、児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る補充教室を実施している。

【小郡市】





【成果につながった取組の内容】

1　学力向上に係る検証サイクルの構築

各学校が学力実態を分析し、ＰＤＣＡのマネジメントサイクルをもとに、学力向上に取り組むことができるように支援を行う。

①　各学校におけるＰＤＣＡサイクルの推進

学力向上推進委員会を開催し、各学校の学力向上プランの作成・実施状況・評価改善について交流する。また、市としての分析の結果から授業改善の方策として「活用する力を育成する授業づくり」の実践集を作成し、学力向上プランに位置付けた日々の授業実践を推進する。

②　各学校の組織的な課題解決に向けた取組の推進

各学校の学力向上に向けた諸方策と取組について、校内研究担当、各教科担当（国語・数学）から報告を受けるとともに、効果的な取組等について協議及び指導助言を行う。

2　学力向上のための組織的な取組の推進

各学校が、全職員で課題を共有し、組織的な取組ができるように支援する。

①　学力向上に係る取組の方策の決定（資料１）

校長会において、各学校の学力の実態と分析の結果を明かにし、全小・中学校で取り組む学力向上に係る取組の方策を決定し、推進する。

②　学力低位層の児童生徒の学力向上に向けた授業の充実

各学校の学力低位の児童生徒のための習熟度別学習の推進及び補充学習の充実のための資料集の提供や担任と担任外が連携した取組について、効果的な取組の紹介や指導助言を行う。

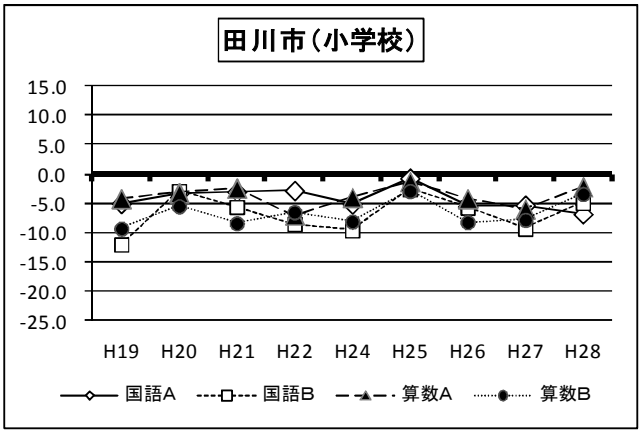
（資料１）【学力向上に係る取組の方策】

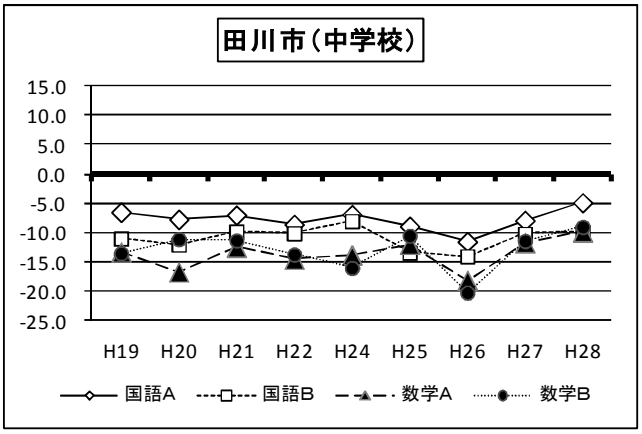
方策１	学力低位層の児童生徒の実態を把握して、習熟度別学習及び補充学習に取り組む。
方策２	全ての教員が、校内研修等において、本年度の全国学力・学習状況調査問題を解く機会を設定する。
方策３	学校全体で基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける学習と活用する力を育む学習を計画的に位置付ける。【小】 定期考査の一部に活用問題を取り入れる。【中】
方策４	授業等の中で、全国学力・状況調査の問題や、「基礎基本を含む活用力を育成する教材集」等を活用した取組を行う。
方策５	これから求められる学力等について、指導主事等外部講師を招聘して校内研修等を行い、授業改善を図る。

3　授業力を高める研修の充実

国立教育政策研究所から国語、算数の学力調査官を招聘し、これから求められる学力及び各教科の授業力向上につながる授業改善について研修を実施する。

【田川市】





【成果につながった取組の内容】

１　田川市教育委員会の研究指定・委嘱事業の実施

田川市学習生活調査等の実施により、個の学力向上の阻害要因を的確につかみ、学力向上をめざす方向性と課題を明確にし、授業改善を進める「田川市学力向上プロジェクト」に取り組んできた。

①　研究指定及び報告会の実施

毎年、２校区を指定（研究期間３年）し、校区ごとに「学力向上プロジェクト報告会」を実施。このプロジェクト報告会には市内全小中学校の教員が参加。

②　学力向上プロジェクト研修会の実施

講師を招聘しての市内全教職員を対象とした研修会の実施及び学力向上策評価結果や保護者セグメント結果等をもとに管理職・学力向上担当者を対象とした研修会を実施。

２　市費任用講師等の人的配置

ユニット制等を含む少人数分割授業や習熟度別学習を進めていくために市費任用講師を配置し、学力向上に取り組んできた。

①　少人数指導教員配置による３５人以下学級編成

平成２３年度から順次導入し、現在では市内全ての小中学校が３５人以下学級で学級編成。

②　市費講師等に対する指導方法に関する研修会の実施

市費任用講師の指導力向上のための市独自の研修会を実施。

３　重点課題を絞り込んでの取組

教育委員会が取組を重点化し、「全校で共通にやる」という方針を出していくことで、基礎的な学力向上をめざし取り組んできた。

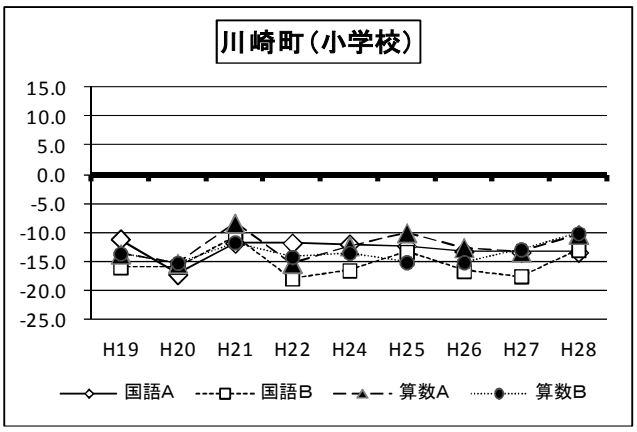
①　学力向上策の重点化

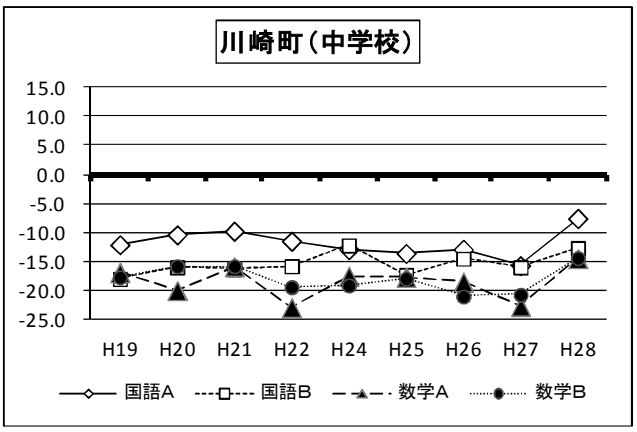
「頑張る」→「伸びる」→「意欲を持つ」→「さらに伸びる」…というプラスのサイクルを作るために、算数・数学の「数と計算」領域に取組を特化。また、実態調査をもとに未定着の類似問題を徹底して実施。

②　検証委員会の実施

各学校作成の「学力向上策」評価結果をもとに検証委員会を開催。

【川崎町】





【成果につながった取組の内容】

1　川崎町学力向上検証委員会・学力向上対策委員会の取組

各学校の学力実態等を分析し、川崎町学力向上推進プランに基づいた取組内容の交流、研修会等を行い、児童生徒の学力向上のために全職員が共通理解を図るとともに取組への意識を高める。

○　小中連携の推進

(1) 授業改善

中学校区毎に小・中学校合同の授業公開を各１回以上行い、言語活動の充実や主体的・対話的で深い学びを目指した授業研究を実施している。

(2) 学習規律の徹底

特に中学校の生徒指導において組織的な取組を行い、小・中学校で学習規律をそろえ徹底を図っている。

(3) 家庭学習の充実

小学校は「家庭学習のやくそく」、中学校は「家庭学習の手引き」を作成・配布し、小学校では宿題、中学校では自学に取り組ませ、家庭学習習慣の定着と充実を図っている。

(4) 学力アップタイムの取組

全小・中学校で学力アップタイム（朝の時間）を設定し、計画的・継続的に学習を行っている。

2　学力向上の主要施策

学習習慣の確立と基礎・基本の確実な定着を目指して、放課後学習を実施する。

①　チャレンジ教室

小学校３年生から６年生を対象に、各学年が毎週１回１単位時間程度、補充学習(全員)を実施している。

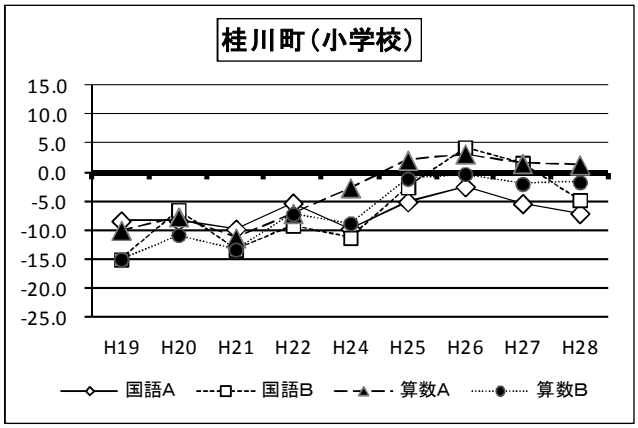
②　学びっ子教室

小学校１・２年生を対象に、毎週３回（１時間程度)、宿題等の学習を行う放課後学習を実施している。地域の学習ボランティアによる個別指導が中心である。(社会教育の「学び道場」事業)

③　課外授業

中学校３年生を対象に、毎週１回、放課後(２時間程度)、数学・英語の習熟度別補充学習(希望参加)を実施している。

【桂川町】



中学校は、公表対象外

【成果につながった取組の内容】

１　教員の指導力向上のための研修

桂川町の児童生徒の学力向上に資するため、各学校の学力実態を分析し、学力向上プラン及び取組内容を交流することにより、全教職員で共通理解を図って取組を進めるようにしている。

①　町学力向上検証委員会での取組

町の学力向上プランの共通理解を深めて、取組の重点化を図っている。また、「基礎基本を含む活用力を育成する教材集」や「診断テスト」の活用の仕方についても交流している。

②　年３回の教職員合同研修会の実施

町長の町づくり構想、教育長の教育方針、教育力向上に関する講話、学力向上に関する各学校からの報告、小中合同会議等の内容で、町の教職員が一同に会して研修することで、共通理解及び小中連携を図っている。

③　校内授業研修の交流

「桂川町教育総合推進事業(28・29 年度)」を実施している。小中学校の全教員が年に１回は異校種の研究授業を参観し協議会にも参加する場を設定することで、教員の授業力の向上を図っている。

２　家庭学習推進の取組

家庭学習の定着のため、ＰＴＡと連携して手引等を作成し、児童生徒・保護者に配付することで家庭学習の質と量の改善を図っている。

①　手引き等の改訂・配付

・家庭学習の確かな定着のため、「家庭学習のすすめ」(小学校低学年版、中学年版、高学年版、中学校版)を作成し、児童生徒に配付している。
・「家庭学習の手引き(全 16 ﾍﾟｰｼﾞ)」を作成し、保護者に配付している。
・小中で一貫した「学習のきまり」を作成し、児童生徒に配付している。

②　家庭学習の啓発

家庭学習の充実に向けて各学校の取組の交流を行ったり、ＰＴＡと連携して手引きの活用等を支援したりして家庭学習の確かな定着を目指した取組をすすめている。

３　土曜授業などの課外授業の実施

土曜日の教育活動の充実のため、地域人材を活用した児童生徒への学習の機会を提供している。

①　土曜授業の年６回の実施

清掃活動等の奉仕的活動や「マラソン大会」「スポーツ集会」「校内スポコン大会」等の体育的活動、文化発表会等、地域に開かれた教育活動を行っている。

②　夏季休業中の特別授業の実施

各小中学校で「算数強化講座」や「夏季特別授業」等を夏季休業中に３～５日間実施している。

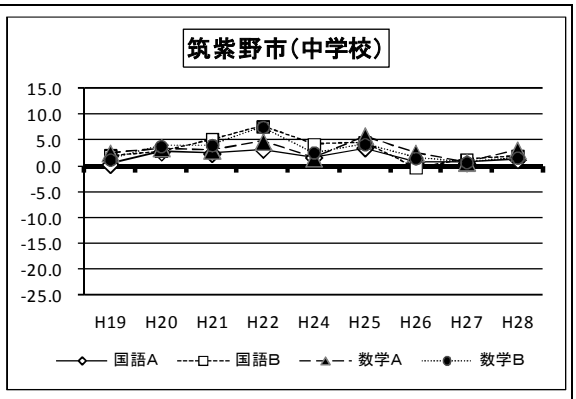
③　土曜学習教室の実施

希望者を対象に第２・第４土曜日の午前中に、年１６回の「土曜学習教室」を開催している。特に、中学校では基礎コースや応用コース等に分かれた学習を行っている。

(3) 特に中学校において成果が見られる市町村の取組

【筑紫野市】

【成果につながった取組の内容】



1　小中連携教育の取組

① 中学校区ごとの市委嘱の研究指定

平成２６年度から、小中連携教育の充実を図るため、市指定の研究委嘱を中学校区ごとに指定をすることで、小中９年間を通した授業改善の取組の充実を図っている。（現在５中学校区中、３中学校区指定、本年度筑紫野南中学校ブロック発表）

② 学習習慣と基礎的・基本的な学力と活用の学力を身に付けた子どもを育成するための取組

ア　家庭学習強化週間

家庭学習に向かう雰囲気づくりや定着、充実を図るために、中学校の定期考査期間に合わせ、小中連携の取組として中学校区ごとに家庭学習強化期間を設け、保護者の協力を得ながら取組を行っている。また、家庭学習のすすめ等、リーフレットの作成等行い、啓発を図っている。

イ　小中連携教育中学校区部会全員研修会

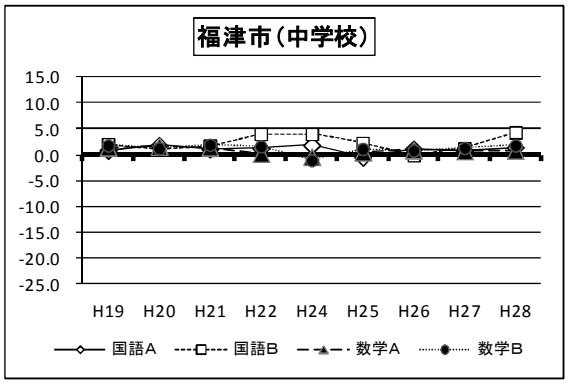
中学校区部会で、「確かな学力」育成のための小中連携カリキュラム、学習基盤づくり、生徒指導等についての協議を行うこと通して、全職員での共通理解、共通方策、共通実践を行う場を設定している。また、小中合同の授業研修会等も実施し、小中９年間を通しての学力向上の在り方、授業力向上を目指している。

2　全国学力・学習状況調査、学力診断テスト等の実施・分析・授業等における活用

全国学力・学習状況調査等の学力検査について、結果から学力の実態を分析し、課題を明確にするとともに、授業や補充学習等での活用の在り方を校内研修会で共有し、共通実践を行うようにしている。また、市小中学校全体の効果的な取組を行うために、教務担当主幹教諭、研究主任、学力向上コーディネーターを対象とした「学力向上推進研修会」「確かな学力育成研修会」等の市主催研修会を実施し、各学校の取組に生かしていくようにしている。

【福津市】

【成果につながった取組の内容】



1　市統一調査の実施・学力向上への意識高揚

学力課題分析のための学力調査の実施と学力向上に向けた意識の高揚を図った。

① 市統一学力調査の実施（学力分析・対策）

４月中旬、５教科の学力調査（業者テスト）を実施し、自校の学力分析をもとに授業改善の視点について全職員で共通理解を図った。

② ＱＵテストの実施（学級集団・学習環境づくり）

年２回のＱＵテストを実施し、市統一検証サイクルのもと全職員で学級集団や個別の課題について要因分析し、改善策の実践、検証・改善による学習環境づくりから学び合える環境をつくった。

③ 学力向上に向けたメッセージ文による生徒の学力向上への意識の高揚

全国調査の目的を含めた学力向上に向けたメッセージ文を作成し、全学級に届くよう発信した。

2　学力向上に向けた取組

学力差や学力向上の取組の差をなくすために市内統一の学力向上の基盤づくりを行った。

① 福津市学力向上スタンダードの徹底（学力向上検証改善サイクルの構築）

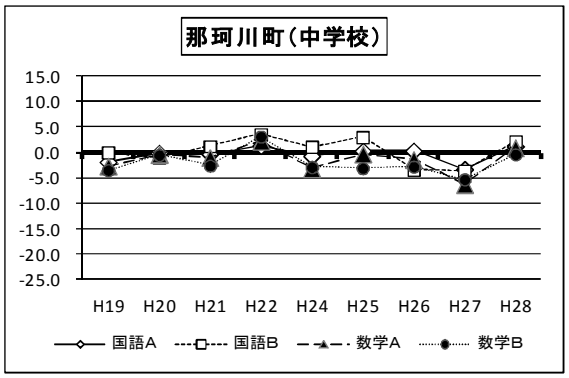
「学力向上の基盤づくり」「基礎基本を含む活用力を育てる授業づくり」「家庭学習の充実」「個別指導の充実」「評価と改善」の５つの視点をもとに統一し、学力向上の検証・改善を図った。

② 診断テスト及び教材集の活用の連絡会（中学校第２学年国語、数学担当者対象）

教材集や全国学力調査問題を活用した効果のある授業実践の成果などについて交流した。

【那珂川町】

【成果につながった取組の内容】



1　個に応じた指導への取組

生徒の基礎的・基本的な知識・技能の習得や個に応じた指導を充実させるために、次のような取組を行っている。

①　講師等の配置

各中学校に町独自で数学科の常勤講師１人を配置して少人数によるきめ細かな指導を行うとともに、地域の人材活用による長期休業中の補充学習で学力向上を図っている。

②　特別支援教育支援員及びＳＳＷの配置

特別な支援を要する児童生徒の生活や学習上の困難を改善、克服するため、特別支援学級で在籍児童数が７名以上の学級に対して１名の特別支援教育支援員を町の予算で配置して適切な指導及び支援を行っている。

2　小・中連携した学力向上のための組織的な取組

小･中が連携し学力向上のための指導を充実させるため､町として組織的な取組を行っている。

①　町指定の授業改善研究大会の実施

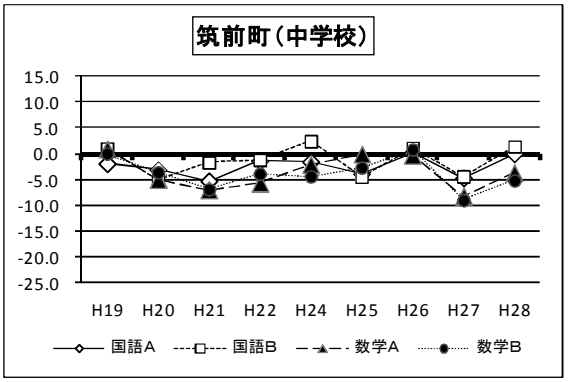
授業改善に向けた授業改善研究大会を町内各学校の輪番で開催し、町内教員全員参加による小・中合同研修会として位置付けることで、教員の授業力向上を図っている。

②　町小・中学力向上推進委員会における学力調査結果の分析・検証

専門部会（教務担当）・検証部会（教頭会正副会長、教務担当代表）・校長会において、各学校における学力向上の取組状況を具体的に把握し、課題に応じた改善の取組を町立小・中学校が統一的・系統的に推進している。

【筑前町】

【成果につながった取組の内容】



1　指導力向上のための研修会等の実施

町内の小中学校が同じ観点から学力実態を分析したり、小中学校の学びの連続性が確保できるようにしたりするために、研修会等を開催している。

①　学力実態分析部会の開催

町と学校の全国学力調査結果の分析と授業改善の方策を考える会を設けている。

・実施時期：１０月と１１月（２回）
・メンバー：筑前町指導主事（２名）及び各学校の学力向上コーディネーター（６名）

②　小中合同研修会の開催

中学校区内の小中学校の教員が相互に授業を参観し、小中学校間の指導方法や学び方、授業規律等について協議し共通理解を図っている。

2　学習意欲を高める授業改善・校内研修の取組

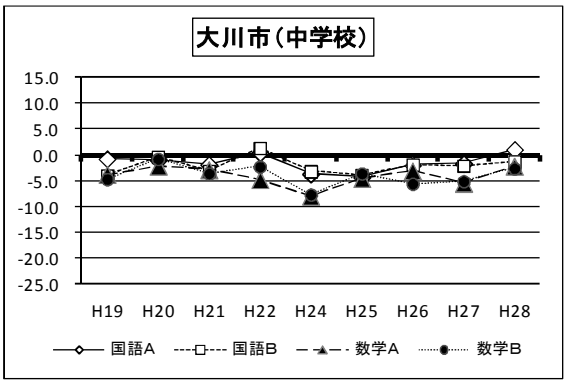
生徒の学習意欲を高め分かる授業づくりのために、全員参加の校内研修に取り組んでいる。

○　ユニバーサル・デザインの視点からの授業改善

学習内容の理解を確かなものとするために、考えを書かせたり、他者に伝えたりする学び合いの工夫に重点を置いた授業づくりと公開授業を通じた全員参加の校内研修を実施し、教科の枠を超えた統一感のある校内研修に取り組んでいる。

【大川市】

【成果につながった取組の内容】



１ 「大川市保幼小中連携事業」

① ねらい

市の研究指定を受けた４つの中学校区（中学校１、小学校２）が共通の研究主題を設定し、授業改善と学力向上等を目指す。

② 概要

平成１９年度より、２年ごとに校区の共通の課題から研究主題を設定し、授業改善や生活習慣、規範意識等の向上に取り組んでいる。

２年目は、市内全小中学校に研究の成果と課題について発表を行っている。

③ 具体的内容

ア 小中の交流授業と研究発表

小中の授業交流を活発に行い、特に中学校では、授業での「話す、聞く」技能を育むコミュニケーションを積極的に取り入れている。また、市内外の指導主事等を招聘し、授業改善を行っている。

イ 児童生徒の交流活動

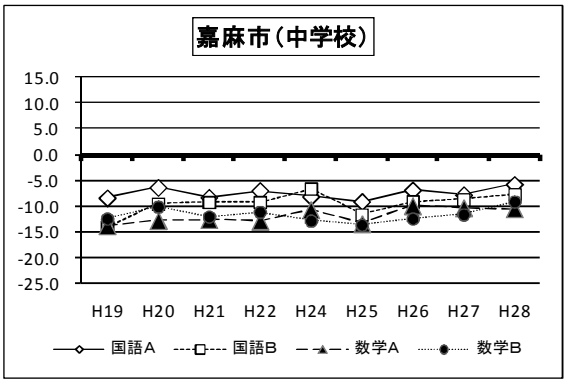
中１ギャップ解消に向けた中学校教師による出前指導（授業）、学校行事等での小中児童生徒の交流を通して、安心して入学できる体制づくりを行っている。

ウ 小中の人事交流

主に、主幹教諭を中心とした小中の人事交流を行い、特に中学校では、小学校の教育課程編成や研究を取り入れ、教職員の意識改善を行っている。

【嘉麻市】

【成果につながった取組の内容】



１ 組織的な取組の推進

個に応じたきめ細かな指導を組織的に進めるために人的配置を行っている。

① ３０人以下学級の整備

平成２３年度より、全ての学級を３０人以下学級とし、少人数指導特別教員を配置している。

② 学力向上推進員の配置

中学校区に１名ずつ、合計５名の学力向上推進員を配置し、各学校の取組に関する指導助言や若年層への指導を行っている。

２ 授業改善

わかる・できる授業を実践するために以下の会を開催している。

① 中学校教科教育研究会

年間４回、教科ごとの研修会を実施し、「書く活動」を手立てとした授業づくりを研究している。

② 市委嘱研究指定

中学校区で３年間の研究を行い、３年次に研究発表会を実施している。

３ 学校外補充学習

基礎基本の定着の強化と家庭学習の習慣化を図るために学校外補充学習を推進している。

① 嘉麻市土曜未来塾

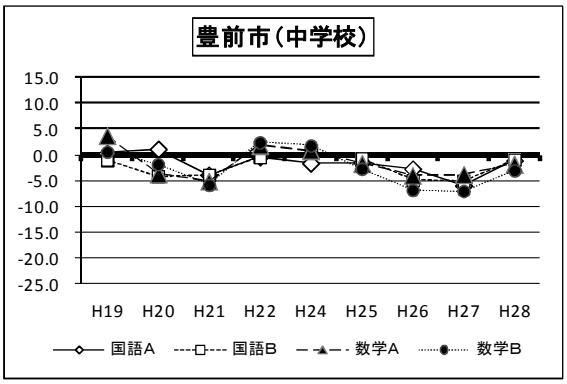
小学校５・６年生、中学校全学年を対象として、土曜日に各地域で実施している。学力向上推進員が中心となって指導し、学習サポーターとして地域住民や大学生等を充てている。

② 補習学習の確保

長期休業中や放課後における補習学習を各学校で行い、その際、上記学習サポーターを活用している。教育課程に全職員で指導に当たる補充の時間を設定している。

【豊前市】

【成果につながった取組の内容】



１　研修会等の実施

各種学力調査を軸とした検証改善サイクルを活性化するための対象者別研修等を実施している。

①　豊前市学力向上推進会議（年２回）

学力向上コーディネーターを対象とし、１回目は標準学力検査（市費で全学年実施）等調査結果の提示→改善策の共有、２回目は取組状況について協議→講師による指導助言という内容で実施している。

②　豊前市教務主任研修会（年２回）

教務主任を対象とし、１回目は全国学力・学習状況調査等調査結果の提示→改善策の共有、２回目は取組状況について協議→次年度学力向上プラン及び指導計画書の改善についての確認といった内容で実施している。

２　学力基盤づくりの取組

・　市教委指導主事及び各学校代表者で家庭学習と学習規律に関するリーフレットを作成して市内各小・中学校に配布している。また、リーフレットの活用状況を報告・交流しながらリーフレット及び取組の改善を図るようにしている。

・　「早期からの教育相談・支援体制構築事業」の取組の一環として、特別支援教育の視点及び生徒指導の機能を生かした授業づくりの内容を盛り込んだ研修会を繰り返し実施している。

(4) 成果が見られる学校の取組

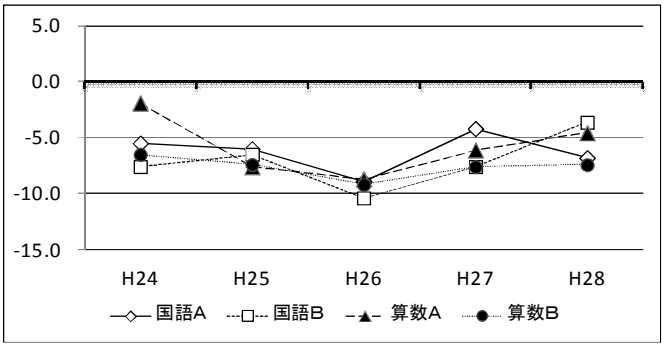
基礎学力向上タイプ・小学校

「授業づくりを基にした学校体制づくり」

〇学校の特徴

全校児童数６００名以上、教職員数約５０名、特別支援学級を含め学級数２０を超える学校である。教職員の構成は、教職経験が少ない若年教員や講師の占める割合が大きい。児童が落ち着いた学習環境のもと、主体的に学習できるよう、教職員が協働して指導を行っている。

〇全国平均正答率との差の経年変化



１　成果が見られた主な取組の内容

児童が日常の授業を中心に、基礎的・基本的な学力を確実に身に付けることができるように、全教職員が児童の学力実態とその要因を共有し、協働して学習指導を行った。

①　板書の統一

児童が見通しをもって問題解決に取り組み、学習した内容を確実に理解できるよう、板書を３分割し、黒板左側には「めあて」、真ん中には問題解決や児童の思考の過程、右側には「めあて」と整合した「まとめ」を書くようにし、算数科を中心に板書のパターンを統一した。

②　個の課題に対応したきめ細かい指導の実施

基礎的・基本的な学力の定着と併せて、学校が作成した算数科到達度テストを各学年で学期初めに実施し、個別の実態分析により、帯時間等を活用して学力低位の児童を中心に個の課題に応じた指導を行った。

２　取組を充実させるためのポイント

①　校長の方針を具現化する体制づくり

教職員の経験年数や指導力等を勘案して学力向上推進部会の組織を編成し、学力向上の取組の成果や改善点について、学期に１回程度のスパンでＰＤＣＡサイクルにより協議を行うことで、組織を機能させ、より効果的な取組を行う体制をつくっている。

②　日常の実践に活用できる校内研修の内容選定

教職経験が少ない若年教員の学習指導力を高めるために、本校の課題や学力向上の取組の意義や方法を説明している。また、家庭学習や補充学習等の計画、実施、評価、改善について、いつ、だれが、何をするのかを計画に示すことにより、各自が自覚と責任を持ち、協働実践しようという意識を持って取り組むことができる仕組みを整えている。

③　学習支援員や学習ボランティアの活用

市雇用の学習支援員や保護者ボランティアを活用し、児童の学習を見守ったり支援したりする学習環境を整備している。

３　今後の展望

全国学力・学習状況調査の正答率が、全国平均に達することができるよう、基礎的・基本的な学力の定着を図る指導について、現在の取組を継続していく。また、児童の実態や到達度テスト等の検証により、取組内容を精選し改善を図っていく。

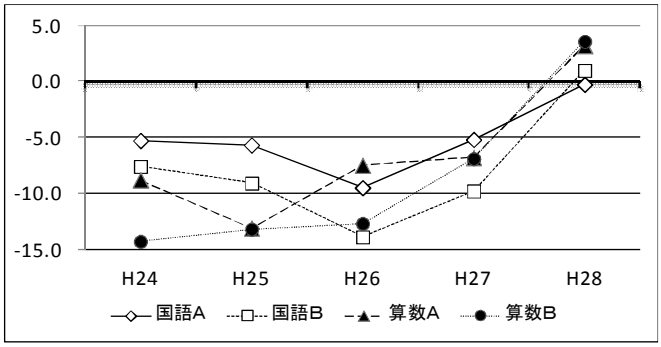
基礎学力向上タイプ・小学校

「授業の基盤となる基礎学力の向上に向けた組織的な取組」

〇学校の特徴

全校児童数３００名程度、各学年２学級、教職員数３０名程度の学校である。これまでの取組を通して基礎学力は定着しつつあるが、個人差が大きい。また、職員の年齢構成における二極化の状況の中で、協働性の構築、人材育成を図りながら、学力向上への取組を推進している。

〇全国平均正答率との差の経年変化



１　成果が見られた主な取組の内容

基礎学力の向上を図るために、日常の授業づくりを支える「学力の基盤づくり」の取組を組織的に推進している。

①　思考の基盤をつくる学び方の指導

１単位時間の授業の中で、必ず自分の思いや考えを言葉、式・図・表（絵等を含む）を用いて「かく活動」や「話し合う活動」を設定している。その際、児童に自分の考えをつくるための活動順序や思考方法を示した「考えのつくり方カード」やペア交流の仕方やペア交流による考えのつくり方を示した「ペア対話カード」を持たせ、学び方の指導を行っている。また、学習の流れが一目でわかるノート指導の取組を徹底して行っている。

②　チャレンジノート（自学ノート）

学び方を育むために、チャレンジノート（自学ノート）を使った自主学習の取組を継続的に行っている。「基礎基本の力をつけるためのメニュー」や「活用力をつけるためのメニュー」を示した家庭学習の手引きを配布している。各自、２つのメニューから自己選択させ、自主学習に取り組ませている。また、担任による評価を必ず行い、児童の参考となるチャレンジノート（自学ノート）を掲示している。

③　個に応じた指導

個に応じた指導を工夫していくために、指導方法工夫改善教員と担任とが連携して日々の授業づくりに取り組んでいる。指導方法工夫改善教員を低中高学年に１名ずつ配置し、特に算数科においては、学力の分析から重点単元を決め、習熟度別学習や補充学習での活用を図っている。

２　取組を充実させるためのポイント

取組の充実に向けては、大きく２点が特徴的である。

一つは、人材育成である。ＯＪＴによる若手教員の授業力の向上を図ることができるように、学年や校務分掌において、中堅教員と若手教員を組み合わせた組織づくりを行っている。二つは、校内における推進委員会の組織づくりである。「授業づくり」に関する校内研究推進委員会、「学力の基盤づくり」に関する学力保障推進委員会との連携を図っている。

３　今後の展望

今後、家庭学習と授業との接続を図ることができるように、復習を中心とした家庭学習の手引きでだけでなく、予習ができる家庭学習の手引きの作成及び配布を考えている。

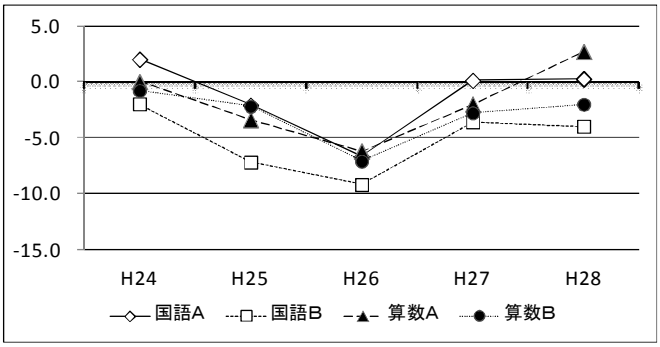
基礎学力向上タイプ・小学校

「共通視点をもった授業づくり」

○学校の特徴

全校児童数約４００名、学級数１８（特別支援学級３学級を含む）に通級指導教室１学級の学校である。教員は講師、助教諭を含め約２０名で、初任研、経２年研、経５年研など基本研修対象者が７名在籍している。そのため、同学年や学校全体で授業改善に取り組む頻度が高い。特別支援教育の視点に立った授業づくりの研究に取り組んでいる。

○全国平均正答率との差の経年変化



１　成果が見られた主な取組の内容

基礎学力の向上と個のニーズに応じた「わかる」「楽しい」授業づくりをすすめるために、特別支援教育を視点（ユニバーサルデザイン）とした授業改善を全校で推進するとともに、習熟度別・課題別学習の計画的推進、スキルタイム（漢字・計算）の設定・充実・評価を行う。

①　ユニバーサルデザインの授業改善

ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりの工夫として、「授業基盤の工夫」「授業構想の工夫」「授業運営の工夫」を取り入れている。児童への刺激を軽減する教室環境の整備や「日常的ソーシャルスキルの実践」など、全校で統一して授業の基盤づくりの取組をすすめている。また、ねらいを焦点化する授業構想やＩＣＴを活用した授業運営といった教材研究や指導技術に関する校内研修が、若年教員の指導力向上につながっている。

②　重点単元の設定と習熟度別・課題別学習の取組

個に応じた支援の充実のために、各種テスト等の分析をもとに、中学年の算数科を中心に重点単元を設定し、２学級を３分割するなどの少人数指導や習熟度別指導を計画的に行っている。

③　スキルタイムの設定・充実・評価の取組

基礎・基本事項の定着のために、朝のドリルタイムを設定し、算数、国語の基礎的事項の定着、活用力の育成問題（４・５・６年）等を行う。また、毎月第４水曜日６校時を「○○タイム」として、中・高学年の学力向上の取組に充てている。学習した内容を「チェックテスト」「国語・算数診断テスト」において評価すると共に、授業改善に生かすようにしている。

２　取組を充実させるためのポイント

全校でユニバーサルデザインの視点から授業づくりがすすめられるように、研究推進委員会に特別支援コーディネーターを入れるなど一貫した取組が、職員の協働性や授業改善の効果的推進につながっている。さらに、校長の方針を受け、教務担当主幹教諭が中心となって「スキルタイム」の設定・評価などを推進しており、基礎学力向上の取組のＰＤＣＡサイクルが確立されている。

３　今後の展望

児童の学校生活での変容を教職員が実感できていることで、職員間の同僚性や授業改善への意識が向上している。家庭学習の進め方を保護者と共通理解することや学校の取組の評価を保護者にも依頼するなど、家庭との連携に向け取組をすすめている。

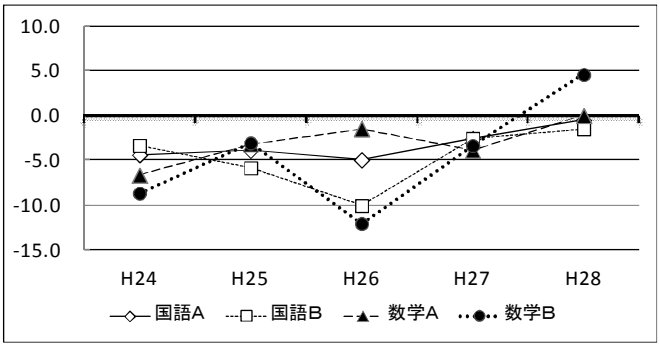
基礎学力向上タイプ・中学校

「教科における言語活動の充実を図る指導の工夫」

○学校の特徴

全校生徒数約５００名、教職員数約４０名の学校である。福岡県重点課題研究指定・委嘱事業を受け、町内小・中学校で学力向上に取り組んでいる。その結果、平成２６年度から着実に学力が伸び、本年度は、国語Ｂが若干全国平均を下回ったものの、その他は県平均、全国平均と同等または上回る結果となった。

○全国平均正答率との差の経年変化



１　成果が見られた主な取組の内容

生徒にどのような資質・能力を身に付けさせるべきか、生徒の実態から要因分析を行い、基礎的・基本的な知識・技能を活用する力（思考力・判断力・表現力）を育てる学習指導を全教科等で取り組んできた。また、このことは○○町全体の研究組織（研究推進３部会）から、全小中学校及び○○町教育委員会で組織的に実践されている。

①　３つの言語活動を取り入れた授業づくり

「自ら学び・考える力」を育成するために、言語活動を効果的に取り入れた授業づくりを全教科等で具現化している。授業の導入段階において、生徒一人一人が自分の考えをつくる言語活動①、そして、展開段階で、その考えをペアやグループで交流して学びを深める言語活動②、さらには、終末段階で学習を振り返り、学びを確かめる言語活動③を仕組んでいる。

②　模擬授業を取り入れた事前の指導案審議（校内研修）

毎年５月、研究主任による代表授業研を行い、研究主題に係る手だての有効性について共通理解を図り、各教科で取り組むことを明らかにしている。さらに、指導主事等を講師に招聘し、模擬授業（参加者が生徒役となる）を取り入れた事前の指導案審議を行い、授業改善について協議する校内研修を行っている。

③　少人数指導による学習環境づくり

少人数加配教員による少人数指導の充実を図っている。特に、学力の二極化に対応するために、数学・英語の教科で、複数教員による個に応じた指導を行っている。

④　「確かな学力」を身に付けさせる補充学習

夏季休業中に、数学と英語の強化講座を実施した。基礎・基本の定着に課題がある生徒を中心にコース編成を行い、小学校及び中１の内容の学び直し（基礎コース）から、発展的な内容の学習（発展コース）を習熟度に応じて行った。

また、朝自習活動や放課後の補充学習にも学年で指導体制をつくり、熱心に取り組んできた。

２　取組を充実させるためのポイント

「凡事徹底」「誇れる○○中へ」を合い言葉に、学習の基盤となる学習規律を徹底させてきた。学校の重点目標達成のために、各分掌、各学年、各教科、それぞれで行う指導内容を具体化し、焦点化して取り組んできた。特に、言語活動の充実を図る指導については、全職員で、授業改善を核に取り組んできた。

３　今後の展望

○　入試改革を念頭に、定期考査の内容の見直しから授業改善を図っていく。

○　共に学び合い、高め合う集団づくりを強化していく（学年経営、学級経営）。

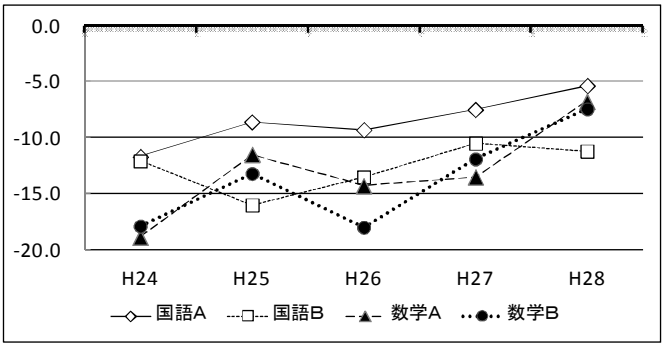
基礎学力向上タイプ・中学校

「組織的・日常的に進める授業改善、小中連携による学力向上の取組」

○学校の特徴

全校生徒数１６０名程度、各学年２学級、教職員数２０名程度の学校である。行事等を通して、地域とともに生徒を育てる意識が強い。「学力の低迷状況を克服したい」「部活動や行事で見せる生徒のエネルギーを学習の場へ」という教職員の思いから、授業改善を中核とした学力向上を重点として取組を進めている。

○全国平均正答率との差の経年変化



１　成果が見られた主な取組の内容

基礎学力の向上、講義型授業から生徒主体の授業への改善を図るために、「小河式プリント」の活用、「交流場面」を重視した授業改善、小中連携の取組を推進する。

①　「小河式プリント」の活用による学力基盤づくり

これまでの課題をもとに、「数学科における基礎学力の向上」に重点化を図った。取組の一つとして、「小河式つまずき調査」により、小学校算数科におけるつまずきを調査・分析している。この調査・分析に基づいて、朝学習や家庭学習において「小河式プリント」の百ます計算等を活用して、小学校段階におけるつまずきの解消、集中力の向上に努めている。

②　研究推進委員会・授業づくり部会を中心とした教員の意識・指導力の向上

研究推進委員会・授業づくり部会が中心となり、学力課題の分析や重点取組の設定、教職員の共通理解に取り組んでいる。「交流場面の設定」を授業改善の視点として、学力向上プランや主題研究に位置付け、管理職や教務、校内研修担当者による教室訪問の視点として、指導助言を日常的に行っている。

③　小中連携による９年間を見通した学力向上策の推進

「小中学力向上推進委員会」（学期に１回）が中心となって、学力向上に向けた目標の設定、小中共通での実践内容の確認等を行っている。具体的な取組や作業等については「小中合同研究推進委員会」（月に２回）で行っている。各種調査分析結果の交流、学力向上策の共通理解、共通実践内容の設定、小中相互の授業公開等に取り組んでいる。

２　取組を充実させるためのポイント

取組の充実に向けては、大きく２点が特徴的である。

一つは、管理職のリーダーシップである。教室訪問等による情報収集や日常的な指導助言により、各取組の徹底を図っている。二つは、小中連携である。学力の基盤となる自尊感情や自己有用感の向上を目指して、行事等を通して日常的な小中連携を図っている。

３　今後の展望

各種調査結果の分析等から明らかになった課題をもとに、今後は「授業における交流後のまとめに至る活動と手立ての検討」「アクティブ・ラーニングに関する研修の充実」「家庭学習の習慣化」に取り組む予定である。

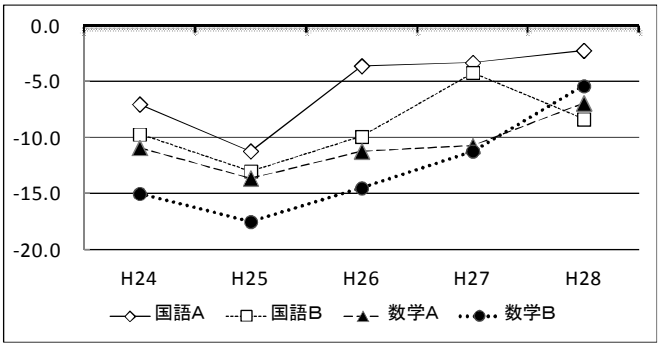
基礎学力向上タイプ・中学校

「学力向上検証委員会を核とした組織的な取組」

○学校の特徴

全校生徒数約２００名、教職員数約２０名、特別支援学級１学級の学校である。教員全体の半数が講師である。また、年齢構成にも２極化が見られ、４０代の中間層が極端に少ない。そのような状況でも教員の授業改善に対する意識は高く、教師と生徒、生徒同士の良好な人間関係にも支えられ、学力向上の取組が徐々に成果を上げ始めている。

○全国平均正答率との差の経年変化



１　成果が見られた主な取組の内容

学力向上に向けた授業改善や学習基盤づくりの取組の成果を上げるために、各種学力調査や診断テスト実施後に学力向上検証委員会をもち、取組の成果と課題を検証し、次の取組につながるように組織としてＰＤＣＡを行う。

①　めあて・まとめ・振り返りを確実に行う授業

授業の基本として、めあてとまとめのある授業づくりを徹底している。また、生徒が本時の授業を振り返る時間を設定して、学習を確認できるように心がけている。

②　学力の基盤づくりとしての朝読書と朝学習の取組

生徒の実態に基づいて時期と内容を考慮して取り組むことで、取組の成果が結果として表れるよう工夫している。また、学力向上検証委員会を行い、その成果を検証し、取組の改善を図っている。

③　学力調査の過去問題と「基礎基本を含む活用力を育成する教材集」を活用した取組

学力調査のＡ問題及び教材集の小問に朝学習で取り組んでいる。また、学力調査のＢ問題及び教材集の大問は教育課程に位置付け、グループで意見交流を行い、見いだした考えをまとめたり説明したりする学習活動を行うことを確認し、実施している。

２　取組を充実させるためのポイント

校長が強いリーダーシップを発揮し、授業で確実に行うべきことを示した上でできているかどうかの点検・評価をしている。教職員は校長の示す方針を理解し、確実に実施している。

さらに、校長の方針を受け、教務担当主幹教諭が中心となって学力の分析を行い、結果及び成果と課題を迅速に教職員に示している。また、各教科担当との個別の面談も行い、指導助言をしている。学力向上検証委員会では、成果の上がっている取組と改善すべき点を話し合い、すぐに実行できるようにしている。

３　今後の展望

これまで行ってきた取組を継続し、さらなる授業改善・言語活動の充実に組織的に取り組む。教職員の授業改善や協働の意識は高く、成果と課題を示すことですぐに取組に移すことができている。教育委員会がリードして取り組んでいる考査前の「ノーテレビ・ノーゲーム・ノースマホ」の取組で、小中が連携して学習に対する意識を高めていき、家庭学習の充実も図っている。

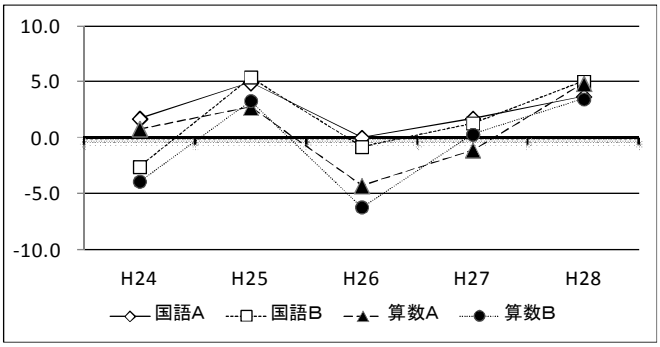
活用力向上タイプ・小学校

「書く力を高める授業づくりと意図的・計画的な学力の基盤づくり」

○学校の特徴

全校児童数約７３０名、教職員数約４０名の学校である。コミュニティ・スクールとして、家庭や地域と協働しながら、共に学び合い、互いの個性を認め合い、心身を鍛え合う子どもを育成することを目標としている。また、国際交流活動にも力を入れて取り組んでいる。

○全国平均正答率との差の経年変化



１　成果が見られた主な取組の内容

問題を発見し、見通しをもって追究するとともに学ぶことの意義を実感し、友だちと学び合う主体的・協働的な学びを実現するために、書くことに重点化した授業づくりと学力ステップアップ学習に代表される学力の基盤づくりを進めてきた。

①　書く力を高める授業づくりの工夫

４５分間の授業のうち、児童が考え等を書く時間を合計１０分間、必ず設けることを共通理解している。また、学習内容を振り返り、自分の言葉でまとめることを本年度の重点取組とし、低学年は３行、中学年は５行、高学年は７行を目標としている。書くことや書き方に対する理解が深まってきているとともに、書く意欲の高まりも感じられる。

②　学力ステップアップ学習等による学力の基盤づくり

朝の「チャレンジタイム」、年４回の「チャレンジテスト（漢字、計算）」、毎週金曜日の「活用問題の週末課題」、年２回の「活用力ウィーク」等、学力の基盤づくりを学年の発達段階に応じて意図的・計画的に行っている。特に、地域の教育力（教職経験者等）を活用した「学力ステップアップ学習（習熟度別少人数学習やコース別学習）」は、基礎学力のみならず、活用する力や学ぶ意欲の向上にもつながっている。

２　取組を充実させるためのポイント

取組を充実させるには、全職員が同じベクトルをもった取組にすることが重要であると考える。そのために、学年主任研修会を機能させ、取組の目的や方法の共通理解を図っている。教務主任が作成するチェックシートを活用し、取組の評価・改善も全職員で行っている。また、校長・教頭が計画的に教室を訪問し、取組の状況を把握している。

３　今後の展望

○　授業づくりについては、考える力を育成するために、考えるきっかけを生み出す発問の工夫や考えを深め広げる交流活動の工夫を行っていく。

○　学力の基盤づくりについては、成果や課題を分析しつつ今後も継続して取組を進めていく。

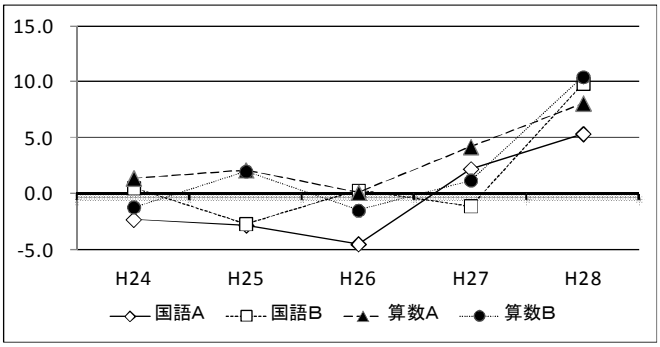
活用力向上タイプ・小学校

「学力向上プランに基づく、振り返りの時間の重視と学期末テスト等の計画的な実施」

○学校の特徴

全校児童数約５５０名、教職員数４０名の学校である。平成２８年度全国学力・学習状況調査の結果は、４つの教科区分全てで、全国平均を大きく上回る。ここ３年間で上昇傾向にある。管理職を中心に、全教職員が、学力の向上に向けて共通の目標を持ち、取り組んでいる。

○全国平均正答率との差の経年変化



１　成果が見られた主な取組の内容

基礎基本の徹底や活用する力を育むために、学習の終末段階での再現活動の定着と学期末テスト等のスケジュール化を徹底することを通して、実践の日常化や教職員の意識の向上を図る。

①　再現活動の定着について

学習過程の終末段階に、福岡県が作成した「基礎基本を含む活用力を育成する教材集」を中心に、活用問題や適用問題を提示し、本時で学んだ知識や技能を生かし解いたり、本時学習で「分かったこと・できたこと」を自分の言葉で書きまとめたりする時間を１５分程度必ずとるようにしている。また、この時間を確保するために、本時で扱う内容の予習（全学年の国語、算数で実施）に取り組ませ、導入段階での課題設定にかかる時間の短縮を図っている。

②　学期末テスト等のスケジュール化について

学力向上プランに記載した事項について、特に、学期末テスト期間を設定し、学期末テストに向けて、児童が、目標の設定や家庭学習計画を作成することを明記している。また、テストの結果をもとに課題を明確にして、次のテストへ向けて日常の授業に対する意欲を向上させている。教師は学期末テスト等の結果や問題の分析を学年の全職員で行うことで、授業改善の具体的な手立てについて協議することができている。全国学力・学習状況調査だけでなく、定期的なテストの活用と、テストに向けてのスケジュール化、テスト結果を受けた授業改善の協議を１年間、短いサイクルで繰り返し徹底して行っている。

２　取組を充実させるためのポイント

上記の２つの取組の徹底を図るために、主幹教諭や学力向上コーディネーターを中心に、学力向上プランに記載したことを全職員で取り組んでいこうという「同僚性の構築」が大きなポイントとなっている。学力調査や定期テスト等の結果を児童・保護者や教師に提示し、定期的な学年主任部会において予習の強化による再現活動の効果の分析をすすめ、月のめあてに学力向上プランの取組として反映させることで全校に周知している。

３　今後の展望

○　学力向上プランを中核に据え、各学級の学級経営案で成果指標や取組指標を具体化していく。

○　学期末テストにおいて、Ｂ問題等を活用し、問題作成の充実を図る。

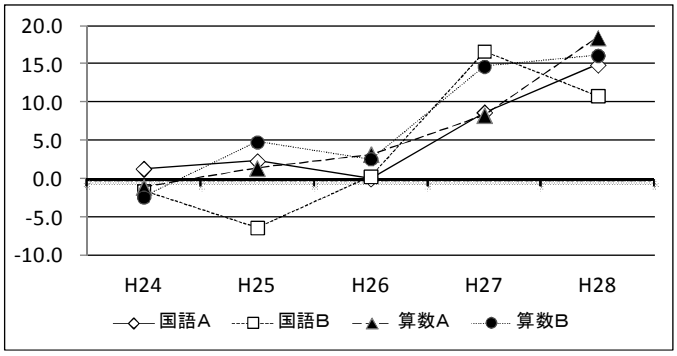
活用力向上タイプ・小学校

「目標共有と共通実践の徹底」

○学校の特徴

全校児童数約２５０名、教職員数約２０名の学校である。国語Ａ・Ｂ、算数Ａ・Ｂいずれにおいても、３年前の正答率と比べて１２～１５ポイント上がっている。また、経年で見てみると、２６年度から２７年度にかけての伸びが顕著である。「自分の伸びに気づくことができる子どもの育成」を重点目標とし、常に児童に伸びを自覚させる取組を行っている。その取組が児童の自尊感情を高め、学力向上につながっている。

○全国平均正答率との差の経年変化

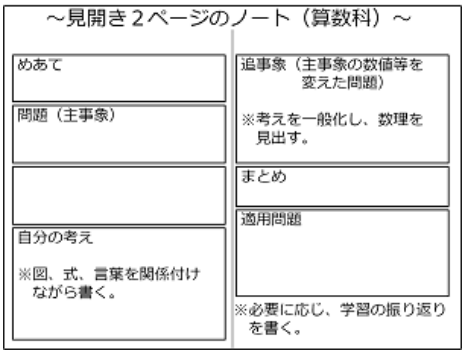


１　成果が見られた主な取組の内容

学力調査の要因分析から目標を共有し、共通実践を徹底して行うことに努めた。共通実践の内容は以下のとおりである。

①　授業の仕分けとノートづくりで習得，活用の力を高める授業改善

特に算数科において、習得をめざす授業と活用をめざす授業で、それぞれのねらいを明確にした授業づくりを行った。習得をめざす授業ではスモールステップを重視し、活用をめざす授業では自力解決を重視した。このことに加えて、子供の思考過程が見える「１時間で見開き２ページのノートづくり」を徹底した。問題が解けたか否かではなく、数学的な考え方のよさを感じ取らせたり、誤答の生じた理由を明らかにさせたりすることを重視した。



②　学校が目指す授業像を明確にする模擬授業による指導案審議

授業者が授業を進め、授業者以外の教員が子供役となり、模擬的に授業を行った。指導案審議をこの形態で行うことの意義は以下の三点である。

・授業者は、授業を行いながら、発問や手立てについて子供役の教員から質問や意見をもらうことで、子供の意識の流れや思考の過程を想定するようになる。
・子供役の教員は、子供の目線になって授業を観ることで、具体的な問題点を指摘するとともに、自分自身の授業の在り方を見直し、改善することができる。
・各教員の参画意識を高めるとともに、目指す授業の在り方を具体的に理解させることができる。

③　授業でのつまずきを解消する補充学習の時間「○○タイム」の設定

週に４回、補充学習の時間（１回につき 15 分間程度：14:00～14:15、全学年を対象とする）を設定し、継続して取り組んできた。午前中の授業で解くことのできなかった問題に取り組むという、授業と関連させた取組としたことで、子供に学ぶ必然性が生まれた。「○○タイム」の取組は４年前から行っている。

２　取組を充実させるためのポイント

①　管理職のリーダーシップ

各学年主任に明確な成果指標と取組指標を提示させた。

②　組織の細分化

「思考力育成班」を「主題研修部」「一般研修部」「学力向上部」「ノート指導部」「○○タイム部」「家庭学習部」「読書活動部」の７つの部から構成し、担当者に責任をもたせることで、ＰＤＣＡサイクルが確実に回るようにした。

③　モチベーションの維持・向上

月２回の思考力育成班会議では、特に、子供の伸びを共通理解することで、教員が効力感を味わうことができるようにした。

３　今後の展望

○　体力と学力との関係を考え、朝５分間程度の体力づくりの時間を設定することを考えている。

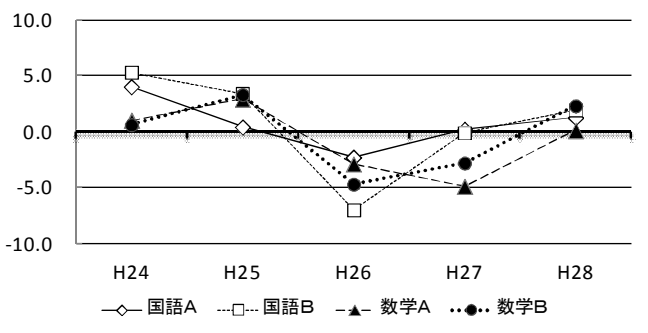
活用力向上タイプ・中学校

「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり」

○学校の特徴

全校生徒数約３６０名、教職員数約３０名の学校である。これまでの全国・学力学習状況調査結果に基づく３年生の経年分析や、小学校時の全国・学力学習状況調査結果、中学２年時の県学力調査結果に基づく同一生徒の経年分析から、特に活用力の育成に課題を見出すとともに、全職員で課題を共有し、授業改善の取組を進めている。

○全国平均正答率との差の経年変化



１　成果が見られた主な取組の内容

生徒の思考力・判断力・表現力を育成するために、生徒が課題意識を持ち主体的に学ぶ学習過程を構築するとともに、共に考える場や考えたことを交流する場を意図的に位置付けた授業づくりを行う。

①　課題意識を高める問題づくり及び問題提示の工夫

全国学力・学習状況調査問題を全教職員が解くことで、求められる資質・能力を明らかにするとともに、「基礎基本を含む活用力を育成する教材集（福岡県教育委員会）」等を参考にしながら、授業で提示する活用を意図した問題づくりに取り組んだ。活用力の高まりとともに、生徒の学習に対する肯定的な意識の向上や教師の学力に対する意識の変容にもつながった。

②　全員参加型の交流活動の工夫

「共に考えを作る交流活動」と「互いの考えを高める交流活動」といった二つの視点で交流活動を捉え、交流活動の目的や手順を視覚的に分かりやすく示すとともに、発表ボード等を活用して構造的に板書することで、全員参加型の交流活動を目指した。自分の考えを表現することで考える力が高まることを生徒自身が実感できるようになったこと、交流を行わせる目的や方法を教師が具体的にイメージするようになったことといった点で成果が見られた。

２　取組を充実させるためのポイント

全国学力・学習状況調査等における結果の分析・総括は管理職が行い、課題改善に向けた具体的な取組は主幹教諭のリーダーシップのもと全職員が行うといった仕組みを機能させた。

このことで、それぞれの教師が、各クラスの実態（課題）に基づいた主張点をもって授業を行うことが実現していった。また、先輩教師が授業実践をもとに若年教師に教科指導の在り方を伝える場面が見られるようになっていった。

３　今後の展望

今後は、本年度の取組の成果をより充実させるために、以下の点を推進する。

○　家庭・地域との連携による家庭学習の量的・質的改善及び補充学習の強化

○　国語科、数学科を中心とした授業づくりの他教科への波及

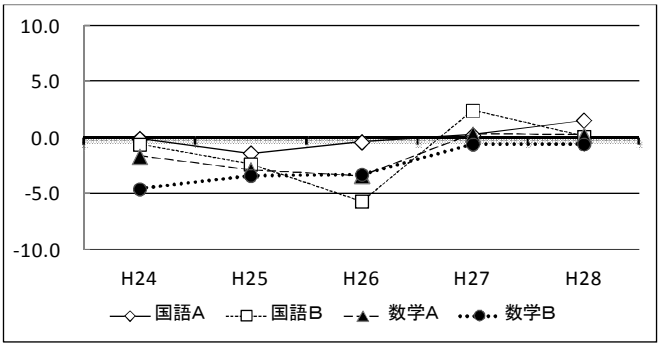
活用力向上タイプ・中学校

「わかる授業づくりと基礎学力の定着を図る取組」

〇学校の特徴

全校生徒数約４５０名、通常学級１２クラス、特別支援学級３クラスの編成で、教職員数約３０名の学校である。生徒は落ち着いた学校生活を送っており、授業にも真面目に取り組んでいる。しかし、学力の二極化が進んでいるため、基礎学力の定着を図る取組を推進している。

〇全国平均正答率との差の経年変化



１　成果が見られた主な取組の内容

基礎的･基本的な知識、技能を習得させるために、「わかる授業づくりの推進」と「基礎学力の定着を図る取組」を継続的、組織的に行ってきた。

①　わかる授業づくりの推進

ア　ユニバーサルデザインの視点に沿った１単位時間の学習の流れ（「行動目標を取り入れためあての設定」「一人学び」「協同学び」「ふりかえり」）の徹底

イ　「全国学力・学習状況調査」「福岡県学力調査」「定期考査」等の結果を受けた小中一貫指導教員（算数・数学科の課題を踏まえて小中の両校で指導する地教委雇用の教員）や指導方法工夫改善教員による習熟度に応じた指導の徹底

ウ　年７回実施する小中合同研修会に向けた指導案､小中９年間を見通したカリキュラムの作成

②　基礎学力の定着を図る取組

ア　自習プリントやドリルを活用した帰りの会の前に行う「１０分間学習」の実施

イ　理解度が低い生徒を対象に放課後や昼休みを利用した補充学習の実施

ウ　担任による家庭学習の状況のチェック、副担任による課題提出状況のチェック及び個別指導の実施など、担任と副担任の役割分担の徹底

エ　学年通信等を通した家庭への取組内容の周知と協力依頼

２　取組を充実させるためのポイント

①　管理職による授業の質的管理

日常的に管理職が学級訪問を行い、めあてと学習活動、ふりかえりの整合性を視点に全職員のわかる授業の質の確保をしている。

②　実践的指導力を高める学力推進委員会の充実

学力向上のＰＤＣＡサイクルを強化、徹底するために管理職、主幹教諭、学力向上コーディネーターだけでなく、学年主任、教科主任が参加し、月２回開催している。

③　町内学力向上検証委員会（教育委員会、町内学校関係者、地域有識者等）への参加

特に課題のある領域を学習指導に反映できるように共通理解し、小中一貫した学力向上のあり方を目指している。

④　学びの基盤となる生徒指導の充実

管理職、校区各学校の生徒指導担当者、教育委員会担当者出席による生徒指導会議を月１回開催し、生活アンケートの結果をもとに、生徒の状況の共通理解を図り、問題行動等への対応の方針を明確にするなど、生徒が落ち着いて学習に取り組むことができる基盤づくりを組織的に行っている。

３　今後の展望

○　基礎的・基本的な知識、技能の定着の徹底

○　思考力・判断力・表現力を高める授業実践の推進と日常化

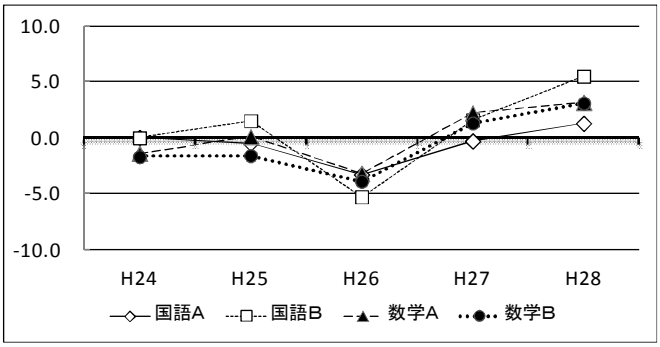
活用力向上タイプ・中学校

「全職員の共通理解による、小集団を活用した交流活動の徹底」

○学校の特徴

全校生徒数約３００名、教職員数約３０名の学校であり、若年教師が多い職員構成である。平成２８年度全国学力･学習状況調査の結果は、４つの教科区分全てで、全国平均を大きく上回る。ここ３年間で上昇傾向にある。管理職を中心に、全教職員が学力の向上に向けて共通の目標を持ち、取組を進めている。

○全国平均正答率との差の経年変化



１　成果が見られた主な取組の内容

基礎基本の徹底や活用する力を育むために、小集団を活用した交流活動の徹底を通して主題研究の日常化や教職員の意識の向上を図る。

①　交流活動について

交流活動では、教科の特性や学習内容を考慮しながら小集団を活用し、目的や課題に応じて生徒がより効果的に学び合う活動を徹底している。右の表に示すように、出し合う交流・定着させる交流・練り上げる交流の３つに整理し、それぞれ目的・内容・方法を明確にして授業に位置付けている。

表：交流活動における目的・内容・方法

	出し合う	定着させる	練り上げる
目的	友達の考えを知る	定着の促進	出された考えを深化･拡充
内容	課題に対する考えや意見	学習したこと	深まった考えや新たな考え
方法	一人ずつ出し合う	友達に伝え確認する	まとめる、練り上げる、創造する

②　徹底を図るための教師の意識向上について

全校生徒を対象に、各教科に対する授業アンケートを年間２回実施している。アンケートの内容には、「交流活動で学びが深まったか」の項目があり、各教師が自分の授業を振り返り、改善する際の視点として役立てている。

③　交流活動の基盤づくりについて

凡事徹底を合言葉に､生徒会が中心となり学校全体で落ち着いた学習環境づくりを行っている。全校で行う凡事徹底は、あいさつ、掃除、靴並べ、聞く態度の４つである。これに加えて、個人では何を徹底するか､「わたしの凡事徹底」を決めさせている。また､自尊感情の向上を図るため､「ステキ」と題して、生徒相互で長所に目を向ける取組や、写真に生徒の頑張りを称賛するコメント添えて紹介するコーナーの設置などを行っている。

２　取組を充実させるためのポイント

「ミドルリーダーのリーダーシップ」が大きなポイントである。上記の取組の徹底を図るために、学力向上コーディネーターである主幹教諭が、生徒指導部や研修部と連携し推進している。また、授業アンケートの結果を集約し、若年とベテランを繋いだり、自分自身が授業を見せたりし、人材育成への意識も高い。

３　今後の展望

○　交流する際の視点を教科の本質に根ざして明確にするなど質を高め、交流活動の充実を図る。

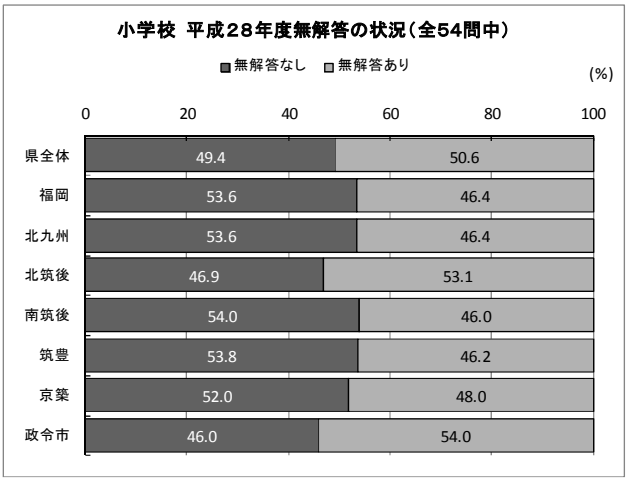
８　児童生徒の無解答の状況（地区別）

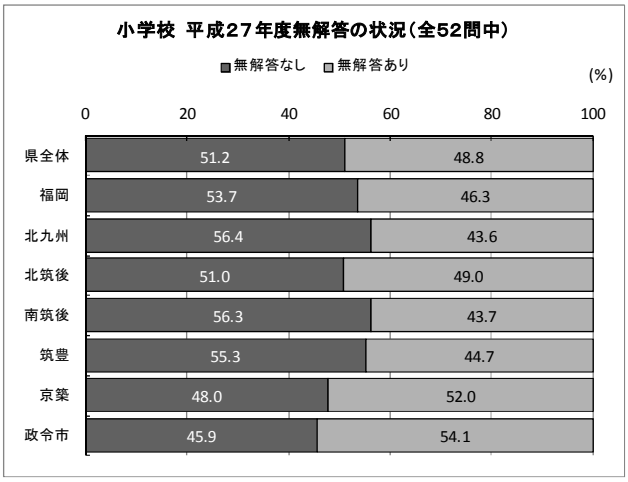
教科に関する調査における児童生徒の無解答の状況を地区別に分析する。
無解答の状況については、小学校は全５４問、中学校は全９３問を対象として、１つでも無解答がある「無解答あり」と全てに解答した「無解答なし」に分類した。

(1) 全体の状況

■　小学校

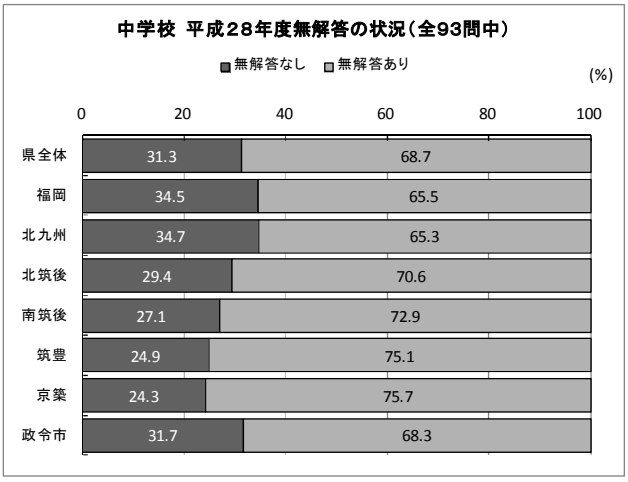
○　平成２７年度と比較すると、県全体では、無解答なしの児童の割合が減少した。また、京築、政令市を除く全ての地区において、無解答なしの児童の割合が減少した。
○　無解答なしの児童の割合は、福岡、北九州、南筑後、筑豊、京築で県全体を上回った。

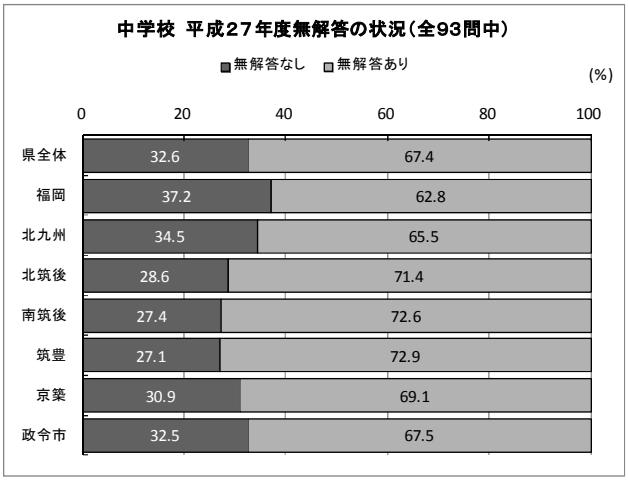




■　中学校

○　平成２７年度と比較すると、県全体では、無解答なしの生徒の割合が減少した。また、北九州、北筑後を除く全ての地区において、無解答なしの生徒の割合が減少した。
○　無解答なしの生徒の割合は、福岡、北九州、政令市で県全体を上回った。





(2) 教科区分ごとの無解答なしの児童生徒の状況

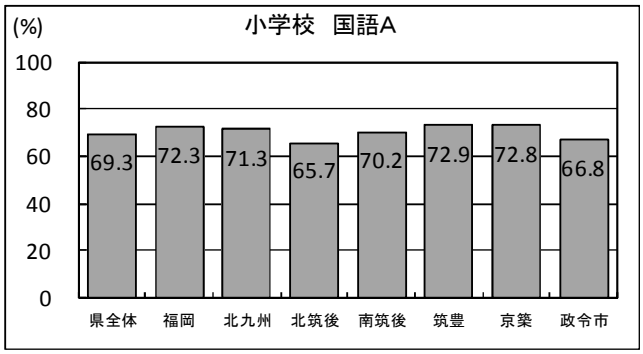
■ 小学校

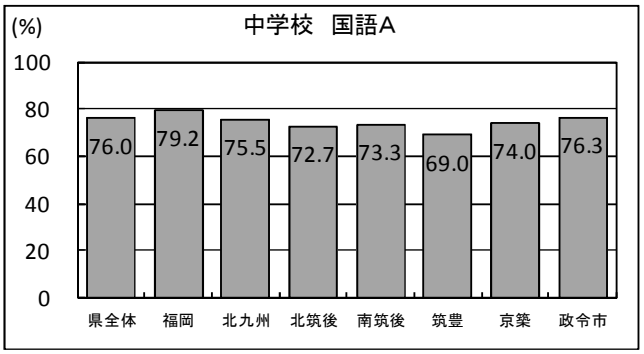
○ 県全体では、国語は、B問題の方が、算数は、A問題の方が無解答なしの児童の割合が高い。
○ 地区別に見ると、福岡、北九州、南筑後、筑豊、京築は全ての教科区分で、無解答なしの児童の割合が県平均と比較して高い。

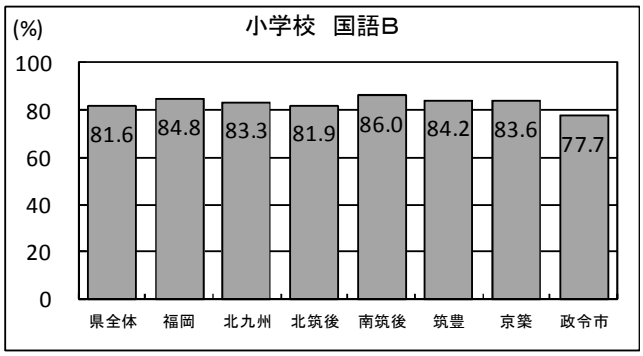
■ 中学校

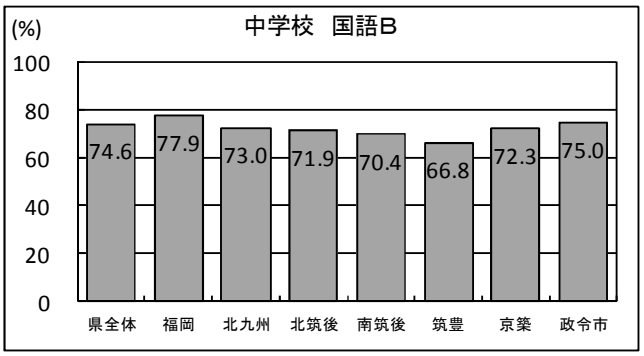
○ 県全体では、国語、数学ともにA問題の方がB問題と比較して無解答なしの生徒の割合が高い。
○ 地区別に見ると、福岡、政令市は全ての教科区分で、無解答なしの生徒の割合が県平均と比較して高い。

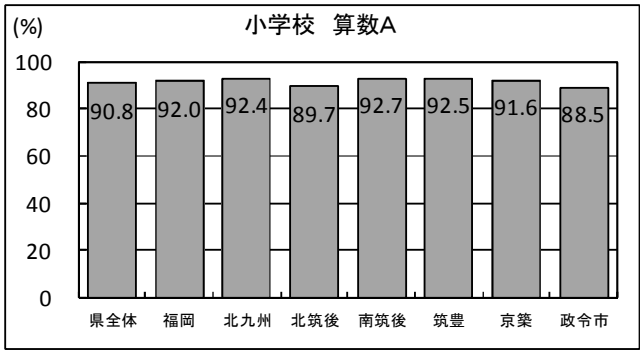
（各教科区分における「無解答なしの児童生徒」の割合を、県全体及び７地区間で比較したグラフ）

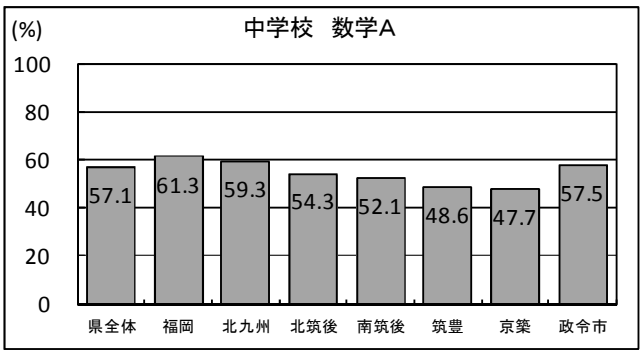


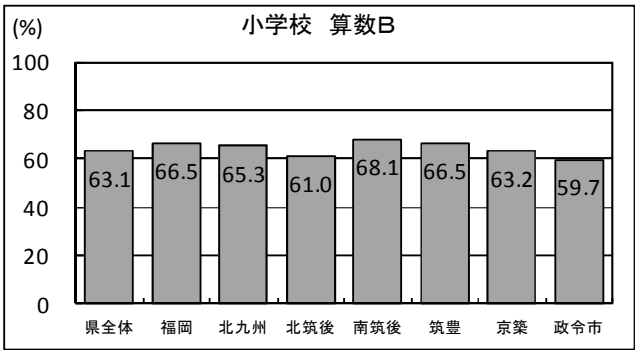


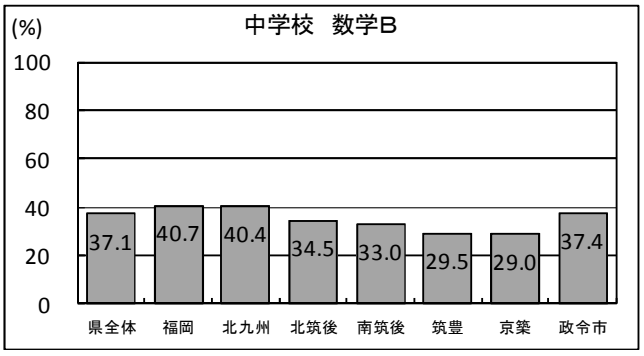












Ⅲ　各教科の調査結果

1　小学校国語

○　国語Ａでは、次のような課題が見られた。
- 書き手の表現の仕方をよりよくするために助言すること
（A3　　福岡県　66.9%　　全国　67.4%）
- 平仮名で表記されたものをローマ字で書いたり、ローマ字で表記されたものを正しく読んだりすること
（A8__1　福岡県　49.1%　　全国　53.2%）
（A8__2　福岡県　36.1%　　全国　41.8%）
（A8__3　福岡県　44.8%　　全国　50.7%）

○　国語Ｂでは、次のような課題が見られた。
- 目的や意図に応じて、グラフや表を基に、自分の考えを書くこと
（B2二(1)　福岡県　52.2%　　全国　51.4%）
（B2二(2)　福岡県　63.9%　　全国　64.2%）
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと
（B3三　　福岡県　53.3%　　全国　52.9%）

※　授業改善の視点から、特に本県として課題が見られるものを挙げている。

※数値は平均正答率を示す

■　平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差、評価の観点別・問題形式別正答率

＜国語Ａ＞

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	10.8	71.7	11.0	3.1
全国（公立）	10.9	72.9	12.0	3.1

	評価の観点					問題形式		
	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式
福岡県		79.9	72.3	78.6	69.4	77.1	68.1	
全国		79.2	72.8	78.5	71.1	77.2	70.0	

＜国語Ｂ＞

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	5.8	57.8	6.0	2.4
全国（公立）	5.8	57.8	6.0	2.4

	評価の観点					問題形式		
	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式
福岡県	54.8	50.6	53.6	69.2		59.8		54.8
全国	54.7	51.1	53.4	69.3		59.9		54.7

■　正答率分布　横軸：正答率（問）　縦軸：割合（%）

平成２２年度全国学力・学習状況調査　　小学校調査

調査結果概況　［国語Ａ：主として知識］

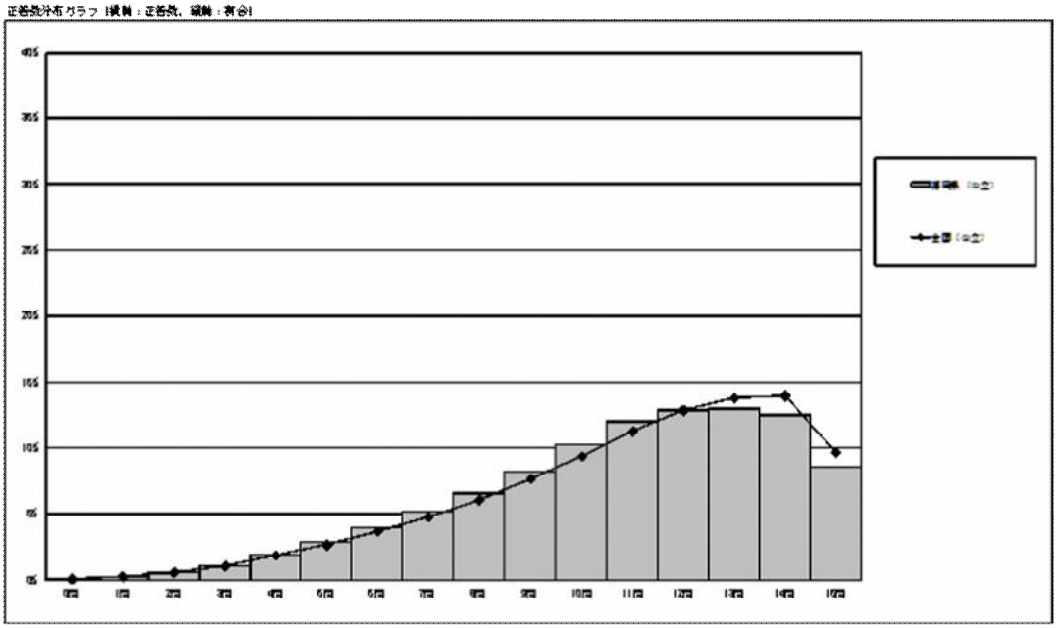
福岡県一児童（公立）

・以下の集計値／グラフは，４月１９日に実施した調査の結果を，児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	42,969	10.8 / 15	71.7	11.0	3.1
全国（公立）	1,021,906	10.9 / 15	72.9	12.0	3.1

在籍児童数	調査対象児童数	当日実施児童数	後日実施児童数	実施児童数
44,613	44,063	42,969	396	43,364
1,065,552	1,047,335	1,021,906	7,673	1,029,578

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



正答数集計値（左：児童数　右：割合（%））		
0問	29	0.1
1問	94	0.2
2問	245	0.6
3問	451	1.1
4問	807	1.9
5問	1,259	2.9
6問	1,708	4.0
7問	2,261	5.2
8問	2,817	6.6
9問	3,511	8.2
10問	4,434	10.3
11問	5,169	12.0
12問	5,545	12.9
13問	5,567	13.0
14問	5,375	12.5
15問	3,676	8.6

平成２２年度全国学力・学習状況調査　　小学校調査

調査結果概況　［国語Ｂ：主として活用］

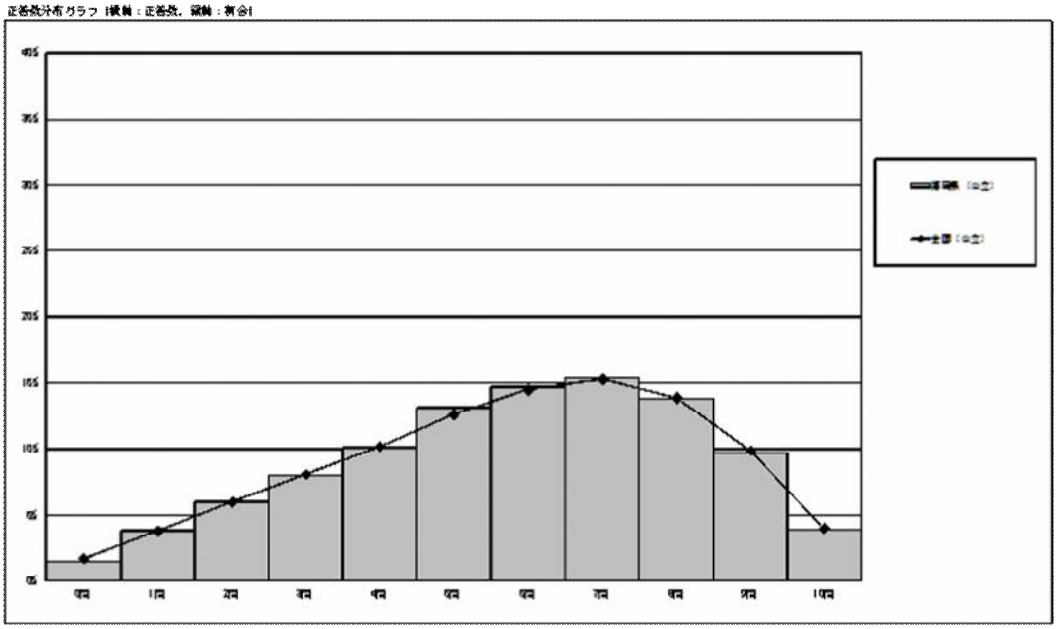
福岡県一児童（公立）

・以下の集計値／グラフは，４月１９日に実施した調査の結果を，児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	42,956	5.8 / 10	57.8	6.0	2.4
全国（公立）	1,021,636	5.8 / 10	57.8	6.0	2.4

在籍児童数	調査対象児童数	当日実施児童数	後日実施児童数	実施児童数
44,613	44,087	42,956	389	43,345
1,065,552	1,047,055	1,021,636	7,644	1,029,279

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



正答数集計値（左：児童数　右：割合（%））		
0問	662	1.5
1問	1,523	3.5
2問	2,590	6.0
3問	3,432	8.0
4問	4,349	10.1
5問	5,643	13.1
6問	6,295	14.7
7問	6,595	15.4
8問	5,921	13.5
9問	4,156	9.7
10問	1,657	3.9

■　小学校国語Ａ　設問別正答率

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
			福岡県（公立）	全国（公立）	福岡県（公立）	全国（公立）
１－１	漢字を読む （今日は全国的に快晴だ）	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	75.6	79.3	5.3	5.2
１－２	漢字を読む （お年玉を貯金する）		98.8	98.5	0.2	0.3
１－３	漢字を読む （むだを省くようにする）		81.1	81.0	4.6	5.0
１ニ１	漢字を書く （アサガオのたねをまく）	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	88.9	87.5	3.4	4.5
１ニ２	漢字を書く （したしい友人と出かける）		72.2	73.8	9.2	10.4
１ニ３	漢字を書く （先生にそうだんする）		66.3	64.2	3.8	5.0
２	全校集会で歌う歌を決めるために，どのように話し合っているのか，話合いの説明として適切なものを選択する	目的や意図に応じて，収集した情報を関係付けながら話し合う	79.9	79.2	0.1	0.2
３	ルール説明の表現について助言した内容として適切なものを選択する	書き手の表現の仕方をよりよくするために助言する	66.9	67.4	0.1	0.2
４	委員会を紹介するパンフレットを作るため，追加の取材をした理由として適切なものを選択する	目的や意図に応じて，書く事柄を整理する	77.7	78.2	0.2	0.3
５	公園案内図とパンフレットにある表とを関係付けて読み，希望に合うものを選択する	目的に応じて，図と表とを関係付けて読む	92.6	93.1	0.2	0.3
６	『おばあさんの飛行機』を読んで，登場人物の人物像を説明するために，根拠となる表現として適切なものを選択する	登場人物の人物像について，複数の叙述を基にして捉える	64.5	63.9	1.3	1.4
７アイ	毛筆で書いた（一）と（二）を書き直した際，注意した点として適切なものを選択する（永久）	用紙全体との関係に注意し，文字の大きさや配列などを決める	81.1	81.2	0.9	0.9
８＿１	ローマ字を書く （りんご）	平仮名で表記されたものをローマ字で書く	49.1	53.2	14.7	11.9
８＿２	ローマ字を書く （あさって）		36.1	41.8	16.5	13.7
８＿３	ローマ字を読む （ｈｙａｋｕ）	ローマ字で表記されたものを正しく読む	44.8	50.7	23.1	20.0

■　小学校国語Ｂ　設問別正答率

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
			福岡県（公立）	全国（公立）	福岡県（公立）	全国（公立）
１一	スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを作成した際の工夫した点として当てはまらないものを選択する	目的に応じて，質問したいことを整理する	50.4	51.8	0.2	0.3
１二	スーパーマーケットの店長への質問の意図として適切なものを選択する	質問の意図を捉える	51.6	51.1	0.4	0.5
１三	スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして，話の展開に沿った質問を書く	話し手の意図を捉えながら聞き，話の展開に沿って質問する	49.8	50.4	6.9	7.8
２一	「早ね早起き」活動の成果について，〈図１〉の結果を基に書いた内容として適切なものを選択する	グラフを基に，分かったことを的確に書く	44.7	43.4	1.0	1.2
２二（１）	「早ね早起き」活動の課題について，〈図２〉の結果を基に書く	目的や意図に応じて，グラフを基に，自分の考えを書く	52.2	51.4	6.6	6.7
２二（２）	「早ね早起き」活動の課題に対する解決方法について，〈表２〉の結果を基に書く	目的や意図に応じて，表を基に，自分の考えを書く	63.9	64.2	7.7	7.7
２三	「早ね早起き」活動の報告文で課題を取り上げた効果として適切なものを選択する	活動報告文において，課題を取り上げた効果を捉える	57.8	58.3	4.1	4.2
３一	「パン職人」に関する本を選んだ目的の説明として適切なものを選択する	目的に応じて，複数の本や文章などを選んで読む	77.2	77.2	3.1	2.9
３二	「パン職人」に関する複数の資料の内容を関係付けてまとめたものとして適切なものを選択する	目的に応じて，本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する	77.2	77.9	3.6	3.4
３三	「パン職人」について，紹介したい内容をまとめて書く	目的に応じて，文章の内容を的確に押さえ，自分の考えを明確にしながら読む	53.3	52.9	12.0	11.5

２　小学校算数

○　算数Ａでは、次のような課題が見られた。
- 除数が１より小さいとき、商が被除数より大きくなることを理解すること
（A1（１）　福岡県　65.9%　　全国　64.8%）
- １を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解すること
（A9（２）　福岡県　48.2%　　全国　50.9%）

○　算数Ｂでは、次のような課題が見られた。
- 示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述できること
（B2（３）　福岡県　15.2%　　全国　15.6%）
- グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述できること　（B4（３）　福岡県　25.2%　　全国　24.9%）
- 示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述できること　（B5（１）　福岡県　6.5%　　全国　6.9%）

※　授業改善の視点から、特に本県として課題が見られるものを挙げている。

※数値は平均正答率を示す

■　平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差、評価の観点別・問題形式別正答率

＜算数Ａ＞

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	12.4	77.8	13.0	3.3
全国（公立）	12.4	77.6	13.0	3.4

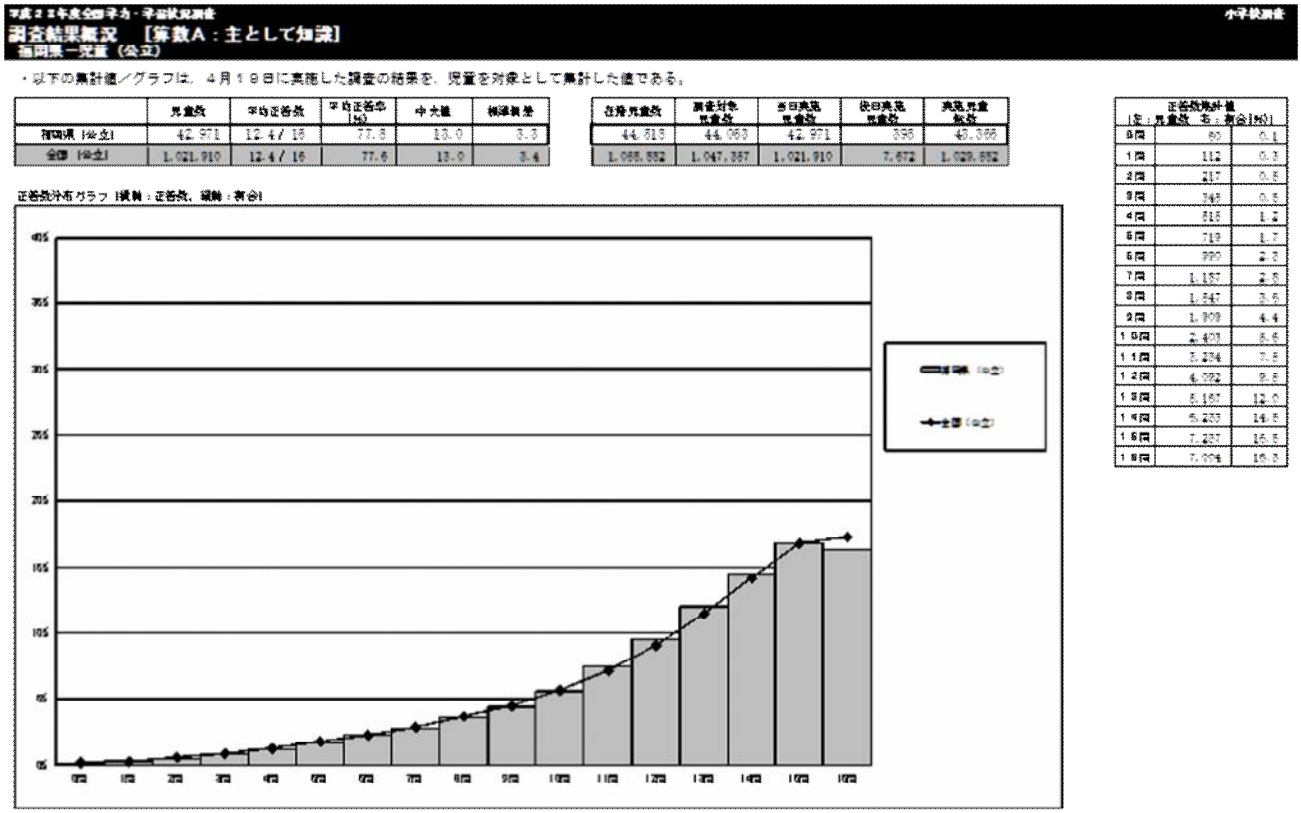
	評価の観点				問題形式		
	関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形の技能	数量や図形の知識・理解	選択式	短答式	記述式
福岡県			83.1	75.3	75.4	78.9	
全国			82.5	75.4	75.8	78.5	

＜算数Ｂ＞

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	6.1	47.3	6.0	2.7
全国（公立）	6.1	47.2	6.0	2.8

	評価の観点				問題形式		
	関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形の技能	数量や図形の知識・理解	選択式	短答式	記述式
福岡県		41.0	53.4	69.6	56.3	66.5	26.7
全国		40.9	53.3	69.5	56.7	66.4	26.2

■　正答率分布　横軸：正答率（問）　縦軸：割合（%）



平成２３年度全国学力・学習状況調査　小学校調査

調査結果概況　［算数Ａ：主として知識］

福岡第一児童（公立）

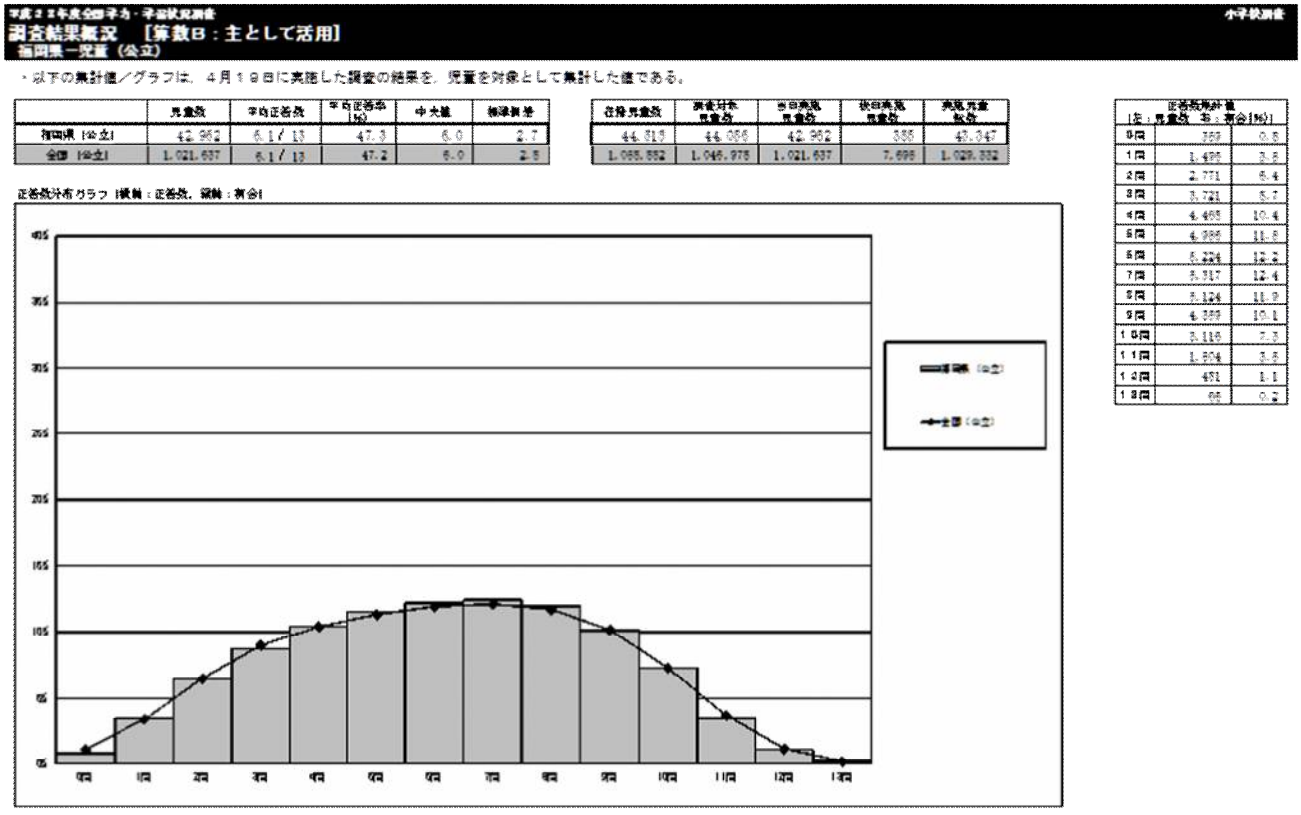
・以下の集計値／グラフは，４月１９日に実施した調査の結果を，児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	42,971	12.4 / 16	77.6	13.0	3.3
全国（公立）	1,021,910	12.4 / 16	77.6	13.0	3.4

在籍児童数	調査対象児童数	当日実施児童数	欠席児童数	未実施児童数
44,819	44,063	42,971	395	43,366
1,065,552	1,047,387	1,021,910	7,672	1,029,582

正答数別分布（上：児童数　下：割合(%)）		
0問	80	0.1
1問	112	0.3
2問	217	0.5
3問	348	0.8
4問	515	1.2
5問	719	1.7
6問	990	2.3
7問	1,157	2.7
8問	1,547	3.6
9問	1,909	4.4
10問	2,403	5.6
11問	3,234	7.5
12問	4,092	9.5
13問	5,167	12.0
14問	6,233	14.5
15問	7,227	16.8
16問	7,004	16.3

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



平成２３年度全国学力・学習状況調査　小学校調査

調査結果概況　［算数Ｂ：主として活用］

福岡第一児童（公立）

・以下の集計値／グラフは，４月１９日に実施した調査の結果を，児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	42,962	6.1 / 13	47.3	6.0	2.7
全国（公立）	1,021,637	6.1 / 13	47.2	6.0	2.8

在籍児童数	調査対象児童数	当日実施児童数	欠席児童数	未実施児童数
44,819	44,066	42,962	395	43,047
1,065,552	1,048,978	1,021,637	7,698	1,029,382

正答数別分布（上：児童数　下：割合(%)）		
0問	359	0.8
1問	1,495	3.5
2問	2,771	6.4
3問	3,731	8.7
4問	4,465	10.4
5問	4,995	11.6
6問	5,234	12.2
7問	5,317	12.4
8問	5,124	11.9
9問	4,339	10.1
10問	3,116	7.3
11問	1,504	3.5
12問	451	1.1
13問	96	0.2

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）

■　小学校算数Ａ　設問別正答率

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
			福岡県（公立）	全国（公立）	福岡県（公立）	全国（公立）
１（１）	□÷０．８の商の大きさについて，正しいものを選ぶ	除数が１より小さいとき，商が被除数より大きくなることを理解している	65.9	64.8	1.1	1.3
１（２）	２．１÷０．７を，除数が整数になるように工夫して計算するとき，ふさわしい数値の組み合わせを書く	除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解している	71.1	68.5	0.3	0.4
１（３）	小数の除法の結果を，乗法を用いて確かめるとき，当てはまる数値の組み合わせを書く	除法における計算の確かめの方法を理解している	88.4	87.9	0.8	1.1
２（１）	９０５－８を計算する	繰り下がりのある減法の計算をすることができる	91.2	90.9	0.3	0.4
２（２）	４．６５＋０．３を計算する	末尾の位のそろっていない小数の加法の計算をすることができる	77.4	77.1	0.3	0.5
２（３）	１８÷０．９を計算する	小数の除法の計算をすることができる	80.3	77.7	0.8	1.1
２（４）	（２／９）×３を計算する	乗数が整数である場合の分数の乗法の計算をし，約分することができる	87.8	87.0	1.3	1.9
３（１）	二つの数の大小関係を表す不等号を書く	不等号を理解している	96.4	96.7	0.5	0.6
３（２）	７．１，７，７．０１の中で一番小さい数と，一番大きい数を書く	数の大小関係を理解している	73.0	74.1	0.3	0.4
４	８m^2に１４人座っているシートについて，１m^2当たりの人数を求める式を書く	単位量当たりの大きさの求め方を理解している	73.2	72.0	3.7	4.3
５	三角形の底辺に対応する高さを選ぶ	三角形の底辺と高さの関係について理解している	80.1	82.0	0.9	1.1
６	４枚の三角定規でつくることができる形を選ぶ	図形の構成要素に着目して，図形を構成することができる	79.1	79.6	0.9	1.0
７	直方体において，示された面に垂直な面を選ぶ	直方体における面と面の位置関係を理解している	79.3	78.0	2.4	2.5
８	テープ全体の長さを基にしたときの赤い部分の長さの割合が，一番大きいものを選ぶ	全体の大きさに対する部分の大きさを表す割合の意味について理解している	72.6	74.4	2.0	2.1
９（１）	前に１０人，後ろに１９人並んでいることを基に，列に並んでいる全体の人数を求める式と答えを書く	示された場面を適切に読み取り，全体の人数を求める式に表すことができる	80.6	80.2	4.2	4.2
９（２）	定員と乗っている人数の割合を，百分率を用いた図に表すとき，当てはまる数値の組み合わせを書く	１を超える割合を百分率で表す場面において，基準量と比較量の関係を理解している	48.2	50.9	5.5	5.7

■　小学校算数Ｂ　設問別正答率

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
			福岡県（公立）	全国（公立）	福岡県（公立）	全国（公立）
１（１）	１辺が９ｃｍの正方形の縦と横の長さを変えたときの面積を求める式と答えとして，ふさわしい数値の組み合わせを書く	示された条件を基にほかの正方形について検討し，同じきまりが成り立つかを調べることができる	92.7	92.6	0.3	0.4
１（２）	正方形の縦の長さを２ｃｍ短くし，横の長さを２ｃｍ長くすると面積が４ｃｍ^{2}小さくなることの説明を書く	示された説明を解釈し，用いられている考えを別の場面に適用して，その説明を記述できる	47.4	45.2	3.4	4.0
２（１）	ハードルとハードルの間が５ｍのコースの，スタート地点から４台目のハードルを，巻き尺の何ｍのところに置けばよいか書く	ハードルの数とインターバルの数の関係を式に表し，４台目のハードルの位置を求めることができる	56.5	56.2	3.0	3.1
２（２）	４０ｍハードル走の目標のタイムを求める式に８．１と４を当てはめて，まなみさんの目標のタイムを求める式と答えを書く	示された式に数値を当てはめて，目標のタイムを求めることができる	50.2	50.5	4.3	4.2
２（３）	目標のタイムを求める式の中の０．４や０．３が表す意味を書く	示された式の中の数値の意味を解釈し，それを記述できる	15.2	15.6	19.6	18.6
３（１）	三つの式について，それぞれの式が何を計算しているかの説明文を選ぶ	乗法や除法の式の意味を解釈することができる	63.1	62.6	1.0	1.0
３（２）	縦３９ｃｍ，横５４ｃｍの長方形の厚紙から，１辺９ｃｍの正方形を２４個切り取ることができるわけを書く	縦にかくことができる正方形の数を求め，２４個の正方形をかくことができる理由を記述できる	39.0	38.4	16.8	17.4
３（３）	１辺が９ｃｍの正方形に内接する円をかくために，コンパスの鉛筆の先を合わせる位置を選ぶ	正方形に内接する円の半径について理解している	76.0	76.5	1.9	1.9
４（１）	学校ごとの１人当たりの本の貸出冊数を求めるために，学校ごとの貸出冊数の合計のほかに調べる必要のある事柄を選ぶ	単位量当たりの大きさを求めるために，ほかに必要な情報を判断し，特定することができる	48.6	48.3	2.1	1.9
４（２）	示された二つの表だけでは判断できないものを選ぶ	示された事柄について，二つの表を基に読み取ることができない事柄を特定することができる	69.7	70.7	2.6	2.5
４（３）	Ａ小学校とＢ小学校の図書委員が表したグラフを見比べて読みとった事柄として正しくない事柄について，正しくないわけを書く	グラフから貸出冊数を読み取り，それを根拠に，示された事柄が正しくない理由を記述できる	25.2	24.9	14.2	13.2
５（１）	示された形をつくることができることを説明する式の意味を，数や演算の表す内容に着目して書く	示された除法の式を並べてできた形と関連付け，角の大きさを基に，式の意味の説明を記述できる	6.5	6.9	21.2	18.7
５（２）	示された四角形を並べてできる図形を選ぶ	図形を構成する角の大きさを基に，四角形を並べてできる形を判断することができる	24.3	25.4	9.6	8.9

３　中学校国語

○　国語Ａでは、次のような課題が見られた。
- 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと

（A 9 三ウ　福岡県　56.3%　全国　59.3%）
（A 9 三オ　福岡県　52.3%　全国　54.0%）
- 文の成分の照応について理解すること

（A 9 五　　福岡県　49.5%　全国　50.8%）

○　国語Ｂでは、次のような課題が見られた。
- 課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えること

（B 2 三　　福岡県　49.2%　全国　49.2%）
- 本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くこと

（B 3 三　　福岡県　55.4%　全国　57.7%）

※　授業改善の視点から、特に本県として課題が見られるものを挙げている。

※数値は平均正答率を示す

■　平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差、評価の観点別・問題形式別正答率

＜国語Ａ＞

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	24.7	74.8	26.0	5.4
全国（公立）	25.0	75.6	26.0	5.4

	評価の観点					問題形式		
	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式
福岡県		78.2	73.1	77.9	72.9	72.3	80.4	
全国		78.9	73.7	78.6	73.9	73.5	80.5	

＜国語Ｂ＞

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	5.9	65.8	6.0	2.3
全国（公立）	6.0	66.5	6.0	2.3

	評価の観点					問題形式		
	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式
福岡県	57.4		57.4	65.8		70.0	70.0	57.4
全国	58.3		58.3	66.5		70.6	71.1	58.3

■　正答率分布　横軸：正答率（問）　縦軸：割合（%）

平成２８年度全国学力・学習状況調査　　中学校調査

調査結果概況　［国語Ａ：主として知識］

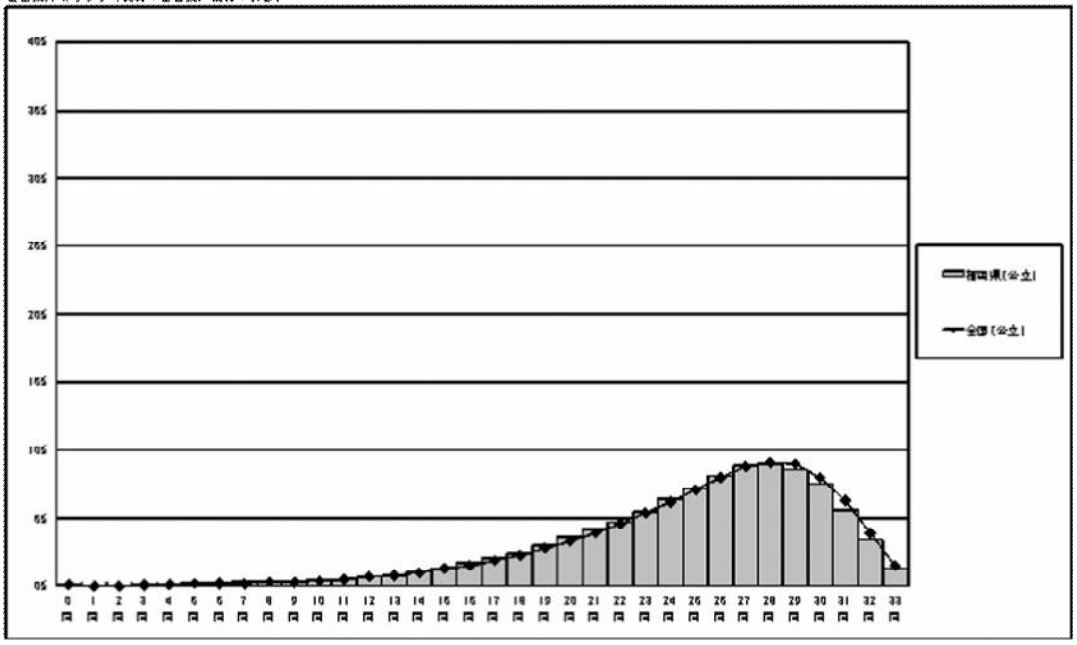
福岡県ー生徒（公立）

・以下の集計値／グラフは，４月１９日に実施した調査の結果を，生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	42,049	24.7 / 33	74.8	26.0	5.4
全国（公立）	996,188	26.0 / 33	78.6	28.0	5.4

在籍生徒数	調査対象生徒数	当日実施生徒数	後日実施生徒数	実施生徒無数
44,006	43,844	42,049	72	42,118
1,066,403	1,040,134	996,188	3,827	1,000,015

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



正答数別集計値（左：生徒数　右：割合（%））		
0問	34	0.1
1問	20	0.0
2問	16	0.0
3問	31	0.1
4問	41	0.1
5問	76	0.2
6問	93	0.2
7問	115	0.3
8問	120	0.3
9問	162	0.4
10問	198	0.5
11問	221	0.5
12問	298	0.7
13問	366	0.9
14問	477	1.1
15問	666	1.5
16問	712	1.7
17問	899	2.1
18問	996	2.4
19問	1216	2.9
20問	1519	3.6
21問	1749	4.2
22問	1916	4.6
23問	2331	5.5
24問	2706	6.4
25問	3001	7.2
26問	3423	8.1
27問	3760	8.9
28問	3774	9.0
29問	3602	8.6
30問	3174	7.6
31問	2371	5.6
32問	1413	3.4
33問	641	1.5

平成２８年度全国学力・学習状況調査　　中学校調査

調査結果概況　［国語Ｂ：主として活用］

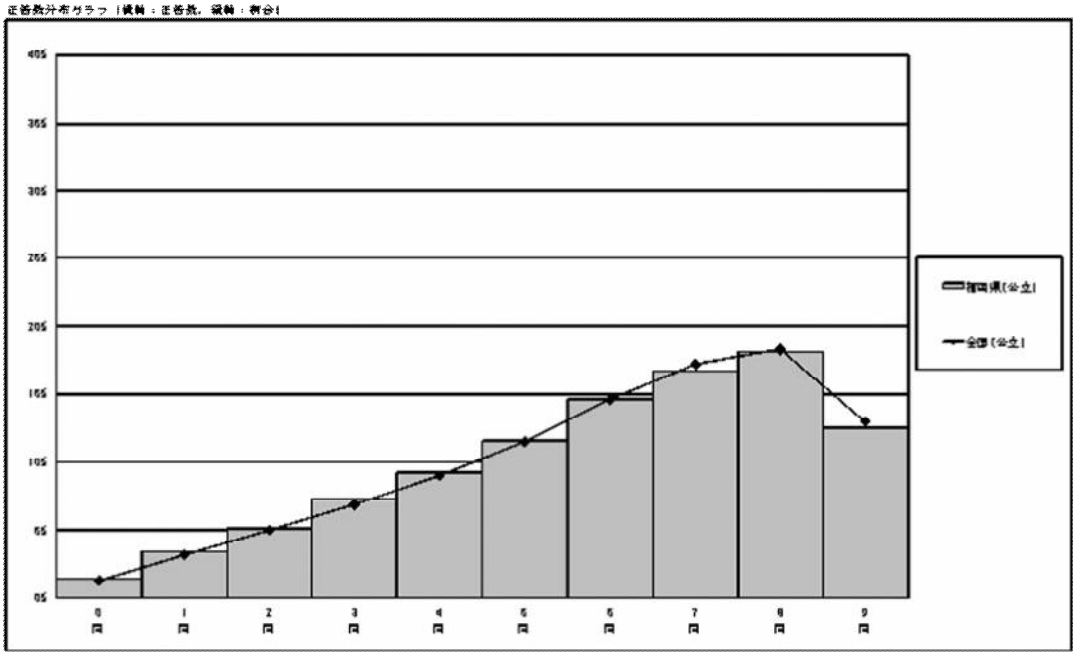
福岡県ー生徒（公立）

・以下の集計値／グラフは，４月１９日に実施した調査の結果を，生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	42,006	5.9 / 9	65.8	6.0	2.3
全国（公立）	996,366	6.0 / 9	66.6	6.0	2.3

在籍生徒数	調査対象生徒数	当日実施生徒数	後日実施生徒数	実施生徒無数
44,006	43,845	42,006	73	42,141
1,066,403	1,040,603	996,366	3,830	1,000,196

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



正答数別集計値（左：生徒数　右：割合（%））		
0問	691	1.6
1問	1,495	3.6
2問	2,143	5.1
3問	3,066	7.3
4問	3,878	9.2
5問	4,893	11.6
6問	6,146	14.6
7問	7,043	16.7
8問	7,696	18.1
9問	5,261	12.6

■　中学校国語Ａ　設問別正答率（前半）

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
			福岡県（公立）	全国（公立）	福岡県（公立）	全国（公立）
１一	聞き手をどのように想定して話しているのかを説明したものとして適切なものを選択する	聞き手の立場を想定し，話の中心的な部分と付加的な部分との関係に注意して話す	80.7	80.7	0.1	0.1
１二	絵本のページを提示した意図として適切なものを選択する	目的に応じて資料を効果的に活用して話す	77.2	78.1	0.2	0.2
２一	パンフレットの見出しを他の見出しの書き方を参考にして書く	伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く	77.9	78.1	3.9	3.5
２二	文章の一部を別の項目に移す理由として適切なものを選択する	集めた材料を整理して文章を構成する	72.9	73.2	0.3	0.3
３一	「ライスカレーの名に値する」の意味として適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する	84.7	84.7	0.2	0.2
３二	「私」にとってのライスカレーを説明したものとして適切なものを選択する	登場人物の言動の意味を考え，内容を理解する	90.1	90.0	0.2	0.2
４一	答えの文章を直した意図として適切なものを選択する	文章を読み返し，文の使い方などに注意して書く	64.3	64.7	0.7	0.6
４二	質問に対する答えが明確になるように適切な言葉を書く	伝えたい事柄について，根拠を明確にして書く	77.2	78.7	10.2	8.7
５一	電話を受けた相手のことを考えた言葉を書く	相手や場に応じた言葉遣いなどに気を付けて話す	92.6	93.1	4.2	3.7
５二	伝えたいことを明確にするために付け加える言葉として適切なものを選択する	全体と部分との関係に注意して話を構成する	87.4	88.7	0.3	0.3
６一	「不思議な機能」の説明として適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し，内容を捉える	81.0	81.3	0.4	0.4
６二	文章について説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や展開について自分の考えをもつ	66.4	67.3	0.6	0.6
７一	相手の発言をどのように聞いているのかを説明したものとして適切なものを選択する	話の展開などに注意して聞き，自分の考えと比較する	70.1	70.6	0.6	0.5
７二	話合いを踏まえた発言として適切なものを選択する	互いの発言を検討して自分の考えを広げる	61.0	62.0	0.7	0.6
８一	奥付の特徴を説明したものとして適切なものを選択する	奥付の特徴や役割を理解する	85.0	86.1	1.5	1.3
８二	資料集を活用するときの留意点を説明したものとして適切なものを選択する	奥付を使って本についての情報を得る	60.2	62.4	1.8	1.6

■　中学校国語Ａ　設問別正答率（後半）

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
			福岡県（公立）	全国（公立）	福岡県（公立）	全国（公立）
９ー１	漢字を書く（大学で歴史のケンキュウをする）	文脈に即して漢字を正しく書く	83.6	83.5	5.8	5.8
９ー２	漢字を書く（今までにないドクソウ的な考えだ）		23.2	26.1	11.8	11.4
９ー３	漢字を書く（家の庭に花をウえる）		91.3	89.9	4.4	5.2
９二１	漢字を読む（封筒を開ける）	文脈に即して漢字を正しく読む	97.6	97.6	1.3	1.3
９二２	漢字を読む（長年の努力が報われた）		94.2	94.8	2.2	2.0
９二３	漢字を読む（目上の人を敬う）		82.3	82.6	4.8	4.8
９三ア	適切な語句を選択する（彼は，忙しい仕事の合間を縫って，私に会いに来てくれた）	語句の意味を理解し，文脈の中で適切に使う	89.4	91.0	0.7	0.6
９三イ	適切な語句を選択する（厳しい挑戦だということは，もちろん分かっています）		97.7	97.9	0.7	0.5
９三ウ	適切な語句を選択する（弟子を手塩にかけて育てる）		56.3	59.3	1.2	1.1
９三エ	適切な敬語を選択する（私がプリントを集めて，先生にお届けします）		94.5	94.3	0.8	0.6
９三オ	適切な語句を選択する（会長候補として，白羽の矢が立つ）		52.3	54.0	1.0	0.8
９四ア	漢和辞典の「意味」の中から，「賛美」の「美」の意味として適切なものを選択する	辞書を活用し，漢字が表している意味を正しく捉える	57.1	60.3	1.4	1.0
９四イ	漢和辞典の「意味」の中から，「優美」の「美」の意味として適切なものを選択する		61.9	62.8	1.4	1.0
９五	文章を書き直した意図として適切なものを選択する	文の成分の照応について理解する	49.5	50.8	1.7	1.3
９六	題名の下書きをどのように書き直したのかを説明したものとして適切なものを選択する	文字の形や大きさ，配列に注意して書く	30.2	36.4	1.6	1.2
９七１	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（追ひし）	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む	84.2	80.2	4.9	4.4
９七２	「忘れがたき」の意味として適切なものを選択する	歌に表れた作者の思いを想像する	93.6	94.9	2.2	1.7

■　中学校国語Ｂ　設問別正答率

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
			福岡県（公立）	全国（公立）	福岡県（公立）	全国（公立）
１一	ちらしの表と裏から分かる「暮らしの中の伝統文化展」が開かれるねらいとして適切なものを選択する	文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け，要旨を捉える	76.4	76.2	0.2	0.2
１二	関連イベントの「～職人の技を見てみよう～」に参加することができる日付として適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る	82.6	83.3	0.2	0.2
１三	ちらしの表と裏の表現の工夫とその効果を書く	文章の構成や表現の仕方について，根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く	67.4	68.0	7.9	7.8
２一	雑誌の記事の説明として適切なものを選択する	文章の構成を捉える	64.6	64.9	0.3	0.2
２二	情報カードにまとめる内容として適切なものを選択する	目的に応じて文章を要約する	63.1	64.0	0.3	0.3
２三	宇宙エレベーターについて疑問に思ったことと，それを調べるために必要な本の探し方を書く	課題を決め，それに応じた情報の収集方法を考える	49.2	49.2	6.9	6.0
３一	物語の展開に沿って巳之助の様子を並べ替える	文章の展開に即して内容を理解する	70.0	71.1	1.5	1.2
３二	物語に書かれている事柄について図鑑の説明から分かることとして適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る	63.4	64.7	0.9	0.8
３三	図鑑の説明を読むことで，よく分かるようになった物語の部分と，その部分についてどのようなことが分かったのかを書く	本や文章などから必要な情報を読み取り，根拠を明確にして自分の考えを書く	55.4	57.7	24.5	22.8

４　中学校数学

○　数学Ａでは、次のような課題が見られた。

・　垂線の作図の方法について理解すること

（A4（１）　福岡県　29.9%　全国　30.9%）

・　一次関数のグラフから、ｘの変域に対応するｙの変域を求めること

（A10（３）　福岡県　36.2%　全国　43.0%）

○　数学Ｂでは、次のような課題が見られた。

・　筋道を立てて考え、証明すること

（B4（１）　福岡県　25.3%　全国　29.4%）

・　与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現すること

（B5（２）　福岡県　28.9%　全国　31.1%）

・　与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明すること

（B6（２）　福岡県　13.5%　全国　15.4%）

※　授業改善の視点から、特に本県として課題が見られるものを挙げている。

※数値は平均正答率を示す

■　平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差、評価の観点別・問題形式別正答率

＜数学Ａ＞

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	21.7	60.3	23.0	8.4
全国（公立）	22.4	62.2	23.0	8.3

	評価の観点				問題形式		
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数量や図形の技能	数量や図形の知識・理解	選択式	短答式	記述式
福岡県			64.9	55.1	56.0	62.7	
全国			66.9	56.8	57.8	64.6	

＜数学Ｂ＞

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	6.4	42.4	6.0	3.5
全国（公立）	6.6	44.1	6.0	3.5

	評価の観点				問題形式		
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数量や図形の技能	数量や図形の知識・理解	選択式	短答式	記述式
福岡県		37.5	55.8		40.6	55.7	31.6
全国		38.9	58.5		41.3	57.8	33.1

■　正答率分布　横軸：正答率（問）　縦軸：割合（%）

平成２８年度全国学力・学習状況調査　　中学校調査

調査結果概況　［数学Ａ：主として知識］

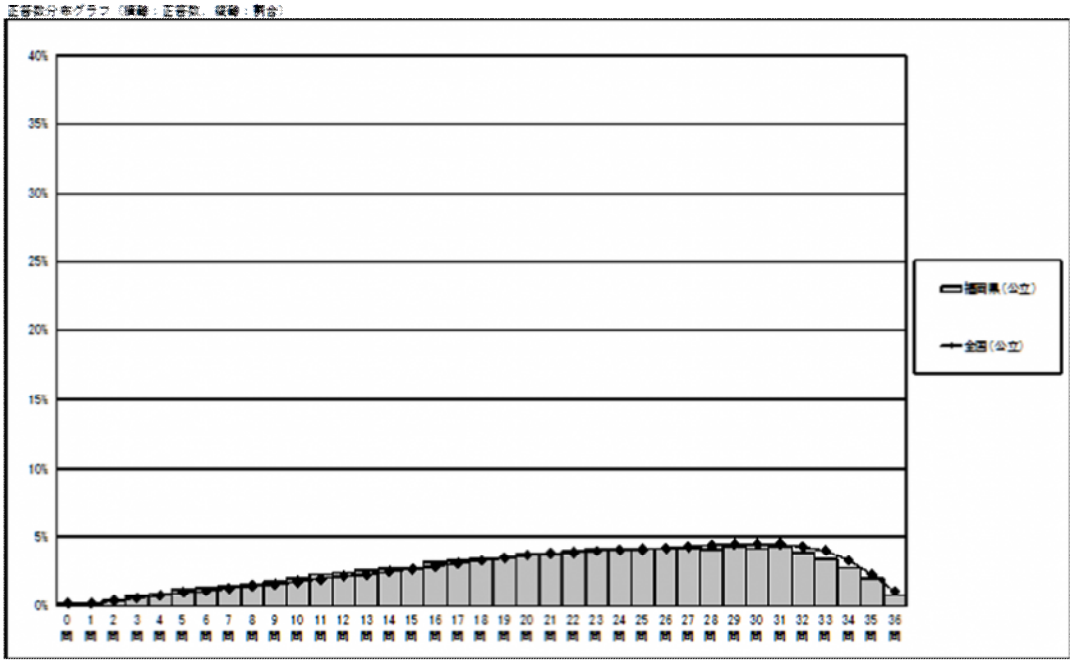
福岡県ー生徒（公立）

・以下の集計値／グラフは，４月１９日に実施した調査の結果を，生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	42,074	21.7 / 36	60.3	23.0	5.4
全国（公立）	996,802	22.4 / 36	62.2	23.0	5.3

在籍生徒数	調査対象生徒数	当日実施生徒数	後日実施生徒数	実施生徒数
44,605	43,544	42,074	77	42,151
1,066,403	1,040,710	996,802	3,545	1,000,347

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



正答数集計値（左：生徒数　右：割合（%））

0問	93	0.2
1問	99	0.2
2問	173	0.4
3問	287	0.7
4問	351	0.9
5問	502	1.2
6問	587	1.5
7問	553	1.4
8問	673	1.7
9問	748	1.9
10問	833	2.1
11問	955	2.4
12問	994	2.5
13問	1,107	2.8
14問	1,148	2.9
15問	1,150	2.9
16問	1,318	3.3
17問	1,409	3.5
18問	1,474	3.7
19問	1,459	3.7
20問	1,555	3.9
21問	1,595	4.0
22問	1,677	4.2
23問	1,745	4.4
24問	1,748	4.4
25問	1,764	4.4
26問	1,755	4.4
27問	1,760	4.4
28問	1,737	4.4
29問	1,714	4.3
30問	1,749	4.4
31問	1,711	4.3
32問	1,524	3.8
33問	1,416	3.6
34問	1,105	2.8
35問	832	2.1
36問	213	0.5

平成２８年度全国学力・学習状況調査　　中学校調査

調査結果概況　［数学Ｂ：主として活用］

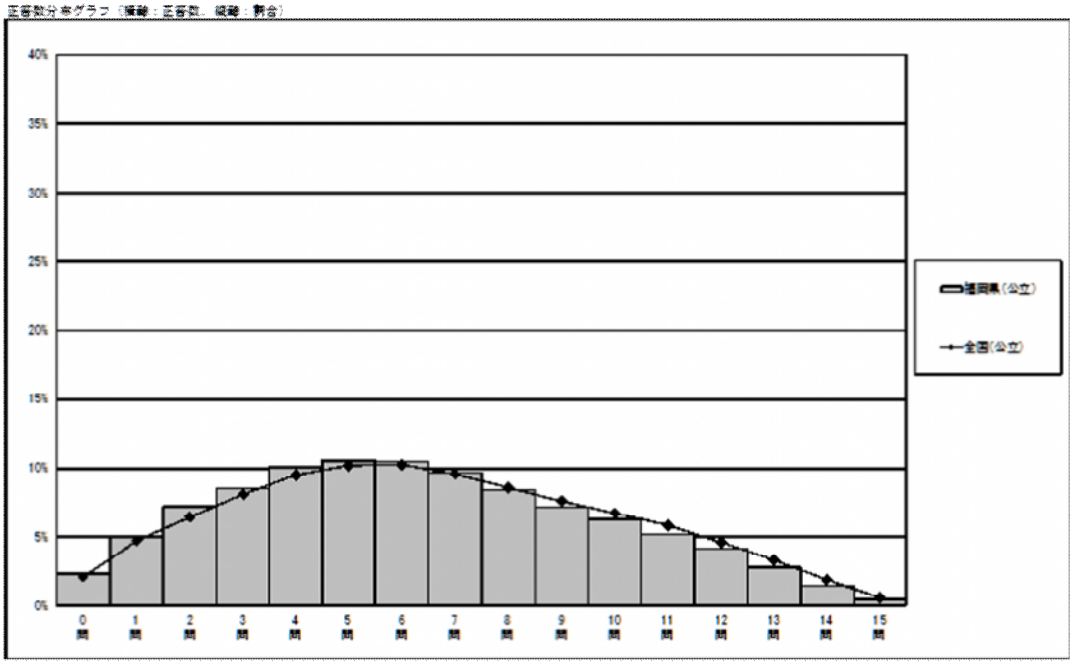
福岡県ー生徒（公立）

・以下の集計値／グラフは，４月１９日に実施した調査の結果を，生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率（%）	中央値	標準偏差
福岡県（公立）	42,074	6.4 / 15	42.4	6.0	3.5
全国（公立）	996,675	6.6 / 15	44.1	6.0	3.5

在籍生徒数	調査対象生徒数	当日実施生徒数	後日実施生徒数	実施生徒数
44,605	43,545	42,072	80	42,152
1,066,403	1,040,542	996,675	3,554	1,000,432

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



正答数集計値（左：生徒数　右：割合（%））

0問	913	2.2
1問	2,117	5.0
2問	3,016	7.2
3問	3,858	9.2
4問	4,245	10.1
5問	4,479	10.6
6問	4,435	10.5
7問	4,062	9.7
8問	3,529	8.4
9問	3,003	7.1
10問	2,649	6.3
11問	2,306	5.5
12問	1,735	4.1
13問	1,170	2.8
14問	642	1.5
15問	221	0.5

■　中学校数学Ａ　設問別正答率（前半）

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
			福岡県（公立）	全国（公立）	福岡県（公立）	全国（公立）
１（１）	$\frac{2}{5}\times 0.6$　を計算する	分数と小数の乗法の計算ができる	66.4	66.9	5.5	5.0
１（２）	－５，０，１，２．５，４の中から自然数を全て選ぶ	自然数の意味を理解している	37.3	40.6	0.3	0.2
１（３）	－３＋(－７)を計算する	正の数と負の数の加法の計算ができる	90.8	91.6	0.9	0.7
１（４）	今日の水位が１週間前の水位からどれだけ高くなったかを求める式を選ぶ	ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されることを理解している	69.7	69.0	0.4	0.3
２（１）	ある数を３でわると，商が a で余りが２になるとき，ある数を a を用いた式で表す	数量の関係を文字式に表すことができる	32.9	32.2	12.7	12.5
２（２）	$(2x+5y)+3(x-2y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算ができる	82.0	84.0	3.1	2.5
２（３）	ある数 a について，不等式 $a>5$ と表せる事柄を選ぶ	不等式の意味を読み取ることができる	78.0	78.2	0.3	0.3
２（４）	等式 $S=ah$ を h について解く	具体的な場面で数量の関係を表す式を，等式の性質を用いて，目的に応じて変形できる	63.3	67.9	9.5	8.2
３（１）	一元一次方程式 $x+12=-2x$ を解く	簡単な一元一次方程式を解くことができる	69.3	71.3	5.6	5.1
３（２）	一元一次方程式 $2x=x+3$ の解について，正しい記述を選ぶ	一元一次方程式の解の意味を理解している	47.0	47.2	0.5	0.5
３（３）	縦と横の長さの比が ５：８ の長方形の看板について，縦の長さが４５cmのときの横の長さ x cmを決めるための比例式をつくる	具体的な場面における数量の関係を捉え，比例式をつくることができる	47.6	52.3	16.4	15.4
３（４）	方程式 $2x+y=x-y=3$ から，x と y の値を求めるための連立方程式を完成させる	２つの等号で結ばれている方程式が表す関係を読み取り，２つの二元一次方程式で表すことができる	88.3	89.7	6.5	5.4
４（１）	与えられた方法で作図された直線についていえることを選ぶ	垂線の作図の方法について理解している	29.9	30.9	0.9	0.8
４（２）	△ＡＢＣを，直線ℓを軸として対称移動した図形をかく	対称移動した図形をかくことができる	69.7	71.8	2.1	2.0
５（１）	三角柱において，与えられた辺とねじれの位置にある辺を書く	空間における直線と直線との位置関係(辺と辺とがねじれの位置にあること)を理解している	78.8	75.5	2.4	2.6
５（２）	四角形をその面に垂直な方向に一定の距離だけ平行に動かしてできる立体の名称を書く	四角形をその面と垂直な方向に平行に動かすと，四角柱が構成されることを理解している	72.2	74.0	6.0	5.6
５（３）	立方体の見取図を読み取り，２つの角の大きさの関係について，正しい記述を選ぶ	見取図に表された立方体の角の大きさの関係を読み取ることができる	78.8	78.8	0.7	0.6
５（４）	円柱の体積が６００cm^3 のとき，その円柱と底面の円が合同で高さが等しい円錐の体積を求める	円錐の体積は，それと底面が合同で高さが等しい円柱の体積の１/３であることを理解している	47.6	49.9	15.1	14.2

■　中学校数学Ａ　設問別正答率（後半）

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
			福岡県（公立）	全国（公立）	福岡県（公立）	全国（公立）
６（１）	平行線や角の性質を用いて∠ＡＰＢの大きさを求める	平行線や角の性質を用いて，角の大きさを求めることができる	71.1	74.8	5.5	4.5
６（２）	多角形の外角の和について，正しい記述を選ぶ	多角形の外角の和の性質を理解している	67.8	69.3	0.8	0.8
７（１）	△ＡＢＣと△ＤＥＦが合同であるための条件として，正しいものを選ぶ	三角形の合同条件を理解している	67.6	70.8	0.8	0.8
７（２）	ひし形の対角線が垂直に交わることを，記号を用いて表す	ひし形について対角線が垂直に交わることを，記号を用いて表すことができる	73.1	74.7	12.3	11.4
７（３）	図形に成り立つ性質の逆の事柄を完成する	命題の逆を理解している	68.4	72.3	9.0	7.7
８	証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについて，正しい記述を選ぶ	証明の必要性と意味を理解している	60.8	61.9	1.3	1.2
９（１）	比例の表を完成させる	比例の関係を表す表から変化や対応の特徴を捉え，x の値に対応する y の値を求めることができる	87.1	87.9	3.5	3.2
９（２）	比例 $y=2x$ について，x の値が１から４まで増加したときの y の増加量を求める	比例の式について，x の値の増加に伴う y の増加量を求めることができる	37.3	39.4	13.7	12.1
９（３）	反比例を表した事象を選ぶ	具体的な事象における２つの数量の関係が，反比例の関係になることを理解している	42.4	42.0	1.3	1.3
９（４）	反比例のグラフから式を求める	反比例のグラフ上の点の座標から，x と y の関係を式で表すことができる	33.7	34.5	16.0	14.8
１０（１）	一次関数の表からグラフを選ぶ	一次関数のグラフの特徴について，表と関連付けて理解している	57.9	61.9	1.7	1.6
１０（２）	一次関数の式から変化の割合を求める	一次関数 $y=ax+b$ について，変化の割合が一定で a の値に等しいことを理解している	52.8	54.6	22.8	22.3
１０（３）	一次関数のグラフから，x の変域に対応する y の変域を求める	一次関数のグラフから，x の変域に対応する y の変域を求めることができる	36.2	43.0	21.7	18.9
１１	一次関数の事象を式で表す	具体的な事象における一次関数の関係を式に表すことができる	49.5	53.0	15.1	14.1
１２（１）	読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から，読んだ本の冊数の最頻値を求める	資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる	45.5	45.5	17.3	17.4
１２（２）	ある郵便物の重さについて，デジタルはかりで表示された値を基に，真の値の範囲を選ぶ	測定値が与えられた場面において，近似値と誤差の意味を理解している	30.9	34.7	2.6	2.5
１３（１）	１枚の硬貨を投げたときの確率について，正しい記述を選ぶ	「同様に確からしい」ことの意味や，前の試行が次の試行に影響しないことを理解している	60.3	66.0	2.2	1.9
１３（２）	１から１３までの数字が書かれた１３枚のカードから５または１１のカードをひく確率を求める	簡単な場合について，確率を求めることができる	78.5	79.6	9.6	8.5

■　中学校数学Ｂ　設問別正答率

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)		無解答率(%)	
			福岡県（公立）	全国（公立）	福岡県（公立）	全国（公立）
１（１）	１試合の時間を１６分とするとき，１回の休憩の時間を求める	与えられた情報から必要な情報を適切に選択し，処理することができる	78.9	79.3	1.3	1.2
１（２）	葉月さんの提案を取り入れたとき，１試合の時間を求めるための方程式をつくる	与えられた情報から必要な情報を適切に選択し，数量の関係を数学的に表現することができる	31.7	33.4	19.9	19.3
１（３）	１試合の時間を１０分とることができるかについて正しい記述を選び，その理由を式を基に説明する	適切な事柄を判断し，その事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明することができる	51.6	51.4	2.1	2.3
２（１）	一次関数の表からx＝４のときの y の値を求める	条件を基に，表から数量の変化や対応の特徴を捉え，x の値に対応する y の値を求めることができる	53.4	59.1	10.5	8.7
２（２）	x＝４のとき y＝９になるように，xとyの間の関係を書き加えることについて，正しい記述を選び，その理由を説明する	加えるべき条件を判断し，それが適している理由を説明することができる	19.8	20.6	7.9	8.2
３（１）	Ａ車を購入して１０年間使用するときの総費用を求める	与えられた情報から必要な情報を選択し，的確に処理することができる	66.3	67.4	3.9	3.4
３（２）	Ｂ車の使用年数と総費用の関係を表すグラフについて，グラフの傾きが表すものを選ぶ	グラフの傾きを事象に即して解釈することができる	30.7	29.8	0.7	0.7
３（３）	Ａ車とＢ車について，式やグラフを用いて，２つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し，問題解決の方法を数学的に説明することができる	29.6	30.3	11.7	12.1
４（１）	２つの辺の長さが等しい事を，三角形の合同を利用して証明する	筋道を立てて考え，証明することができる	25.3	29.4	24.5	22.3
４（２）	ＤＡ：ＤＣ＝１：２のときの△ＤＥＣがどのような三角形になるかを説明する	付加された条件の下で，新たな事柄を見いだし，説明することができる	35.0	37.3	32.6	30.5
５（１）	２４．５cmの靴を最も多く買うという考えが適切ではない理由を，グラフの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え，判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	46.2	47.6	21.8	19.3
５（２）	２５．５cmの靴が貸し出された回数の相対度数を求める式を書く	与えられた情報から必要な情報を選択し，数学的に表現することができる	28.9	31.1	35.6	33.5
６（１）	最初に決めた数が５のとき，手順通りに求めた数を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	74.8	76.4	14.4	12.8
６（２）	文字を使って手順通りに求めた数から最初に決めた数を当てる方法を説明する	与えられた式を用いて，問題を解決する方法を数学的に説明することができる	13.5	15.4	45.2	41.5
６（３）	当てる方法を変えるとき，新しい数当てゲームの手順について当てはまる言葉を選ぶ	計算の過程を振り返って考え，数当てゲームの新しい手順を完成することができる	50.6	52.9	4.8	4.5

５　過去の調査問題（同一問題）との正答率比較

※　「本県における過去との比較」は、同一問題について、本年度と過去の本県における正答率を比較し、その差を表す。
（↑：向上、↓：低下、数値は過去の本県調査結果と比較した増減値）

※　「全国における過去との比較」は、同一問題について、本年度と過去の全国における正答率を比較し、その差を表す。
（↑：向上、↓：低下、数値は過去の全国調査結果と比較した増減値）

【小学校国語Ａ】

問題番号	問題の内容	H28 福岡県	H28 全国	H28 差	過去の全国調査における同一問題の正答率				本県における過去との比較	全国における過去との比較
					年度	福岡県	全国	差		
1 二３	漢字を書く（先生にそうだんする）	66.3	64.2	+2.1	H19・同	56.4	58.0	−1.6	+9.9 ↑	+6.2 ↑

【中学校国語Ａ】

問題番号	問題の内容	H28 福岡県	H28 全国	H28 差	過去の全国調査における同一問題の正答率				本県における過去との比較	全国における過去との比較
					年度	福岡県	全国	差		
9 三ウ	適切な語句を選択する（弟子を手塩にかけて育てる）	56.3	59.3	−3.0	H24・同	57.1	60.6	−3.5	−0.8 ↓	−1.3 ↓

【小学校算数Ａ】

問題番号	問題の内容	H28 福岡県	H28 全国	H28 差	過去の全国調査における同一問題の正答率				本県における過去との比較	全国における過去との比較
					年度	福岡県	全国	差		
1 （１）	□÷0.8の商の大きさについて、正しいものを選ぶ	65.9	64.8	+1.1	H20・類	44.8	45.1	−0.3	+21.1 ↑	+19.7 ↑
2 （３）	18÷0.9を計算する	80.3	77.7	+2.6	H19・類	73.6	72.7	+0.9	+6.7 ↑	+5.0 ↑
2 （４）	(2/9)×3を計算する	87.8	87.0	+0.8	H25・類	91.3	89.5	+1.8	−3.5 ↓	−2.5 ↓
4	8㎡に14人座っているシートについて、1㎡当たりの人数を求める式を書く	73.2	72.0	+1.2	H26・類	60.7	60.8	−0.1	+12.5 ↑	+11.2 ↑
5	三角形の底辺に対応する高さを選ぶ	80.1	82.0	−1.9	H24・類	51.9	54.6	−2.7	+28.2 ↑	+27.4 ↑

【中学校数学Ａ】

問題番号	問題の内容	H28 福岡県	H28 全国	H28 差	過去の全国調査における同一問題の正答率				本県における過去との比較	全国における過去との比較
					年度	福岡県	全国	差		
3 （１）	一元一次方程式ｘ＋１２＝－２ｘを解く	69.3	71.3	-2.0	H20・類	77.2	77.8	-0.6	-7.9 ↓	-6.5 ↓
4 （１）	与えられた方法で作図された直線についていえることを選ぶ	29.9	30.9	-1.0	H26・類	52.1	56.0	-3.9	-22.2 ↓	-25.1 ↓
4 （２）	△ＡＢＣを、直線ℓを軸として対称移動した図形をかく	69.7	71.8	-2.1	H24・類	80.1	81.3	-1.2	-10.4 ↓	-9.5 ↓
5 （１）	三角柱において、与えられた辺とねじれの位置にある辺を書く	78.8	75.5	+3.3	H19・類	74.5	70.1	+4.4	+4.3 ↑	+5.4 ↑
6 （２）	多角形の外角の和について、正しい記述を選ぶ	67.8	69.3	-1.5	H21・同	64.9	66.1	-1.2	+2.9 ↑	+3.2 ↑
7 （３）	図形に成り立つ性質の逆の事柄を完成する	68.4	72.3	-3.9	H24・類	69.0	72.4	-3.4	-0.6 ↓	-0.1 ↓
8	証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについて、正しい記述を選ぶ	60.8	61.9	-1.1	H25・類	62.7	64.1	-1.4	-1.9 ↓	-2.2 ↓
9 （１）	比例の表を完成させる	87.1	87.9	-0.8	H22・類	87.0	87.8	-0.8	+0.1 ↑	+0.1 ↑
9 （４）	反比例のグラフから式を求める	33.7	34.5	-0.8	H20・類	35.7	35.9	-0.2	-2.0 ↓	-1.4 ↓
10 （２）	一次関数の式から変化の割合を求める	52.8	54.6	-1.8	H22・類	51.2	51.6	-0.4	+1.6 ↑	+3.0 ↑
11	一次関数の事象を式で表す	49.5	53.0	-3.5	H25・類	51.9	54.3	-2.4	-2.4 ↓	-1.3 ↓
13 （１）	１枚の硬貨を投げたときの確率について、正しい記述を選ぶ	60.3	66.0	-5.7	H24・同	58.6	64.6	-6.0	+1.7 ↑	+1.4 ↑

Ⅳ　児童生徒質問紙に関する調査結果と分析

1　児童生徒質問紙調査の目的

小学校第６学年の児童及び中学校第３学年の生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する質問調査を行い、児童生徒の学習意欲や学習習慣の改善・充実のための教育活動や教育施策の改善を図る。

2　本報告書において分析の対象とした質問項目

	視点	番号	カテゴリー	質問番号	質問項目	頁番号
1	学力基盤づくり	(1)	将来に関する意識	9	将来の夢や目標を持っていますか。	78
				5	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。	80
		(2)	自尊意識	6	自分には、よいところがあると思いますか。	82
		(3)	学校生活	26	学校に行くのは楽しいと思いますか。	84
		(4)	規範意識	39	学校のきまり（規則）を守っていますか。	86
				42	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	88
		(5)	学習に対する関心・意欲・態度	61	国語の勉強は好きですか。	90
				71	算数（数学）の勉強は好きですか。	92
		(6)	基本的な生活習慣	1	朝食を毎日食べていますか。	94
2	授業づくり	(1)	各教科の内容	63	国語の授業の内容はよく分かりますか。	96
				68	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。	98
				73	算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか。	100
				75	算数（数学）の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。	102
		(2)	発表の機会	48	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。	104
		(3)	課題を立てて、解決するなどの学習活動	50	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか。	106
		(4)	話し合う活動	49	授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。	108
		(5)	学習内容を振り返る活動	54	授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。	110
3	家庭・関係機関との連携	(1)	家庭学習	21	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	112
				14	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師も含む）。	114
		(2)	読書時間	17	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。	116
		(3)	テレビやビデオ・ＤＶＤの視聴時間	11	普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・ＤＶＤを見たり、聞いたりしますか（テレビゲームをする時間は除く）。	118
		(4)	携帯電話やスマートフォンの使用時間	13	普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（ゲームをする時間は除く）。	120
		(5)	家庭でのコミュニケーション	19	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。	122
		(6)	地域や社会に対する興味・関心	35	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。	124

３　分析の方法

Ａ　回答状況の経年比較

同一の質問項目に対する本県全体の児童生徒の回答状況を、当該質問が初めて調査項目となった年度、平成２６、２７、２８年度で比較する。

Ｂ　回答状況と教科の正答率との相関関係

平成２８年度における質問項目に対する回答状況と教科区分ごとの平均正答率との相関関係を示す。

Ｃ　地区別の回答状況

同一の質問項目に対する各地区の児童生徒の回答状況を、当該質問が初めて調査項目となった年度、平成２６、２７、２８年度で比較する。

４　資料を読み取る際の留意点

特定の選択肢を回答した児童生徒が少ない場合には、極端な傾向を示す場合がある。また、質問紙に対する回答状況は、選択肢以外の回答や無回答を除外しているため、合計が１００％にならない場合がある。

１　学力基盤づくり

（１）　将来に関する意識

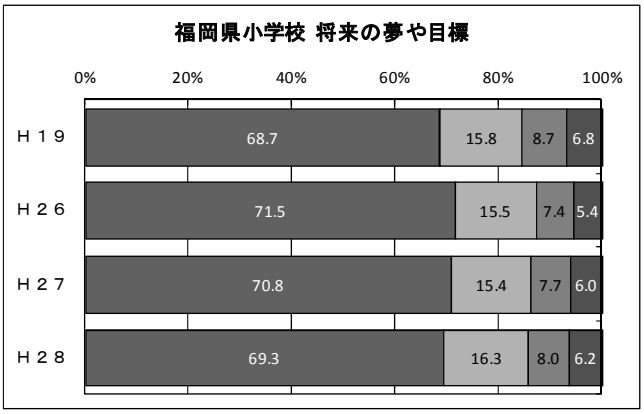
※ 数字は、児童生徒質問紙中の質問番号

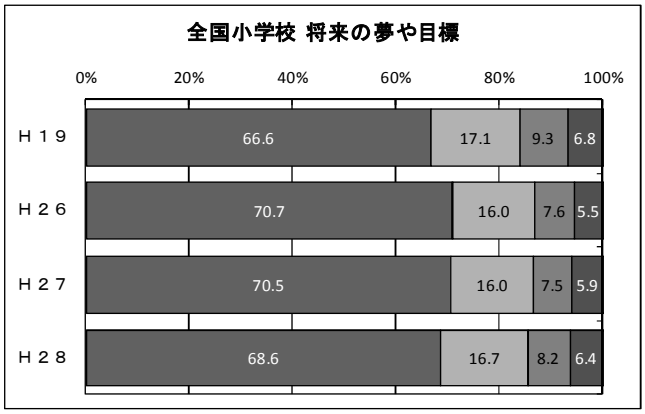
９	将来の夢や目標を持っていますか。

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して小学校、中学校ともに減少している。
○　当てはまらないと回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において低い傾向にある。

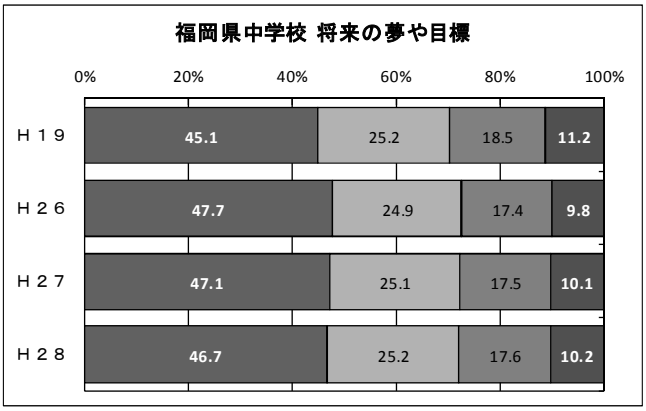
■当てはまる　■どちらかといえば　■あまり　■当てはまらない

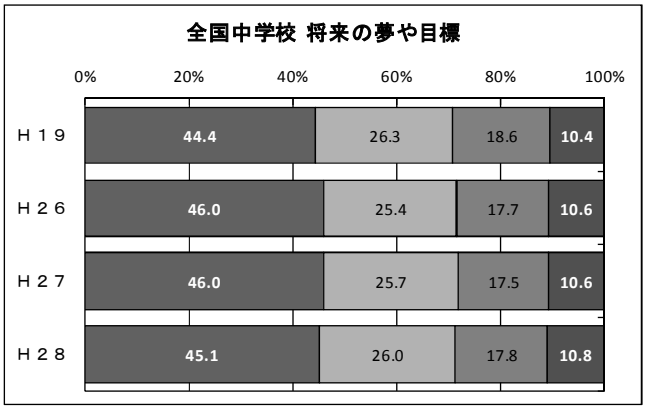
■　小学校回答状況



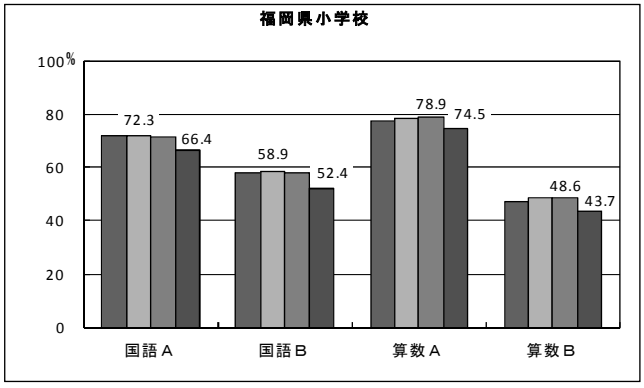


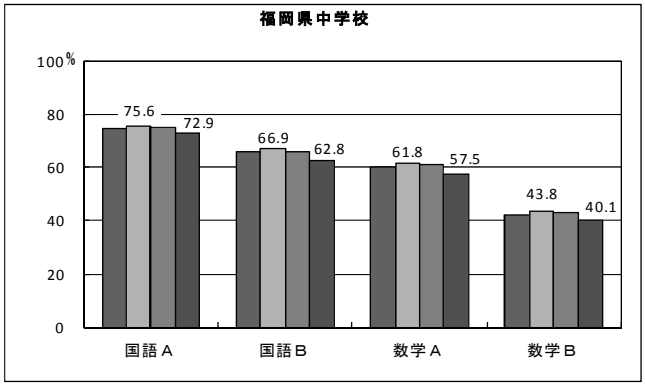
■　中学校回答状況



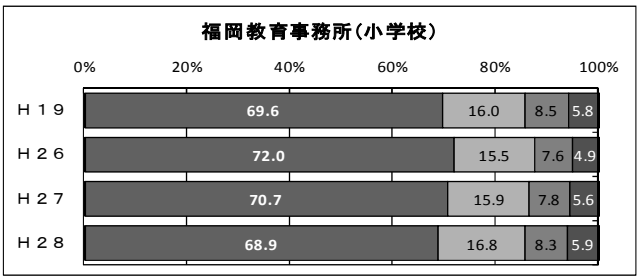


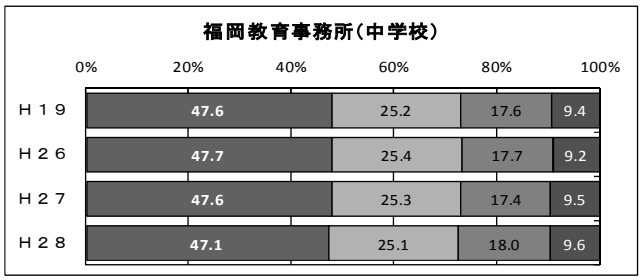
■　教科の正答率との相関関係

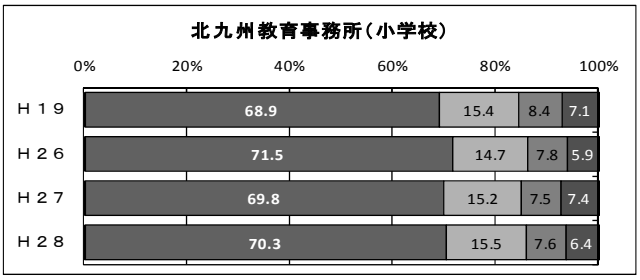


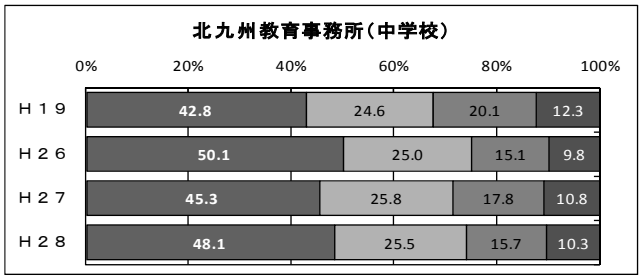


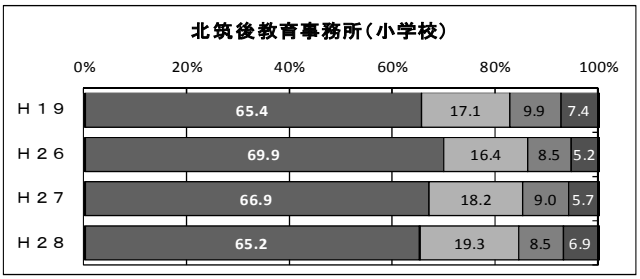
■　地区別回答状況

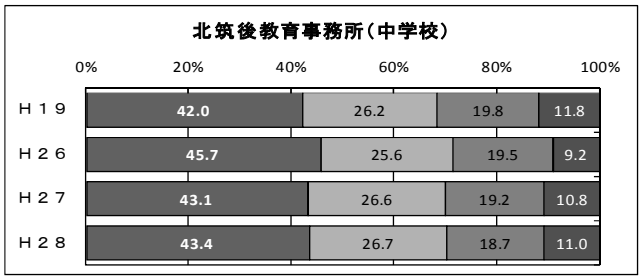

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
69.6
16.0
8.5
5.8
H26
72.0
15.5
7.6
4.9
H27
70.7
15.9
7.8
5.6
H28
68.9
16.8
8.3
5.9

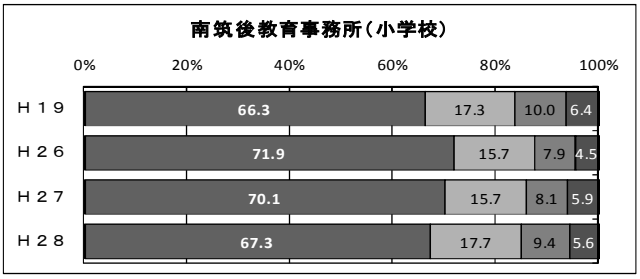

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
47.6
25.2
17.6
9.4
H26
47.7
25.4
17.7
9.2
H27
47.6
25.3
17.4
9.5
H28
47.1
25.1
18.0
9.6

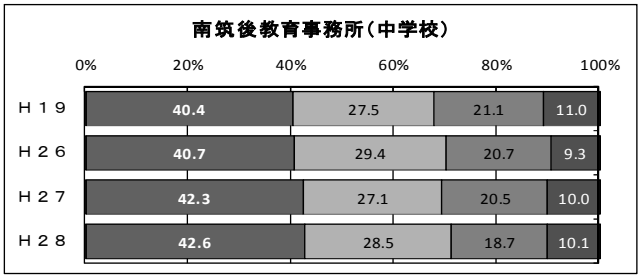

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
68.9
15.4
8.4
7.1
H26
71.5
14.7
7.8
5.9
H27
69.8
15.2
7.5
7.4
H28
70.3
15.5
7.6
6.4

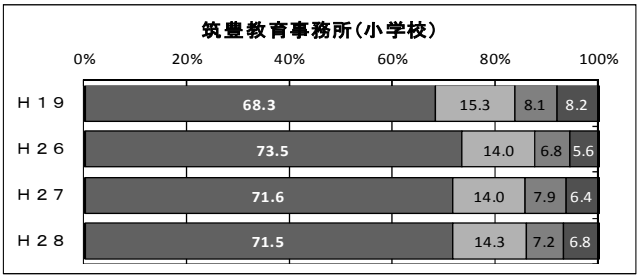

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
42.8
24.6
20.1
12.3
H26
50.1
25.0
15.1
9.8
H27
45.3
25.8
17.8
10.8
H28
48.1
25.5
15.7
10.3

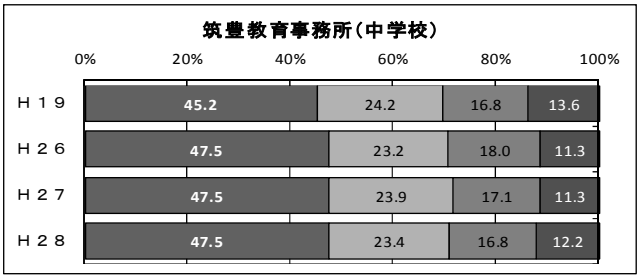

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
65.4
17.1
9.9
7.4
H26
69.9
16.4
8.5
5.2
H27
66.9
18.2
9.0
5.7
H28
65.2
19.3
8.5
6.9

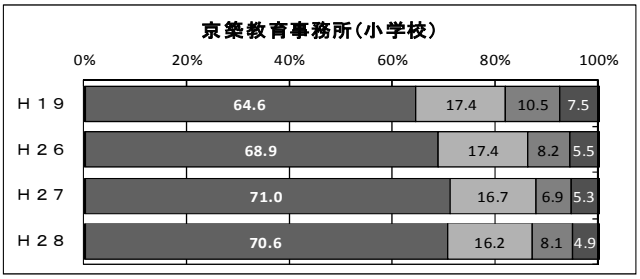

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
42.0
26.2
19.8
11.8
H26
45.7
25.6
19.5
9.2
H27
43.1
26.6
19.2
10.8
H28
43.4
26.7
18.7
11.0

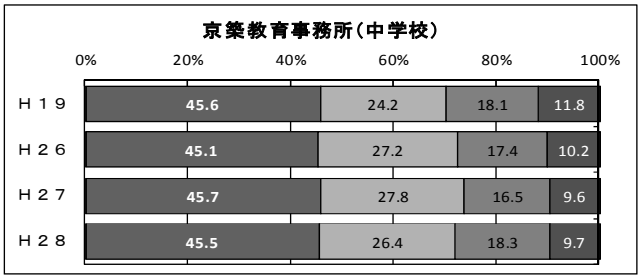

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
66.3
17.3
10.0
6.4
H26
71.9
15.7
7.9
4.5
H27
70.1
15.7
8.1
5.9
H28
67.3
17.7
9.4
5.6

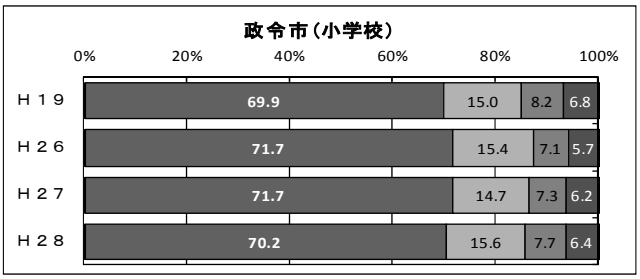

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
40.4
27.5
21.1
11.0
H26
40.7
29.4
20.7
9.3
H27
42.3
27.1
20.5
10.0
H28
42.6
28.5
18.7
10.1

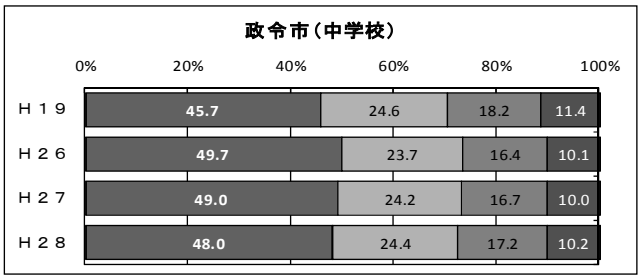

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
68.3
15.3
8.1
8.2
H26
73.5
14.0
6.8
5.6
H27
71.6
14.0
7.9
6.4
H28
71.5
14.3
7.2
6.8


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
45.2
24.2
16.8
13.6
H26
47.5
23.2
18.0
11.3
H27
47.5
23.9
17.1
11.3
H28
47.5
23.4
16.8
12.2


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
64.6
17.4
10.5
7.5
H26
68.9
17.4
8.2
5.5
H27
71.0
16.7
6.9
5.3
H28
70.6
16.2
8.1
4.9


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
45.6
24.2
18.1
11.8
H26
45.1
27.2
17.4
10.2
H27
45.7
27.8
16.5
9.6
H28
45.5
26.4
18.3
9.7


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
69.9
15.0
8.2
6.8
H26
71.7
15.4
7.1
5.7
H27
71.7
14.7
7.3
6.2
H28
70.2
15.6
7.7
6.4

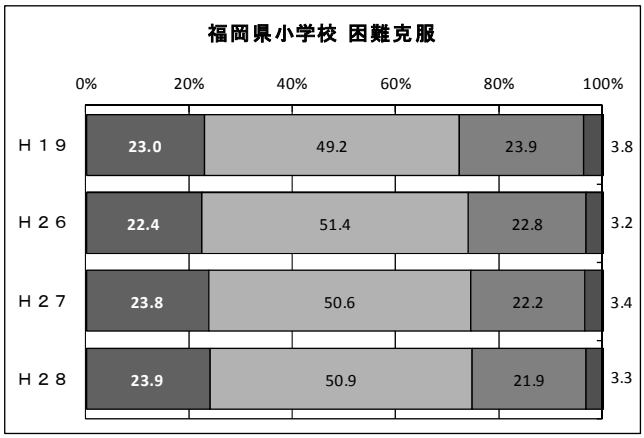

政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
45.7
24.6
18.2
11.4
H26
49.7
23.7
16.4
10.1
H27
49.0
24.2
16.7
10.0
H28
48.0
24.4
17.2
10.2

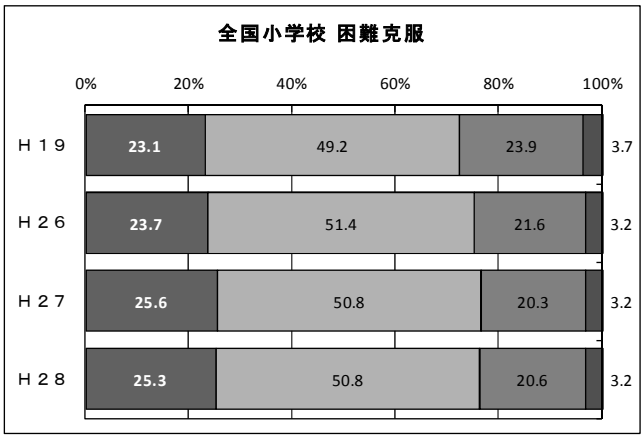
５	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。また、このような傾向は、「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」の質問項目においても、同様に見られる。

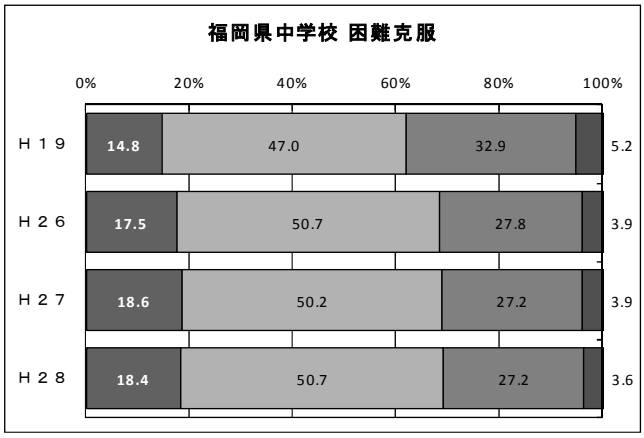
■当てはまる　■どちらかといえば　■あまり　■当てはまらない

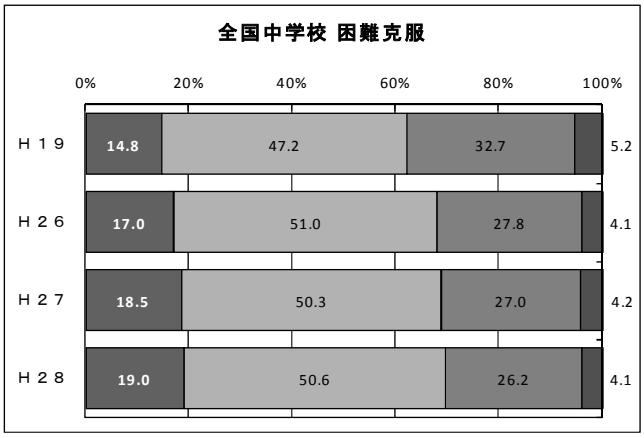
■　小学校回答状況



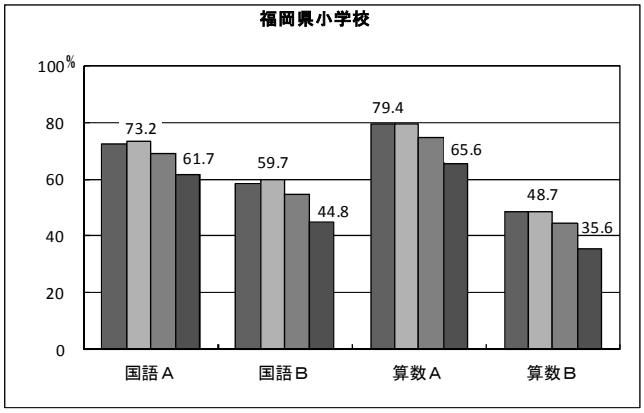


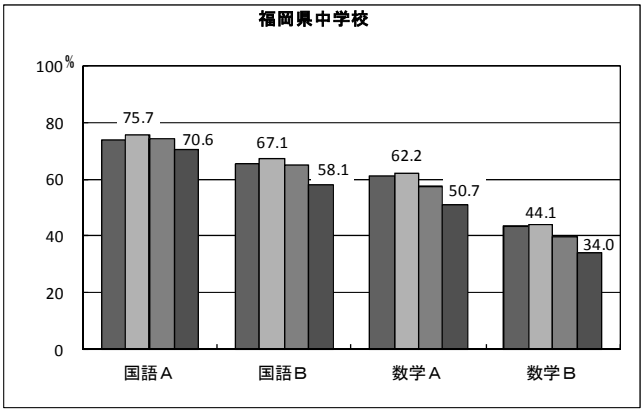
■　中学校回答状況



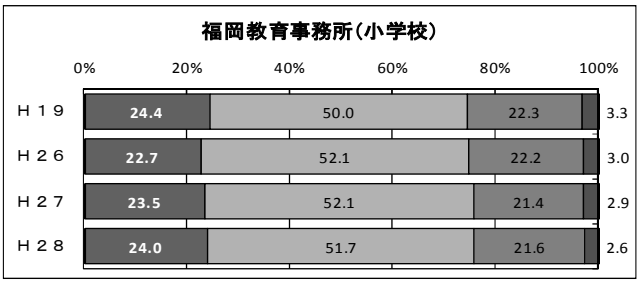


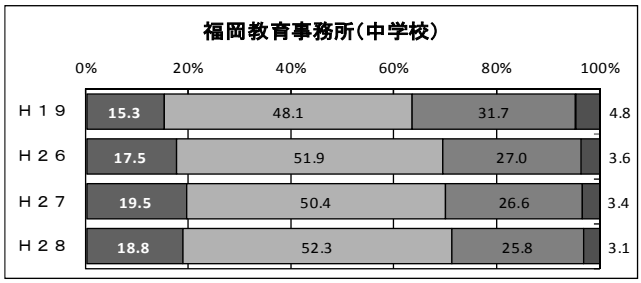
■　教科の正答率との相関関係

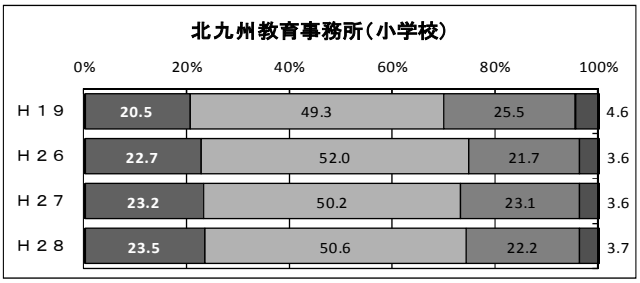


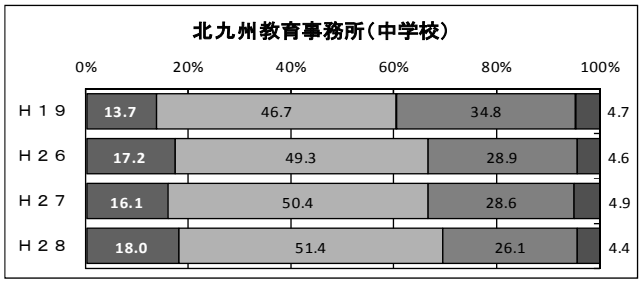


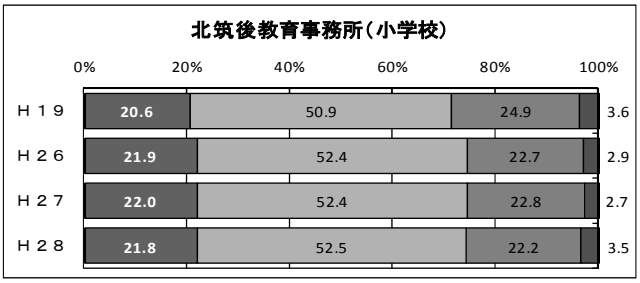
■　地区別回答状況

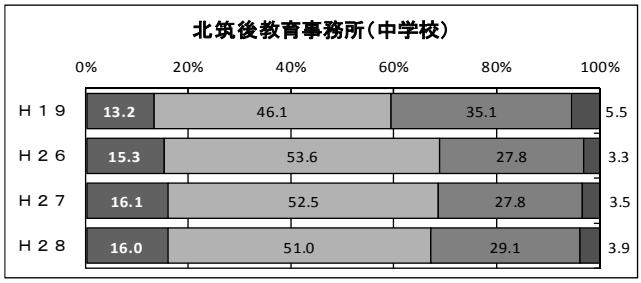

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 24.4 50.0 22.3 3.3
H26 22.7 52.1 22.2 3.0
H27 23.5 52.1 21.4 2.9
H28 24.0 51.7 21.6 2.6

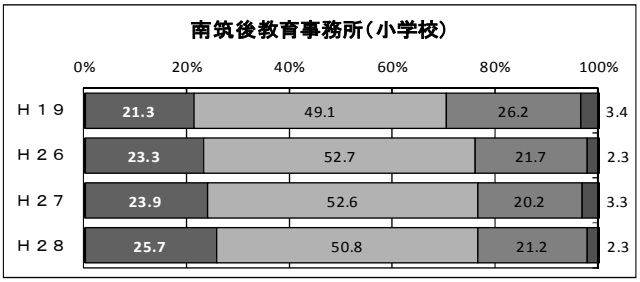

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 15.3 48.1 31.7 4.8
H26 17.5 51.9 27.0 3.6
H27 19.5 50.4 26.6 3.4
H28 18.8 52.3 25.8 3.1

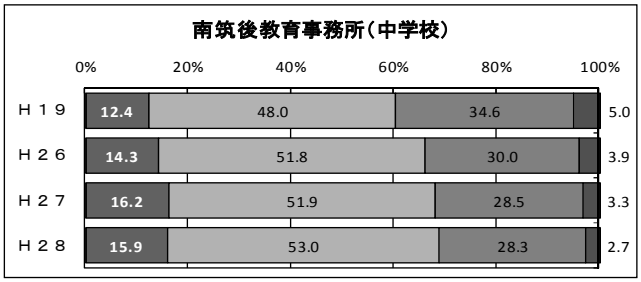

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 20.5 49.3 25.5 4.6
H26 22.7 52.0 21.7 3.6
H27 23.2 50.2 23.1 3.6
H28 23.5 50.6 22.2 3.7

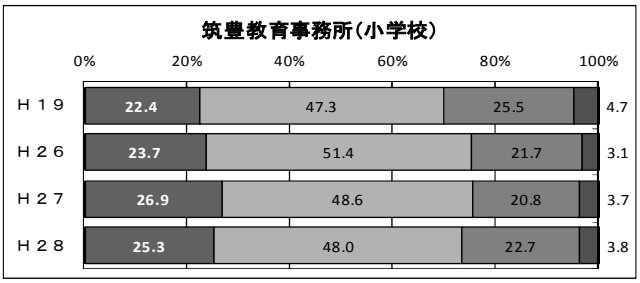

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 13.7 46.7 34.8 4.7
H26 17.2 49.3 28.9 4.6
H27 16.1 50.4 28.6 4.9
H28 18.0 51.4 26.1 4.4

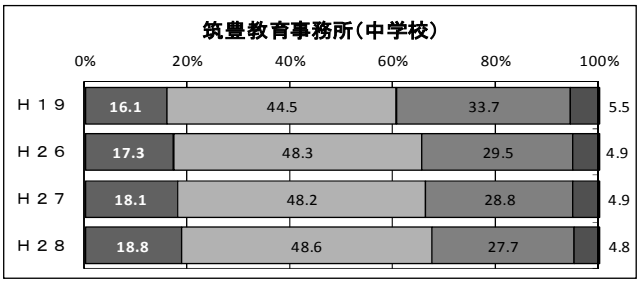

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 20.6 50.9 24.9 3.6
H26 21.9 52.4 22.7 2.9
H27 22.0 52.4 22.8 2.7
H28 21.8 52.5 22.2 3.5

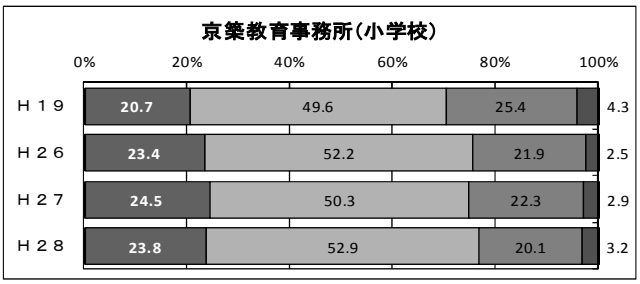

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 13.2 46.1 35.1 5.5
H26 15.3 53.6 27.8 3.3
H27 16.1 52.5 27.8 3.5
H28 16.0 51.0 29.1 3.9

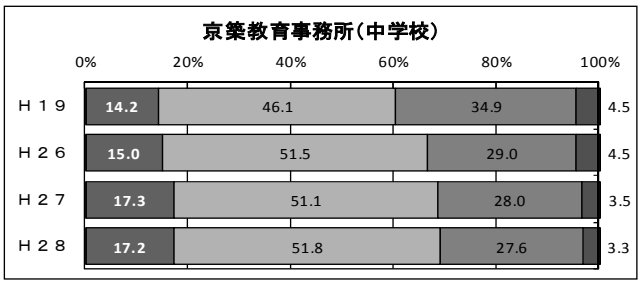

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 21.3 49.1 26.2 3.4
H26 23.3 52.7 21.7 2.3
H27 23.9 52.6 20.2 3.3
H28 25.7 50.8 21.2 2.3

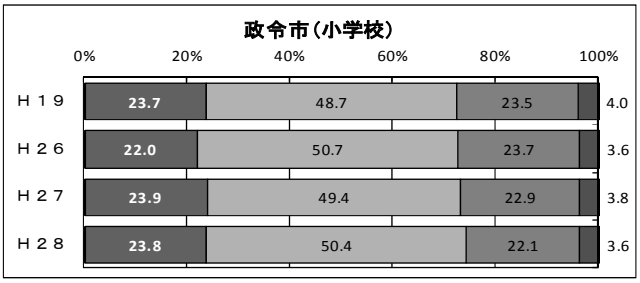

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 12.4 48.0 34.6 5.0
H26 14.3 51.8 30.0 3.9
H27 16.2 51.9 28.5 3.3
H28 15.9 53.0 28.3 2.7

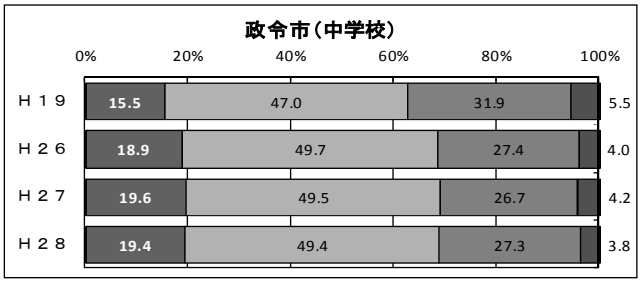

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 22.4 47.3 25.5 4.7
H26 23.7 51.4 21.7 3.1
H27 26.9 48.6 20.8 3.7
H28 25.3 48.0 22.7 3.8


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 16.1 44.5 33.7 5.5
H26 17.3 48.3 29.5 4.9
H27 18.1 48.2 28.8 4.9
H28 18.8 48.6 27.7 4.8


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 20.7 49.6 25.4 4.3
H26 23.4 52.2 21.9 2.5
H27 24.5 50.3 22.3 2.9
H28 23.8 52.9 20.1 3.2


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 14.2 46.1 34.9 4.5
H26 15.0 51.5 29.0 4.5
H27 17.3 51.1 28.0 3.5
H28 17.2 51.8 27.6 3.3


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 23.7 48.7 23.5 4.0
H26 22.0 50.7 23.7 3.6
H27 23.9 49.4 22.9 3.8
H28 23.8 50.4 22.1 3.6

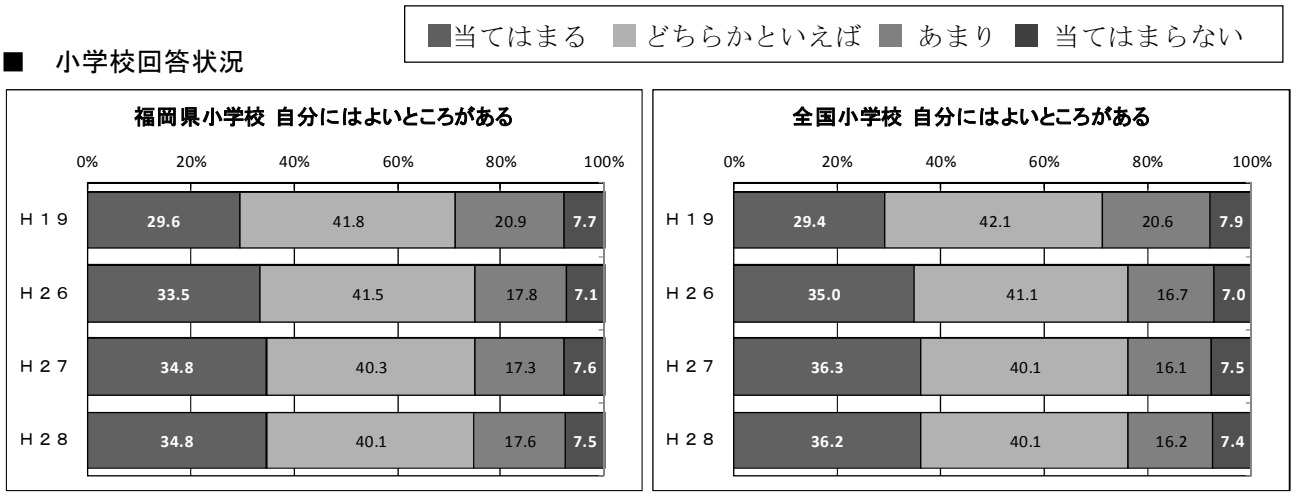

政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 15.5 47.0 31.9 5.5
H26 18.9 49.7 27.4 4.0
H27 19.6 49.5 26.7 4.2
H28 19.4 49.4 27.3 3.8

（２） 自尊意識

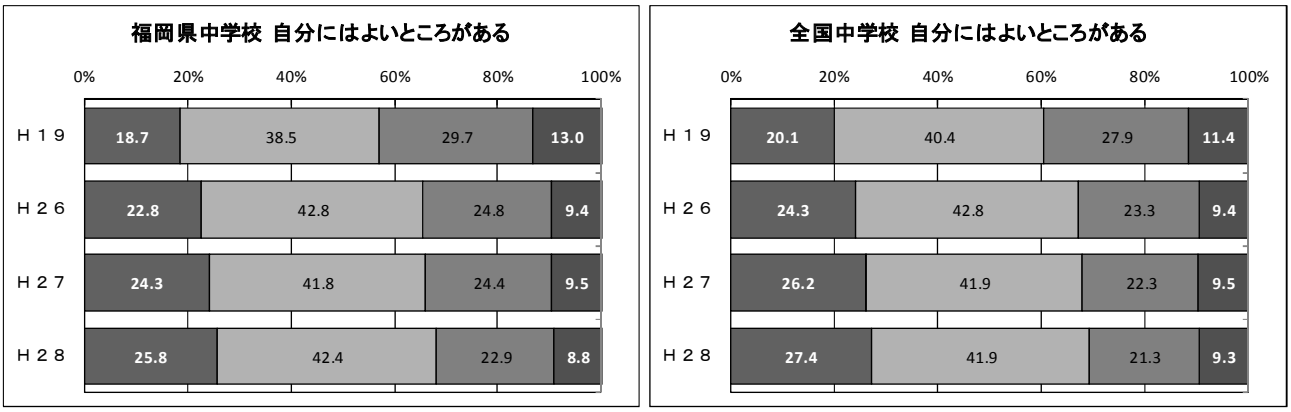
６	自分には、よいところがあると思いますか。

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して小学校は減少し、中学校は増加している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。また、このような傾向は、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問項目においても同様に見られる。

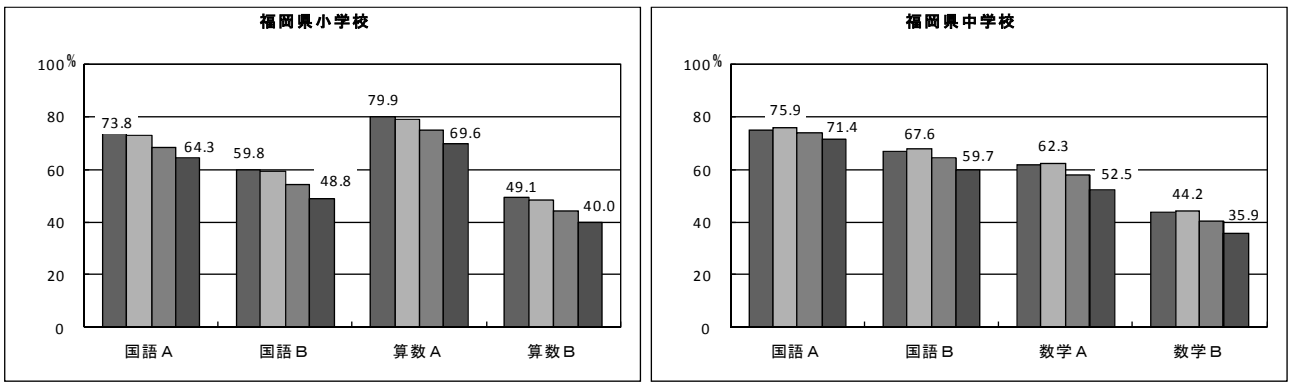
■　小学校回答状況



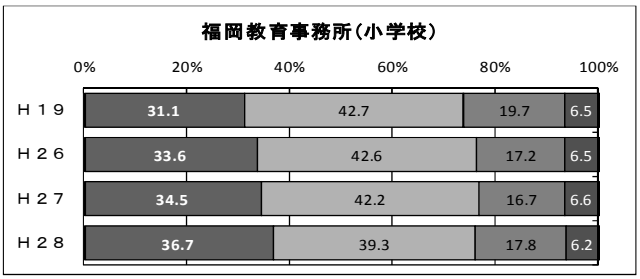
■　中学校回答状況

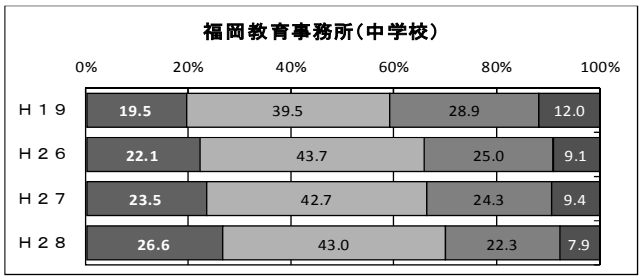


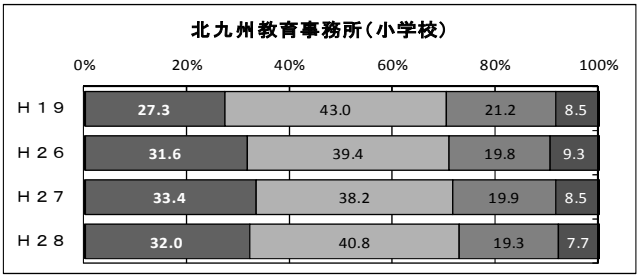
■　教科の正答率との相関関係

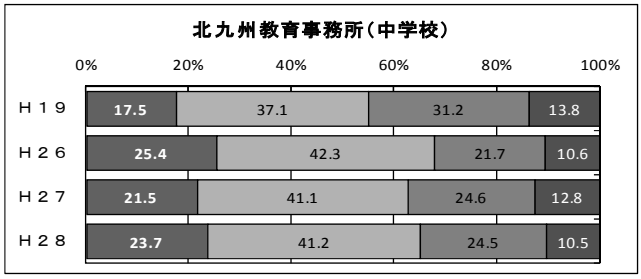


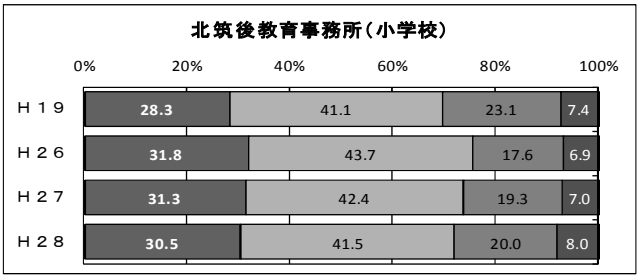
■　地区別回答状況

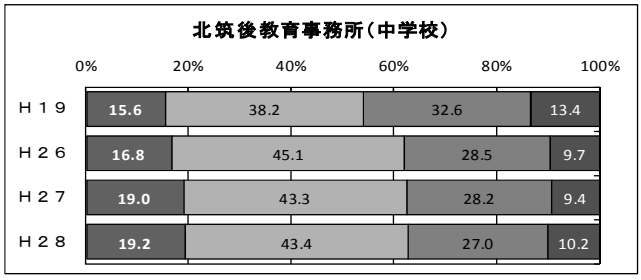

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 31.1 42.7 19.7 6.5
H26 33.6 42.6 17.2 6.5
H27 34.5 42.2 16.7 6.6
H28 36.7 39.3 17.8 6.2

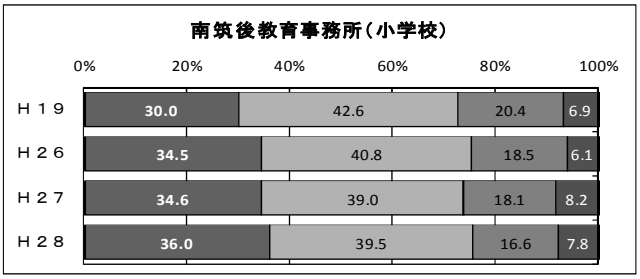

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 19.5 39.5 28.9 12.0
H26 22.1 43.7 25.0 9.1
H27 23.5 42.7 24.3 9.4
H28 26.6 43.0 22.3 7.9

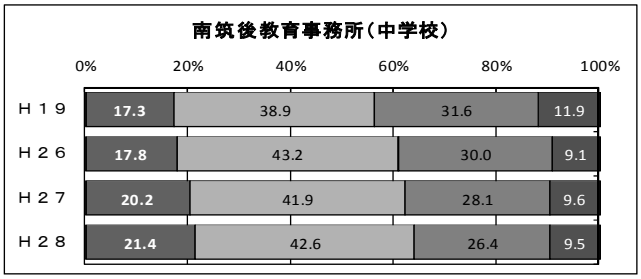

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 27.3 43.0 21.2 8.5
H26 31.6 39.4 19.8 9.3
H27 33.4 38.2 19.9 8.5
H28 32.0 40.8 19.3 7.7

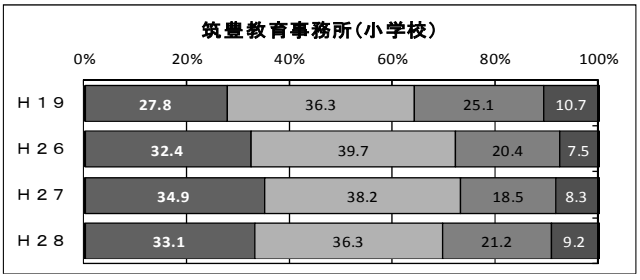

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 17.5 37.1 31.2 13.8
H26 25.4 42.3 21.7 10.6
H27 21.5 41.1 24.6 12.8
H28 23.7 41.2 24.5 10.5

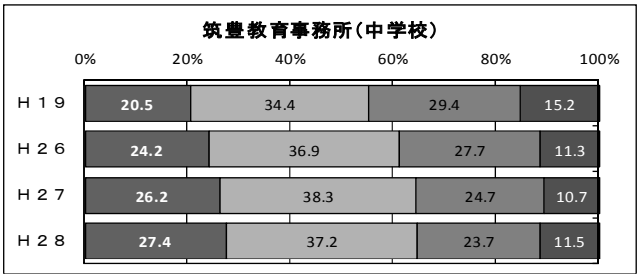

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 28.3 41.1 23.1 7.4
H26 31.8 43.7 17.6 6.9
H27 31.3 42.4 19.3 7.0
H28 30.5 41.5 20.0 8.0

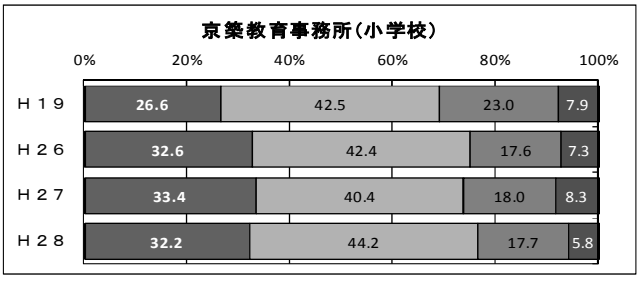

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 15.6 38.2 32.6 13.4
H26 16.8 45.1 28.5 9.7
H27 19.0 43.3 28.2 9.4
H28 19.2 43.4 27.0 10.2

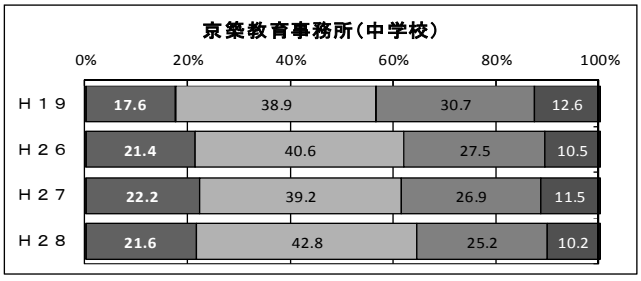

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 30.0 42.6 20.4 6.9
H26 34.5 40.8 18.5 6.1
H27 34.6 39.0 18.1 8.2
H28 36.0 39.5 16.6 7.8

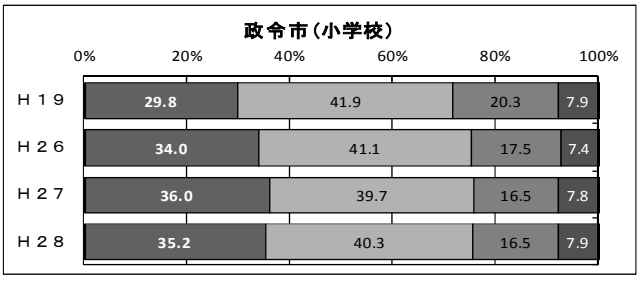

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 17.3 38.9 31.6 11.9
H26 17.8 43.2 30.0 9.1
H27 20.2 41.9 28.1 9.6
H28 21.4 42.6 26.4 9.5

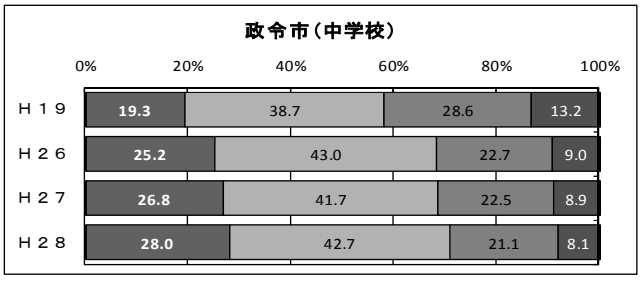

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 27.8 36.3 25.1 10.7
H26 32.4 39.7 20.4 7.5
H27 34.9 38.2 18.5 8.3
H28 33.1 36.3 21.2 9.2


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 20.5 34.4 29.4 15.2
H26 24.2 36.9 27.7 11.3
H27 26.2 38.3 24.7 10.7
H28 27.4 37.2 23.7 11.5


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 26.6 42.5 23.0 7.9
H26 32.6 42.4 17.6 7.3
H27 33.4 40.4 18.0 8.3
H28 32.2 44.2 17.7 5.8


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 17.6 38.9 30.7 12.6
H26 21.4 40.6 27.5 10.5
H27 22.2 39.2 26.9 11.5
H28 21.6 42.8 25.2 10.2


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 29.8 41.9 20.3 7.9
H26 34.0 41.1 17.5 7.4
H27 36.0 39.7 16.5 7.8
H28 35.2 40.3 16.5 7.9


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 19.3 38.7 28.6 13.2
H26 25.2 43.0 22.7 9.0
H27 26.8 41.7 22.5 8.9
H28 28.0 42.7 21.1 8.1

（3） 学校生活

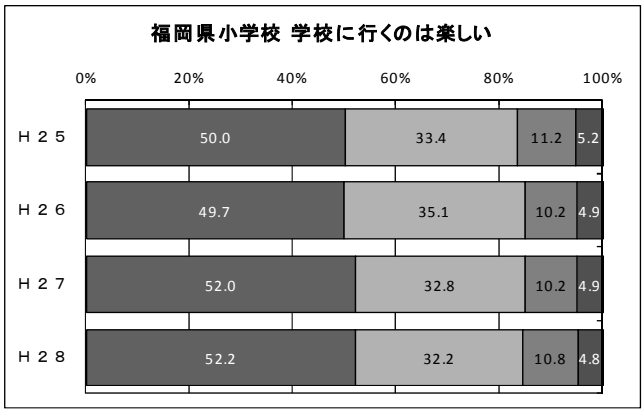
２６	学校に行くのは楽しいと思いますか。

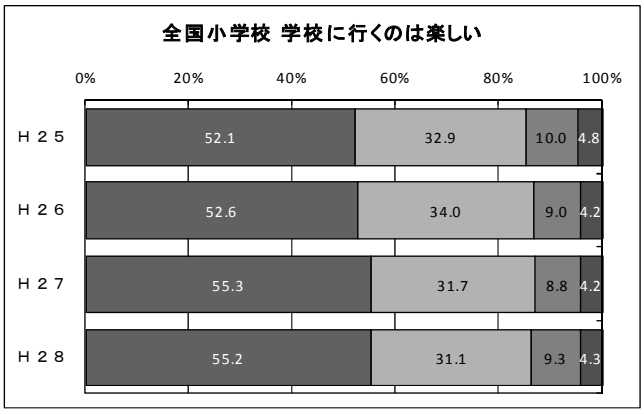
※平成２５年度から加えられた質問

○　そう思う、どちらかといえばそう思うと回答している児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して小学校、中学校ともに減少している。
○　そう思う、どちらかといえばそう思うと回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。また、このような傾向は、「学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか」「学校で、好きな授業がありますか」の質問項目においても同様に見られる。

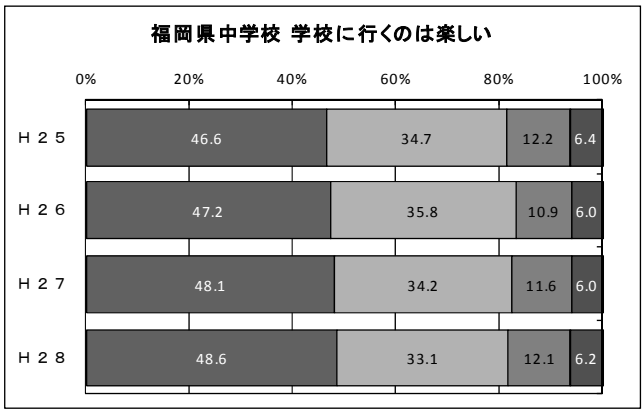
■そう思う　■どちらかといえば　■あまり　■そう思わない

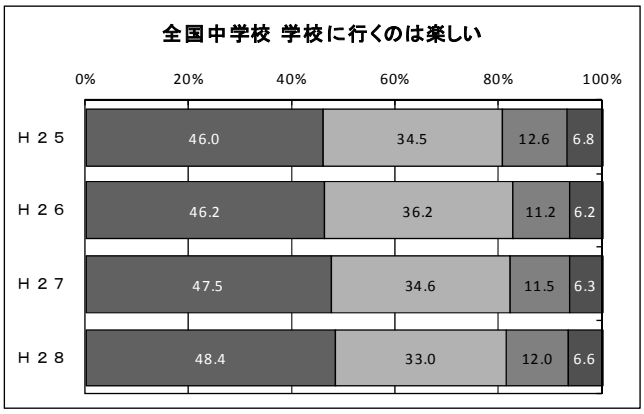
■　小学校回答状況



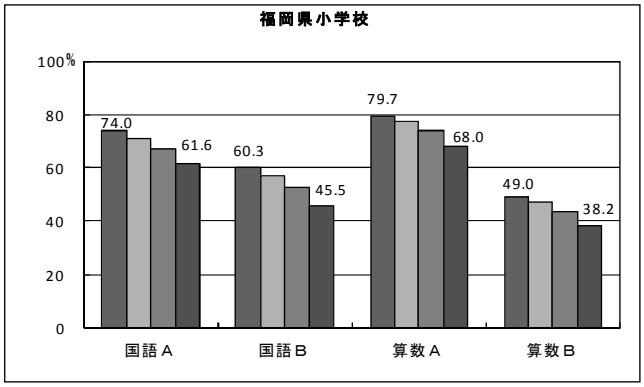


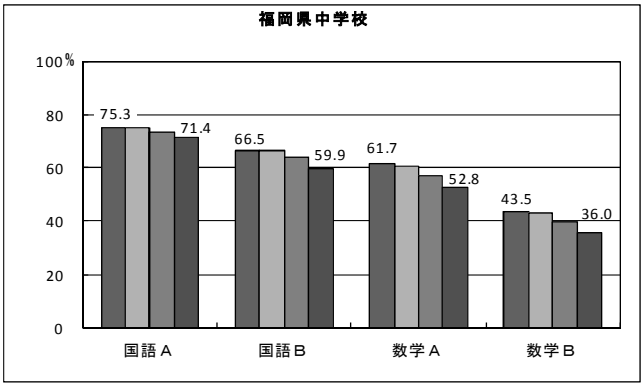
■　中学校回答状況



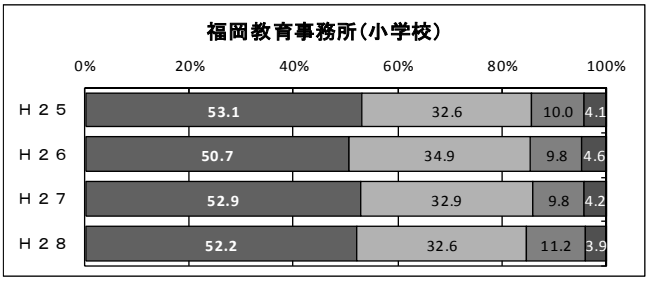


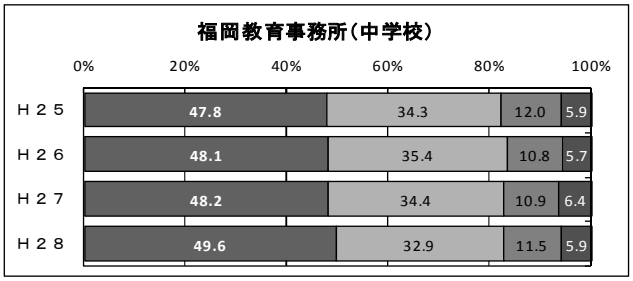
■　教科の正答率との相関関係

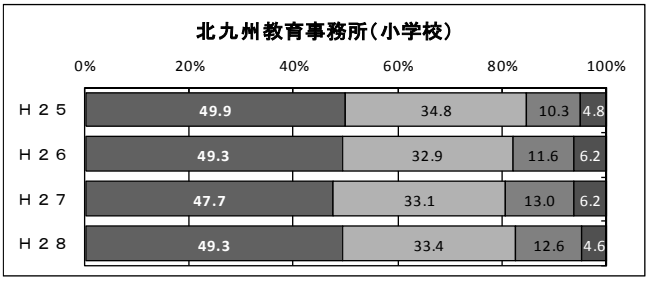


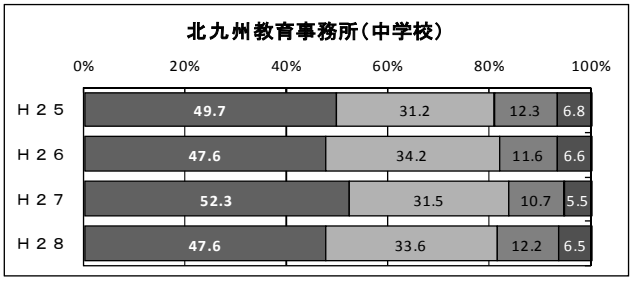


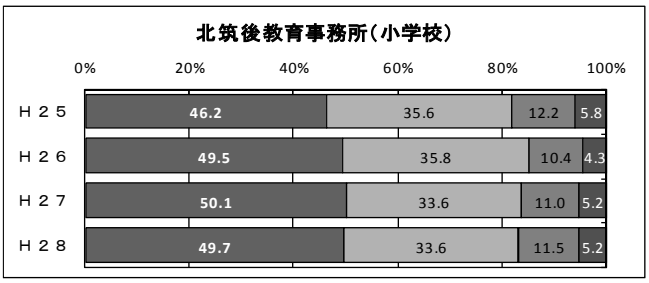
■　地区別回答状況

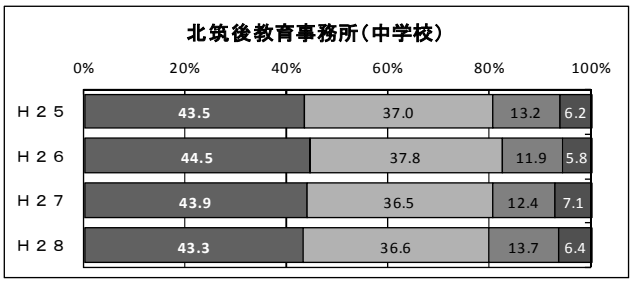

福岡教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
53.1
32.6
10.0
4.1
Ｈ２６
50.7
34.9
9.8
4.6
Ｈ２７
52.9
32.9
9.8
4.2
Ｈ２８
52.2
32.6
11.2
3.9

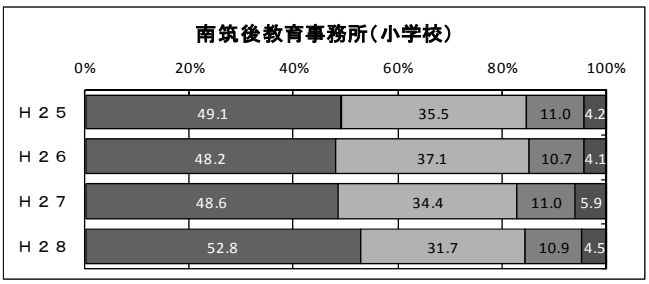

福岡教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
47.8
34.3
12.0
5.9
Ｈ２６
48.1
35.4
10.8
5.7
Ｈ２７
48.2
34.4
10.9
6.4
Ｈ２８
49.6
32.9
11.5
5.9

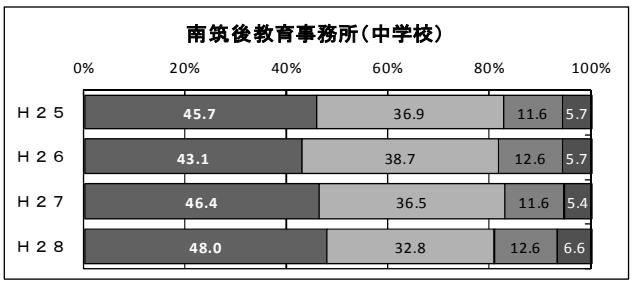

北九州教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
49.9
34.8
10.3
4.8
Ｈ２６
49.3
32.9
11.6
6.2
Ｈ２７
47.7
33.1
13.0
6.2
Ｈ２８
49.3
33.4
12.6
4.6

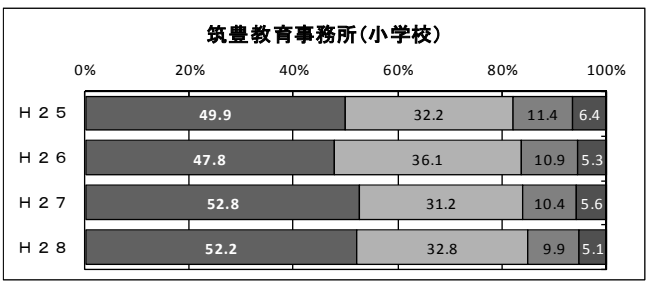

北九州教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
49.7
31.2
12.3
6.8
Ｈ２６
47.6
34.2
11.6
6.6
Ｈ２７
52.3
31.5
10.7
5.5
Ｈ２８
47.6
33.6
12.2
6.5

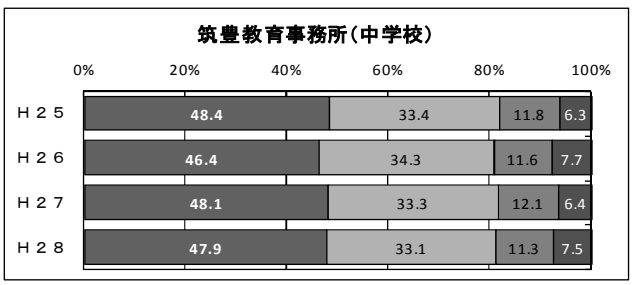

北筑後教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
46.2
35.6
12.2
5.8
Ｈ２６
49.5
35.8
10.4
4.3
Ｈ２７
50.1
33.6
11.0
5.2
Ｈ２８
49.7
33.6
11.5
5.2

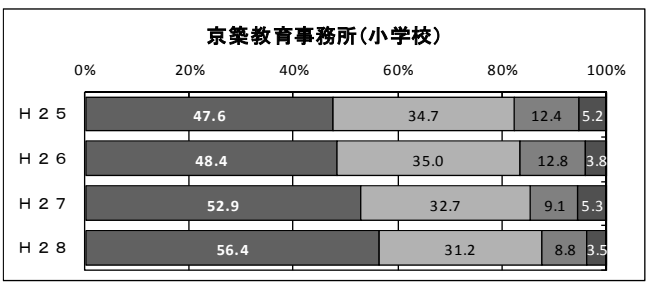

北筑後教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
43.5
37.0
13.2
6.2
Ｈ２６
44.5
37.8
11.9
5.8
Ｈ２７
43.9
36.5
12.4
7.1
Ｈ２８
43.3
36.6
13.7
6.4

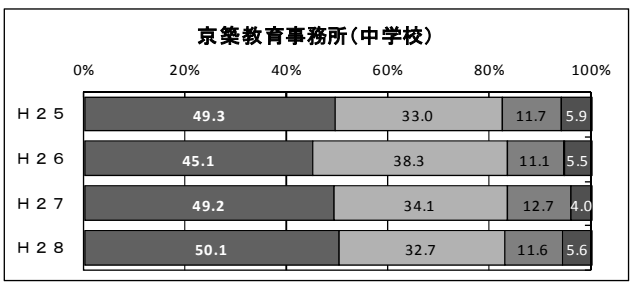

南筑後教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
49.1
35.5
11.0
4.2
Ｈ２６
48.2
37.1
10.7
4.1
Ｈ２７
48.6
34.4
11.0
5.9
Ｈ２８
52.8
31.7
10.9
4.5

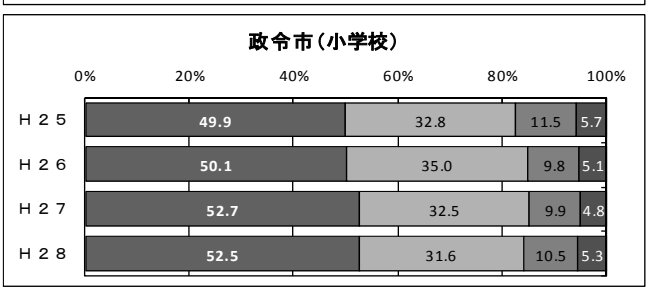

南筑後教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
45.7
36.9
11.6
5.7
Ｈ２６
43.1
38.7
12.6
5.7
Ｈ２７
46.4
36.5
11.6
5.4
Ｈ２８
48.0
32.8
12.6
6.6

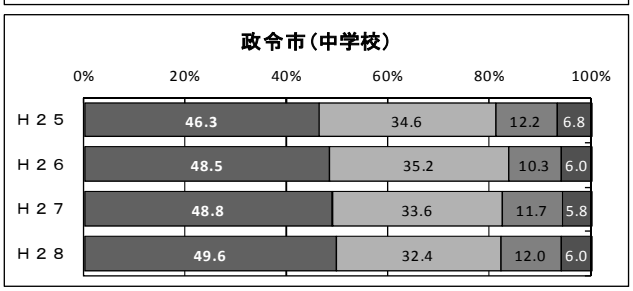

筑豊教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
49.9
32.2
11.4
6.4
Ｈ２６
47.8
36.1
10.9
5.3
Ｈ２７
52.8
31.2
10.4
5.6
Ｈ２８
52.2
32.8
9.9
5.1


筑豊教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
48.4
33.4
11.8
6.3
Ｈ２６
46.4
34.3
11.6
7.7
Ｈ２７
48.1
33.3
12.1
6.4
Ｈ２８
47.9
33.1
11.3
7.5


京築教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
47.6
34.7
12.4
5.2
Ｈ２６
48.4
35.0
12.8
3.8
Ｈ２７
52.9
32.7
9.1
5.3
Ｈ２８
56.4
31.2
8.8
3.5


京築教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
49.3
33.0
11.7
5.9
Ｈ２６
45.1
38.3
11.1
5.5
Ｈ２７
49.2
34.1
12.7
4.0
Ｈ２８
50.1
32.7
11.6
5.6


政令市（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
49.9
32.8
11.5
5.7
Ｈ２６
50.1
35.0
9.8
5.1
Ｈ２７
52.7
32.5
9.9
4.8
Ｈ２８
52.5
31.6
10.5
5.3


政令市（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
46.3
34.6
12.2
6.8
Ｈ２６
48.5
35.2
10.3
6.0
Ｈ２７
48.8
33.6
11.7
5.8
Ｈ２８
49.6
32.4
12.0
6.0

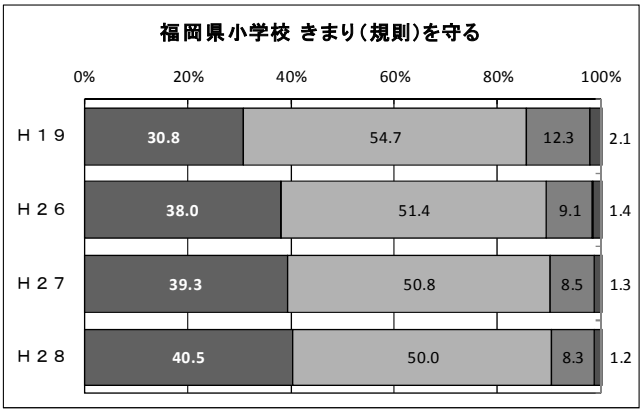
（４） 規範意識

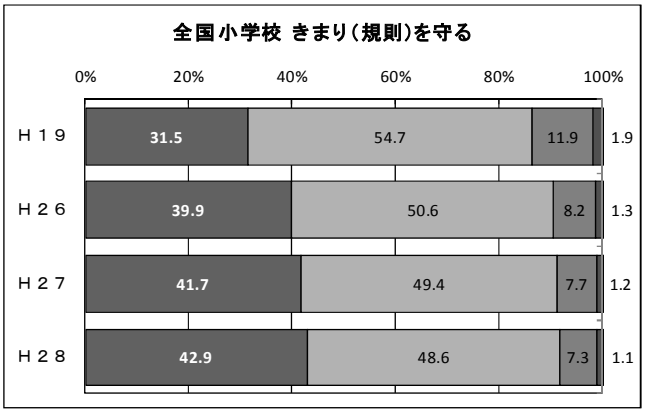
３９	学校のきまり（規則）を守っていますか。

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は全教科区分において高い傾向にある。

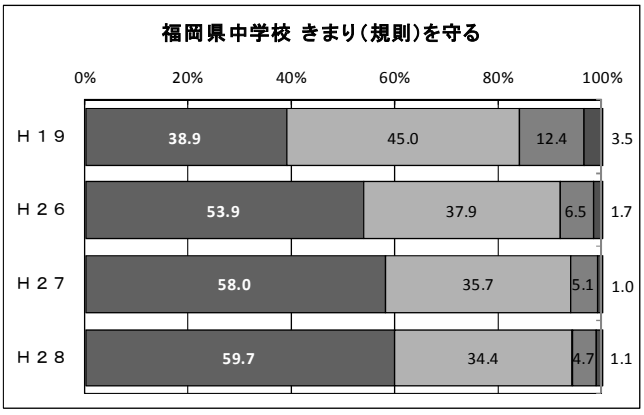
■当てはまる　■どちらかといえば　■あまり　■当てはまらない

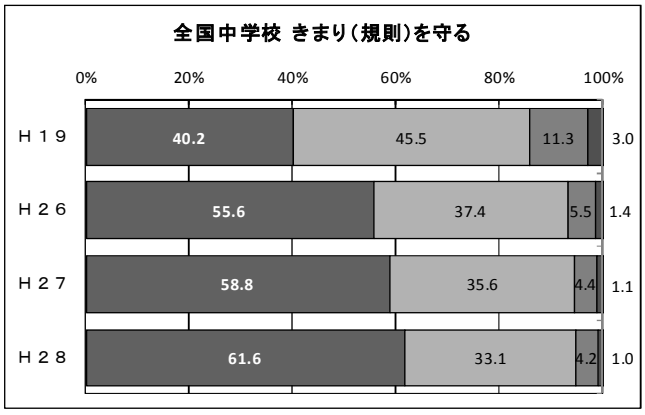
■　小学校回答状況



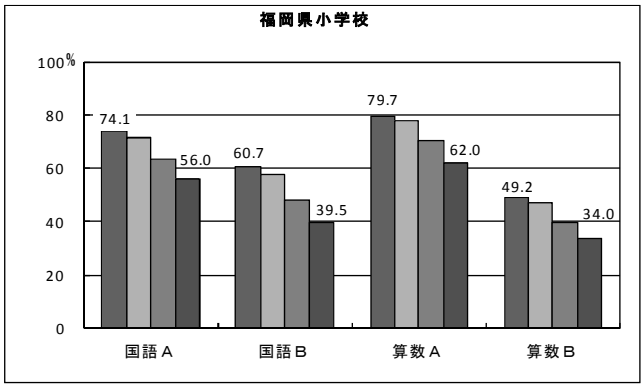


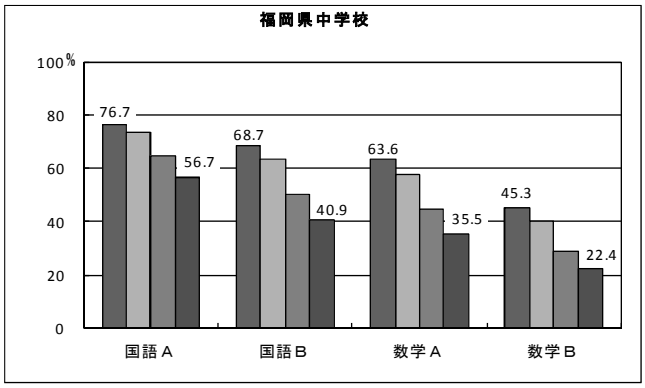
■　中学校回答状況



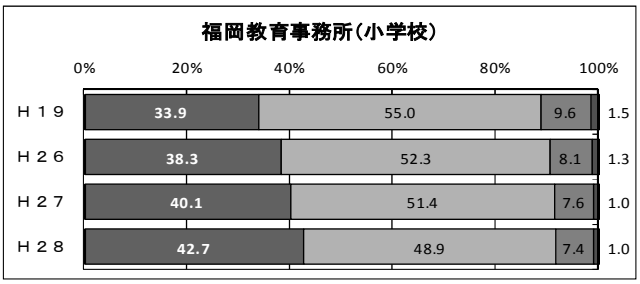


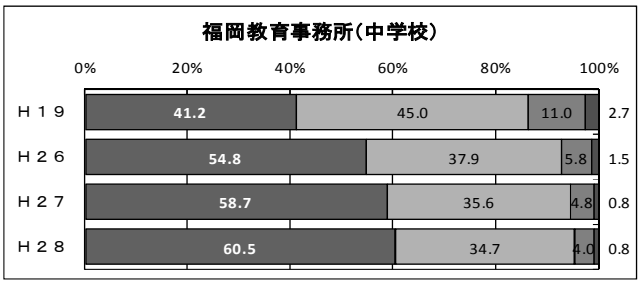
■　教科の正答率との相関関係

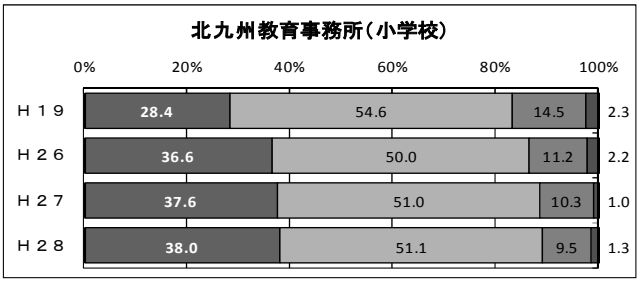


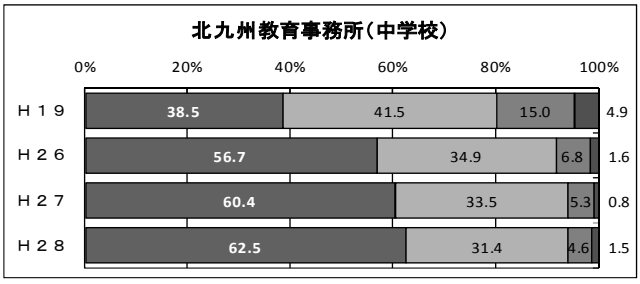


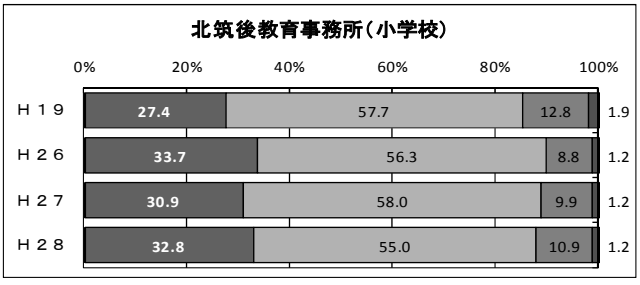
■　地区別回答状況

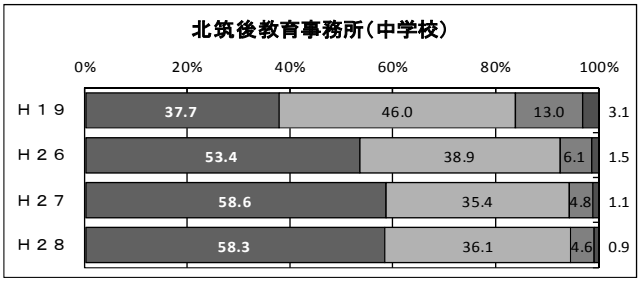

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 33.9 55.0 9.6 1.5
H26 38.3 52.3 8.1 1.3
H27 40.1 51.4 7.6 1.0
H28 42.7 48.9 7.4 1.0

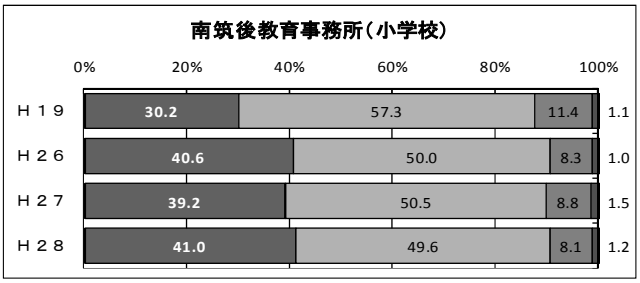

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 41.2 45.0 11.0 2.7
H26 54.8 37.9 5.8 1.5
H27 58.7 35.6 4.8 0.8
H28 60.5 34.7 4.0 0.8

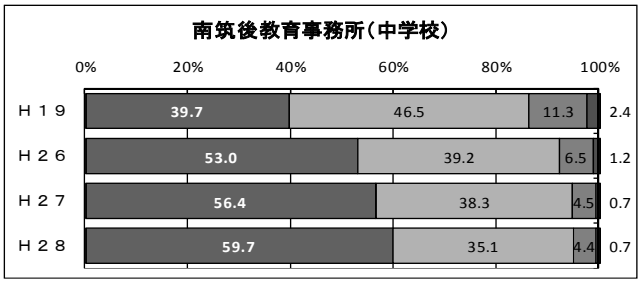

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 28.4 54.6 14.5 2.3
H26 36.6 50.0 11.2 2.2
H27 37.6 51.0 10.3 1.0
H28 38.0 51.1 9.5 1.3

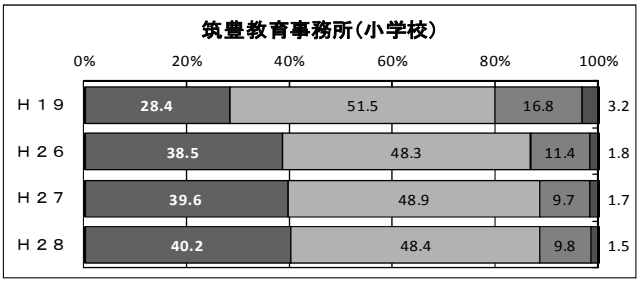

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 38.5 41.5 15.0 4.9
H26 56.7 34.9 6.8 1.6
H27 60.4 33.5 5.3 0.8
H28 62.5 31.4 4.6 1.5

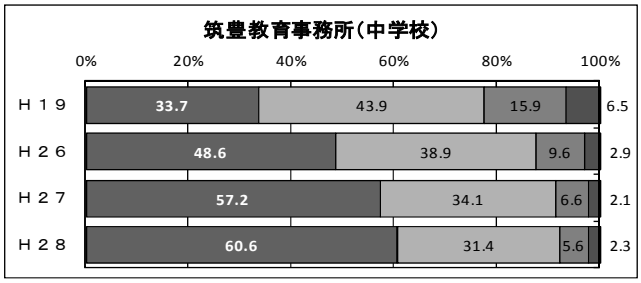

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 27.4 57.7 12.8 1.9
H26 33.7 56.3 8.8 1.2
H27 30.9 58.0 9.9 1.2
H28 32.8 55.0 10.9 1.2

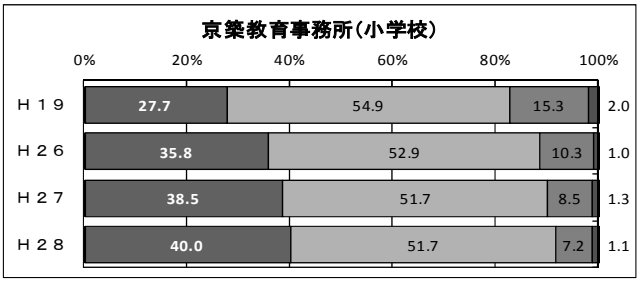

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 37.7 46.0 13.0 3.1
H26 53.4 38.9 6.1 1.5
H27 58.6 35.4 4.8 1.1
H28 58.3 36.1 4.6 0.9

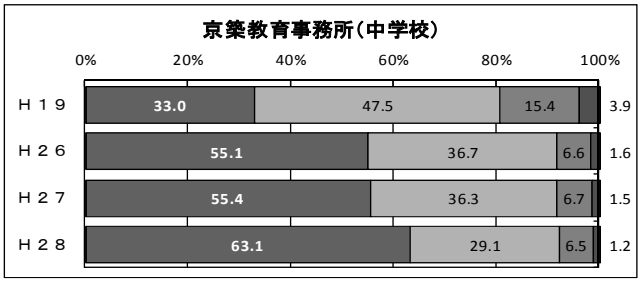

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 30.2 57.3 11.4 1.1
H26 40.6 50.0 8.3 1.0
H27 39.2 50.5 8.8 1.5
H28 41.0 49.6 8.1 1.2

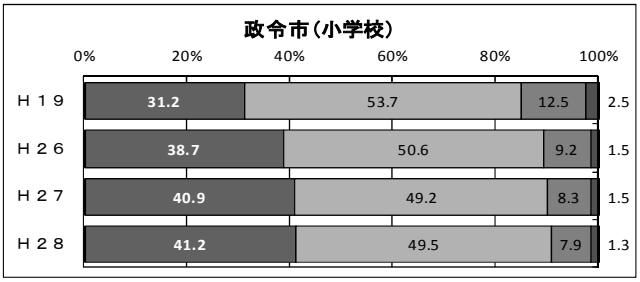

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 39.7 46.5 11.3 2.4
H26 53.0 39.2 6.5 1.2
H27 56.4 38.3 4.5 0.7
H28 59.7 35.1 4.4 0.7

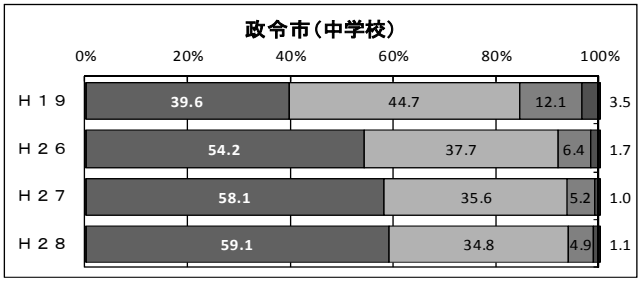

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 28.4 51.5 16.8 3.2
H26 38.5 48.3 11.4 1.8
H27 39.6 48.9 9.7 1.7
H28 40.2 48.4 9.8 1.5


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 33.7 43.9 15.9 6.5
H26 48.6 38.9 9.6 2.9
H27 57.2 34.1 6.6 2.1
H28 60.6 31.4 5.6 2.3


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 27.7 54.9 15.3 2.0
H26 35.8 52.9 10.3 1.0
H27 38.5 51.7 8.5 1.3
H28 40.0 51.7 7.2 1.1


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 33.0 47.5 15.4 3.9
H26 55.1 36.7 6.6 1.6
H27 55.4 36.3 6.7 1.5
H28 63.1 29.1 6.5 1.2


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 31.2 53.7 12.5 2.5
H26 38.7 50.6 9.2 1.5
H27 40.9 49.2 8.3 1.5
H28 41.2 49.5 7.9 1.3

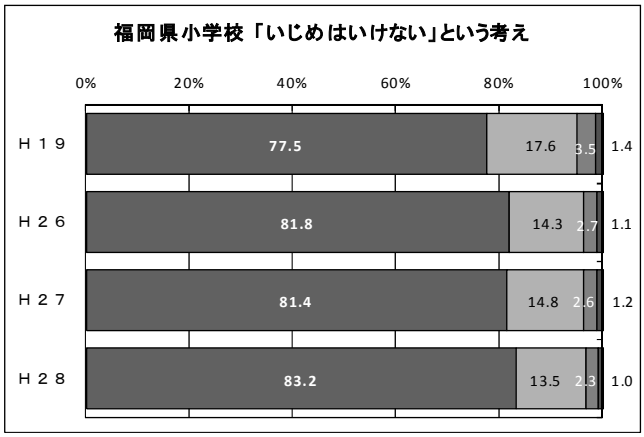

政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 39.6 44.7 12.1 3.5
H26 54.2 37.7 6.4 1.7
H27 58.1 35.6 5.2 1.0
H28 59.1 34.8 4.9 1.1

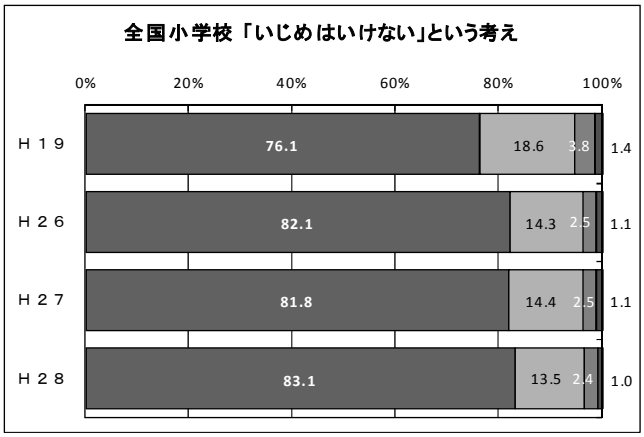
４２	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して小学校は増加し、中学校は減少している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は全教科区分において高い傾向にある。

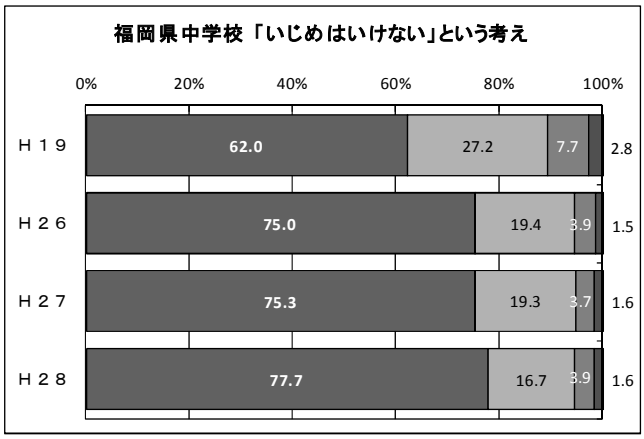
■当てはまる　■どちらかといえば　■あまり　■当てはまらない

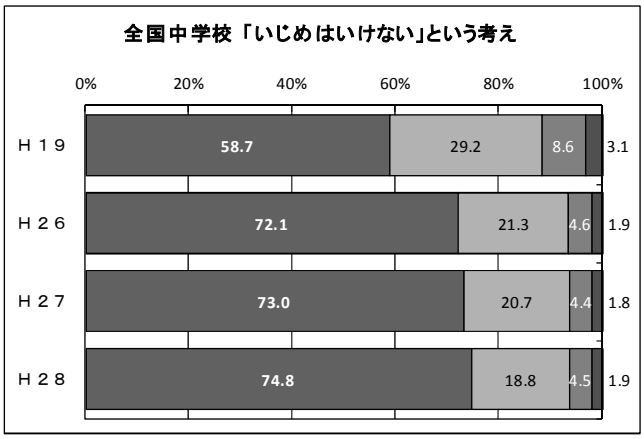
■　小学校回答状況



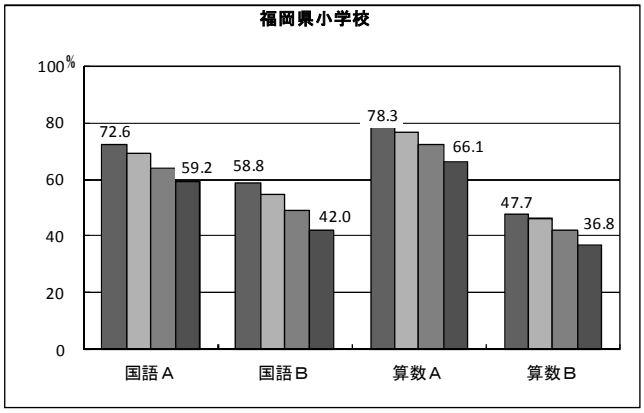


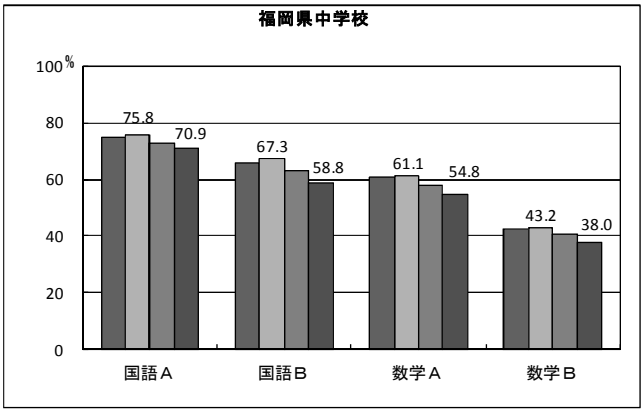
■　中学校回答状況



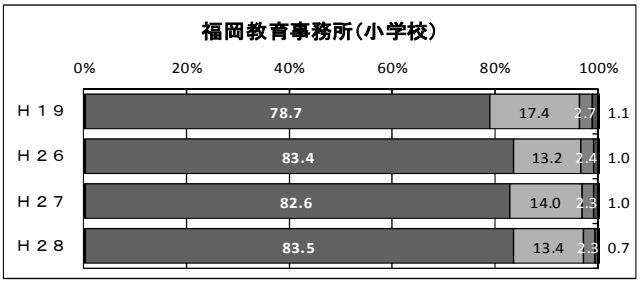


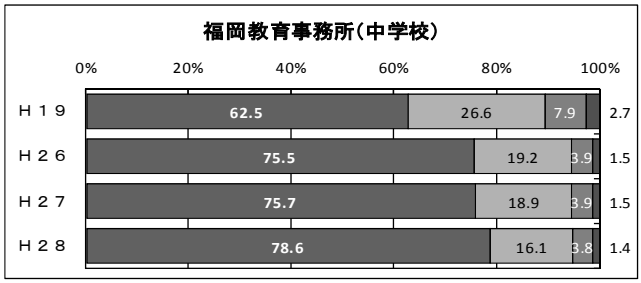
■　教科の正答率との相関関係

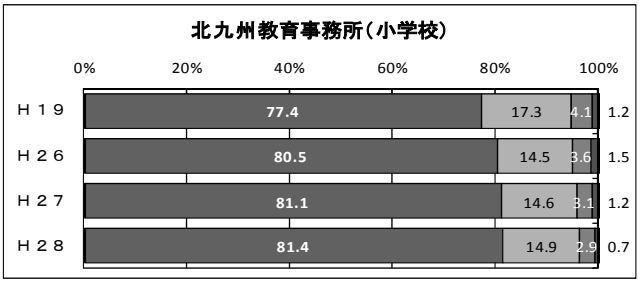


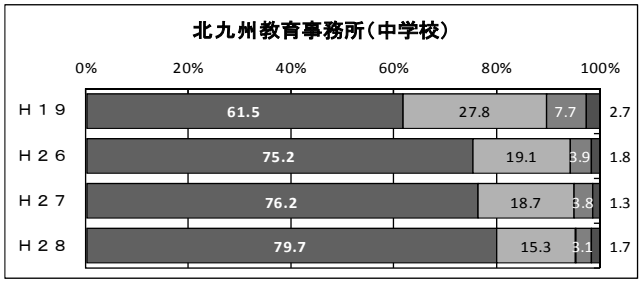


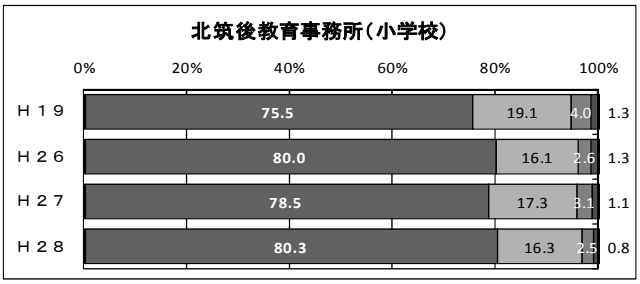
■　地区別回答状況

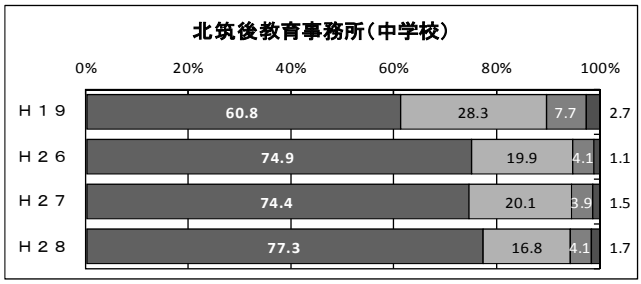

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 78.7 17.4 2.7 1.1
H26 83.4 13.2 2.4 1.0
H27 82.6 14.0 2.3 1.0
H28 83.5 13.4 2.3 0.7

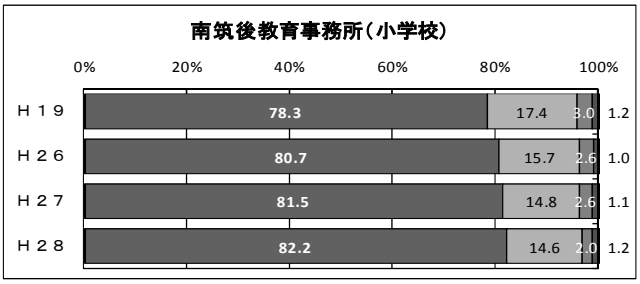

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 62.5 26.6 7.9 2.7
H26 75.5 19.2 3.9 1.5
H27 75.7 18.9 3.9 1.5
H28 78.6 16.1 3.8 1.4

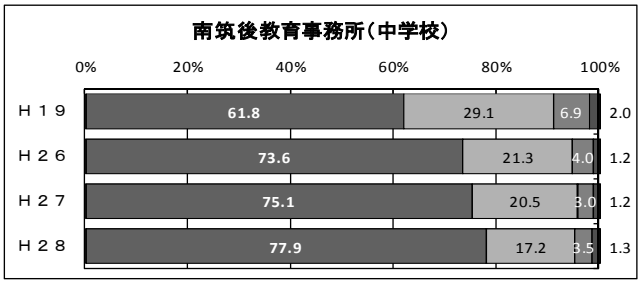

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 77.4 17.3 4.1 1.2
H26 80.5 14.5 3.6 1.5
H27 81.1 14.6 3.1 1.2
H28 81.4 14.9 2.9 0.7

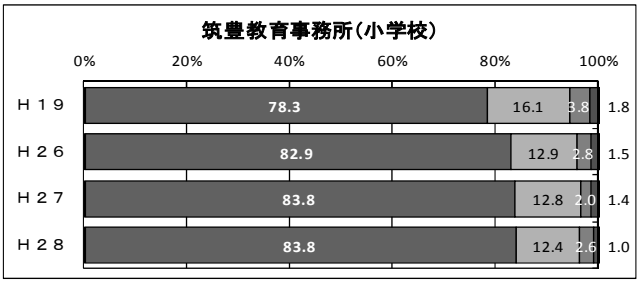

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 61.5 27.8 7.7 2.7
H26 75.2 19.1 3.9 1.8
H27 76.2 18.7 3.8 1.3
H28 79.7 15.3 3.1 1.7

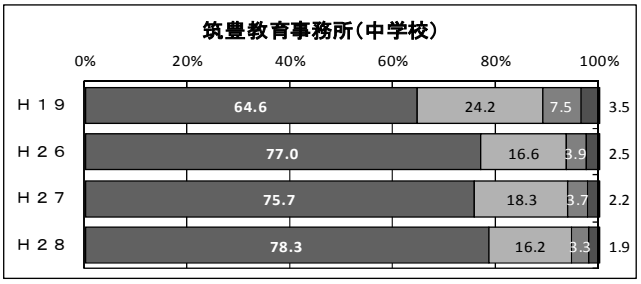

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 75.5 19.1 4.0 1.3
H26 80.0 16.1 2.5 1.3
H27 78.5 17.3 3.1 1.1
H28 80.3 16.3 2.5 0.8

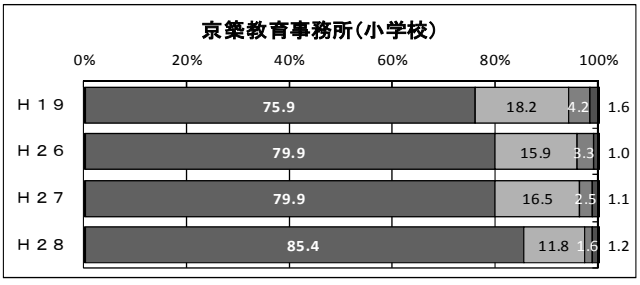

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 60.8 28.3 7.7 2.7
H26 74.9 19.9 4.1 1.1
H27 74.4 20.1 3.9 1.5
H28 77.3 16.8 4.1 1.7

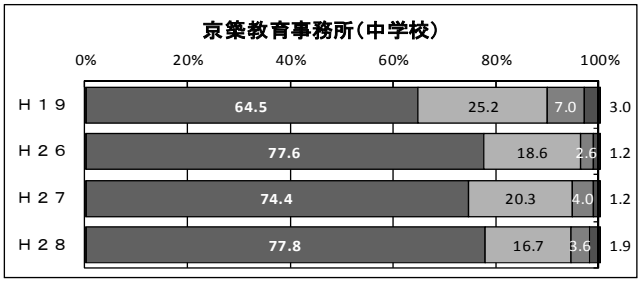

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 78.3 17.4 3.0 1.2
H26 80.7 15.7 2.6 1.0
H27 81.5 14.8 2.6 1.1
H28 82.2 14.6 2.0 1.2

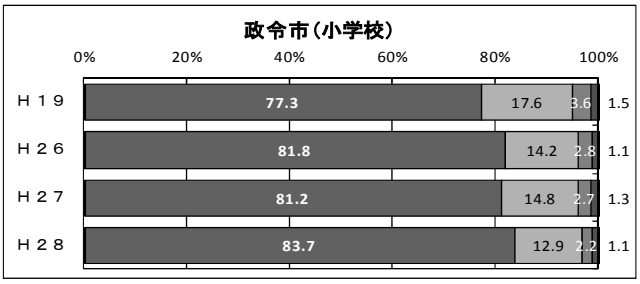

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 61.8 29.1 6.9 2.0
H26 73.6 21.3 4.0 1.2
H27 75.1 20.5 3.0 1.2
H28 77.9 17.2 3.5 1.3

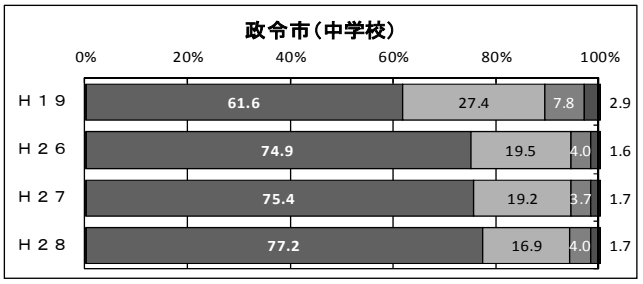

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 78.3 16.1 3.8 1.8
H26 82.9 12.9 2.8 1.5
H27 83.8 12.8 2.0 1.4
H28 83.8 12.4 2.6 1.0


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 64.6 24.2 7.5 3.5
H26 77.0 16.6 3.9 2.5
H27 75.7 18.3 3.7 2.2
H28 78.3 16.2 3.3 1.9


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 75.9 18.2 4.2 1.6
H26 79.9 15.9 3.3 1.0
H27 79.9 16.5 2.5 1.1
H28 85.4 11.8 1.6 1.2


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 64.5 25.2 7.0 3.0
H26 77.6 18.6 2.6 1.2
H27 74.4 20.3 4.0 1.2
H28 77.8 16.7 3.6 1.9


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 77.3 17.6 3.6 1.5
H26 81.8 14.2 2.8 1.1
H27 81.2 14.8 2.7 1.3
H28 83.7 12.9 2.2 1.1


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 61.6 27.4 7.8 2.9
H26 74.9 19.5 4.0 1.6
H27 75.4 19.2 3.7 1.7
H28 77.2 16.9 4.0 1.7

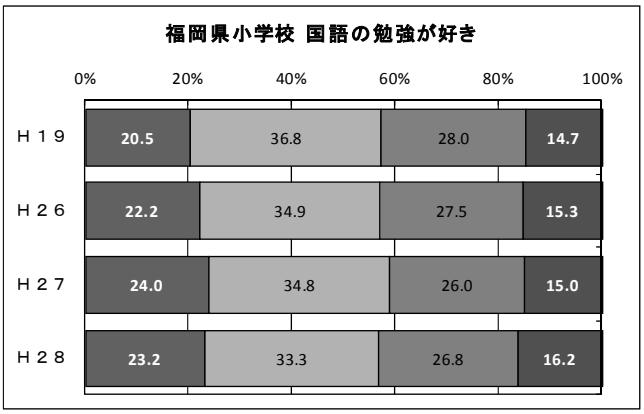
（５） 学習に対する関心・意欲・態度

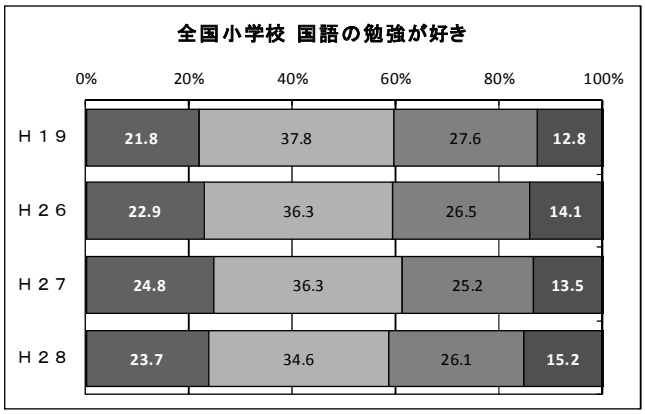
６１	国語の勉強は好きですか。

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して小学校、中学校ともに減少している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の国語の正答率は、高い傾向にある。

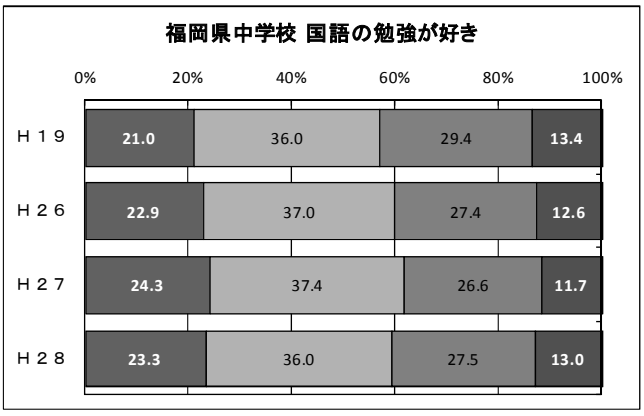
■当てはまる　■どちらかといえば　■あまり　■当てはまらない

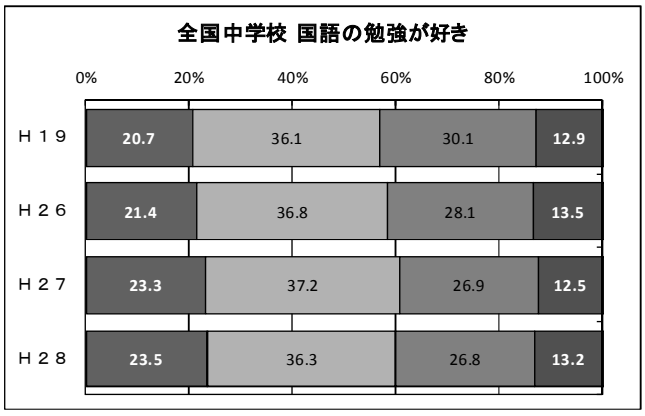
■　小学校回答状況



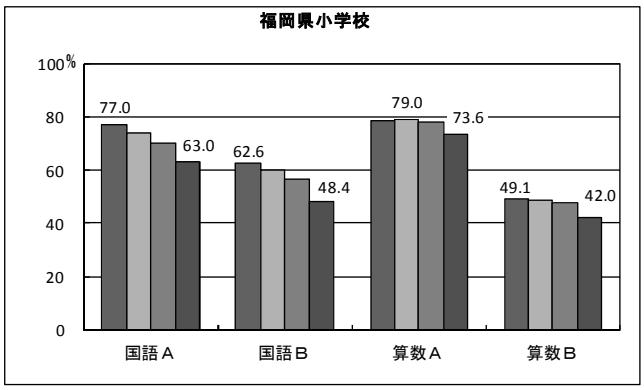


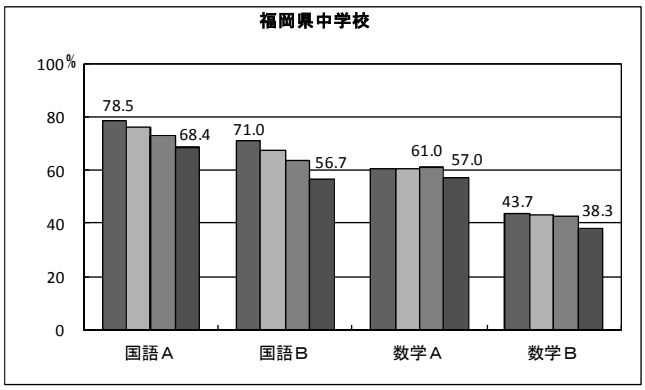
■　中学校回答状況



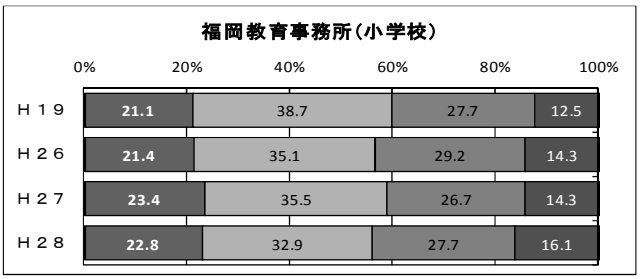


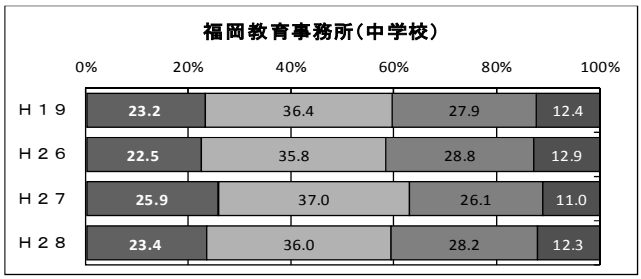
■　教科の正答率との相関関係

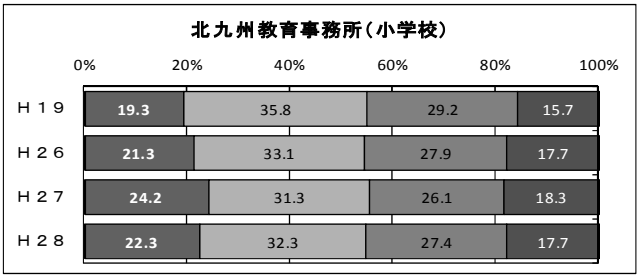


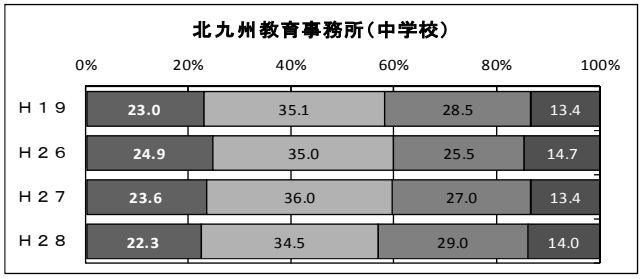


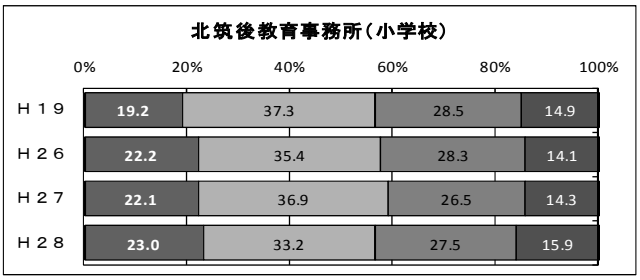
■　地区別回答状況

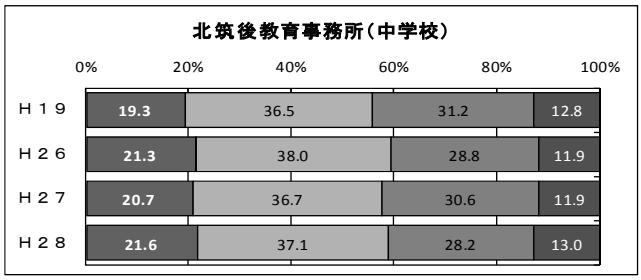

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
21.1
38.7
27.7
12.5
H26
21.4
35.1
29.2
14.3
H27
23.4
35.5
26.7
14.3
H28
22.8
32.9
27.7
16.1

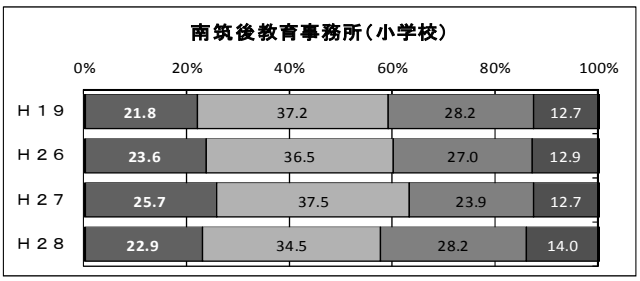

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
23.2
36.4
27.9
12.4
H26
22.5
35.8
28.8
12.9
H27
25.9
37.0
26.1
11.0
H28
23.4
36.0
28.2
12.3

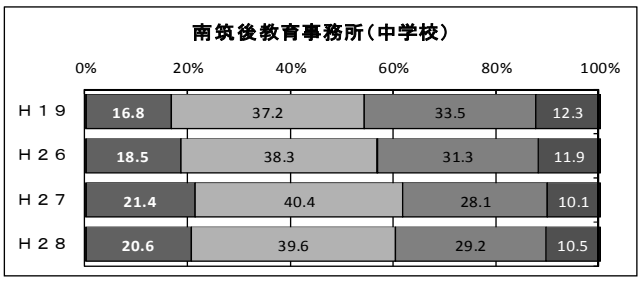

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
19.3
35.8
29.2
15.7
H26
21.3
33.1
27.9
17.7
H27
24.2
31.3
26.1
18.3
H28
22.3
32.3
27.4
17.7

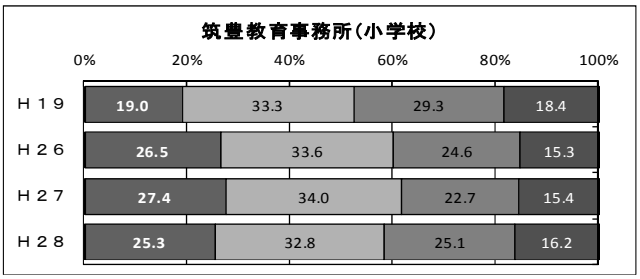

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
23.0
35.1
28.5
13.4
H26
24.9
35.0
25.5
14.7
H27
23.6
36.0
27.0
13.4
H28
22.3
34.5
29.0
14.0

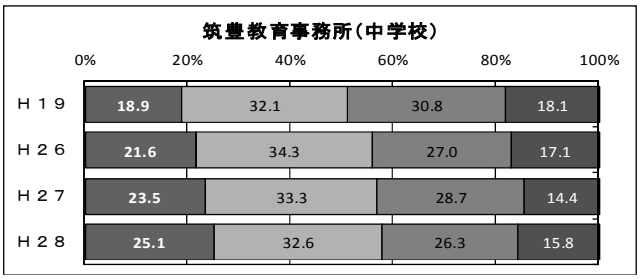

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
19.2
37.3
28.5
14.9
H26
22.2
35.4
28.3
14.1
H27
22.1
36.9
26.5
14.3
H28
23.0
33.2
27.5
15.9

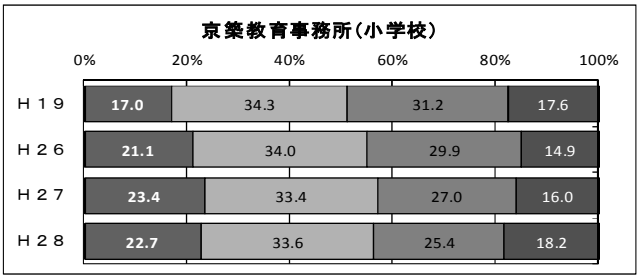

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
19.3
36.5
31.2
12.8
H26
21.3
38.0
28.8
11.9
H27
20.7
36.7
30.6
11.9
H28
21.6
37.1
28.2
13.0

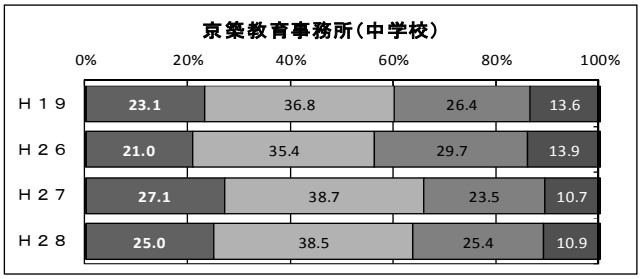

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
21.8
37.2
28.2
12.7
H26
23.6
36.5
27.0
12.9
H27
25.7
37.5
23.9
12.7
H28
22.9
34.5
28.2
14.0

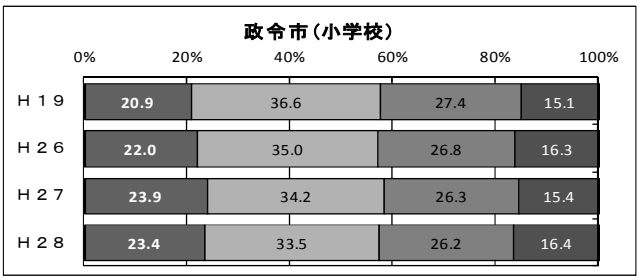

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
16.8
37.2
33.5
12.3
H26
18.5
38.3
31.3
11.9
H27
21.4
40.4
28.1
10.1
H28
20.6
39.6
29.2
10.5

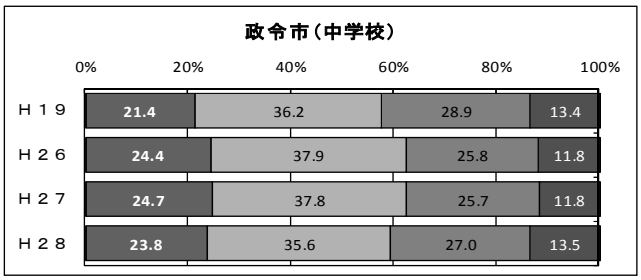

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
19.0
33.3
29.3
18.4
H26
26.5
33.6
24.6
15.3
H27
27.4
34.0
22.7
15.4
H28
25.3
32.8
25.1
16.2


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
18.9
32.1
30.8
18.1
H26
21.6
34.3
27.0
17.1
H27
23.5
33.3
28.7
14.4
H28
25.1
32.6
26.3
15.8


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
17.0
34.3
31.2
17.6
H26
21.1
34.0
29.9
14.9
H27
23.4
33.4
27.0
16.0
H28
22.7
33.6
25.4
18.2


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
23.1
36.8
26.4
13.6
H26
21.0
35.4
29.7
13.9
H27
27.1
38.7
23.5
10.7
H28
25.0
38.5
25.4
10.9


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
20.9
36.6
27.4
15.1
H26
22.0
35.0
26.8
16.3
H27
23.9
34.2
26.3
15.4
H28
23.4
33.5
26.2
16.4

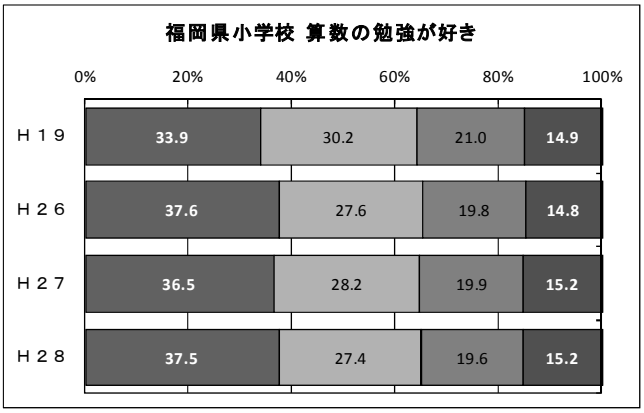

政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
21.4
36.2
28.9
13.4
H26
24.4
37.9
25.8
11.8
H27
24.7
37.8
25.7
11.8
H28
23.8
35.6
27.0
13.5

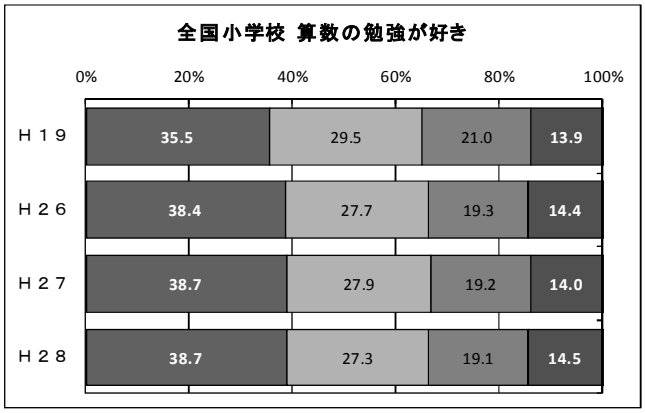
７１	算数（数学）の勉強は好きですか。

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して小学校は増加し、中学校は減少している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

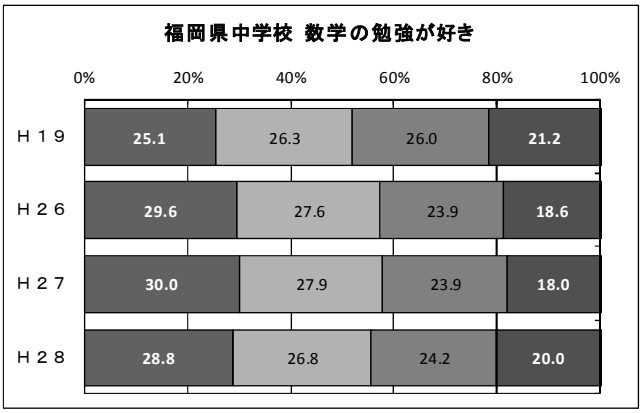
■当てはまる　■どちらかといえば　■あまり　■当てはまらない

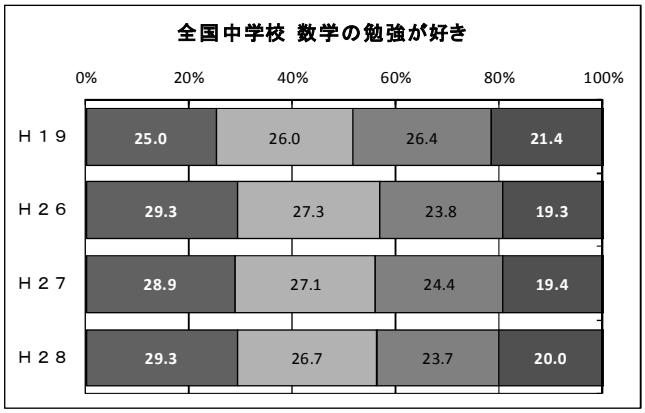
■　小学校回答状況



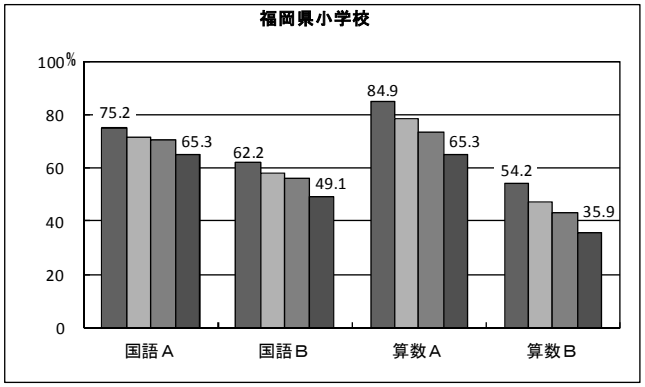


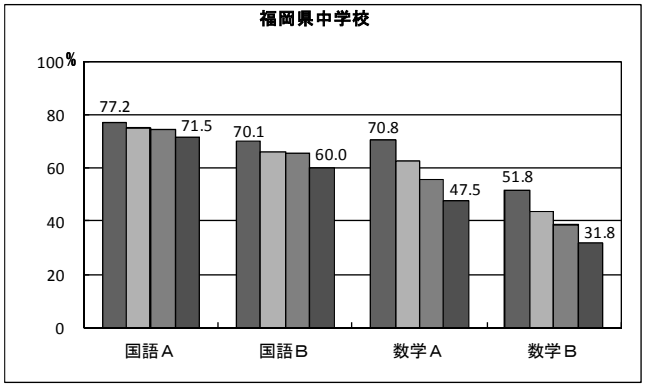
■　中学校回答状況



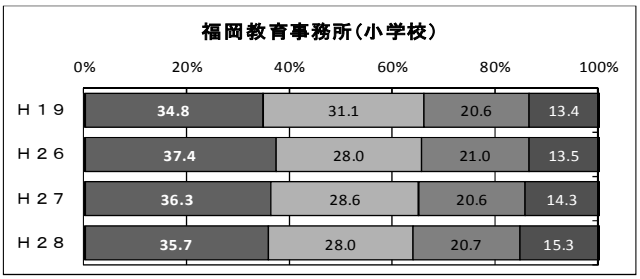


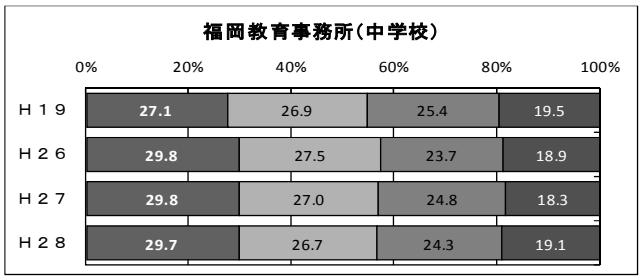
■　教科の正答率との相関関係

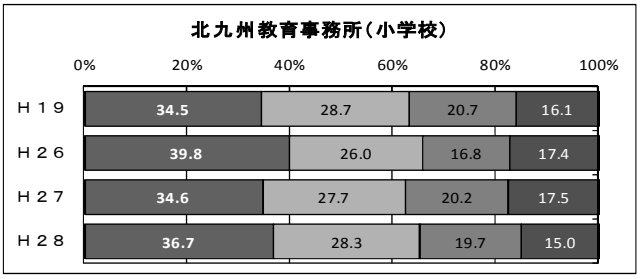


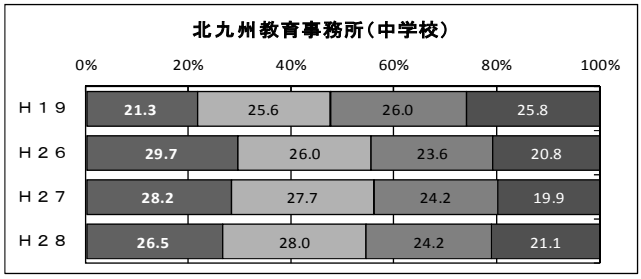


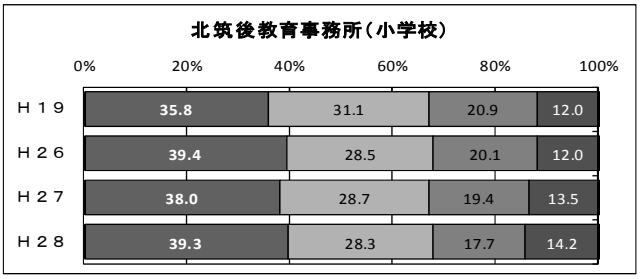
■　地区別回答状況

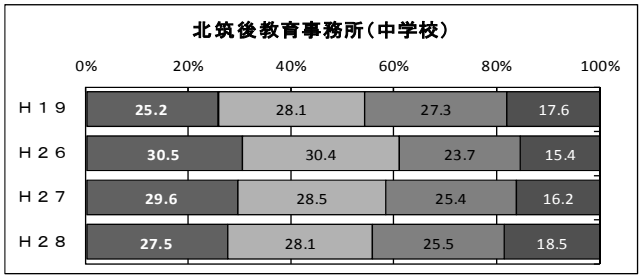

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 34.8 31.1 20.6 13.4
H26 37.4 28.0 21.0 13.5
H27 36.3 28.6 20.6 14.3
H28 35.7 28.0 20.7 15.3

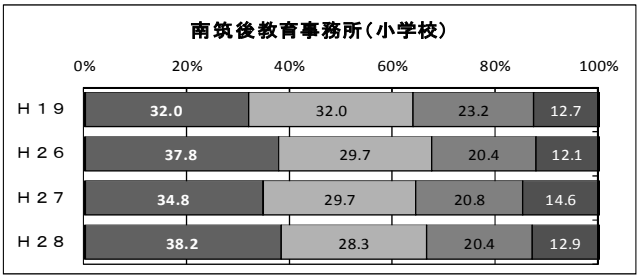

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 27.1 26.9 25.4 19.5
H26 29.8 27.5 23.7 18.9
H27 29.8 27.0 24.8 18.3
H28 29.7 26.7 24.3 19.1

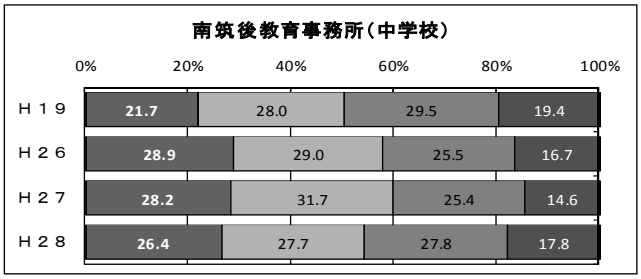

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 34.5 28.7 20.7 16.1
H26 39.8 26.0 16.8 17.4
H27 34.6 27.7 20.2 17.5
H28 36.7 28.3 19.7 15.0

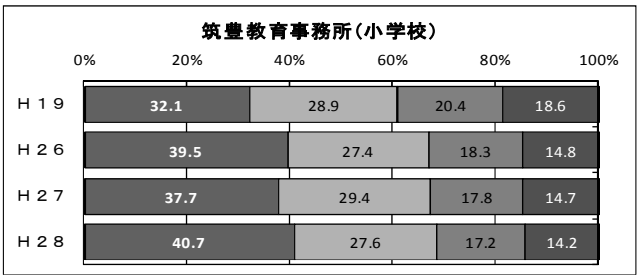

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 21.3 25.6 26.0 25.8
H26 29.7 26.0 23.6 20.8
H27 28.2 27.7 24.2 19.9
H28 26.5 28.0 24.2 21.1

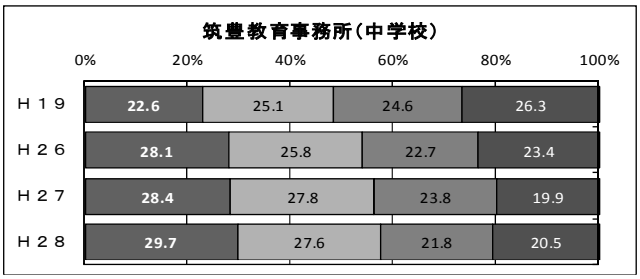

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 35.8 31.1 20.9 12.0
H26 39.4 28.5 20.1 12.0
H27 38.0 28.7 19.4 13.5
H28 39.3 28.3 17.7 14.2

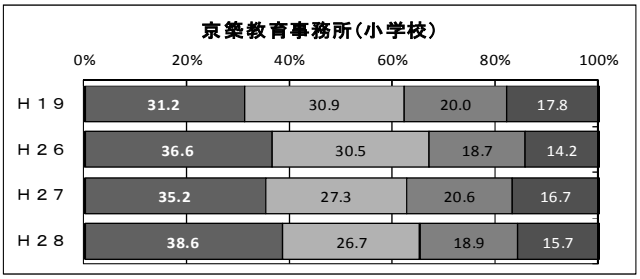

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 25.2 28.1 27.3 17.6
H26 30.5 30.4 23.7 15.4
H27 29.6 28.5 25.4 16.2
H28 27.5 28.1 25.5 18.5

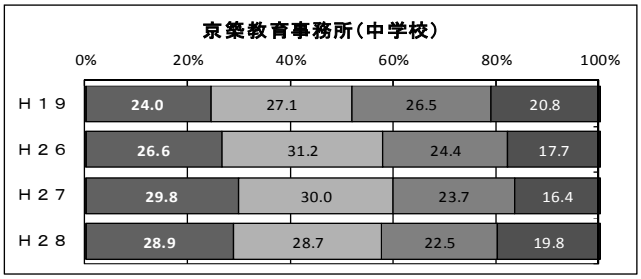

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 32.0 32.0 23.2 12.7
H26 37.8 29.7 20.4 12.1
H27 34.8 29.7 20.8 14.6
H28 38.2 28.3 20.4 12.9

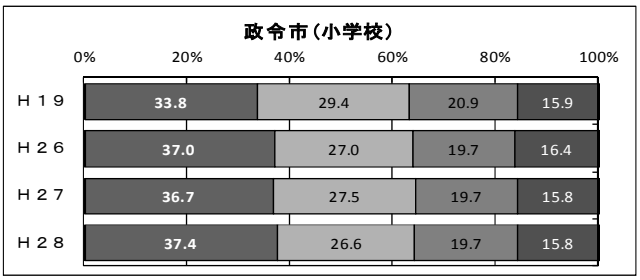

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 21.7 28.0 29.5 19.4
H26 28.9 29.0 25.5 16.7
H27 28.2 31.7 25.4 14.6
H28 26.4 27.7 27.8 17.8

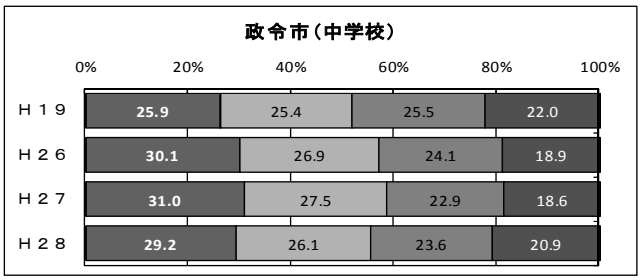

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 32.1 28.9 20.4 18.6
H26 39.5 27.4 18.3 14.8
H27 37.7 29.4 17.8 14.7
H28 40.7 27.6 17.2 14.2


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 22.6 25.1 24.6 26.3
H26 28.1 25.8 22.7 23.4
H27 28.4 27.8 23.8 19.9
H28 29.7 27.6 21.8 20.5


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 31.2 30.9 20.0 17.8
H26 36.6 30.5 18.7 14.2
H27 35.2 27.3 20.6 16.7
H28 38.6 26.7 18.9 15.7


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 24.0 27.1 26.5 20.8
H26 26.6 31.2 24.4 17.7
H27 29.8 30.0 23.7 16.4
H28 28.9 28.7 22.5 19.8


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 33.8 29.4 20.9 15.9
H26 37.0 27.0 19.7 16.4
H27 36.7 27.5 19.7 15.8
H28 37.4 26.6 19.7 15.8


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 25.9 25.4 25.5 22.0
H26 30.1 26.9 24.1 18.9
H27 31.0 27.5 22.9 18.6
H28 29.2 26.1 23.6 20.9

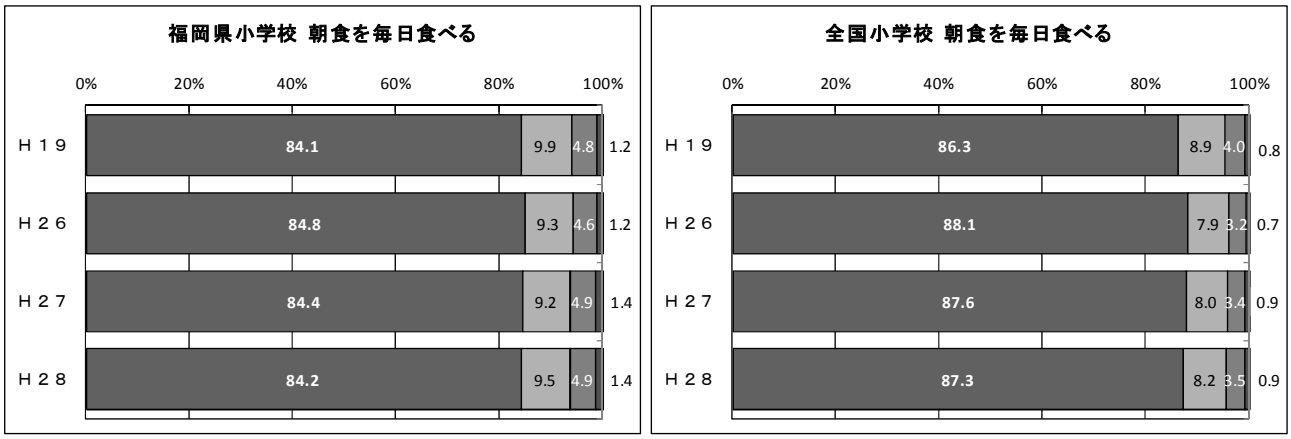
（６） 基本的な生活習慣

１	朝食を毎日食べていますか。

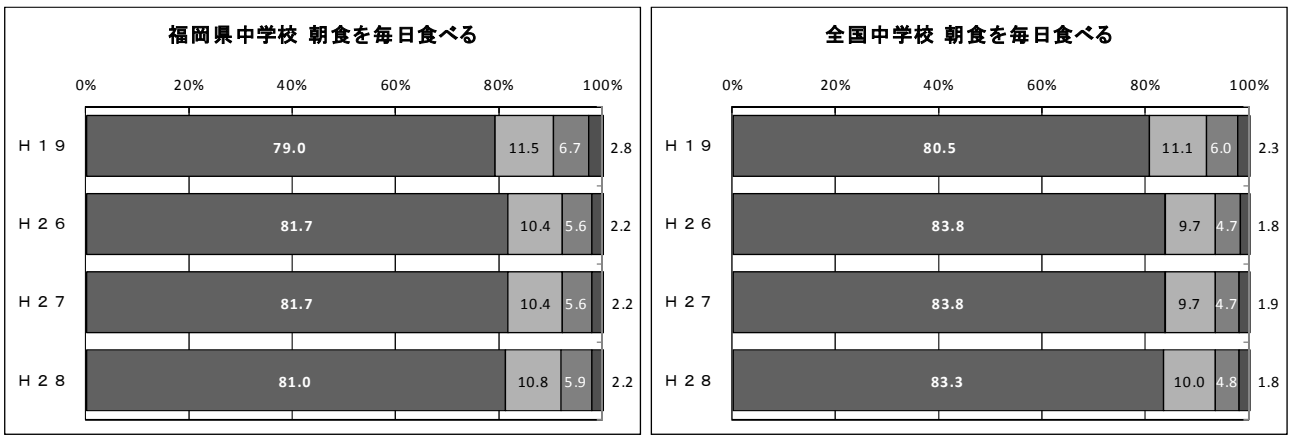
○　食べている、どちらかといえば食べていると回答した児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して、小学校はほぼ変化がなく、中学校は減少している。また、全く食べていないと回答している児童生徒の割合は、小学校、中学校ともに変化していない。

○　食べている、どちらかといえば食べていると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。また、このような傾向は、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の質問項目においても同様に見られる。

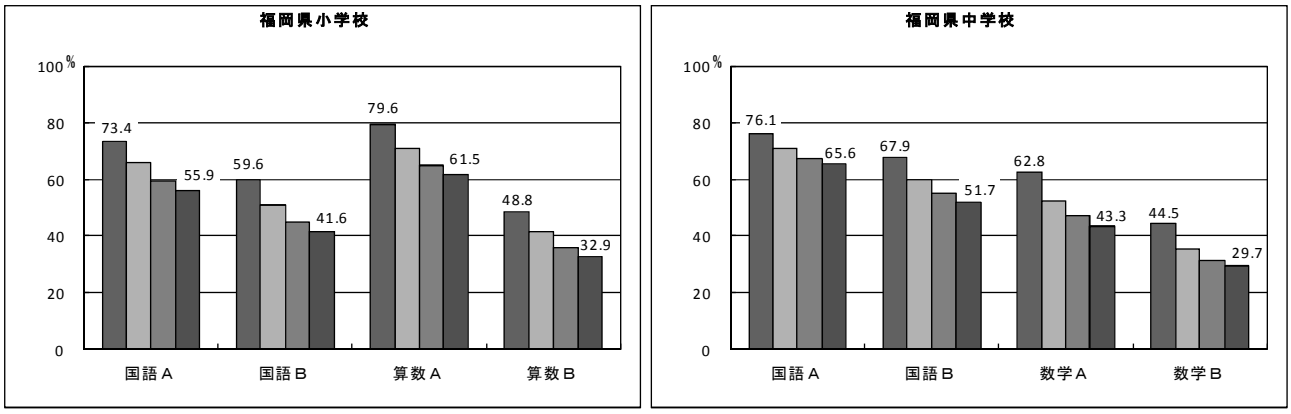
■　小学校回答状況



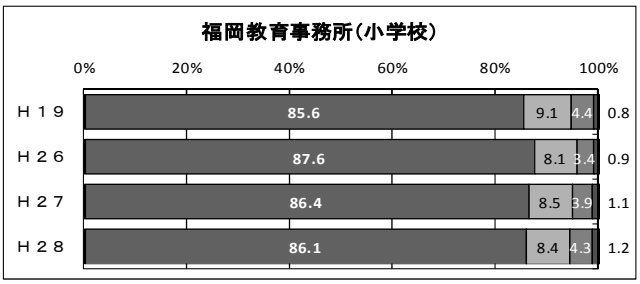
■　中学校回答状況

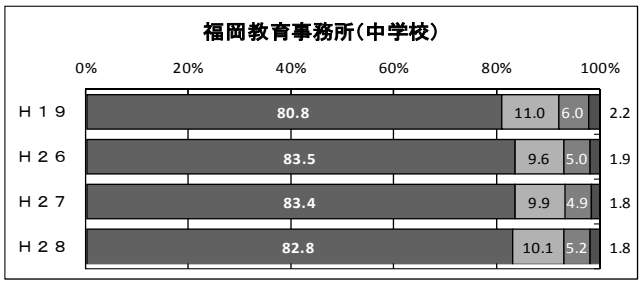


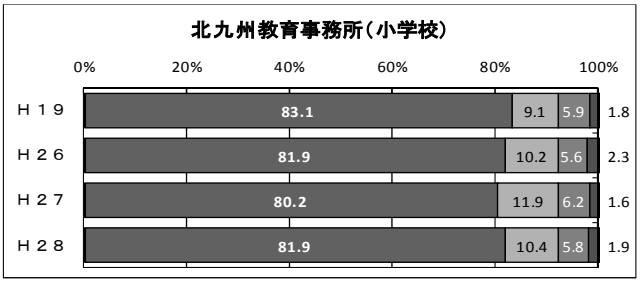
■　教科の正答率との相関関係

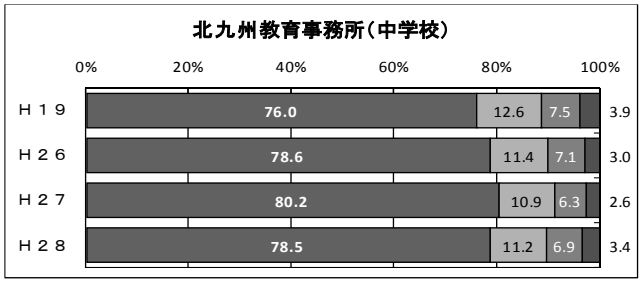


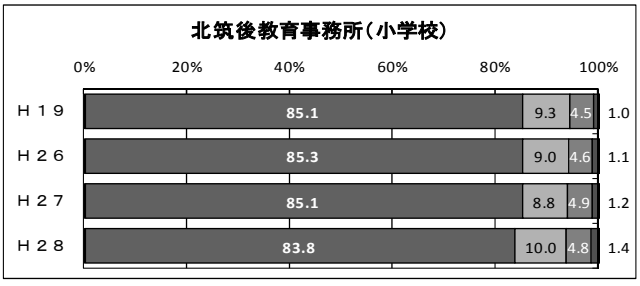
■　地区別回答状況

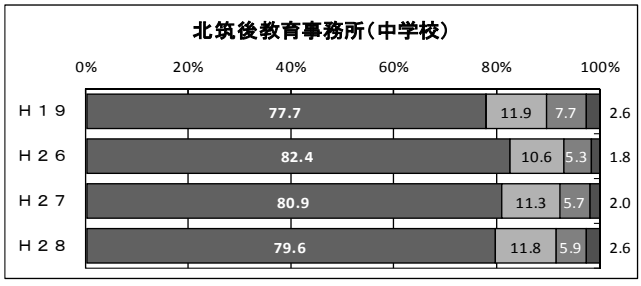

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
85.6
9.1
4.4
0.8
H26
87.6
8.1
3.4
0.9
H27
86.4
8.5
3.9
1.1
H28
86.1
8.4
4.3
1.2

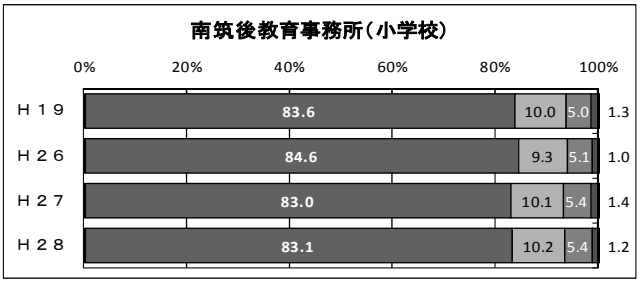

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
80.8
11.0
6.0
2.2
H26
83.5
9.6
5.0
1.9
H27
83.4
9.9
4.9
1.8
H28
82.8
10.1
5.2
1.8

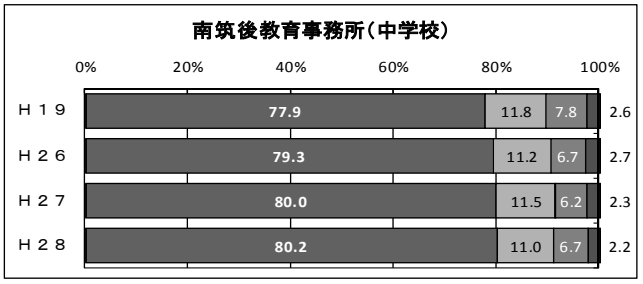

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
83.1
9.1
5.9
1.8
H26
81.9
10.2
5.6
2.3
H27
80.2
11.9
6.2
1.6
H28
81.9
10.4
5.8
1.9

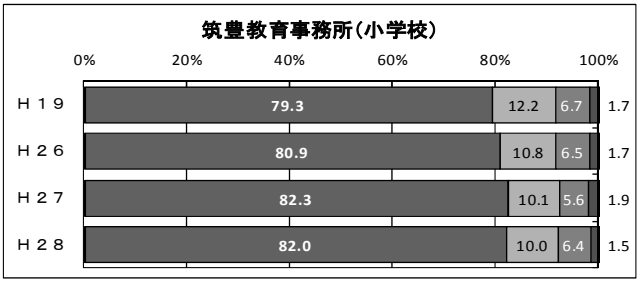

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
76.0
12.6
7.5
3.9
H26
78.6
11.4
7.1
3.0
H27
80.2
10.9
6.3
2.6
H28
78.5
11.2
6.9
3.4

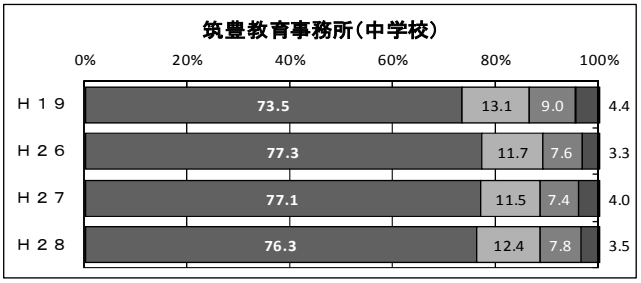

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
85.1
9.3
4.5
1.0
H26
85.3
9.0
4.6
1.1
H27
85.1
8.8
4.9
1.2
H28
83.8
10.0
4.8
1.4

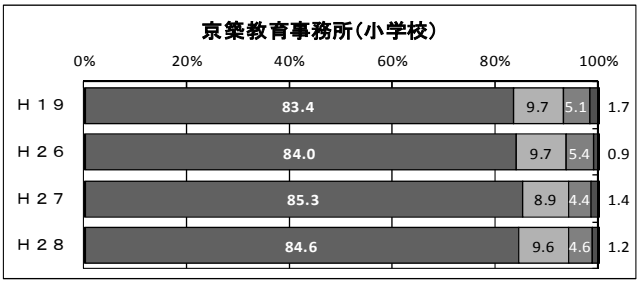

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
77.7
11.9
7.7
2.6
H26
82.4
10.6
5.3
1.8
H27
80.9
11.3
5.7
2.0
H28
79.6
11.8
5.9
2.6

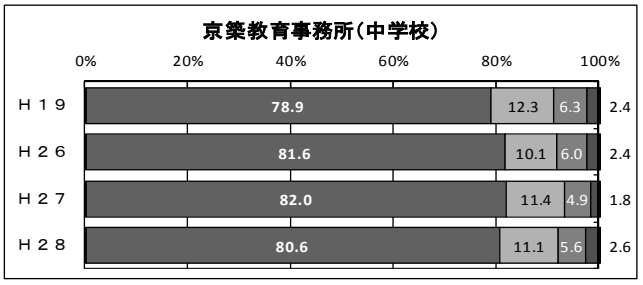

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
83.6
10.0
5.0
1.3
H26
84.6
9.3
5.1
1.0
H27
83.0
10.1
5.4
1.4
H28
83.1
10.2
5.4
1.2

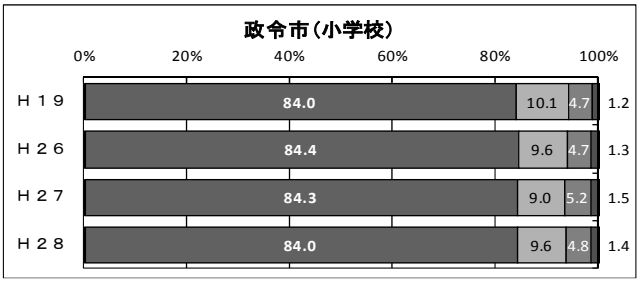

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
77.9
11.8
7.8
2.6
H26
79.3
11.2
6.7
2.7
H27
80.0
11.5
6.2
2.3
H28
80.2
11.0
6.7
2.2

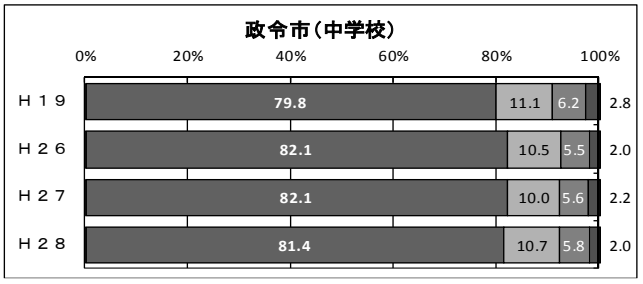

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
79.3
12.2
6.7
1.7
H26
80.9
10.8
6.5
1.7
H27
82.3
10.1
5.6
1.9
H28
82.0
10.0
6.4
1.5


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
73.5
13.1
9.0
4.4
H26
77.3
11.7
7.6
3.3
H27
77.1
11.5
7.4
4.0
H28
76.3
12.4
7.8
3.5


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
83.4
9.7
5.1
1.7
H26
84.0
9.7
5.4
0.9
H27
85.3
8.9
4.4
1.4
H28
84.6
9.6
4.6
1.2


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
78.9
12.3
6.3
2.4
H26
81.6
10.1
6.0
2.4
H27
82.0
11.4
4.9
1.8
H28
80.6
11.1
5.6
2.6


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
84.0
10.1
4.7
1.2
H26
84.4
9.6
4.7
1.3
H27
84.3
9.0
5.2
1.5
H28
84.0
9.6
4.8
1.4


政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
79.8
11.1
6.2
2.8
H26
82.1
10.5
5.5
2.0
H27
82.1
10.0
5.6
2.2
H28
81.4
10.7
5.8
2.0

２　授業づくり

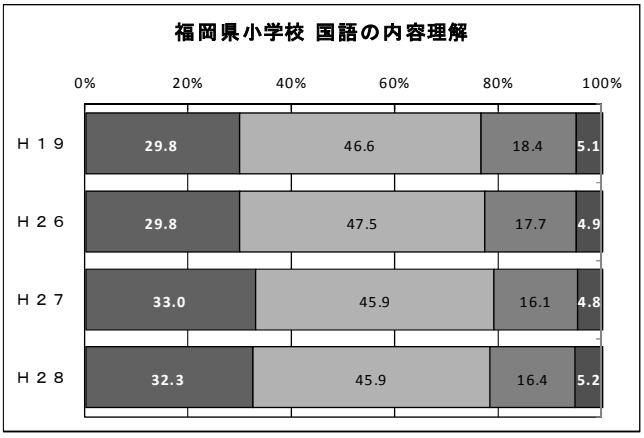
（１）　各教科の内容

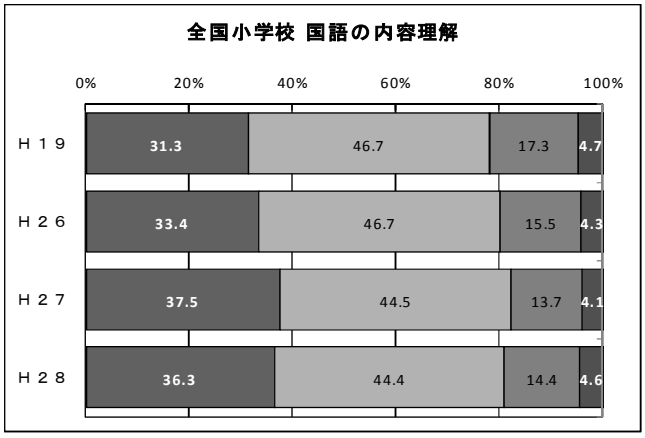
６３	国語の授業の内容はよく分かりますか。

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して小学校、中学校ともに減少している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

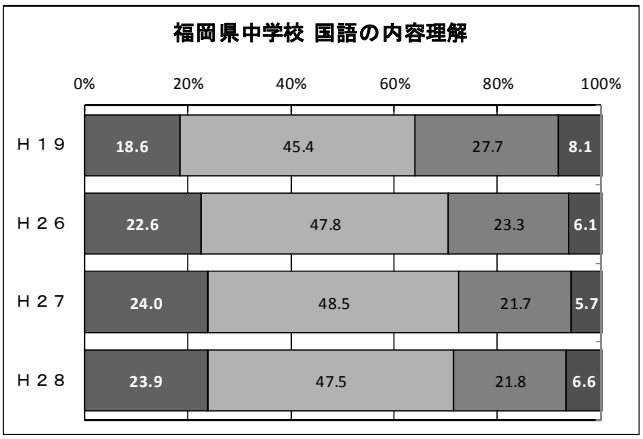
■当てはまる　■どちらかといえば　■あまり　■当てはまらない

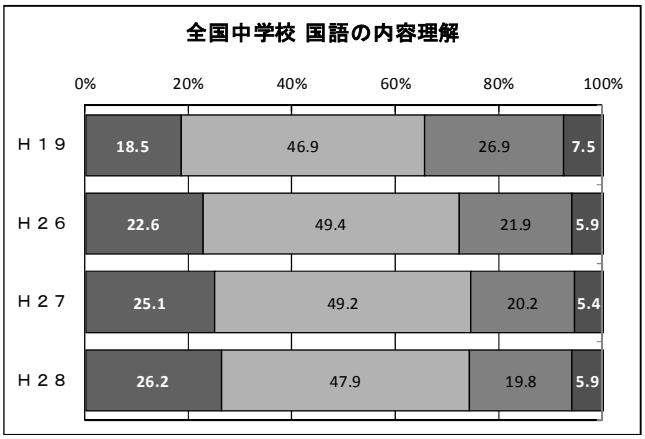
■　小学校回答状況



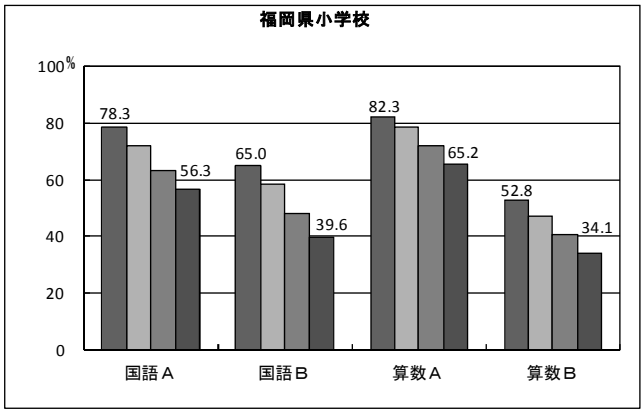


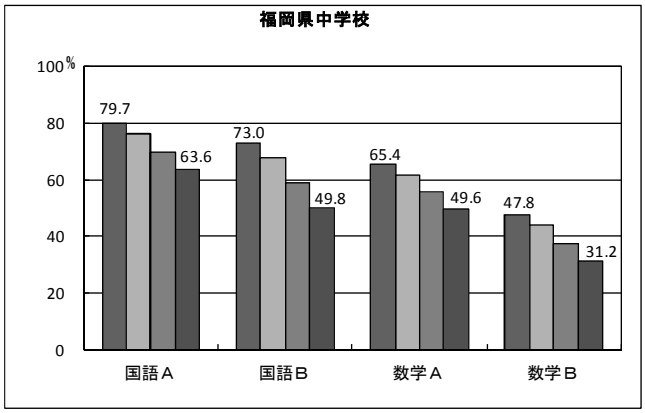
■　中学校回答状況



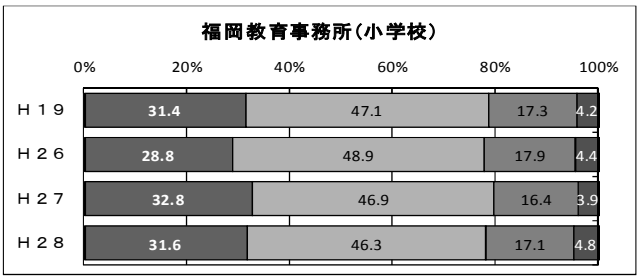


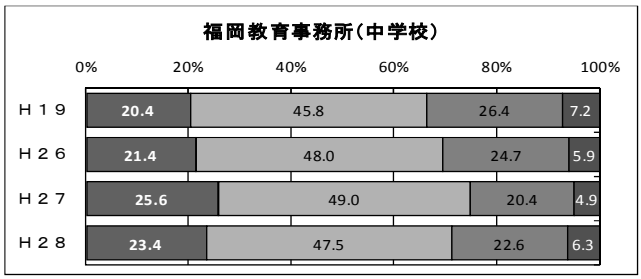
■　教科の正答率との相関関係

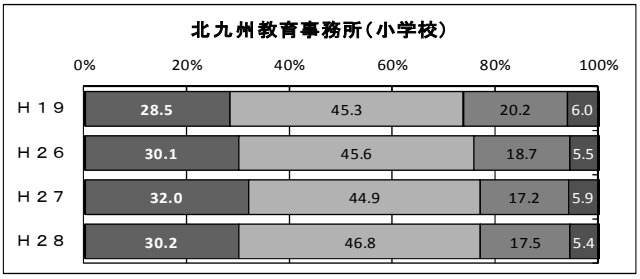


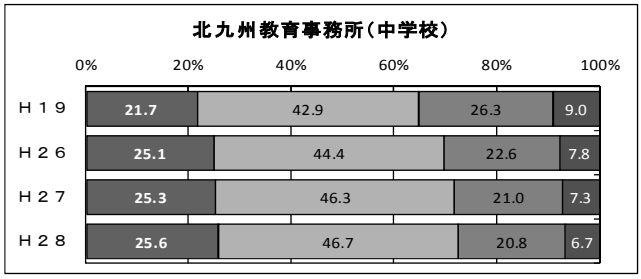


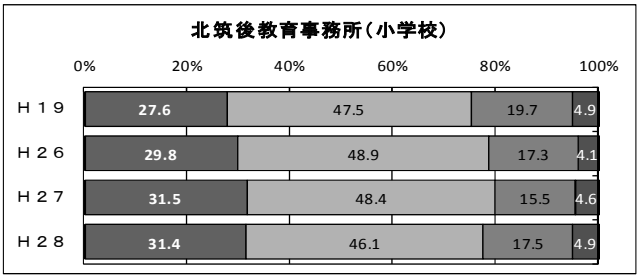
■　地区別回答状況

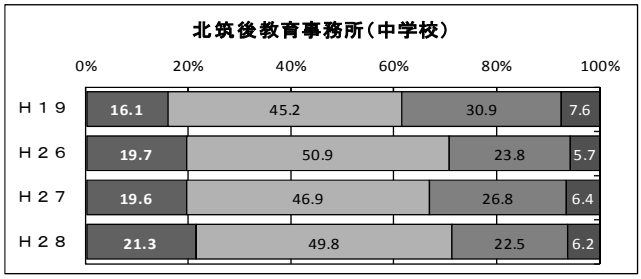

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 31.4 47.1 17.3 4.2
H26 28.8 48.9 17.9 4.4
H27 32.8 46.9 16.4 3.9
H28 31.6 46.3 17.1 4.8

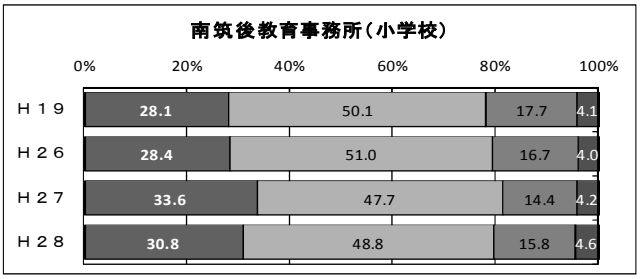

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 20.4 45.8 26.4 7.2
H26 21.4 48.0 24.7 5.9
H27 25.6 49.0 20.4 4.9
H28 23.4 47.5 22.6 6.3

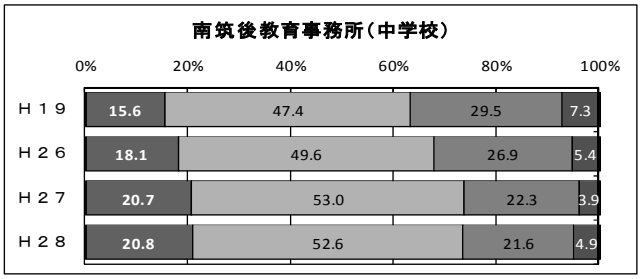

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 28.5 45.3 20.2 6.0
H26 30.1 45.6 18.7 5.5
H27 32.0 44.9 17.2 5.9
H28 30.2 46.8 17.5 5.4

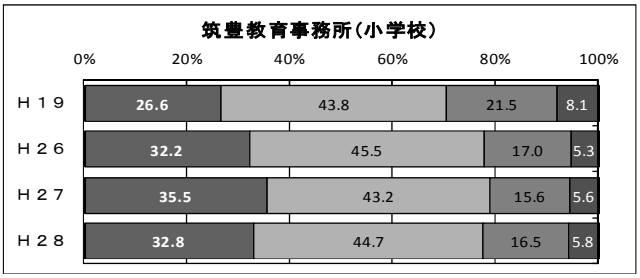

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 21.7 42.9 26.3 9.0
H26 25.1 44.4 22.6 7.8
H27 25.3 46.3 21.0 7.3
H28 25.6 46.7 20.8 6.7

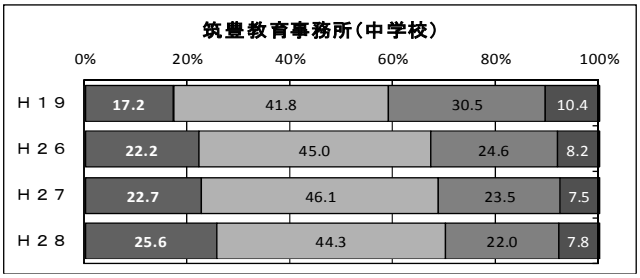

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 27.6 47.5 19.7 4.9
H26 29.8 48.9 17.3 4.1
H27 31.5 48.4 15.5 4.6
H28 31.4 46.1 17.5 4.9

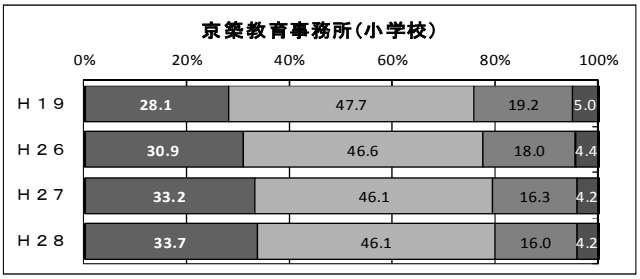

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 16.1 45.2 30.9 7.6
H26 19.7 50.9 23.8 5.7
H27 19.6 46.9 26.8 6.4
H28 21.3 49.8 22.5 6.2

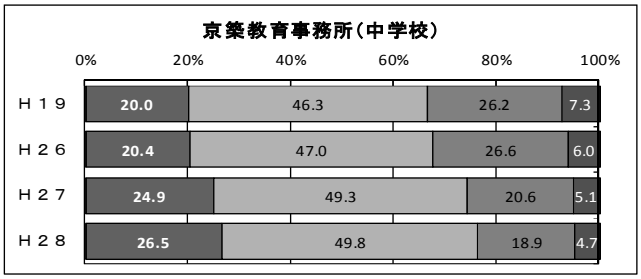

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 28.1 50.1 17.7 4.1
H26 28.4 51.0 16.7 4.0
H27 33.6 47.7 14.4 4.2
H28 30.8 48.8 15.8 4.6

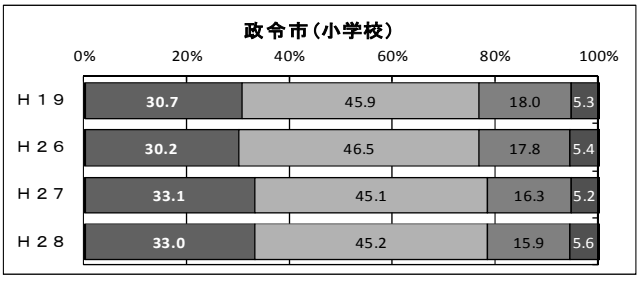

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 15.6 47.4 29.5 7.3
H26 18.1 49.6 26.9 5.4
H27 20.7 53.0 22.3 3.9
H28 20.8 52.6 21.6 4.9

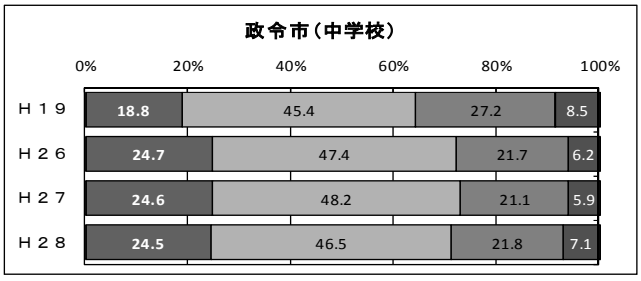

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 26.6 43.8 21.5 8.1
H26 32.2 45.5 17.0 5.3
H27 35.5 43.2 15.6 5.6
H28 32.8 44.7 16.5 5.8


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 17.2 41.8 30.5 10.4
H26 22.2 45.0 24.6 8.2
H27 22.7 46.1 23.5 7.5
H28 25.6 44.3 22.0 7.8


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 28.1 47.7 19.2 5.0
H26 30.9 46.6 18.0 4.4
H27 33.2 46.1 16.3 4.2
H28 33.7 46.1 16.0 4.2


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 20.0 46.3 26.2 7.3
H26 20.4 47.0 26.6 6.0
H27 24.9 49.3 20.6 5.1
H28 26.5 49.8 18.9 4.7


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 30.7 45.9 18.0 5.3
H26 30.2 46.5 17.8 5.4
H27 33.1 45.1 16.3 5.2
H28 33.0 45.2 15.9 5.6


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 18.8 45.4 27.2 8.5
H26 24.7 47.4 21.7 6.2
H27 24.6 48.2 21.1 5.9
H28 24.5 46.5 21.8 7.1

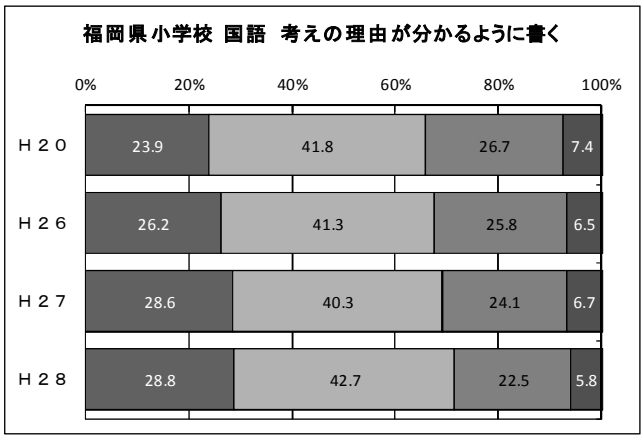
６８	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。

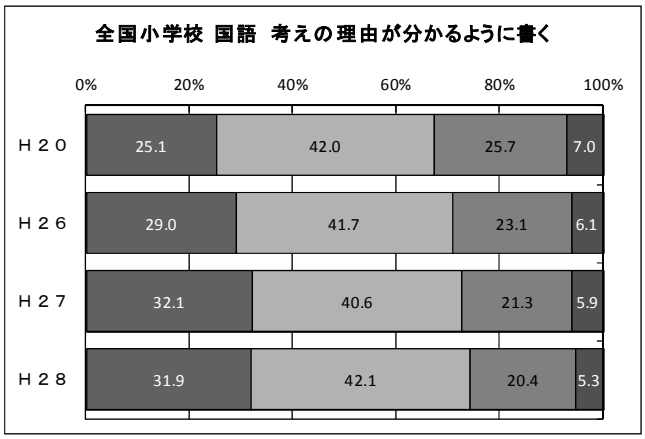
※平成２０年度から加えられた質問

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

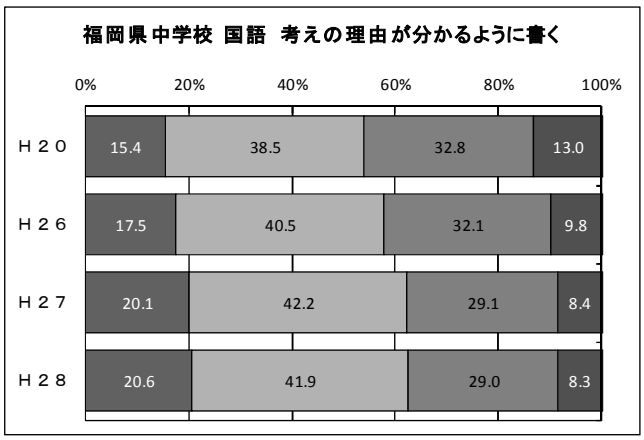
■当てはまる　■どちらかといえば　■あまり　■当てはまらない

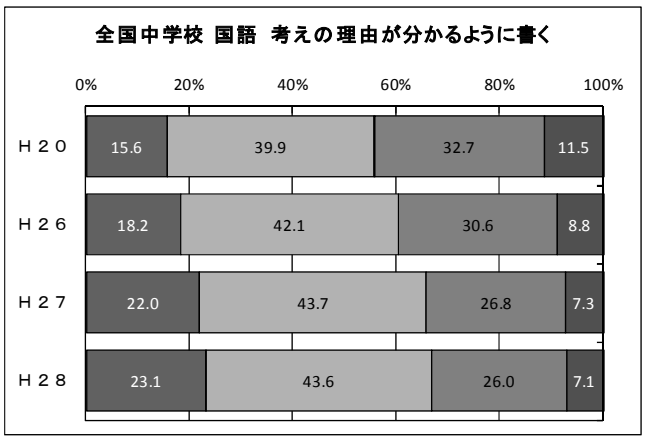
■　小学校回答状況



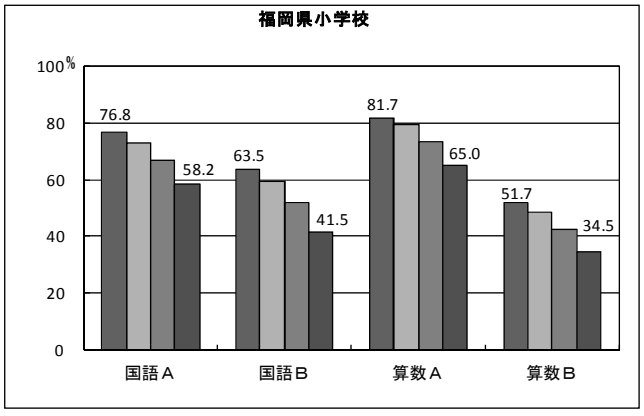


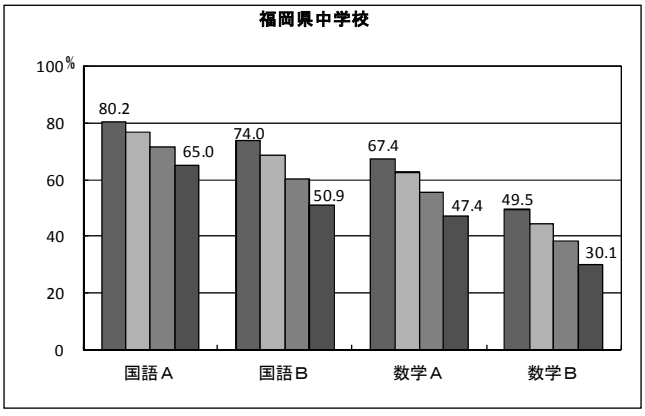
■　中学校回答状況



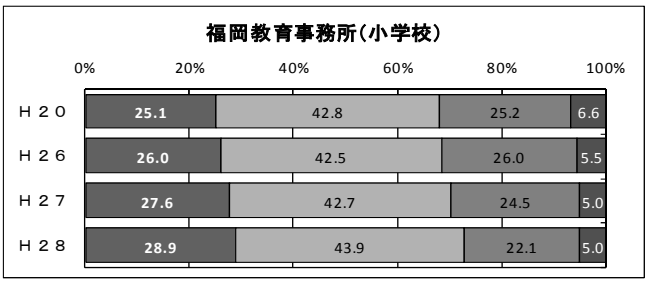


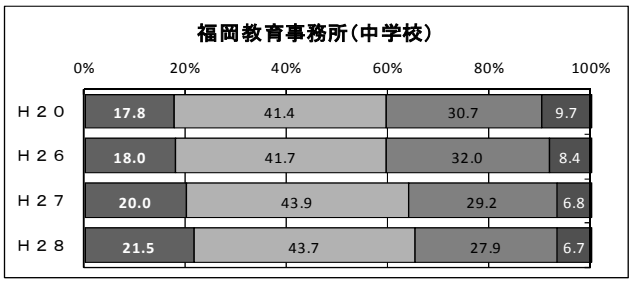
■　教科の正答率との相関関係

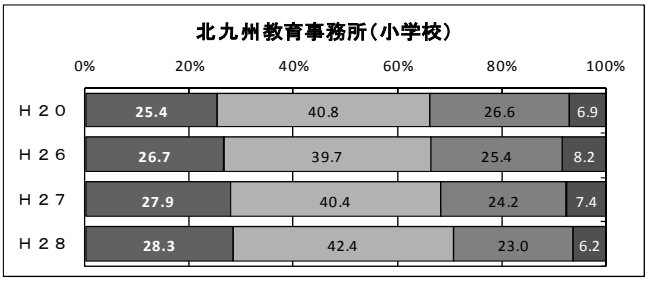


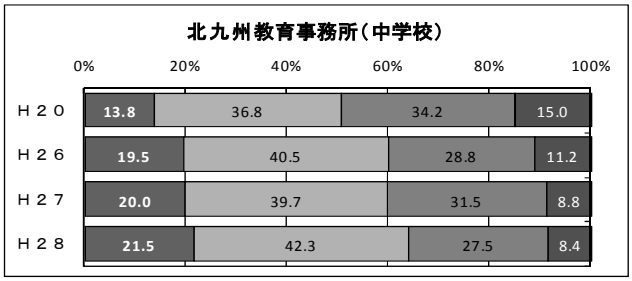


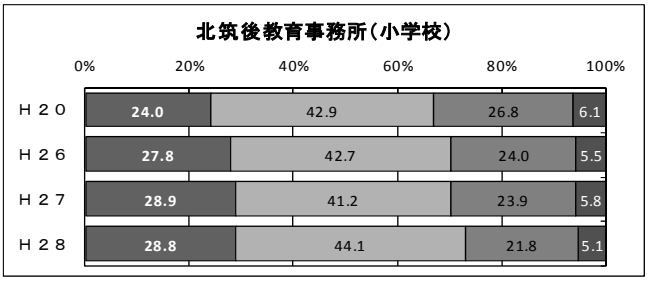
■　地区別回答状況

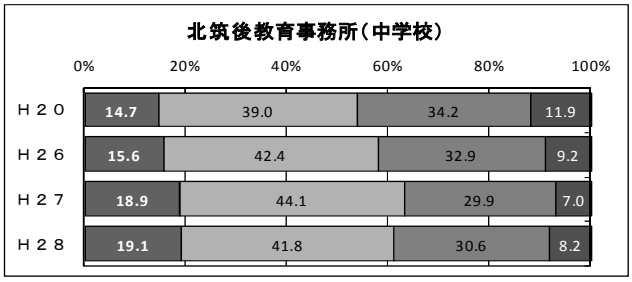

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 25.1 42.8 25.2 6.6
H２６ 26.0 42.5 26.0 5.5
H２７ 27.6 42.7 24.5 5.0
H２８ 28.9 43.9 22.1 5.0

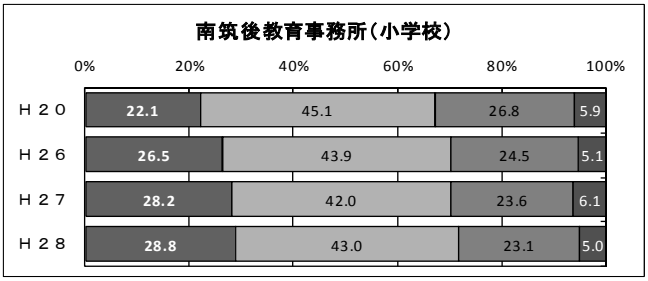

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 17.8 41.4 30.7 9.7
H２６ 18.0 41.7 32.0 8.4
H２７ 20.0 43.9 29.2 6.8
H２８ 21.5 43.7 27.9 6.7

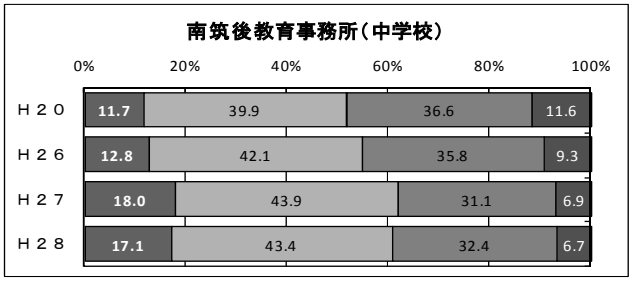

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 25.4 40.8 26.6 6.9
H２６ 26.7 39.7 25.4 8.2
H２７ 27.9 40.4 24.2 7.4
H２８ 28.3 42.4 23.0 6.2

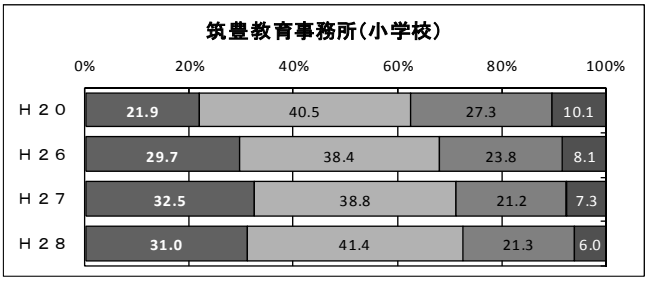

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 13.8 36.8 34.2 15.0
H２６ 19.5 40.5 28.8 11.2
H２７ 20.0 39.7 31.5 8.8
H２８ 21.5 42.3 27.5 8.4

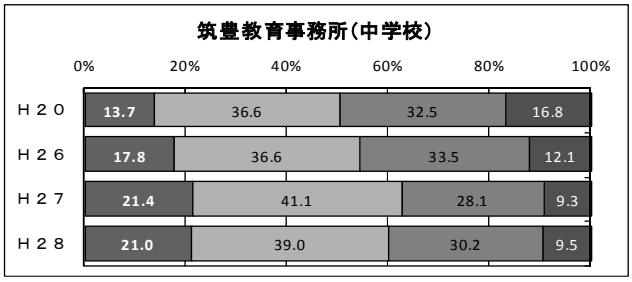

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 24.0 42.9 26.8 6.1
H２６ 27.8 42.7 24.0 5.5
H２７ 28.9 41.2 23.9 5.8
H２８ 28.8 44.1 21.8 5.1

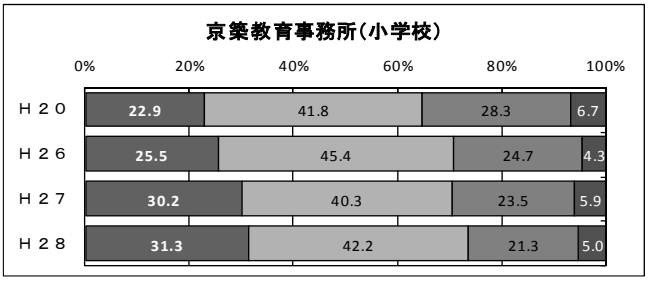

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 14.7 39.0 34.2 11.9
H２６ 15.6 42.4 32.9 9.2
H２７ 18.9 44.1 29.9 7.0
H２８ 19.1 41.8 30.6 8.2

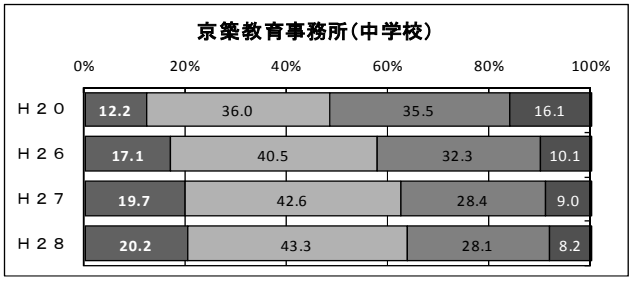

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 22.1 45.1 26.8 5.9
H２６ 26.5 43.9 24.5 5.1
H２７ 28.2 42.0 23.6 6.1
H２８ 28.8 43.0 23.1 5.0

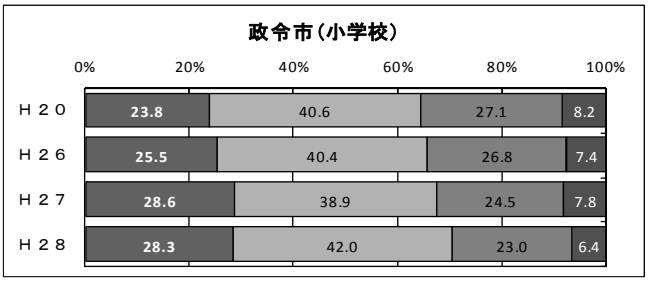

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 11.7 39.9 36.6 11.6
H２６ 12.8 42.1 35.8 9.3
H２７ 18.0 43.9 31.1 6.9
H２８ 17.1 43.4 32.4 6.7

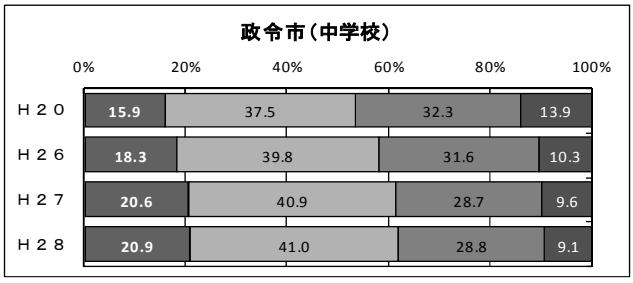

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 21.9 40.5 27.3 10.1
H２６ 29.7 38.4 23.8 8.1
H２７ 32.5 38.8 21.2 7.3
H２８ 31.0 41.4 21.3 6.0


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 13.7 36.6 32.5 16.8
H２６ 17.8 36.6 33.5 12.1
H２７ 21.4 41.1 28.1 9.3
H２８ 21.0 39.0 30.2 9.5


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 22.9 41.8 28.3 6.7
H２６ 25.5 45.4 24.7 4.3
H２７ 30.2 40.3 23.5 5.9
H２８ 31.3 42.2 21.3 5.0


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 12.2 36.0 35.5 16.1
H２６ 17.1 40.5 32.3 10.1
H２７ 19.7 42.6 28.4 9.0
H２８ 20.2 43.3 28.1 8.2


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 23.8 40.6 27.1 8.2
H２６ 25.5 40.4 26.8 7.4
H２７ 28.6 38.9 24.5 7.8
H２８ 28.3 42.0 23.0 6.4

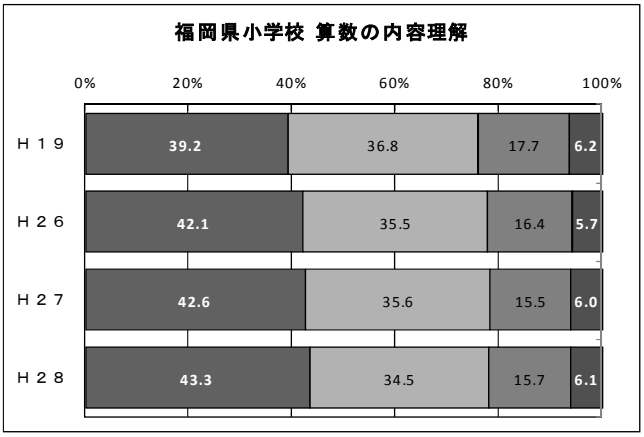

政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 15.9 37.5 32.3 13.9
H２６ 18.3 39.8 31.6 10.3
H２７ 20.6 40.9 28.7 9.6
H２８ 20.9 41.0 28.8 9.1

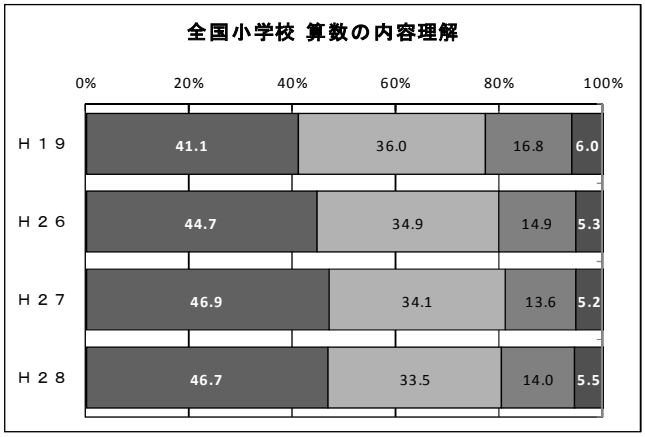
７３	算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか。

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して小学校、中学校ともに減少している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

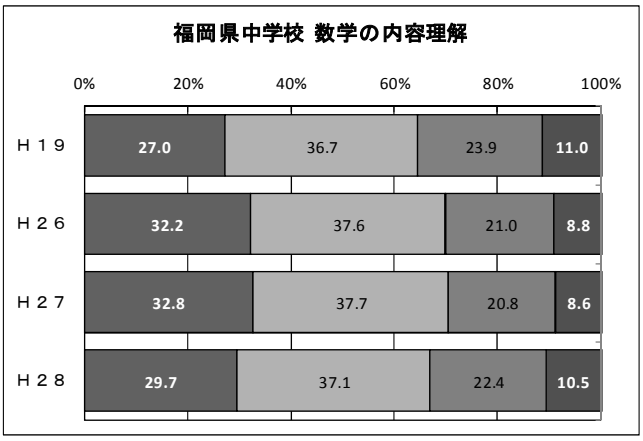
■当てはまる　■どちらかといえば　■あまり　■当てはまらない

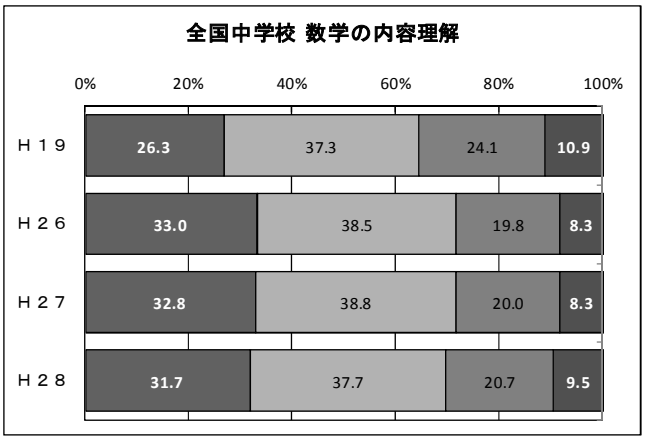
■　小学校回答状況



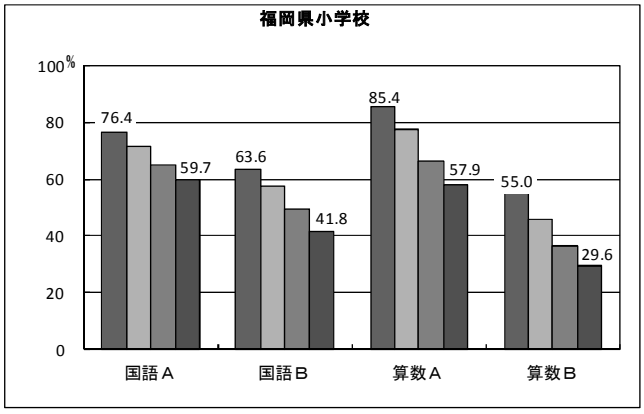


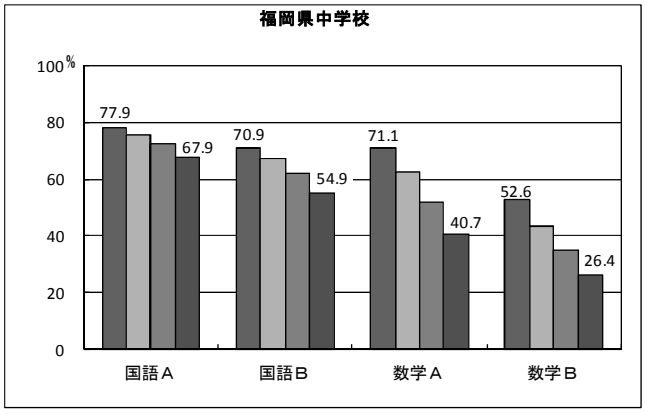
■　中学校回答状況



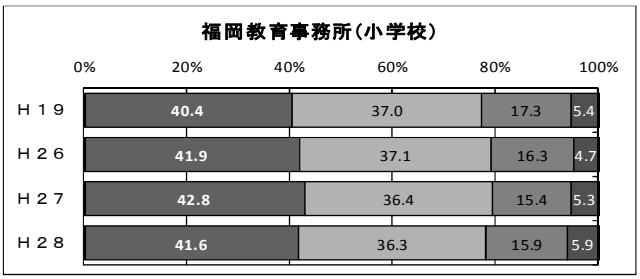


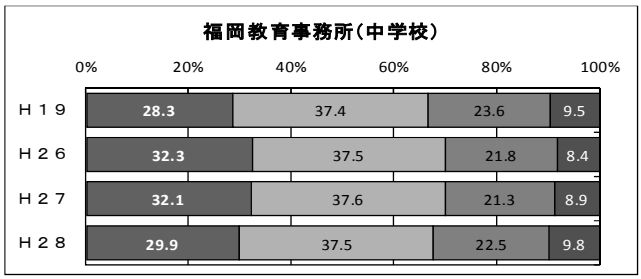
■　教科の正答率との相関関係

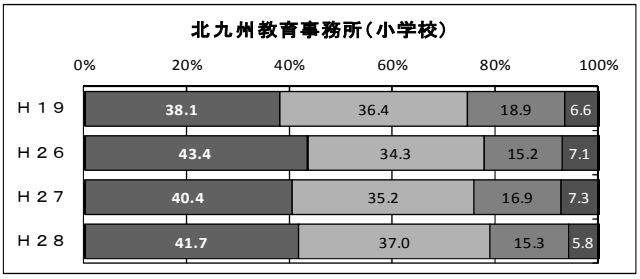


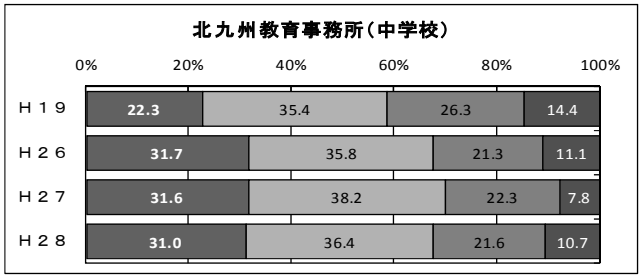


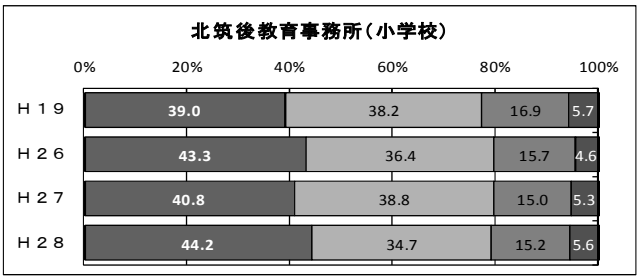
■　地区別回答状況

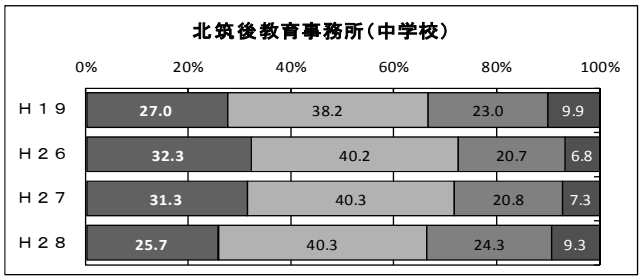

福岡教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
40.4
37.0
17.3
5.4
H２６
41.9
37.1
16.3
4.7
H２７
42.8
36.4
15.4
5.3
H２８
41.6
36.3
15.9
5.9

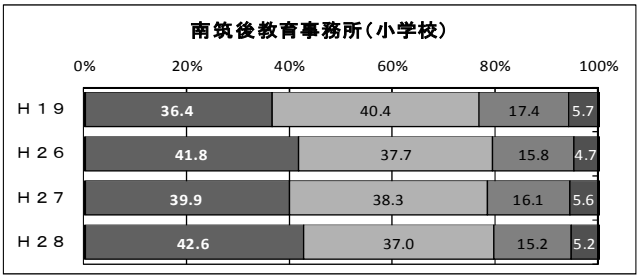

福岡教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
28.3
37.4
23.6
9.5
H２６
32.3
37.5
21.8
8.4
H２７
32.1
37.6
21.3
8.9
H２８
29.9
37.5
22.5
9.8

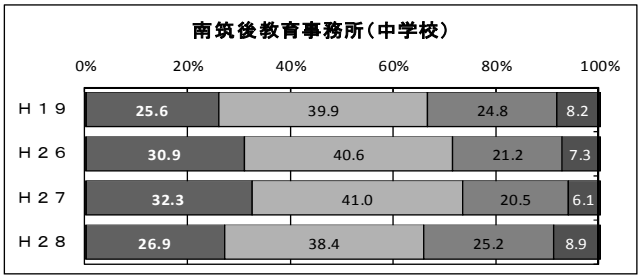

北九州教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
38.1
36.4
18.9
6.6
H２６
43.4
34.3
15.2
7.1
H２７
40.4
35.2
16.9
7.3
H２８
41.7
37.0
15.3
5.8

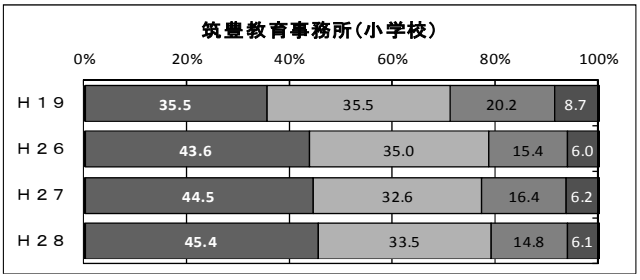

北九州教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
22.3
35.4
26.3
14.4
H２６
31.7
35.8
21.3
11.1
H２７
31.6
38.2
22.3
7.8
H２８
31.0
36.4
21.6
10.7

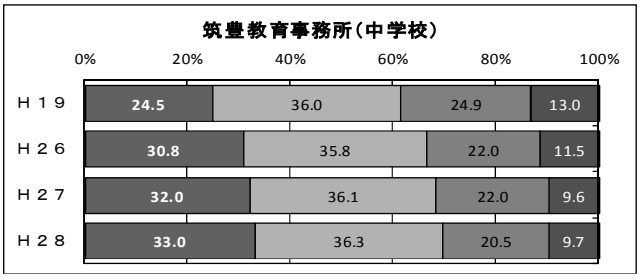

北筑後教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
39.0
38.2
16.9
5.7
H２６
43.3
36.4
15.7
4.6
H２７
40.8
38.8
15.0
5.3
H２８
44.2
34.7
15.2
5.6

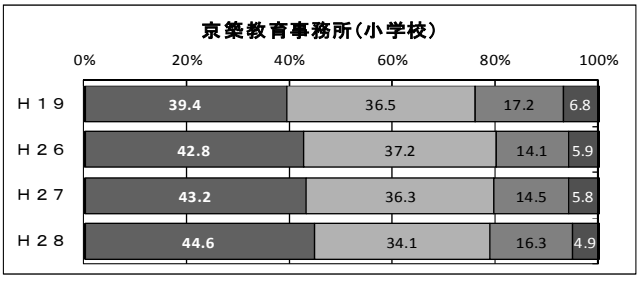

北筑後教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
27.0
38.2
23.0
9.9
H２６
32.3
40.2
20.7
6.8
H２７
31.3
40.3
20.8
7.3
H２８
25.7
40.3
24.3
9.3

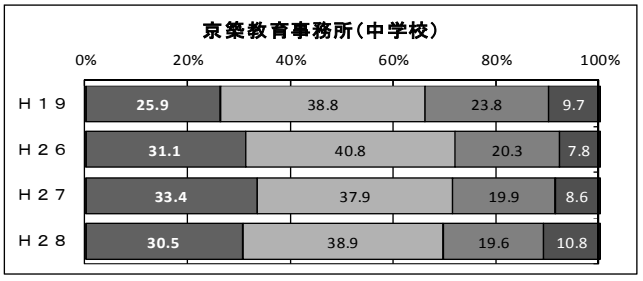

南筑後教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
36.4
40.4
17.4
5.7
H２６
41.8
37.7
15.8
4.7
H２７
39.9
38.3
16.1
5.6
H２８
42.6
37.0
15.2
5.2

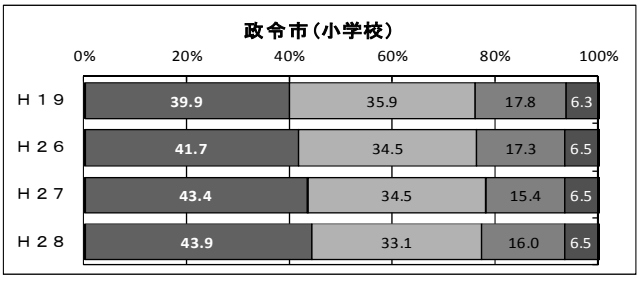

南筑後教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
25.6
39.9
24.8
8.2
H２６
30.9
40.6
21.2
7.3
H２７
32.3
41.0
20.5
6.1
H２８
26.9
38.4
25.2
8.9

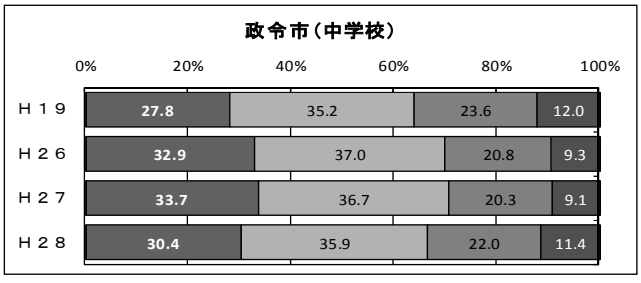

筑豊教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
35.5
35.5
20.2
8.7
H２６
43.6
35.0
15.4
6.0
H２７
44.5
32.6
16.4
6.2
H２８
45.4
33.5
14.8
6.1


筑豊教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
24.5
36.0
24.9
13.0
H２６
30.8
35.8
22.0
11.5
H２７
32.0
36.1
22.0
9.6
H２８
33.0
36.3
20.5
9.7


京築教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
39.4
36.5
17.2
6.8
H２６
42.8
37.2
14.1
5.9
H２７
43.2
36.3
14.5
5.8
H２８
44.6
34.1
16.3
4.9


京築教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
25.9
38.8
23.8
9.7
H２６
31.1
40.8
20.3
7.8
H２７
33.4
37.9
19.9
8.6
H２８
30.5
38.9
19.6
10.8


政令市（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
39.9
35.9
17.8
6.3
H２６
41.7
34.5
17.3
6.5
H２７
43.4
34.5
15.4
6.5
H２８
43.9
33.1
16.0
6.5

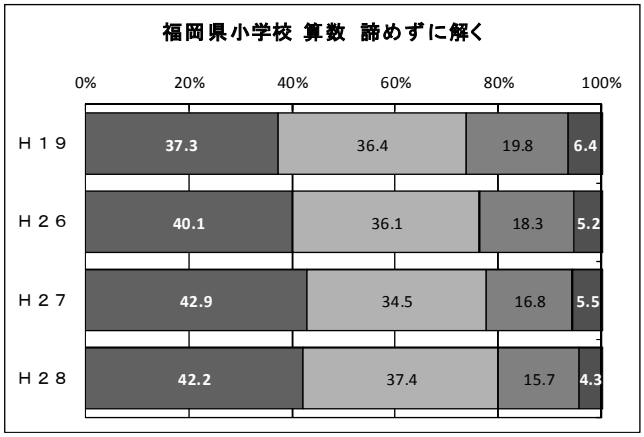

政令市（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H１９
27.8
35.2
23.6
12.0
H２６
32.9
37.0
20.8
9.3
H２７
33.7
36.7
20.3
9.1
H２８
30.4
35.9
22.0
11.4

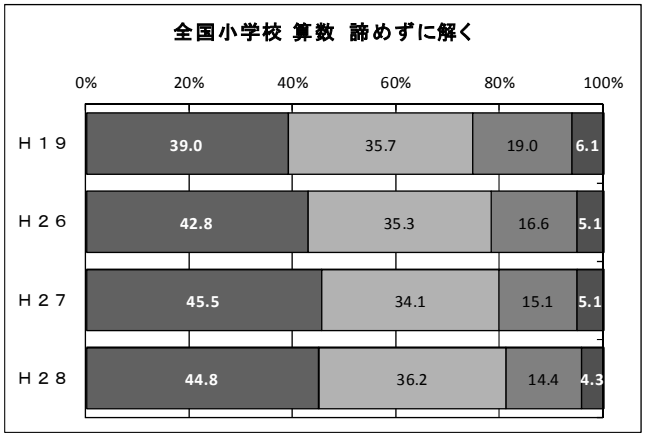
７５	算数（数学）の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して、小学校、中学校ともに増加している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

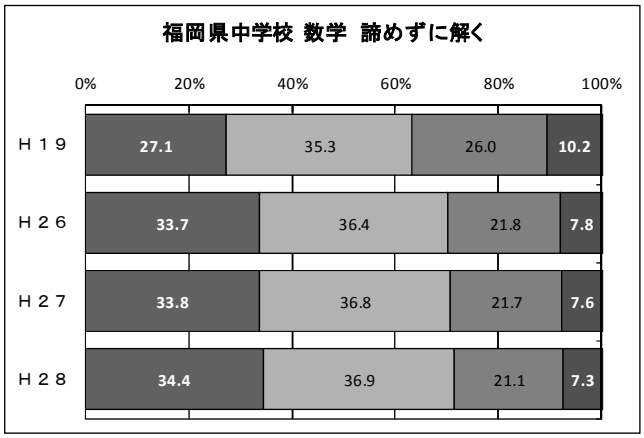
■当てはまる　■どちらかといえば　■あまり　■当てはまらない

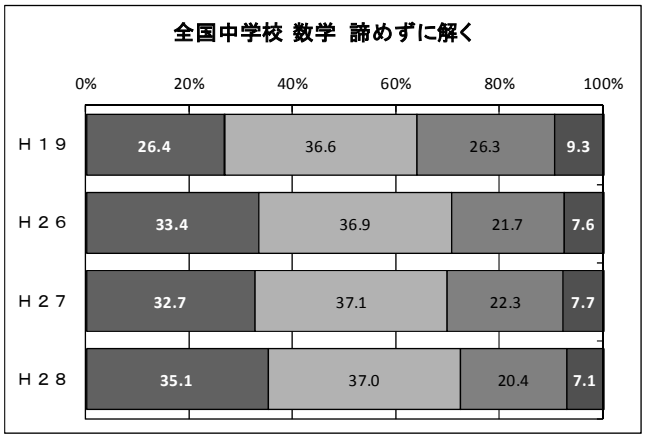
■　小学校回答状況



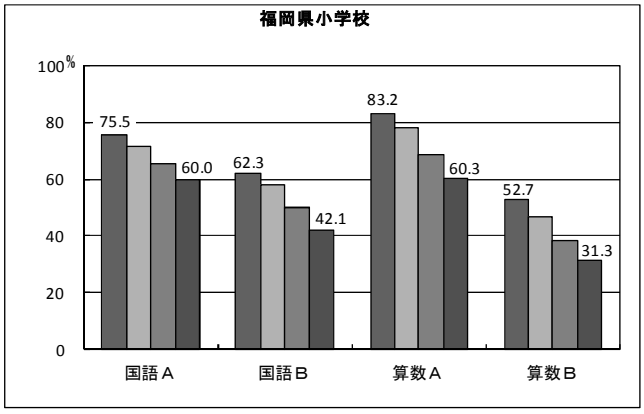


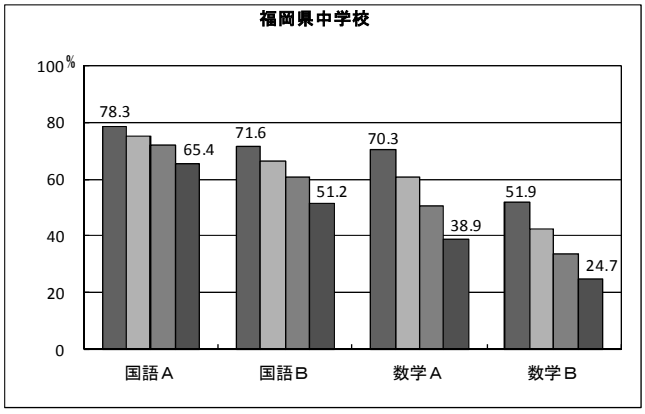
■　中学校回答状況



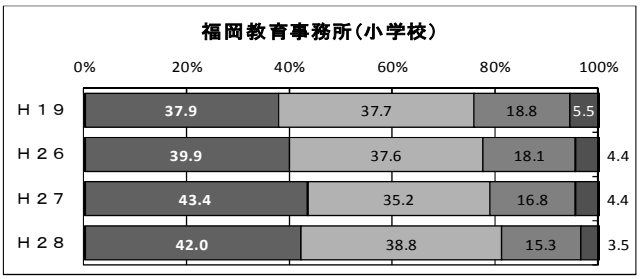


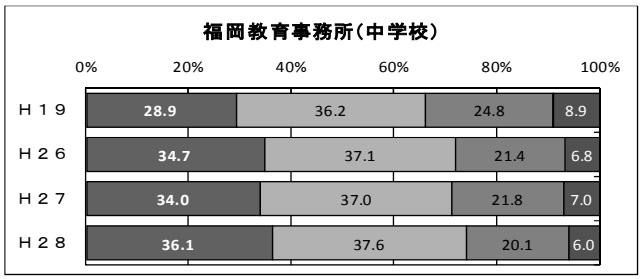
■　教科の正答率との相関関係

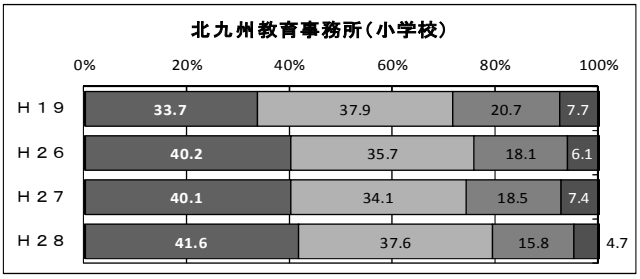


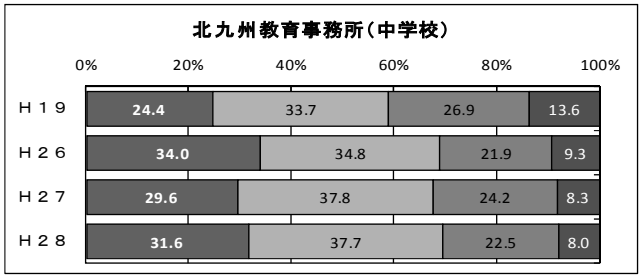


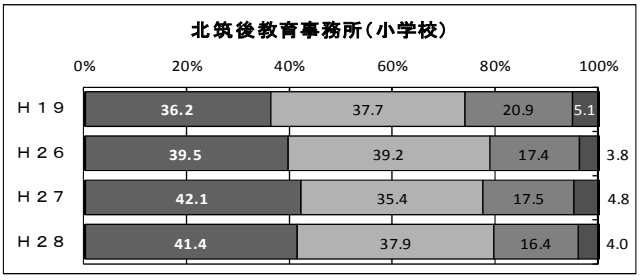
■　地区別回答状況

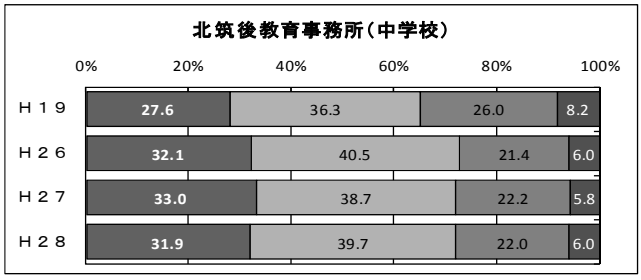

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 37.9 37.7 18.8 5.5
H26 39.9 37.6 18.1 4.4
H27 43.4 35.2 16.8 4.4
H28 42.0 38.8 15.3 3.5

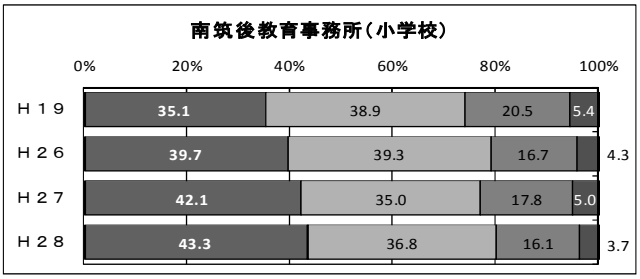

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 28.9 36.2 24.8 8.9
H26 34.7 37.1 21.4 6.8
H27 34.0 37.0 21.8 7.0
H28 36.1 37.6 20.1 6.0

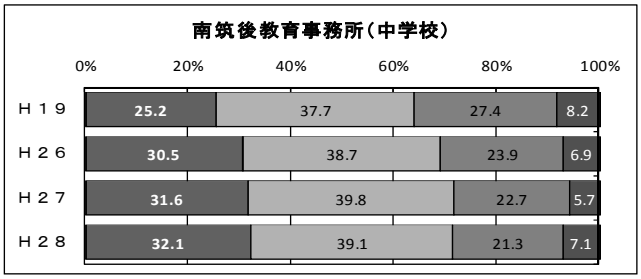

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 33.7 37.9 20.7 7.7
H26 40.2 35.7 18.1 6.1
H27 40.1 34.1 18.5 7.4
H28 41.6 37.6 15.8 4.7

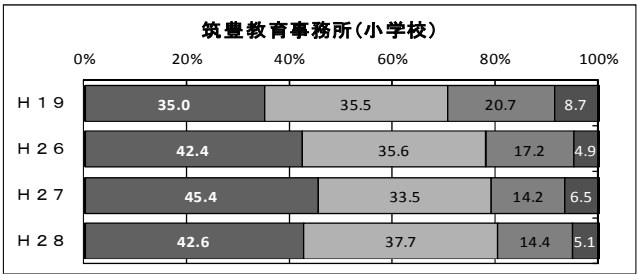

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 24.4 33.7 26.9 13.6
H26 34.0 34.8 21.9 9.3
H27 29.6 37.8 24.2 8.3
H28 31.6 37.7 22.5 8.0

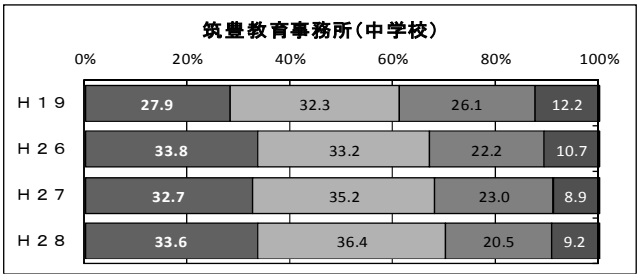

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 36.2 37.7 20.9 5.1
H26 39.5 39.2 17.4 3.8
H27 42.1 35.4 17.5 4.8
H28 41.4 37.9 16.4 4.0

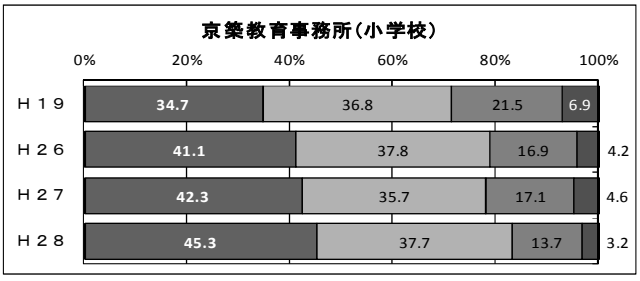

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 27.6 36.3 26.0 8.2
H26 32.1 40.5 21.4 6.0
H27 33.0 38.7 22.2 5.8
H28 31.9 39.7 22.0 6.0

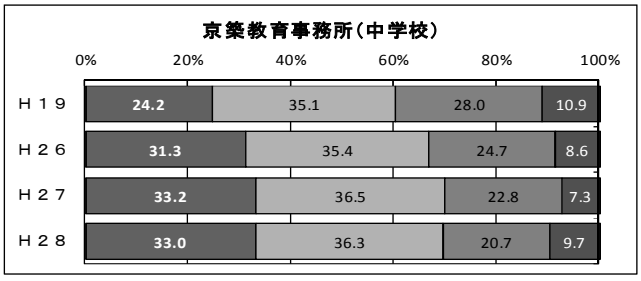

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 35.1 38.9 20.5 5.4
H26 39.7 39.3 16.7 4.3
H27 42.1 35.0 17.8 5.0
H28 43.3 36.8 16.1 3.7

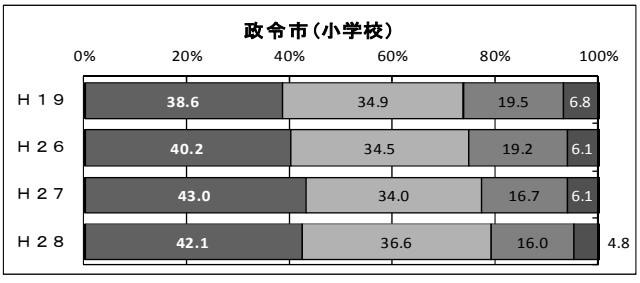

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 25.2 37.7 27.4 8.2
H26 30.5 38.7 23.9 6.9
H27 31.6 39.8 22.7 5.7
H28 32.1 39.1 21.3 7.1

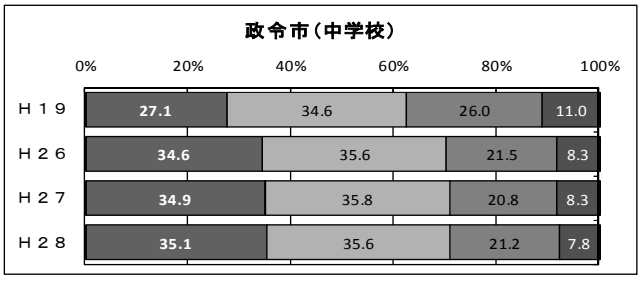

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 35.0 35.5 20.7 8.7
H26 42.4 35.6 17.2 4.9
H27 45.4 33.5 14.2 6.5
H28 42.6 37.7 14.4 5.1


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 27.9 32.3 26.1 12.2
H26 33.8 33.2 22.2 10.7
H27 32.7 35.2 23.0 8.9
H28 33.6 36.4 20.5 9.2


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 34.7 36.8 21.5 6.9
H26 41.1 37.8 16.9 4.2
H27 42.3 35.7 17.1 4.6
H28 45.3 37.7 13.7 3.2


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 24.2 35.1 28.0 10.9
H26 31.3 35.4 24.7 8.6
H27 33.2 36.5 22.8 7.3
H28 33.0 36.3 20.7 9.7


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 38.6 34.9 19.5 6.8
H26 40.2 34.5 19.2 6.1
H27 43.0 34.0 16.7 6.1
H28 42.1 36.6 16.0 4.8


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 27.1 34.6 26.0 11.0
H26 34.6 35.6 21.5 8.3
H27 34.9 35.8 20.8 8.3
H28 35.1 35.6 21.2 7.8

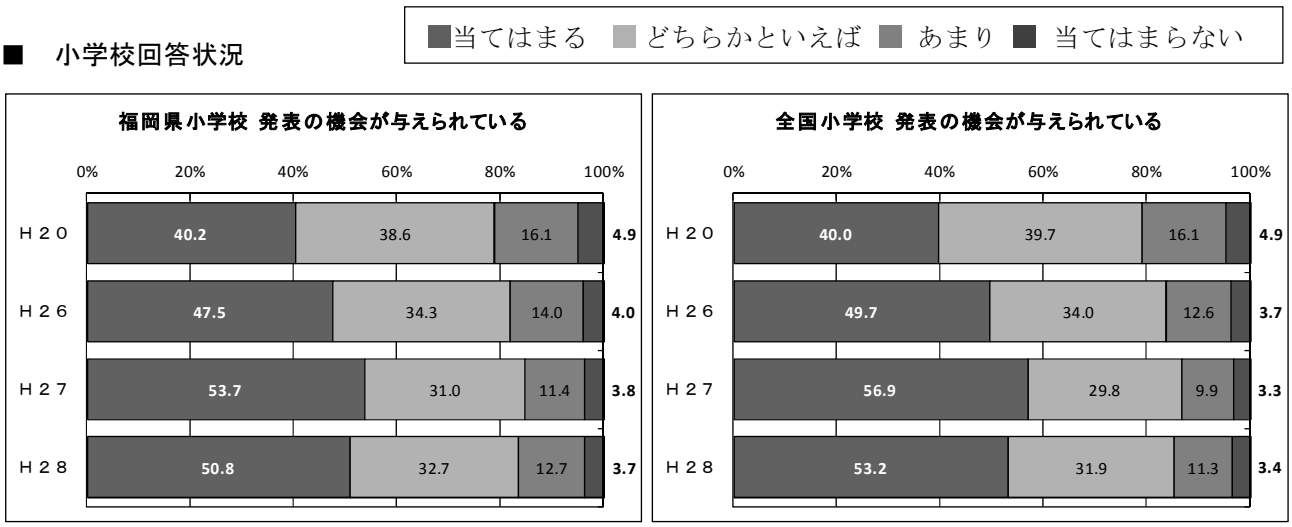
（２） 発表の機会

４８	授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。

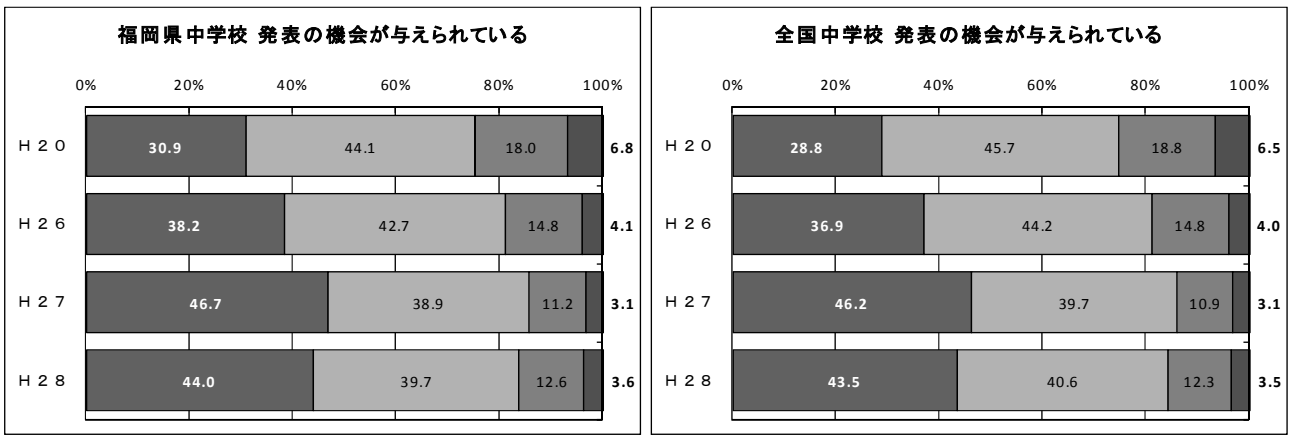
※平成２０年度から加えられた質問

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して小学校、中学校ともに減少している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。また、このような傾向は、「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか」といった質問項目においても同様に見られる。

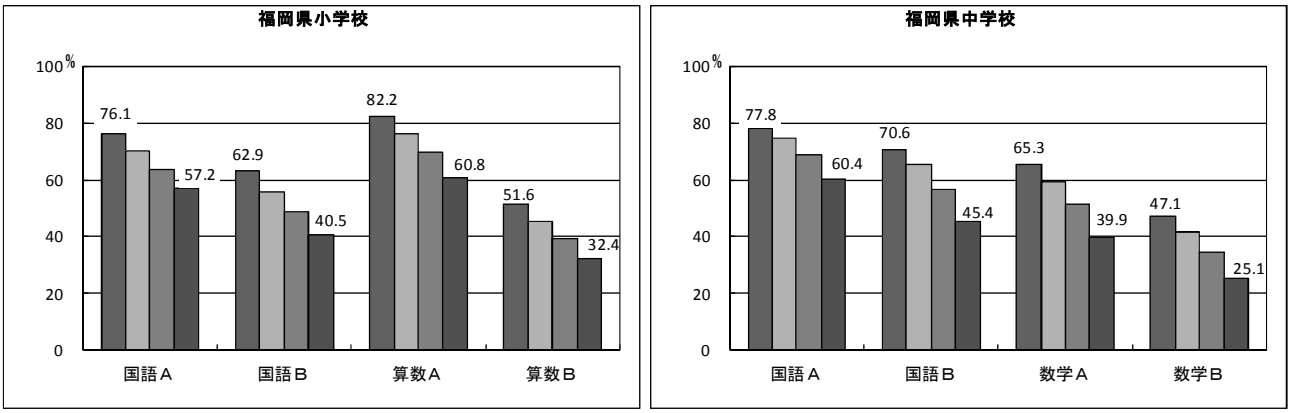
■　小学校回答状況



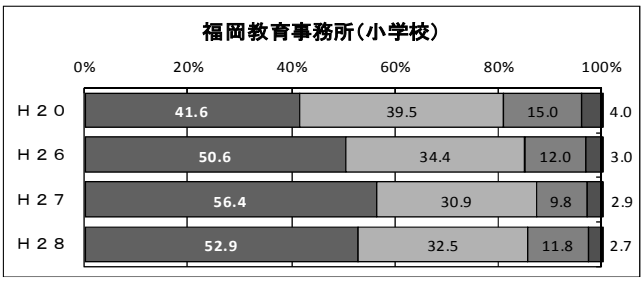
■　中学校回答状況

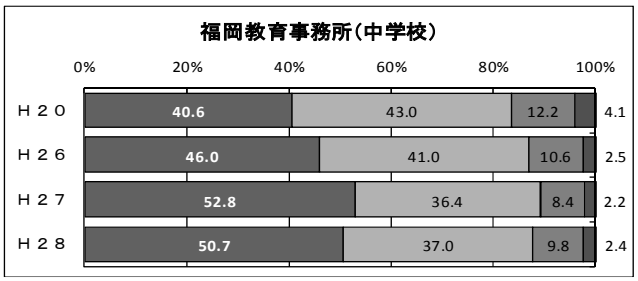


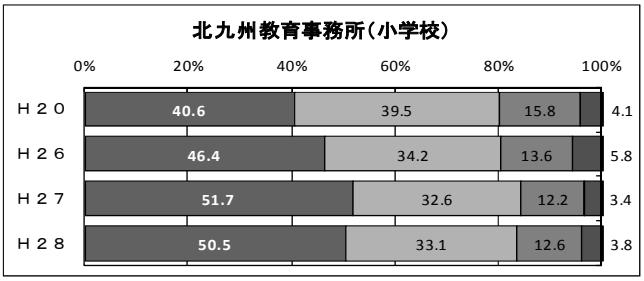
■　教科の正答率との相関関係

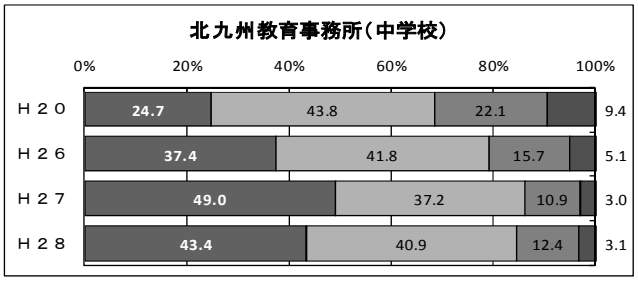


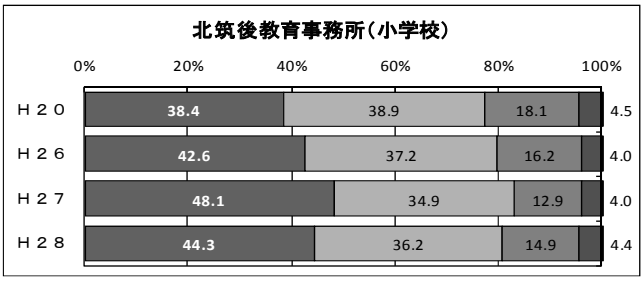
■　地区別回答状況

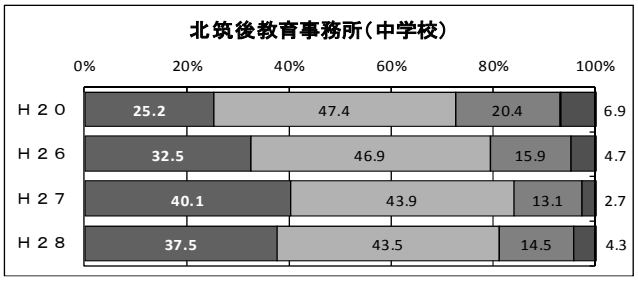

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 41.6 39.5 15.0 4.0
H２６ 50.6 34.4 12.0 3.0
H２７ 56.4 30.9 9.8 2.9
H２８ 52.9 32.5 11.8 2.7

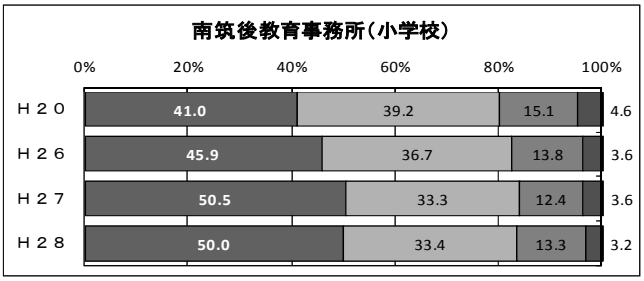

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 40.6 43.0 12.2 4.1
H２６ 46.0 41.0 10.6 2.5
H２７ 52.8 36.4 8.4 2.2
H２８ 50.7 37.0 9.8 2.4

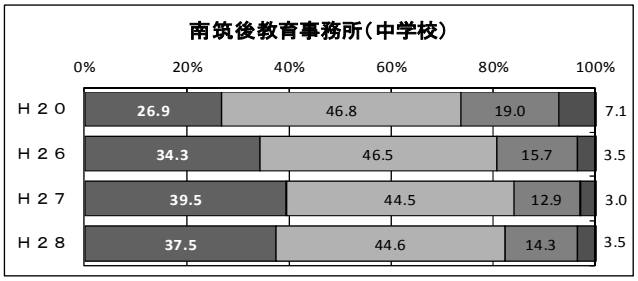

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 40.6 39.5 15.8 4.1
H２６ 46.4 34.2 13.6 5.8
H２７ 51.7 32.6 12.2 3.4
H２８ 50.5 33.1 12.6 3.8

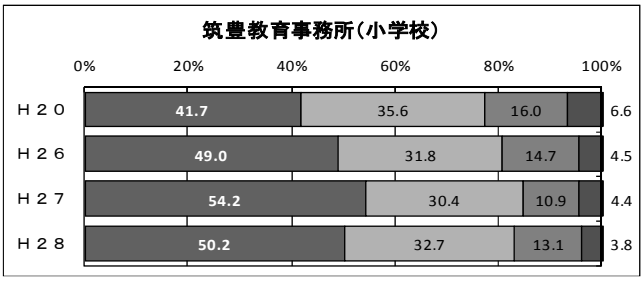

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 24.7 43.8 22.1 9.4
H２６ 37.4 41.8 15.7 5.1
H２７ 49.0 37.2 10.9 3.0
H２８ 43.4 40.9 12.4 3.1

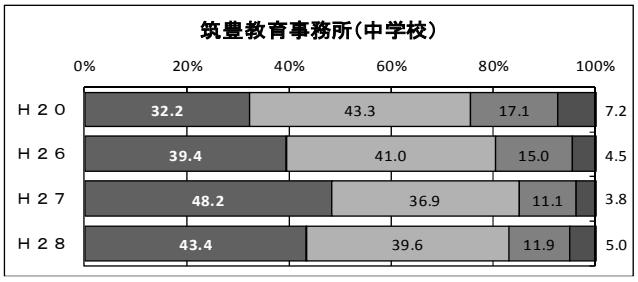

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 38.4 38.9 18.1 4.5
H２６ 42.6 37.2 16.2 4.0
H２７ 48.1 34.9 12.9 4.0
H２８ 44.3 36.2 14.9 4.4

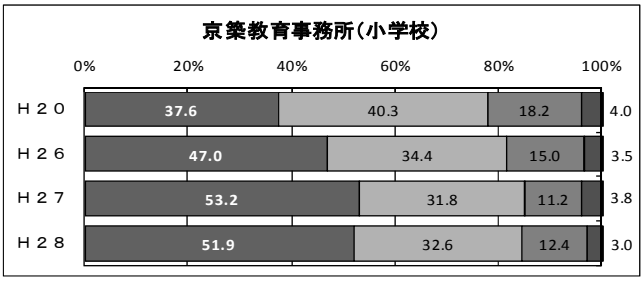

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 25.2 47.4 20.4 6.9
H２６ 32.5 46.9 15.9 4.7
H２７ 40.1 43.9 13.1 2.7
H２８ 37.5 43.5 14.5 4.3

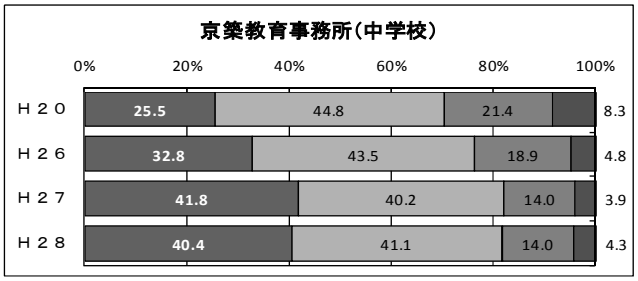

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 41.0 39.2 15.1 4.6
H２６ 45.9 36.7 13.8 3.6
H２７ 50.5 33.3 12.4 3.6
H２８ 50.0 33.4 13.3 3.2

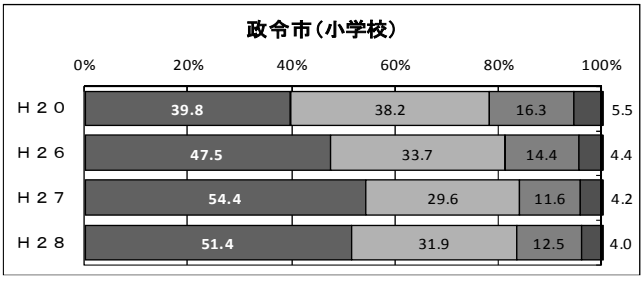

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 26.9 46.8 19.0 7.1
H２６ 34.3 46.5 15.7 3.5
H２７ 39.5 44.5 12.9 3.0
H２８ 37.5 44.6 14.3 3.5

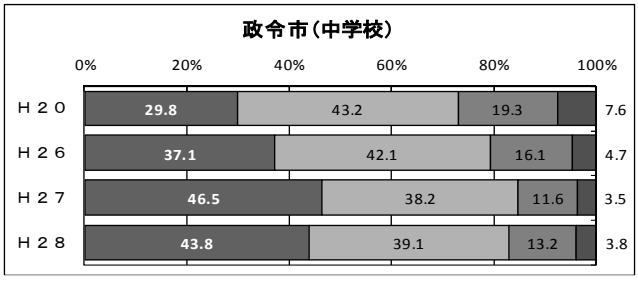

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 41.7 35.6 16.0 6.6
H２６ 49.0 31.8 14.7 4.5
H２７ 54.2 30.4 10.9 4.4
H２８ 50.2 32.7 13.1 3.8


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 32.2 43.3 17.1 7.2
H２６ 39.4 41.0 15.0 4.5
H２７ 48.2 36.9 11.1 3.8
H２８ 43.4 39.6 11.9 5.0


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 37.6 40.3 18.2 4.0
H２６ 47.0 34.4 15.0 3.5
H２７ 53.2 31.8 11.2 3.8
H２８ 51.9 32.6 12.4 3.0


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 25.5 44.8 21.4 8.3
H２６ 32.8 43.5 18.9 4.8
H２７ 41.8 40.2 14.0 3.9
H２８ 40.4 41.1 14.0 4.3


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 39.8 38.2 16.3 5.5
H２６ 47.5 33.7 14.4 4.4
H２７ 54.4 29.6 11.6 4.2
H２８ 51.4 31.9 12.5 4.0


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 29.8 43.2 19.3 7.6
H２６ 37.1 42.1 16.1 4.7
H２７ 46.5 38.2 11.6 3.5
H２８ 43.8 39.1 13.2 3.8

（3） 課題を立てて、解決するなどの学習活動

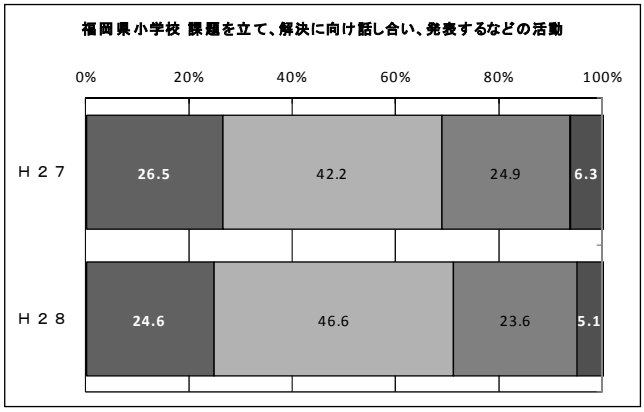
５０	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか。

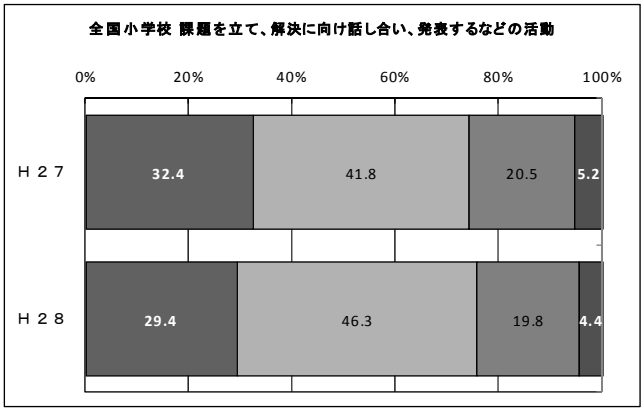
※平成２７年度から加えられた質問

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

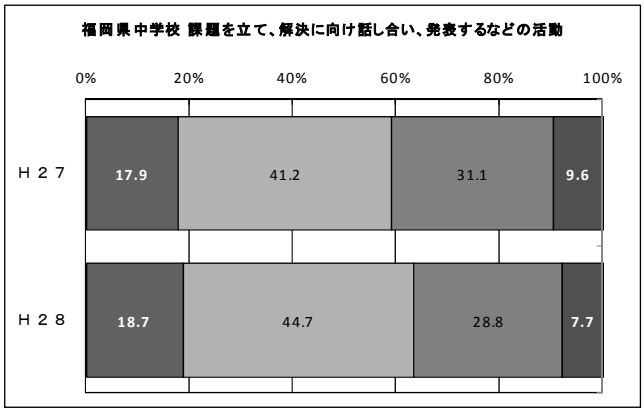
■当てはまる　■どちらかといえば　■あまり　■当てはまらない

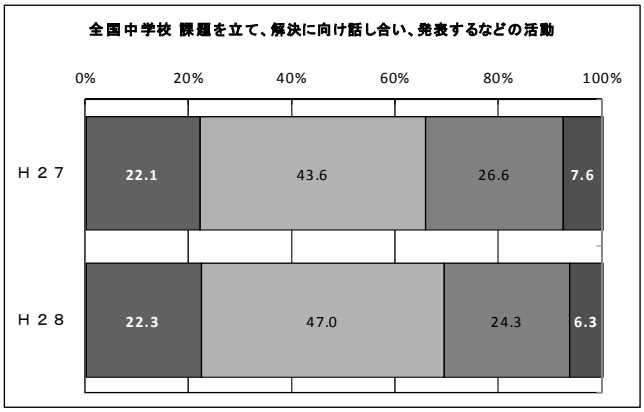
■　小学校回答状況



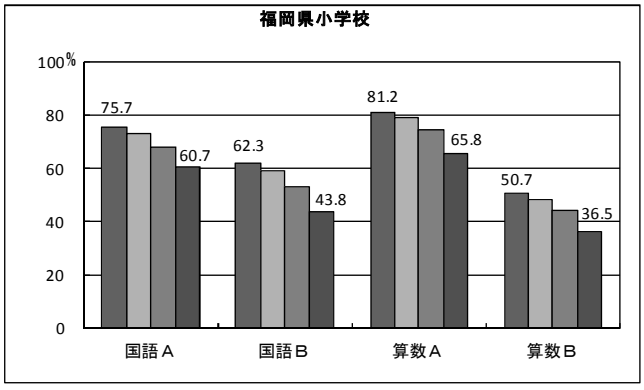


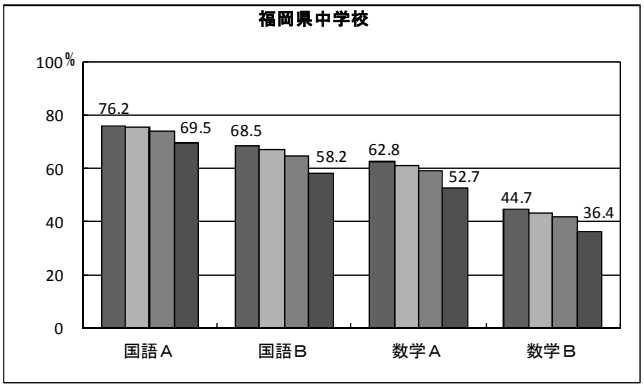
■　中学校回答状況



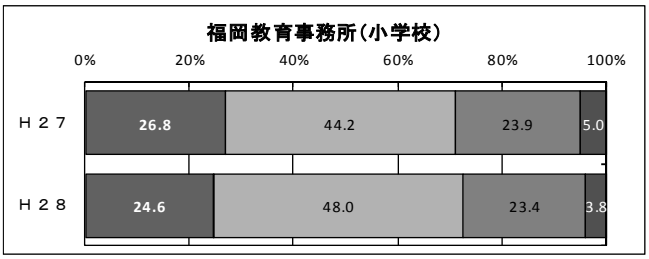


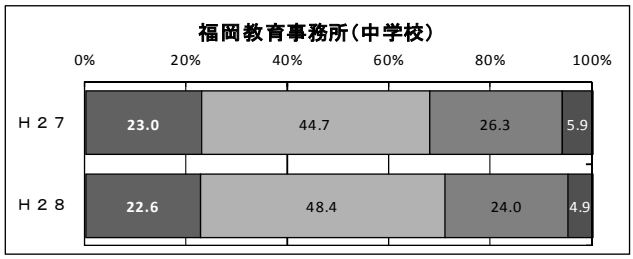
■　教科の正答率との相関関係

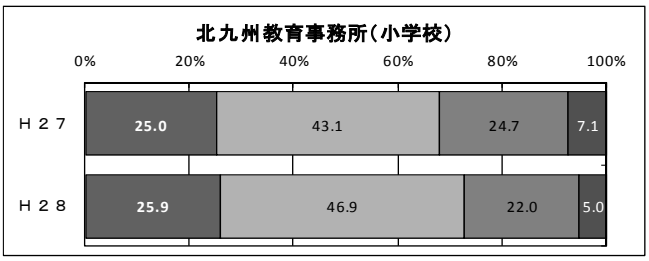


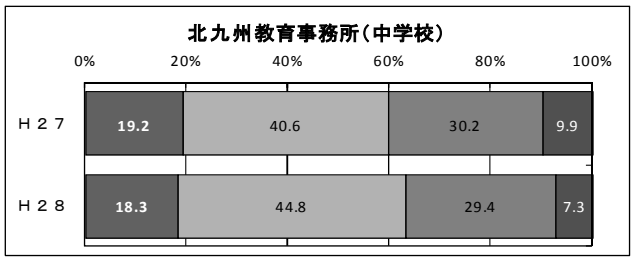


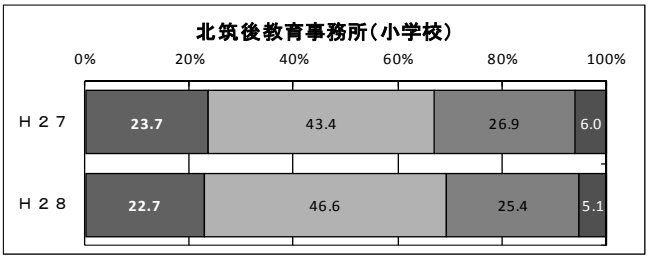
■　地区別回答状況

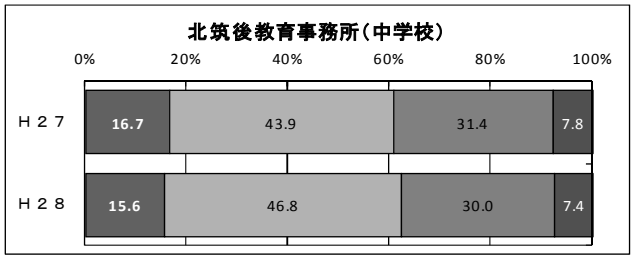

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２７
26.8
44.2
23.9
5.0
H２８
24.6
48.0
23.4
3.8

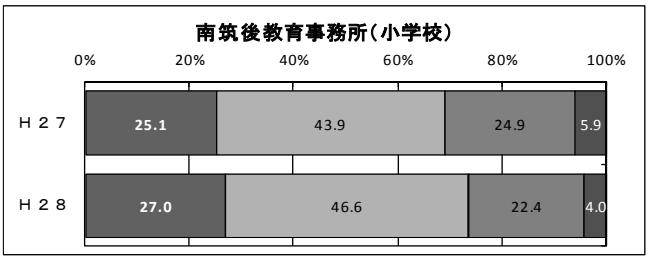

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２７
23.0
44.7
26.3
5.9
H２８
22.6
48.4
24.0
4.9

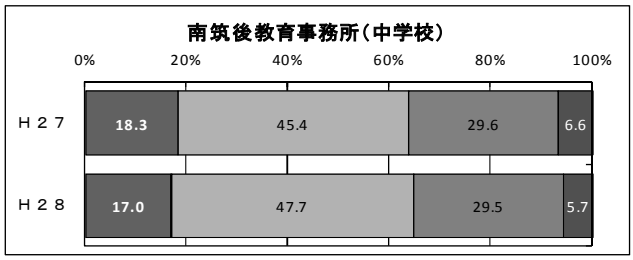

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２７
25.0
43.1
24.7
7.1
H２８
25.9
46.9
22.0
5.0

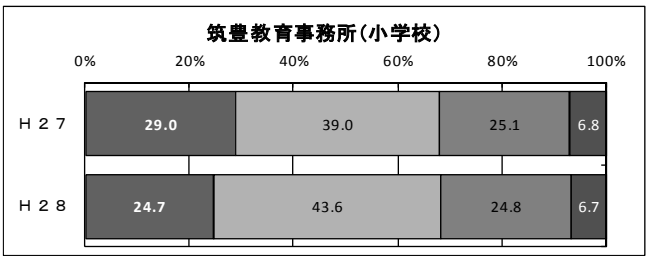

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２７
19.2
40.6
30.2
9.9
H２８
18.3
44.8
29.4
7.3

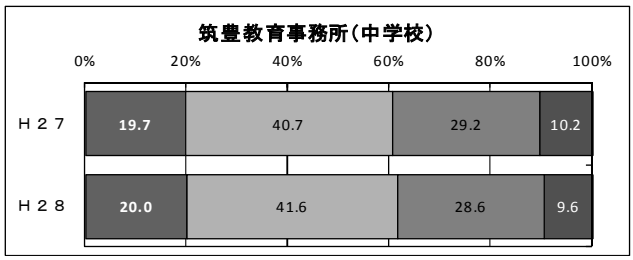

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２７
23.7
43.4
26.9
6.0
H２８
22.7
46.6
25.4
5.1

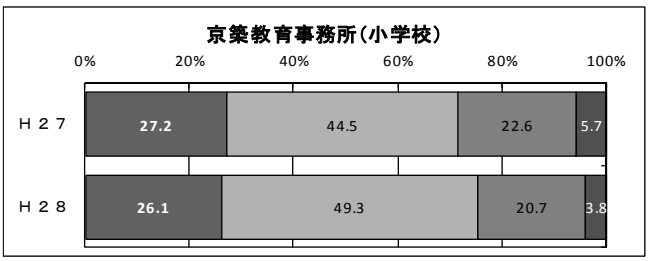

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２７
16.7
43.9
31.4
7.8
H２８
15.6
46.8
30.0
7.4

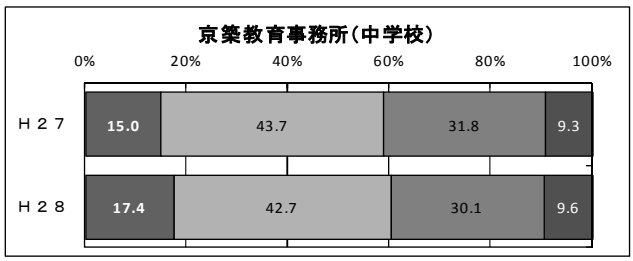

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２７
25.1
43.9
24.9
5.9
H２８
27.0
46.6
22.4
4.0

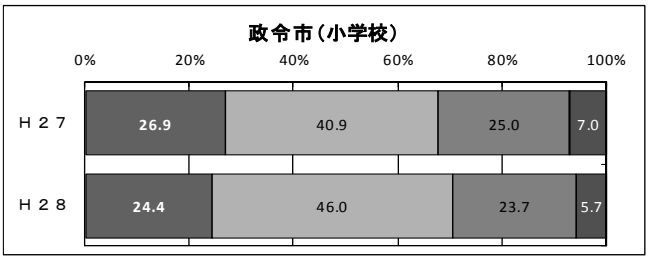

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２７
18.3
45.4
29.6
6.6
H２８
17.0
47.7
29.5
5.7

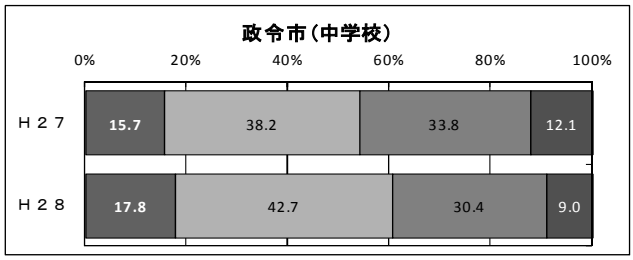

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２７
29.0
39.0
25.1
6.8
H２８
24.7
43.6
24.8
6.7


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２７
19.7
40.7
29.2
10.2
H２８
20.0
41.6
28.6
9.6


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２７
27.2
44.5
22.6
5.7
H２８
26.1
49.3
20.7
3.8


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２７
15.0
43.7
31.8
9.3
H２８
17.4
42.7
30.1
9.6


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２７
26.9
40.9
25.0
7.0
H２８
24.4
46.0
23.7
5.7


政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２７
15.7
38.2
33.8
12.1
H２８
17.8
42.7
30.4
9.0

（４） 話し合う活動

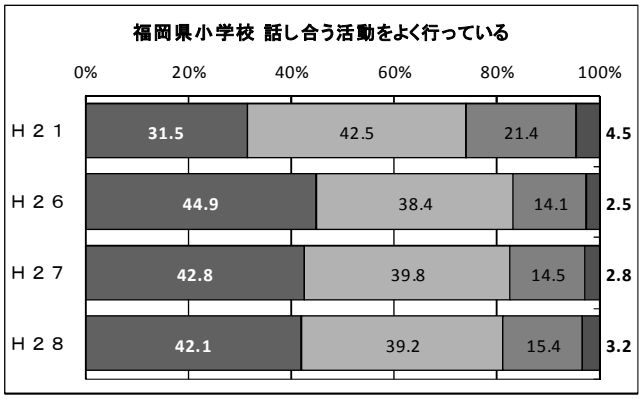
４９	授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。

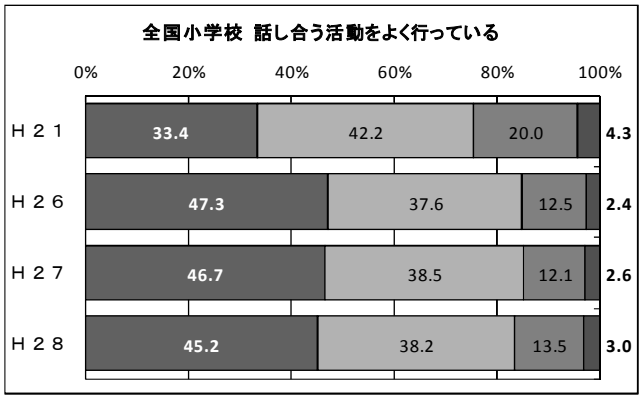
※平成２１年度から加えられた質問

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して小学校は減少し、中学校はほぼ変化していない。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

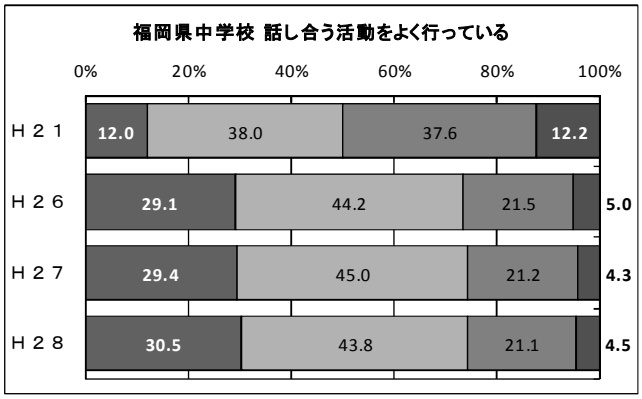
■当てはまる　■どちらかといえば　■あまり　■当てはまらない

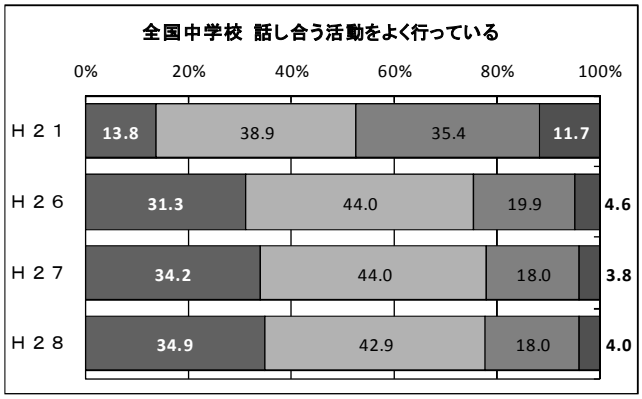
■　小学校回答状況



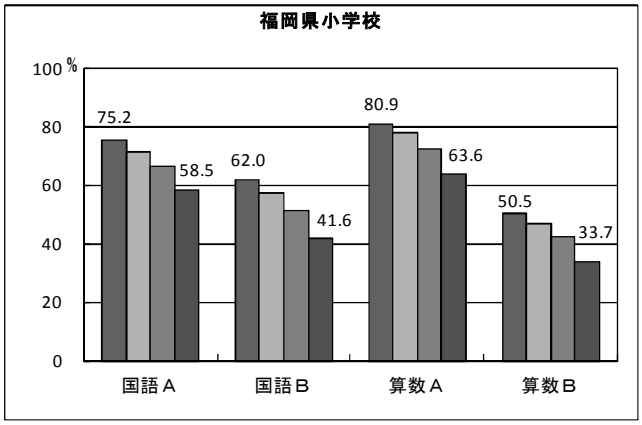


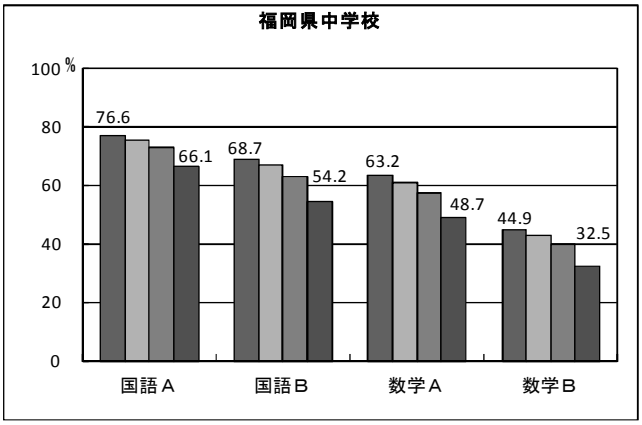
■　中学校回答状況



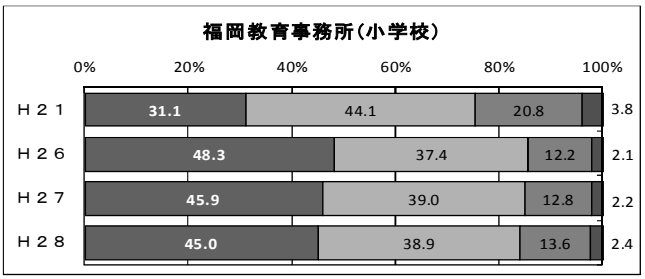


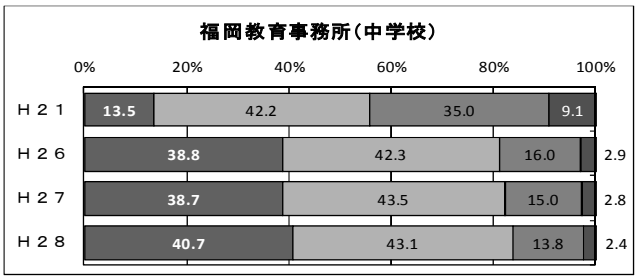
■　教科の正答率との相関関係

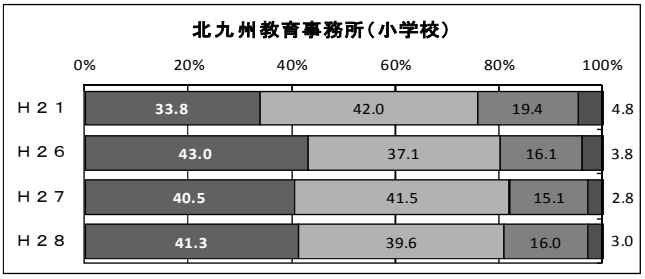


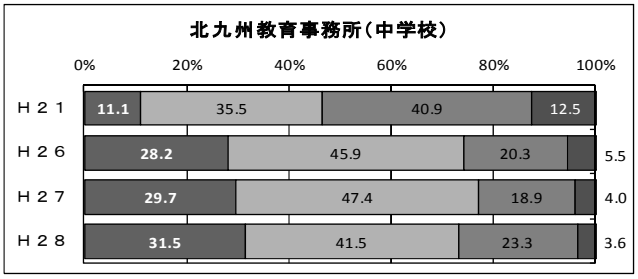


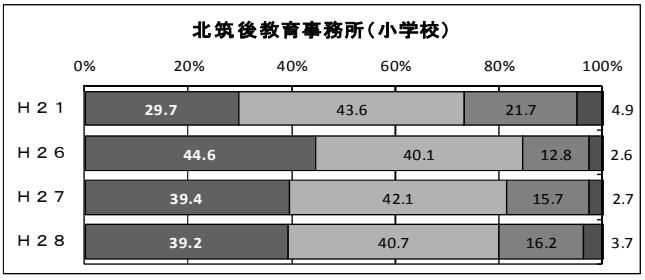
■　地区別回答状況

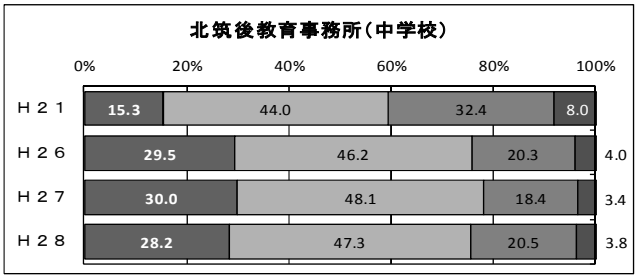

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２１ 31.1 44.1 20.8 3.8
H２６ 48.3 37.4 12.2 2.1
H２７ 45.9 39.0 12.8 2.2
H２８ 45.0 38.9 13.6 2.4

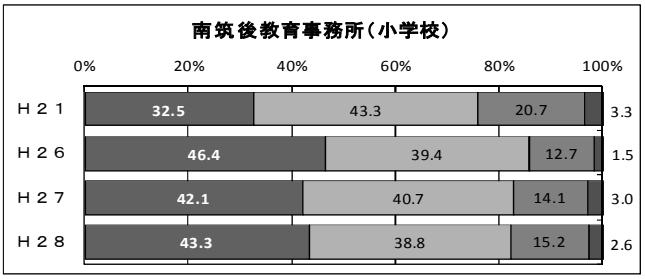

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２１ 13.5 42.2 35.0 9.1
H２６ 38.8 42.3 16.0 2.9
H２７ 38.7 43.5 15.0 2.8
H２８ 40.7 43.1 13.8 2.4

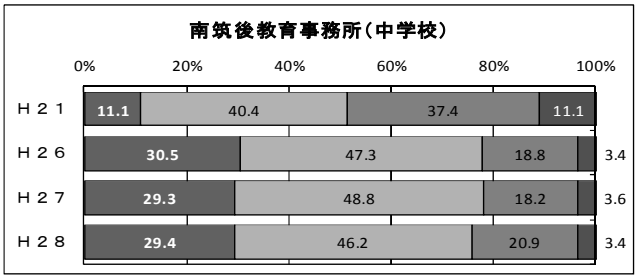

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２１ 33.8 42.0 19.4 4.8
H２６ 43.0 37.1 16.1 3.8
H２７ 40.5 41.5 15.1 2.8
H２８ 41.3 39.6 16.0 3.0

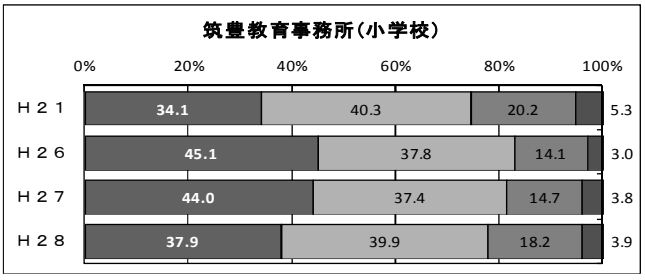

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２１ 11.1 35.5 40.9 12.5
H２６ 28.2 45.9 20.3 5.5
H２７ 29.7 47.4 18.9 4.0
H２８ 31.5 41.5 23.3 3.6

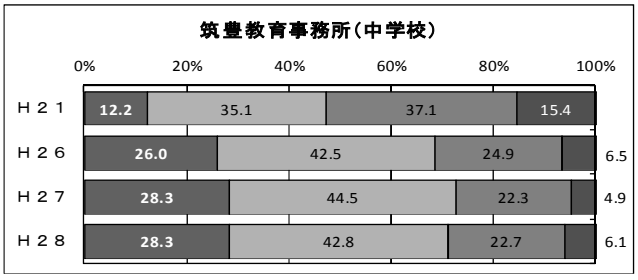

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２１ 29.7 43.6 21.7 4.9
H２６ 44.6 40.1 12.8 2.6
H２７ 39.4 42.1 15.7 2.7
H２８ 39.2 40.7 16.2 3.7

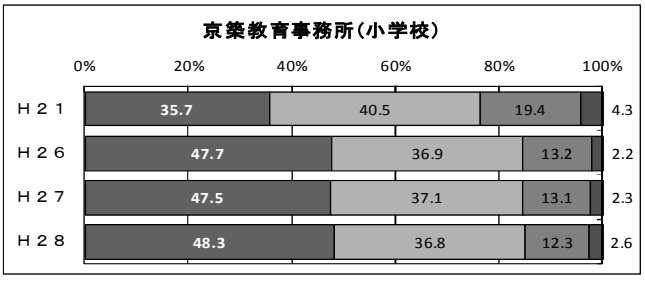

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２１ 15.3 44.0 32.4 8.0
H２６ 29.5 46.2 20.3 4.0
H２７ 30.0 48.1 18.4 3.4
H２８ 28.2 47.3 20.5 3.8

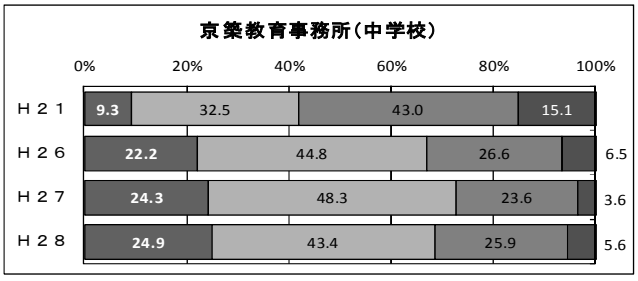

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２１ 32.5 43.3 20.7 3.3
H２６ 46.4 39.4 12.7 1.5
H２７ 42.1 40.7 14.1 3.0
H２８ 43.3 38.8 15.2 2.6

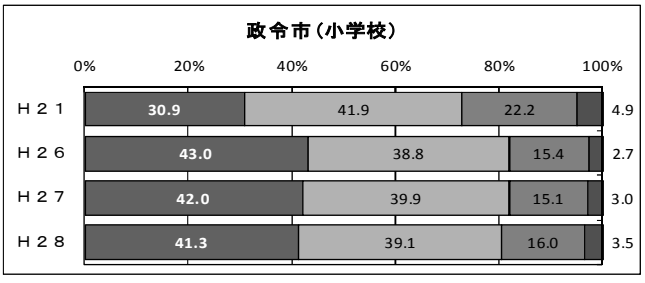

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２１ 11.1 40.4 37.4 11.1
H２６ 30.5 47.3 18.8 3.4
H２７ 29.3 48.8 18.2 3.6
H２８ 29.4 46.2 20.9 3.4

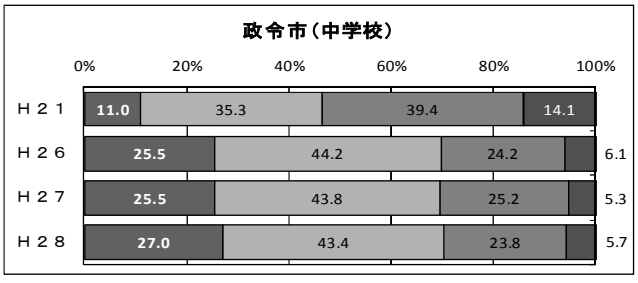

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２１ 34.1 40.3 20.2 5.3
H２６ 45.1 37.8 14.1 3.0
H２７ 44.0 37.4 14.7 3.8
H２８ 37.9 39.9 18.2 3.9


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２１ 12.2 35.1 37.1 15.4
H２６ 26.0 42.5 24.9 6.5
H２７ 28.3 44.5 22.3 4.9
H２８ 28.3 42.8 22.7 6.1


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２１ 35.7 40.5 19.4 4.3
H２６ 47.7 36.9 13.2 2.2
H２７ 47.5 37.1 13.1 2.3
H２８ 48.3 36.8 12.3 2.6


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２１ 9.3 32.5 43.0 15.1
H２６ 22.2 44.8 26.6 6.5
H２７ 24.3 48.3 23.6 3.6
H２８ 24.9 43.4 25.9 5.6


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２１ 30.9 41.9 22.2 4.9
H２６ 43.0 38.8 15.4 2.7
H２７ 42.0 39.9 15.1 3.0
H２８ 41.3 39.1 16.0 3.5


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２１ 11.0 35.3 39.4 14.1
H２６ 25.5 44.2 24.2 6.1
H２７ 25.5 43.8 25.2 5.3
H２８ 27.0 43.4 23.8 5.7

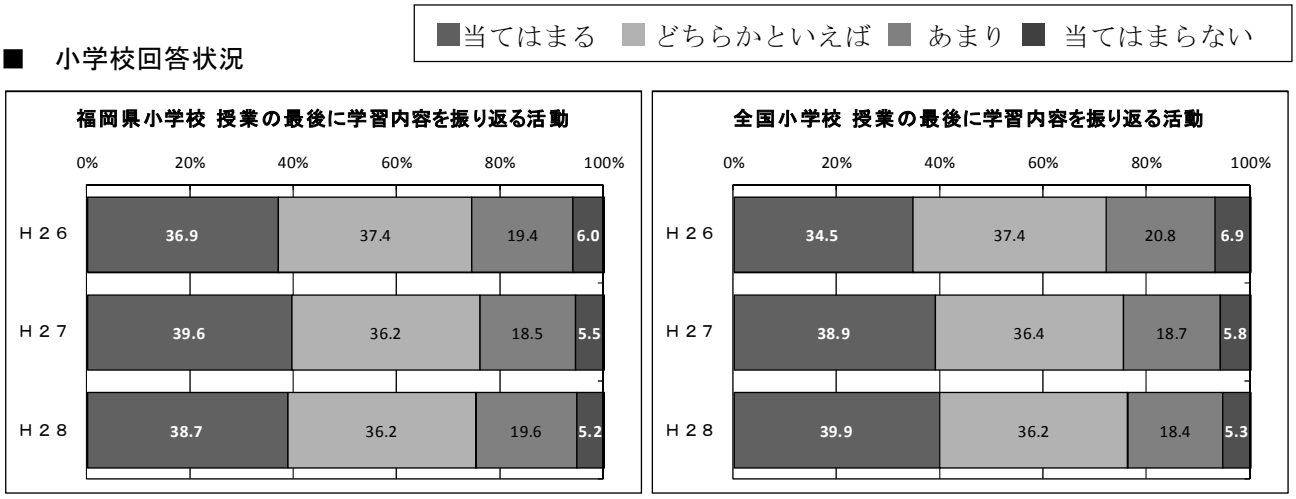
（５） 学習内容を振り返る活動

５４	授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。

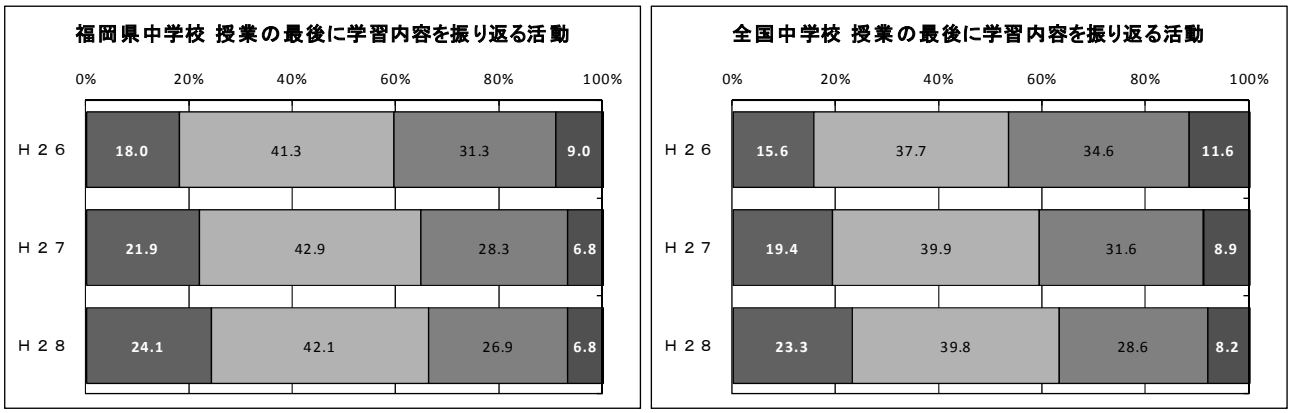
※平成２６年度から加えられた質問

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して小学校は減少し、中学校は増加している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。また、このような傾向は、「授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか」「授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか」といった質問項目においても同様に見られる。

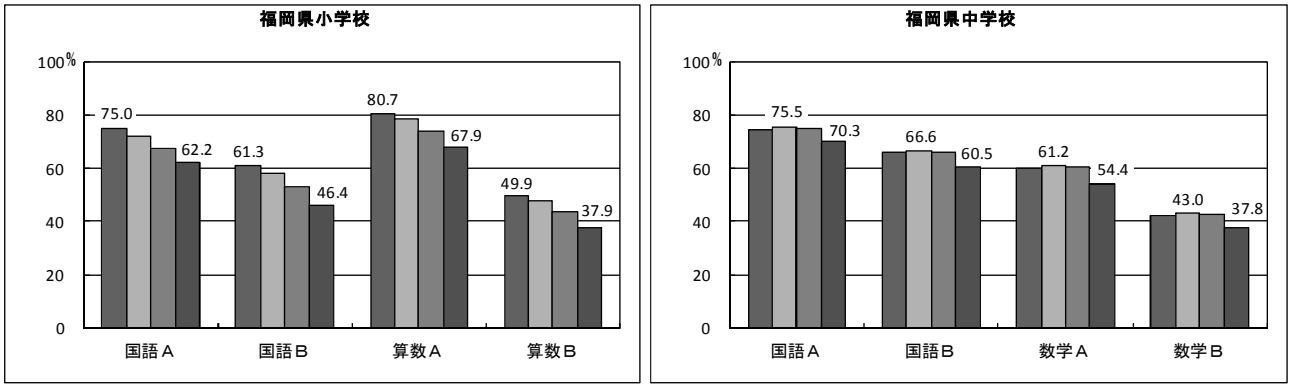
■　小学校回答状況



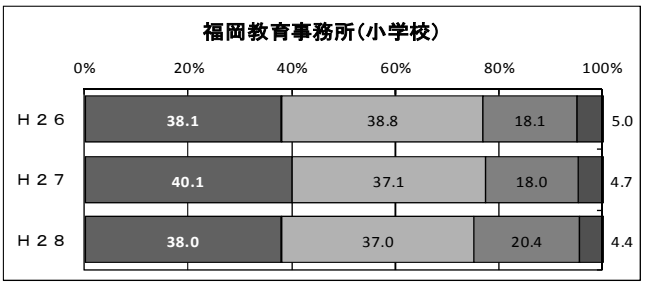
■　中学校回答状況

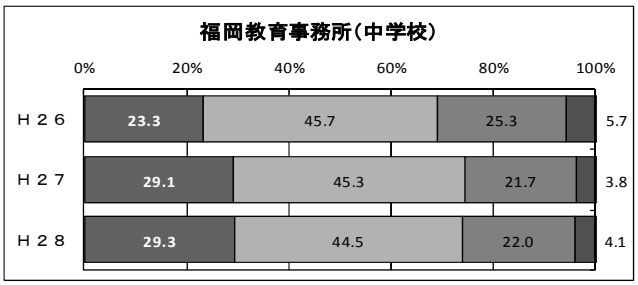


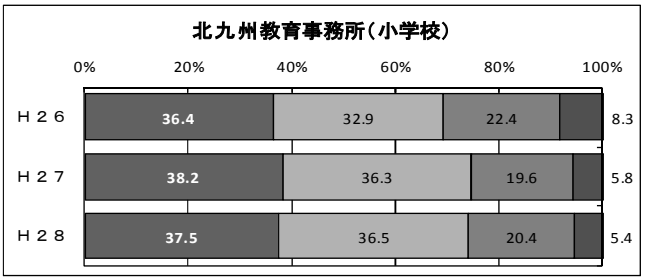
■　教科の正答率との相関関係

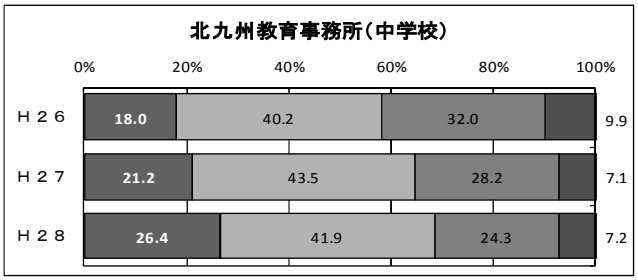


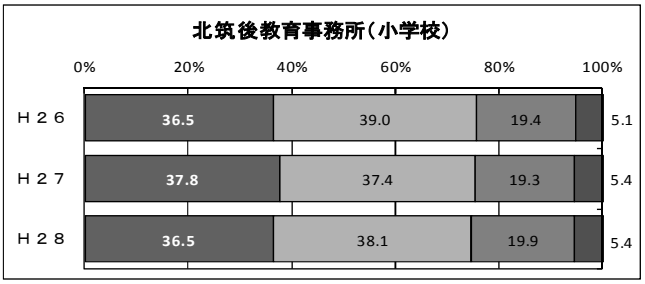
■　地区別回答状況

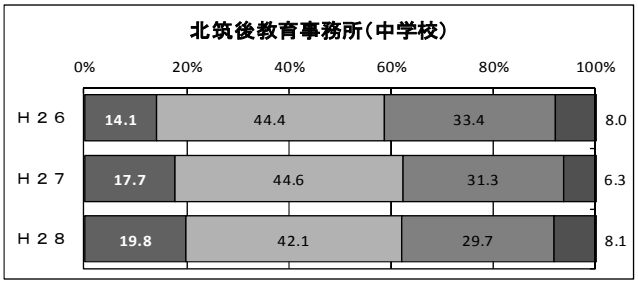

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
38.1
38.8
18.1
5.0
H２７
40.1
37.1
18.0
4.7
H２８
38.0
37.0
20.4
4.4

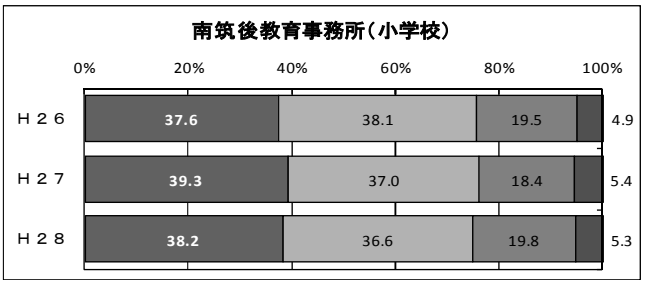

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
23.3
45.7
25.3
5.7
H２７
29.1
45.3
21.7
3.8
H２８
29.3
44.5
22.0
4.1

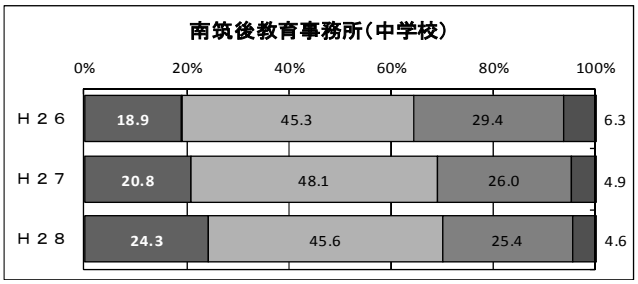

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
36.4
32.9
22.4
8.3
H２７
38.2
36.3
19.6
5.8
H２８
37.5
36.5
20.4
5.4

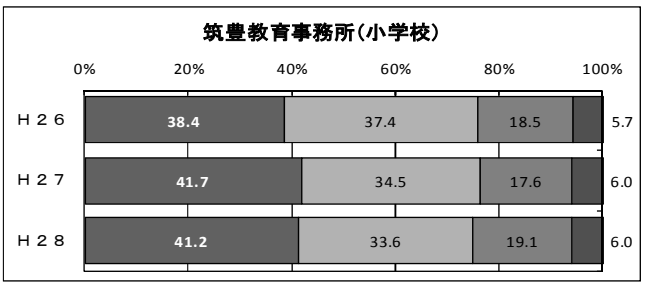

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
18.0
40.2
32.0
9.9
H２７
21.2
43.5
28.2
7.1
H２８
26.4
41.9
24.3
7.2

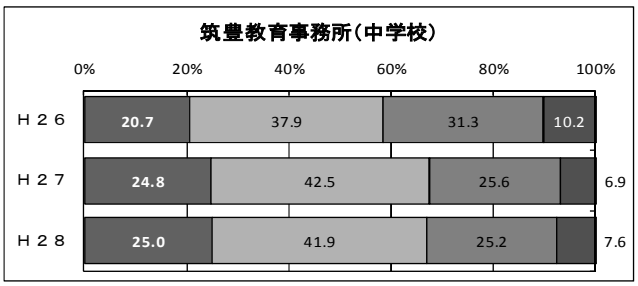

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
36.5
39.0
19.4
5.1
H２７
37.8
37.4
19.3
5.4
H２８
36.5
38.1
19.9
5.4

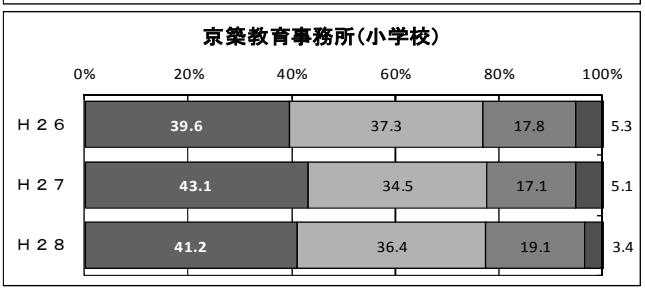

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
14.1
44.4
33.4
8.0
H２７
17.7
44.6
31.3
6.3
H２８
19.8
42.1
29.7
8.1

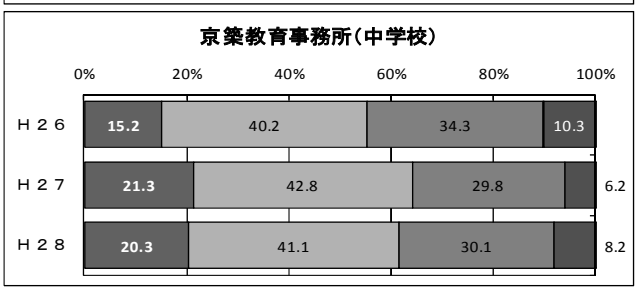

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
37.6
38.1
19.5
4.9
H２７
39.3
37.0
18.4
5.4
H２８
38.2
36.6
19.8
5.3

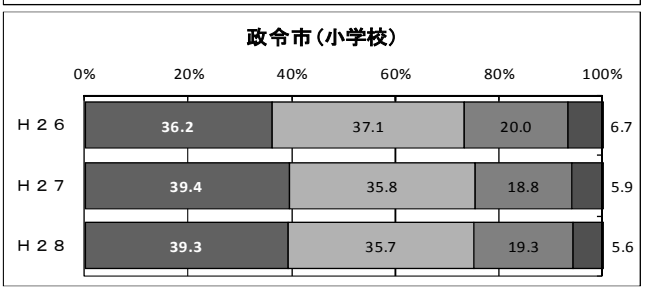

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
18.9
45.3
29.4
6.3
H２７
20.8
48.1
26.0
4.9
H２８
24.3
45.6
25.4
4.6

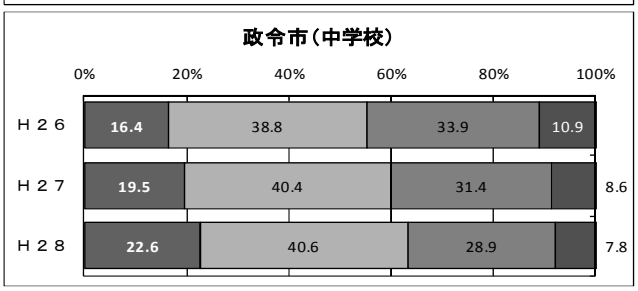

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
38.4
37.4
18.5
5.7
H２７
41.7
34.5
17.6
6.0
H２８
41.2
33.6
19.1
6.0


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
20.7
37.9
31.3
10.2
H２７
24.8
42.5
25.6
6.9
H２８
25.0
41.9
25.2
7.6


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
39.6
37.3
17.8
5.3
H２７
43.1
34.5
17.1
5.1
H２８
41.2
36.4
19.1
3.4


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
15.2
40.2
34.3
10.3
H２７
21.3
42.8
29.8
6.2
H２８
20.3
41.1
30.1
8.2


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
36.2
37.1
20.0
6.7
H２７
39.4
35.8
18.8
5.9
H２８
39.3
35.7
19.3
5.6


政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H２６
16.4
38.8
33.9
10.9
H２７
19.5
40.4
31.4
8.6
H２８
22.6
40.6
28.9
7.8

３　家庭・関係機関との連携

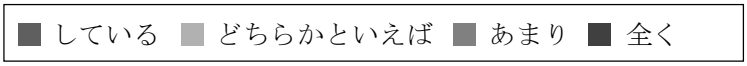
（１）　家庭学習

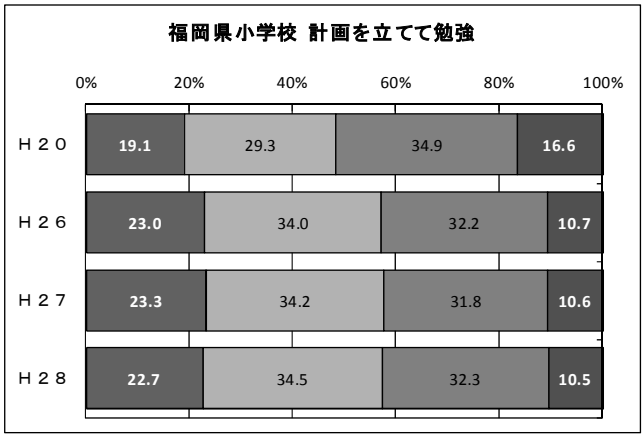
２１	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

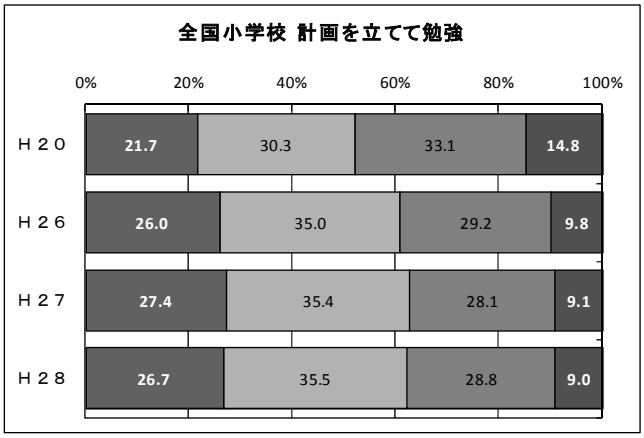
※平成２０年度から加えられた質問

○　している、どちらかといえばしていると回答している児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して、小学校、中学校ともに減少している。
○　している、どちらかといえばしていると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。また、このような傾向は、「家で、学校の宿題をしていますか」「家で、学校の授業の復習をしていますか」といった質問項目においても同様に見られる。

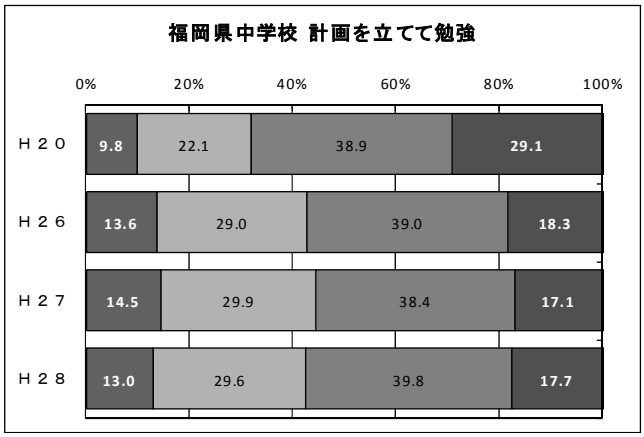
■　小学校回答状況

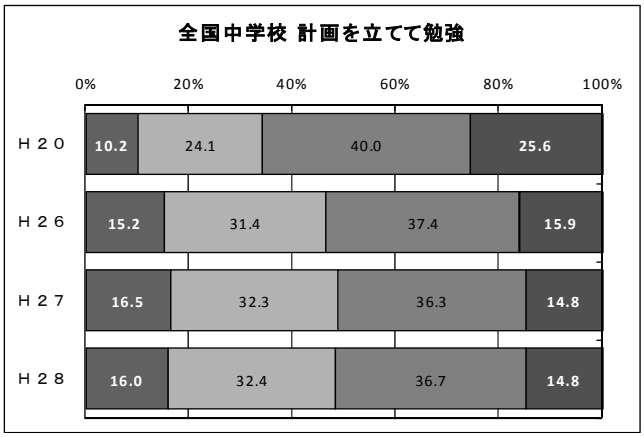




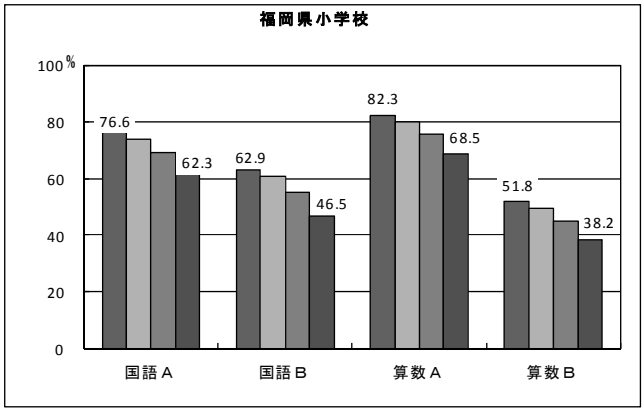


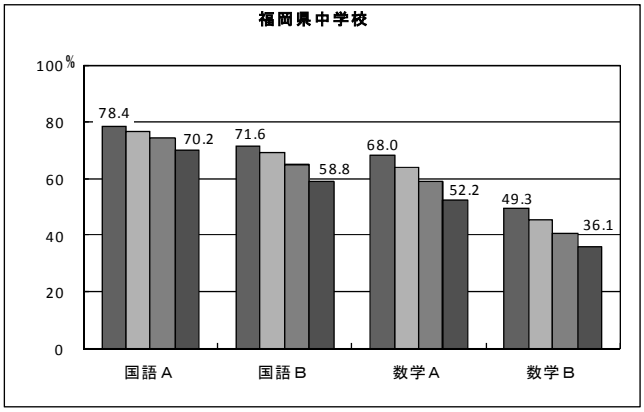
■　中学校回答状況



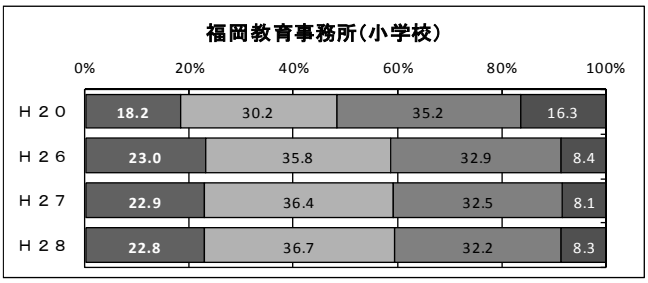


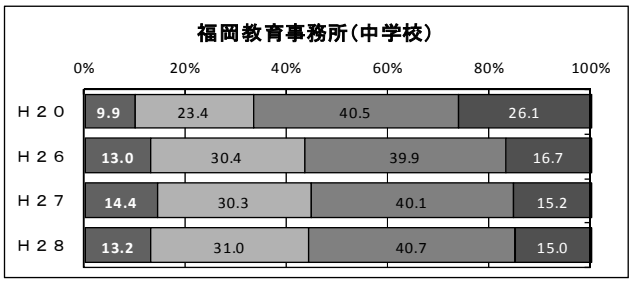
■　教科の正答率との相関関係

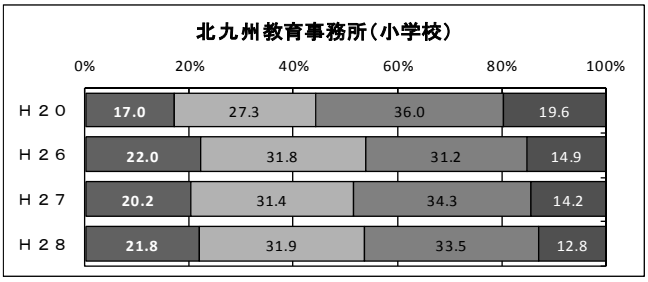


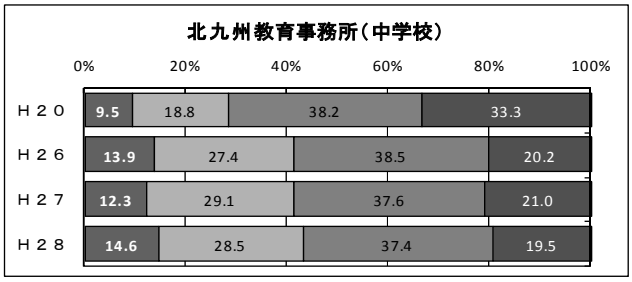


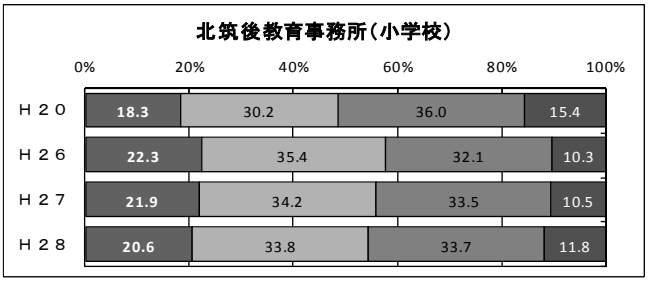
■　地区別回答状況

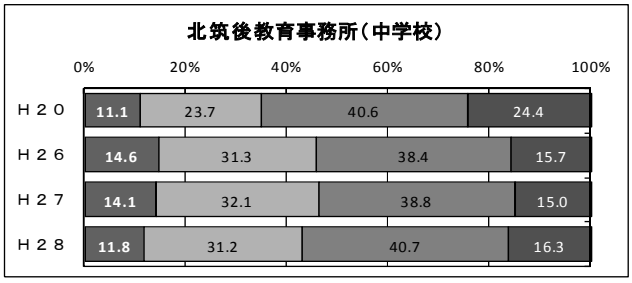

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 18.2 30.2 35.2 16.3
H２６ 23.0 35.8 32.9 8.4
H２７ 22.9 36.4 32.5 8.1
H２８ 22.8 36.7 32.2 8.3

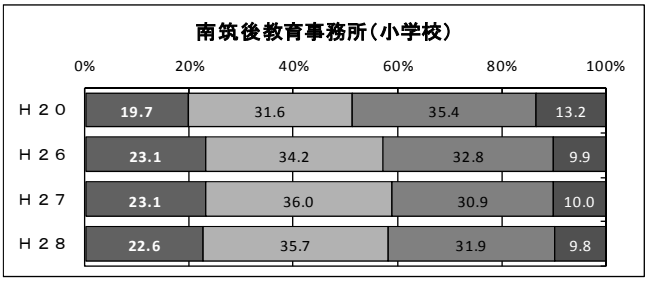

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 9.9 23.4 40.5 26.1
H２６ 13.0 30.4 39.9 16.7
H２７ 14.4 30.3 40.1 15.2
H２８ 13.2 31.0 40.7 15.0

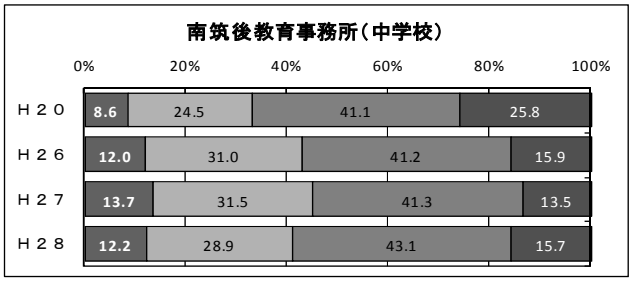

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 17.0 27.3 36.0 19.6
H２６ 22.0 31.8 31.2 14.9
H２７ 20.2 31.4 34.3 14.2
H２８ 21.8 31.9 33.5 12.8

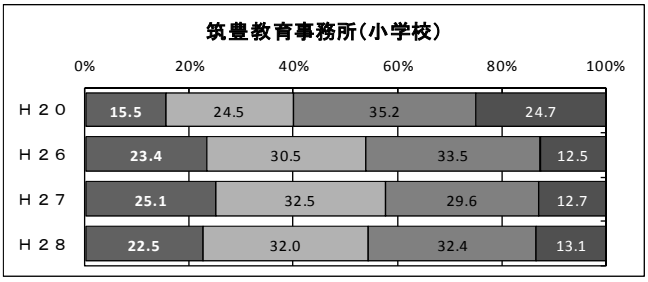

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 9.5 18.8 38.2 33.3
H２６ 13.9 27.4 38.5 20.2
H２７ 12.3 29.1 37.6 21.0
H２８ 14.6 28.5 37.4 19.5

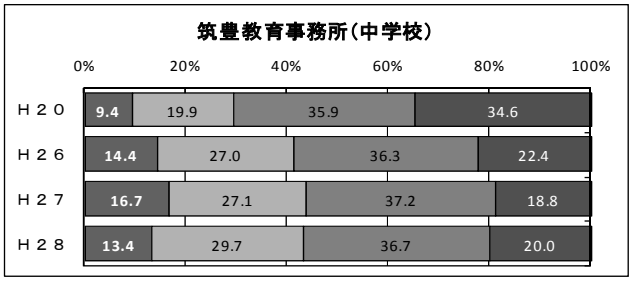

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 18.3 30.2 36.0 15.4
H２６ 22.3 35.4 32.1 10.3
H２７ 21.9 34.2 33.5 10.5
H２８ 20.6 33.8 33.7 11.8

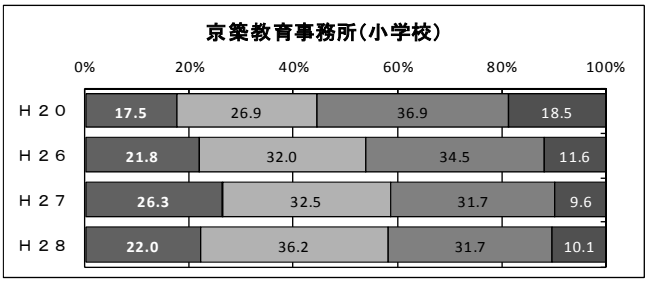

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 11.1 23.7 40.6 24.4
H２６ 14.6 31.3 38.4 15.7
H２７ 14.1 32.1 38.8 15.0
H２８ 11.8 31.2 40.7 16.3

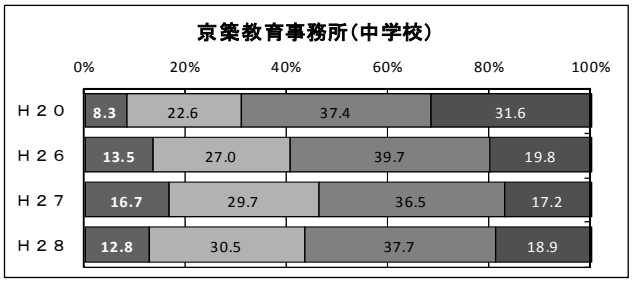

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 19.7 31.6 35.4 13.2
H２６ 23.1 34.2 32.8 9.9
H２７ 23.1 36.0 30.9 10.0
H２８ 22.6 35.7 31.9 9.8

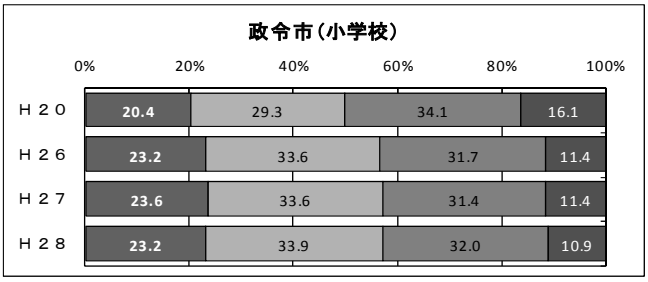

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 8.6 24.5 41.1 25.8
H２６ 12.0 31.0 41.2 15.9
H２７ 13.7 31.5 41.3 13.5
H２８ 12.2 28.9 43.1 15.7

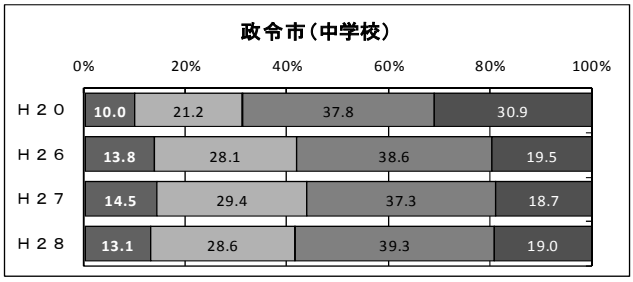

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 15.5 24.5 35.2 24.7
H２６ 23.4 30.5 33.5 12.5
H２７ 25.1 32.5 29.6 12.7
H２８ 22.5 32.0 32.4 13.1


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 9.4 19.9 35.9 34.6
H２６ 14.4 27.0 36.3 22.4
H２７ 16.7 27.1 37.2 18.8
H２８ 13.4 29.7 36.7 20.0


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 17.5 26.9 36.9 18.5
H２６ 21.8 32.0 34.5 11.6
H２７ 26.3 32.5 31.7 9.6
H２８ 22.0 36.2 31.7 10.1


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 8.3 22.6 37.4 31.6
H２６ 13.5 27.0 39.7 19.8
H２７ 16.7 29.7 36.5 17.2
H２８ 12.8 30.5 37.7 18.9

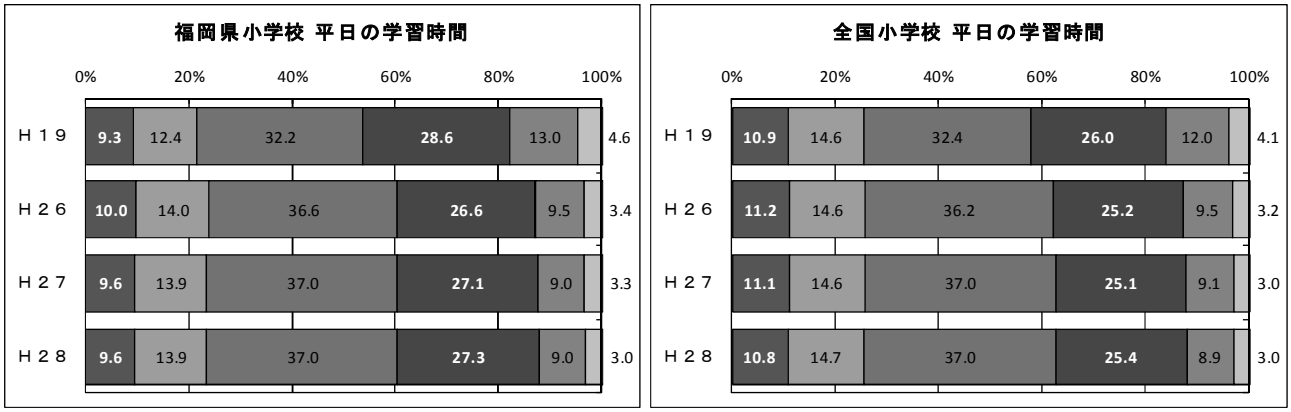

政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 20.4 29.3 34.1 16.1
H２６ 23.2 33.6 31.7 11.4
H２７ 23.6 33.6 31.4 11.4
H２８ 23.2 33.9 32.0 10.9


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H２０ 10.0 21.2 37.8 30.9
H２６ 13.8 28.1 38.6 19.5
H２７ 14.5 29.4 37.3 18.7
H２８ 13.1 28.6 39.3 19.0

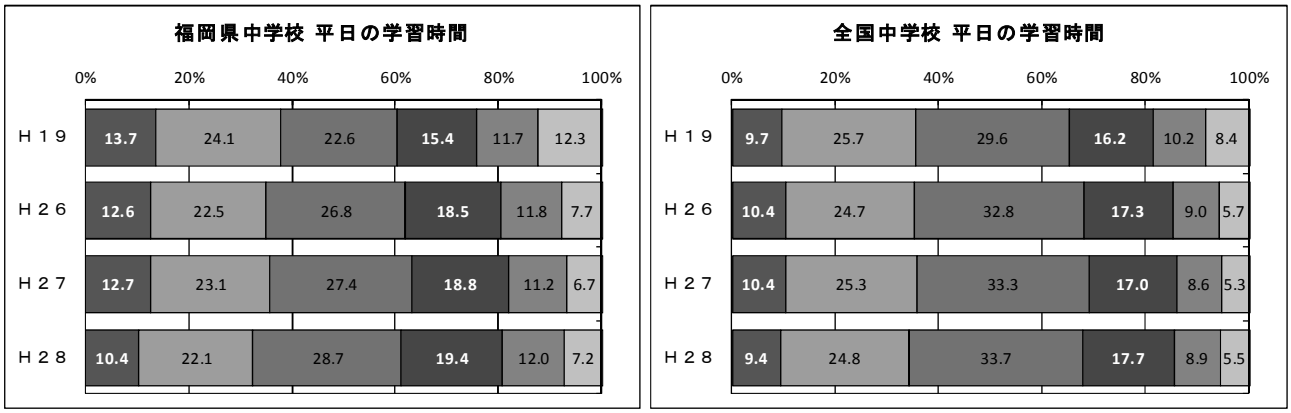
１４	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師も含む）。

○　平日に家庭学習を小学校１時間以上、中学校２時間以上する児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して小学校は変化がなく、中学校は減少している。
○　平日の家庭学習の時間が多い児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。また、このような傾向は、「休みの日の勉強時間」の質問項目においても同様に見られる。

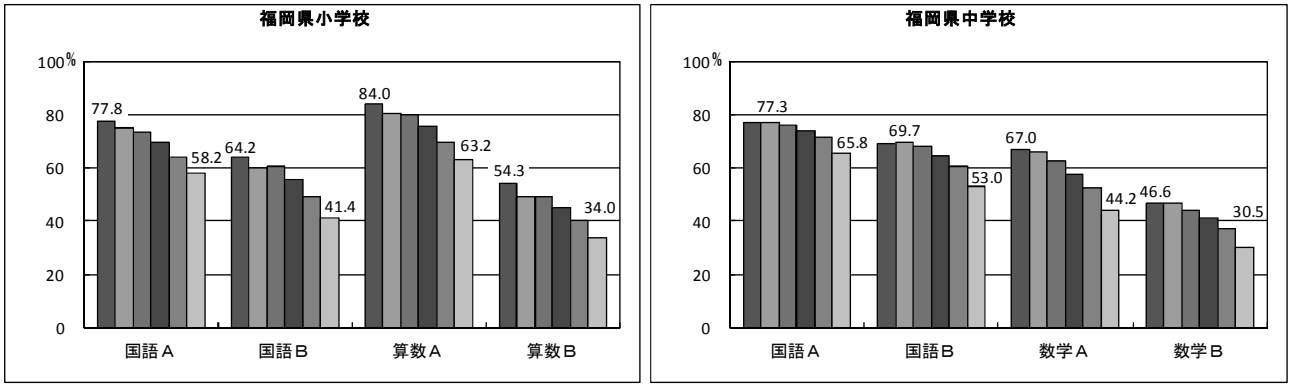
■　小学校回答状況



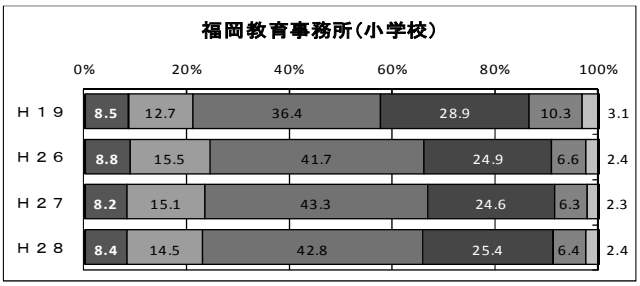
■　中学校回答状況

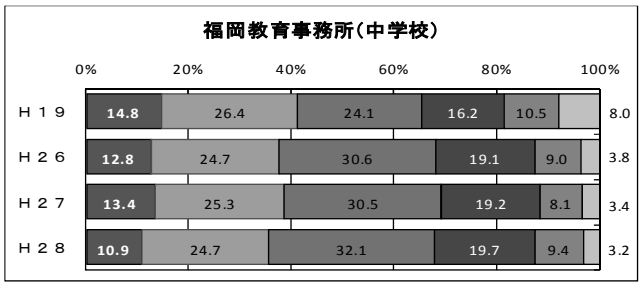


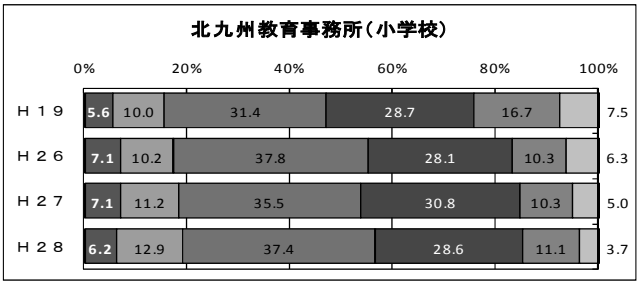
■　教科の正答率との相関関係

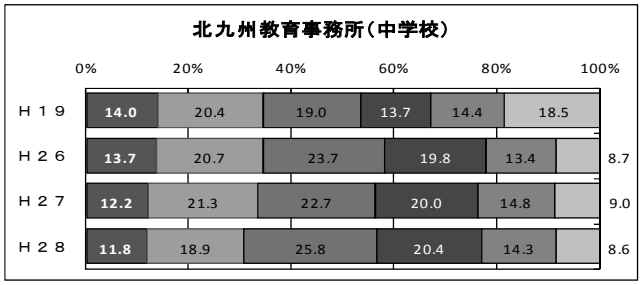


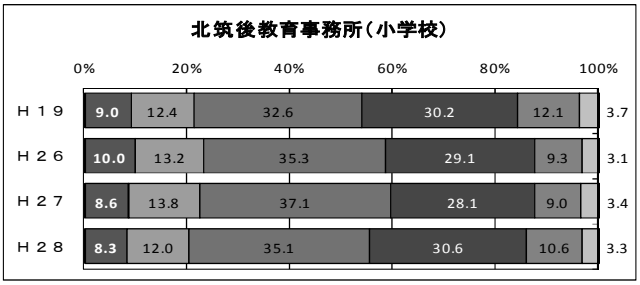
■　地区別回答状況

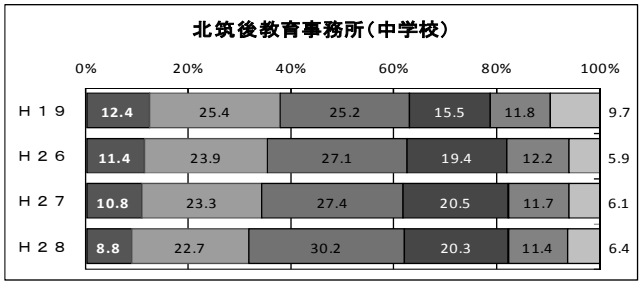

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 8.5 12.7 36.4 28.9 10.3 3.1
H26 8.8 15.5 41.7 24.9 6.6 2.4
H27 8.2 15.1 43.3 24.6 6.3 2.3
H28 8.4 14.5 42.8 25.4 6.4 2.4

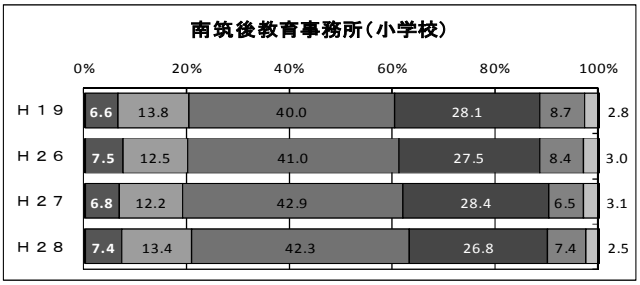

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 14.8 26.4 24.1 16.2 10.5 8.0
H26 12.8 24.7 30.6 19.1 9.0 3.8
H27 13.4 25.3 30.5 19.2 8.1 3.4
H28 10.9 24.7 32.1 19.7 9.4 3.2

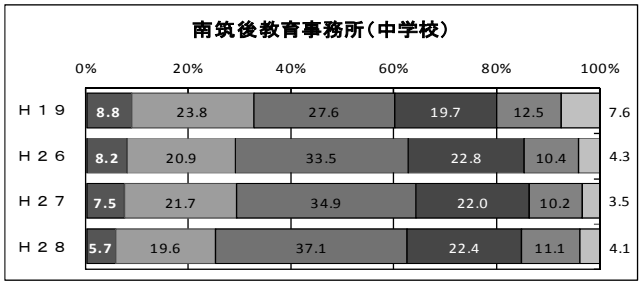

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 5.6 10.0 31.4 28.7 16.7 7.5
H26 7.1 10.2 37.8 28.1 10.3 6.3
H27 7.1 11.2 35.5 30.8 10.3 5.0
H28 6.2 12.9 37.4 28.6 11.1 3.7

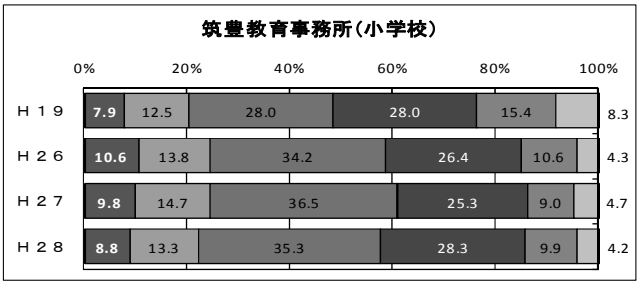

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 14.0 20.4 19.0 13.7 14.4 18.5
H26 13.7 20.7 23.7 19.8 13.4 8.7
H27 12.2 21.3 22.7 20.0 14.8 9.0
H28 11.8 18.9 25.8 20.4 14.3 8.6

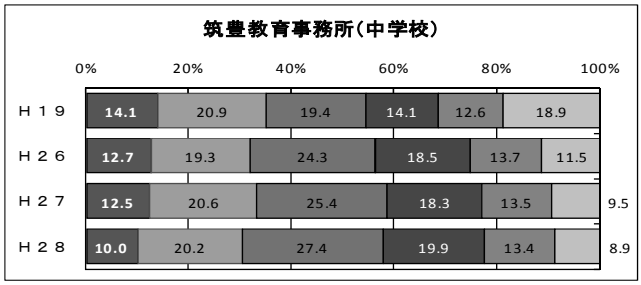

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 9.0 12.4 32.6 30.2 12.1 3.7
H26 10.0 13.2 35.3 29.1 9.3 3.1
H27 8.6 13.8 37.1 28.1 9.0 3.4
H28 8.3 12.0 35.1 30.6 10.6 3.3

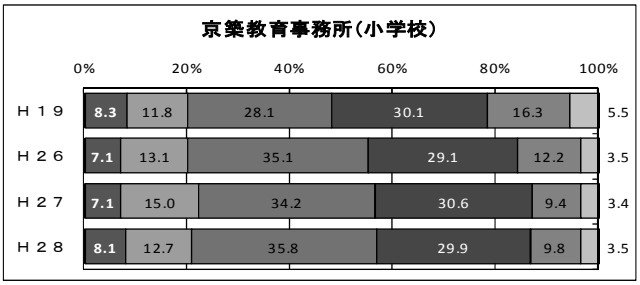

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 12.4 25.4 25.2 15.5 11.8 9.7
H26 11.4 23.9 27.1 19.4 12.2 5.9
H27 10.8 23.3 27.4 20.5 11.7 6.1
H28 8.8 22.7 30.2 20.3 11.4 6.4

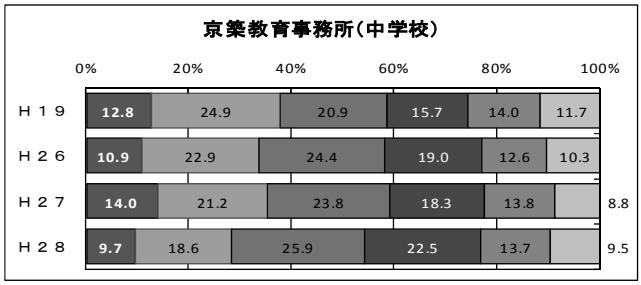

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 6.6 13.8 40.0 28.1 8.7 2.8
H26 7.5 12.5 41.0 27.5 8.4 3.0
H27 6.8 12.2 42.9 28.4 6.5 3.1
H28 7.4 13.4 42.3 26.8 7.4 2.5

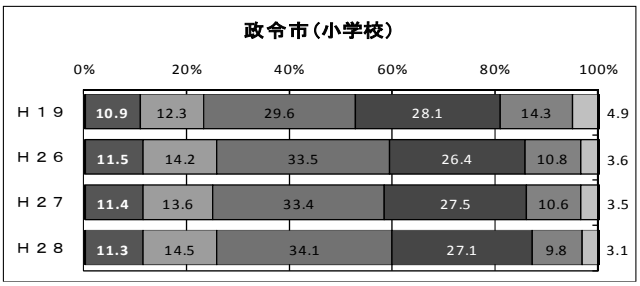

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 8.8 23.8 27.6 19.7 12.5 7.6
H26 8.2 20.9 33.5 22.8 10.4 4.3
H27 7.5 21.7 34.9 22.0 10.2 3.5
H28 5.7 19.6 37.1 22.4 11.1 4.1

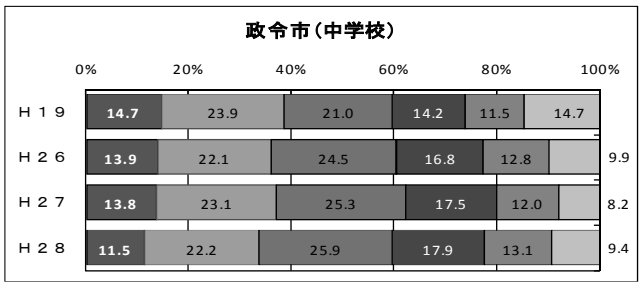

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 7.9 12.5 28.0 28.0 15.4 8.3
H26 10.6 13.8 34.2 26.4 10.6 4.3
H27 9.8 14.7 36.5 25.3 9.0 4.7
H28 8.8 13.3 35.3 28.3 9.9 4.2


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 14.1 20.9 19.4 14.1 12.6 18.9
H26 12.7 19.3 24.3 18.5 13.7 11.5
H27 12.5 20.6 25.4 18.3 13.5 9.5
H28 10.0 20.2 27.4 19.9 13.4 8.9


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 8.3 11.8 28.1 30.1 16.3 5.5
H26 7.1 13.1 35.1 29.1 12.2 3.5
H27 7.1 15.0 34.2 30.6 9.4 3.4
H28 8.1 12.7 35.8 29.9 9.8 3.5


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 12.8 24.9 20.9 15.7 14.0 11.7
H26 10.9 22.9 24.4 19.0 12.6 10.3
H27 14.0 21.2 23.8 18.3 13.8 8.8
H28 9.7 18.6 25.9 22.5 13.7 9.5


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 10.9 12.3 29.6 28.1 14.3 4.9
H26 11.5 14.2 33.5 26.4 10.8 3.6
H27 11.4 13.6 33.4 27.5 10.6 3.5
H28 11.3 14.5 34.1 27.1 9.8 3.1

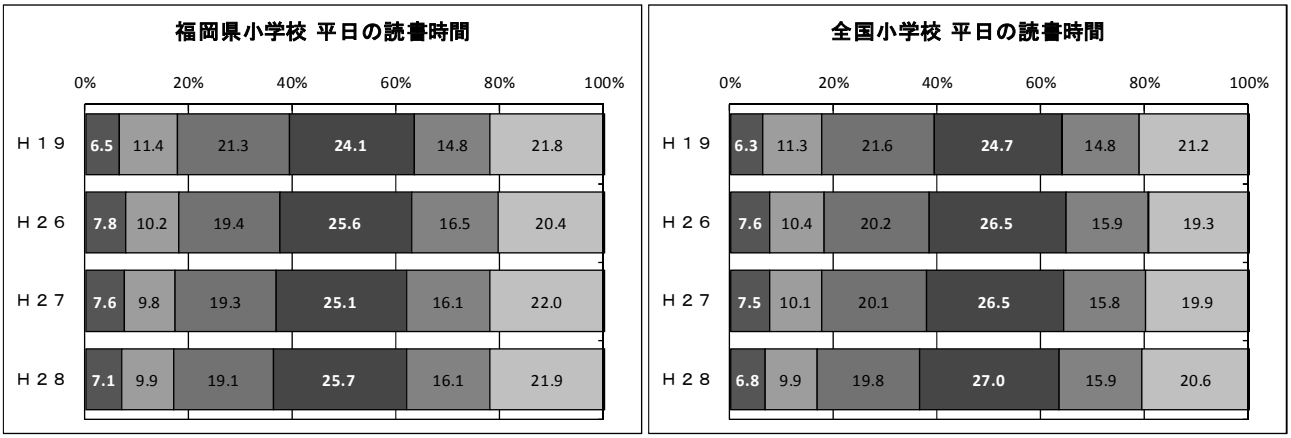

政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 14.7 23.9 21.0 14.2 11.5 14.7
H26 13.9 22.1 24.5 16.8 12.8 9.9
H27 13.8 23.1 25.3 17.5 12.0 8.2
H28 11.5 22.2 25.9 17.9 13.1 9.4

（２） 読書時間

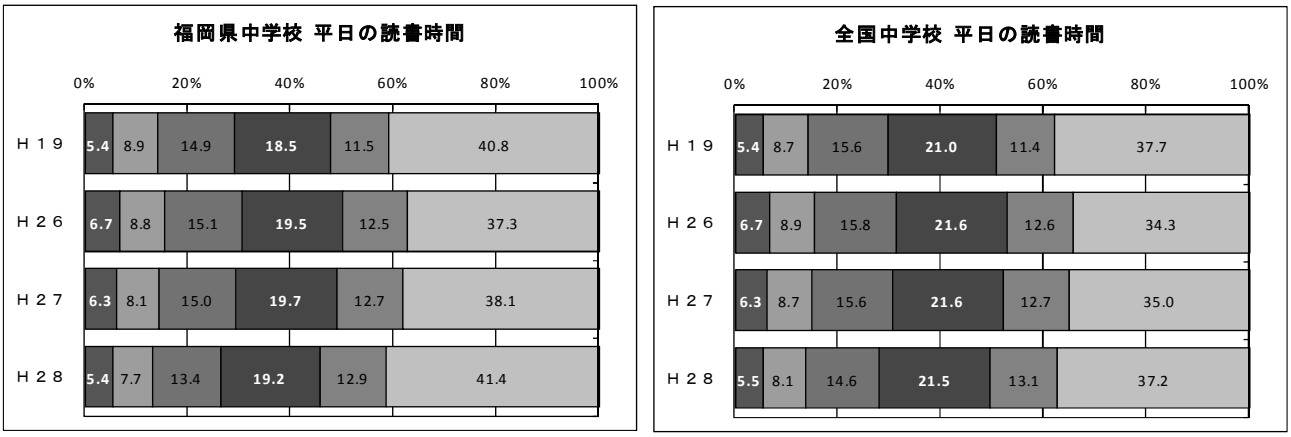
１７	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）。

○　３０分以上読書をしていると回答している児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して小学校、中学校ともに減少している。
○　全く読書をしないと回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において低い傾向にある。

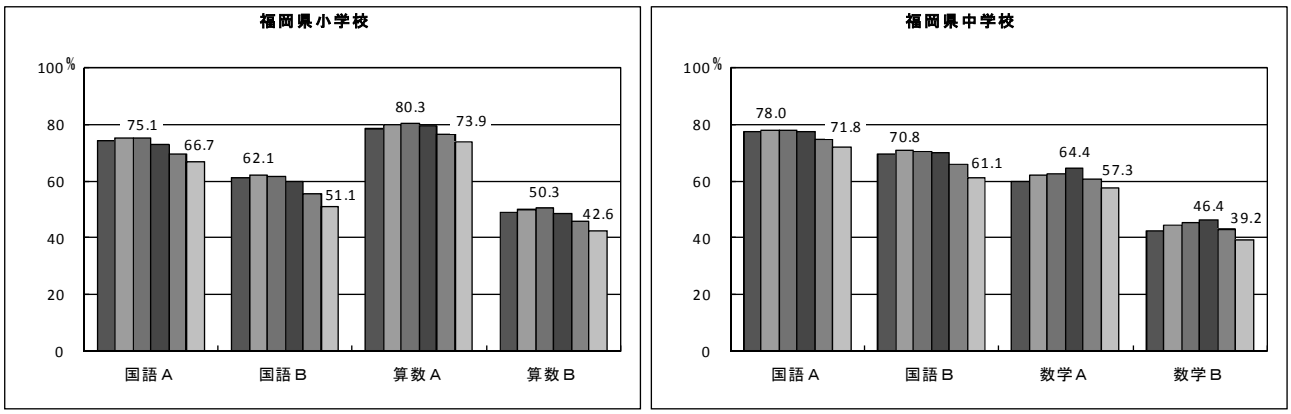
■　小学校回答状況



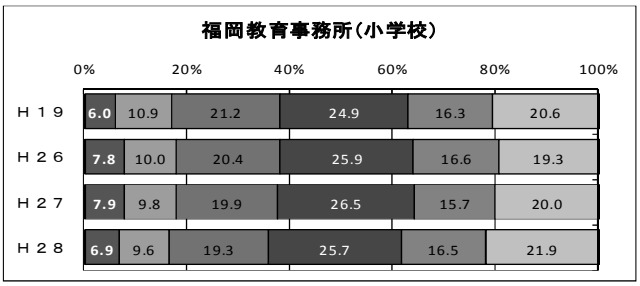
■　中学校回答状況

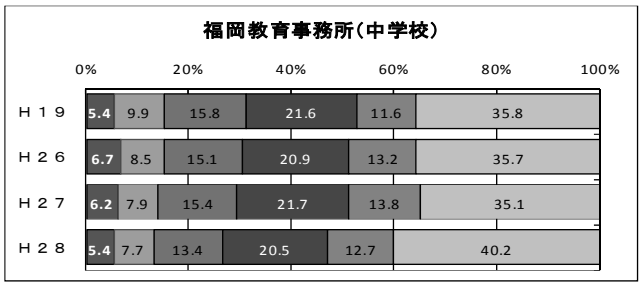


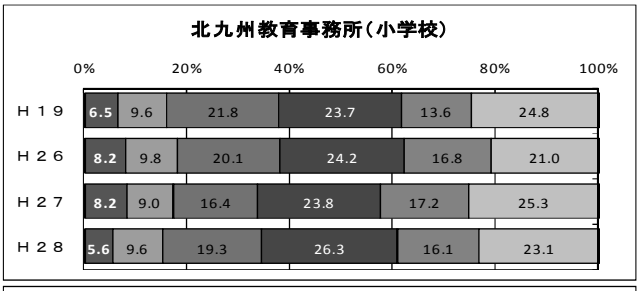
■　教科の正答率との相関関係

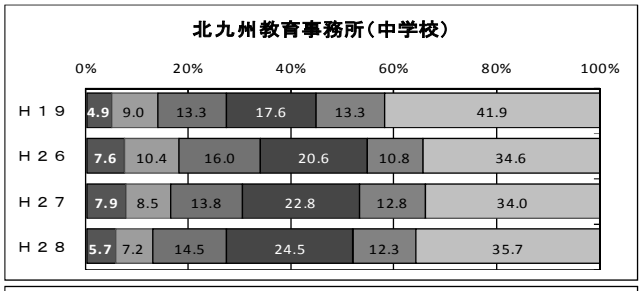


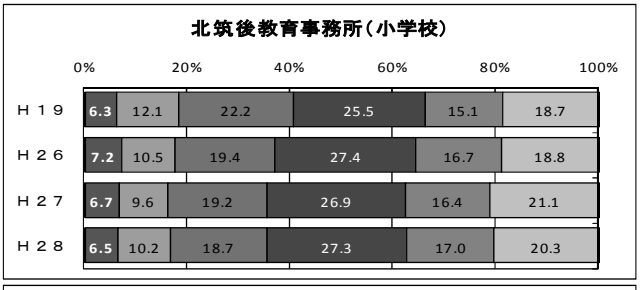
■　地区別回答状況

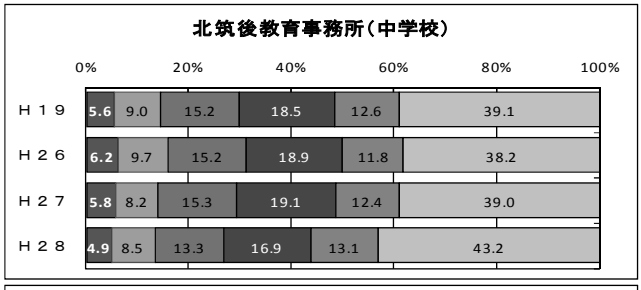

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 6.0 10.9 21.2 24.9 16.3 20.6
H26 7.8 10.0 20.4 25.9 16.6 19.3
H27 7.9 9.8 19.9 26.5 15.7 20.0
H28 6.9 9.6 19.3 25.7 16.5 21.9

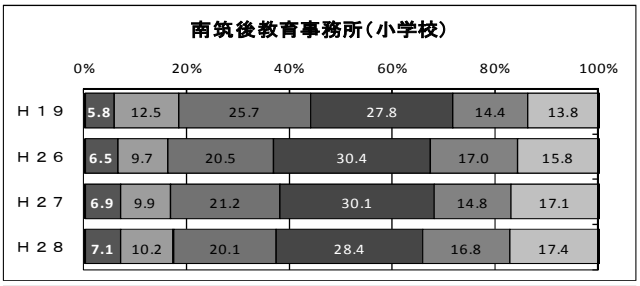

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 5.4 9.9 15.8 21.6 11.6 35.8
H26 6.7 8.5 15.1 20.9 13.2 35.7
H27 6.2 7.9 15.4 21.7 13.8 35.1
H28 5.4 7.7 13.4 20.5 12.7 40.2

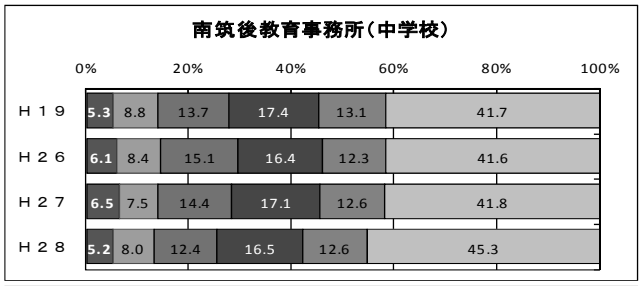

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 6.5 9.6 21.8 23.7 13.6 24.8
H26 8.2 9.8 20.1 24.2 16.8 21.0
H27 8.2 9.0 16.4 23.8 17.2 25.3
H28 5.6 9.6 19.3 26.3 16.1 23.1

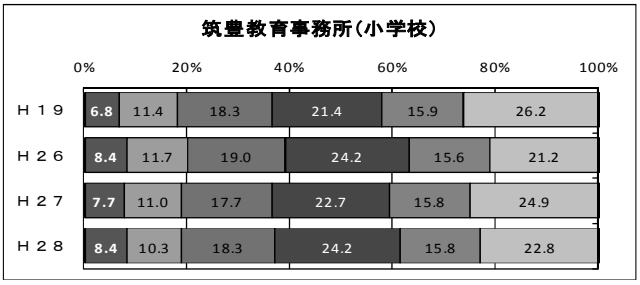

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 4.9 9.0 13.3 17.6 13.3 41.9
H26 7.6 10.4 16.0 20.6 10.8 34.6
H27 7.9 8.5 13.8 22.8 12.8 34.0
H28 5.7 7.2 14.5 24.5 12.3 35.7

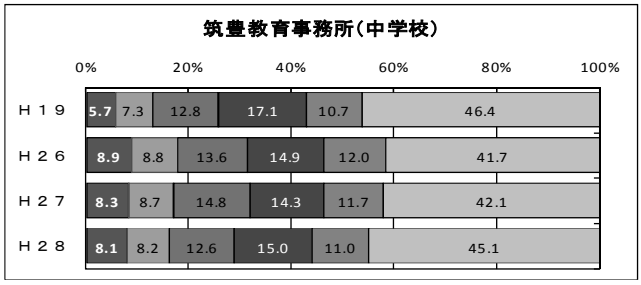

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 6.3 12.1 22.2 25.5 15.1 18.7
H26 7.2 10.5 19.4 27.4 16.7 18.8
H27 6.7 9.6 19.2 26.9 16.4 21.1
H28 6.5 10.2 18.7 27.3 17.0 20.3

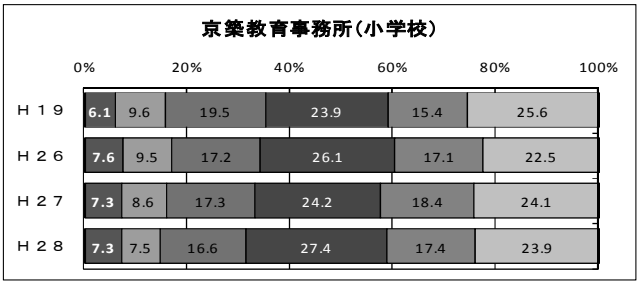

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 5.6 9.0 15.2 18.5 12.6 39.1
H26 6.2 9.7 15.2 18.9 11.8 38.2
H27 5.8 8.2 15.3 19.1 12.4 39.0
H28 4.9 8.5 13.3 16.9 13.1 43.2

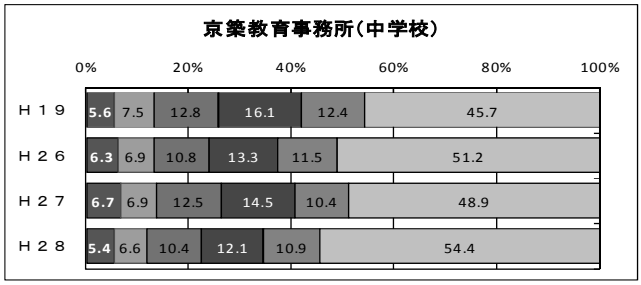

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 5.8 12.5 25.7 27.8 14.4 13.8
H26 6.5 9.7 20.5 30.4 17.0 15.8
H27 6.9 9.9 21.2 30.1 14.8 17.1
H28 7.1 10.2 20.1 28.4 16.8 17.4

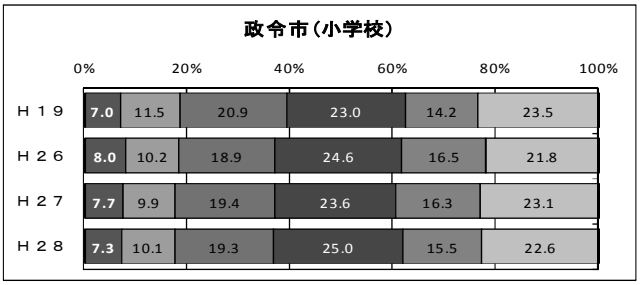

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 5.3 8.8 13.7 17.4 13.1 41.7
H26 6.1 8.4 15.1 16.4 12.3 41.6
H27 6.5 7.5 14.4 17.1 12.6 41.8
H28 5.2 8.0 12.4 16.5 12.6 45.3

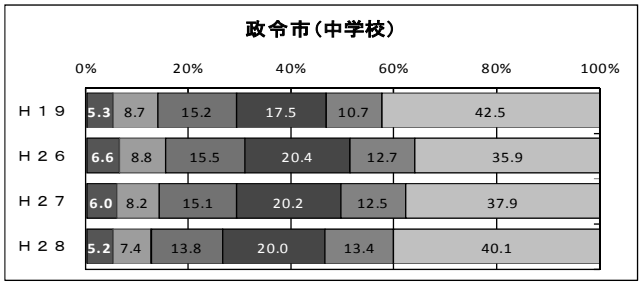

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 6.8 11.4 18.3 21.4 15.9 26.2
H26 8.4 11.7 19.0 24.2 15.6 21.2
H27 7.7 11.0 17.7 22.7 15.8 24.9
H28 8.4 10.3 18.3 24.2 15.8 22.8


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 5.7 7.3 12.8 17.1 10.7 46.4
H26 8.9 8.8 13.6 14.9 12.0 41.7
H27 8.3 8.7 14.8 14.3 11.7 42.1
H28 8.1 8.2 12.6 15.0 11.0 45.1


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 6.1 9.6 19.5 23.9 15.4 25.6
H26 7.6 9.5 17.2 26.1 17.1 22.5
H27 7.3 8.6 17.3 24.2 18.4 24.1
H28 7.3 7.5 16.6 27.4 17.4 23.9


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 5.6 7.5 12.8 16.1 12.4 45.7
H26 6.3 6.9 10.8 13.3 11.5 51.2
H27 6.7 6.9 12.5 14.5 10.4 48.9
H28 5.4 6.6 10.4 12.1 10.9 54.4


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 7.0 11.5 20.9 23.0 14.2 23.5
H26 8.0 10.2 18.9 24.6 16.5 21.8
H27 7.7 9.9 19.4 23.6 16.3 23.1
H28 7.3 10.1 19.3 25.0 15.5 22.6

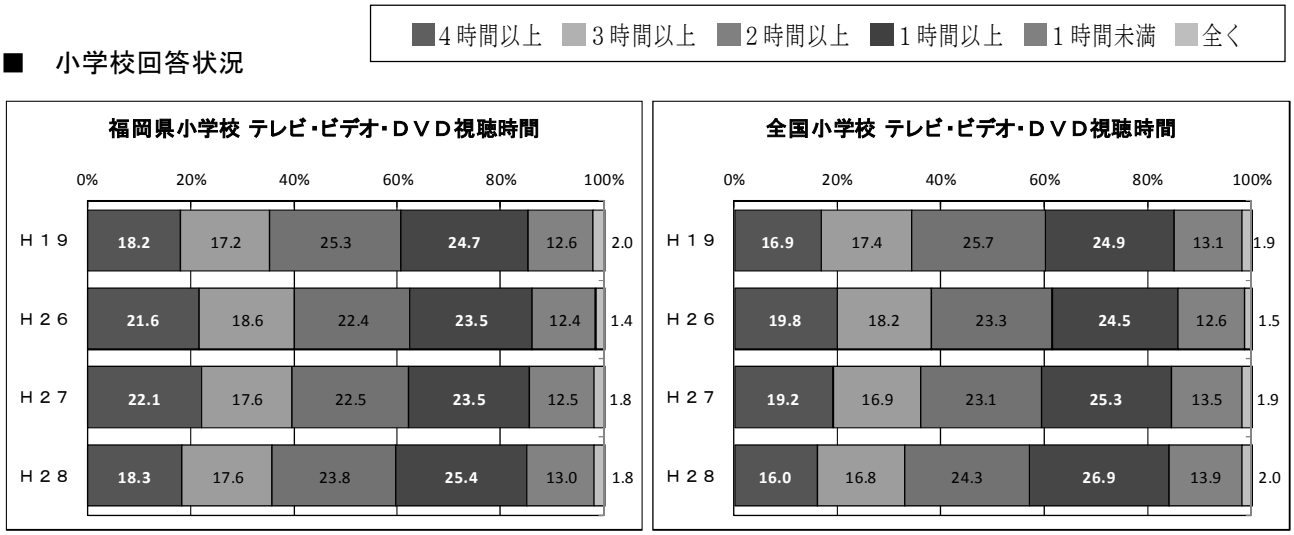

政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 5.3 8.7 15.2 17.5 10.7 42.5
H26 6.6 8.8 15.5 20.4 12.7 35.9
H27 6.0 8.2 15.1 20.2 12.5 37.9
H28 5.2 7.4 13.8 20.0 13.4 40.1

（3） テレビやビデオ・ＤＶＤの視聴時間

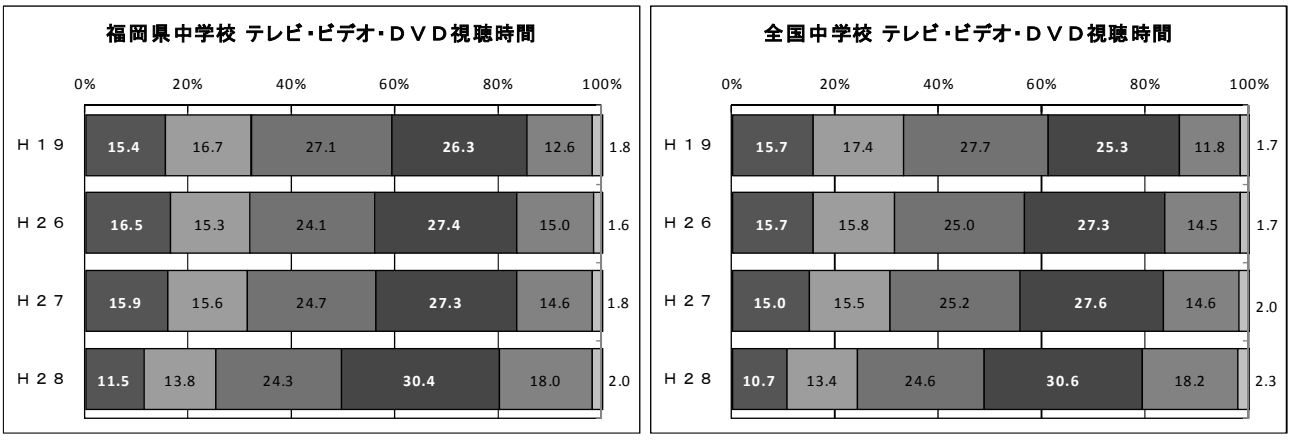
１１	普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・ＤＶＤを見たり、聞いたりしますか（テレビゲームをする時間は除く）。

○　３時間以上視聴する児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して、小学校、中学校ともに減少している。
○　視聴時間が１時間未満（全く視聴しないを除く）の児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。また、このような傾向は、「テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をする時間」の質問項目においても同様に見られる。

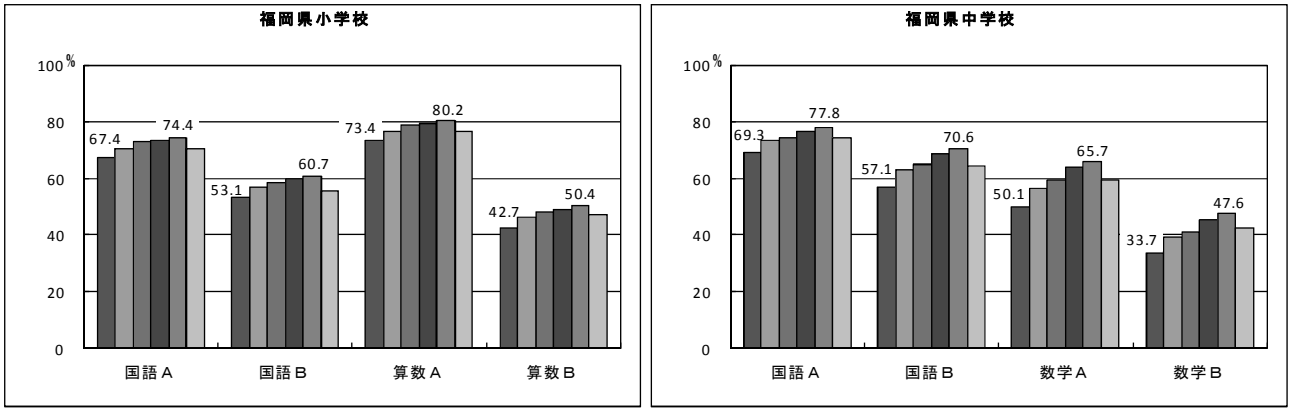
■　小学校回答状況



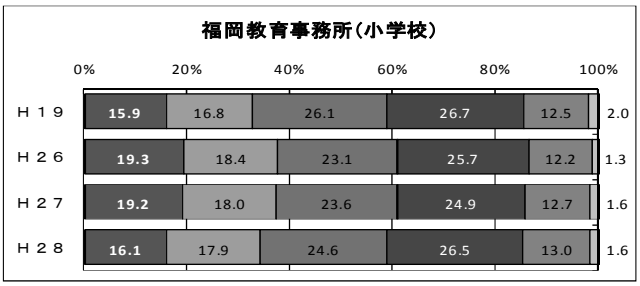
■　中学校回答状況

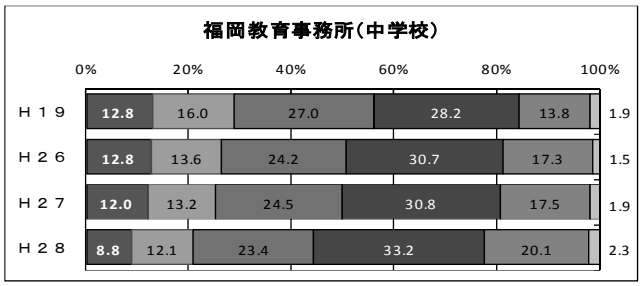


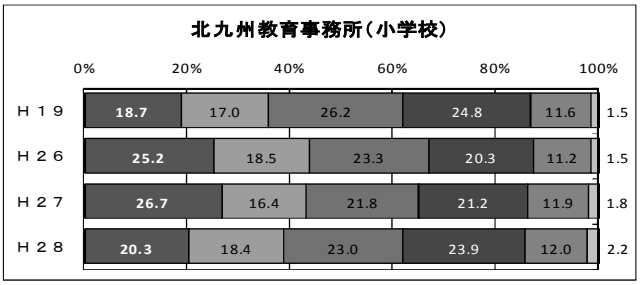
■　教科の正答率との相関関係

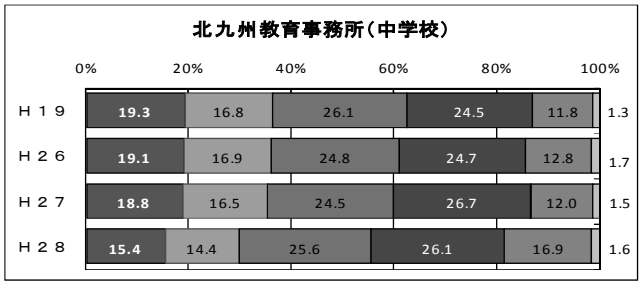


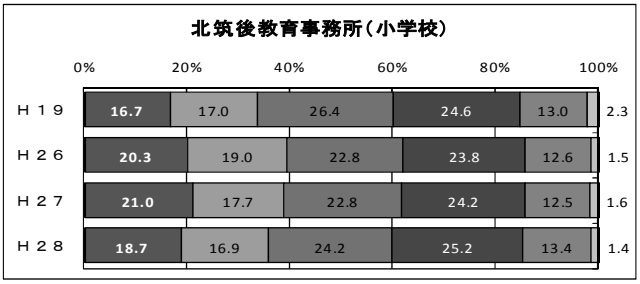
■　地区別回答状況

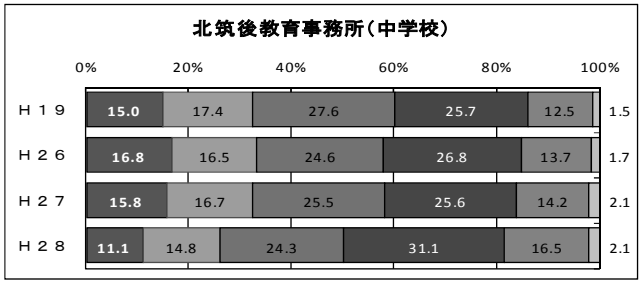

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 15.9 16.8 26.1 26.7 12.5 2.0
H26 19.3 18.4 23.1 25.7 12.2 1.3
H27 19.2 18.0 23.6 24.9 12.7 1.6
H28 16.1 17.9 24.6 26.5 13.0 1.6

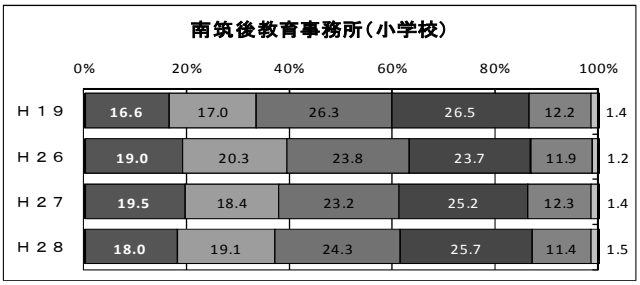

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 12.8 16.0 27.0 28.2 13.8 1.9
H26 12.8 13.6 24.2 30.7 17.3 1.5
H27 12.0 13.2 24.5 30.8 17.5 1.9
H28 8.8 12.1 23.4 33.2 20.1 2.3

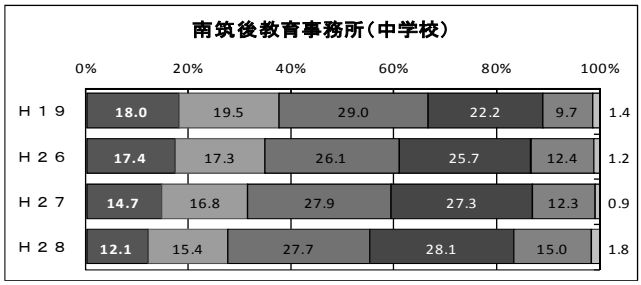

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 18.7 17.0 26.2 24.8 11.6 1.5
H26 25.2 18.5 23.3 20.3 11.2 1.5
H27 26.7 16.4 21.8 21.2 11.9 1.8
H28 20.3 18.4 23.0 23.9 12.0 2.2

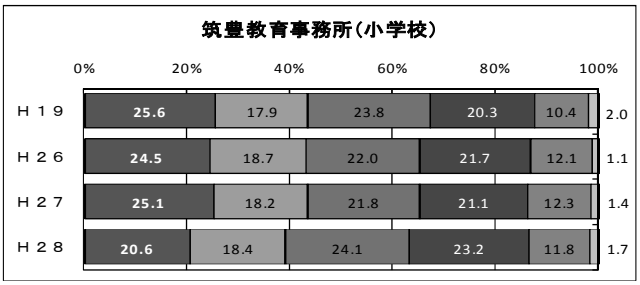

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 19.3 16.8 26.1 24.5 11.8 1.3
H26 19.1 16.9 24.8 24.7 12.8 1.7
H27 18.8 16.5 24.5 26.7 12.0 1.5
H28 15.4 14.4 25.6 26.1 16.9 1.6

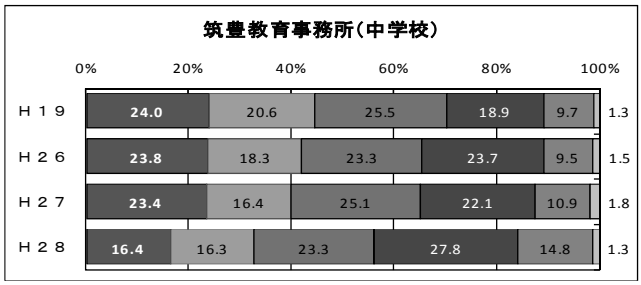

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 16.7 17.0 26.4 24.6 13.0 2.3
H26 20.3 19.0 22.8 23.8 12.6 1.5
H27 21.0 17.7 22.8 24.2 12.5 1.6
H28 18.7 16.9 24.2 25.2 13.4 1.4

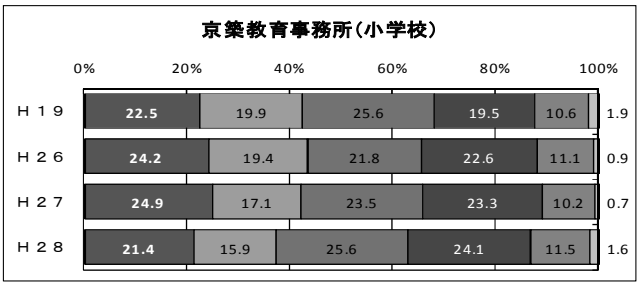

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 15.0 17.4 27.6 25.7 12.5 1.5
H26 16.8 16.5 24.6 26.8 13.7 1.7
H27 15.8 16.7 25.5 25.6 14.2 2.1
H28 11.1 14.8 24.3 31.1 16.5 2.1

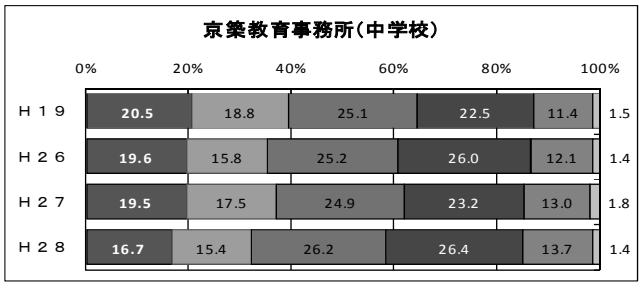

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 16.6 17.0 26.3 26.5 12.2 1.4
H26 19.0 20.3 23.8 23.7 11.9 1.2
H27 19.5 18.4 23.2 25.2 12.3 1.4
H28 18.0 19.1 24.3 25.7 11.4 1.5

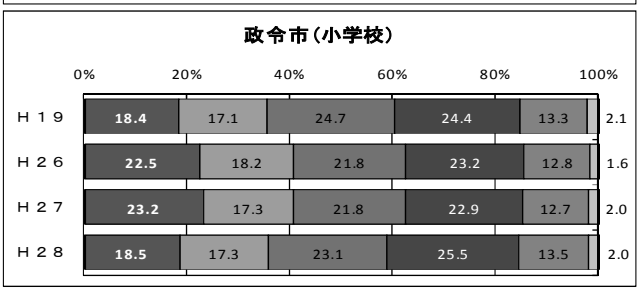

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 18.0 19.5 29.0 22.2 9.7 1.4
H26 17.4 17.3 26.1 25.7 12.4 1.2
H27 14.7 16.8 27.9 27.3 12.3 0.9
H28 12.1 15.4 27.7 28.1 15.0 1.8

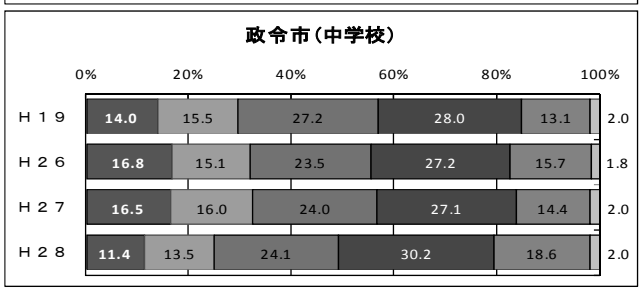

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 25.6 17.9 23.8 20.3 10.4 2.0
H26 24.5 18.7 22.0 21.7 12.1 1.1
H27 25.1 18.2 21.8 21.1 12.3 1.4
H28 20.6 18.4 24.1 23.2 11.8 1.7


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 24.0 20.6 25.5 18.9 9.7 1.3
H26 23.8 18.3 23.3 23.7 9.5 1.5
H27 23.4 16.4 25.1 22.1 10.9 1.8
H28 16.4 16.3 23.3 27.8 14.8 1.3


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 22.5 19.9 25.6 19.5 10.6 1.9
H26 24.2 19.4 21.8 22.6 11.1 0.9
H27 24.9 17.1 23.5 23.3 10.2 0.7
H28 21.4 15.9 25.6 24.1 11.5 1.6


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 20.5 18.8 25.1 22.5 11.4 1.5
H26 19.6 15.8 25.2 26.0 12.1 1.4
H27 19.5 17.5 24.9 23.2 13.0 1.8
H28 16.7 15.4 26.2 26.4 13.7 1.4


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 18.4 17.1 24.7 24.4 13.3 2.1
H26 22.5 18.2 21.8 23.2 12.8 1.6
H27 23.2 17.3 21.8 22.9 12.7 2.0
H28 18.5 17.3 23.1 25.5 13.5 2.0


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 14.0 15.5 27.2 28.0 13.1 2.0
H26 16.8 15.1 23.5 27.2 15.7 1.8
H27 16.5 16.0 24.0 27.1 14.4 2.0
H28 11.4 13.5 24.1 30.2 18.6 2.0

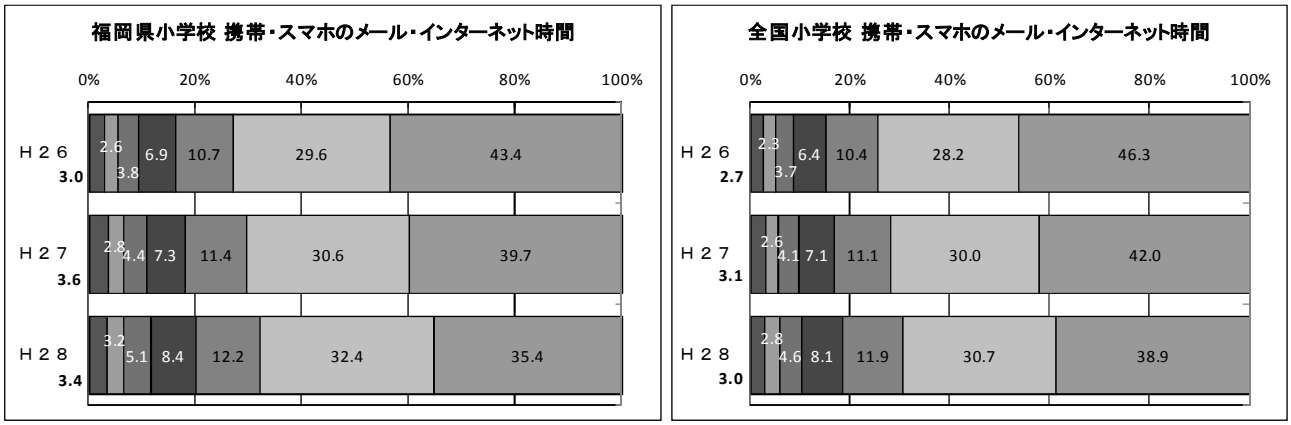
（４） 携帯電話やスマートフォンの使用時間

１３	普段（月～金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（ゲームをする時間は除く）。

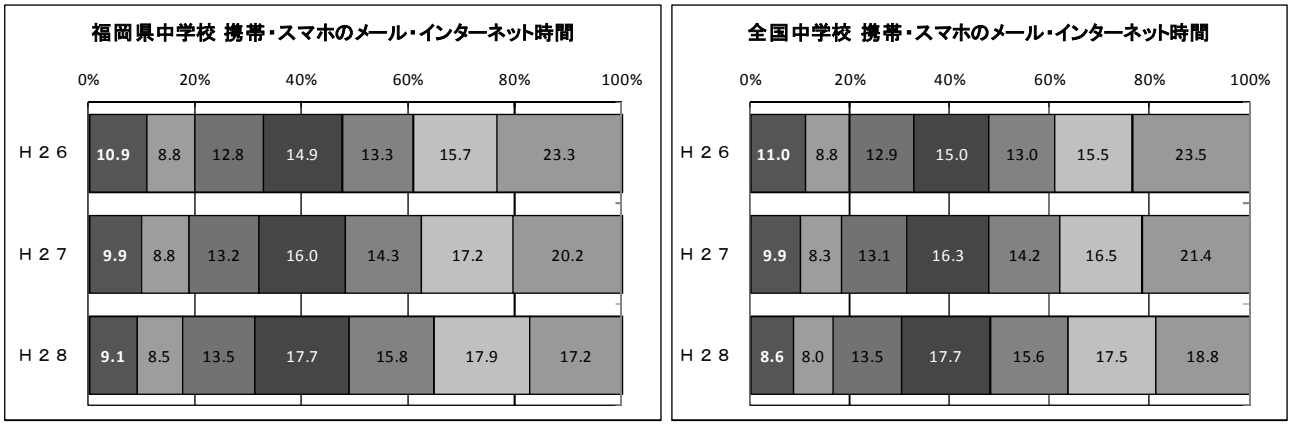
※平成２６年度から加えられた質問

○　１時間以上していると回答している児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して、小学校、中学校ともに増加している。
○　している時間が３０分未満、持っていないと回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

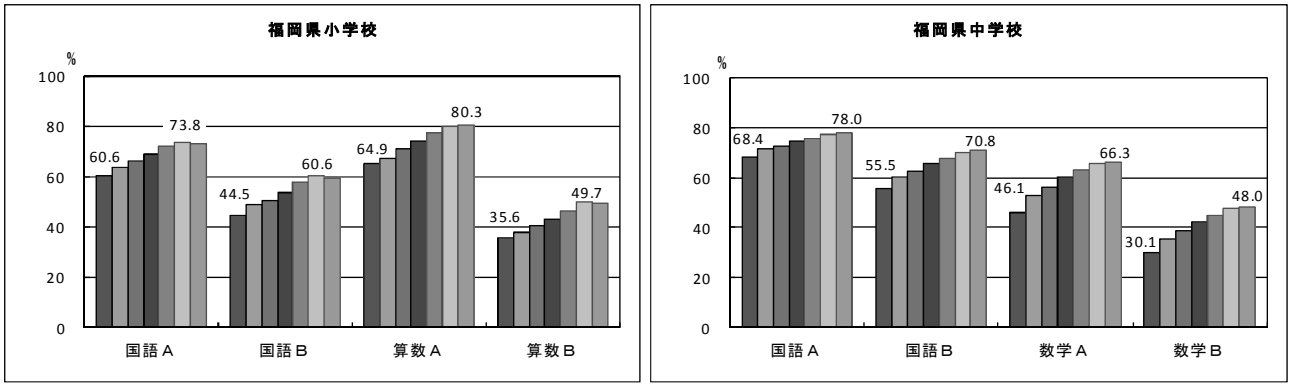
■　小学校回答状況



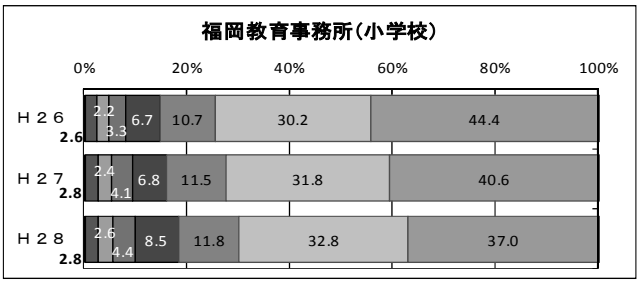
■　中学校回答状況

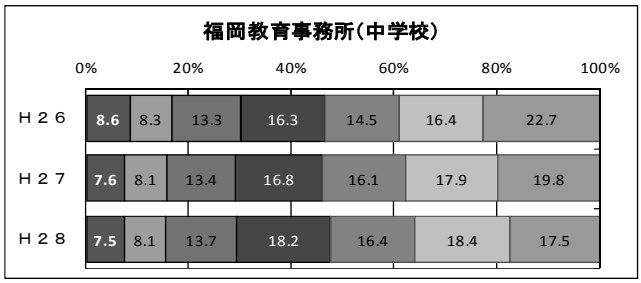


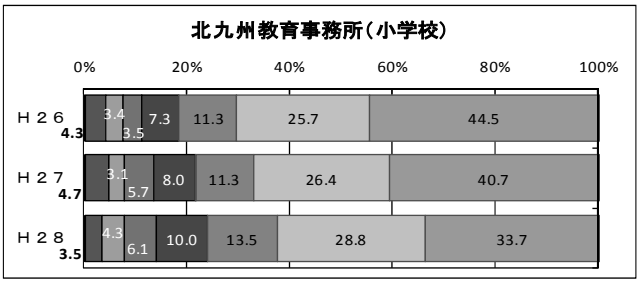
■　教科の正答率との相関関係

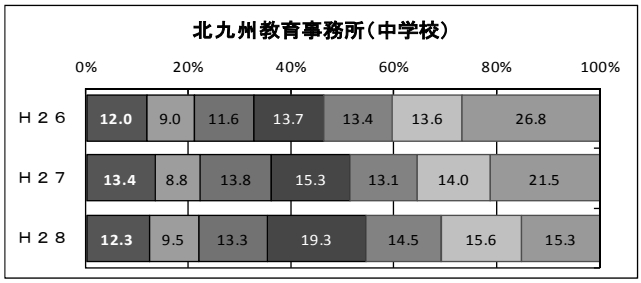


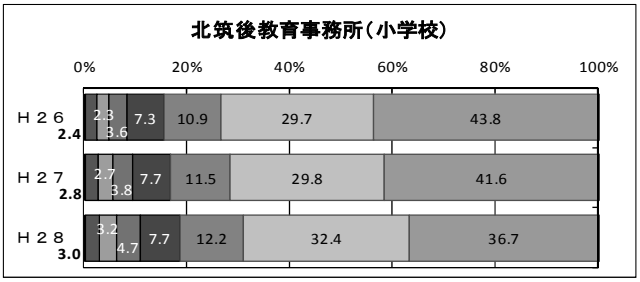
■　地区別回答状況

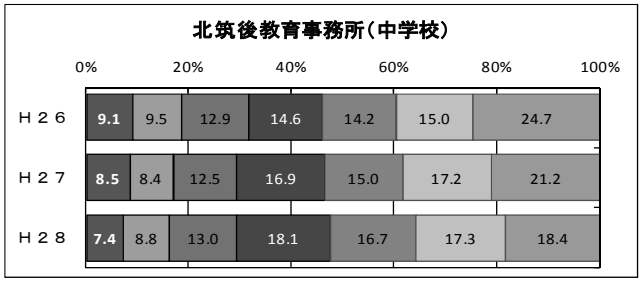

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 2.6 2.2 3.3 6.7 10.7 30.2 44.4
H27 2.8 2.4 4.1 6.8 11.5 31.8 40.6
H28 2.8 2.6 4.4 8.5 11.8 32.8 37.0

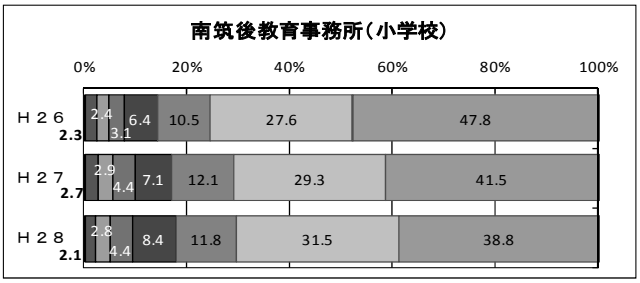

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 8.6 8.3 13.3 16.3 14.5 16.4 22.7
H27 7.6 8.1 13.4 16.8 16.1 17.9 19.8
H28 7.5 8.1 13.7 18.2 16.4 18.4 17.5

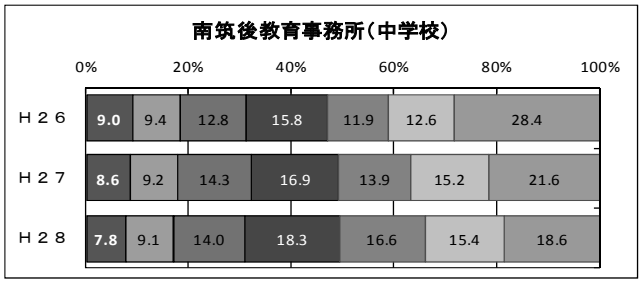

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 4.3 3.4 3.5 7.3 11.3 25.7 44.5
H27 4.7 3.1 5.7 8.0 11.3 26.4 40.7
H28 3.5 4.3 6.1 10.0 13.5 28.8 33.7

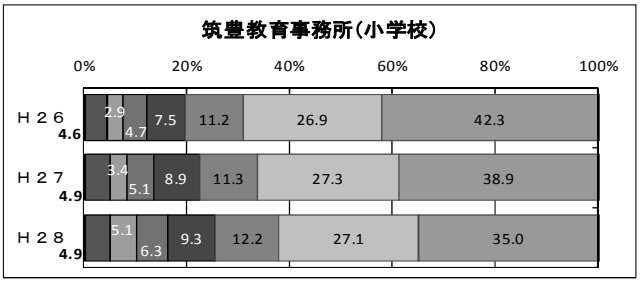

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 12.0 9.0 11.6 13.7 13.4 13.6 26.8
H27 13.4 8.8 13.8 15.3 13.1 14.0 21.5
H28 12.3 9.5 13.3 19.3 14.5 15.6 15.3

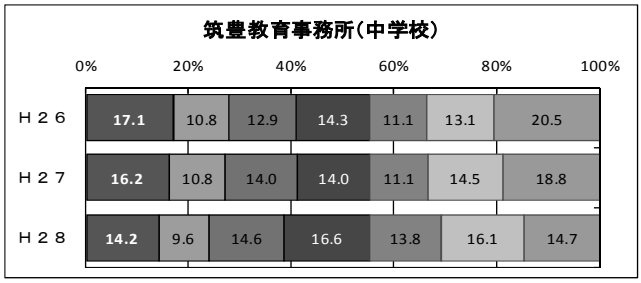

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 2.4 2.3 3.6 7.3 10.9 29.7 43.8
H27 2.8 2.7 3.8 7.7 11.5 29.8 41.6
H28 3.0 3.2 4.7 7.7 12.2 32.4 36.7

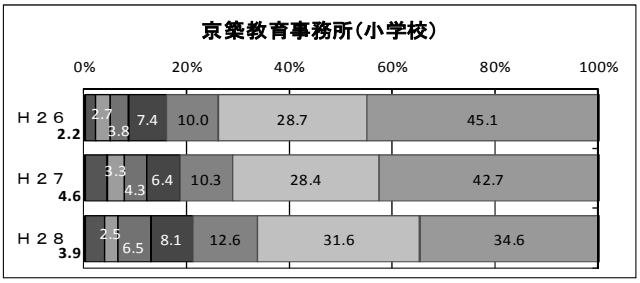

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 9.1 9.5 12.9 14.6 14.2 15.0 24.7
H27 8.5 8.4 12.5 16.9 15.0 17.2 21.2
H28 7.4 8.8 13.0 18.1 16.7 17.3 18.4

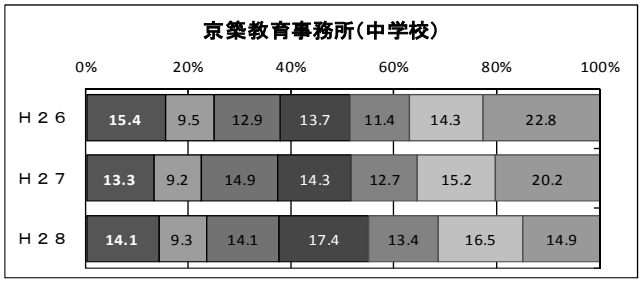

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 2.3 2.4 3.1 6.4 10.5 27.6 47.8
H27 2.7 2.9 4.4 7.1 12.1 29.3 41.5
H28 2.1 2.8 4.4 8.4 11.8 31.5 38.8

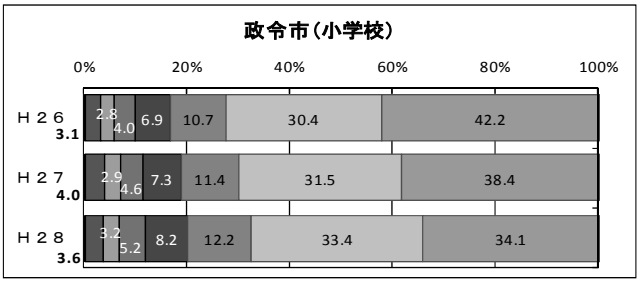

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 9.0 9.4 12.8 15.8 11.9 12.6 28.4
H27 8.6 9.2 14.3 16.9 13.9 15.2 21.6
H28 7.8 9.1 14.0 18.3 16.6 15.4 18.6

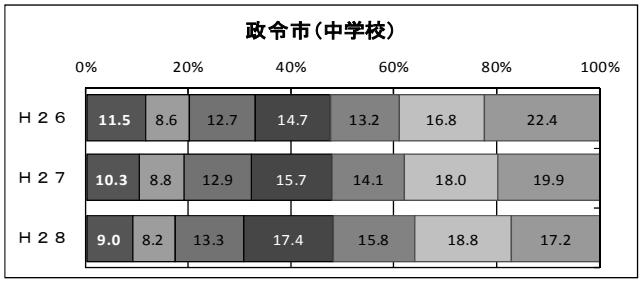

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 4.6 2.9 4.7 7.5 11.2 26.9 42.3
H27 4.9 3.4 5.1 8.9 11.3 27.3 38.9
H28 4.9 5.1 6.3 9.3 12.2 27.1 35.0


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 17.1 10.8 12.9 14.3 11.1 13.1 20.5
H27 16.2 10.8 14.0 14.0 11.1 14.5 18.8
H28 14.2 9.6 14.6 16.6 13.8 16.1 14.7


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 2.2 2.7 3.8 7.4 10.0 28.7 45.1
H27 4.6 3.3 4.3 6.4 10.3 28.4 42.7
H28 3.9 2.5 6.5 8.1 12.6 31.6 34.6


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 15.4 9.5 12.9 13.7 11.4 14.3 22.8
H27 13.3 9.2 14.9 14.3 12.7 15.2 20.2
H28 14.1 9.3 14.1 17.4 13.4 16.5 14.9


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 3.1 2.8 4.0 6.9 10.7 30.4 42.2
H27 4.0 2.9 4.6 7.3 11.4 31.5 38.4
H28 3.6 3.2 5.2 8.2 12.2 33.4 34.1


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 11.5 8.6 12.7 14.7 13.2 16.8 22.4
H27 10.3 8.8 12.9 15.7 14.1 18.0 19.9
H28 9.0 8.2 13.3 17.4 15.8 18.8 17.2

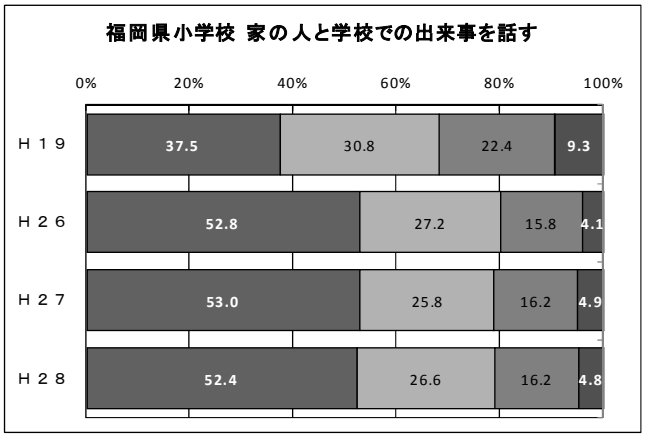
（５） 家庭でのコミュニケーション

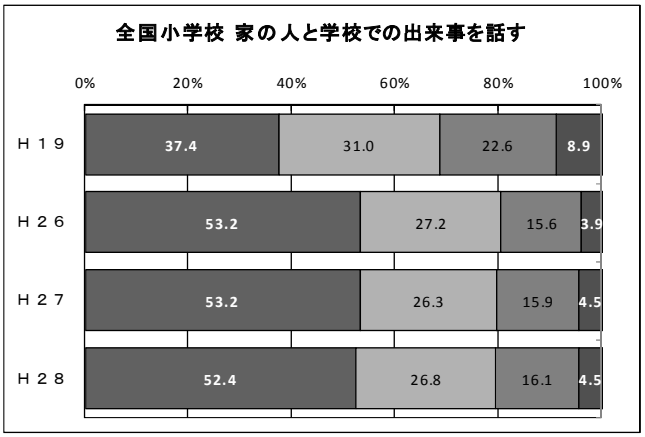
１９	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。

○　している、どちらかといえばしていると回答している児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して小学校は増加し、中学校はほぼ変化していない。
○　している、どちらかといえばしていると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

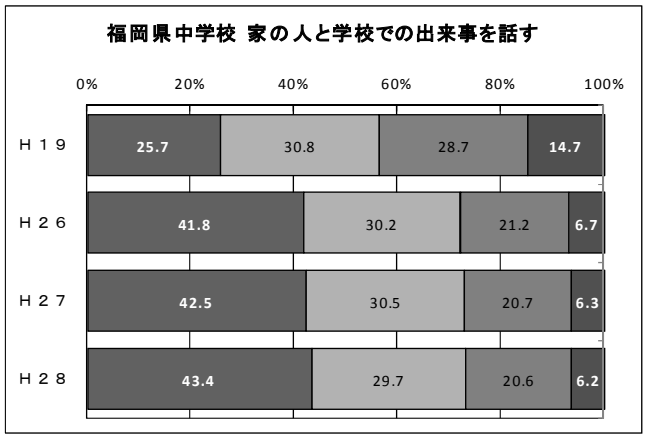
■ している ■ どちらかといえば ■ あまり ■ していない

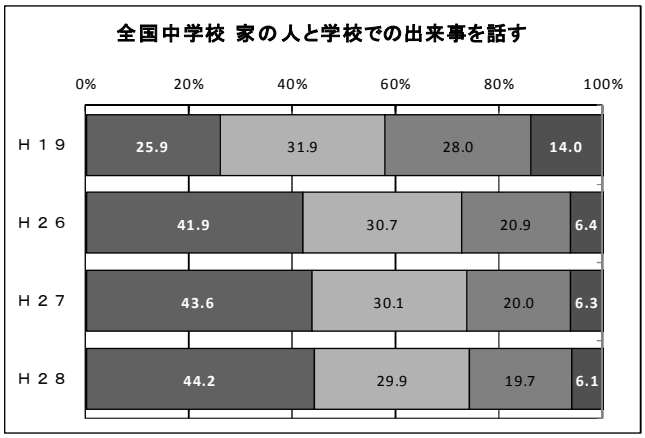
■　小学校回答状況



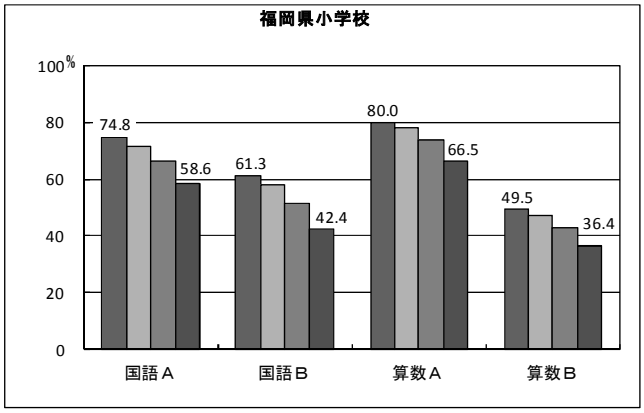


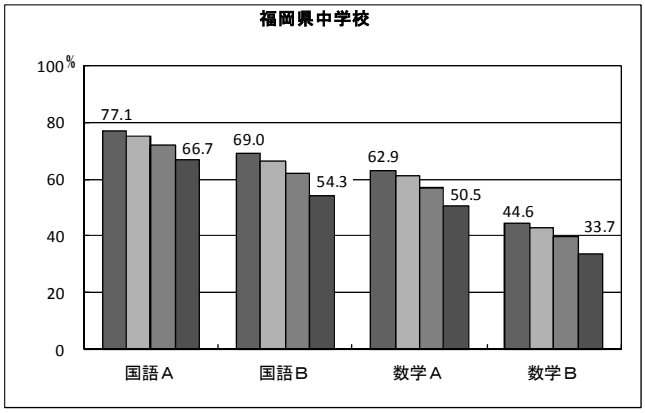
■　中学校回答状況



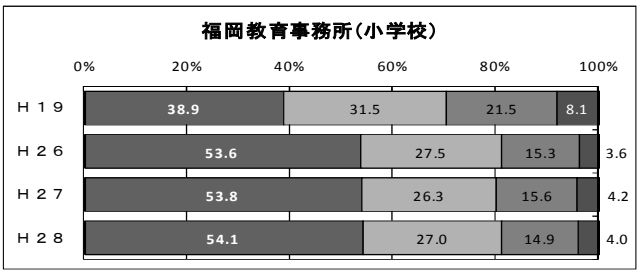


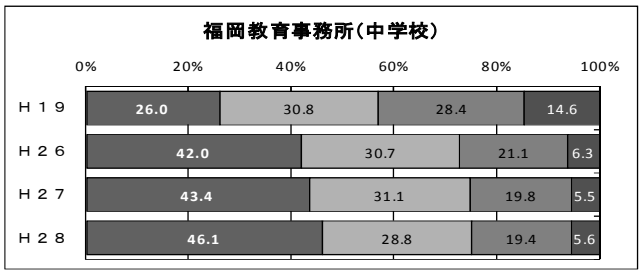
■　教科の正答率との相関関係

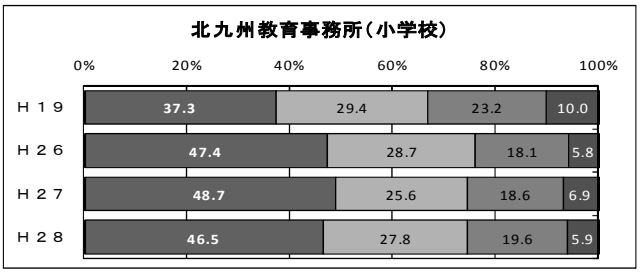


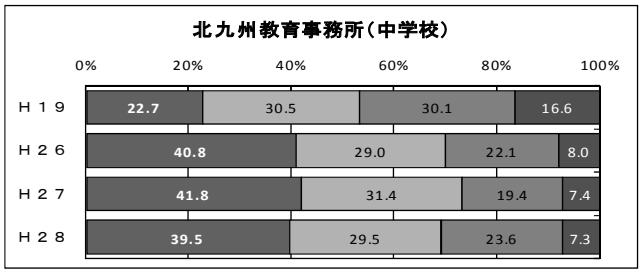


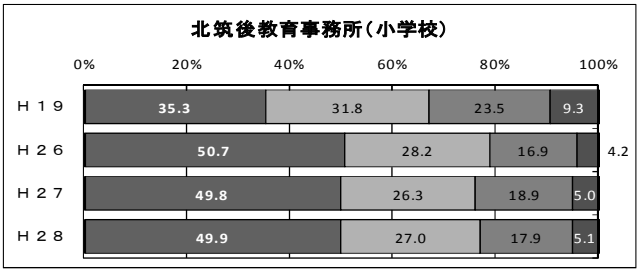
■　地区別回答状況

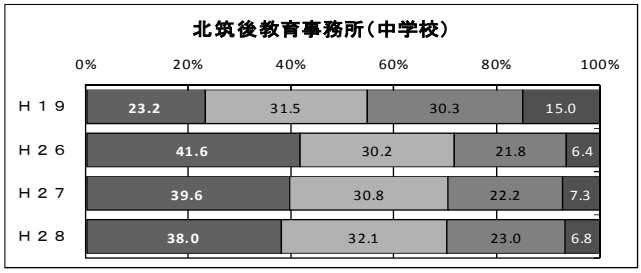

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 38.9 31.5 21.5 8.1
H26 53.6 27.5 15.3 3.6
H27 53.8 26.3 15.6 4.2
H28 54.1 27.0 14.9 4.0

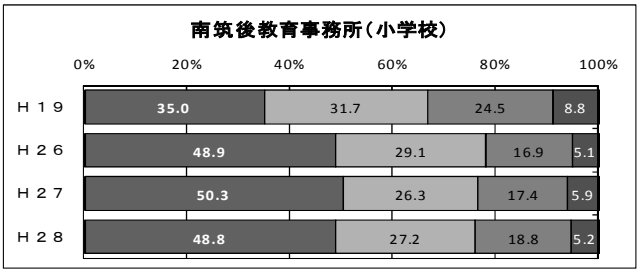

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 26.0 30.8 28.4 14.6
H26 42.0 30.7 21.1 6.3
H27 43.4 31.1 19.8 5.5
H28 46.1 28.8 19.4 5.6

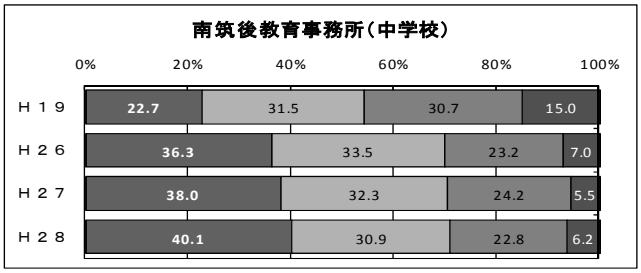

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 37.3 29.4 23.2 10.0
H26 47.4 28.7 18.1 5.8
H27 48.7 25.6 18.6 6.9
H28 46.5 27.8 19.6 5.9

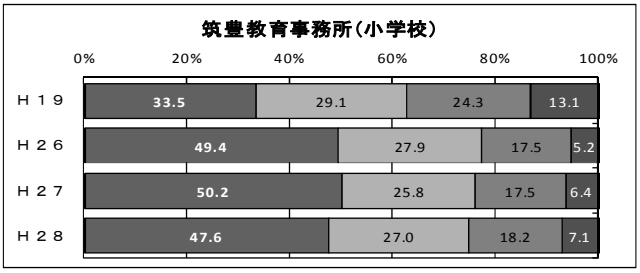

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 22.7 30.5 30.1 16.6
H26 40.8 29.0 22.1 8.0
H27 41.8 31.4 19.4 7.4
H28 39.5 29.5 23.6 7.3

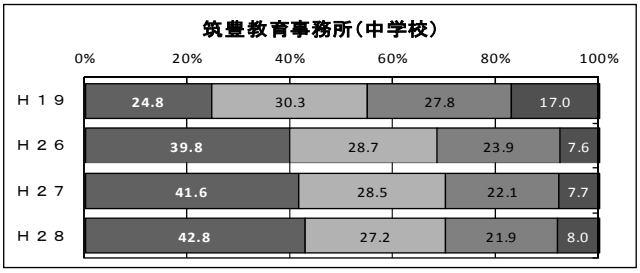

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 35.3 31.8 23.5 9.3
H26 50.7 28.2 16.9 4.2
H27 49.8 26.3 18.9 5.0
H28 49.9 27.0 17.9 5.1

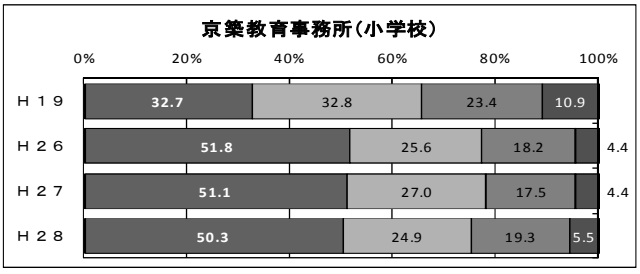

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 23.2 31.5 30.3 15.0
H26 41.6 30.2 21.8 6.4
H27 39.6 30.8 22.2 7.3
H28 38.0 32.1 23.0 6.8

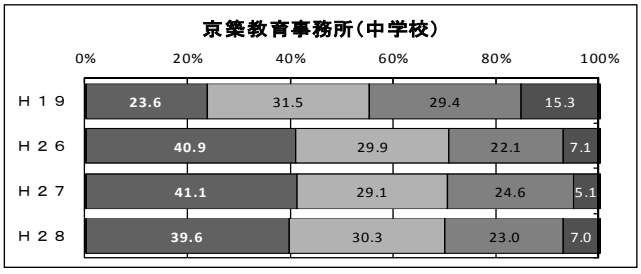

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 35.0 31.7 24.5 8.8
H26 48.9 29.1 16.9 5.1
H27 50.3 26.3 17.4 5.9
H28 48.8 27.2 18.8 5.2

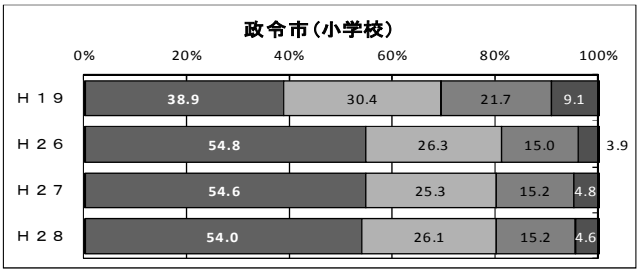

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 22.7 31.5 30.7 15.0
H26 36.3 33.5 23.2 7.0
H27 38.0 32.3 24.2 5.5
H28 40.1 30.9 22.8 6.2

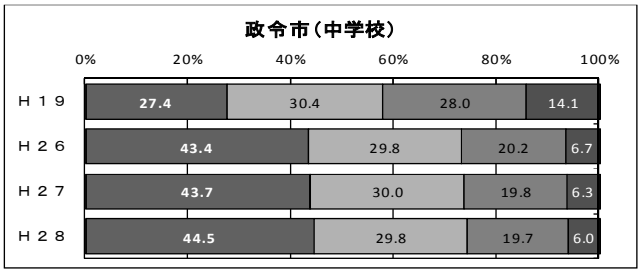

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 33.5 29.1 24.3 13.1
H26 49.4 27.9 17.5 5.2
H27 50.2 25.8 17.5 6.4
H28 47.6 27.0 18.2 7.1


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 24.8 30.3 27.8 17.0
H26 39.8 28.7 23.9 7.6
H27 41.6 28.5 22.1 7.7
H28 42.8 27.2 21.9 8.0


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 32.7 32.8 23.4 10.9
H26 51.8 25.6 18.2 4.4
H27 51.1 27.0 17.5 4.4
H28 50.3 24.9 19.3 5.5


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 23.6 31.5 29.4 15.3
H26 40.9 29.9 22.1 7.1
H27 41.1 29.1 24.6 5.1
H28 39.6 30.3 23.0 7.0


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 38.9 30.4 21.7 9.1
H26 54.8 26.3 15.0 3.9
H27 54.6 25.3 15.2 4.8
H28 54.0 26.1 15.2 4.6


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 27.4 30.4 28.0 14.1
H26 43.4 29.8 20.2 6.7
H27 43.7 30.0 19.8 6.3
H28 44.5 29.8 19.7 6.0

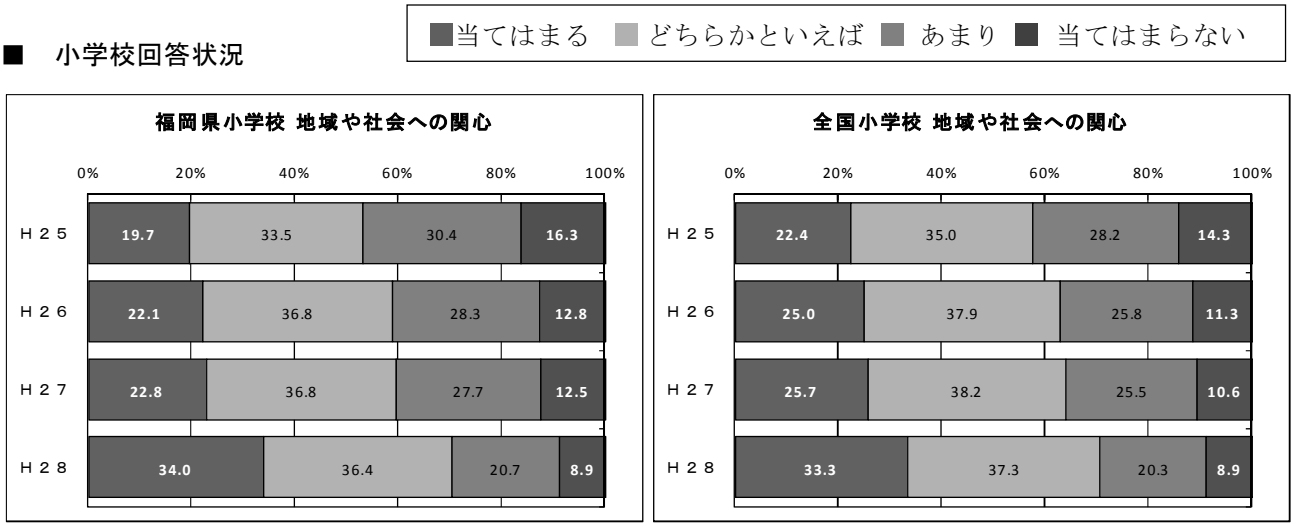
（６） 地域や社会に対する興味・関心

３５	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。

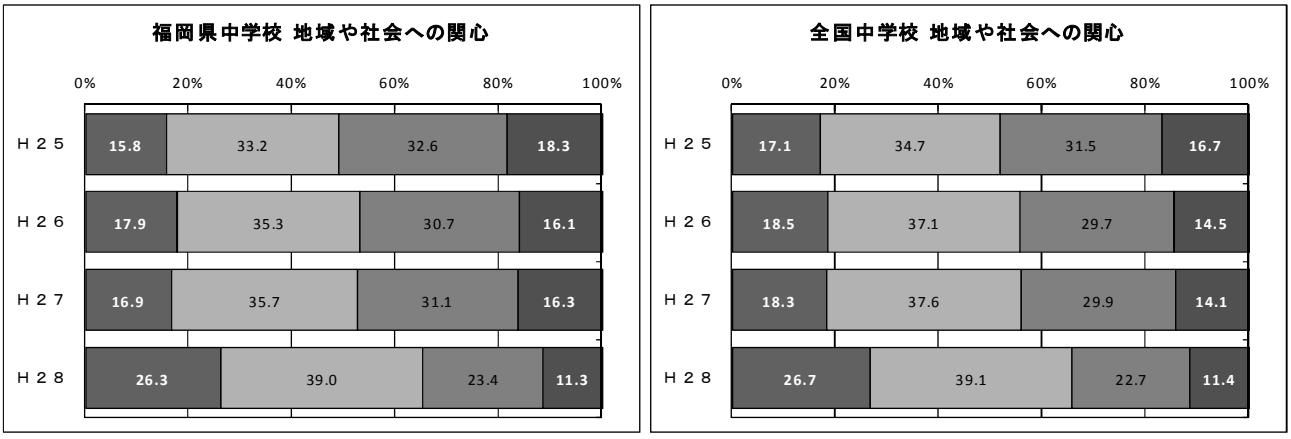
※平成２５年度から加えられた質問

○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　当てはまる、どちらかといえば当てはまると回答している児童生徒の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

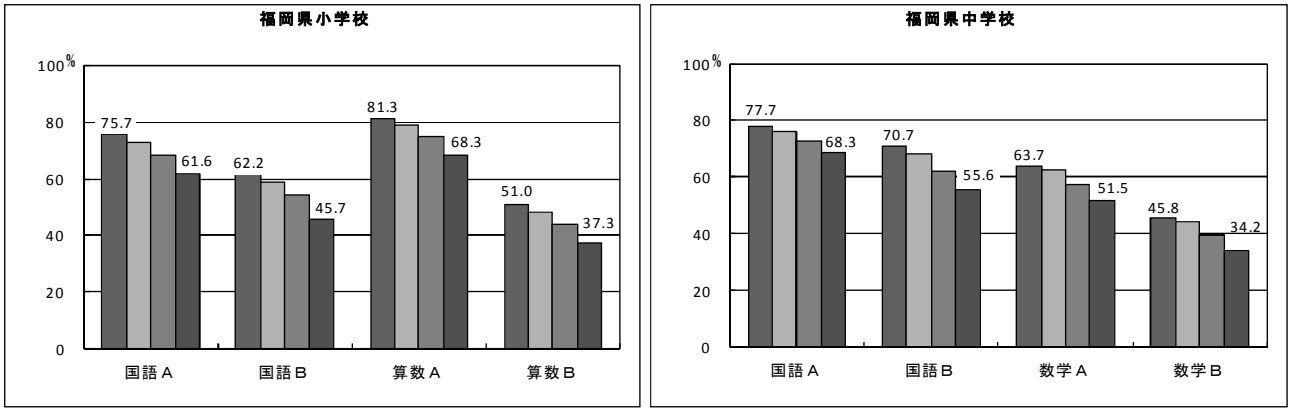
■　小学校回答状況



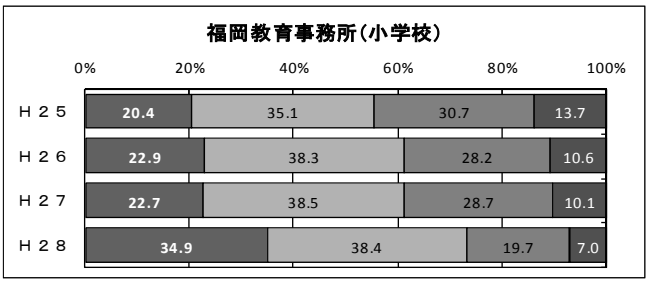
■　中学校回答状況

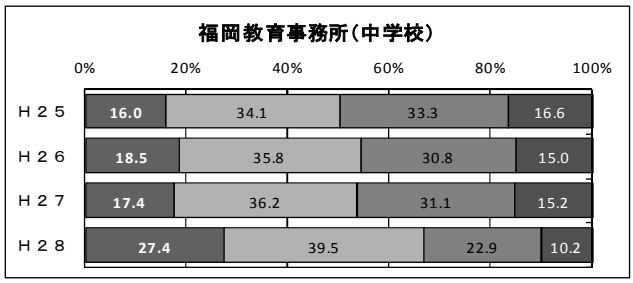


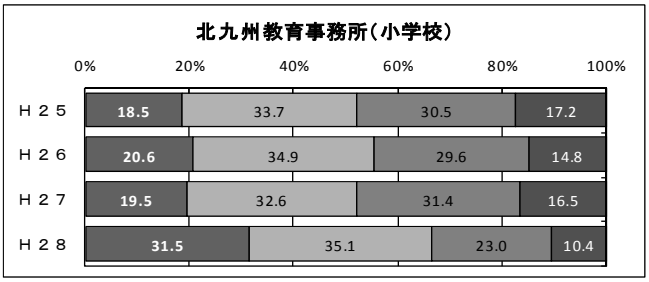
■　教科の正答率との相関関係

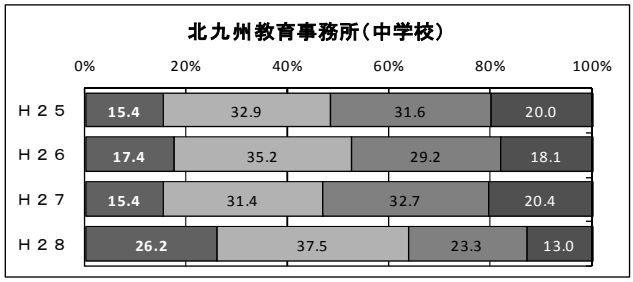


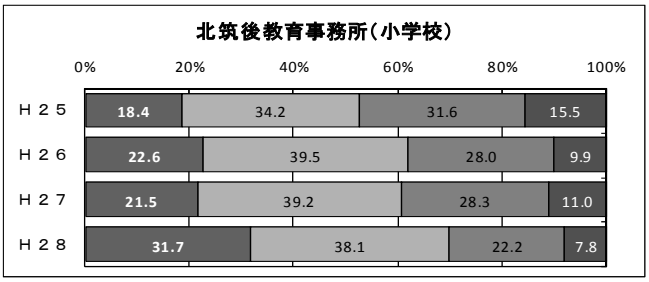
■　地区別回答状況

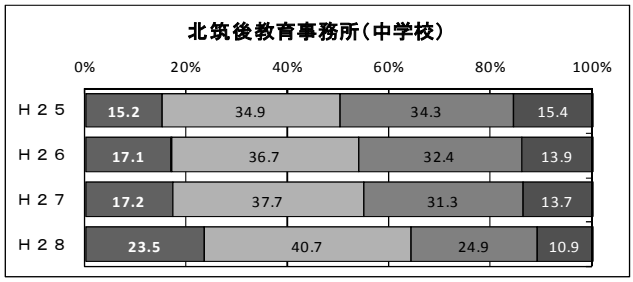

福岡教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
20.4
35.1
30.7
13.7
Ｈ２６
22.9
38.3
28.2
10.6
Ｈ２７
22.7
38.5
28.7
10.1
Ｈ２８
34.9
38.4
19.7
7.0

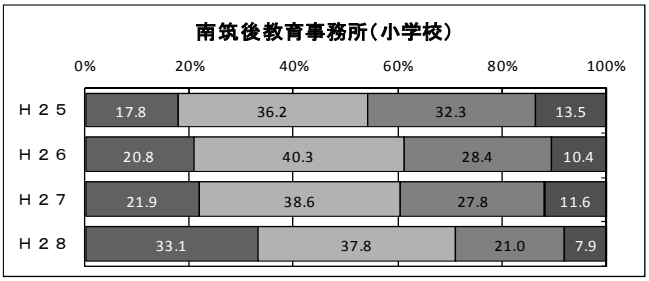

福岡教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
16.0
34.1
33.3
16.6
Ｈ２６
18.5
35.8
30.8
15.0
Ｈ２７
17.4
36.2
31.1
15.2
Ｈ２８
27.4
39.5
22.9
10.2

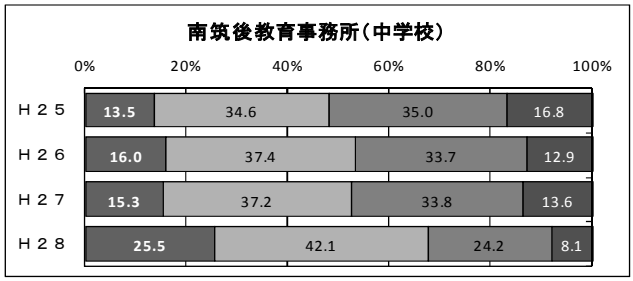

北九州教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
18.5
33.7
30.5
17.2
Ｈ２６
20.6
34.9
29.6
14.8
Ｈ２７
19.5
32.6
31.4
16.5
Ｈ２８
31.5
35.1
23.0
10.4

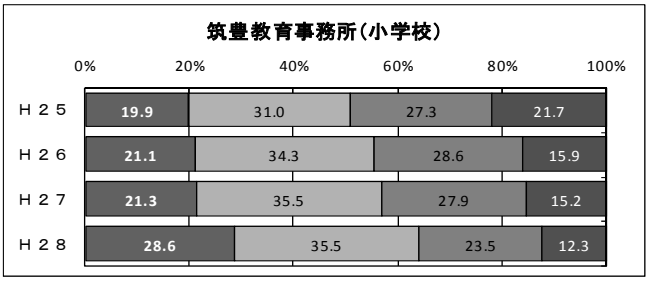

北九州教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
15.4
32.9
31.6
20.0
Ｈ２６
17.4
35.2
29.2
18.1
Ｈ２７
15.4
31.4
32.7
20.4
Ｈ２８
26.2
37.5
23.3
13.0

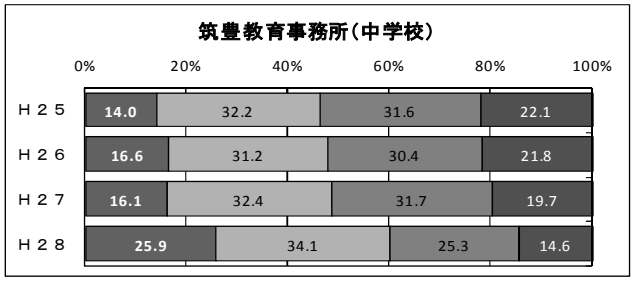

北筑後教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
18.4
34.2
31.6
15.5
Ｈ２６
22.6
39.5
28.0
9.9
Ｈ２７
21.5
39.2
28.3
11.0
Ｈ２８
31.7
38.1
22.2
7.8

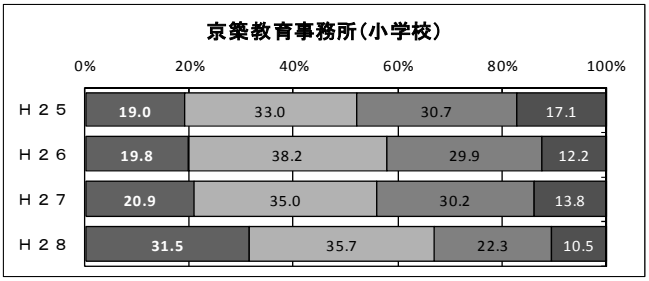

北筑後教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
15.2
34.9
34.3
15.4
Ｈ２６
17.1
36.7
32.4
13.9
Ｈ２７
17.2
37.7
31.3
13.7
Ｈ２８
23.5
40.7
24.9
10.9

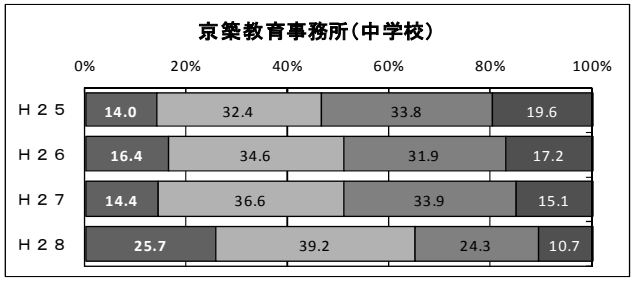

南筑後教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
17.8
36.2
32.3
13.5
Ｈ２６
20.8
40.3
28.4
10.4
Ｈ２７
21.9
38.6
27.8
11.6
Ｈ２８
33.1
37.8
21.0
7.9

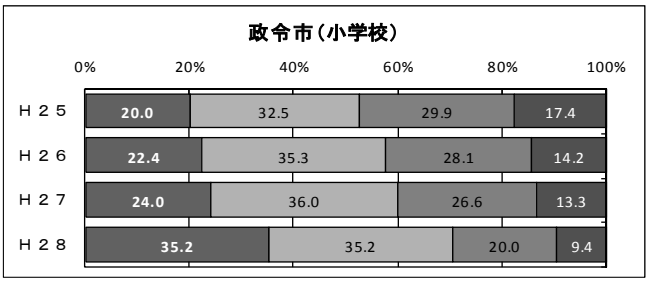

南筑後教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
13.5
34.6
35.0
16.8
Ｈ２６
16.0
37.4
33.7
12.9
Ｈ２７
15.3
37.2
33.8
13.6
Ｈ２８
25.5
42.1
24.2
8.1

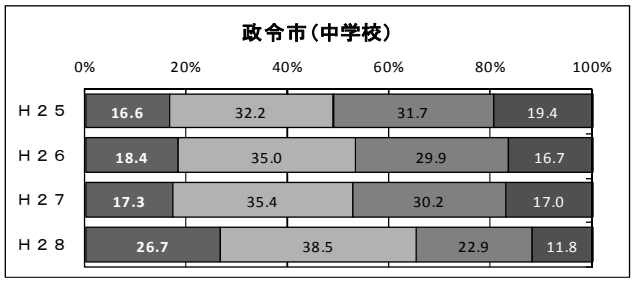

筑豊教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
19.9
31.0
27.3
21.7
Ｈ２６
21.1
34.3
28.6
15.9
Ｈ２７
21.3
35.5
27.9
15.2
Ｈ２８
28.6
35.5
23.5
12.3


筑豊教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
14.0
32.2
31.6
22.1
Ｈ２６
16.6
31.2
30.4
21.8
Ｈ２７
16.1
32.4
31.7
19.7
Ｈ２８
25.9
34.1
25.3
14.6


京築教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
19.0
33.0
30.7
17.1
Ｈ２６
19.8
38.2
29.9
12.2
Ｈ２７
20.9
35.0
30.2
13.8
Ｈ２８
31.5
35.7
22.3
10.5


京築教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
14.0
32.4
33.8
19.6
Ｈ２６
16.4
34.6
31.9
17.2
Ｈ２７
14.4
36.6
33.9
15.1
Ｈ２８
25.7
39.2
24.3
10.7


政令市（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
20.0
32.5
29.9
17.4
Ｈ２６
22.4
35.3
28.1
14.2
Ｈ２７
24.0
36.0
26.6
13.3
Ｈ２８
35.2
35.2
20.0
9.4


政令市（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
Ｈ２５
16.6
32.2
31.7
19.4
Ｈ２６
18.4
35.0
29.9
16.7
Ｈ２７
17.3
35.4
30.2
17.0
Ｈ２８
26.7
38.5
22.9
11.8

Ⅴ　学校質問紙に関する調査結果と分析

1　学校質問紙調査の目的

学校における指導内容、指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等を調査することにより、市町村教育委員会や学校の教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

2　本報告書において分析の対象とした質問項目

	視点	番号	カテゴリー	質問番号 小	質問番号 中	質問項目	頁番号
1	学力基盤づくり	学習規律		15	15	授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか。	128
				51	51	前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞くなど）の維持を徹底しましたか。	130
2	授業づくり	(1)	指導方法	19	19	学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	132
				39	39	前年度までに、児童（生徒）の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか。	134
				42	42	前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか。	136
				43	43	前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか。	138
		(2)	補充的な学習	67	67	国語の指導として、前年度までに補充的な学習の指導を行いましたか。	140
				73	73	算数（数学）の指導として、前年度までに補充的な学習の指導を行いましたか。	142
		(3)	教職員の取組	113	111	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、（外国語活動）、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか。	144
3	教員の意識・指導力の向上	(1)	カリキュラム・マネジメント	33	33	児童（生徒）の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか。	146
		(2)	調査結果の活用	59	59	平成27年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか。	148
				60	60	平成27年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。	150
		(3)	教員研修	102	100	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか。	152
				107	105	児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか。	154
		(4)	教職員の取組	114	112	学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか。	156
				115	113	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか。	158
4	家庭・関係機関との連携	(1)	調査結果の活用	62	62	平成27年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか。	160
		(2)	家庭学習	99	97	前年度までに、家庭学習の取組として、児童（生徒）に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか。（国語、算数・数学共通）	162
		(3)	地域の人材の活用	89	87	PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか。	164
5	その他	就学援助		22	22	就学援助を受けている児童（生徒）の割合	166

３　分析の方法

Ａ　回答状況の経年比較

同一の質問項目に対する本県全体の学校の回答状況を、当該質問が初めて調査項目となった年度、平成２６、２７、２８年度で比較する。

Ｂ　回答状況と教科の正答率との相関関係

平成２８年度における質問項目に対する回答状況と教科区分ごとの平均正答率との相関関係を示す。

Ｃ　地区別の回答状況

同一の質問項目に対する各地区の学校の回答状況を、当該質問が初めて調査項目となった年度、平成２６、２７、２８年度で比較する。

４　資料を読み取る際の留意点

特定の選択肢を回答した学校が少ない場合には、極端な傾向を示す場合がある。また、質問紙に対する回答状況は、選択肢以外の回答や無回答を除外しているため、合計が１００％にならない場合がある。

1　学力基盤づくり

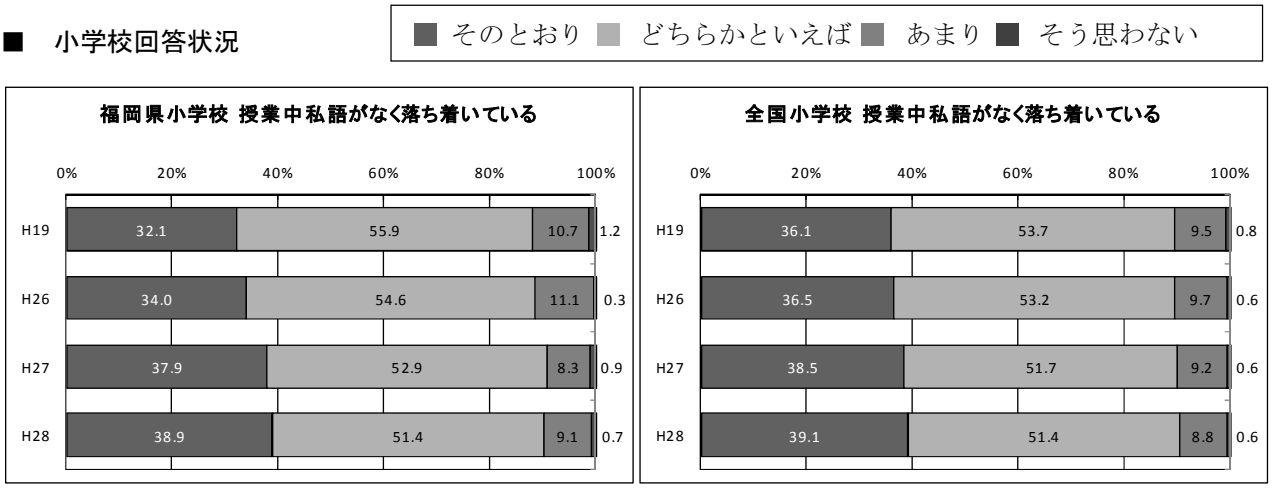
学習規律

※　数字は、学校質問紙中の質問番号

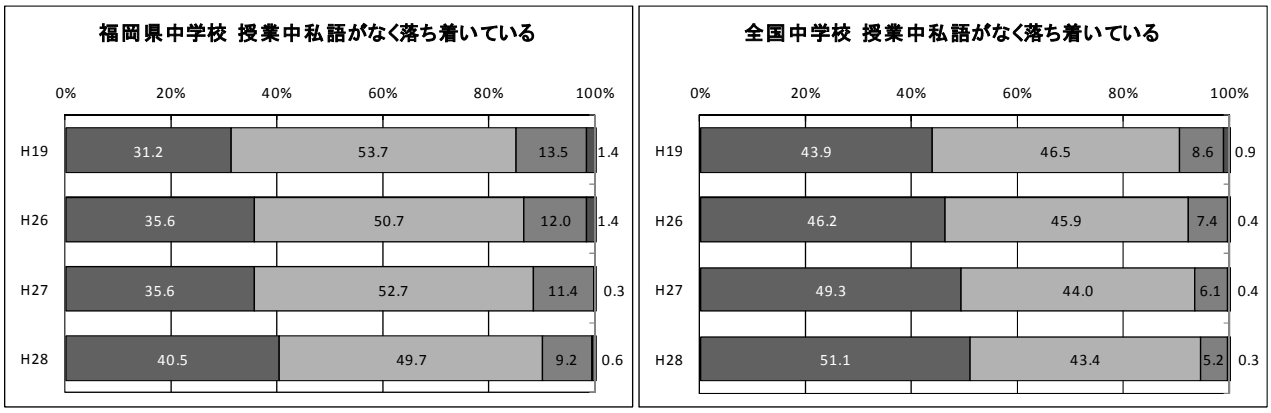
小 15・中 15	授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか。

○　そのとおりだと思う、どちらかといえばそう思うと回答している学校の割合は、平成２７年度と比較して小学校は減少し、中学校は増加している。
○　そのとおりと回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は同程度だが、中学校は 10.6 ポイント下回っている。
○　そのとおりだと思う、どちらかといえばそう思うと回答している学校の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

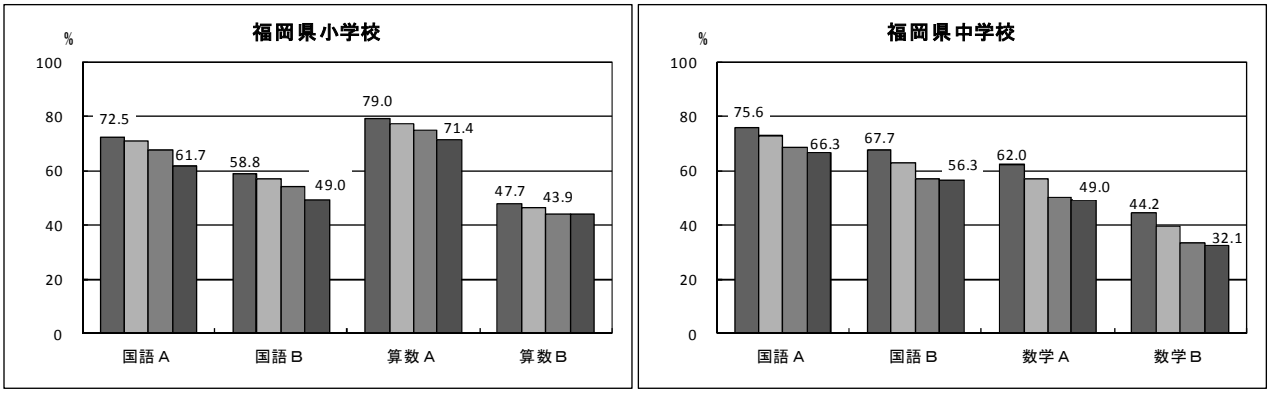
■　小学校回答状況



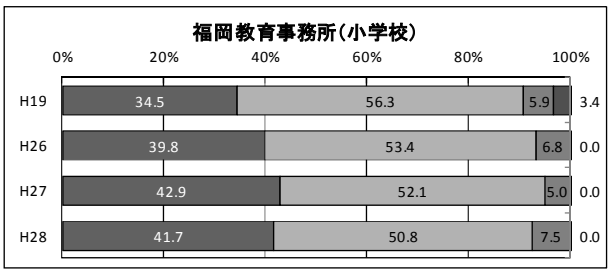
■　中学校回答状況

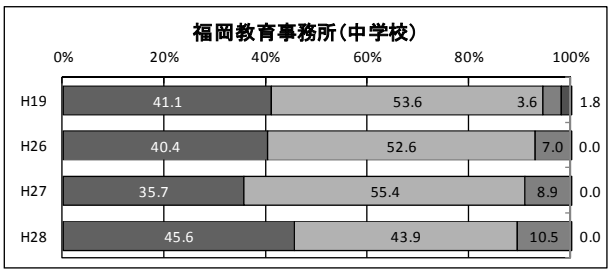


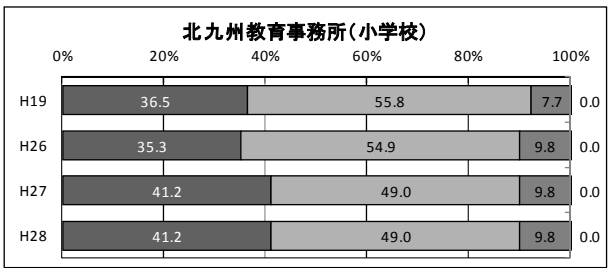
■　教科の正答率との相関関係

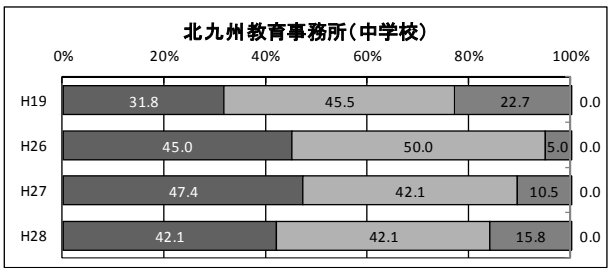


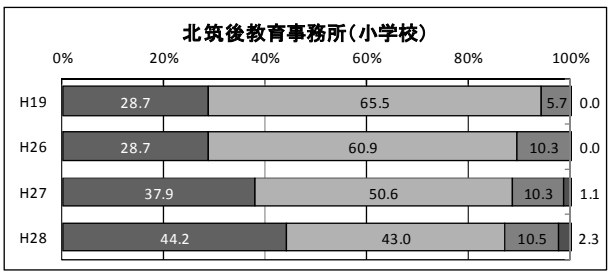
■　地区別回答状況

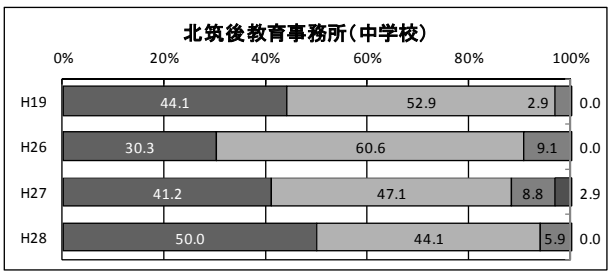

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 34.5 56.3 5.9 3.4
H26 39.8 53.4 6.8 0.0
H27 42.9 52.1 5.0 0.0
H28 41.7 50.8 7.5 0.0

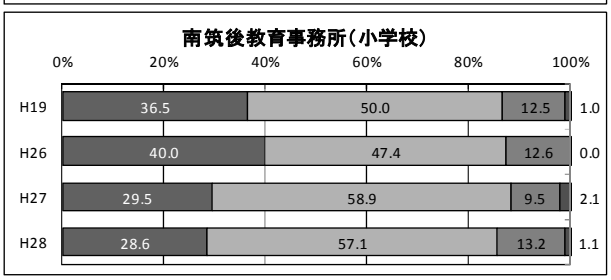

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 41.1 53.6 3.6 1.8
H26 40.4 52.6 7.0 0.0
H27 35.7 55.4 8.9 0.0
H28 45.6 43.9 10.5 0.0

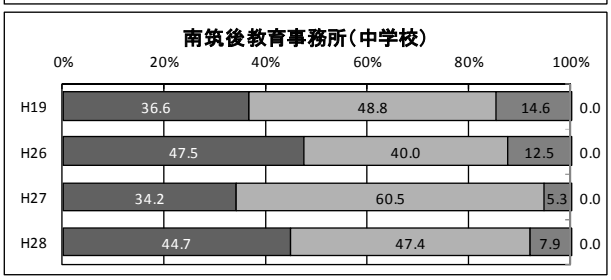

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 36.5 55.8 7.7 0.0
H26 35.3 54.9 9.8 0.0
H27 41.2 49.0 9.8 0.0
H28 41.2 49.0 9.8 0.0

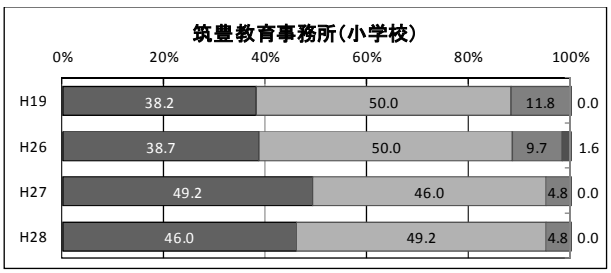

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 31.8 45.5 22.7 0.0
H26 45.0 50.0 5.0 0.0
H27 47.4 42.1 10.5 0.0
H28 42.1 42.1 15.8 0.0

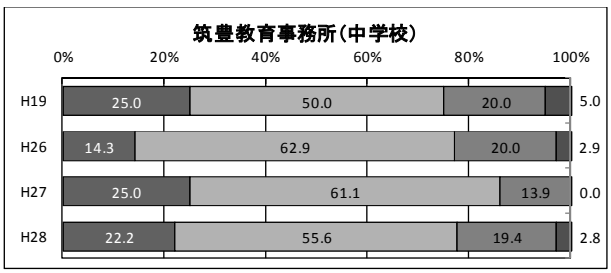

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 28.7 65.5 5.7 0.0
H26 28.7 60.9 10.3 0.0
H27 37.9 50.6 10.3 1.1
H28 44.2 43.0 10.5 2.3

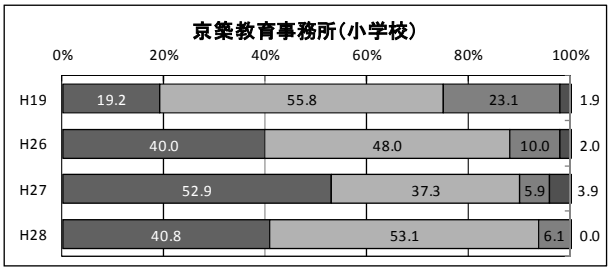

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 44.1 52.9 2.9 0.0
H26 30.3 60.6 9.1 0.0
H27 41.2 47.1 8.8 2.9
H28 50.0 44.1 5.9 0.0

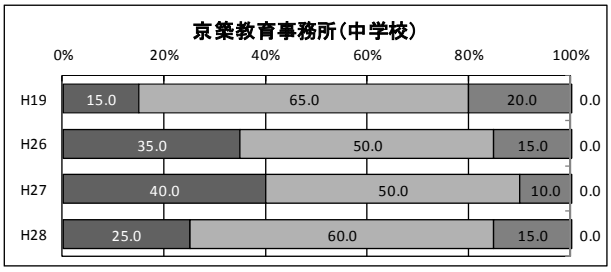

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 36.5 50.0 12.5 1.0
H26 40.0 47.4 12.6 0.0
H27 29.5 58.9 9.5 2.1
H28 28.6 57.1 13.2 1.1

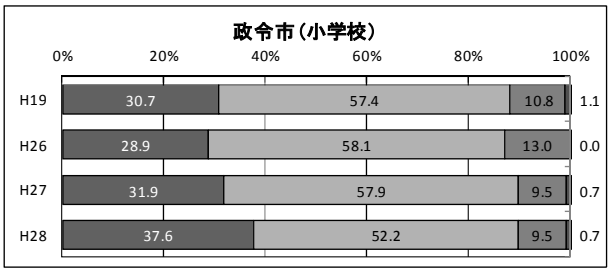

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 36.6 48.8 14.6 0.0
H26 47.5 40.0 12.5 0.0
H27 34.2 60.5 5.3 0.0
H28 44.7 47.4 7.9 0.0

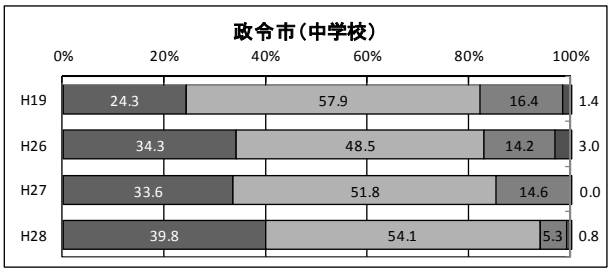

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 38.2 50.0 11.8 0.0
H26 38.7 50.0 9.7 1.6
H27 49.2 46.0 4.8 0.0
H28 46.0 49.2 4.8 0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 25.0 50.0 20.0 5.0
H26 14.3 62.9 20.0 2.9
H27 25.0 61.1 13.9 0.0
H28 22.2 55.6 19.4 2.8


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 19.2 55.8 23.1 1.9
H26 40.0 48.0 10.0 2.0
H27 52.9 37.3 5.9 3.9
H28 40.8 53.1 6.1 0.0


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 15.0 65.0 20.0 0.0
H26 35.0 50.0 15.0 0.0
H27 40.0 50.0 10.0 0.0
H28 25.0 60.0 15.0 0.0


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 30.7 57.4 10.8 1.1
H26 28.9 58.1 13.0 0.0
H27 31.9 57.9 9.5 0.7
H28 37.6 52.2 9.5 0.7

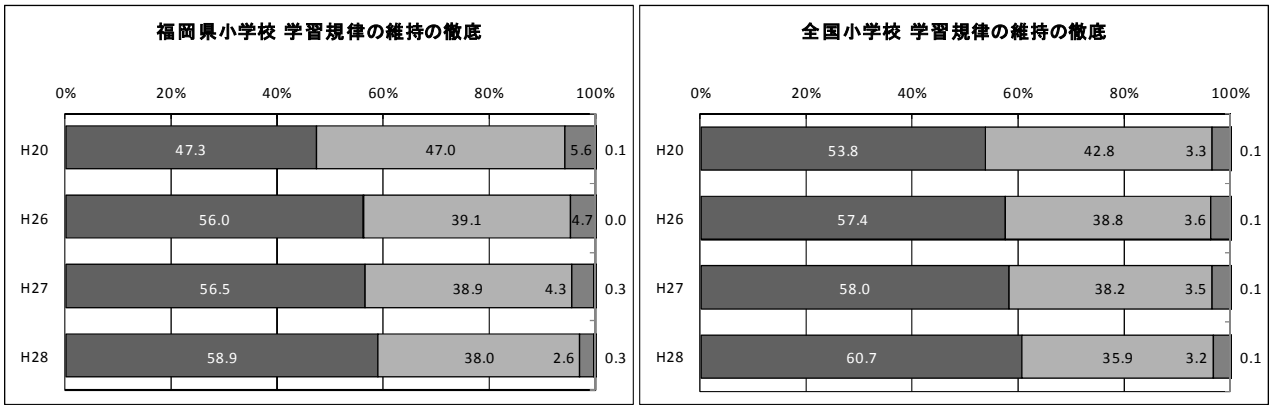

政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 24.3 57.9 16.4 1.4
H26 34.3 48.5 14.2 3.0
H27 33.6 51.8 14.6 0.0
H28 39.8 54.1 5.3 0.8

小51・中51	前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞くなど）の維持を徹底しましたか。

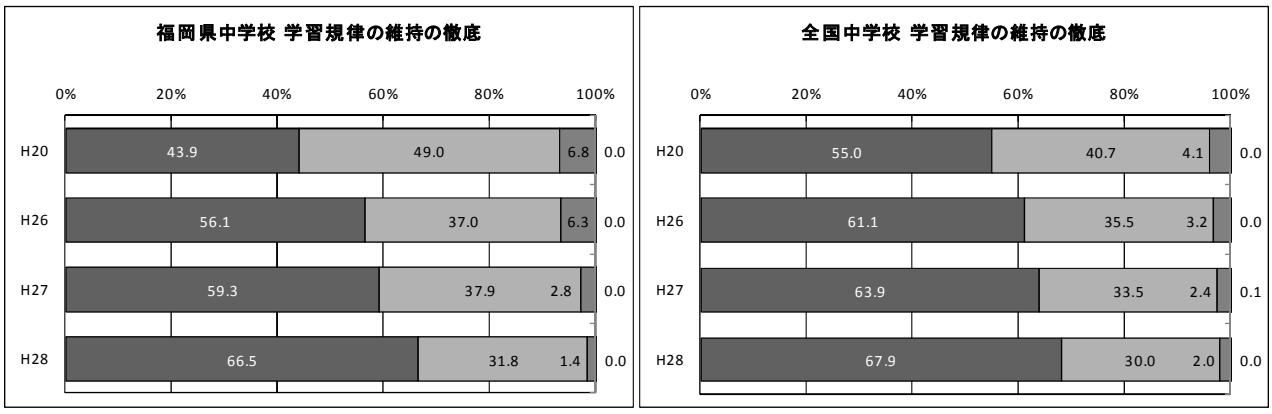
※平成２０年度から加えられた質問

○　よく行ったと回答している学校の割合は、平成２７年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　よく行ったと回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は1.8ポイント、中学校は1.4ポイント下回っている。
○　よく行った、どちらかといえば行ったと回答している学校の正答率は、小学校の全教科区分において高い傾向にある。

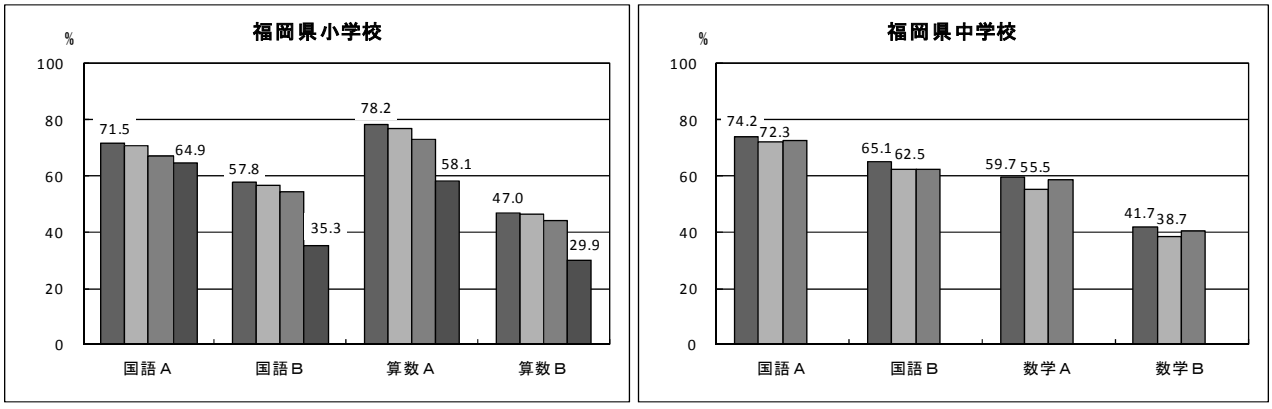
■　小学校回答状況



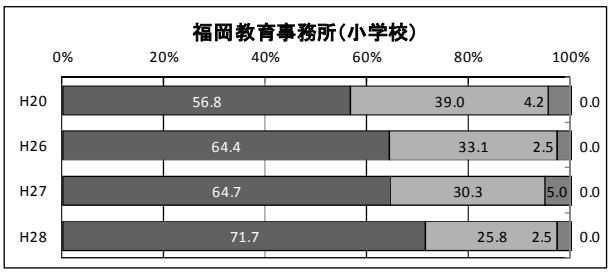
■　中学校回答状況

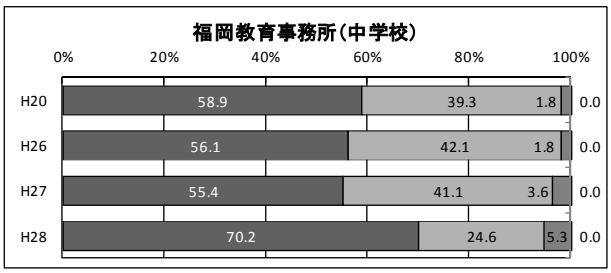


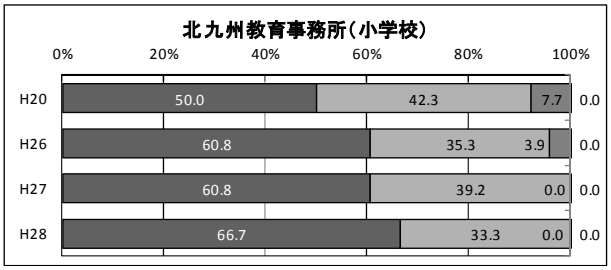
■　教科の正答率との相関関係

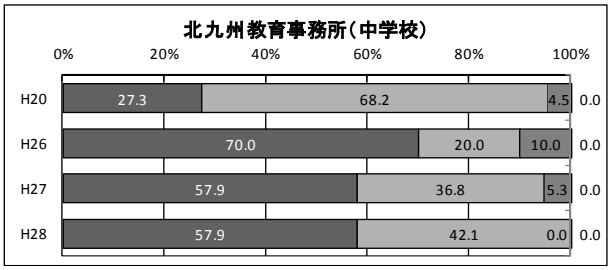


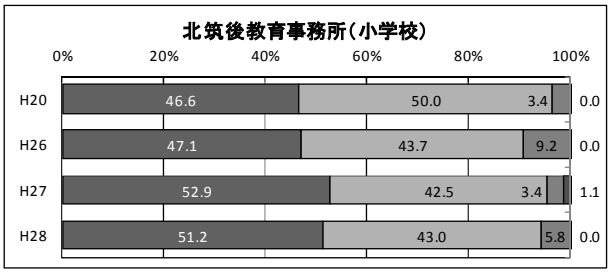
■　地区別回答状況

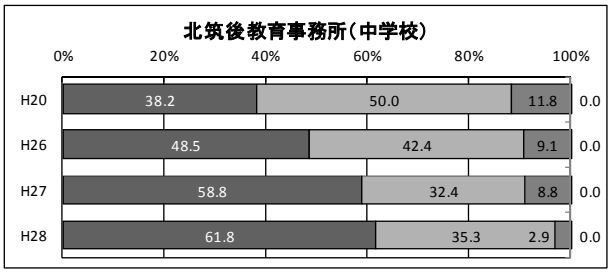

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
56.8
39.0
4.2
0.0
H26
64.4
33.1
2.5
0.0
H27
64.7
30.3
5.0
0.0
H28
71.7
25.8
2.5
0.0

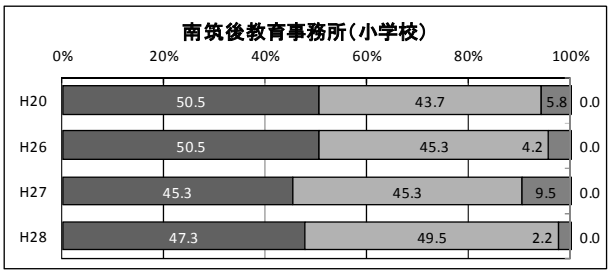

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
58.9
39.3
1.8
0.0
H26
56.1
42.1
1.8
0.0
H27
55.4
41.1
3.6
0.0
H28
70.2
24.6
5.3
0.0

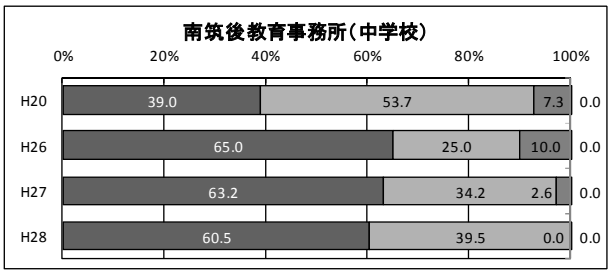

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
50.0
42.3
7.7
0.0
H26
60.8
35.3
3.9
0.0
H27
60.8
39.2
0.0
0.0
H28
66.7
33.3
0.0
0.0

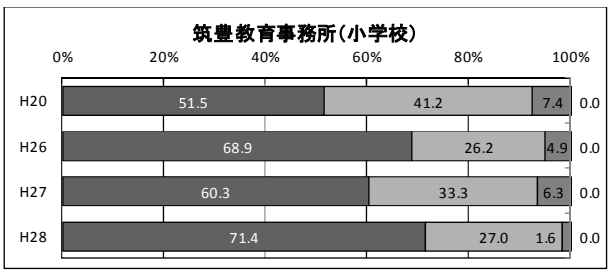

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
27.3
68.2
4.5
0.0
H26
70.0
20.0
10.0
0.0
H27
57.9
36.8
5.3
0.0
H28
57.9
42.1
0.0
0.0

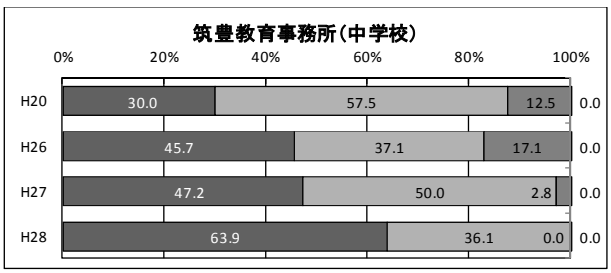

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
46.6
50.0
3.4
0.0
H26
47.1
43.7
9.2
0.0
H27
52.9
42.5
3.4
1.1
H28
51.2
43.0
5.8
0.0

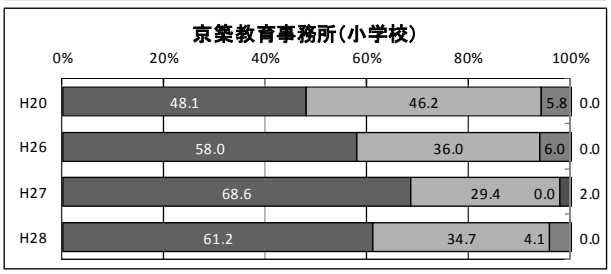

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
38.2
50.0
11.8
0.0
H26
48.5
42.4
9.1
0.0
H27
58.8
32.4
8.8
0.0
H28
61.8
35.3
2.9
0.0

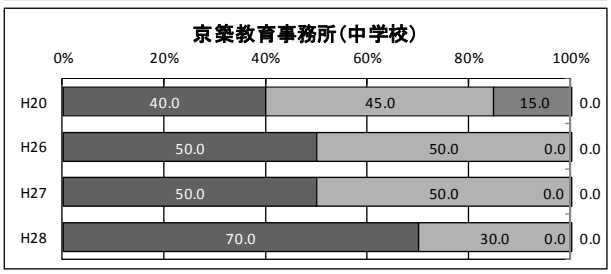

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
50.5
43.7
5.8
0.0
H26
50.5
45.3
4.2
0.0
H27
45.3
45.3
9.5
0.0
H28
47.3
49.5
2.2
0.0

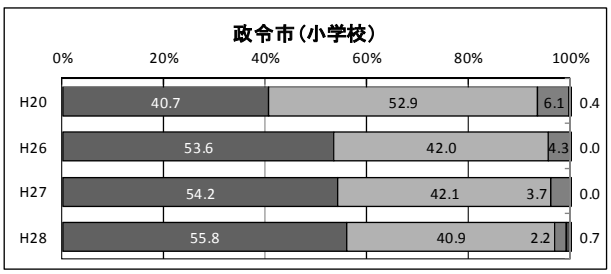

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
39.0
53.7
7.3
0.0
H26
65.0
25.0
10.0
0.0
H27
63.2
34.2
2.6
0.0
H28
60.5
39.5
0.0
0.0

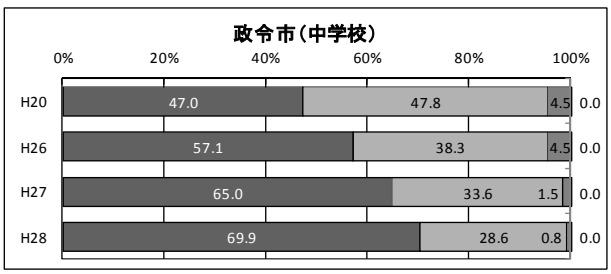

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
51.5
41.2
7.4
0.0
H26
68.9
26.2
4.9
0.0
H27
60.3
33.3
6.3
0.0
H28
71.4
27.0
1.6
0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
30.0
57.5
12.5
0.0
H26
45.7
37.1
17.1
0.0
H27
47.2
50.0
2.8
0.0
H28
63.9
36.1
0.0
0.0


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
48.1
46.2
5.8
0.0
H26
58.0
36.0
6.0
0.0
H27
68.6
29.4
0.0
2.0
H28
61.2
34.7
4.1
0.0


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
40.0
45.0
15.0
0.0
H26
50.0
50.0
0.0
0.0
H27
50.0
50.0
0.0
0.0
H28
70.0
30.0
0.0
0.0


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
40.7
52.9
6.1
0.4
H26
53.6
42.0
4.3
0.0
H27
54.2
42.1
3.7
0.0
H28
55.8
40.9
2.2
0.7


政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
47.0
47.8
4.5
0.0
H26
57.1
38.3
4.5
0.0
H27
65.0
33.6
1.5
0.0
H28
69.9
28.6
0.8
0.0

２　授業づくり

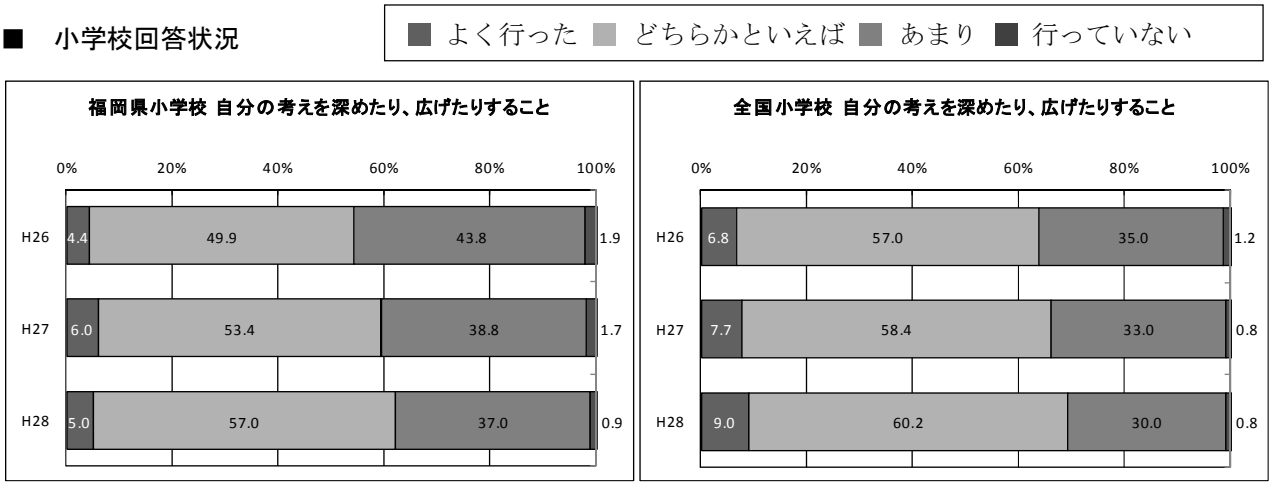
（１）　指導方法

小 19・中 19	学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。

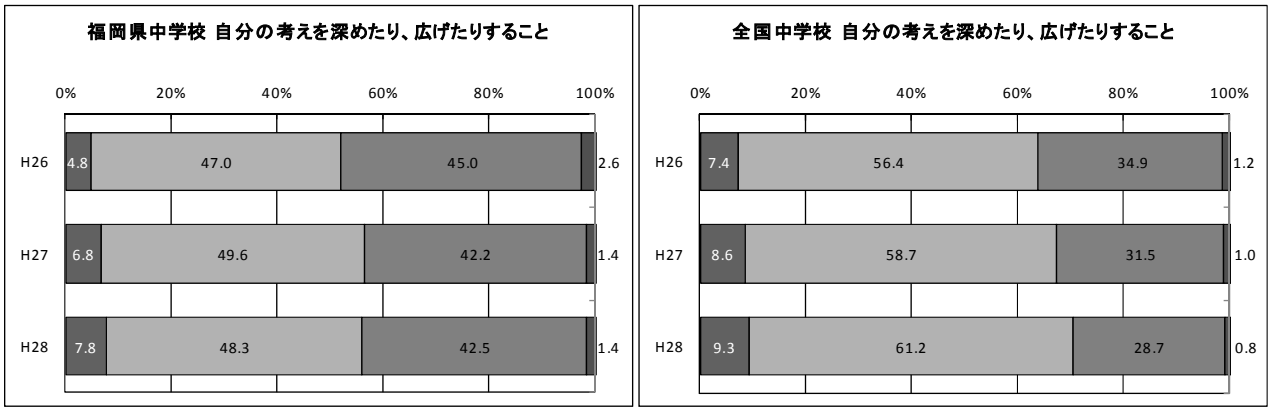
※平成２６年度から加えられた質問

○　よく行ったと回答している学校の割合は、平成２７年度と比較して小学校は減少し、中学校は増加している。
○　よく行ったと回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は 4.0 ポイント、中学校は 1.5 ポイント下回っている。
○　よく行ったと思う、どちらかといえばそう思うと回答している学校の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

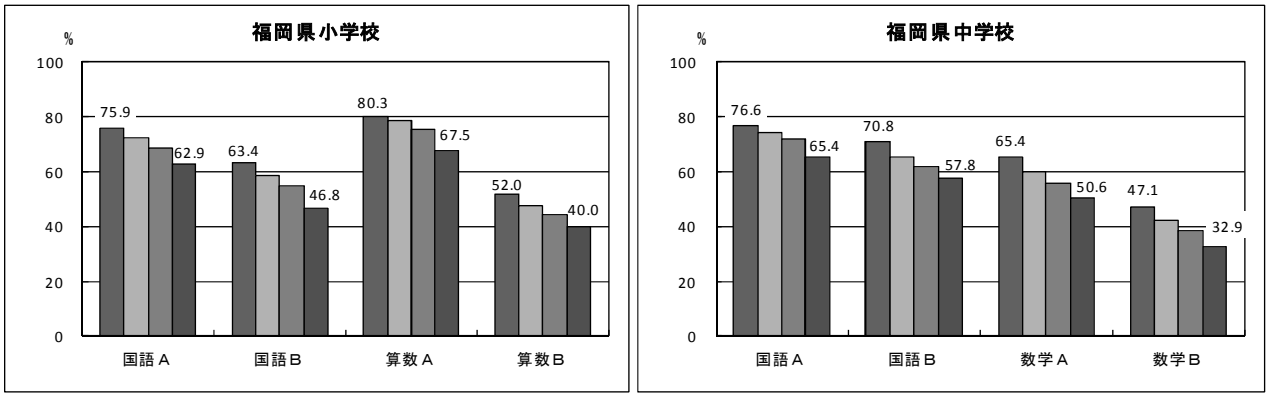
■　小学校回答状況



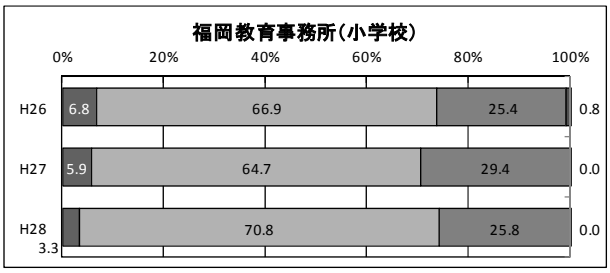
■　中学校回答状況

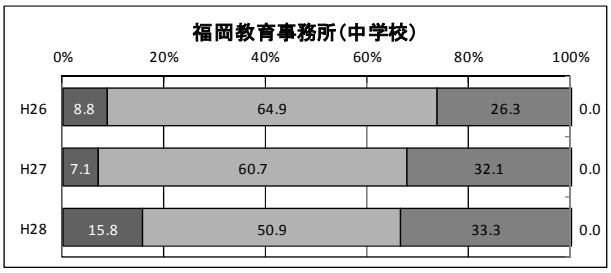


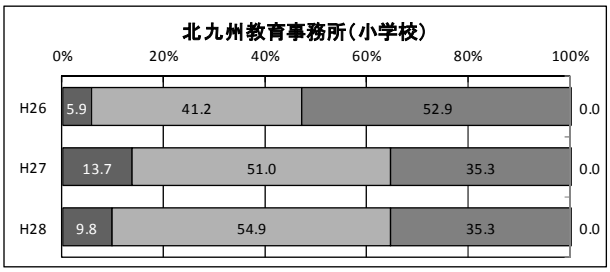
■　教科の正答率との相関関係

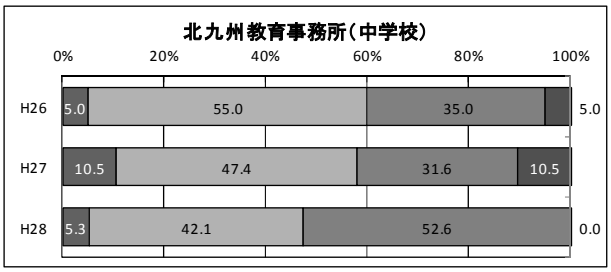


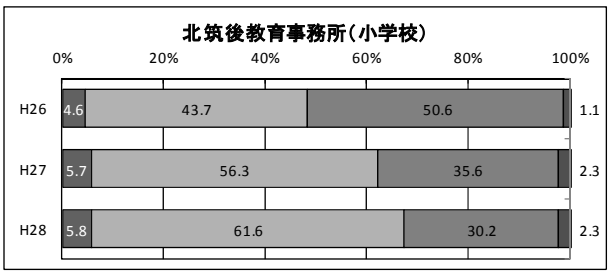
■　地区別回答状況

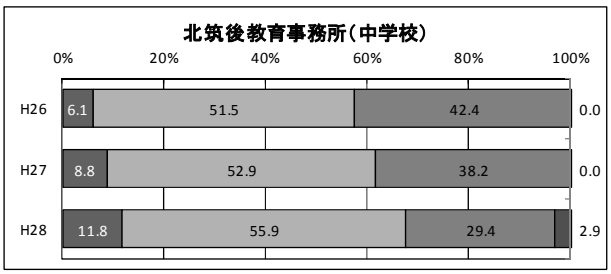

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 6.8 66.9 25.4 0.8
H27 5.9 64.7 29.4 0.0
H28 3.3 70.8 25.8 0.0

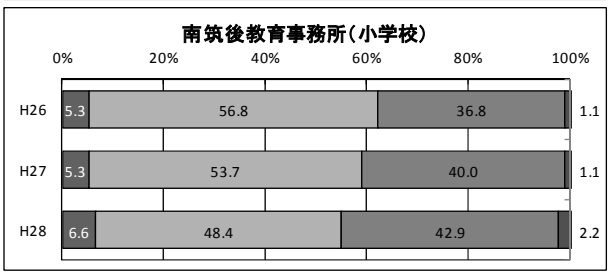

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 8.8 64.9 26.3 0.0
H27 7.1 60.7 32.1 0.0
H28 15.8 50.9 33.3 0.0

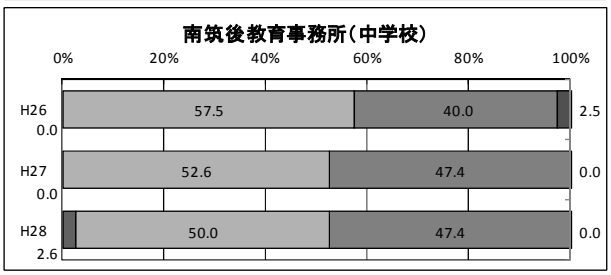

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 5.9 41.2 52.9 0.0
H27 13.7 51.0 35.3 0.0
H28 9.8 54.9 35.3 0.0

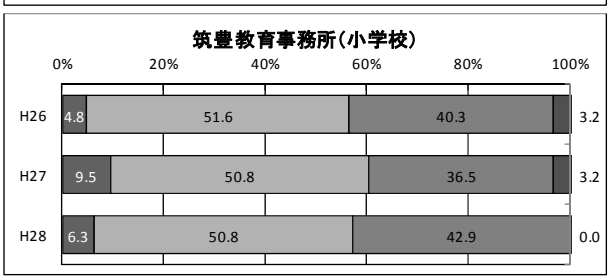

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 5.0 55.0 35.0 5.0
H27 10.5 47.4 31.6 10.5
H28 5.3 42.1 52.6 0.0

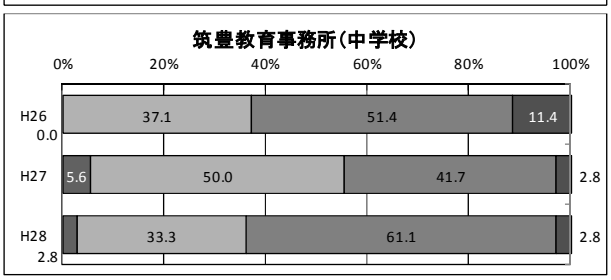

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 4.6 43.7 50.6 1.1
H27 5.7 56.3 35.6 2.3
H28 5.8 61.6 30.2 2.3

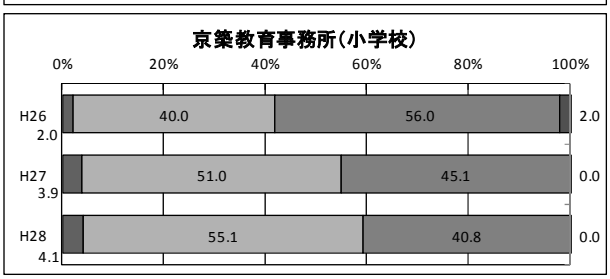

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 6.1 51.5 42.4 0.0
H27 8.8 52.9 38.2 0.0
H28 11.8 55.9 29.4 2.9

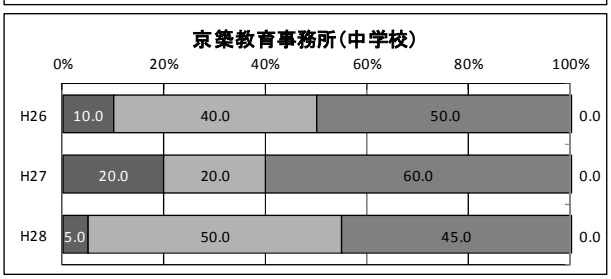

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 5.3 56.8 36.8 1.1
H27 5.3 53.7 40.0 1.1
H28 6.6 48.4 42.9 2.2

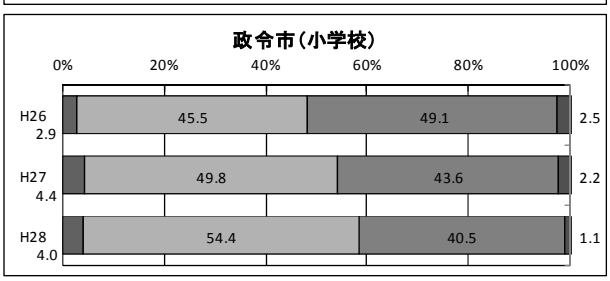

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 0.0 57.5 40.0 2.5
H27 0.0 52.6 47.4 0.0
H28 2.6 50.0 47.4 0.0

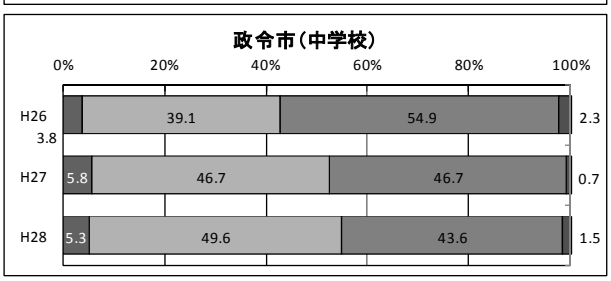

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 4.8 51.6 40.3 3.2
H27 9.5 50.8 36.5 3.2
H28 6.3 50.8 42.9 0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 0.0 37.1 51.4 11.4
H27 5.6 50.0 41.7 2.8
H28 2.8 33.3 61.1 2.8


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 2.0 40.0 56.0 2.0
H27 3.9 51.0 45.1 0.0
H28 4.1 55.1 40.8 0.0


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 10.0 40.0 50.0 0.0
H27 20.0 20.0 60.0 0.0
H28 5.0 50.0 45.0 0.0


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 2.9 45.5 49.1 2.5
H27 4.4 49.8 43.6 2.2
H28 4.0 54.4 40.5 1.1


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H26 3.8 39.1 54.9 2.3
H27 5.8 46.7 46.7 0.7
H28 5.3 49.6 43.6 1.5

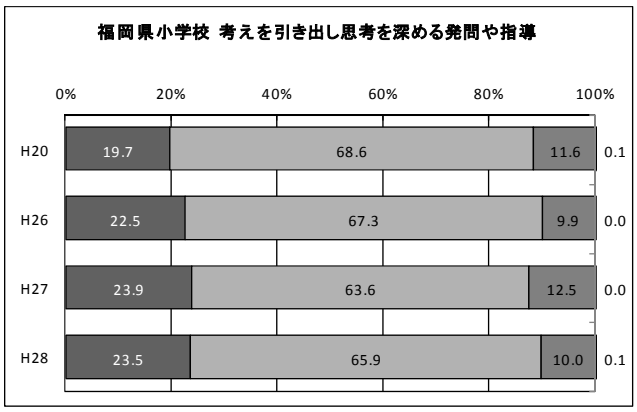
小 39・中 39	前年度までに、児童（生徒）の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか。

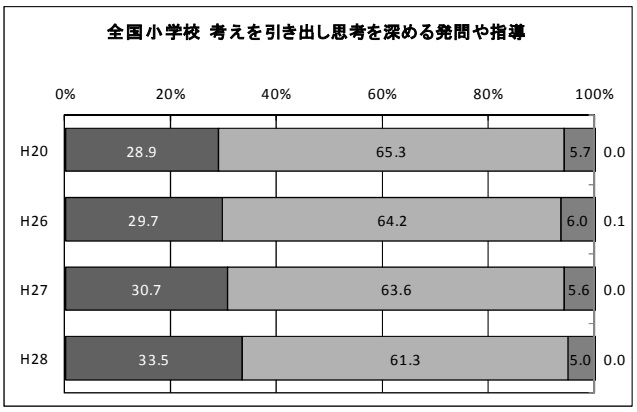
※平成２０年度から加えられた質問

○　よく行ったと回答している学校の割合は、平成２７年度と比較して小学校は減少し、中学校は増加している。
○　よく行ったと回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は 10.0 ポイント、中学校は 8.0 ポイント下回っている。
○　よく行った、どちらかといえば行ったと回答している学校の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

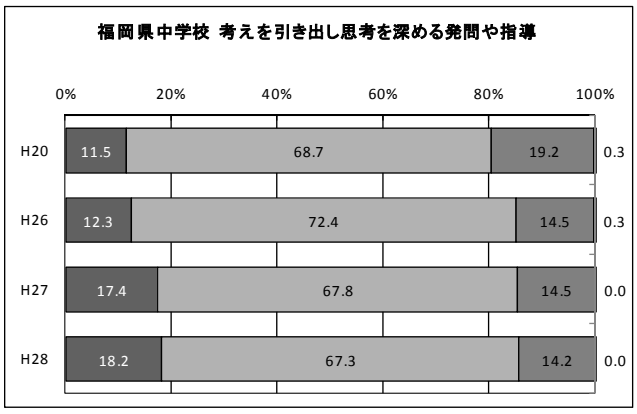
■ よく行った ■ どちらかといえば ■ あまり ■ 行っていない

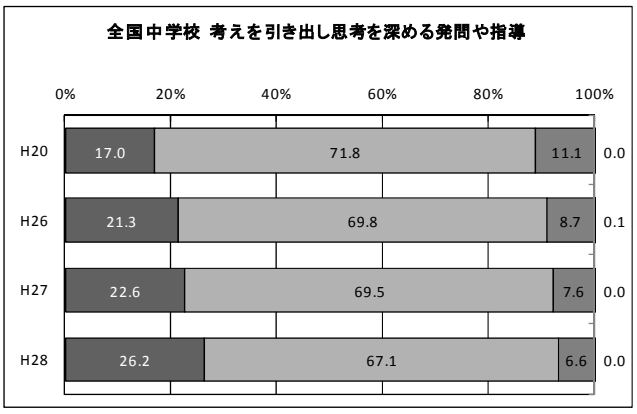
■　小学校回答状況



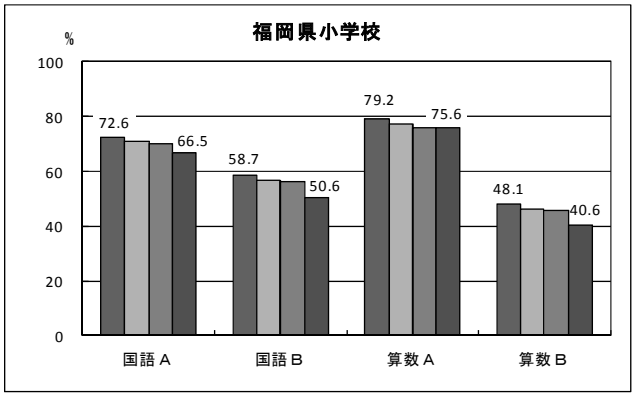


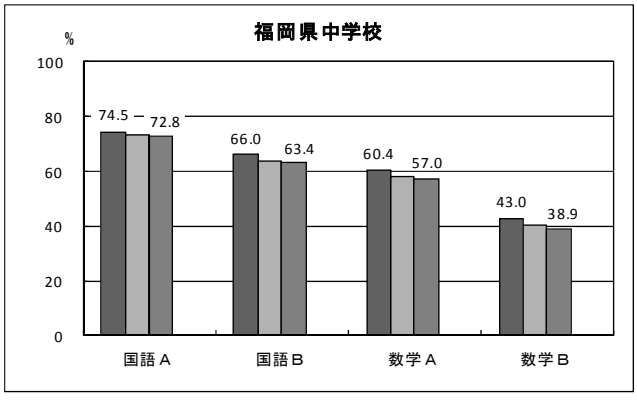
■　中学校回答状況



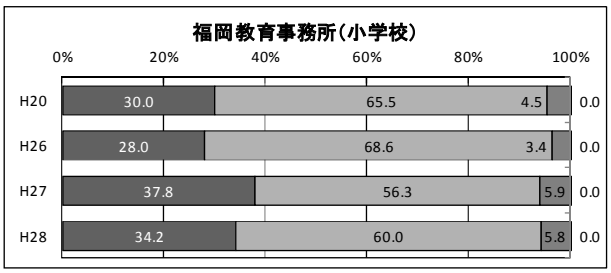


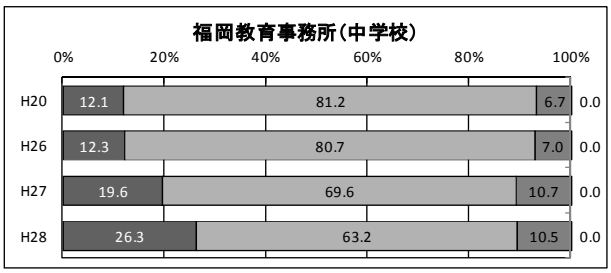
■　教科の正答率との相関関係

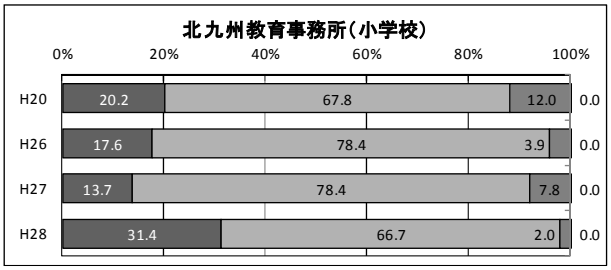


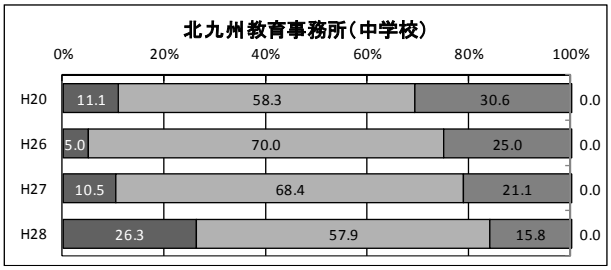


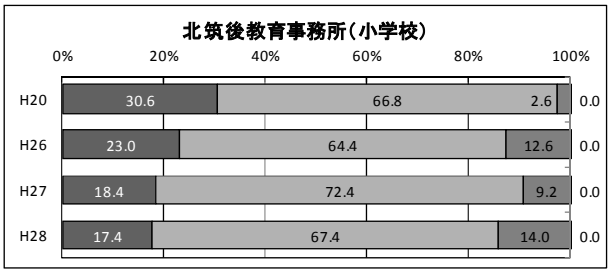
■　地区別回答状況

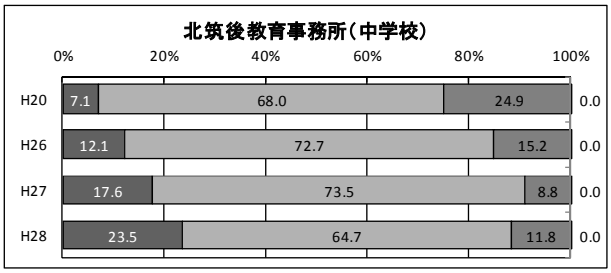

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 30.0 65.5 4.5 0.0
H26 28.0 68.6 3.4 0.0
H27 37.8 56.3 5.9 0.0
H28 34.2 60.0 5.8 0.0

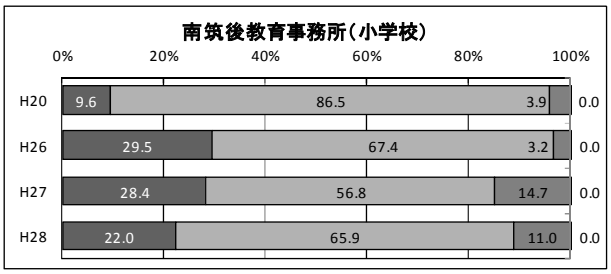

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 12.1 81.2 6.7 0.0
H26 12.3 80.7 7.0 0.0
H27 19.6 69.6 10.7 0.0
H28 26.3 63.2 10.5 0.0

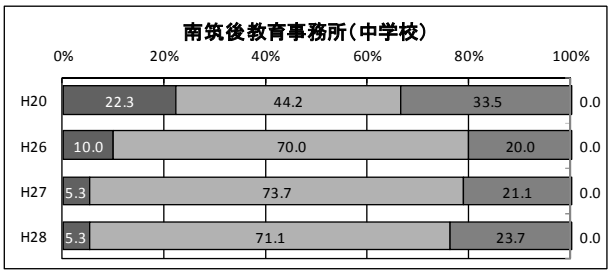

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 20.2 67.8 12.0 0.0
H26 17.6 78.4 3.9 0.0
H27 13.7 78.4 7.8 0.0
H28 31.4 66.7 2.0 0.0

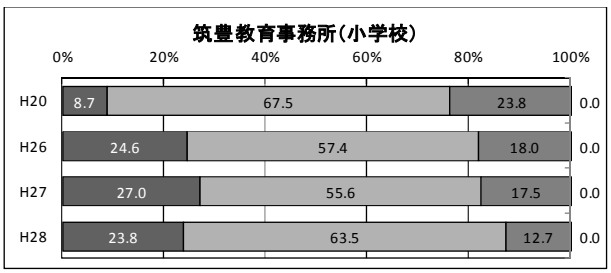

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 11.1 58.3 30.6 0.0
H26 5.0 70.0 25.0 0.0
H27 10.5 68.4 21.1 0.0
H28 26.3 57.9 15.8 0.0

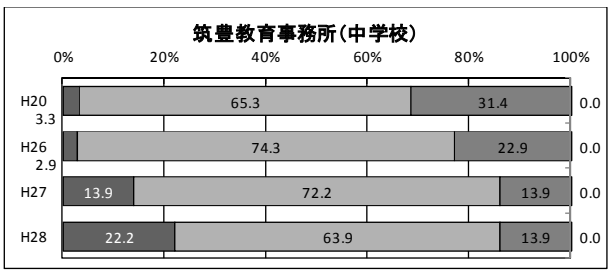

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 30.6 66.8 2.6 0.0
H26 23.0 64.4 12.6 0.0
H27 18.4 72.4 9.2 0.0
H28 17.4 67.4 14.0 0.0

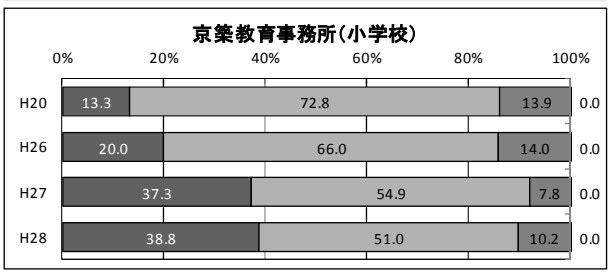

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 7.1 68.0 24.9 0.0
H26 12.1 72.7 15.2 0.0
H27 17.6 73.5 8.8 0.0
H28 23.5 64.7 11.8 0.0

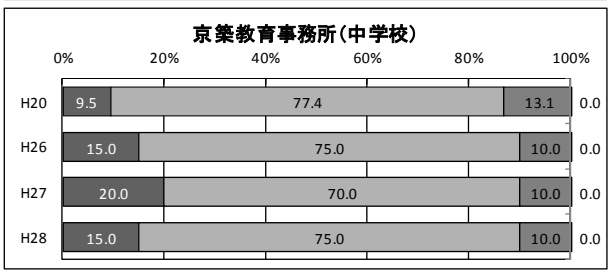

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 9.6 86.5 3.9 0.0
H26 29.5 67.4 3.2 0.0
H27 28.4 56.8 14.7 0.0
H28 22.0 65.9 11.0 0.0

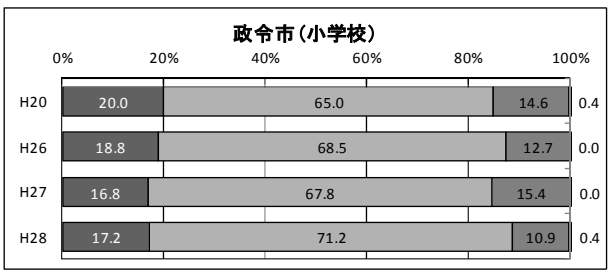

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 22.3 44.2 33.5 0.0
H26 10.0 70.0 20.0 0.0
H27 5.3 73.7 21.1 0.0
H28 5.3 71.1 23.7 0.0

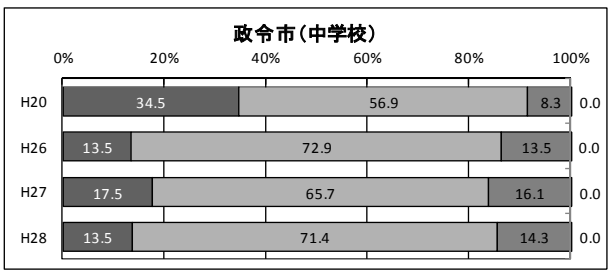

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 8.7 67.5 23.8 0.0
H26 24.6 57.4 18.0 0.0
H27 27.0 55.6 17.5 0.0
H28 23.8 63.5 12.7 0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 3.3 65.3 31.4 0.0
H26 2.9 74.3 22.9 0.0
H27 13.9 72.2 13.9 0.0
H28 22.2 63.9 13.9 0.0


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 13.3 72.8 13.9 0.0
H26 20.0 66.0 14.0 0.0
H27 37.3 54.9 7.8 0.0
H28 38.8 51.0 10.2 0.0


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 9.5 77.4 13.1 0.0
H26 15.0 75.0 10.0 0.0
H27 20.0 70.0 10.0 0.0
H28 15.0 75.0 10.0 0.0


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 20.0 65.0 14.6 0.4
H26 18.8 68.5 12.7 0.0
H27 16.8 67.8 15.4 0.0
H28 17.2 71.2 10.9 0.4


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H20 34.5 56.9 8.3 0.0
H26 13.5 72.9 13.5 0.0
H27 17.5 65.7 16.1 0.0
H28 13.5 71.4 14.3 0.0

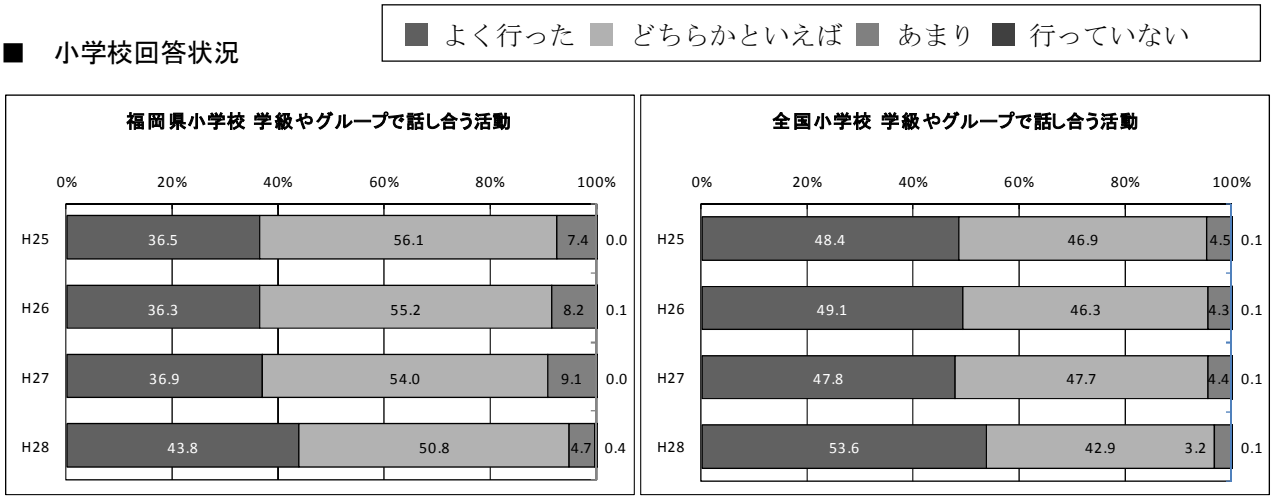
小 42・中 42	前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか。

※平成２５年度から加えられた質問

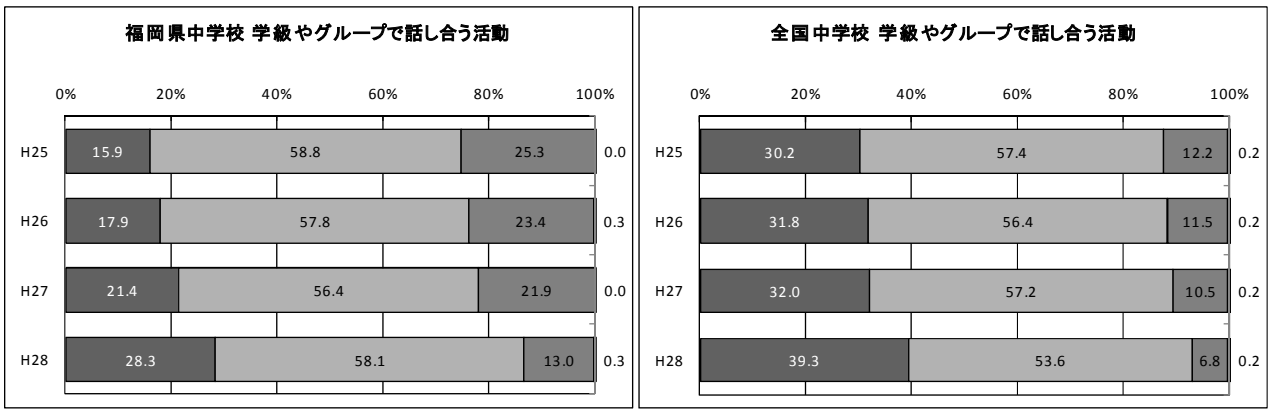
○　よく行ったと回答している学校の割合は、平成２７年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　よく行ったと回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は 9.8 ポイント、中学校は 11.0 ポイント下回っている。
○　よく行った、どちらかといえば行ったと回答している学校の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

※「行っていない」と回答した中学校は１校であったため、教科の正答率との相関関係の考察対象から除外した。

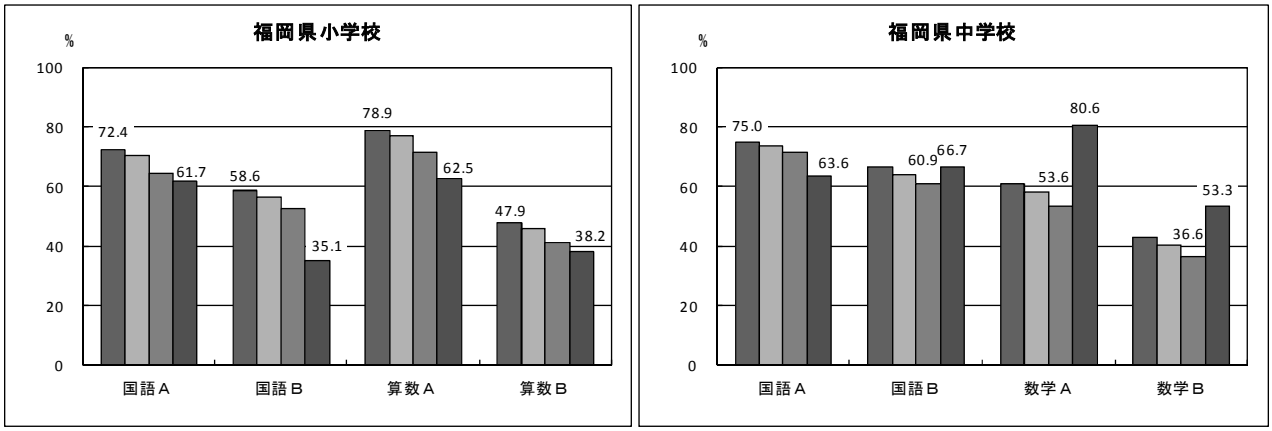
■　小学校回答状況



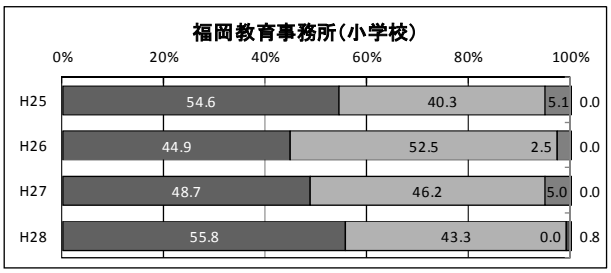
■　中学校回答状況

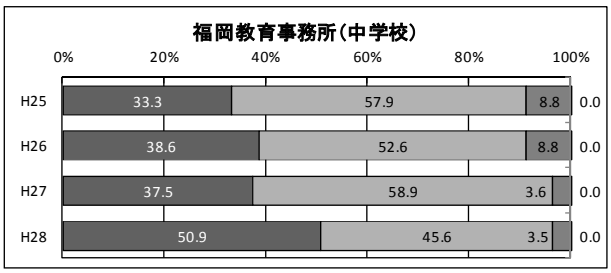


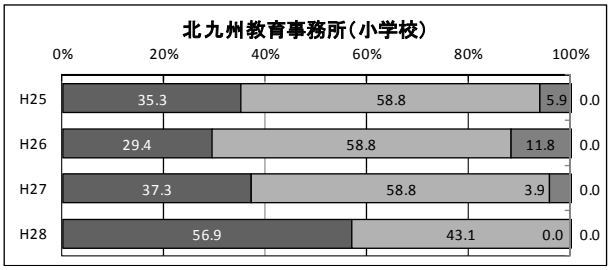
■　教科の正答率との相関関係

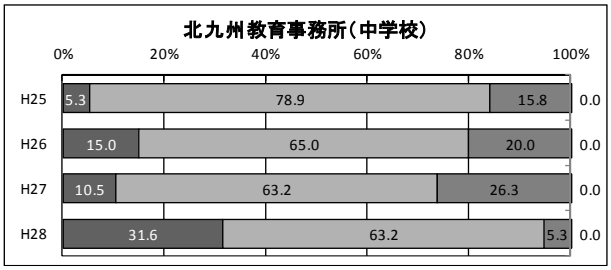


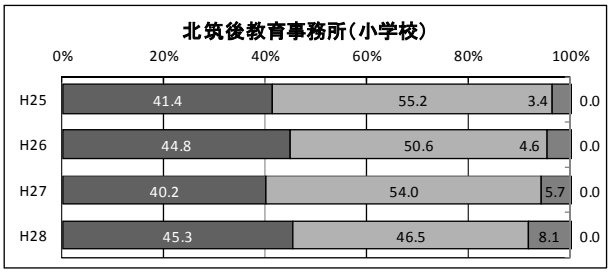
■　地区別回答状況

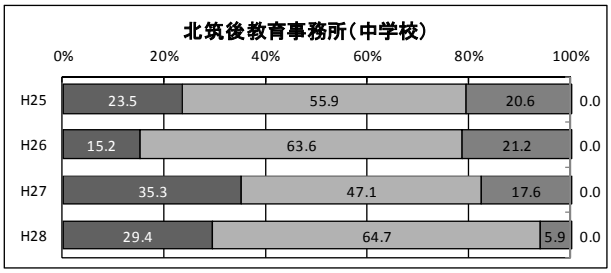

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 54.6 40.3 5.1 0.0
H26 44.9 52.5 2.5 0.0
H27 48.7 46.2 5.0 0.0
H28 55.8 43.3 0.0 0.8

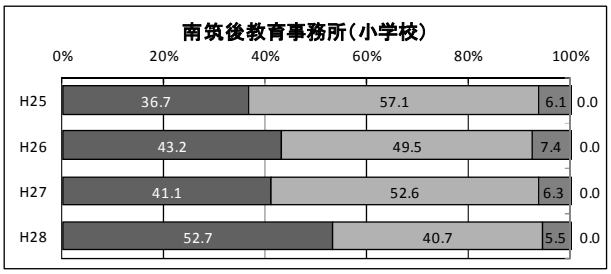

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 33.3 57.9 8.8 0.0
H26 38.6 52.6 8.8 0.0
H27 37.5 58.9 3.6 0.0
H28 50.9 45.6 3.5 0.0

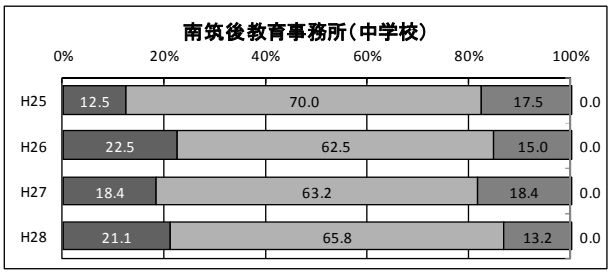

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 35.3 58.8 5.9 0.0
H26 29.4 58.8 11.8 0.0
H27 37.3 58.8 3.9 0.0
H28 56.9 43.1 0.0 0.0

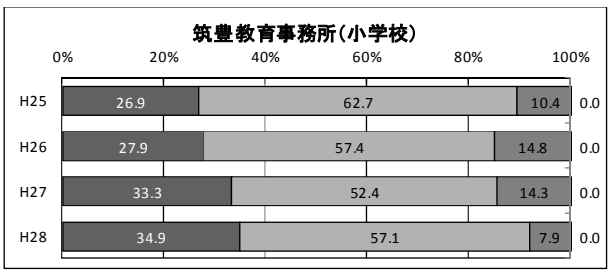

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 5.3 78.9 15.8 0.0
H26 15.0 65.0 20.0 0.0
H27 10.5 63.2 26.3 0.0
H28 31.6 63.2 5.3 0.0

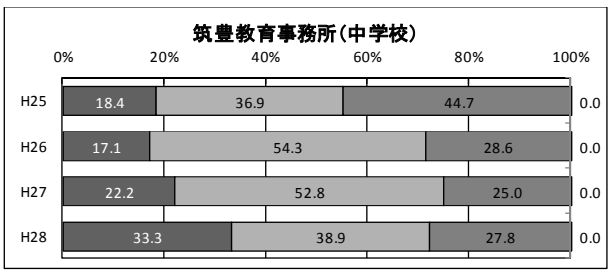

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 41.4 55.2 3.4 0.0
H26 44.8 50.6 4.6 0.0
H27 40.2 54.0 5.7 0.0
H28 45.3 46.5 8.1 0.0

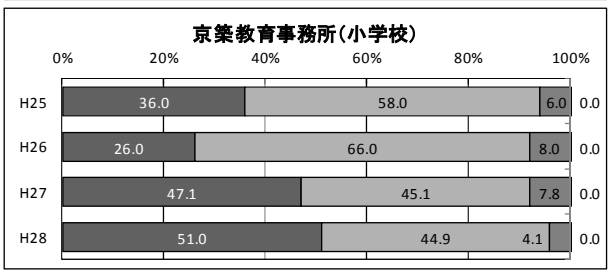

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 23.5 55.9 20.6 0.0
H26 15.2 63.6 21.2 0.0
H27 35.3 47.1 17.6 0.0
H28 29.4 64.7 5.9 0.0

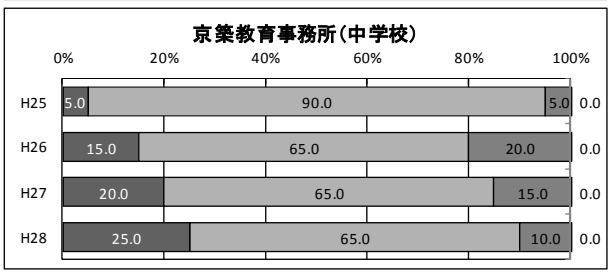

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 36.7 57.1 6.1 0.0
H26 43.2 49.5 7.4 0.0
H27 41.1 52.6 6.3 0.0
H28 52.7 40.7 5.5 0.0

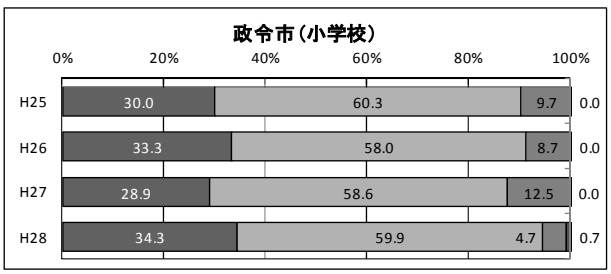

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 12.5 70.0 17.5 0.0
H26 22.5 62.5 15.0 0.0
H27 18.4 63.2 18.4 0.0
H28 21.1 65.8 13.2 0.0

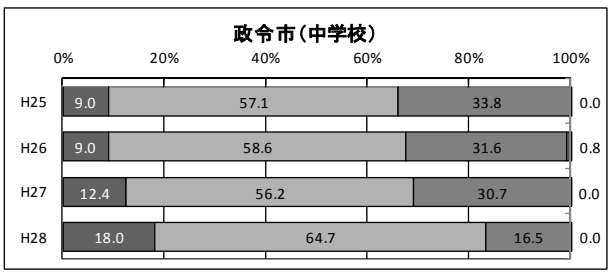

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 26.9 62.7 10.4 0.0
H26 27.9 57.4 14.8 0.0
H27 33.3 52.4 14.3 0.0
H28 34.9 57.1 7.9 0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 18.4 36.9 44.7 0.0
H26 17.1 54.3 28.6 0.0
H27 22.2 52.8 25.0 0.0
H28 33.3 38.9 27.8 0.0


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 36.0 58.0 6.0 0.0
H26 26.0 66.0 8.0 0.0
H27 47.1 45.1 7.8 0.0
H28 51.0 44.9 4.1 0.0


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 5.0 90.0 5.0 0.0
H26 15.0 65.0 20.0 0.0
H27 20.0 65.0 15.0 0.0
H28 25.0 65.0 10.0 0.0


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 30.0 60.3 9.7 0.0
H26 33.3 58.0 8.7 0.0
H27 28.9 58.6 12.5 0.0
H28 34.3 59.9 4.7 0.7


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 9.0 57.1 33.8 0.0
H26 9.0 58.6 31.6 0.8
H27 12.4 56.2 30.7 0.0
H28 18.0 64.7 16.5 0.0

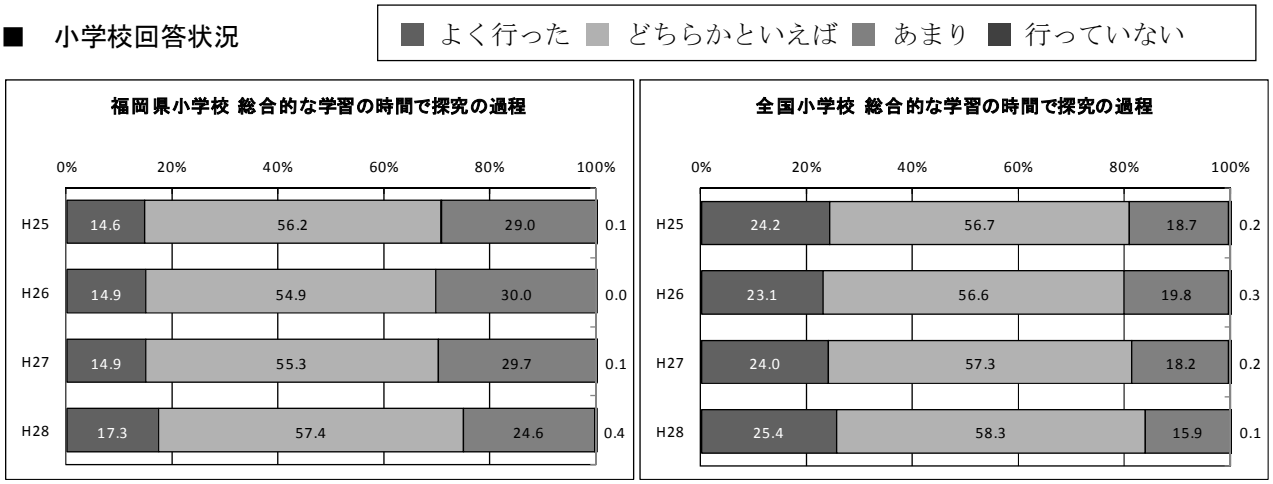
小43・中43	前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか。

※平成２５年度から加えられた質問

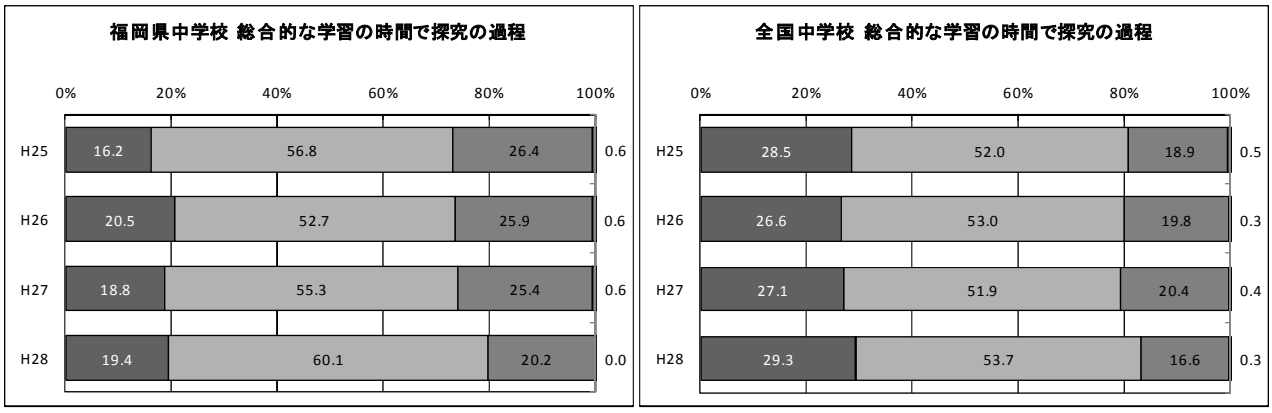
○　よく行ったと回答している学校の割合は、平成２７年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　よく行ったと回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は8.1ポイント、中学校は9.9ポイント下回っている。
○　よく行った、どちらかといえば行ったと回答している学校の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

※「行っていない」と回答した小学校は３校であったため、教科の正答率との相関関係の考察対象から除外した。

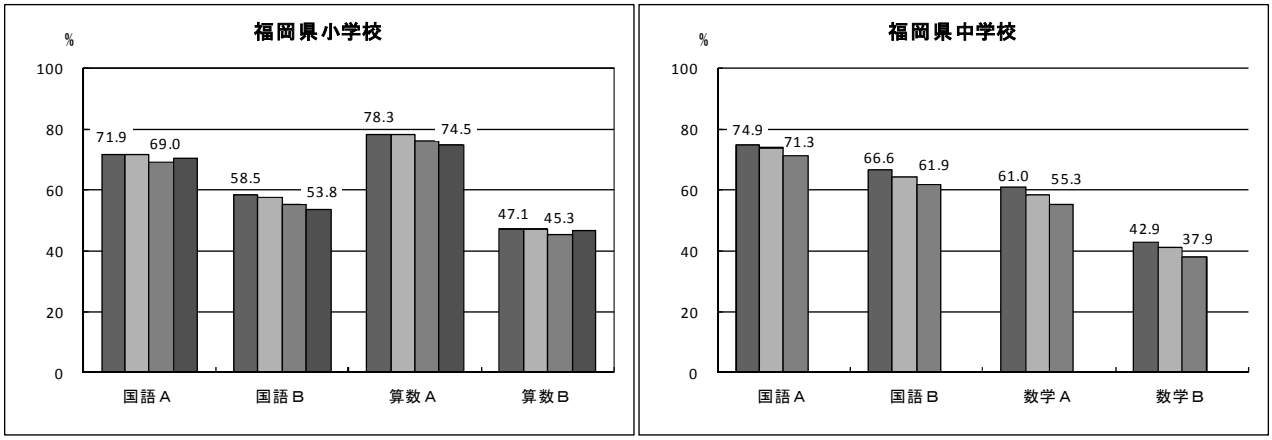
■　小学校回答状況



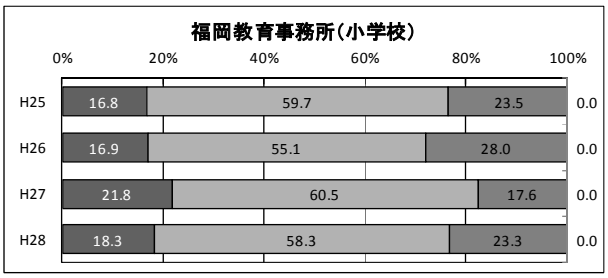
■　中学校回答状況

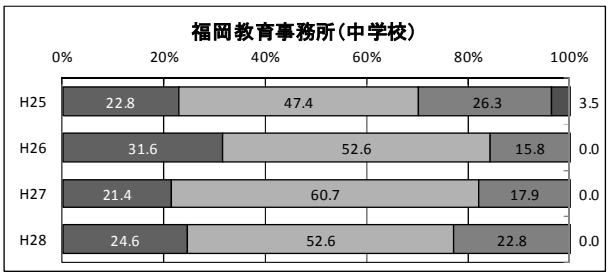


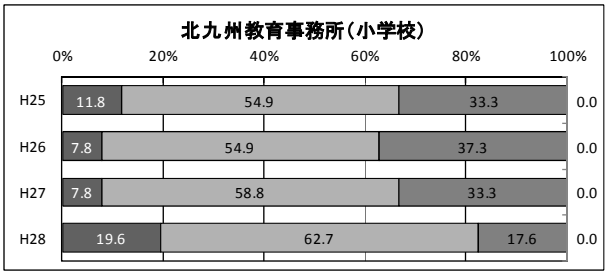
■　教科の正答率との相関関係

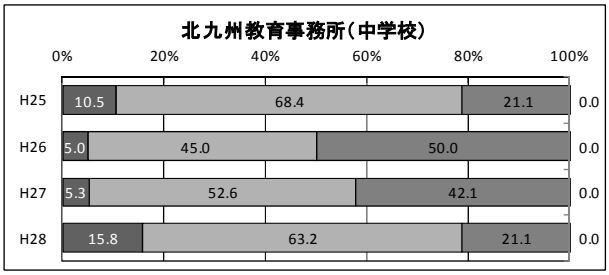


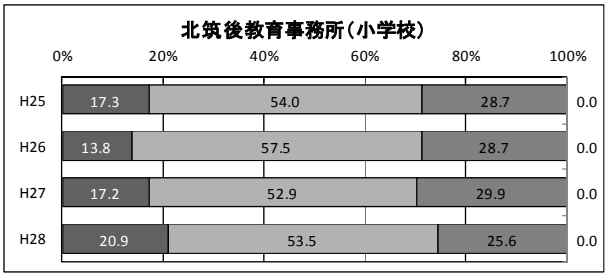
■　地区別回答状況

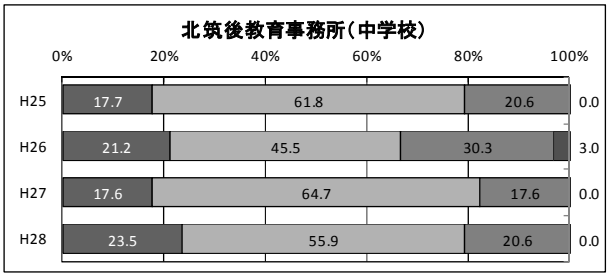

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 16.8 59.7 23.5 0.0
H26 16.9 55.1 28.0 0.0
H27 21.8 60.5 17.6 0.0
H28 18.3 58.3 23.3 0.0

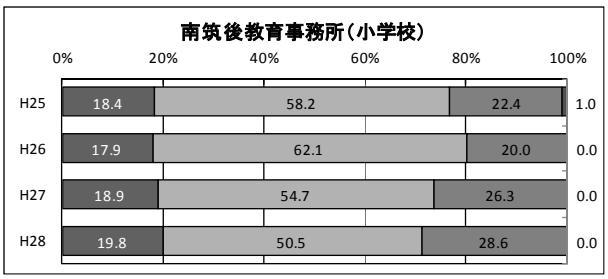

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 22.8 47.4 26.3 3.5
H26 31.6 52.6 15.8 0.0
H27 21.4 60.7 17.9 0.0
H28 24.6 52.6 22.8 0.0

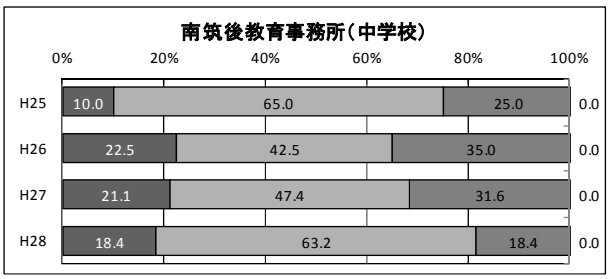

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 11.8 54.9 33.3 0.0
H26 7.8 54.9 37.3 0.0
H27 7.8 58.8 33.3 0.0
H28 19.6 62.7 17.6 0.0

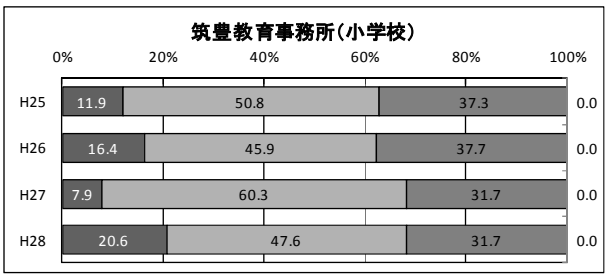

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 10.5 68.4 21.1 0.0
H26 5.0 45.0 50.0 0.0
H27 5.3 52.6 42.1 0.0
H28 15.8 63.2 21.1 0.0

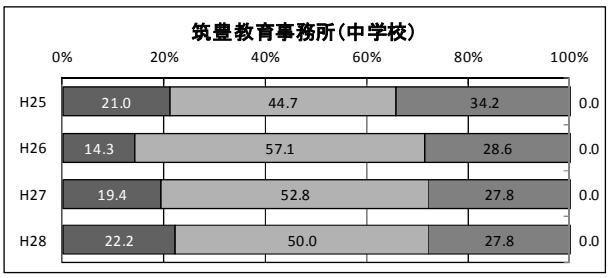

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 17.3 54.0 28.7 0.0
H26 13.8 57.5 28.7 0.0
H27 17.2 52.9 29.9 0.0
H28 20.9 53.5 25.6 0.0

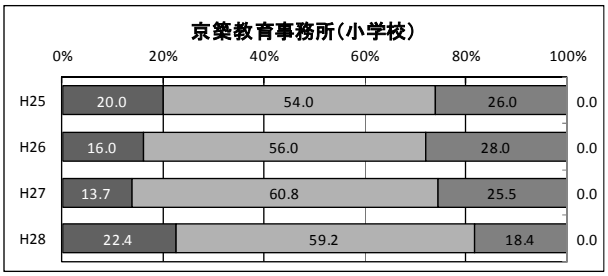

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 17.7 61.8 20.6 0.0
H26 21.2 45.5 30.3 3.0
H27 17.6 64.7 17.6 0.0
H28 23.5 55.9 20.6 0.0

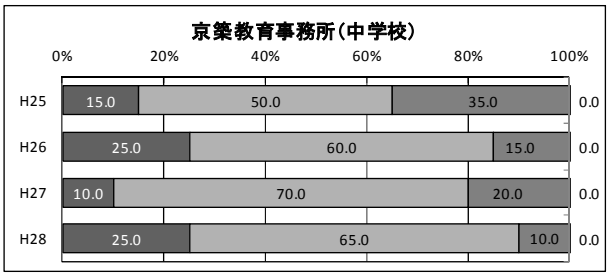

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 18.4 58.2 22.4 1.0
H26 17.9 62.1 20.0 0.0
H27 18.9 54.7 26.3 0.0
H28 19.8 50.5 28.6 0.0

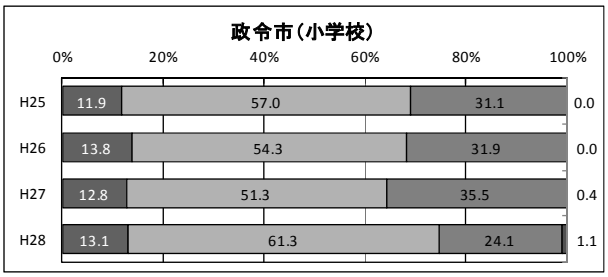

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 10.0 65.0 25.0 0.0
H26 22.5 42.5 35.0 0.0
H27 21.1 47.4 31.6 0.0
H28 18.4 63.2 18.4 0.0

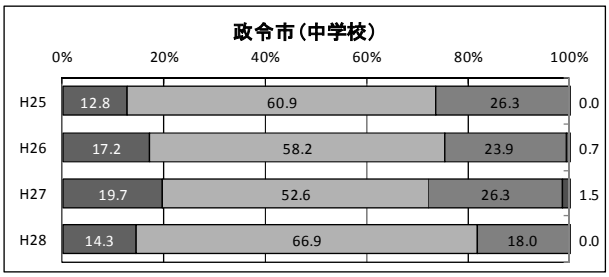

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 11.9 50.8 37.3 0.0
H26 16.4 45.9 37.7 0.0
H27 7.9 60.3 31.7 0.0
H28 20.6 47.6 31.7 0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 21.0 44.7 34.2 0.0
H26 14.3 57.1 28.6 0.0
H27 19.4 52.8 27.8 0.0
H28 22.2 50.0 27.8 0.0


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 20.0 54.0 26.0 0.0
H26 16.0 56.0 28.0 0.0
H27 13.7 60.8 25.5 0.0
H28 22.4 59.2 18.4 0.0


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 15.0 50.0 35.0 0.0
H26 25.0 60.0 15.0 0.0
H27 10.0 70.0 20.0 0.0
H28 25.0 65.0 10.0 0.0


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 11.9 57.0 31.1 0.0
H26 13.8 54.3 31.9 0.0
H27 12.8 51.3 35.5 0.4
H28 13.1 61.3 24.1 1.1

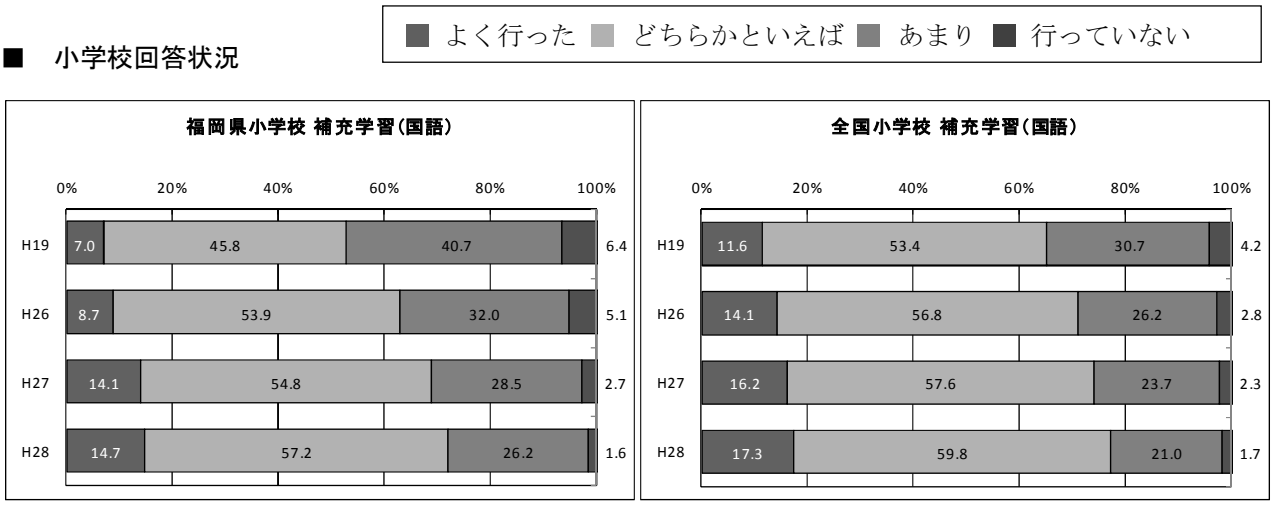

政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 12.8 60.9 26.3 0.0
H26 17.2 58.2 23.9 0.7
H27 19.7 52.6 26.3 1.5
H28 14.3 66.9 18.0 0.0

（２） 補充的な学習

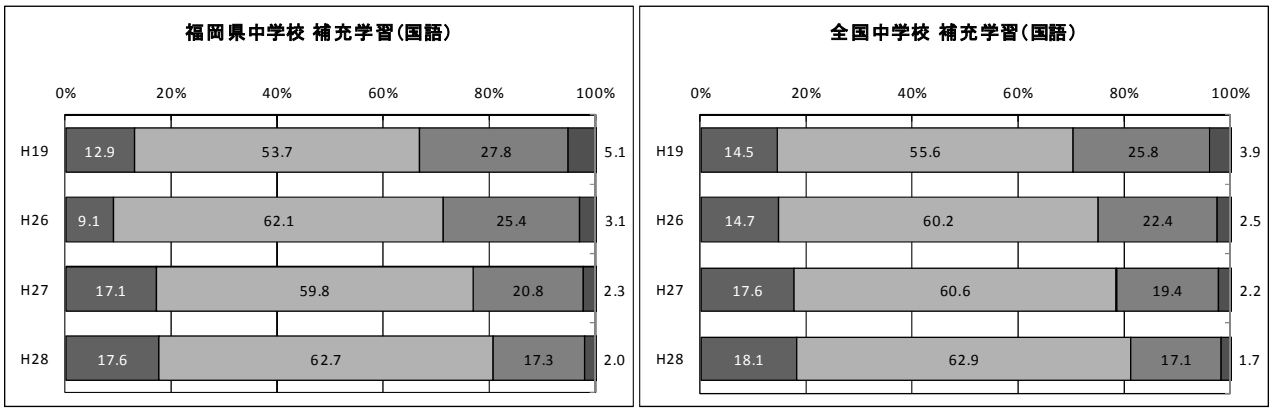
小 67・中 67	国語の指導として、前年度までに補充的な学習の指導を行いましたか。

○　よく行った、どちらかといえば行ったと回答している学校の割合は、平成２７年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　よく行ったと回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は 2.6 ポイント、中学校は 0.5 ポイント下回っている。

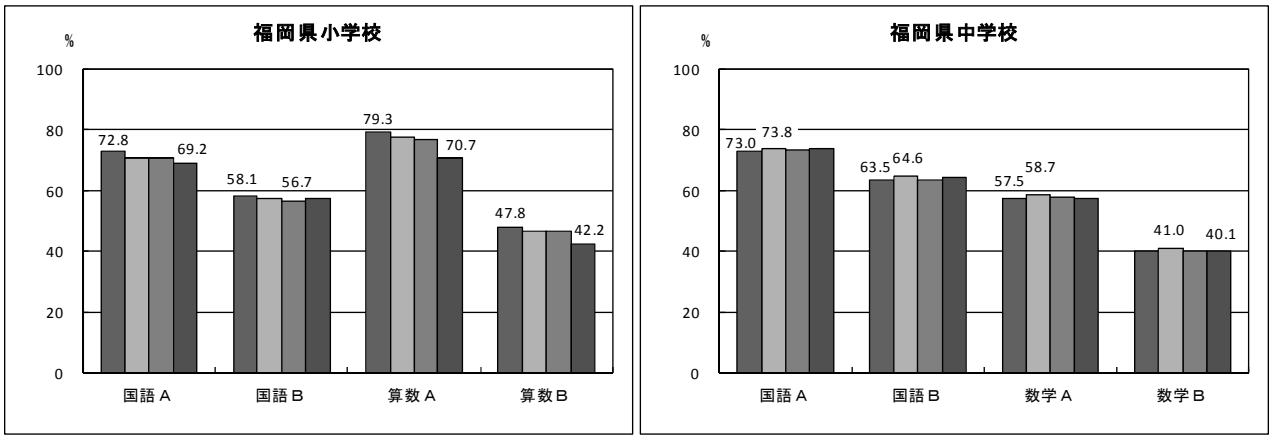
■　小学校回答状況



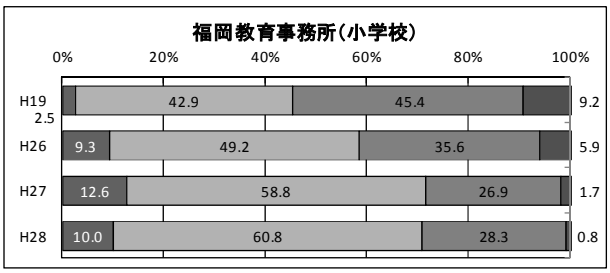
■　中学校回答状況

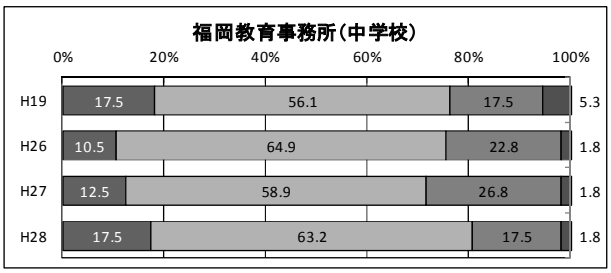


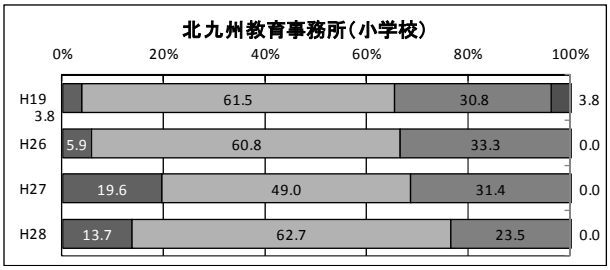
■　教科の正答率との相関関係

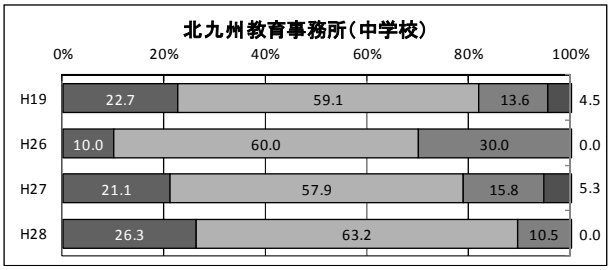


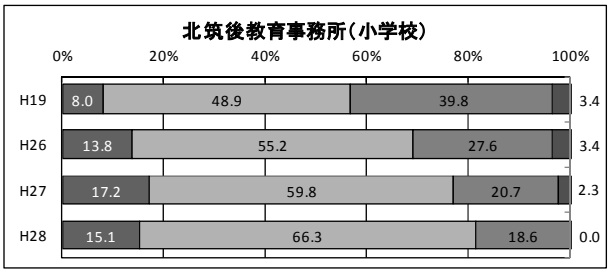
■　地区別回答状況

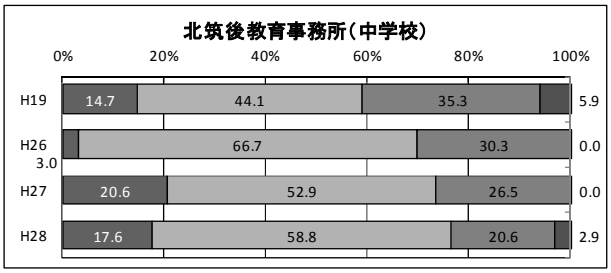

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 2.5 42.9 45.4 9.2
H26 9.3 49.2 35.6 5.9
H27 12.6 58.8 26.9 1.7
H28 10.0 60.8 28.3 0.8

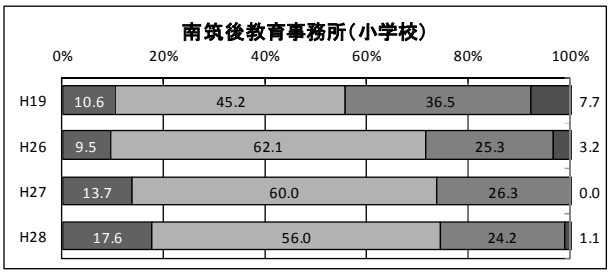

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 17.5 56.1 17.5 5.3
H26 10.5 64.9 22.8 1.8
H27 12.5 58.9 26.8 1.8
H28 17.5 63.2 17.5 1.8

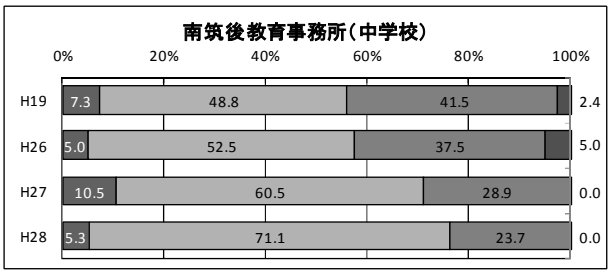

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 3.8 61.5 30.8 3.8
H26 5.9 60.8 33.3 0.0
H27 19.6 49.0 31.4 0.0
H28 13.7 62.7 23.5 0.0

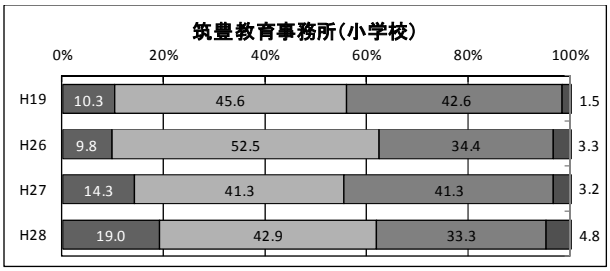

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 22.7 59.1 13.6 4.5
H26 10.0 60.0 30.0 0.0
H27 21.1 57.9 15.8 5.3
H28 26.3 63.2 10.5 0.0

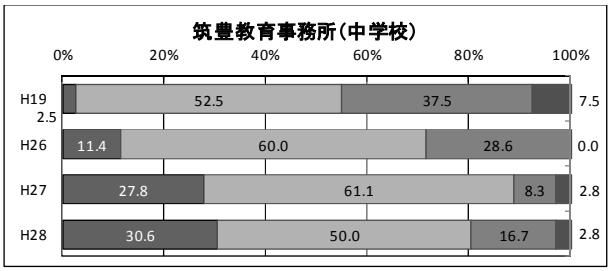

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 8.0 48.9 39.8 3.4
H26 13.8 55.2 27.6 3.4
H27 17.2 59.8 20.7 2.3
H28 15.1 66.3 18.6 0.0

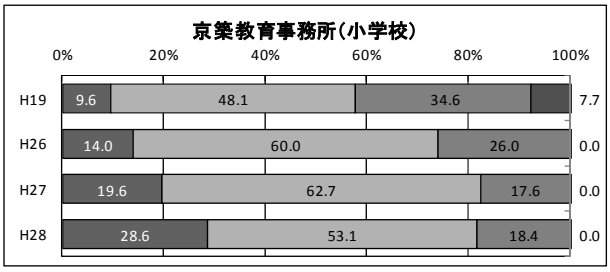

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 14.7 44.1 35.3 5.9
H26 3.0 66.7 30.3 0.0
H27 20.6 52.9 26.5 0.0
H28 17.6 58.8 20.6 2.9

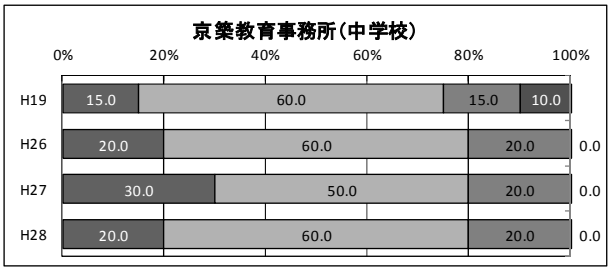

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 10.6 45.2 36.5 7.7
H26 9.5 62.1 25.3 3.2
H27 13.7 60.0 26.3 0.0
H28 17.6 56.0 24.2 1.1

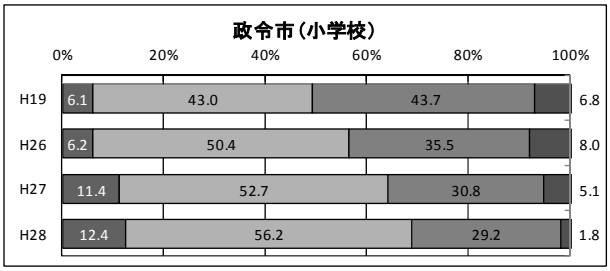

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 7.3 48.8 41.5 2.4
H26 5.0 52.5 37.5 5.0
H27 10.5 60.5 28.9 0.0
H28 5.3 71.1 23.7 0.0

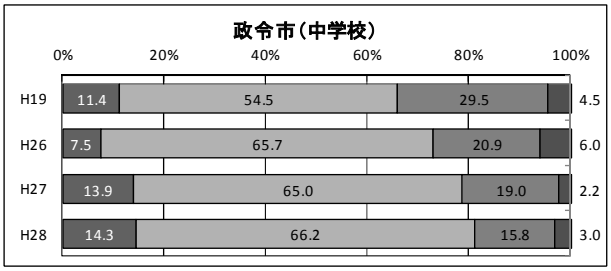

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 10.3 45.6 42.6 1.5
H26 9.8 52.5 34.4 3.3
H27 14.3 41.3 41.3 3.2
H28 19.0 42.9 33.3 4.8


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 2.5 52.5 37.5 7.5
H26 11.4 60.0 28.6 0.0
H27 27.8 61.1 8.3 2.8
H28 30.6 50.0 16.7 2.8


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 9.6 48.1 34.6 7.7
H26 14.0 60.0 26.0 0.0
H27 19.6 62.7 17.6 0.0
H28 28.6 53.1 18.4 0.0


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 15.0 60.0 15.0 10.0
H26 20.0 60.0 20.0 0.0
H27 30.0 50.0 20.0 0.0
H28 20.0 60.0 20.0 0.0


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 6.1 43.0 43.7 6.8
H26 6.2 50.4 35.5 8.0
H27 11.4 52.7 30.8 5.1
H28 12.4 56.2 29.2 1.8

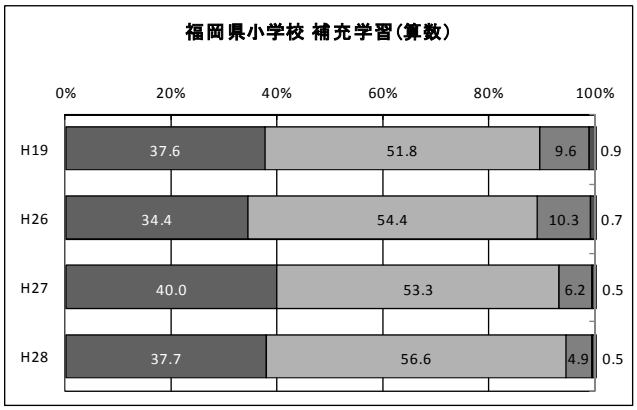

政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 11.4 54.5 29.5 4.5
H26 7.5 65.7 20.9 6.0
H27 13.9 65.0 19.0 2.2
H28 14.3 66.2 15.8 3.0

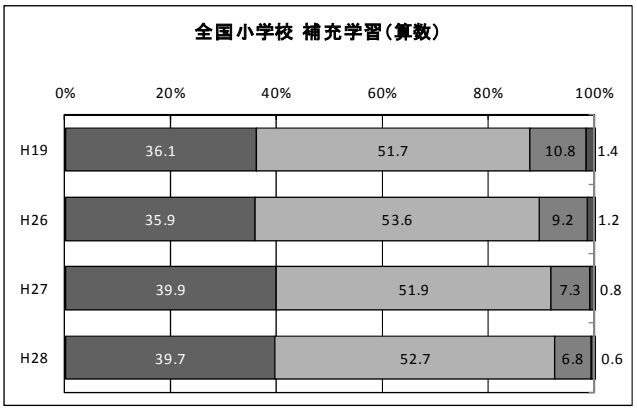
小 73・中 73	算数（数学）の指導として、前年度までに補充的な学習の指導を行いましたか。

○　よく行った、どちらかといえば行ったと回答している学校の割合は、平成２７年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　よく行ったと回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は 2.0 ポイント下回っており、中学校は同程度である。

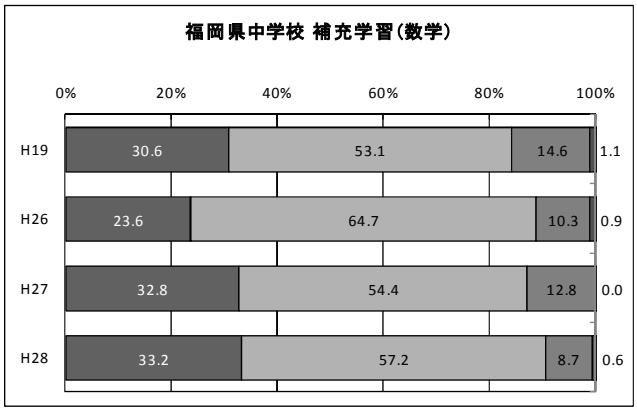
■ よく行った ■ どちらかといえば ■ あまり ■ 行っていない

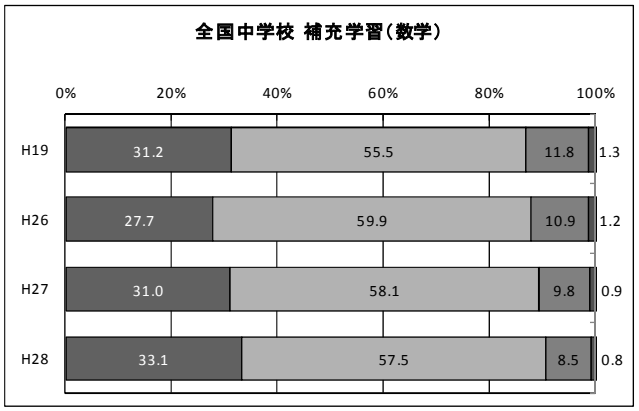
■　小学校回答状況



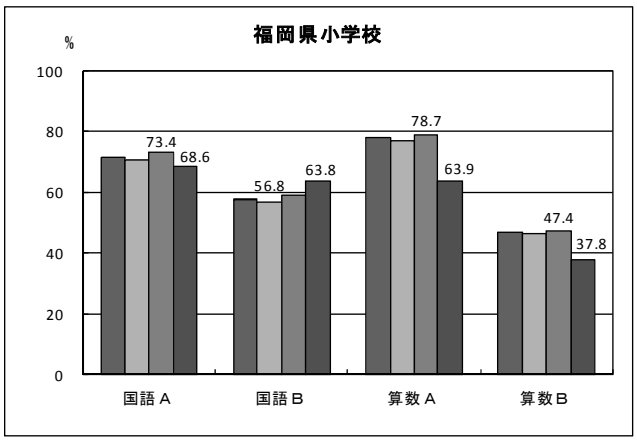


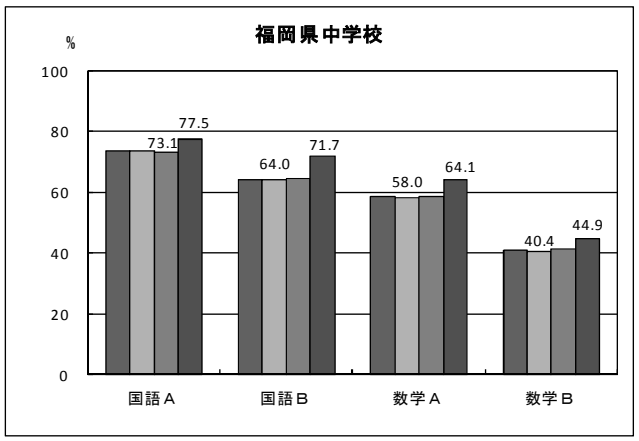
■　中学校回答状況



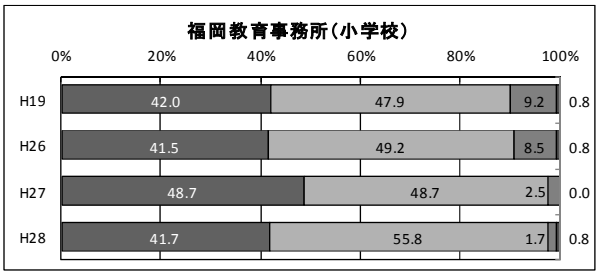


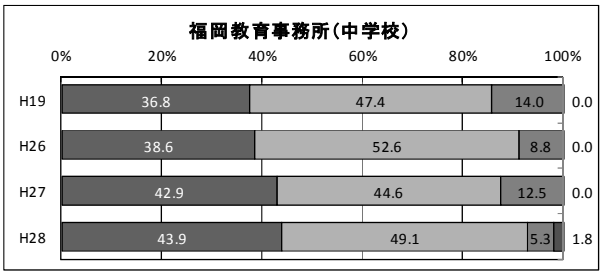
■　教科の正答率との相関関係

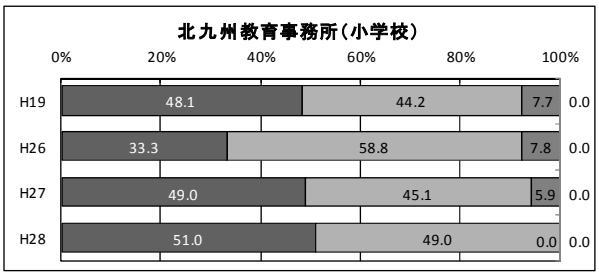


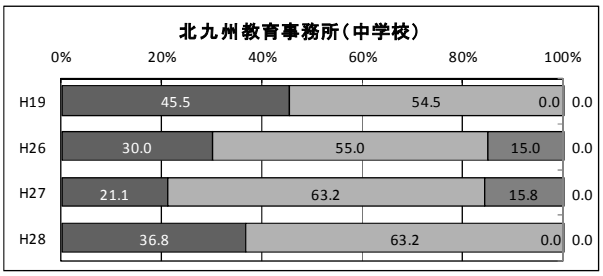


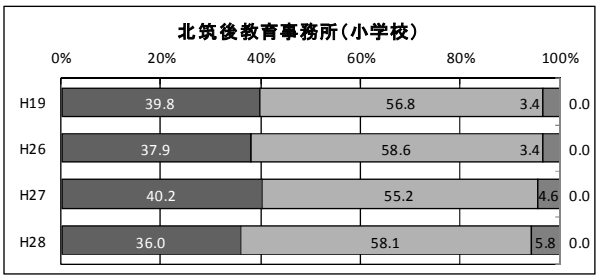
■　地区別回答状況

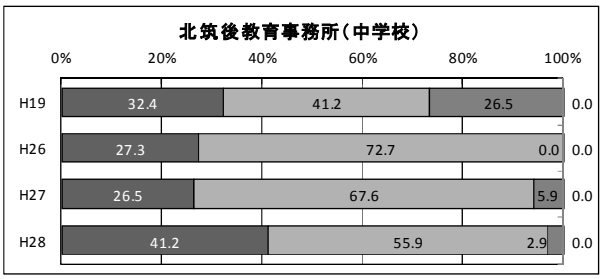

福岡教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
42.0
47.9
9.2
0.8
H26
41.5
49.2
8.5
0.8
H27
48.7
48.7
2.5
0.0
H28
41.7
55.8
1.7
0.8

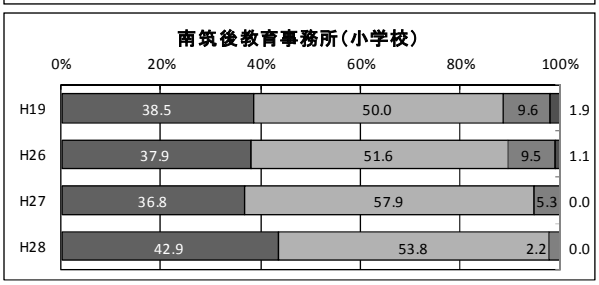

福岡教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
36.8
47.4
14.0
0.0
H26
38.6
52.6
8.8
0.0
H27
42.9
44.6
12.5
0.0
H28
43.9
49.1
5.3
1.8

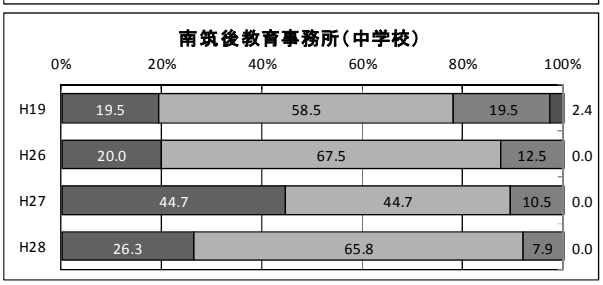

北九州教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
48.1
44.2
7.7
0.0
H26
33.3
58.8
7.8
0.0
H27
49.0
45.1
5.9
0.0
H28
51.0
49.0
0.0
0.0

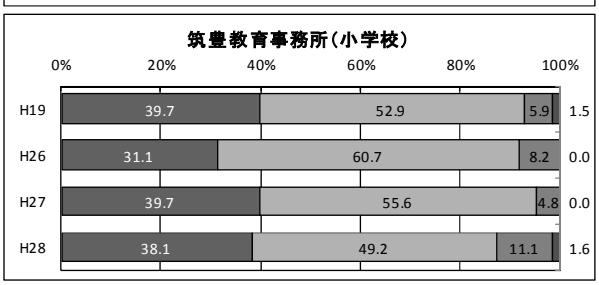

北九州教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
45.5
54.5
0.0
0.0
H26
30.0
55.0
15.0
0.0
H27
21.1
63.2
15.8
0.0
H28
36.8
63.2
0.0
0.0

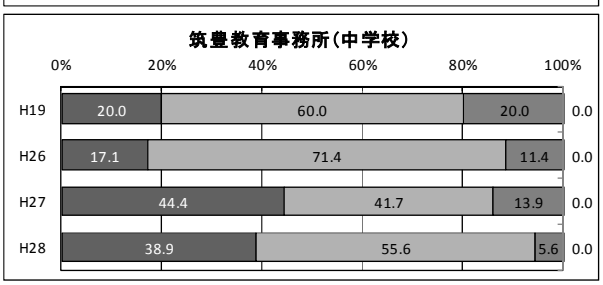

北筑後教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
39.8
56.8
3.4
0.0
H26
37.9
58.6
3.4
0.0
H27
40.2
55.2
4.6
0.0
H28
36.0
58.1
5.8
0.0

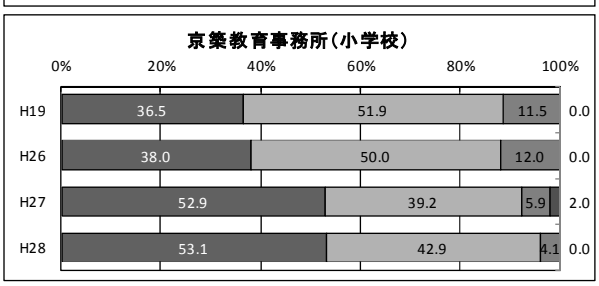

北筑後教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
32.4
41.2
26.5
0.0
H26
27.3
72.7
0.0
0.0
H27
26.5
67.6
5.9
0.0
H28
41.2
55.9
2.9
0.0

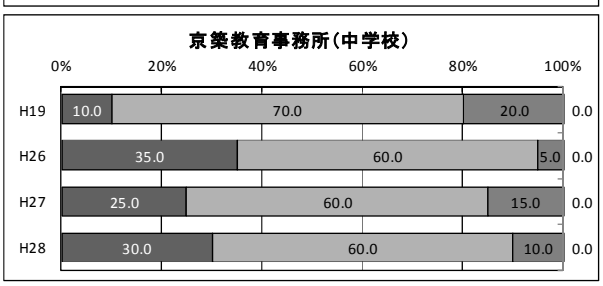

南筑後教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
38.5
50.0
9.6
1.9
H26
37.9
51.6
9.5
1.1
H27
36.8
57.9
5.3
0.0
H28
42.9
53.8
2.2
0.0

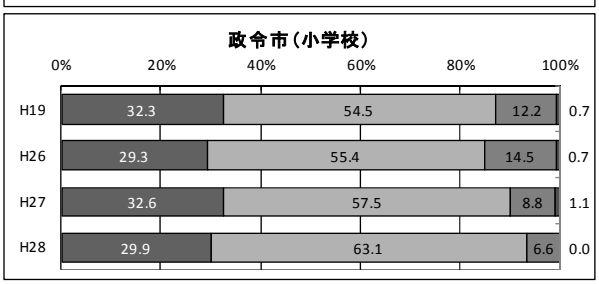

南筑後教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
19.5
58.5
19.5
2.4
H26
20.0
67.5
12.5
0.0
H27
44.7
44.7
10.5
0.0
H28
26.3
65.8
7.9
0.0

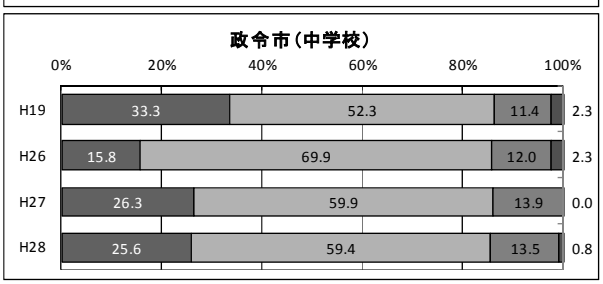

筑豊教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
39.7
52.9
5.9
1.5
H26
31.1
60.7
8.2
0.0
H27
39.7
55.6
4.8
0.0
H28
38.1
49.2
11.1
1.6


筑豊教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
20.0
60.0
20.0
0.0
H26
17.1
71.4
11.4
0.0
H27
44.4
41.7
13.9
0.0
H28
38.9
55.6
5.6
0.0


京築教育事務所（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
36.5
51.9
11.5
0.0
H26
38.0
50.0
12.0
0.0
H27
52.9
39.2
5.9
2.0
H28
53.1
42.9
4.1
0.0


京築教育事務所（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
10.0
70.0
20.0
0.0
H26
35.0
60.0
5.0
0.0
H27
25.0
60.0
15.0
0.0
H28
30.0
60.0
10.0
0.0


政令市（小学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
32.3
54.5
12.2
0.7
H26
29.3
55.4
14.5
0.7
H27
32.6
57.5
8.8
1.1
H28
29.9
63.1
6.6
0.0


政令市（中学校）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H19
33.3
52.3
11.4
2.3
H26
15.8
69.9
12.0
2.3
H27
26.3
59.9
13.9
0.0
H28
25.6
59.4
13.5
0.8

（３） 教職員の取組

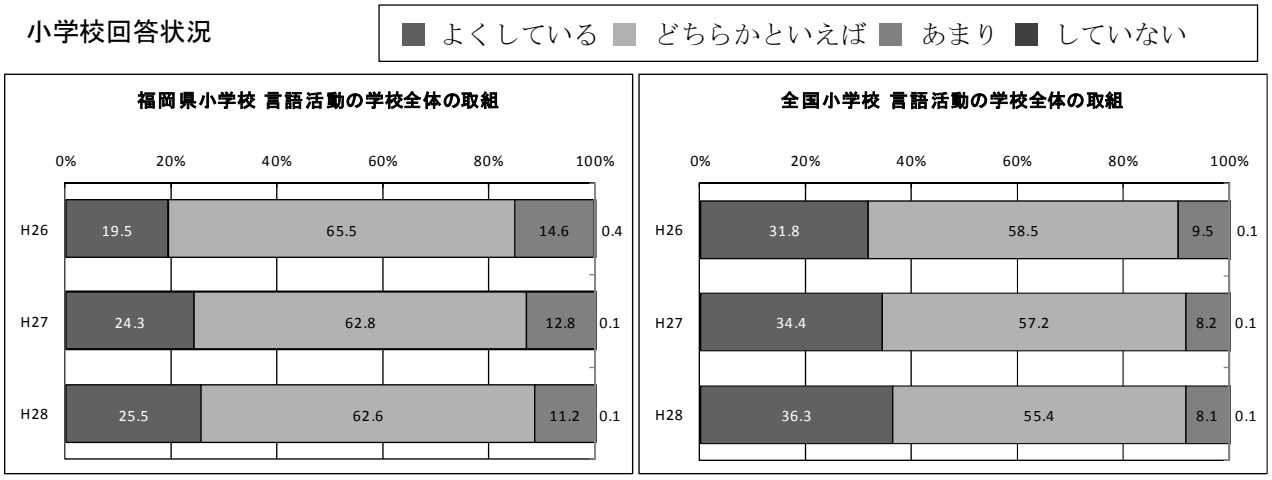
小 113・中 111	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、（外国語活動）、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか。

※平成２６年度から加えられた質問

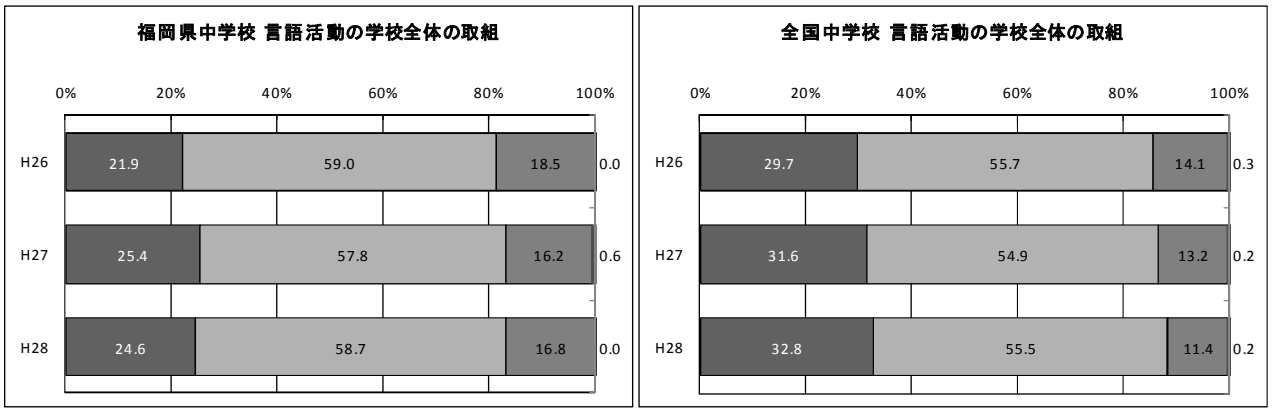
○　よくしていると回答している学校の割合は、平成２７年度と比較して小学校は増加し、中学校は減少している。
○　よくしていると回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は 10.8 ポイント、中学校は 8.2 ポイント下回っている。
○　よくしている、どちらかといえばしていると回答している学校の正答率は、小学校の全教科区分において高い傾向にある。

※「していない」と回答した小学校は１校であったため、教科の正答率との相関関係の考察対象から除外した。

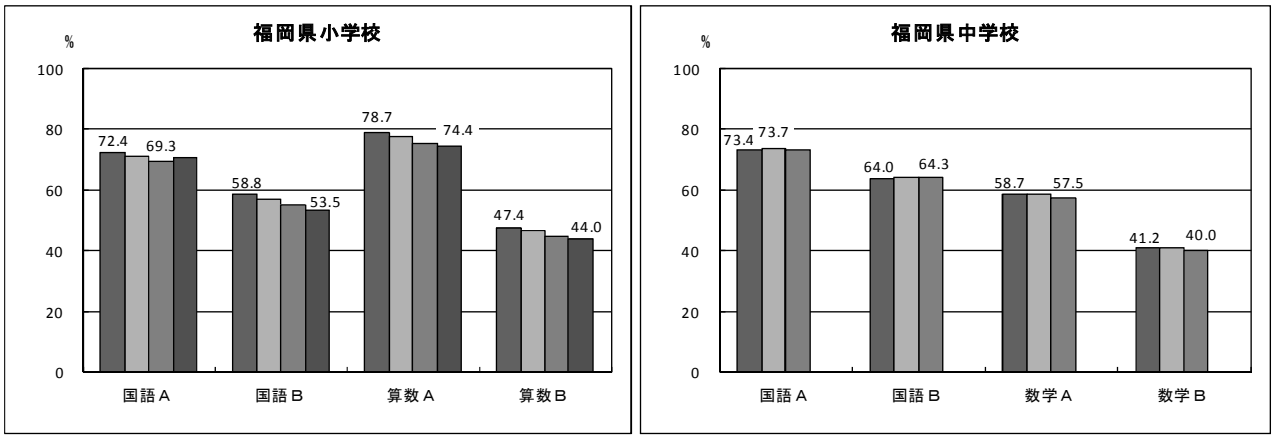
■　小学校回答状況



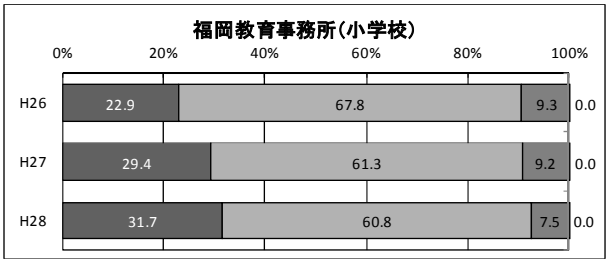
■　中学校回答状況

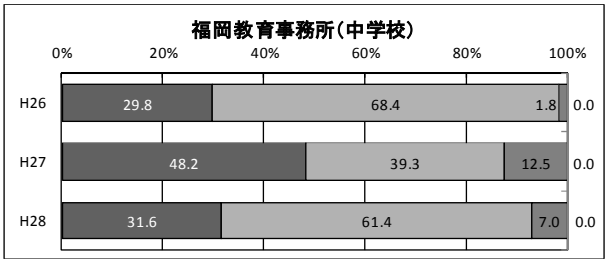


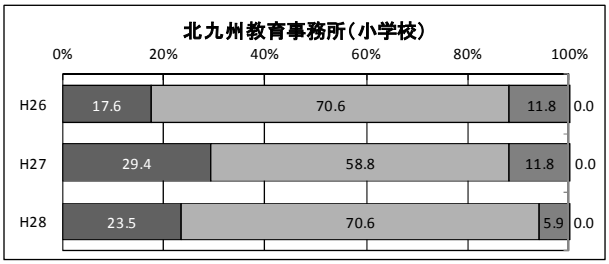
■　教科の正答率との相関関係

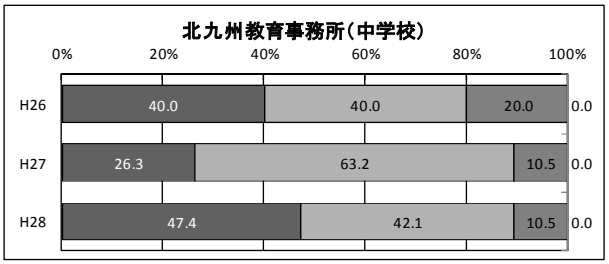


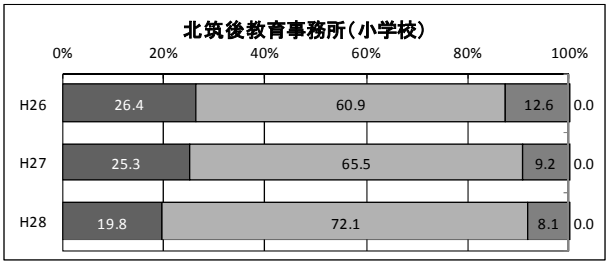
■　地区別回答状況

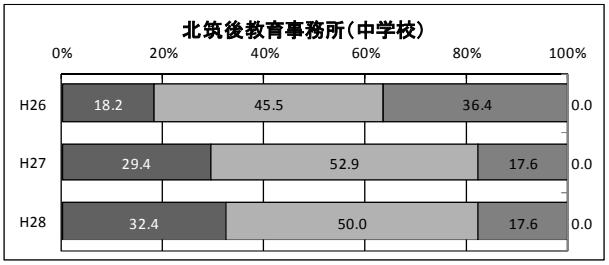

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
22.9
67.8
9.3
0.0
H27
29.4
61.3
9.2
0.0
H28
31.7
60.8
7.5
0.0

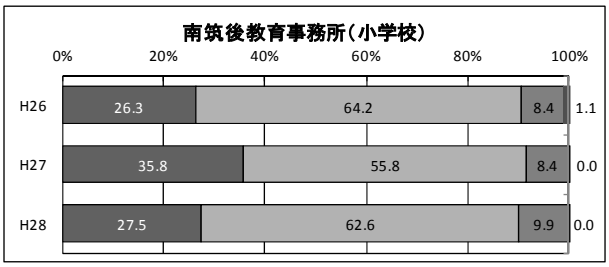

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
29.8
68.4
1.8
0.0
H27
48.2
39.3
12.5
0.0
H28
31.6
61.4
7.0
0.0

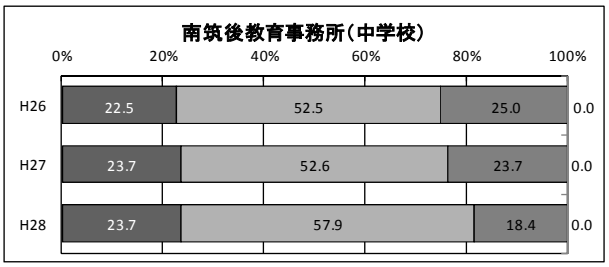

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
17.6
70.6
11.8
0.0
H27
29.4
58.8
11.8
0.0
H28
23.5
70.6
5.9
0.0

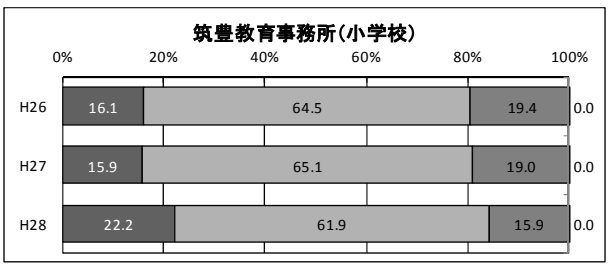

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
40.0
40.0
20.0
0.0
H27
26.3
63.2
10.5
0.0
H28
47.4
42.1
10.5
0.0

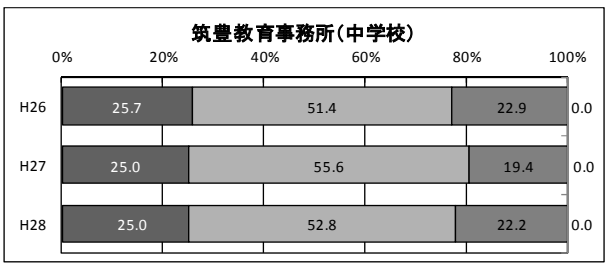

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
26.4
60.9
12.6
0.0
H27
25.3
65.5
9.2
0.0
H28
19.8
72.1
8.1
0.0

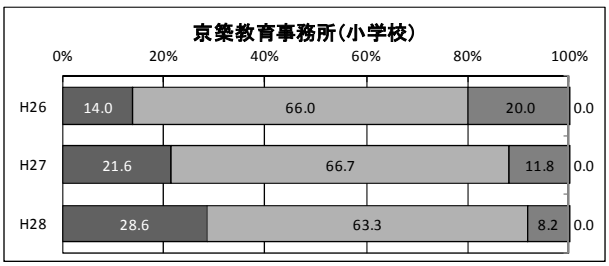

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
18.2
45.5
36.4
0.0
H27
29.4
52.9
17.6
0.0
H28
32.4
50.0
17.6
0.0

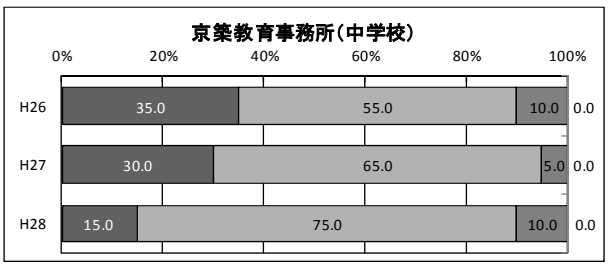

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
26.3
64.2
8.4
1.1
H27
35.8
55.8
8.4
0.0
H28
27.5
62.6
9.9
0.0

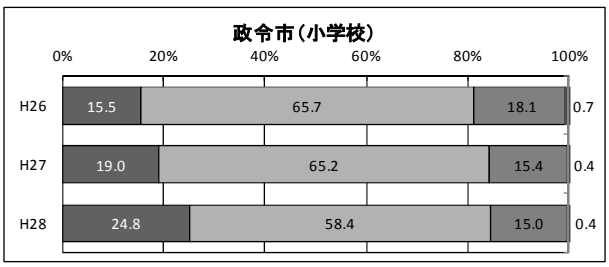

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
22.5
52.5
25.0
0.0
H27
23.7
52.6
23.7
0.0
H28
23.7
57.9
18.4
0.0

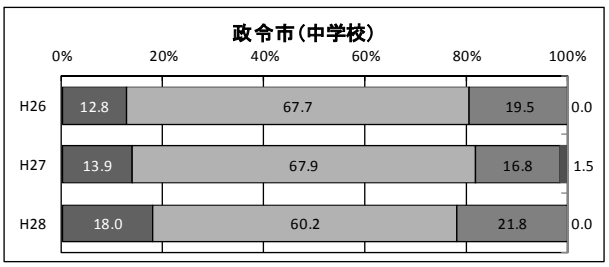

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
16.1
64.5
19.4
0.0
H27
15.9
65.1
19.0
0.0
H28
22.2
61.9
15.9
0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
25.7
51.4
22.9
0.0
H27
25.0
55.6
19.4
0.0
H28
25.0
52.8
22.2
0.0


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
14.0
66.0
20.0
0.0
H27
21.6
66.7
11.8
0.0
H28
28.6
63.3
8.2
0.0


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
35.0
55.0
10.0
0.0
H27
30.0
65.0
5.0
0.0
H28
15.0
75.0
10.0
0.0


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
15.5
65.7
18.1
0.7
H27
19.0
65.2
15.4
0.4
H28
24.8
58.4
15.0
0.4


政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
12.8
67.7
19.5
0.0
H27
13.9
67.9
16.8
1.5
H28
18.0
60.2
21.8
0.0

３　教員の意識・指導力の向上

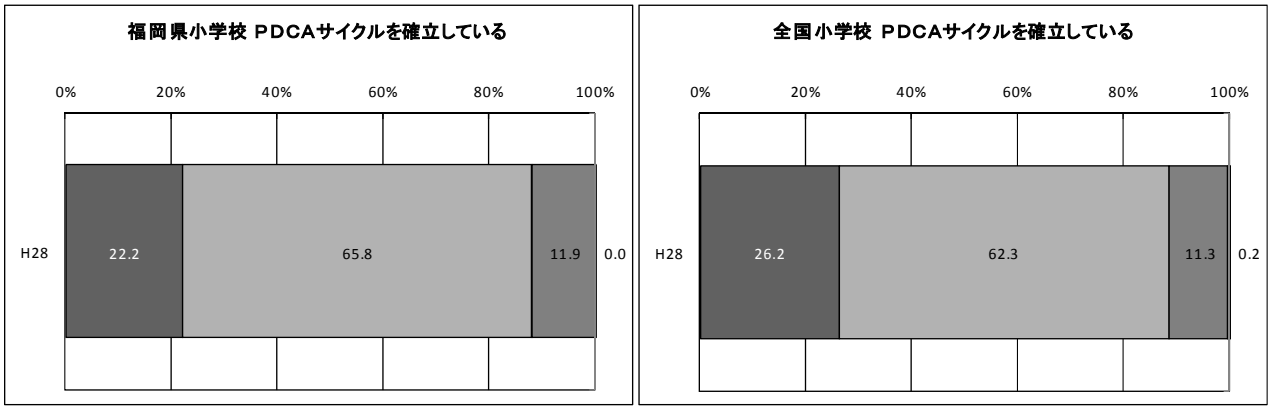
（１）　カリキュラム・マネジメント

小 33・中 33	児童（生徒）の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のＰＤＣＡサイクルを確立していますか。

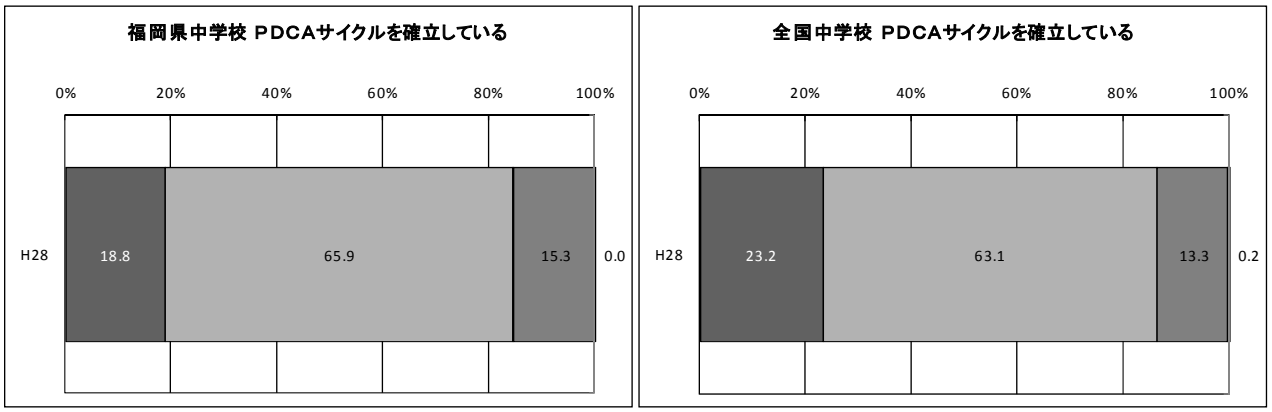
※平成２８年度から加えられた質問

○　よくしていると回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は 4.0 ポイント、中学校は 4.4 ポイント下回っている。
○　よくしている、どちらかといえばしていると回答している学校の正答率は、小学校の全教科区分において高い傾向にある。

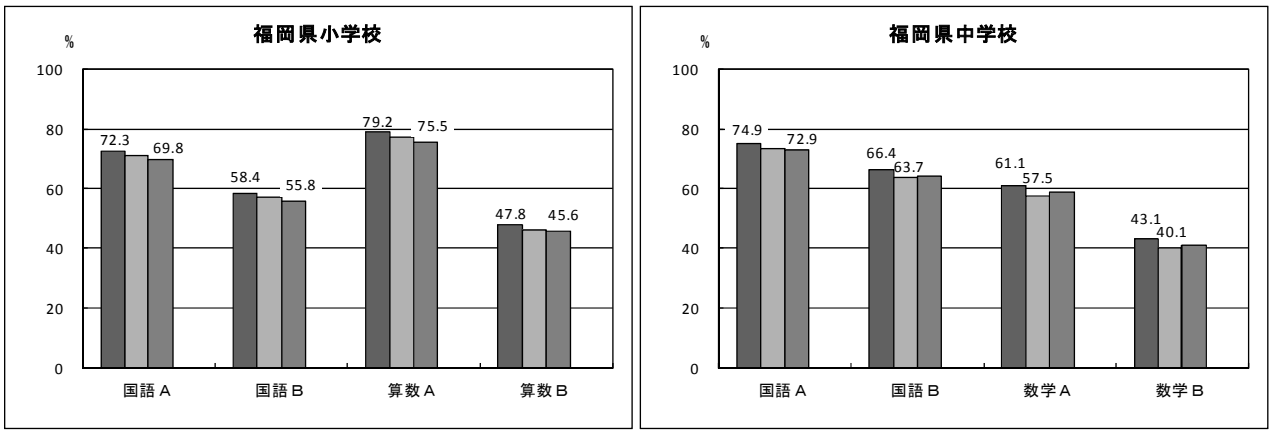
■　小学校回答状況



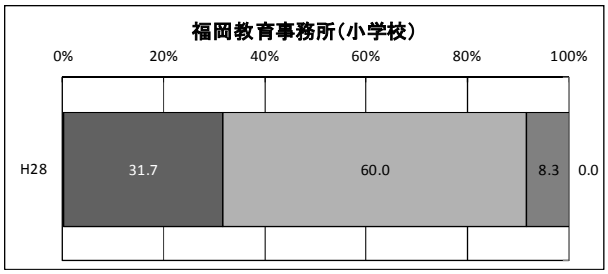
■　中学校回答状況

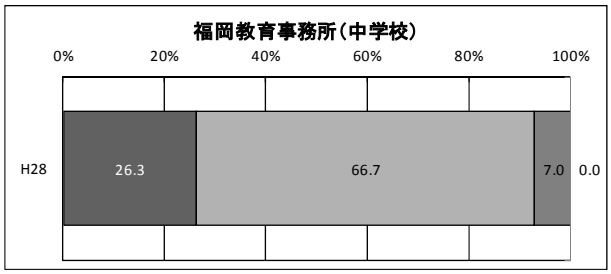


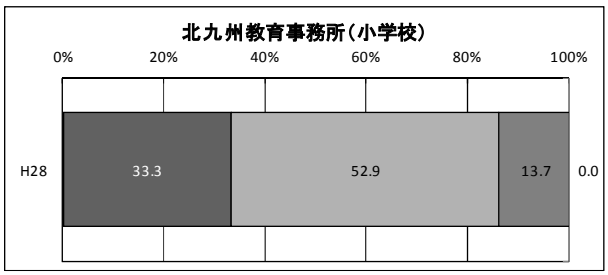
■　教科の正答率との相関関係

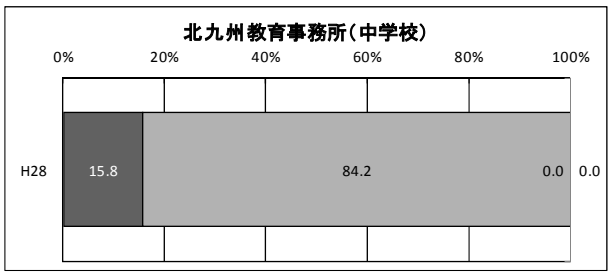


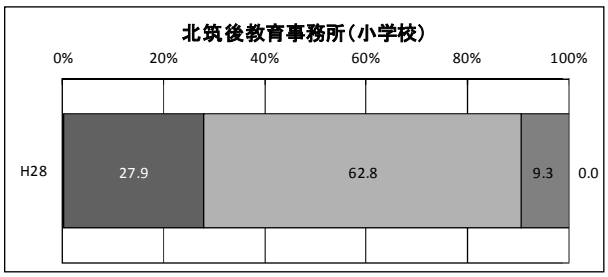
■　地区別回答状況

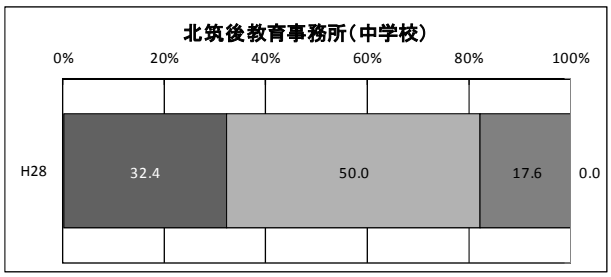

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
31.7
60.0
8.3
0.0

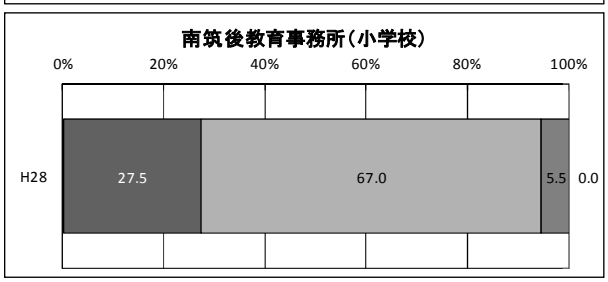

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
26.3
66.7
7.0
0.0

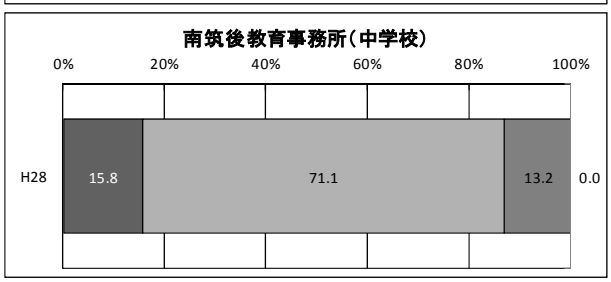

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
33.3
52.9
13.7
0.0

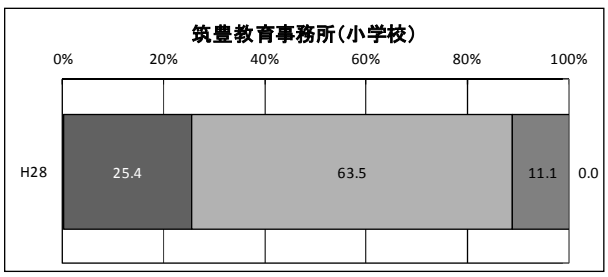

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
15.8
84.2
0.0
0.0

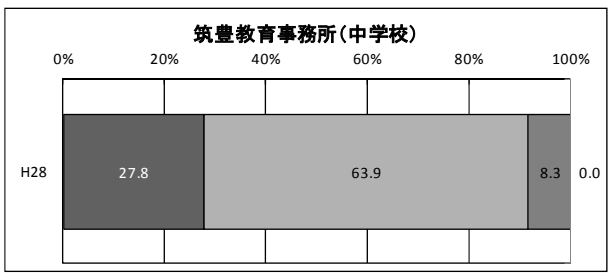

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
27.9
62.8
9.3
0.0

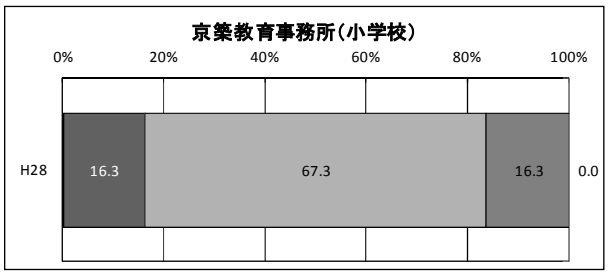

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
32.4
50.0
17.6
0.0

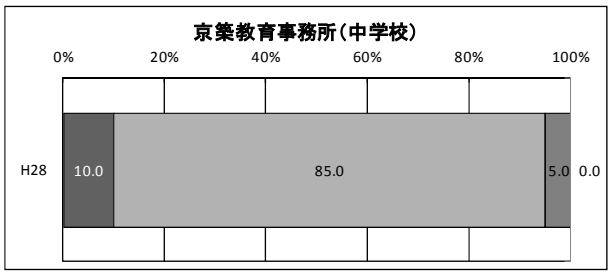

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
27.5
67.0
5.5
0.0

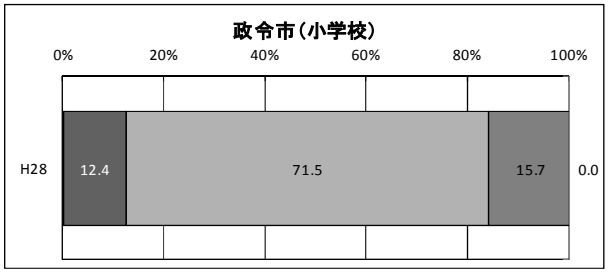

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
15.8
71.1
13.2
0.0

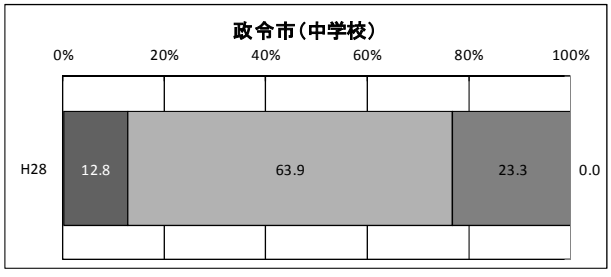

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
25.4
63.5
11.1
0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
27.8
63.9
8.3
0.0


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
16.3
67.3
16.3
0.0


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
10.0
85.0
5.0
0.0


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
12.4
71.5
15.7
0.0


政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
12.8
63.9
23.3
0.0

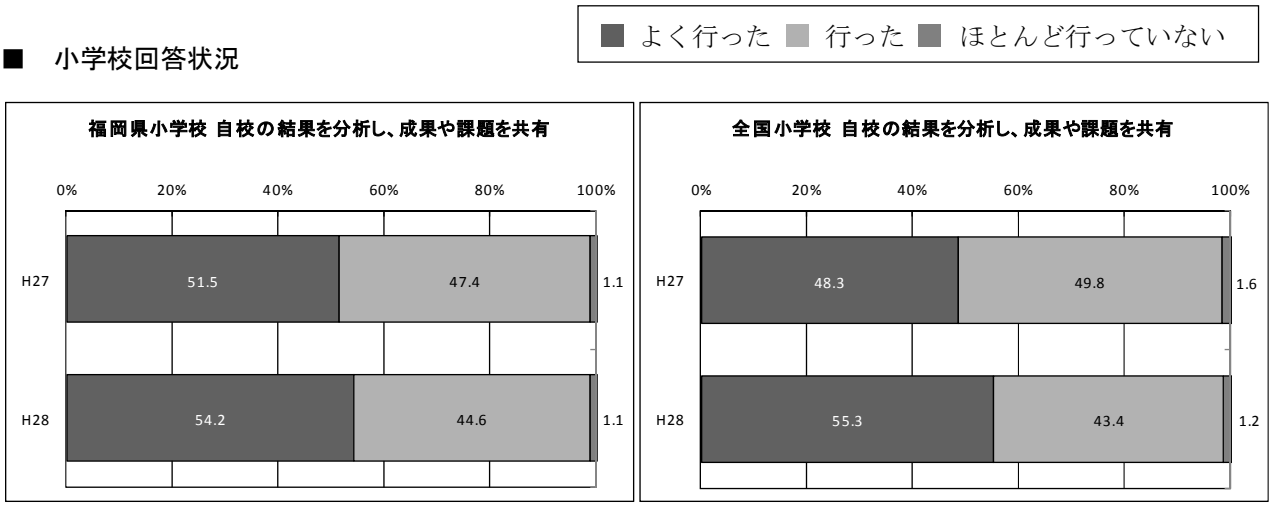
（２） 調査結果の活用

小 59・中 59	平成２７年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で成果や課題を共有しましたか。

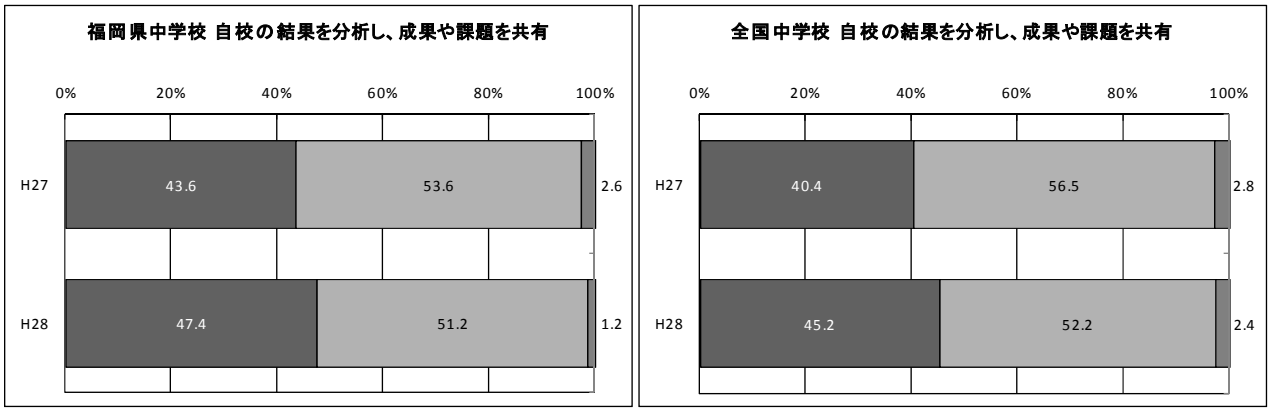
※平成２７年度から加えられた質問

○　よく行ったと回答している学校の割合は、平成２７年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　よく行ったと回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は1.1ポイント下回り、中学校は2.2ポイント上回っている。
○　よく行った、行ったと回答している学校の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

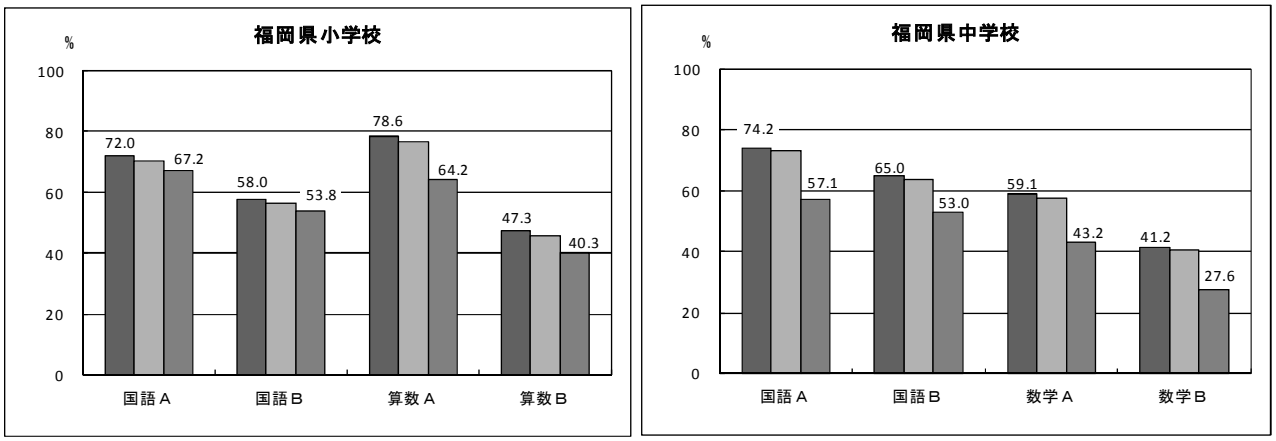
■　小学校回答状況



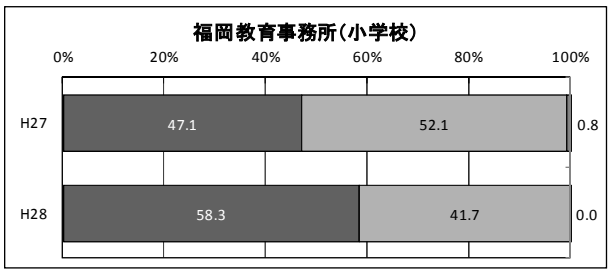
■　中学校回答状況

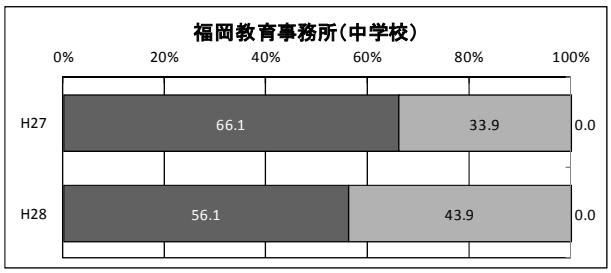


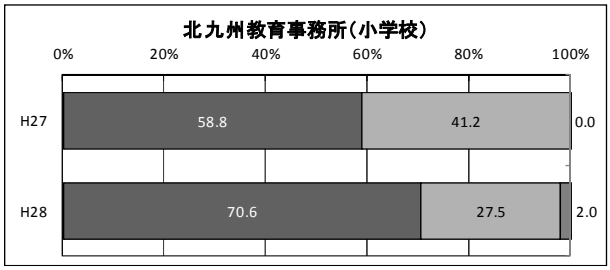
■　教科の正答率との相関関係

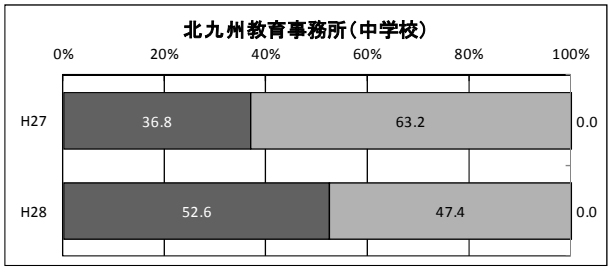


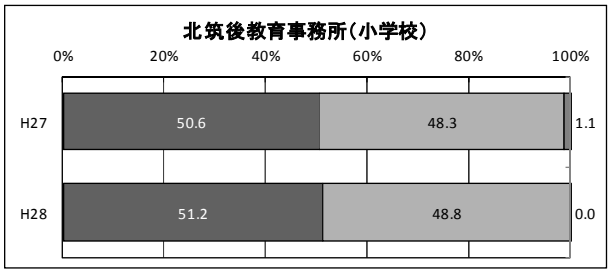
■　地区別回答状況

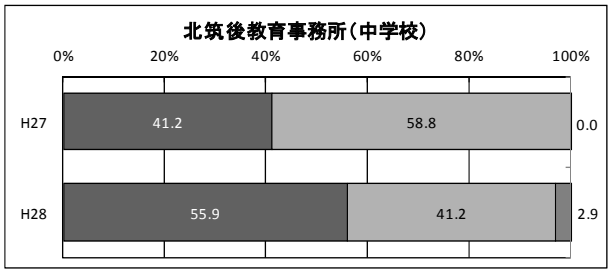

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H27
47.1
52.1
0.8
H28
58.3
41.7
0.0

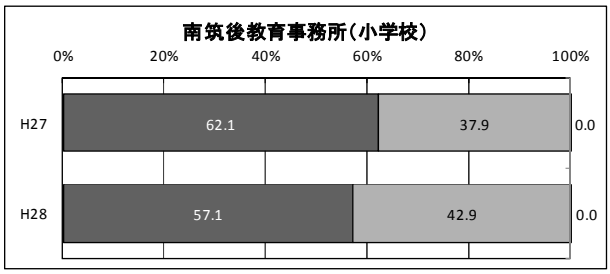

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H27
66.1
33.9
0.0
H28
56.1
43.9
0.0

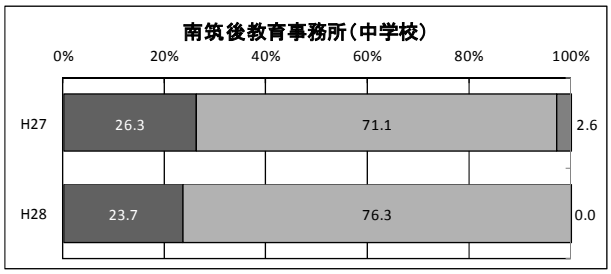

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H27
58.8
41.2
0.0
H28
70.6
27.5
2.0

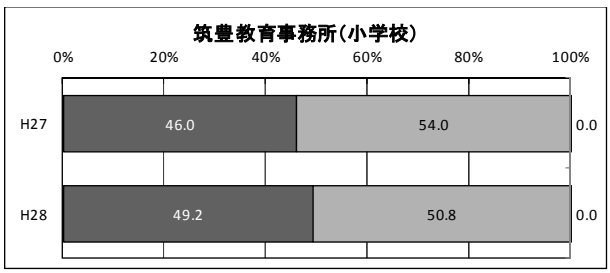

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H27
36.8
63.2
0.0
H28
52.6
47.4
0.0

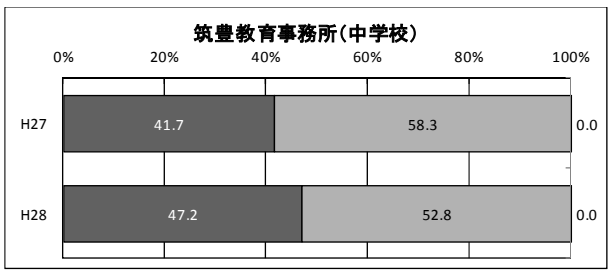

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H27
50.6
48.3
1.1
H28
51.2
48.8
0.0

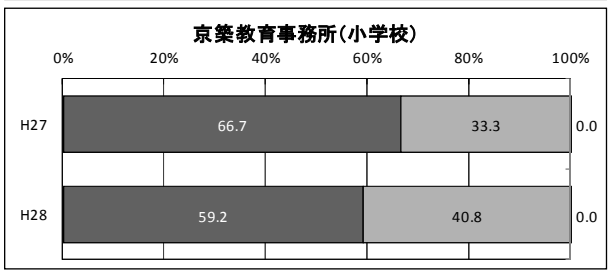

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H27
41.2
58.8
0.0
H28
55.9
41.2
2.9

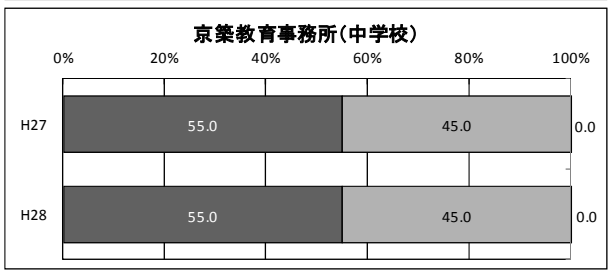

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H27
62.1
37.9
0.0
H28
57.1
42.9
0.0

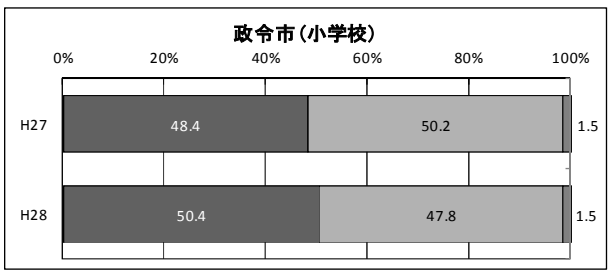

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H27
26.3
71.1
2.6
H28
23.7
76.3
0.0

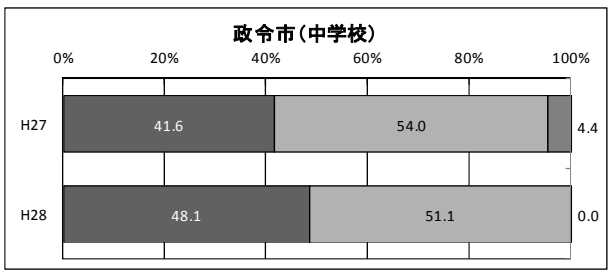

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H27
46.0
54.0
0.0
H28
49.2
50.8
0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H27
41.7
58.3
0.0
H28
47.2
52.8
0.0


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H27
66.7
33.3
0.0
H28
59.2
40.8
0.0


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H27
55.0
45.0
0.0
H28
55.0
45.0
0.0


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H27
48.4
50.2
1.5
H28
50.4
47.8
1.5

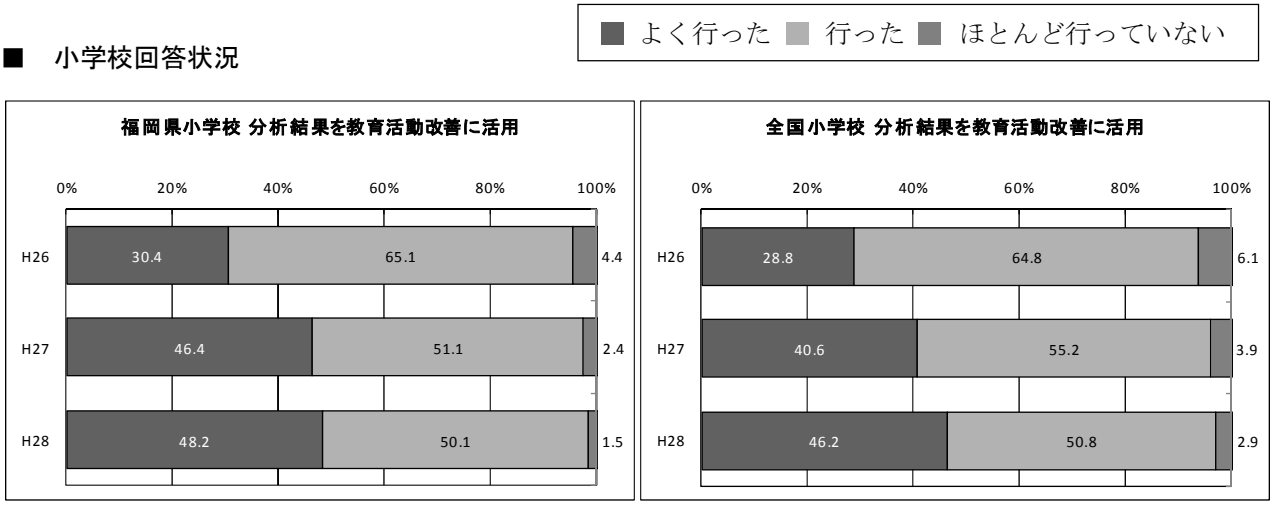

政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H27
41.6
54.0
4.4
H28
48.1
51.1
0.0

小 60・中 60	平成２７年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。

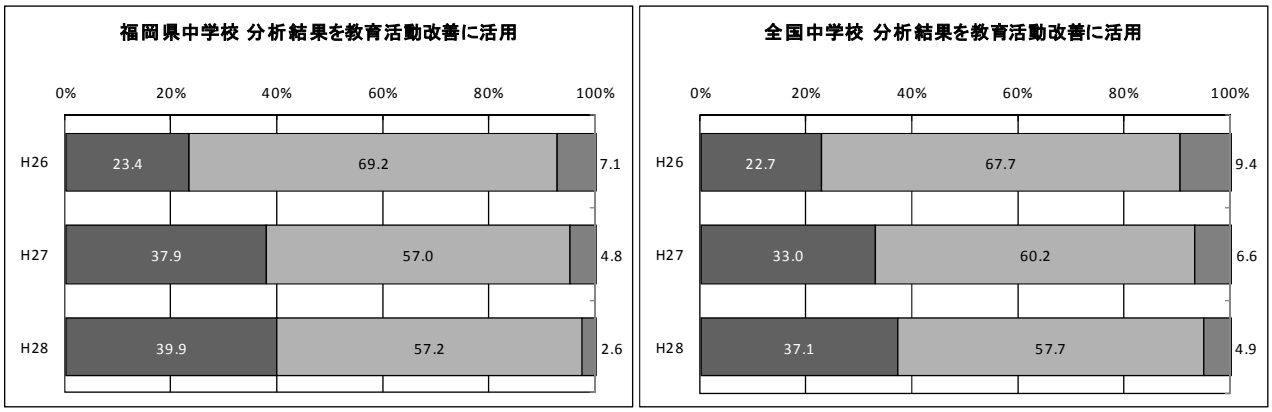
※平成２６年度から加えられた質問

○　よく行ったと回答している学校の割合は、平成２７年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　よく行ったと回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は 2.0 ポイント、中学校は 2.8 ポイント上回っている。
○　よく行った、行ったと回答している学校の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

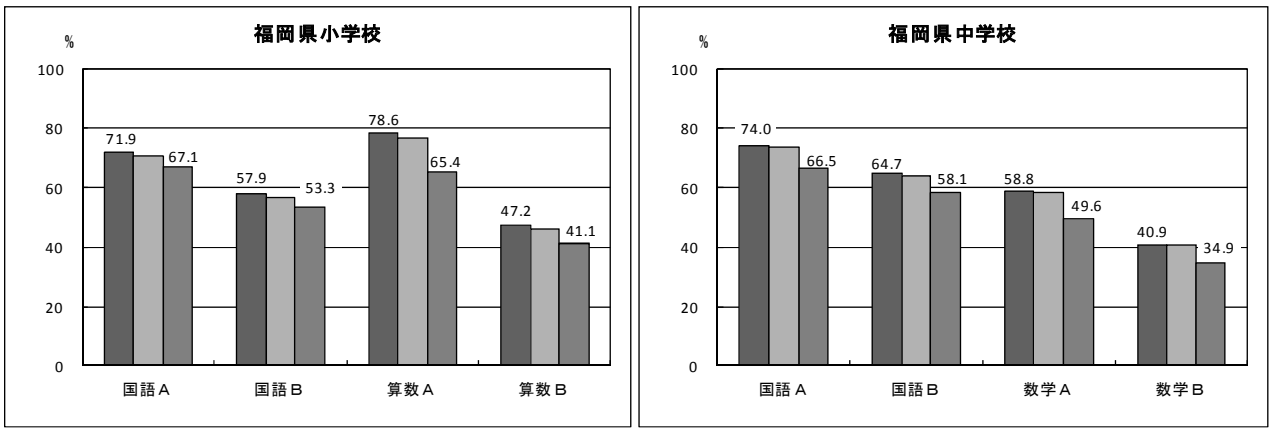
■　小学校回答状況



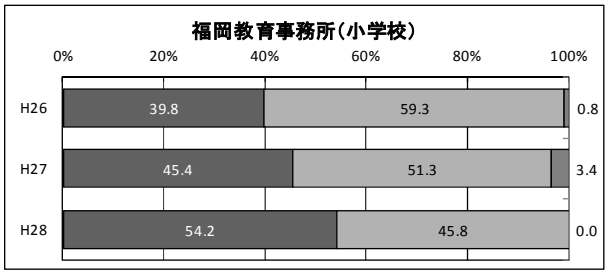
■　中学校回答状況

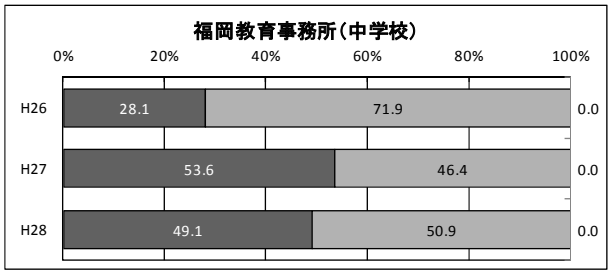


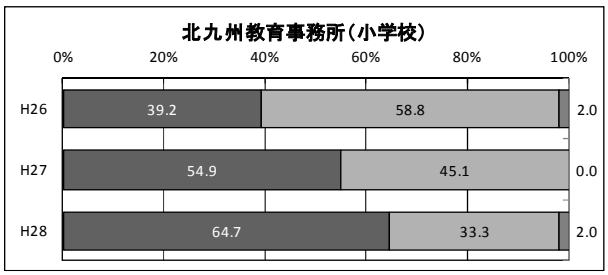
■　教科の正答率との相関関係

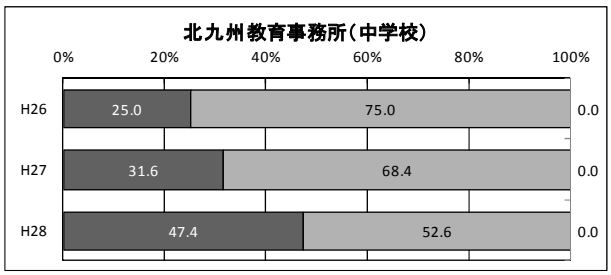


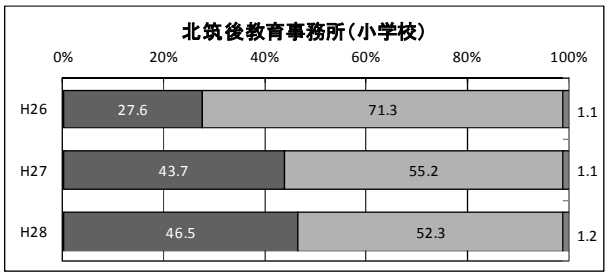
■　地区別回答状況

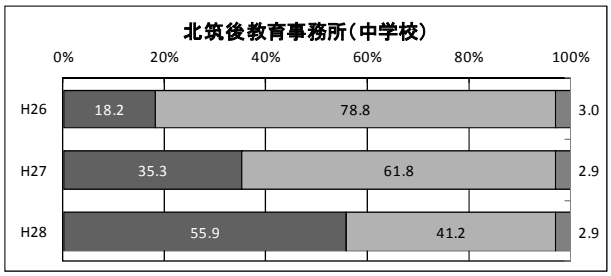

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
39.8
59.3
0.8
H27
45.4
51.3
3.4
H28
54.2
45.8
0.0

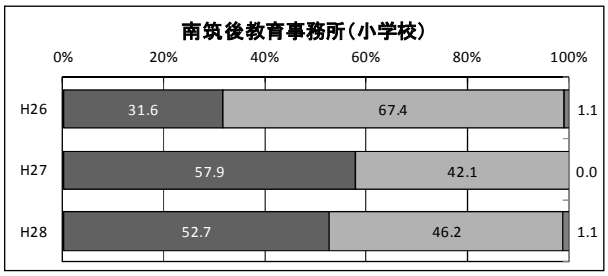

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
28.1
71.9
0.0
H27
53.6
46.4
0.0
H28
49.1
50.9
0.0

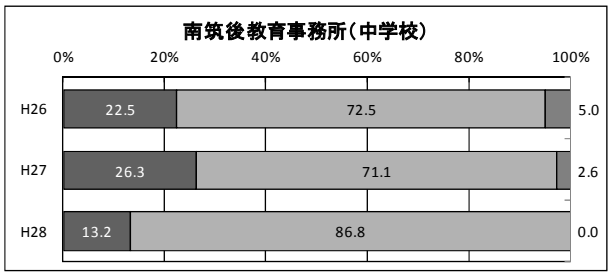

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
39.2
58.8
2.0
H27
54.9
45.1
0.0
H28
64.7
33.3
2.0

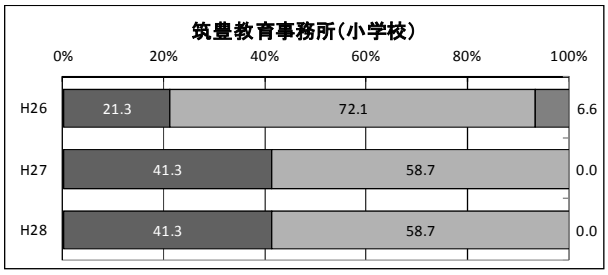

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
25.0
75.0
0.0
H27
31.6
68.4
0.0
H28
47.4
52.6
0.0

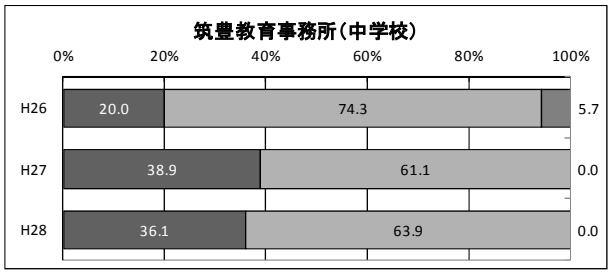

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
27.6
71.3
1.1
H27
43.7
55.2
1.1
H28
46.5
52.3
1.2

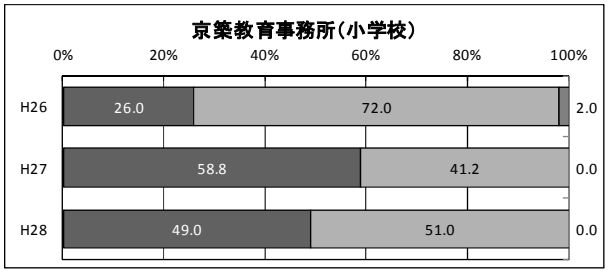

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
18.2
78.8
3.0
H27
35.3
61.8
2.9
H28
55.9
41.2
2.9

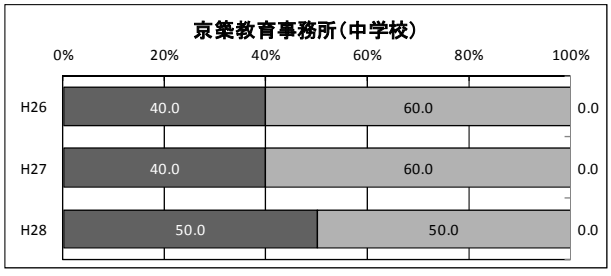

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
31.6
67.4
1.1
H27
57.9
42.1
0.0
H28
52.7
46.2
1.1

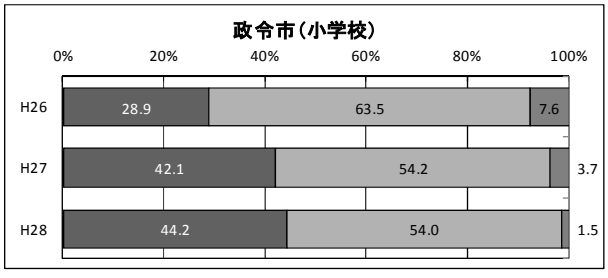

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
22.5
72.5
5.0
H27
26.3
71.1
2.6
H28
13.2
86.8
0.0

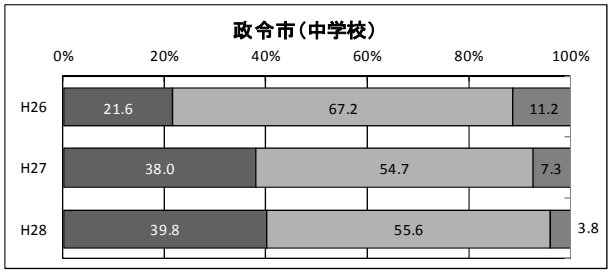

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
21.3
72.1
6.6
H27
41.3
58.7
0.0
H28
41.3
58.7
0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
20.0
74.3
5.7
H27
38.9
61.1
0.0
H28
36.1
63.9
0.0


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
26.0
72.0
2.0
H27
58.8
41.2
0.0
H28
49.0
51.0
0.0


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
40.0
60.0
0.0
H27
40.0
60.0
0.0
H28
50.0
50.0
0.0


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
28.9
63.5
7.6
H27
42.1
54.2
3.7
H28
44.2
54.0
1.5

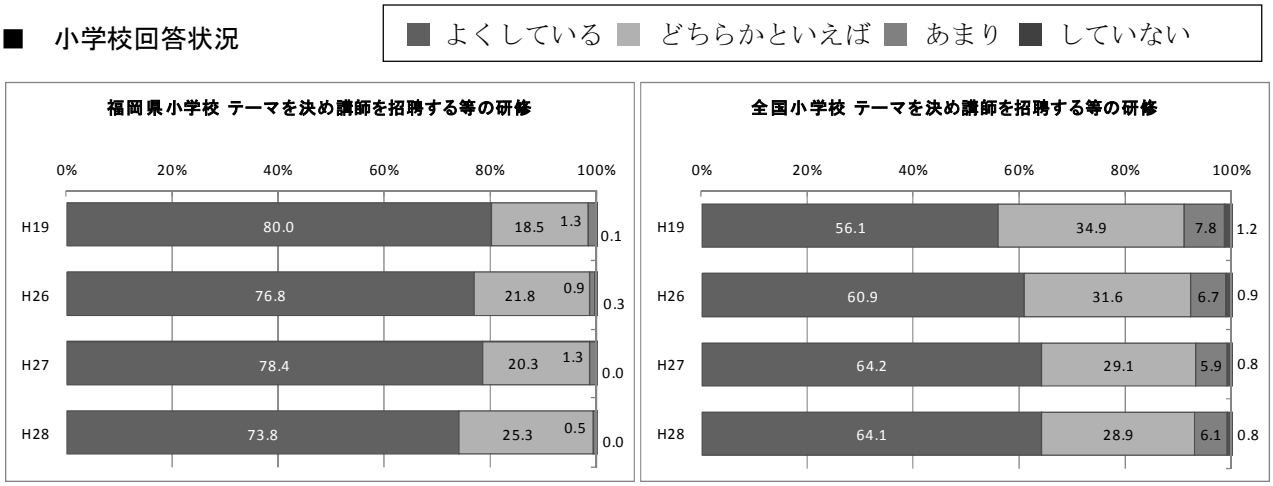

政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H26
21.6
67.2
11.2
H27
38.0
54.7
7.3
H28
39.8
55.6
3.8

（３） 教員研修

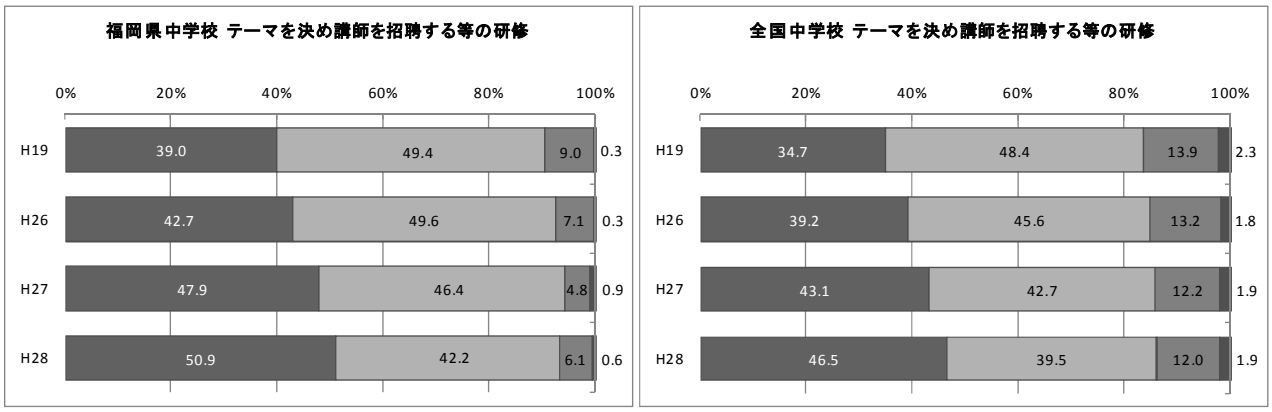
小 102・中 100	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか。

○　よくしていると回答している学校の割合は、平成２７年度と比較して小学校は減少し、中学校は増加している。
○　よくしていると回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は 9.7 ポイント、中学校は 4.4 ポイント上回っている。
○　よくしている、どちらかといえばしていると回答している学校の正答率は、小学校の全教科区分において高い傾向にある。

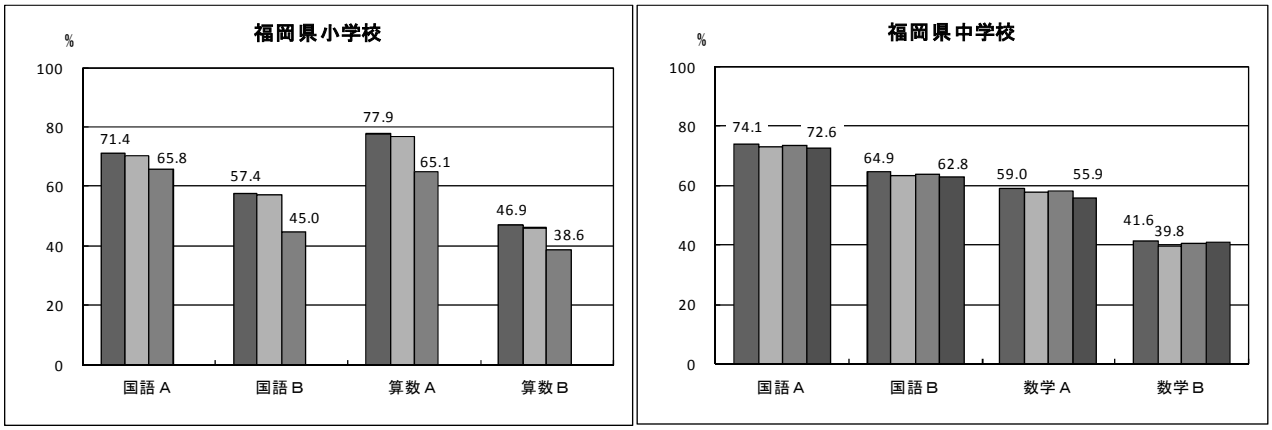
■　小学校回答状況



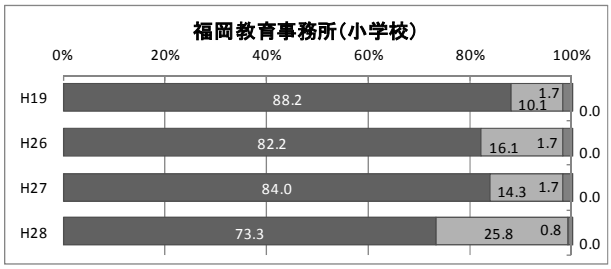
■　中学校回答状況

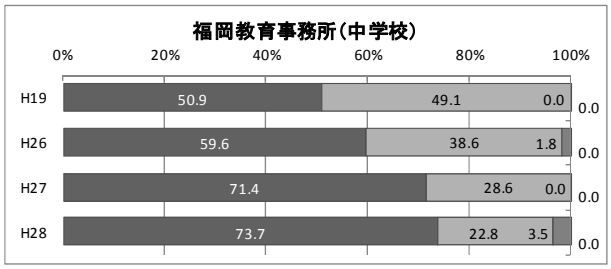


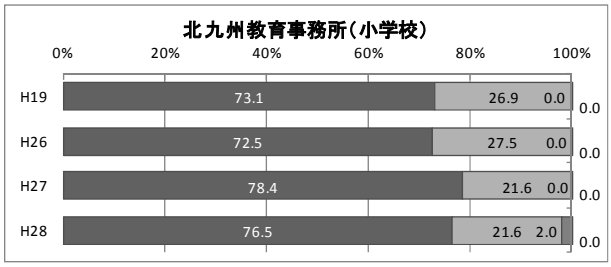
■　教科の正答率との相関関係

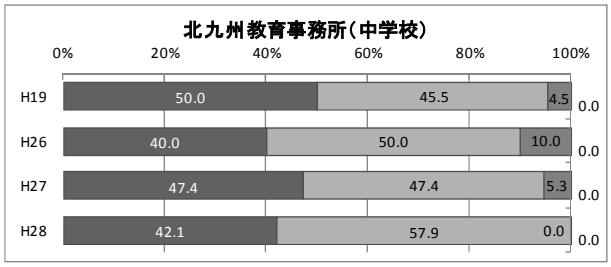


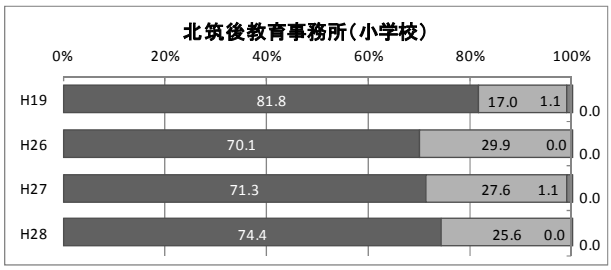
■　地区別回答状況

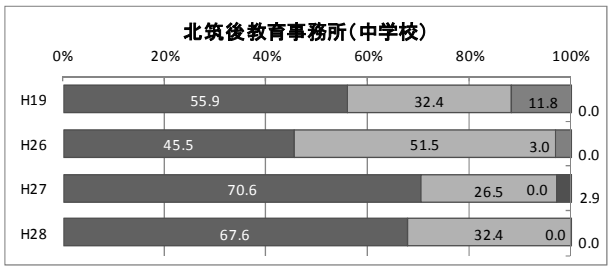

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 88.2 10.1 1.7 0.0
H26 82.2 16.1 1.7 0.0
H27 84.0 14.3 1.7 0.0
H28 73.3 25.8 0.8 0.0

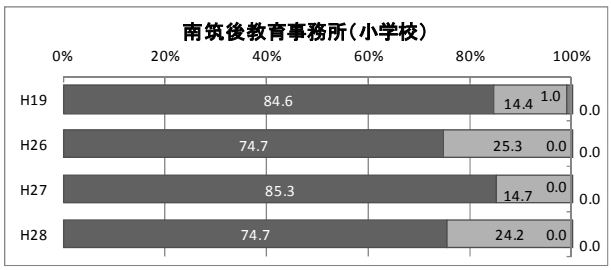

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 50.9 49.1 0.0 0.0
H26 59.6 38.6 1.8 0.0
H27 71.4 28.6 0.0 0.0
H28 73.7 22.8 3.5 0.0

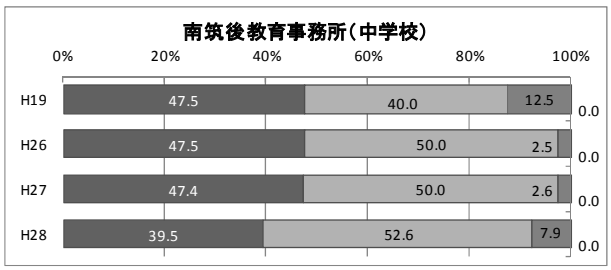

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 73.1 26.9 0.0 0.0
H26 72.5 27.5 0.0 0.0
H27 78.4 21.6 0.0 0.0
H28 76.5 21.6 2.0 0.0

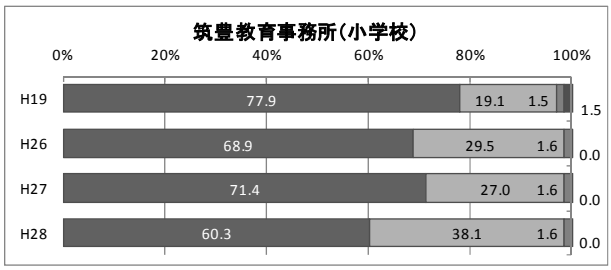

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 50.0 45.5 4.5 0.0
H26 40.0 50.0 10.0 0.0
H27 47.4 47.4 5.3 0.0
H28 42.1 57.9 0.0 0.0

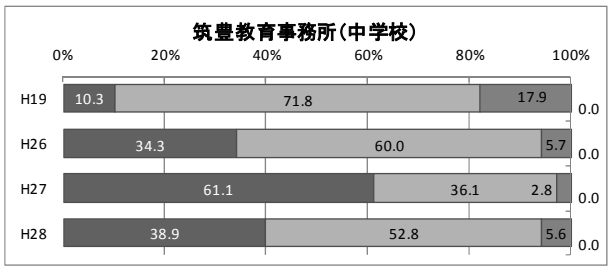

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 81.8 17.0 1.1 0.0
H26 70.1 29.9 0.0 0.0
H27 71.3 27.6 1.1 0.0
H28 74.4 25.6 0.0 0.0

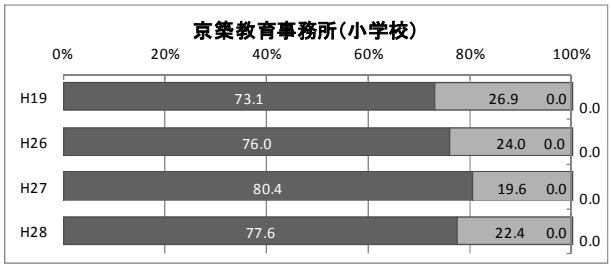

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 55.9 32.4 11.8 0.0
H26 45.5 51.5 3.0 0.0
H27 70.6 26.5 0.0 2.9
H28 67.6 32.4 0.0 0.0

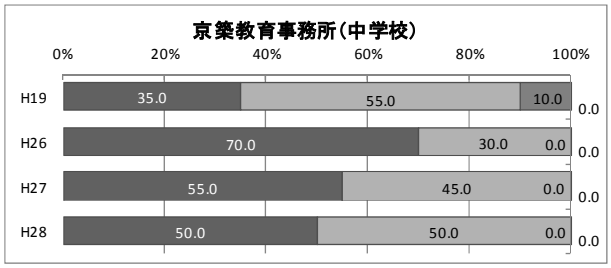

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 84.6 14.4 1.0 0.0
H26 74.7 25.3 0.0 0.0
H27 85.3 14.7 0.0 0.0
H28 74.7 24.2 0.0 0.0

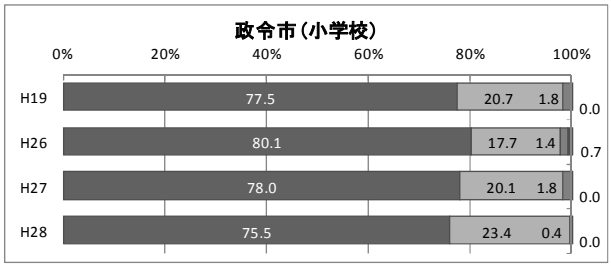

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 47.5 40.0 12.5 0.0
H26 47.5 50.0 2.5 0.0
H27 47.4 50.0 2.6 0.0
H28 39.5 52.6 7.9 0.0

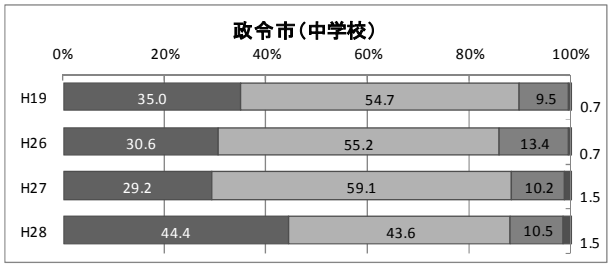

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 77.9 19.1 1.5 1.5
H26 68.9 29.5 1.6 0.0
H27 71.4 27.0 1.6 0.0
H28 60.3 38.1 1.6 0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 10.3 71.8 17.9 0.0
H26 34.3 60.0 5.7 0.0
H27 61.1 36.1 2.8 0.0
H28 38.9 52.8 5.6 0.0


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 73.1 26.9 0.0 0.0
H26 76.0 24.0 0.0 0.0
H27 80.4 19.6 0.0 0.0
H28 77.6 22.4 0.0 0.0


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 35.0 55.0 10.0 0.0
H26 70.0 30.0 0.0 0.0
H27 55.0 45.0 0.0 0.0
H28 50.0 50.0 0.0 0.0


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 77.5 20.7 1.8 0.0
H26 80.1 17.7 1.4 0.7
H27 78.0 20.1 1.8 0.0
H28 75.5 23.4 0.4 0.0


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 35.0 54.7 9.5 0.7
H26 30.6 55.2 13.4 0.7
H27 29.2 59.1 10.2 1.5
H28 44.4 43.6 10.5 1.5

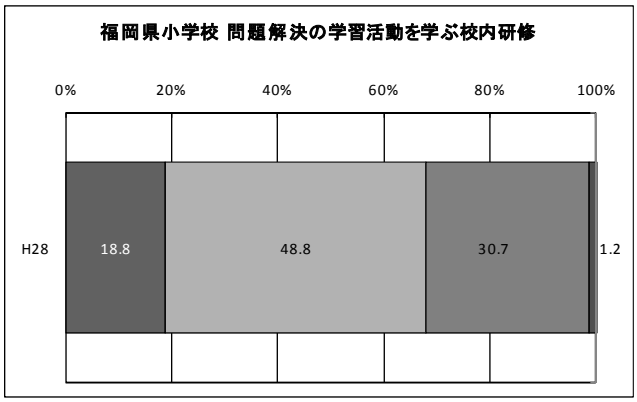
小 107・中 105	児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか。

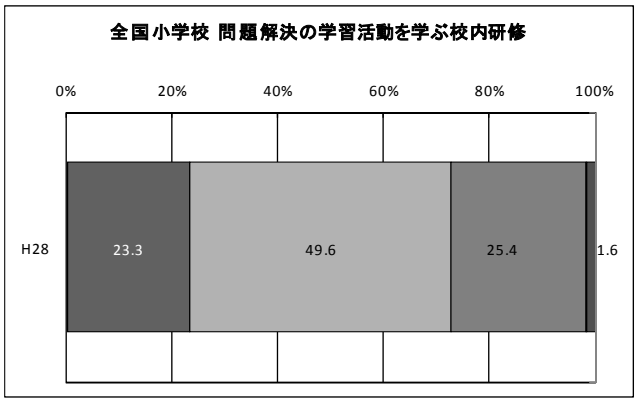
○　よくしていると回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は 4.5 ポイント、中学校は 2.0 ポイント下回っている。
○　よくしている、どちらかといえばしていると回答している学校の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

※平成２８年度から加えられた質問

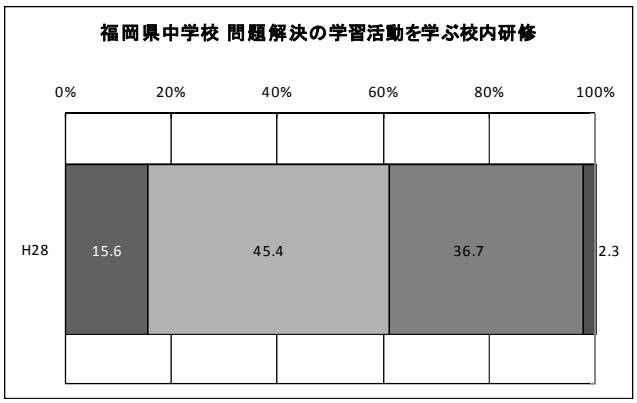
■ よくしている ■ どちらかといえば ■ あまり ■ していない

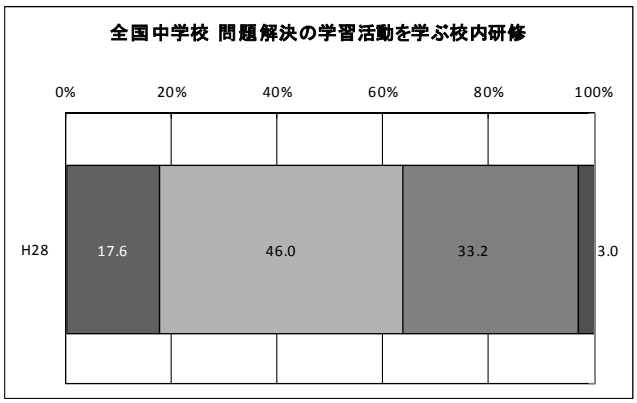
■　小学校回答状況



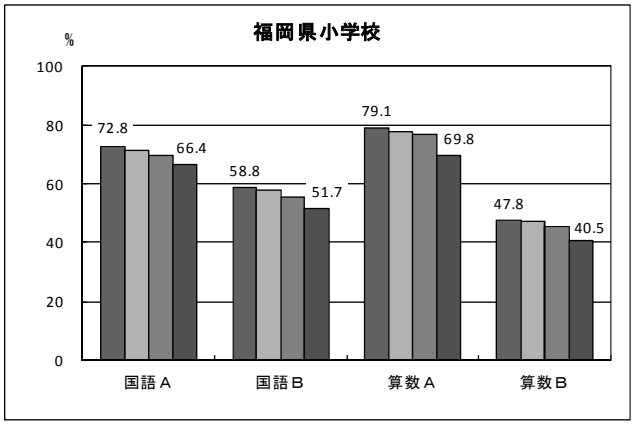


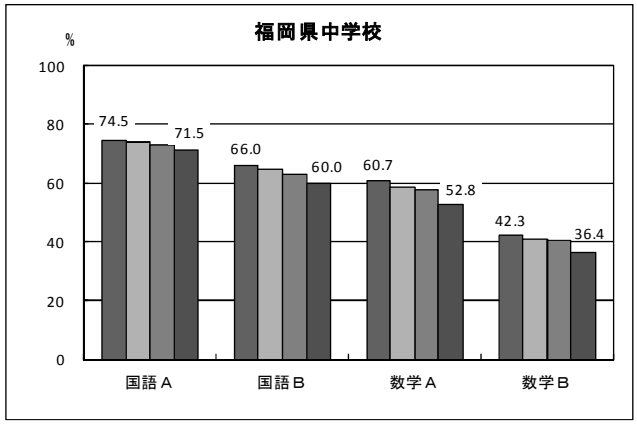
■　中学校回答状況



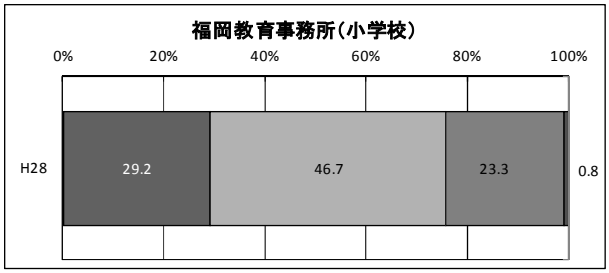


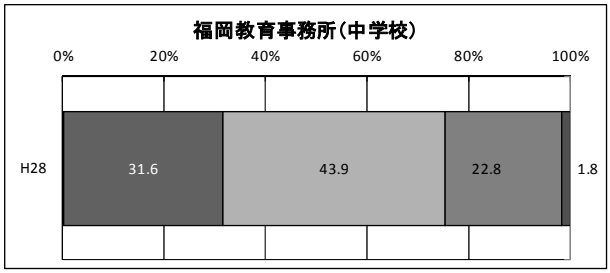
■　教科の正答率との相関関係

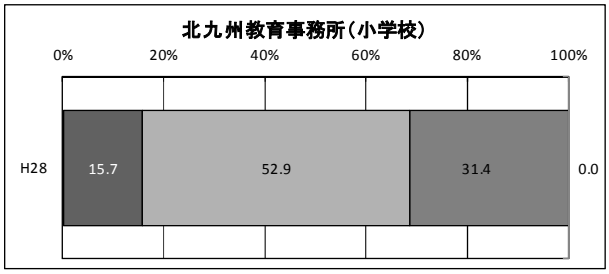


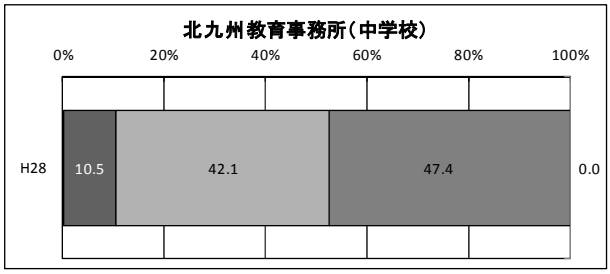


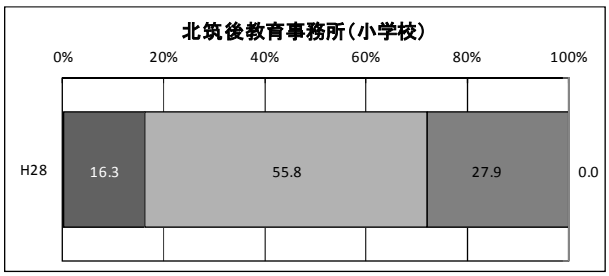
■　地区別回答状況

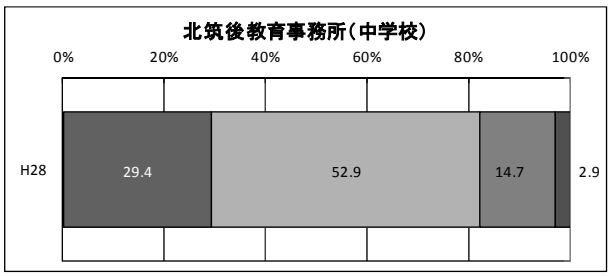

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
29.2
46.7
23.3
0.8

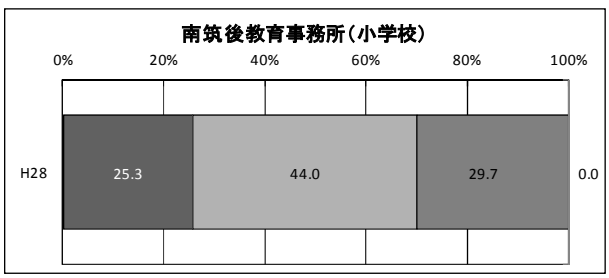

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
31.6
43.9
22.8
1.8

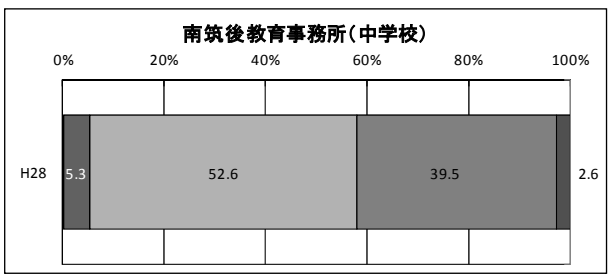

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
15.7
52.9
31.4
0.0

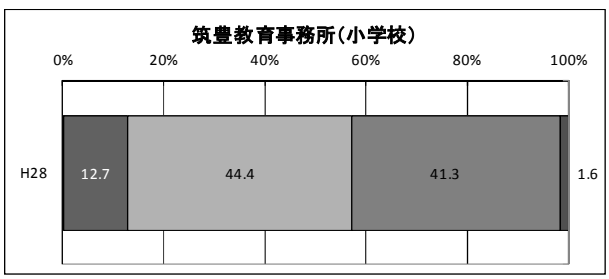

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
10.5
42.1
47.4
0.0

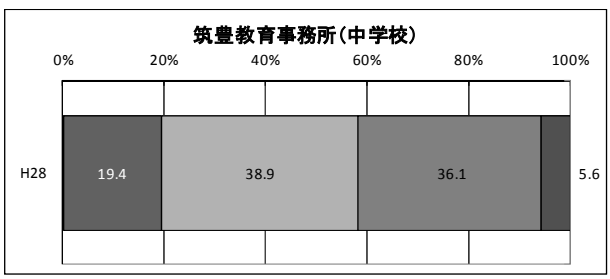

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
16.3
55.8
27.9
0.0

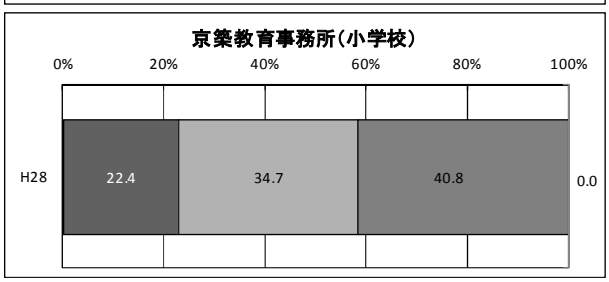

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
29.4
52.9
14.7
2.9

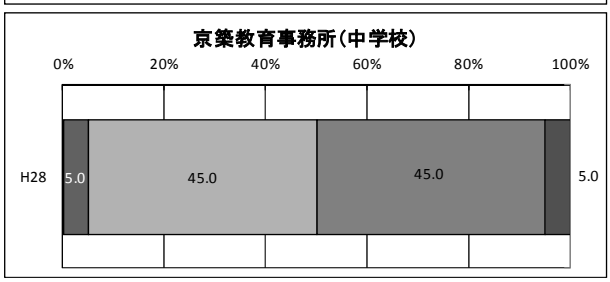

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
25.3
44.0
29.7
0.0

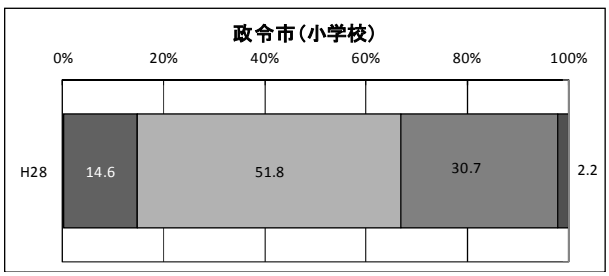

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
5.3
52.6
39.5
2.6

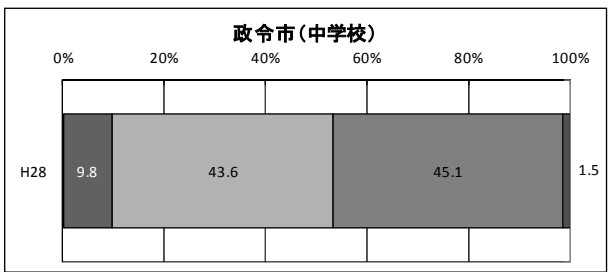

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
12.7
44.4
41.3
1.6


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
19.4
38.9
36.1
5.6


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
22.4
34.7
40.8
0.0


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
5.0
45.0
45.0
5.0


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
14.6
51.8
30.7
2.2


政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H28
9.8
43.6
45.1
1.5

（４） 教職員の取組

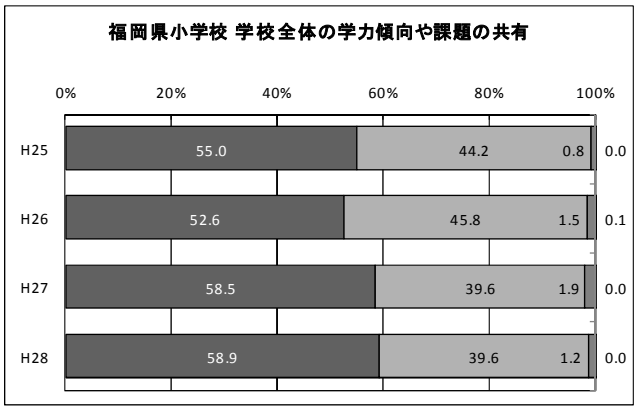
小 114・中 112	学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか。

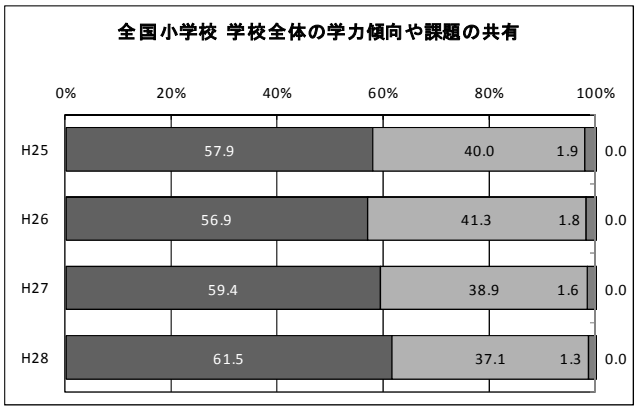
※平成２５年度から加えられた質問

○　よくしていると回答している学校の割合は、平成２７年度と比較して小学校は増加し、中学校はほぼ変化していない。
○　よくしていると回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は 2.6 ポイント、中学校は 7.3 ポイント下回っている。
○　よくしている、どちらかといえばしていると回答している学校の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

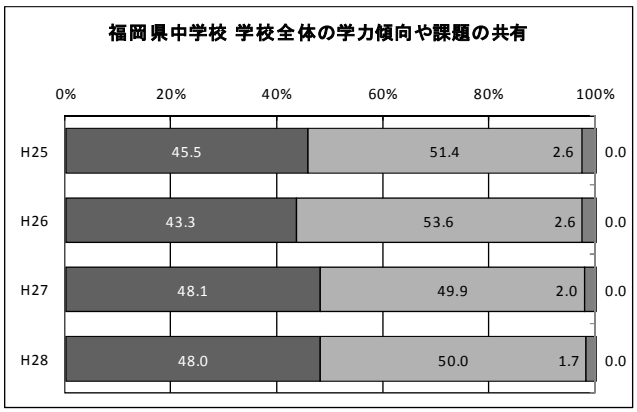
■ よくしている ■ どちらかといえば ■ あまり ■ していない

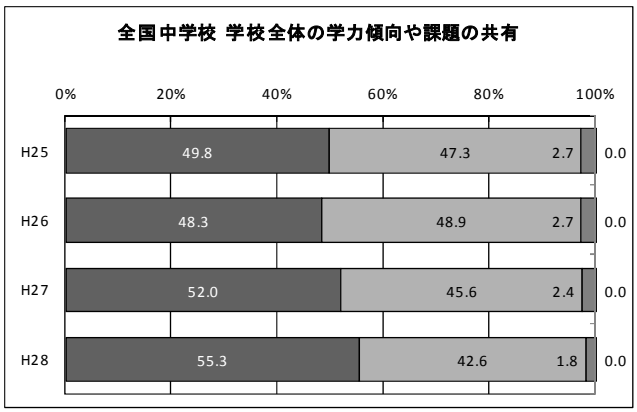
■　小学校回答状況



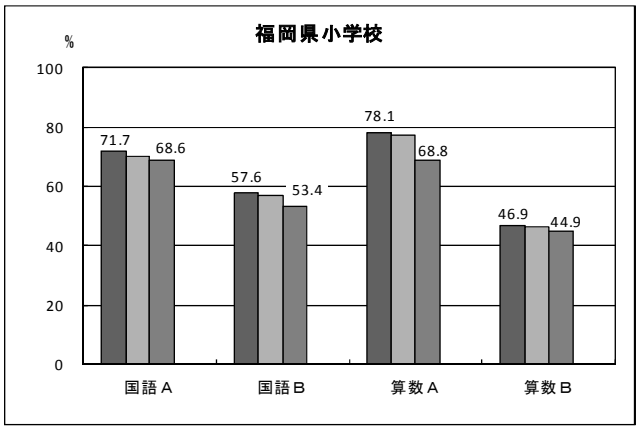


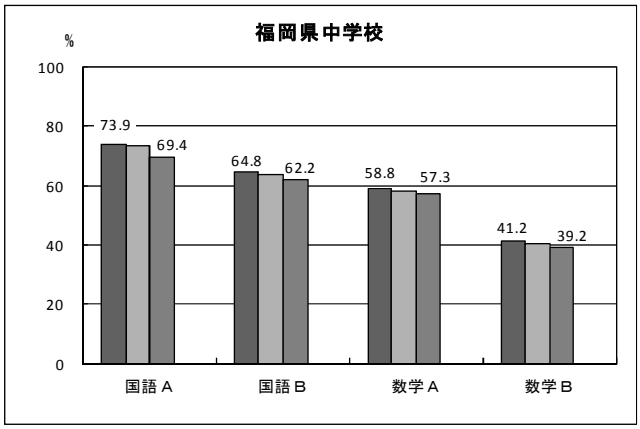
■　中学校回答状況



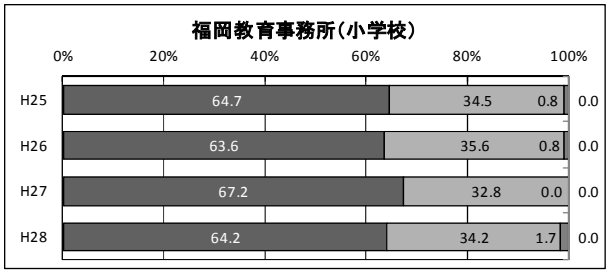


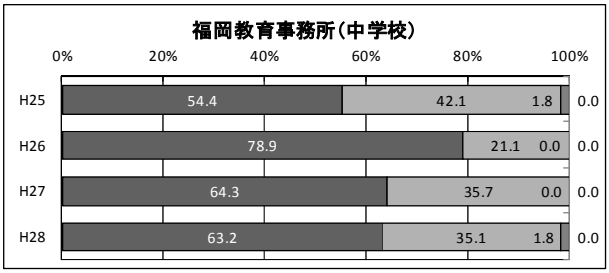
■　教科の正答率との相関関係

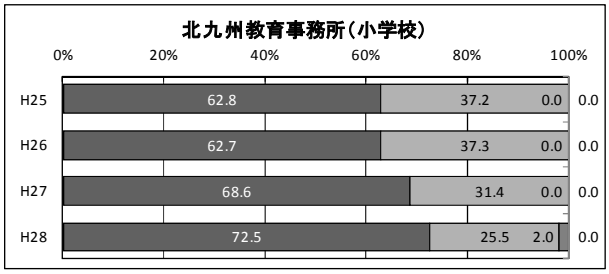


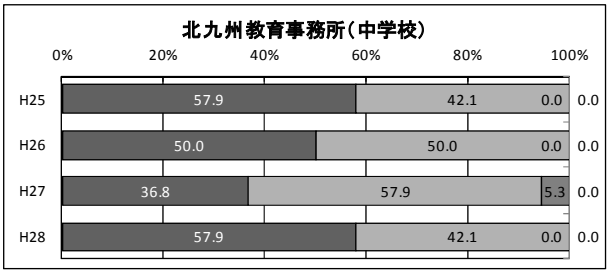


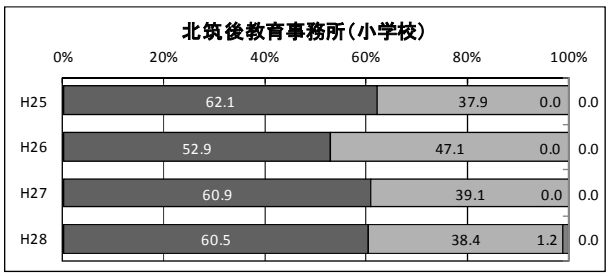
■　地区別回答状況

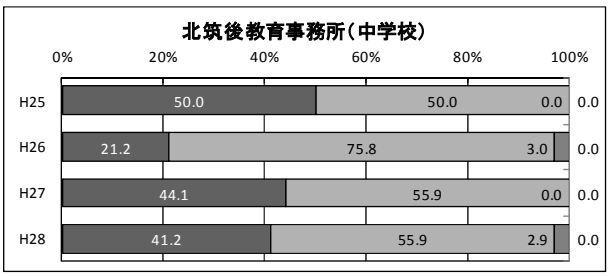

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 64.7 34.5 0.8 0.0
H26 63.6 35.6 0.8 0.0
H27 67.2 32.8 0.0 0.0
H28 64.2 34.2 1.7 0.0

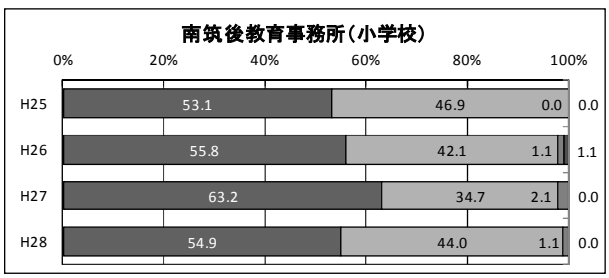

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 54.4 42.1 1.8 0.0
H26 78.9 21.1 0.0 0.0
H27 64.3 35.7 0.0 0.0
H28 63.2 35.1 1.8 0.0

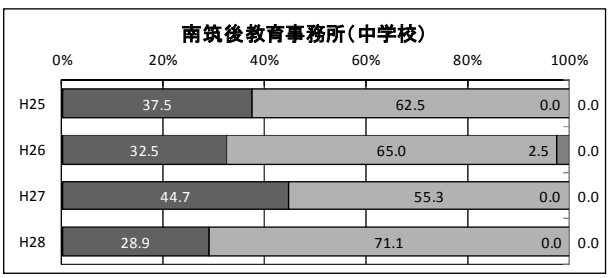

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 62.8 37.2 0.0 0.0
H26 62.7 37.3 0.0 0.0
H27 68.6 31.4 0.0 0.0
H28 72.5 25.5 2.0 0.0

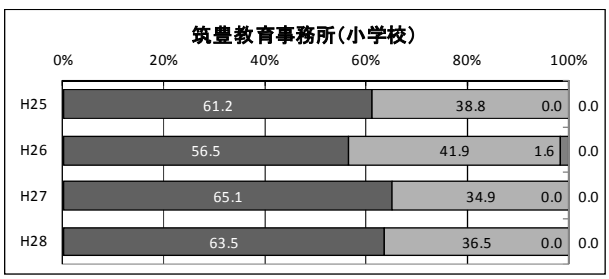

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 57.9 42.1 0.0 0.0
H26 50.0 50.0 0.0 0.0
H27 36.8 57.9 5.3 0.0
H28 57.9 42.1 0.0 0.0

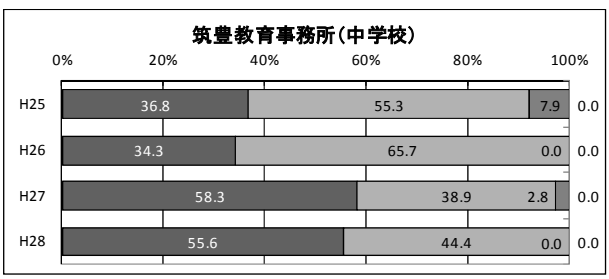

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 62.1 37.9 0.0 0.0
H26 52.9 47.1 0.0 0.0
H27 60.9 39.1 0.0 0.0
H28 60.5 38.4 1.2 0.0

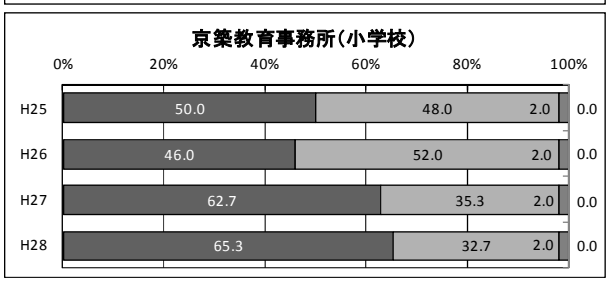

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 50.0 50.0 0.0 0.0
H26 21.2 75.8 3.0 0.0
H27 44.1 55.9 0.0 0.0
H28 41.2 55.9 2.9 0.0

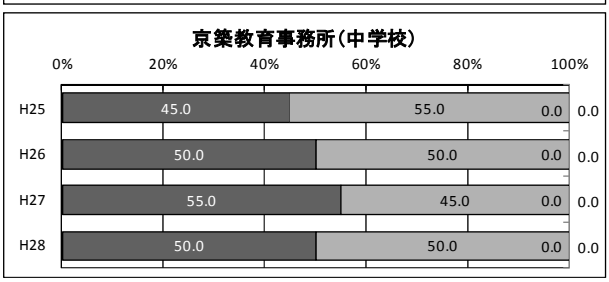

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 53.1 46.9 0.0 0.0
H26 55.8 42.1 1.1 1.1
H27 63.2 34.7 2.1 0.0
H28 54.9 44.0 1.1 0.0

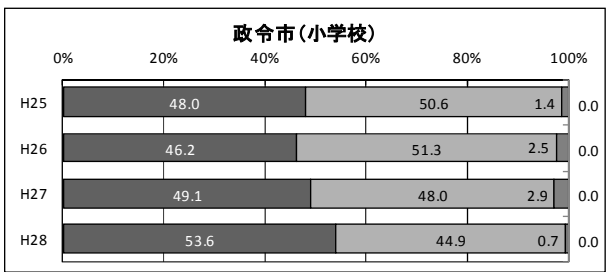

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 37.5 62.5 0.0 0.0
H26 32.5 65.0 2.5 0.0
H27 44.7 55.3 0.0 0.0
H28 28.9 71.1 0.0 0.0

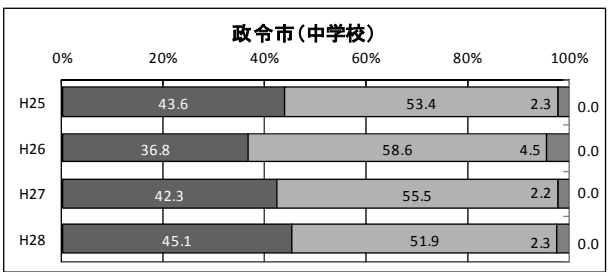

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 61.2 38.8 0.0 0.0
H26 56.5 41.9 1.6 0.0
H27 65.1 34.9 0.0 0.0
H28 63.5 36.5 0.0 0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 36.8 55.3 7.9 0.0
H26 34.3 65.7 0.0 0.0
H27 58.3 38.9 2.8 0.0
H28 55.6 44.4 0.0 0.0


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 50.0 48.0 2.0 0.0
H26 46.0 52.0 2.0 0.0
H27 62.7 35.3 2.0 0.0
H28 65.3 32.7 2.0 0.0


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 45.0 55.0 0.0 0.0
H26 50.0 50.0 0.0 0.0
H27 55.0 45.0 0.0 0.0
H28 50.0 50.0 0.0 0.0


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 48.0 50.6 1.4 0.0
H26 46.2 51.3 2.5 0.0
H27 49.1 48.0 2.9 0.0
H28 53.6 44.9 0.7 0.0


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H25 43.6 53.4 2.3 0.0
H26 36.8 58.6 4.5 0.0
H27 42.3 55.5 2.2 0.0
H28 45.1 51.9 2.3 0.0

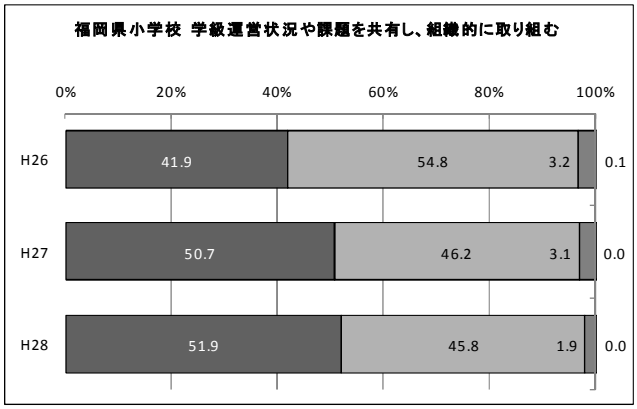
小 115・中 113	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか。

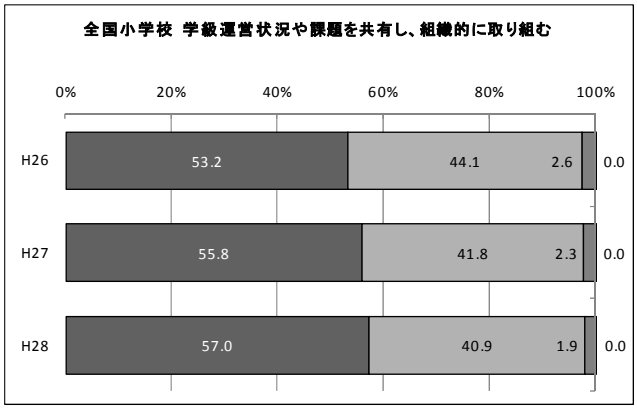
※平成２６年度から加えられた質問

○　よく行ったと回答している学校の割合は、平成２７年度と比較して小学校は増加し、中学校は減少している。
○　よく行ったと回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は 5.1 ポイント、中学校は 9.0 ポイント下回っている。
○　よく行った、どちらかといえば行ったと回答している学校の正答率は、小学校の全教科区分において高い傾向にある。

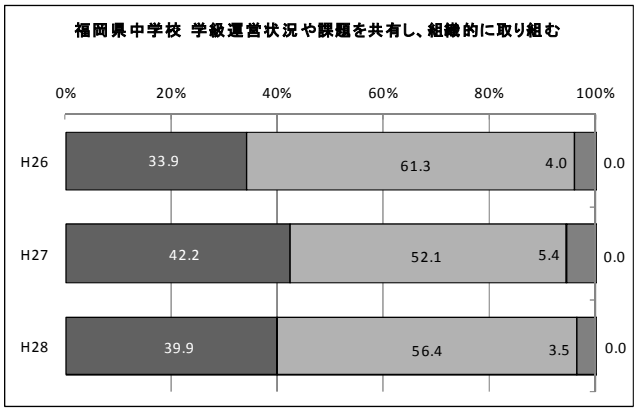
■ よく行った ■ どちらかといえば ■ あまり ■ 行っていない

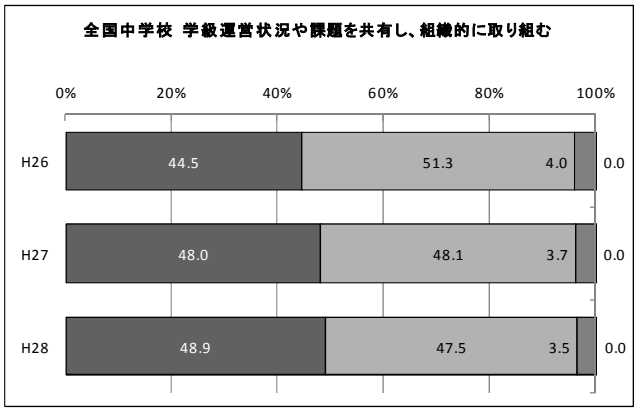
■　小学校回答状況



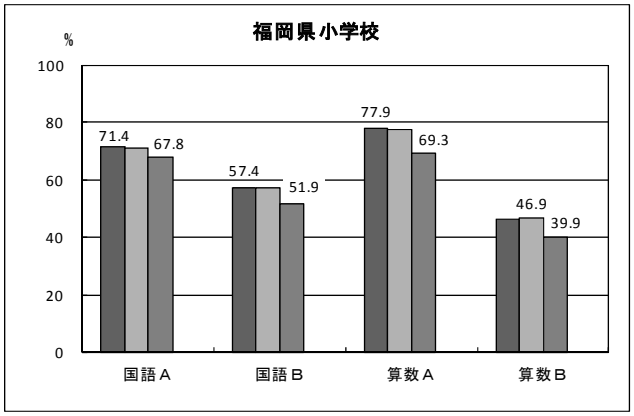


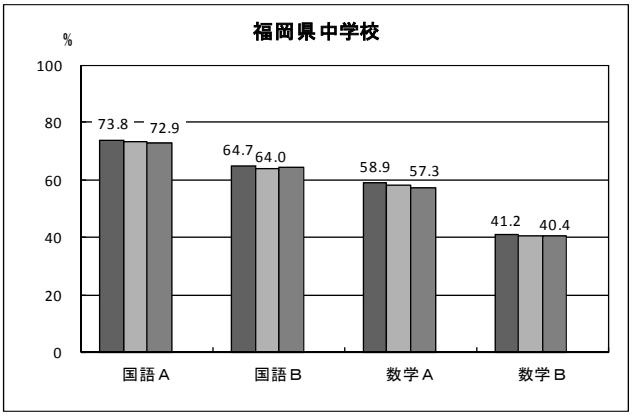
■　中学校回答状況





■　教科の正答率との相関関係





４　家庭・関係機関との連携

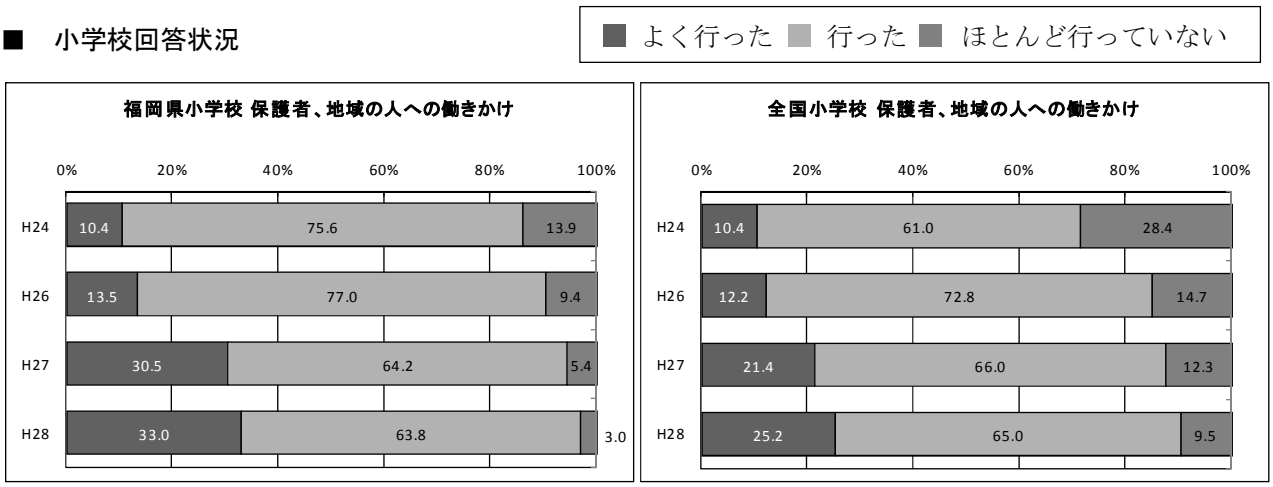
（１）　調査結果の活用

小 62・中 62	平成２７年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか。

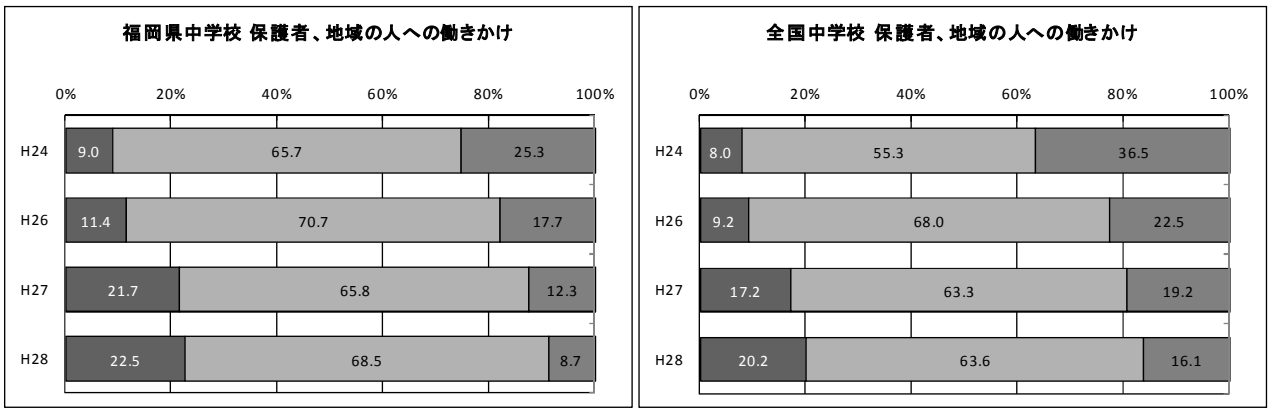
※平成２４年度から加えられた質問

○　よく行ったと回答している学校の割合は、平成２７年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　よく行ったと回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は 7.8 ポイント、中学校は 2.3 ポイント上回っている。
○　よく行った、行ったと回答している学校の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

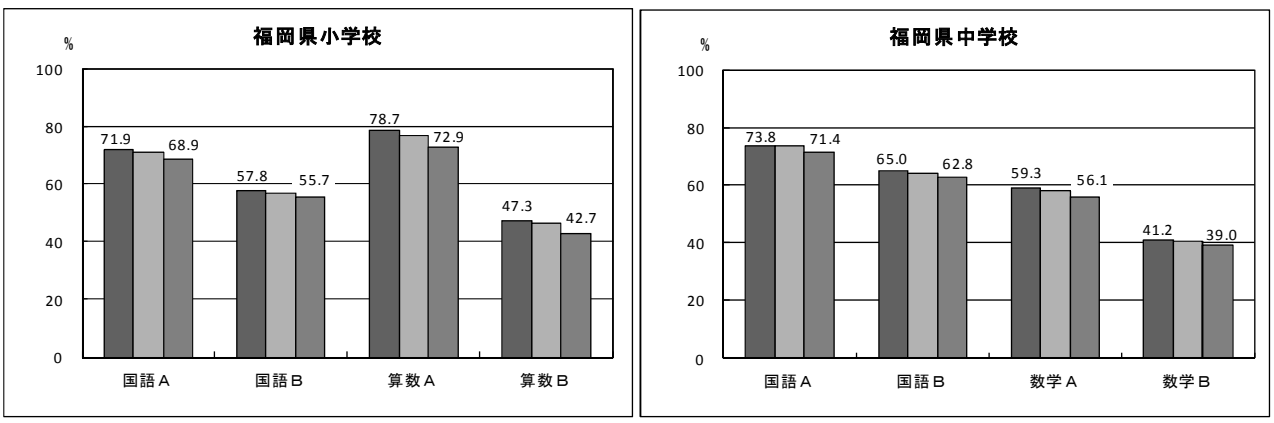
■　小学校回答状況



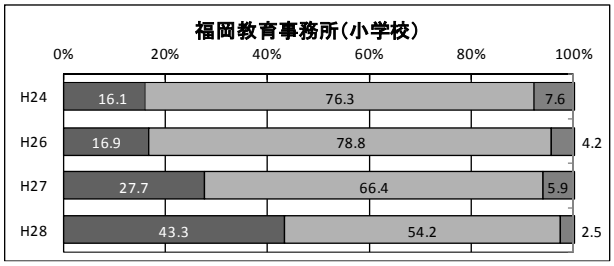
■　中学校回答状況

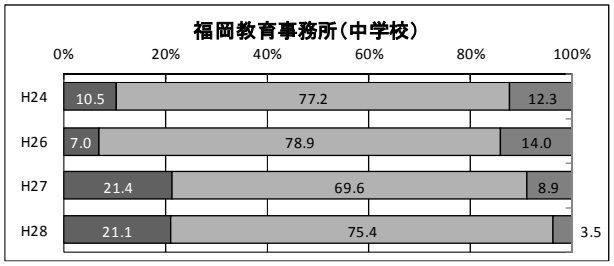


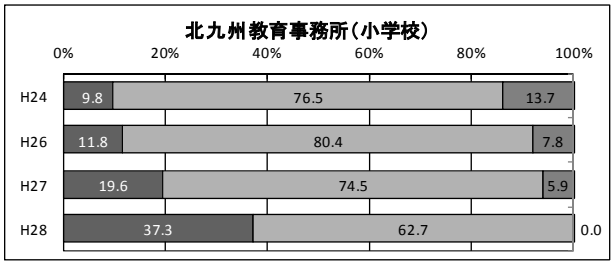
■　教科の正答率との相関関係

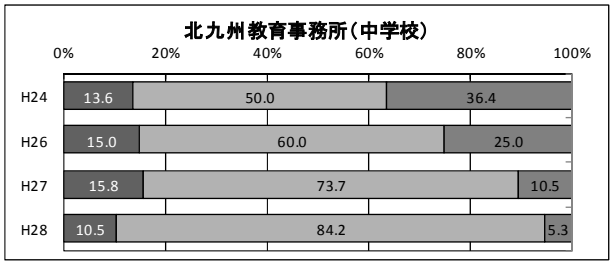


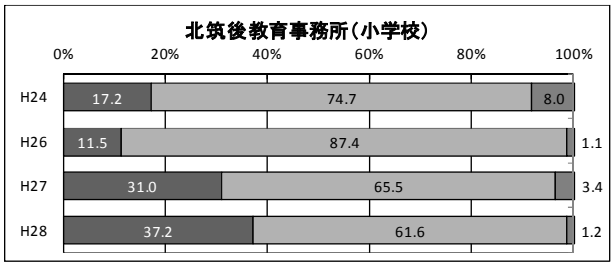
■　地区別回答状況

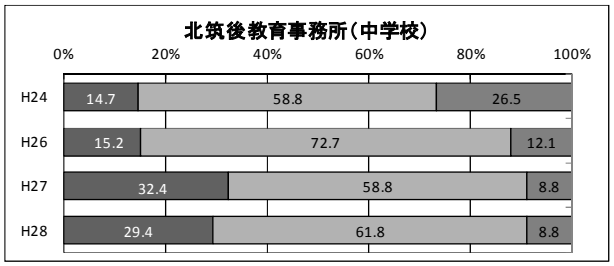

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 16.1 76.3 7.6
H26 16.9 78.8 4.2
H27 27.7 66.4 5.9
H28 43.3 54.2 2.5

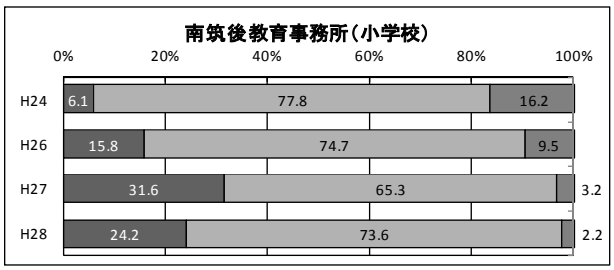

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 10.5 77.2 12.3
H26 7.0 78.9 14.0
H27 21.4 69.6 8.9
H28 21.1 75.4 3.5

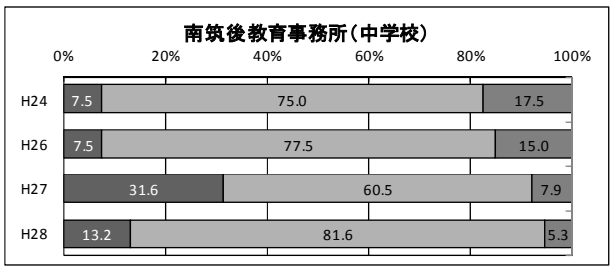

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 9.8 76.5 13.7
H26 11.8 80.4 7.8
H27 19.6 74.5 5.9
H28 37.3 62.7 0.0

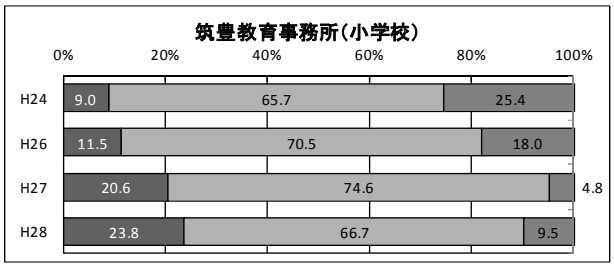

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 13.6 50.0 36.4
H26 15.0 60.0 25.0
H27 15.8 73.7 10.5
H28 10.5 84.2 5.3

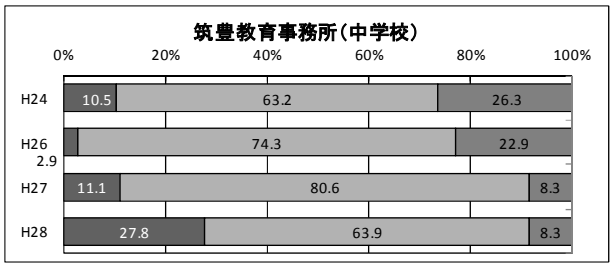

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 17.2 74.7 8.0
H26 11.5 87.4 1.1
H27 31.0 65.5 3.4
H28 37.2 61.6 1.2

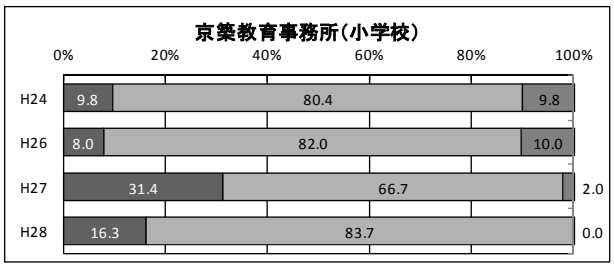

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 14.7 58.8 26.5
H26 15.2 72.7 12.1
H27 32.4 58.8 8.8
H28 29.4 61.8 8.8

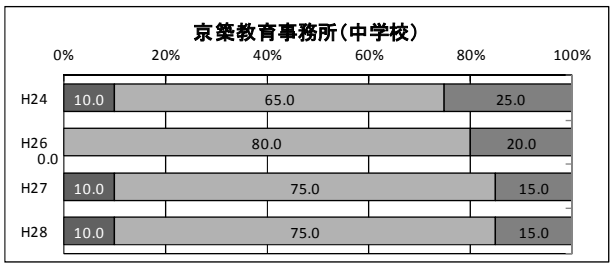

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 6.1 77.8 16.2
H26 15.8 74.7 9.5
H27 31.6 65.3 3.2
H28 24.2 73.6 2.2

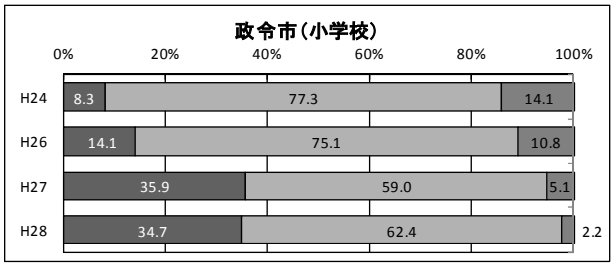

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 7.5 75.0 17.5
H26 7.5 77.5 15.0
H27 31.6 60.5 7.9
H28 13.2 81.6 5.3

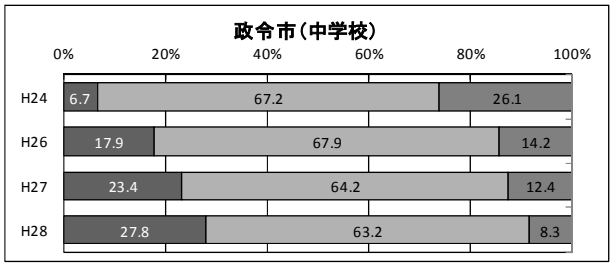

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 9.0 65.7 25.4
H26 11.5 70.5 18.0
H27 20.6 74.6 4.8
H28 23.8 66.7 9.5


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 10.5 63.2 26.3
H26 2.9 74.3 22.9
H27 11.1 80.6 8.3
H28 27.8 63.9 8.3


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 9.8 80.4 9.8
H26 8.0 82.0 10.0
H27 31.4 66.7 2.0
H28 16.3 83.7 0.0


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 10.0 65.0 25.0
H26 0.0 80.0 20.0
H27 10.0 75.0 15.0
H28 10.0 75.0 15.0


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 8.3 77.3 14.1
H26 14.1 75.1 10.8
H27 35.9 59.0 5.1
H28 34.7 62.4 2.2


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H24 6.7 67.2 26.1
H26 17.9 67.9 14.2
H27 23.4 64.2 12.4
H28 27.8 63.2 8.3

（２） 家庭学習

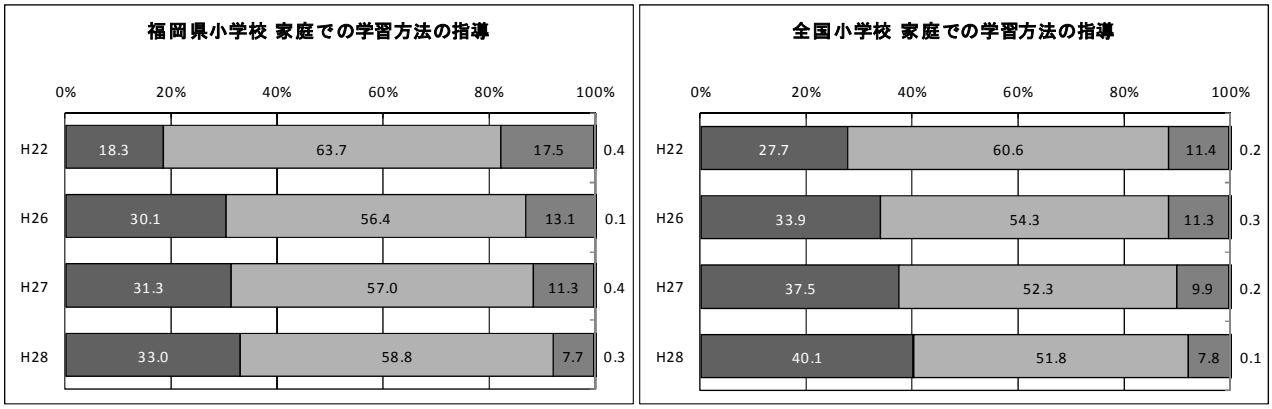
小 99・中 97	前年度までに、家庭学習の取組として、児童（生徒）に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか。（国語、算数・数学共通）

※平成２２年度から加えられた質問

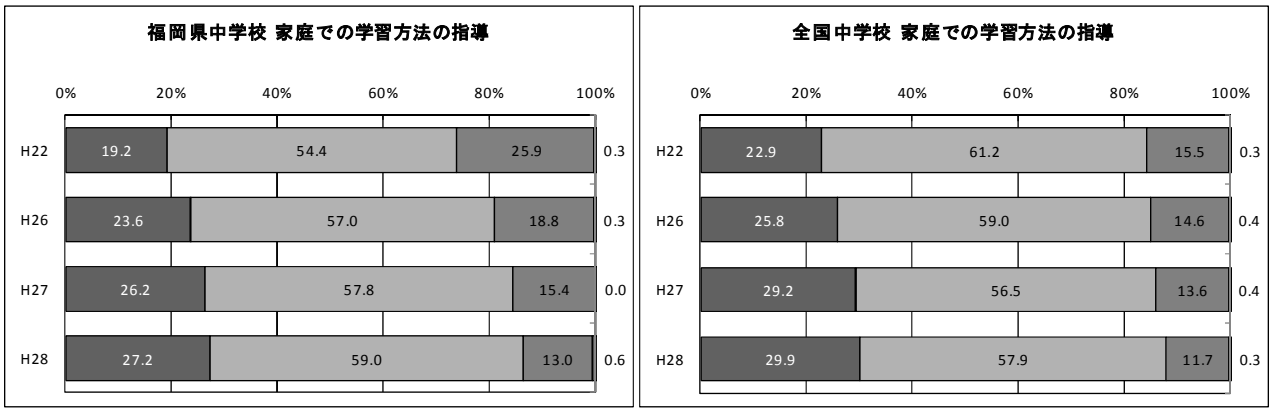
○　よく行ったと回答している学校の割合は、平成２７年度と比較して小学校、中学校ともに増加している。
○　よく行ったと回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は7.1ポイント、中学校は2.7ポイント下回っている。
○　よく行った、どちらかといえば行ったと回答している学校の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。

※「行っていない」と回答した小学校は２校、中学校は２校であったため、教科の正答率との相関関係の考察対象から除外した。

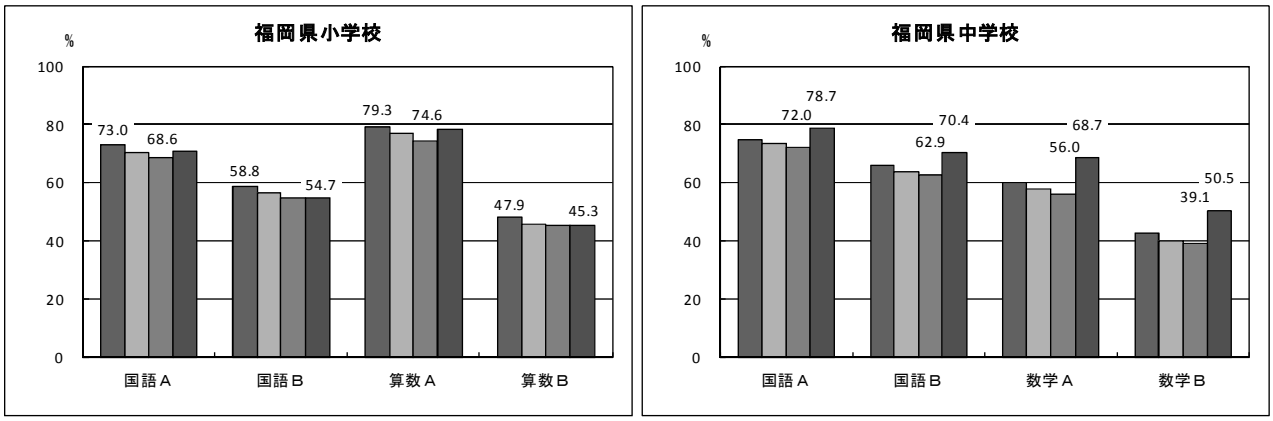
■　小学校回答状況



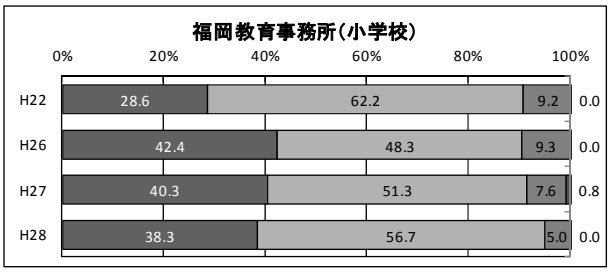
■　中学校回答状況

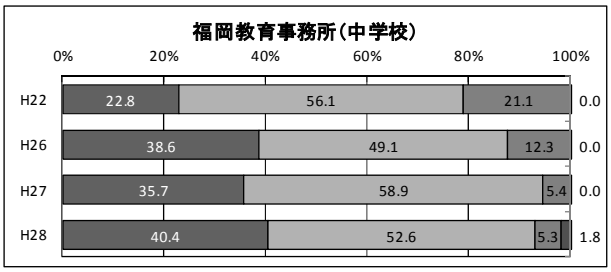


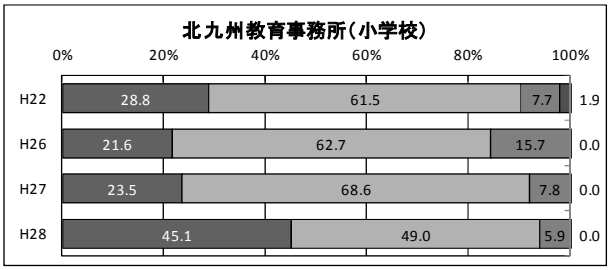
■　教科の正答率との相関関係

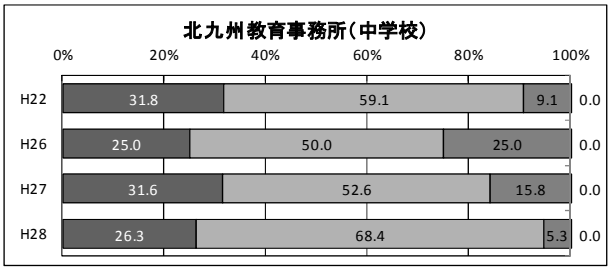


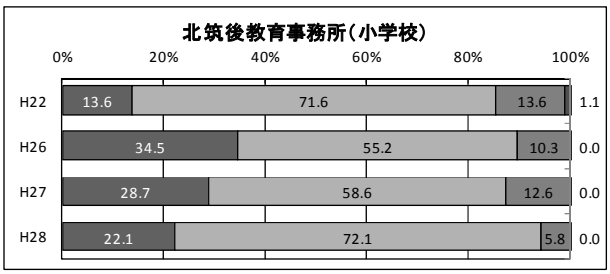
■　地区別回答状況

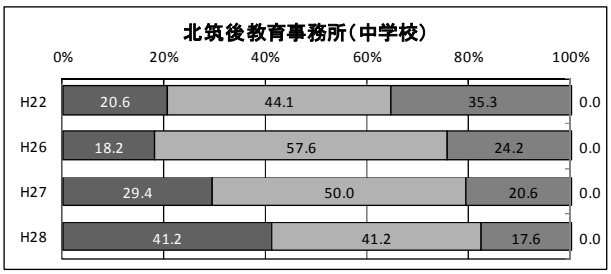

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 28.6 62.2 9.2 0.0
H26 42.4 48.3 9.3 0.0
H27 40.3 51.3 7.6 0.8
H28 38.3 56.7 5.0 0.0

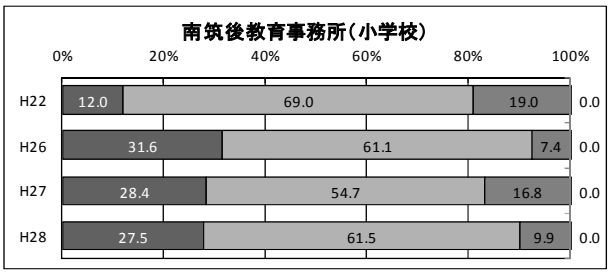

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 22.8 56.1 21.1 0.0
H26 38.6 49.1 12.3 0.0
H27 35.7 58.9 5.4 0.0
H28 40.4 52.6 5.3 1.8

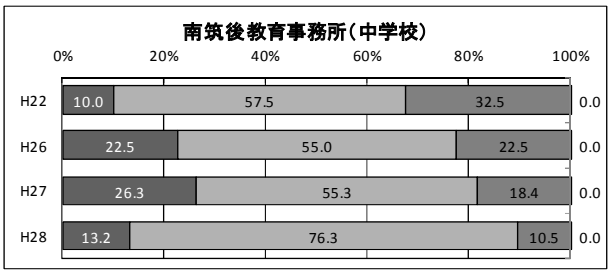

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 28.8 61.5 7.7 1.9
H26 21.6 62.7 15.7 0.0
H27 23.5 68.6 7.8 0.0
H28 45.1 49.0 5.9 0.0

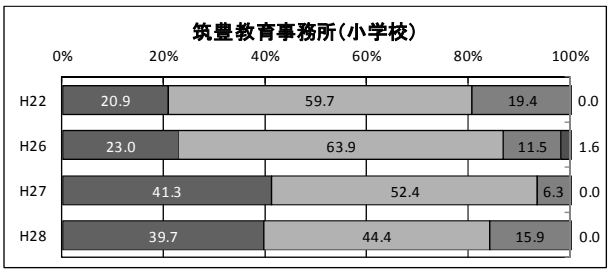

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 31.8 59.1 9.1 0.0
H26 25.0 50.0 25.0 0.0
H27 31.6 52.6 15.8 0.0
H28 26.3 68.4 5.3 0.0

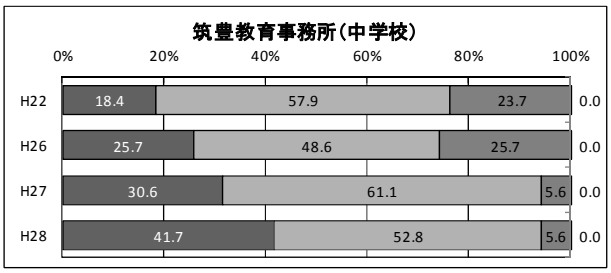

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 13.6 71.6 13.6 1.1
H26 34.5 55.2 10.3 0.0
H27 28.7 58.6 12.6 0.0
H28 22.1 72.1 5.8 0.0

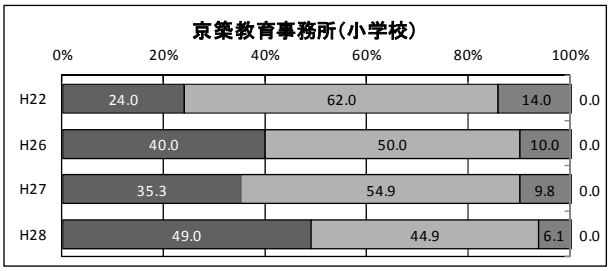

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 20.6 44.1 35.3 0.0
H26 18.2 57.6 24.2 0.0
H27 29.4 50.0 20.6 0.0
H28 41.2 41.2 17.6 0.0

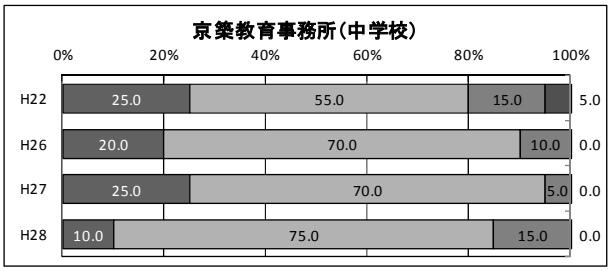

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 12.0 69.0 19.0 0.0
H26 31.6 61.1 7.4 0.0
H27 28.4 54.7 16.8 0.0
H28 27.5 61.5 9.9 0.0

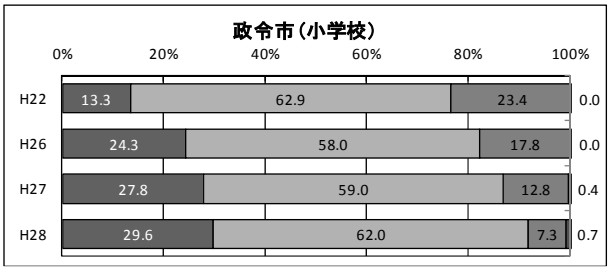

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 10.0 57.5 32.5 0.0
H26 22.5 55.0 22.5 0.0
H27 26.3 55.3 18.4 0.0
H28 13.2 76.3 10.5 0.0

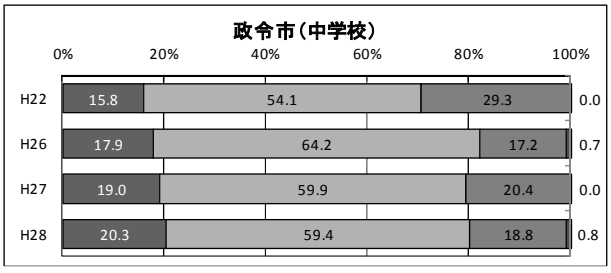

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 20.9 59.7 19.4 0.0
H26 23.0 63.9 11.5 1.6
H27 41.3 52.4 6.3 0.0
H28 39.7 44.4 15.9 0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 18.4 57.9 23.7 0.0
H26 25.7 48.6 25.7 0.0
H27 30.6 61.1 5.6 0.0
H28 41.7 52.8 5.6 0.0


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 24.0 62.0 14.0 0.0
H26 40.0 50.0 10.0 0.0
H27 35.3 54.9 9.8 0.0
H28 49.0 44.9 6.1 0.0


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 25.0 55.0 15.0 5.0
H26 20.0 70.0 10.0 0.0
H27 25.0 70.0 5.0 0.0
H28 10.0 75.0 15.0 0.0


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 13.3 62.9 23.4 0.0
H26 24.3 58.0 17.8 0.0
H27 27.8 59.0 12.8 0.4
H28 29.6 62.0 7.3 0.7

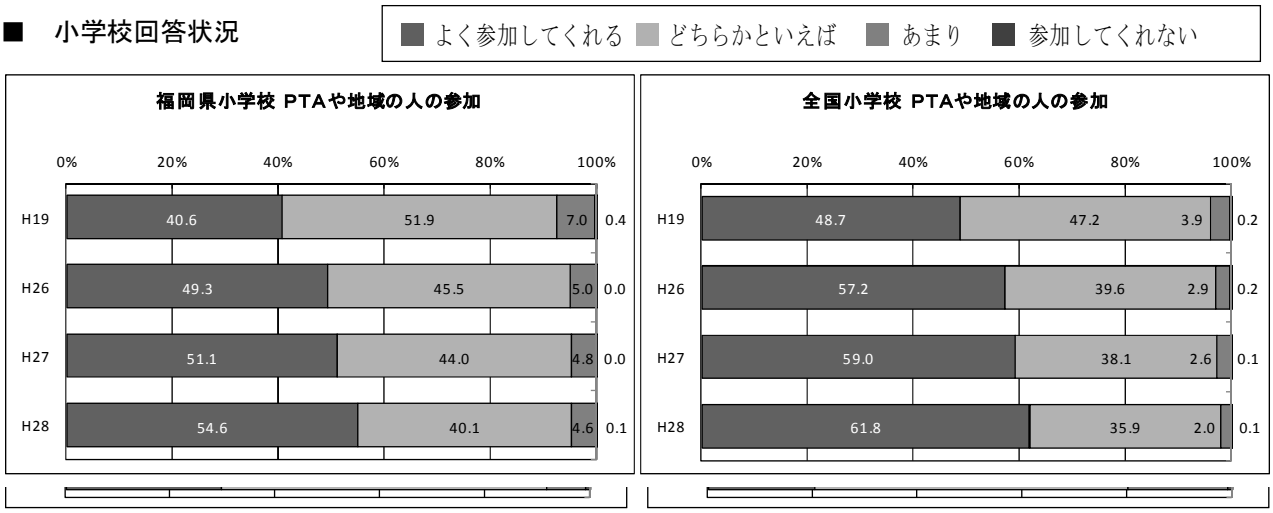

政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H22 15.8 54.1 29.3 0.0
H26 17.9 64.2 17.2 0.7
H27 19.0 59.9 20.4 0.0
H28 20.3 59.4 18.8 0.8

（３） 地域の人材の活用

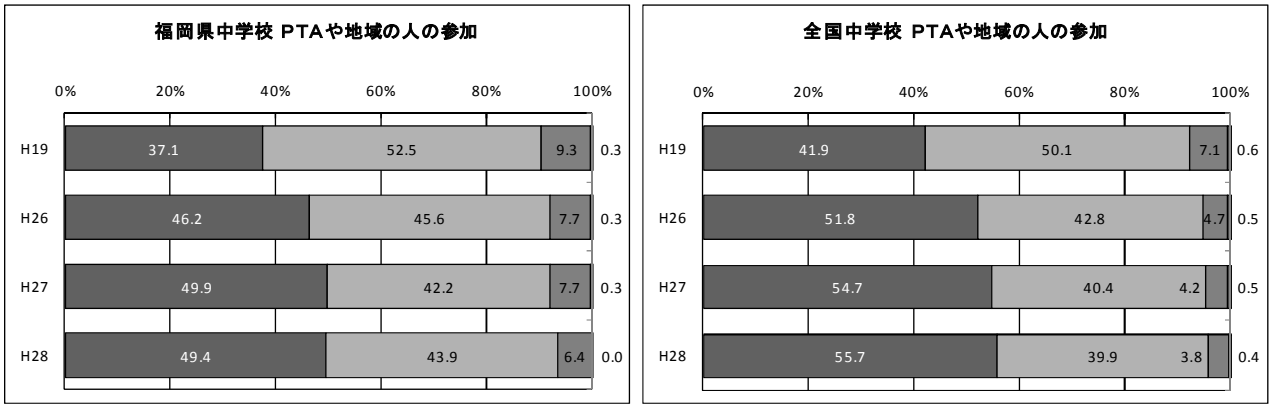
小 89・中 87	ＰＴＡや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか。

○　よく参加してくれると回答した学校の割合は、平成２７年度と比較して小学校は増加し、中学校は減少している。
○　よく参加してくれると回答している学校の割合は、全国と比べ、小学校は 7.2 ポイント、中学校は 6.3 ポイント下回っている。
○　よく参加してくれる、参加してくれると回答している学校の正答率は、全教科区分において高い傾向にある。
※「参加してくれない」と回答した小学校は１校であったため、教科の正答率との相関関係の考察対象から除外した。

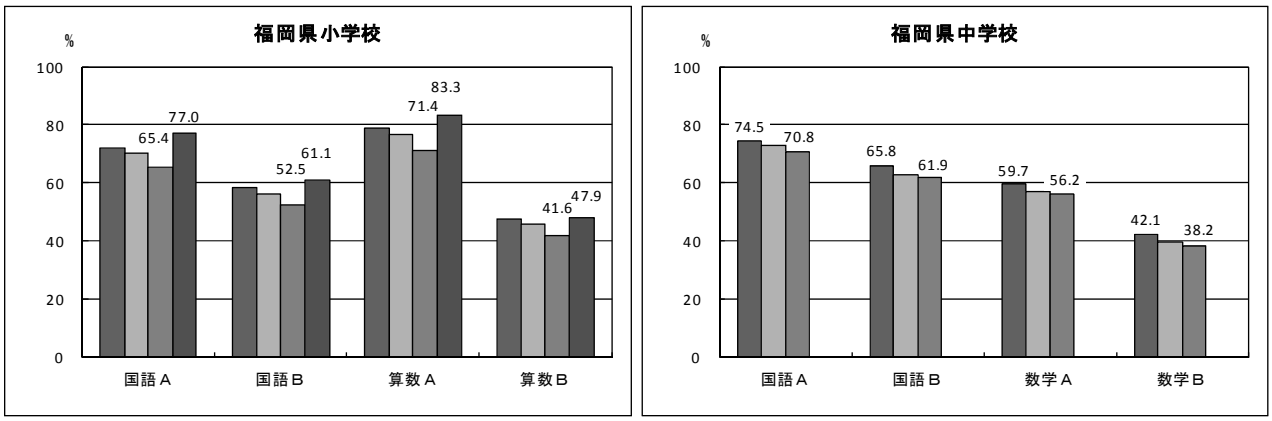
■　小学校回答状況



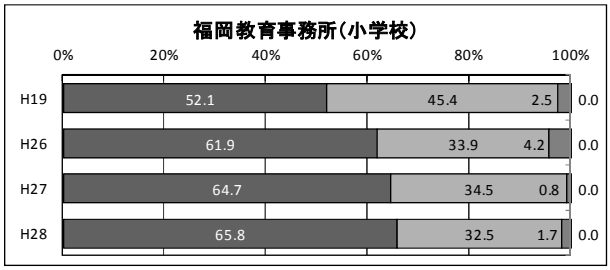
■　中学校回答状況

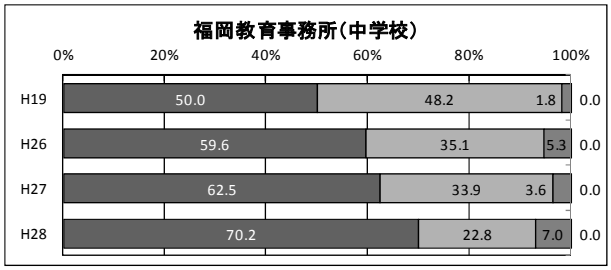


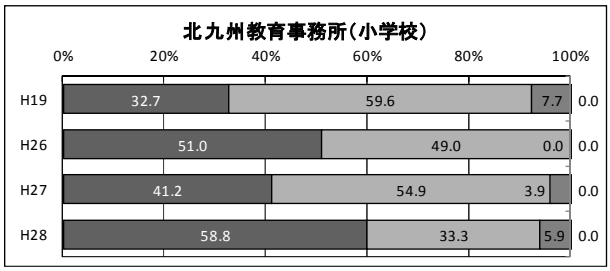
■　教科の正答率との相関関係

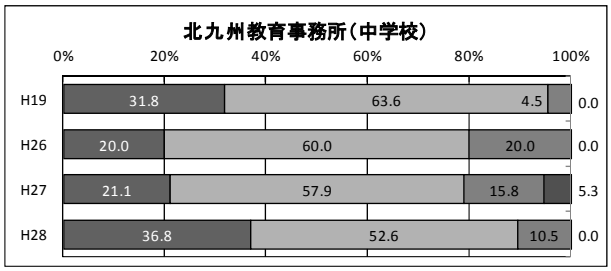


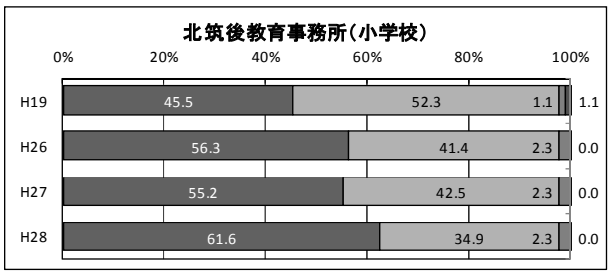
■　地区別回答状況

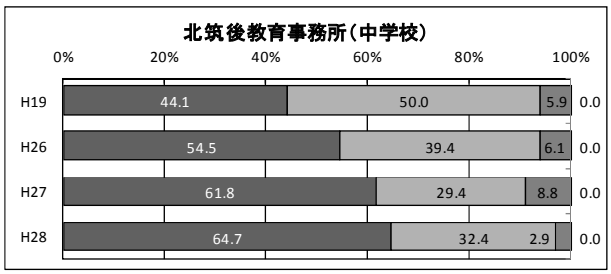

福岡教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 52.1 45.4 2.5 0.0
H26 61.9 33.9 4.2 0.0
H27 64.7 34.5 0.8 0.0
H28 65.8 32.5 1.7 0.0

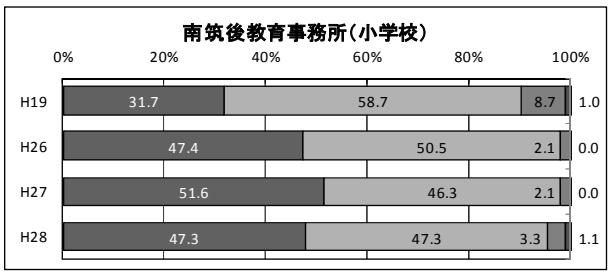

福岡教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 50.0 48.2 1.8 0.0
H26 59.6 35.1 5.3 0.0
H27 62.5 33.9 3.6 0.0
H28 70.2 22.8 7.0 0.0

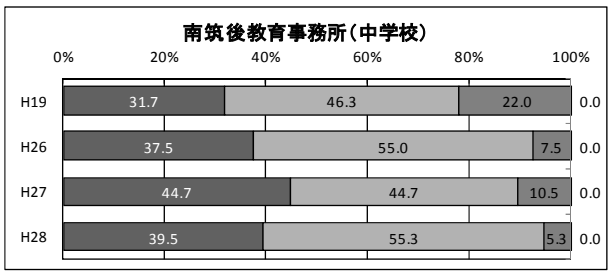

北九州教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 32.7 59.6 7.7 0.0
H26 51.0 49.0 0.0 0.0
H27 41.2 54.9 3.9 0.0
H28 58.8 33.3 5.9 0.0

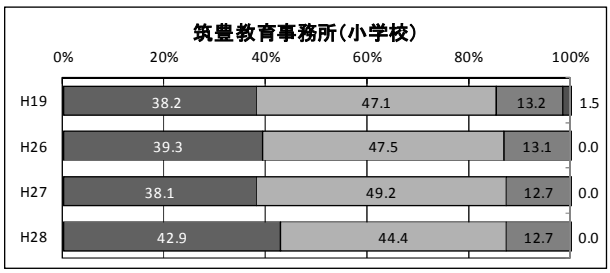

北九州教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 31.8 63.6 4.5 0.0
H26 20.0 60.0 20.0 0.0
H27 21.1 57.9 15.8 5.3
H28 36.8 52.6 10.5 0.0

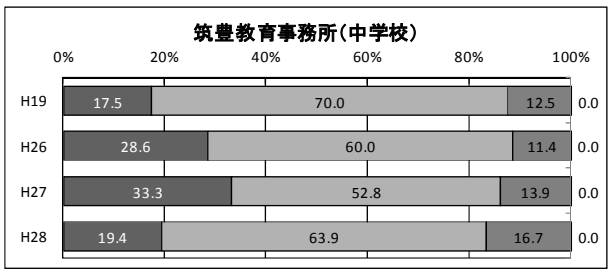

北筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 45.5 52.3 1.1 1.1
H26 56.3 41.4 2.3 0.0
H27 55.2 42.5 2.3 0.0
H28 61.6 34.9 2.3 0.0

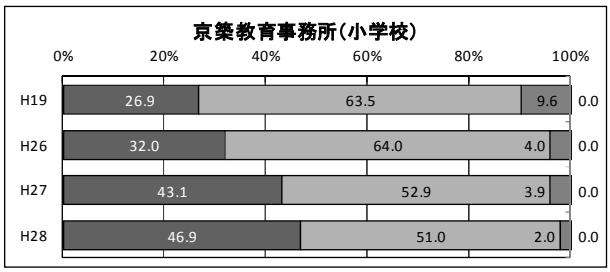

北筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 44.1 50.0 5.9 0.0
H26 54.5 39.4 6.1 0.0
H27 61.8 29.4 8.8 0.0
H28 64.7 32.4 2.9 0.0

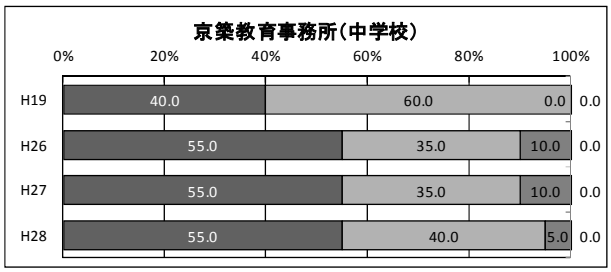

南筑後教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 31.7 58.7 8.7 1.0
H26 47.4 50.5 2.1 0.0
H27 51.6 46.3 2.1 0.0
H28 47.3 47.3 3.3 1.1

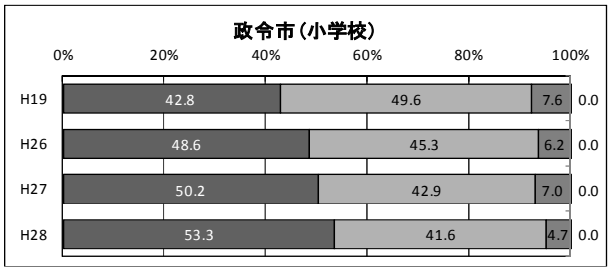

南筑後教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 31.7 46.3 22.0 0.0
H26 37.5 55.0 7.5 0.0
H27 44.7 44.7 10.5 0.0
H28 39.5 55.3 5.3 0.0

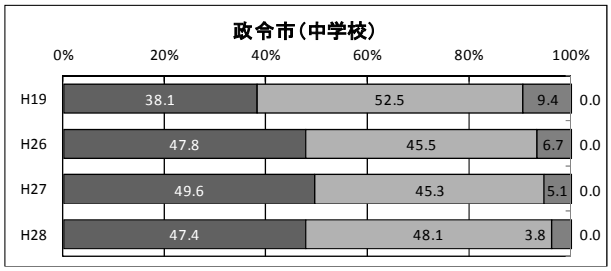

筑豊教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 38.2 47.1 13.2 1.5
H26 39.3 47.5 13.1 0.0
H27 38.1 49.2 12.7 0.0
H28 42.9 44.4 12.7 0.0


筑豊教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 17.5 70.0 12.5 0.0
H26 28.6 60.0 11.4 0.0
H27 33.3 52.8 13.9 0.0
H28 19.4 63.9 16.7 0.0


京築教育事務所(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 26.9 63.5 9.6 0.0
H26 32.0 64.0 4.0 0.0
H27 43.1 52.9 3.9 0.0
H28 46.9 51.0 2.0 0.0


京築教育事務所(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 40.0 60.0 0.0 0.0
H26 55.0 35.0 10.0 0.0
H27 55.0 35.0 10.0 0.0
H28 55.0 40.0 5.0 0.0


政令市(小学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 42.8 49.6 7.6 0.0
H26 48.6 45.3 6.2 0.0
H27 50.2 42.9 7.0 0.0
H28 53.3 41.6 4.7 0.0


政令市(中学校)
0% 20% 40% 60% 80% 100%
H19 38.1 52.5 9.4 0.0
H26 47.8 45.5 6.7 0.0
H27 49.6 45.3 5.1 0.0
H28 47.4 48.1 3.8 0.0

５　その他

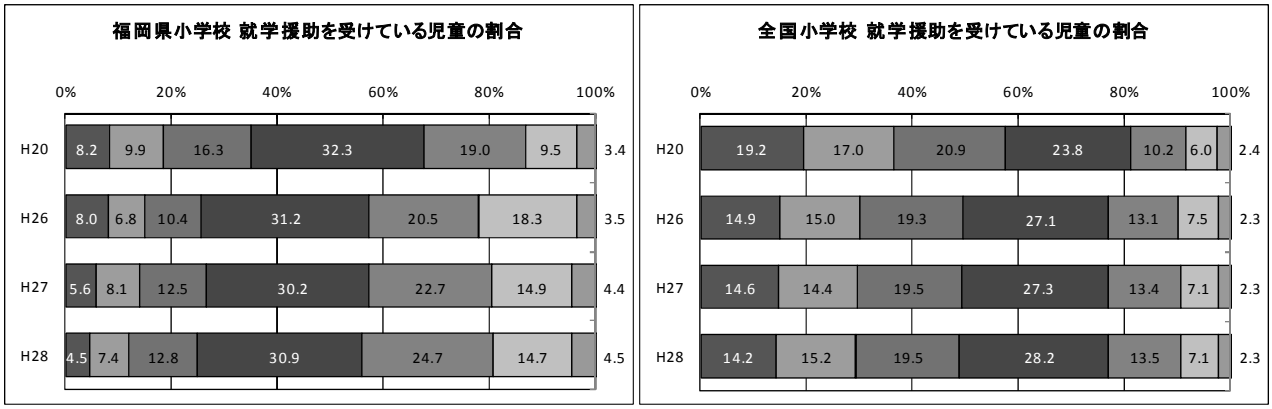
就学援助

小 22・中 22	就学援助を受けている児童（生徒）の割合

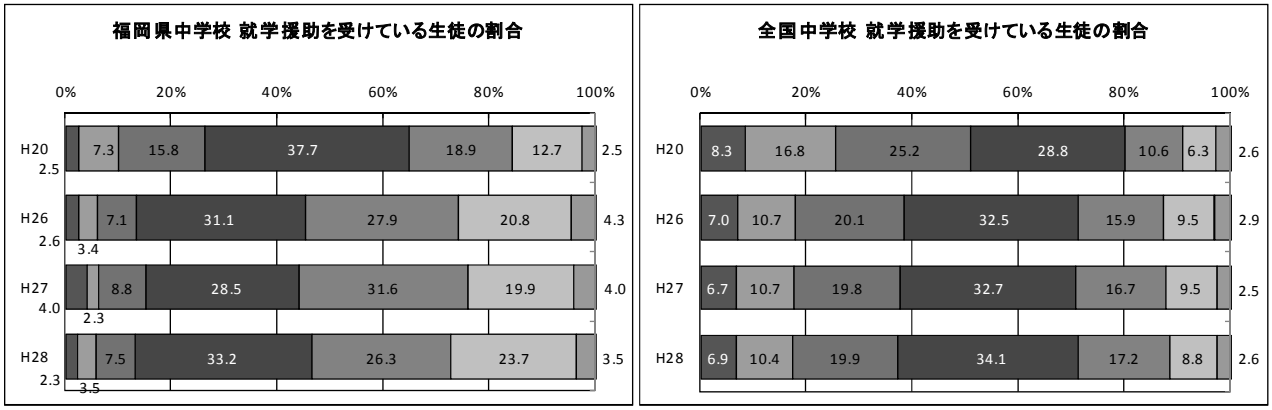
※平成２０年度から加えられた質問

○　小学校、中学校ともに全国と比べ、就学援助を受けている児童生徒の割合が高い学校が多い。
○　就学援助を受けている児童生徒の割合が高い小学校は、全教科区分において正答率が低い傾向にある。

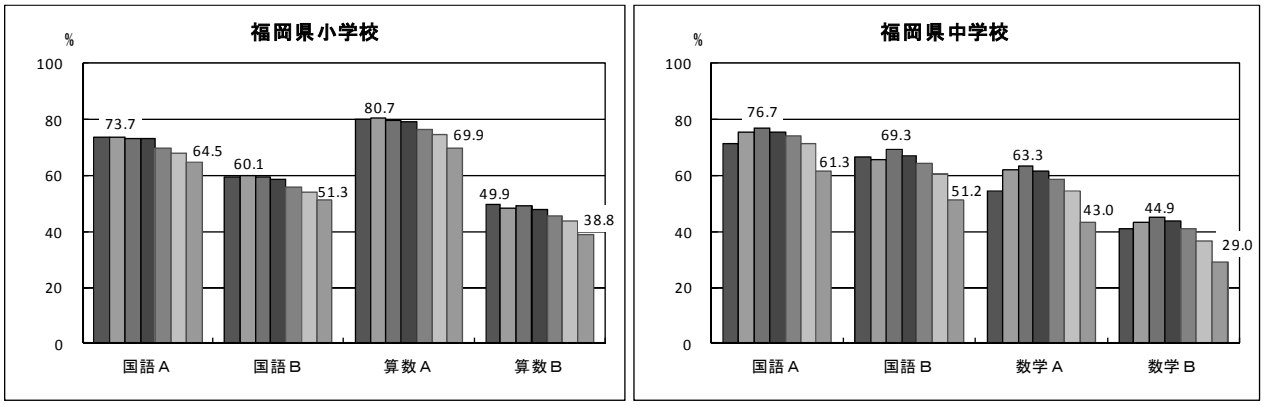
■　小学校回答状況



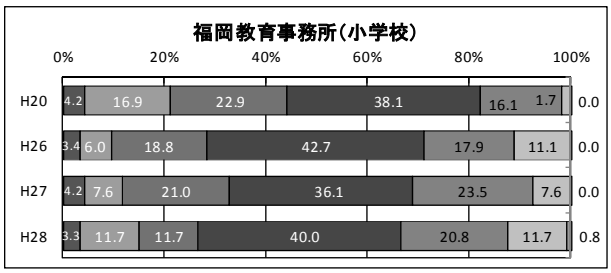
■　中学校回答状況

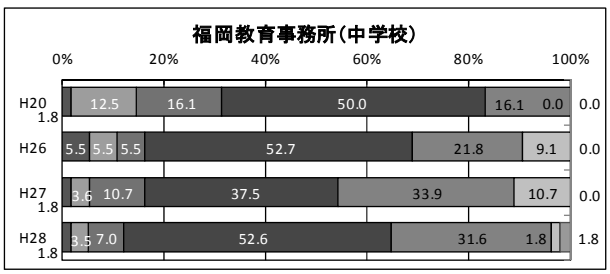


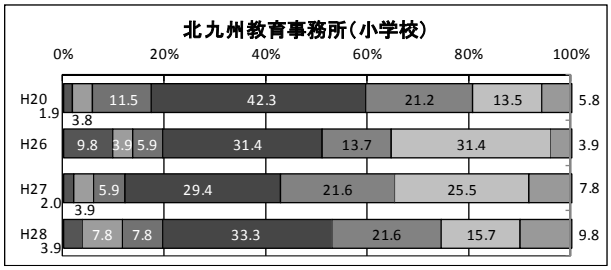
■　教科の正答率との相関関係

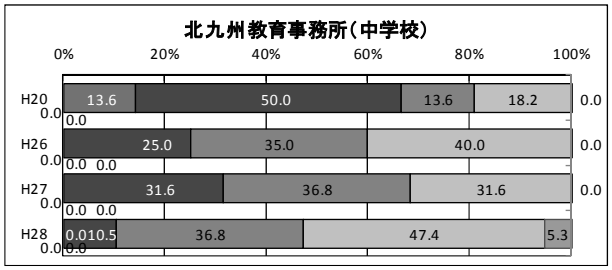


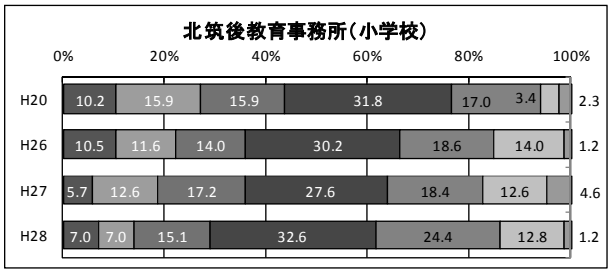
■　地区別回答状況

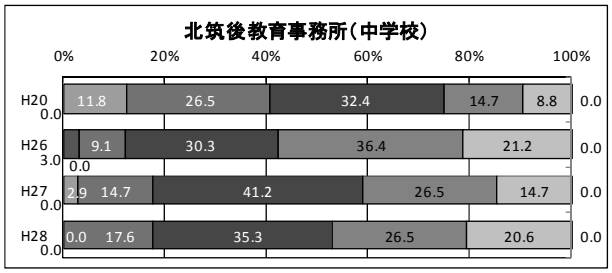

福岡教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
4.2
16.9
22.9
38.1
16.1
1.7
0.0
H26
3.4
6.0
18.8
42.7
17.9
11.1
0.0
H27
4.2
7.6
21.0
36.1
23.5
7.6
0.0
H28
3.3
11.7
11.7
40.0
20.8
11.7
0.8

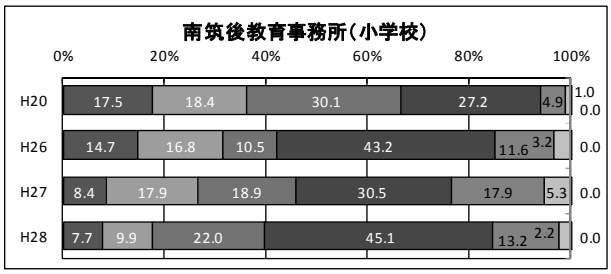

福岡教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
1.8
12.5
16.1
50.0
16.1
0.0
0.0
H26
5.5
5.5
5.5
52.7
21.8
9.1
0.0
H27
1.8
3.6
10.7
37.5
33.9
10.7
0.0
H28
1.8
3.5
7.0
52.6
31.6
1.8
1.8

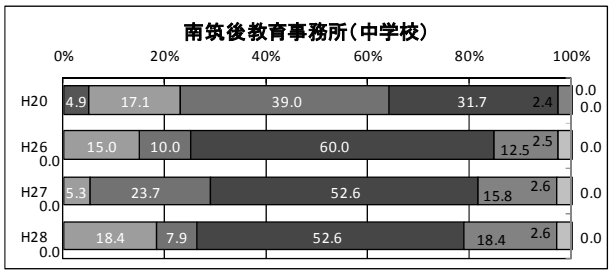

北九州教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
1.9
3.8
11.5
42.3
21.2
13.5
5.8
H26
9.8
3.9
5.9
31.4
13.7
31.4
3.9
H27
2.0
3.9
5.9
29.4
21.6
25.5
7.8
H28
3.9
7.8
7.8
33.3
21.6
15.7
9.8

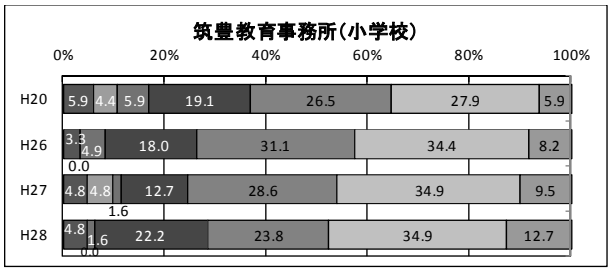

北九州教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
0.0
0.0
13.6
50.0
13.6
18.2
0.0
H26
0.0
0.0
25.0
35.0
40.0
0.0
H27
0.0
0.0
0.0
31.6
36.8
31.6
0.0
H28
0.0
0.0
0.0
10.5
36.8
47.4
5.3

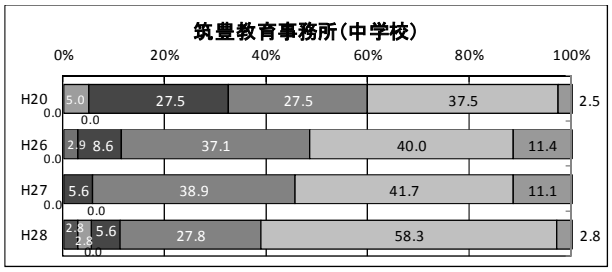

北筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
10.2
15.9
15.9
31.8
17.0
3.4
2.3
H26
10.5
11.6
14.0
30.2
18.6
14.0
1.2
H27
5.7
12.6
17.2
27.6
18.4
12.6
4.6
H28
7.0
7.0
15.1
32.6
24.4
12.8
1.2

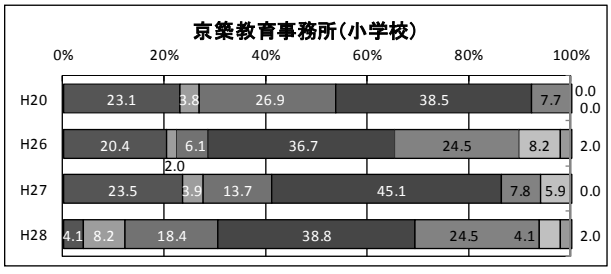

北筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
0.0
11.8
26.5
32.4
14.7
8.8
0.0
H26
3.0
0.0
9.1
30.3
36.4
21.2
0.0
H27
0.0
2.9
14.7
41.2
26.5
14.7
0.0
H28
0.0
0.0
17.6
35.3
26.5
20.6
0.0

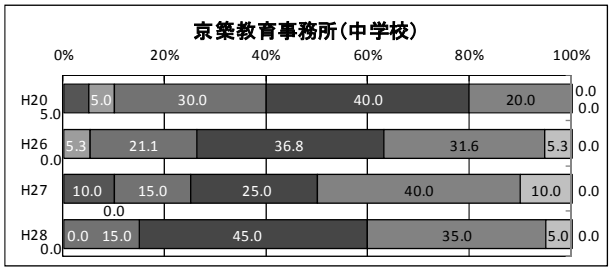

南筑後教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
17.5
18.4
30.1
27.2
4.9
1.0
0.0
H26
14.7
16.8
10.5
43.2
11.6
3.2
0.0
H27
8.4
17.9
18.9
30.5
17.9
5.3
0.0
H28
7.7
9.9
22.0
45.1
13.2
2.2
0.0

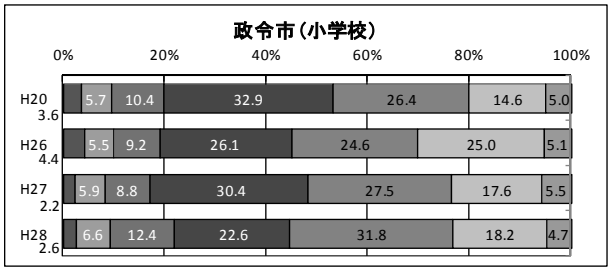

南筑後教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
4.9
17.1
39.0
31.7
2.4
0.0
0.0
H26
0.0
15.0
10.0
60.0
12.5
2.5
0.0
H27
0.0
5.3
23.7
52.6
15.8
2.6
0.0
H28
0.0
18.4
7.9
52.6
18.4
2.6
0.0

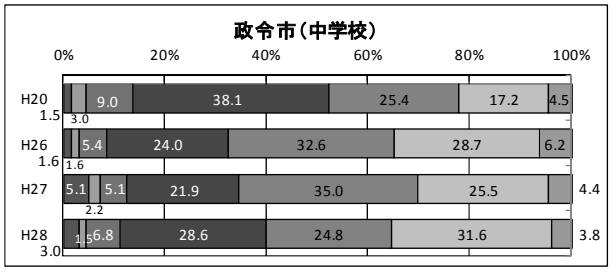

筑豊教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
5.9
4.4
5.9
19.1
26.5
27.9
5.9
H26
3.3
4.9
0.0
18.0
31.1
34.4
8.2
H27
4.8
4.8
1.6
12.7
28.6
34.9
9.5
H28
4.8
1.6
0.0
22.2
23.8
34.9
12.7


筑豊教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
0.0
5.0
0.0
27.5
27.5
37.5
2.5
H26
0.0
2.9
8.6
37.1
40.0
11.4
H27
0.0
5.6
0.0
38.9
41.7
11.1
H28
2.8
2.8
2.8
5.6
27.8
58.3
0.0


京築教育事務所(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
23.1
3.8
26.9
38.5
7.7
0.0
0.0
H26
20.4
2.0
6.1
36.7
24.5
8.2
2.0
H27
23.5
3.9
13.7
45.1
7.8
5.9
0.0
H28
4.1
8.2
18.4
38.8
24.5
4.1
2.0


京築教育事務所(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
5.0
5.0
30.0
40.0
20.0
0.0
0.0
H26
0.0
5.3
21.1
36.8
31.6
5.3
0.0
H27
0.0
10.0
15.0
25.0
40.0
10.0
0.0
H28
0.0
0.0
15.0
45.0
35.0
5.0
0.0


政令市(小学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
3.6
5.7
10.4
32.9
26.4
14.6
5.0
H26
4.4
5.5
9.2
26.1
24.6
25.0
5.1
H27
2.2
5.9
8.8
30.4
27.5
17.6
5.5
H28
2.6
6.6
12.4
22.6
31.8
18.2
4.7


政令市(中学校)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
H20
1.5
3.0
9.0
38.1
25.4
17.2
4.5
H26
1.6
1.6
5.4
24.0
32.6
28.7
6.2
H27
2.2
5.1
5.1
21.9
35.0
25.5
4.4
H28
3.0
1.5
6.8
28.6
24.8
31.6
3.8

Ⅵ　児童生徒質問紙と学校質問紙の調査結果の対比

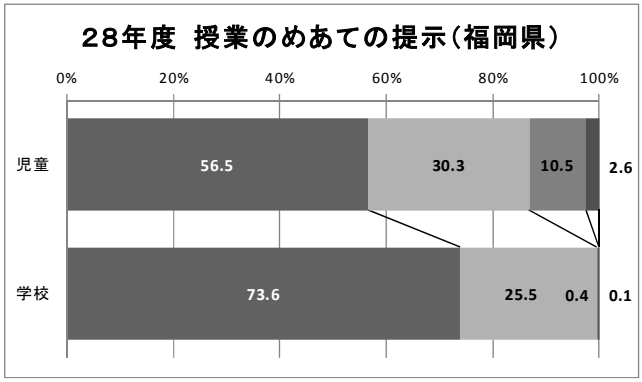
児童生徒質問紙と学校質問紙の共通質問について、教師と児童生徒の認識の違いをみる。

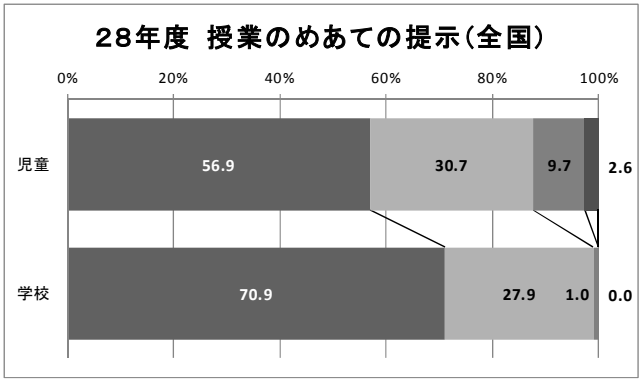
１　小学校

あてはまる　どちらかといえば　あまり　全く

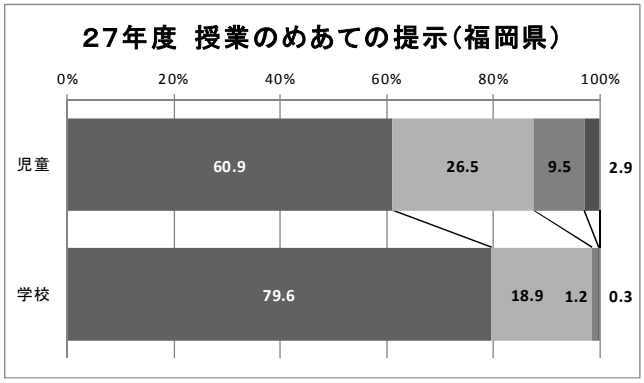
※　数字は、児童生徒質問紙及び学校質問紙中の質問番号

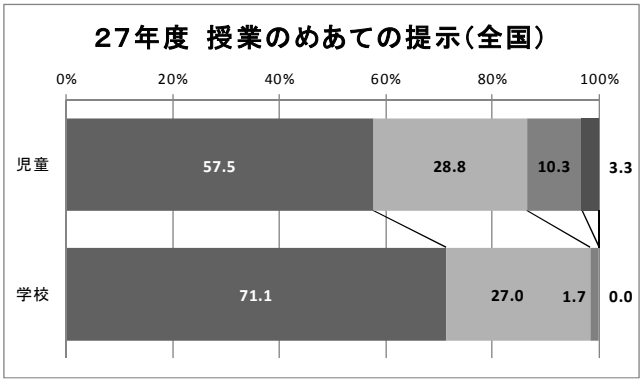
児童質問紙	５３	５年生までに受けた授業では、授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。
学校質問紙	３６	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか。





＜参考　２７年度調査結果＞



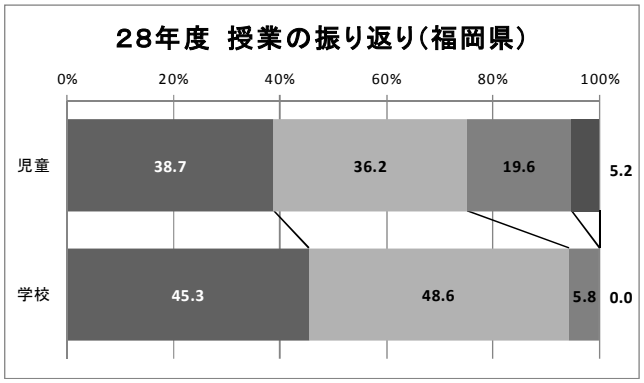


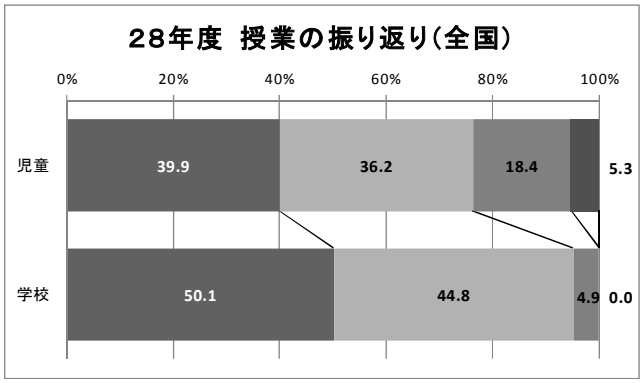
○　「授業のめあてが示されていたか」という問いに対し、肯定的な回答をした児童の割合は、学校が回答した割合よりも 12.3 ポイント低い。

○　全国との比較では、肯定的な回答をした割合は、児童は 0.8 ポイント低く、学校は 0.3 ポイント高い。

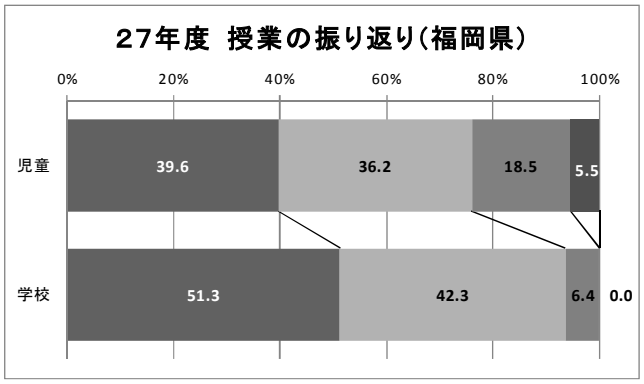
○　平成２７年度との比較では、肯定的な回答をした割合は、児童は 0.6 ポイント減少し、学校は 0.6 ポイント増加している。

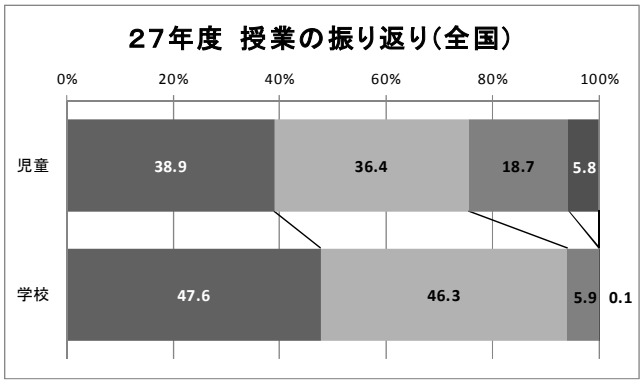
児童質問紙	５４	５年生までに受けた授業では、授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。
学校質問紙	３７	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか。





＜参考　２７年度調査結果＞



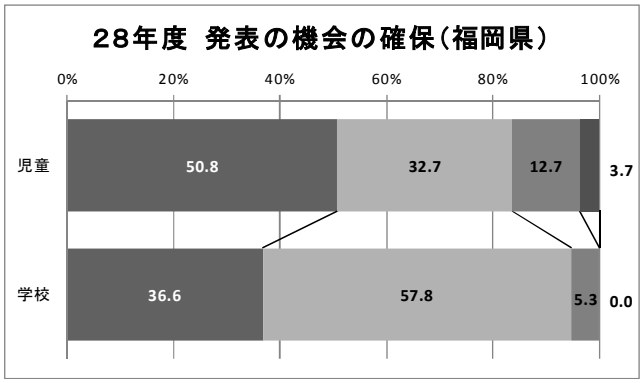


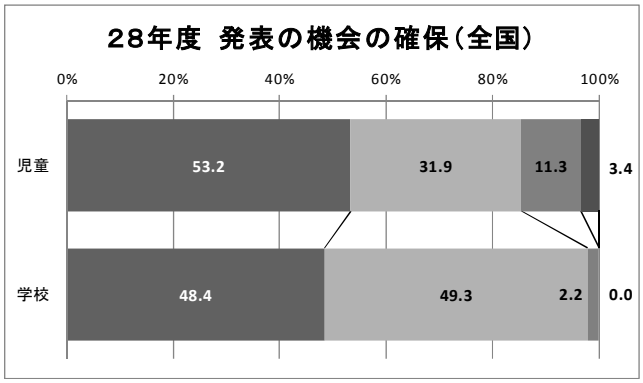
○　「授業の振り返りが行われていたか」という問いに対し、肯定的な回答をした児童の割合は、学校が回答した割合よりも 19.0 ポイント低い。

○　全国との比較では、肯定的な回答をした割合は、児童は 1.2 ポイント、学校は 1.0 ポイント低い。

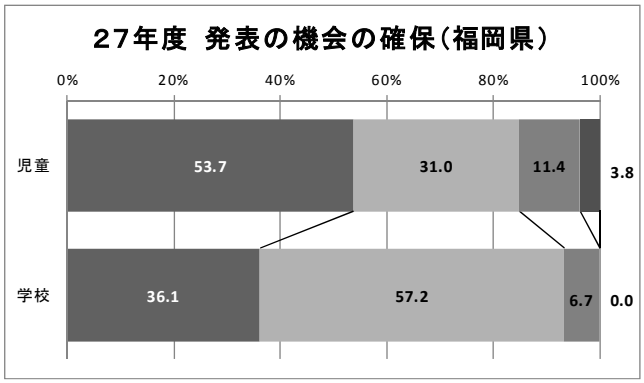
○　平成２７年度との比較では、肯定的な回答をした割合は、児童は 0.9 ポイント減少し、学校は 0.3 ポイント増加している。

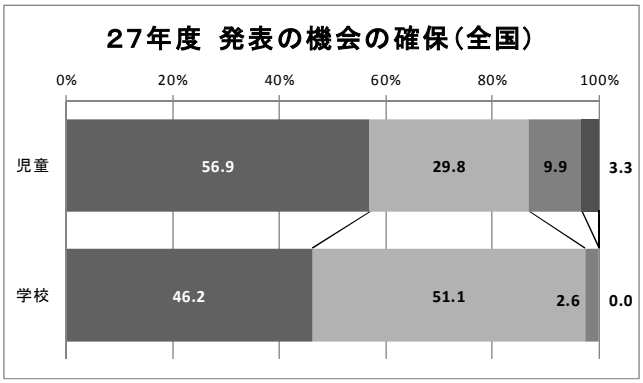
児童質問紙	４８	５年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。
学校質問紙	４０	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか。





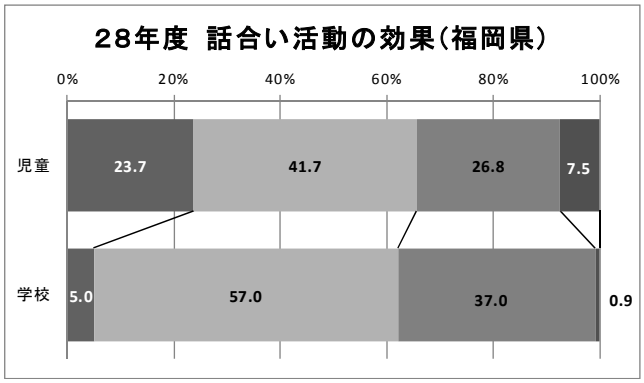
＜参考　２７年度調査結果＞

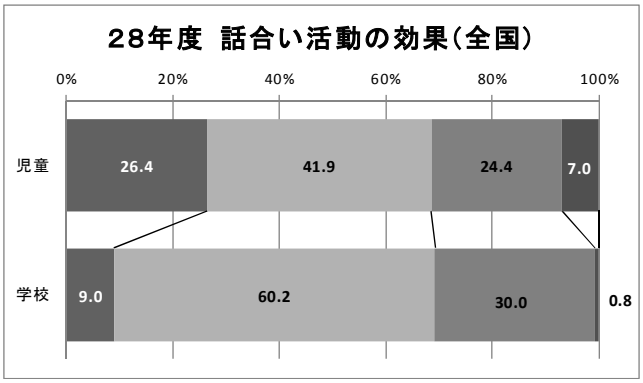




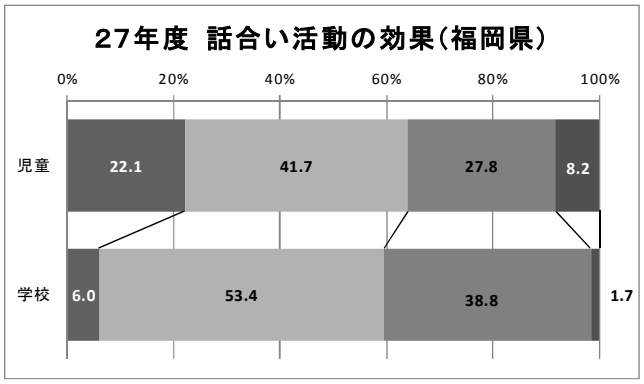
○　「発表の機会が与えられていたか」という問いに対し、肯定的な回答をした児童の割合は、学校が回答した割合よりも 10.9 ポイント低い。
○　全国との比較では、肯定的な回答をした割合は、児童は 1.6 ポイント、学校は 3.3 ポイント低い。
○　平成２７年度との比較では、肯定的な回答をした割合は、児童は 1.2 ポイント減少し、学校は 1.1 ポイント増加している。

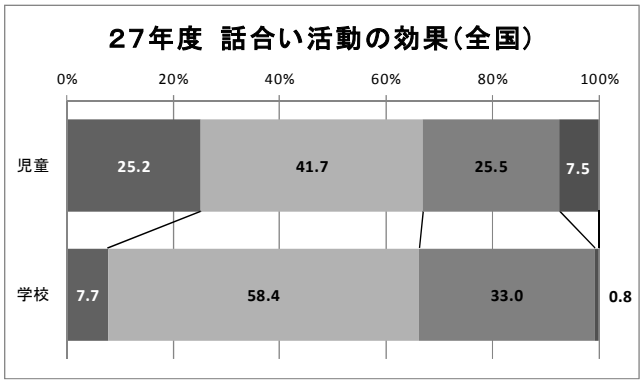
児童質問紙	５９	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。
学校質問紙	１９	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。





＜参考　２７年度調査結果＞





○　「自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか」という問いに対し、肯定的な回答をした児童の割合は、学校が回答した割合よりも 3.4 ポイント高い。

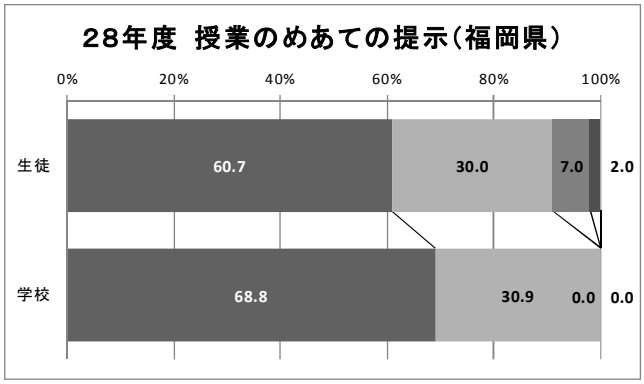
○　全国との比較では、肯定的な回答をした割合は、児童は 2.9 ポイント、学校は 7.2 ポイント低い。

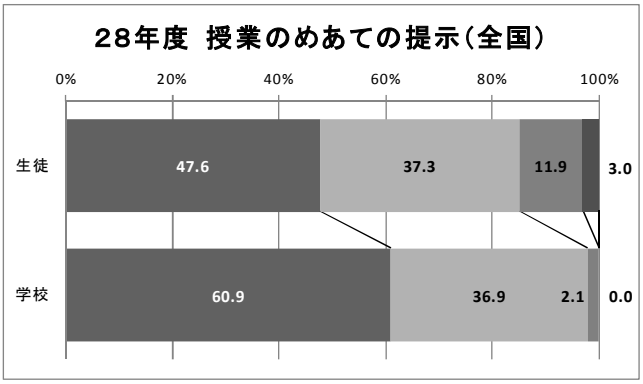
○　平成２７年度との比較では、肯定的な回答をした割合は、児童は 1.6 ポイント、学校は 2.6 ポイント増加している。

２　中学校

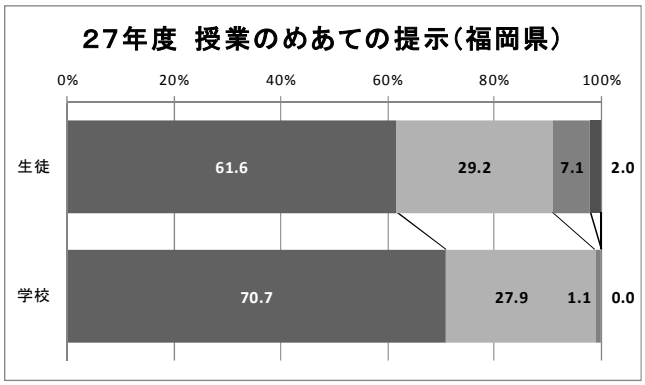
あてはまる	どちらかといえば	あまり	全く

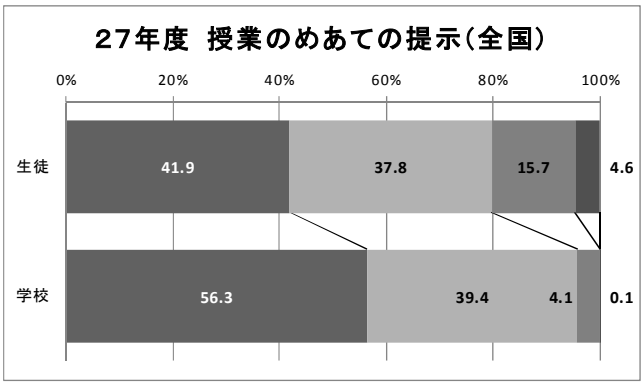
生徒質問紙	５３	１、２年生のときに受けた授業では、授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。
学校質問紙	３６	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか。





＜参考　２７年度調査結果＞



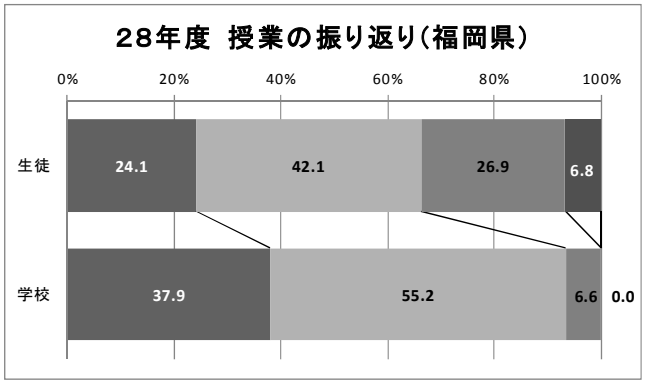


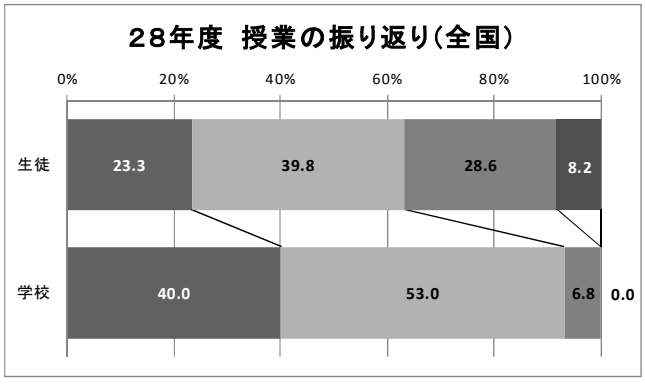
○　「授業のめあてが示されていたか」という問いに対し、肯定的な回答をした生徒の割合は、学校が回答した割合よりも9.0ポイント低い。

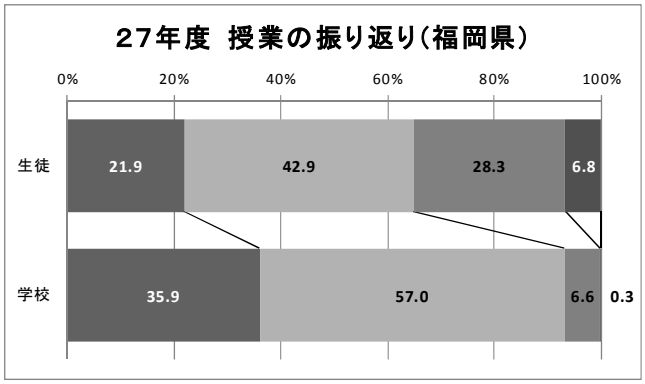
○　全国との比較では、肯定的な回答をした割合は、生徒は5.8ポイント、学校は1.9ポイント高い。

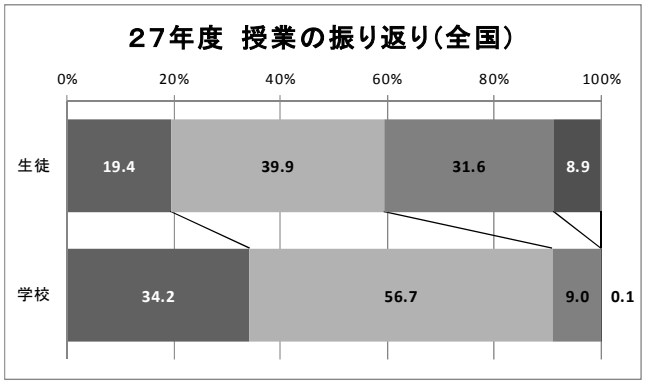
○　平成２７年度との比較では、肯定的な回答をした割合は、生徒は0.1ポイント減少し、学校は1.1ポイント増加している。

生徒質問紙	５４	１、２年生のときに受けた授業では、授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。
学校質問紙	３７	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか。





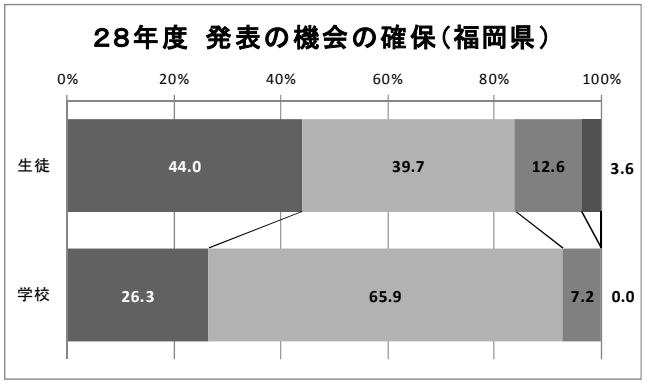


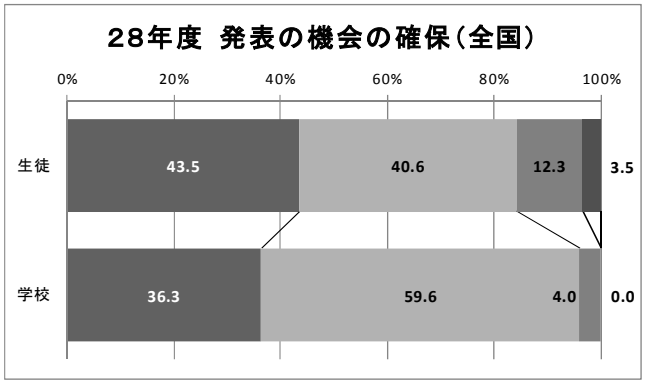


＜参考　２７年度調査結果＞

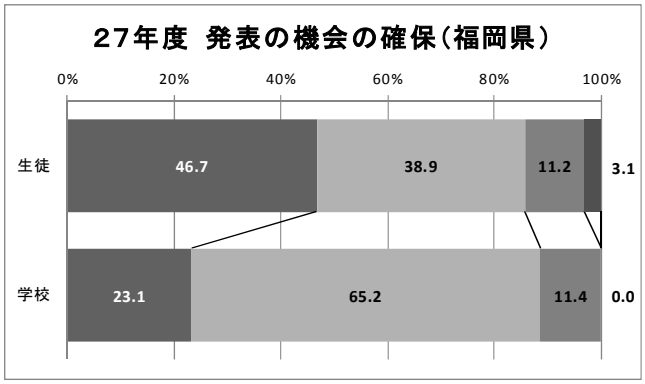
○　「授業の振り返りが行われていたか」という問いに対し、肯定的な回答をした生徒の割合は、学校が回答した割合よりも 26.9 ポイント低い。
○　全国との比較では、肯定的な回答をした割合は、生徒は 3.1 ポイント、学校は 0.1 ポイント高い。
○　平成２７年度との比較では、肯定的な回答をした割合は、生徒は 1.4 ポイント、学校は 0.2 ポイント増加している。

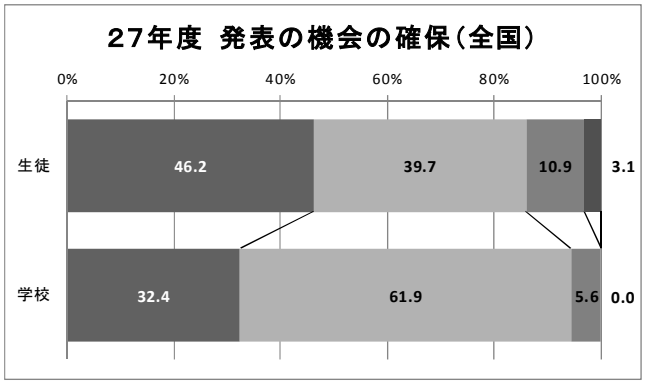
生徒質問紙	４８	１、２年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。
学校質問紙	４０	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか。





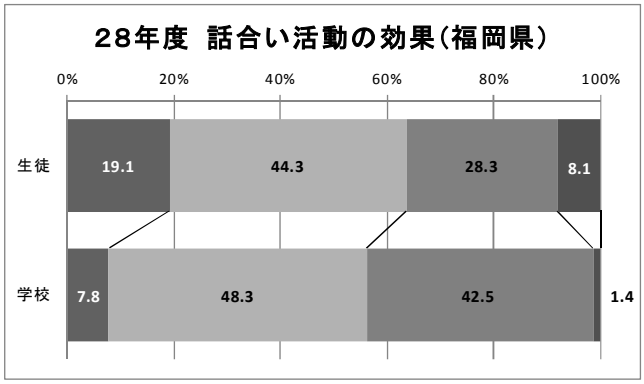
＜参考　２７年度調査結果＞

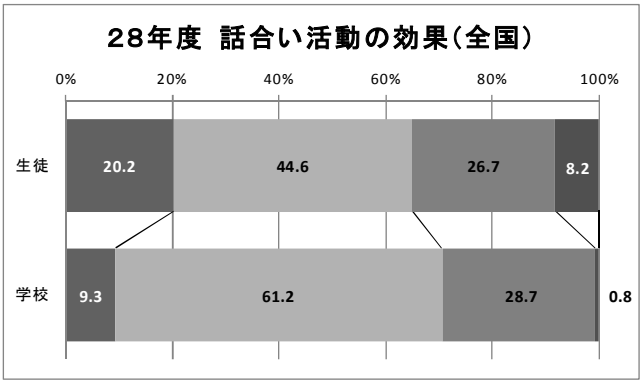




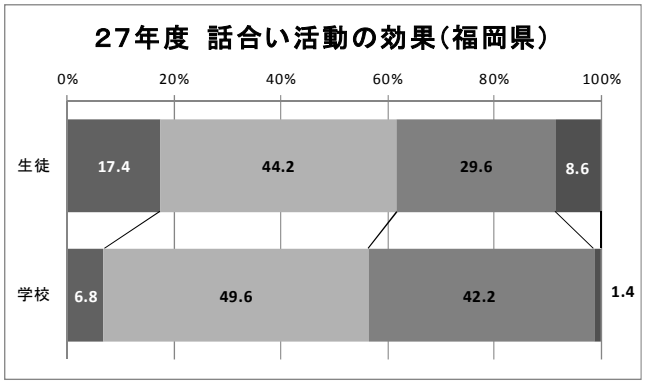
○　「発表の機会が与えられていたか」という問いに対し、肯定的な回答をした生徒の割合は、学校が回答した割合よりも 8.5 ポイント低い。
○　全国との比較では、肯定的な回答をした割合は、生徒は 0.4 ポイント、学校は 3.7 ポイント低い。
○　平成２７年度との比較では、肯定的な回答をした割合は、生徒は 1.9 ポイント減少し、学校は 3.9 ポイント増加している。

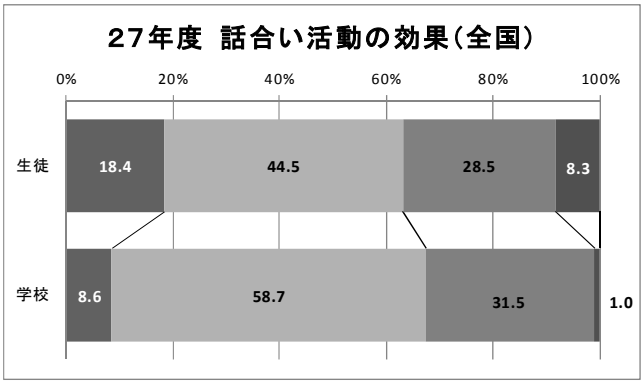
生徒質問紙	５９	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。
学校質問紙	１９	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。





＜参考　２７年度調査結果＞





○　「自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか」という問いに対し、肯定的な回答をした生徒の割合は、学校が回答した割合よりも 7.3 ポイント高い。

○　全国との比較では、肯定的な回答をした割合は、生徒は 1.4 ポイント、学校は 14.4 ポイント低い。

○　平成２７年度との比較では、肯定的な回答をした割合は、生徒は 1.8 ポイント増加し、学校は 0.3 ポイント減少している。

Ⅶ　まとめと今後の取組

１　分析結果の総括

■　教科に関する調査について

(1) 教科の平均正答率について

教科の平均正答率については、小学校国語Ｂは全国の平均正答率と等しく、小学校算数Ａ、算数Ｂは全国平均を上回った。中学校は、全ての教科区分で全国の平均正答率を下回った。しかし、平成２７年度と比較して、全ての教科区分で上昇した。

(2) 地区別の平均正答率の最大・最小の差について

地区別の平均正答率の最大・最小の差は、平成１９年度と比較して、全ての教科区分で小学校、中学校ともに縮まった。

(3) 無解答なしの児童生徒の状況について

無解答がない児童生徒の割合は、平成２７年度と比較して、小学校、中学校ともに減少した。小学校においては、国語ではＢ問題、算数ではＡ問題の方が無解答がない児童の割合が高い。また、中学校においては、国語、数学ともにＡ問題の方が無解答がない生徒の割合が高い。

■　市町村別の状況について

(1) 「市町村別の平均正答率の状況」について

市町村内の学校数が１小学校又は１中学校である場合は当該学校を公表対象外としており、これを除く小学校５６市町村、中学校４４市町村から結果公表の同意を得た。（詳細については１２ページ以降を参照）

県内６０市町村の概況は、次のとおりである。

○　正答率が全国平均を上回っている教科区分ごとの市町村数

（小学校）国語Ａ　２２　　国語Ｂ　２７　　算数Ａ　３７　　算数Ｂ　２８

（中学校）国語Ａ　１８　　国語Ｂ　１８　　数学Ａ　１４　　数学Ｂ　１３

○　小学校の４教科区分全てにおいて全国平均を上回っている市町村数　１８

○　中学校の４教科区分全てにおいて全国平均を上回っている市町村数　１１

○　小学校・中学校の合計８教科区分全てにおいて全国平均を上回っている市町村数　７

(2) 「取組の成果が見られる市町村及び学校」における主な取組の内容について

以下のような市町村及び学校の取組が成果に繋がっている。

【学力基盤づくり】

・　学習規律や学校のきまり等に係る指導事項を市町村内で統一し、指導の徹底を図っている。

・　集団づくり等に関する調査等の結果を基に学級集団や個別の課題を分析し、改善策の実施、検証・改善を行うことで児童生徒の好ましい人間関係づくりに努めている。

【授業づくり】

・　全国学力・学習状況調査等の結果から、自校の児童生徒が身に付けるべき学力を明らかにし、全校で調査問題を活用した授業づくりに取り組んだり、学習内容を振り返って書く活動を授業の最後に位置付けるなど、中学校区等で共通した「授業づくりの視点」に基づいた授業づくりを行ったりしている。

【教員の意識・指導力の向上】

・　全国学力・学習状況調査等の結果を基に児童生徒の学力に係る課題を明確にし、校長会等において課題に応じた取組を共通理解するとともに、各学校における授業改善等に生かしている。

・　中学校区等で定期的に小中合同研修会を開き、授業公開や協議会等を実施し、学力向上に向けた９年間を見通した授業改善の取組等についての研修を行うことで指導力の向上を図っている。

【家庭・関係機関との連携】

・　小中間で共通理解のもと「家庭学習の手引」等を作成・配布し、家庭学習週間等を設定して一斉に取り組むことで家庭学習の定着・充実を図っている。

・　放課後、土曜日、長期休業中において、地域人材等を活用した習熟度別指導、補充学習、個別指導等により、学力低位の児童生徒に対する学習サポートを行っている。

■　児童生徒質問紙、学校質問紙について

(1) 児童生徒質問紙に関する調査結果について（平成２７年度との比較による）

【学力基盤づくり】

○　「学校に行くのは楽しいと思いますか」について、肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校、中学校ともに減少している。

○　「将来の夢や目標を持っていますか」について、肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校、中学校ともに減少している。

○　「自分には、よいところがあると思いますか」について、肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校は減少し、中学校は増加している。

○　「学校のきまり（規則）を守っていますか」について、肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校、中学校ともに増加している。

【授業づくり】

○　「授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか」について、肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校、中学校ともに増加している。

○　「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」について、肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校は減少し、中学校は増加している。

【家庭・関係機関との連携】

○　「学校の授業時間以外に、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」について、平日に家庭学習を小学校１時間以上、中学校２時間以上する児童生徒の割合は、小学校は変化がなく、中学校は減少している。

○　「１日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか」について、１時間以上していると回答している児童生徒の割合は、小学校、中学校ともに増加している。

(2) 学校質問紙調査に関する調査結果について（平成２７年度との比較による）

【授業づくり】

○　「国語の指導として、前年度までに補充的な学習の指導を行いましたか」について、肯定的な回答をした学校の割合は、小学校、中学校ともに増加している。

○　「算数（数学）の指導として、前年度までに補充的な学習の指導を行いましたか」について、肯定的な回答をした学校の割合は、小学校、中学校ともに増加している。

【教員の意識・指導力の向上】

○　「全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか」について、「よく行った」と回答した学校の割合は、小学校、中学校ともに増加している。

○　「学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか」について、「よく行った」と回答した学校の割合は、小学校は増加し、中学校は減少している。

(3) 児童生徒質問紙と学校質問紙の調査結果の対比（児童生徒と教師間の認識の差）について

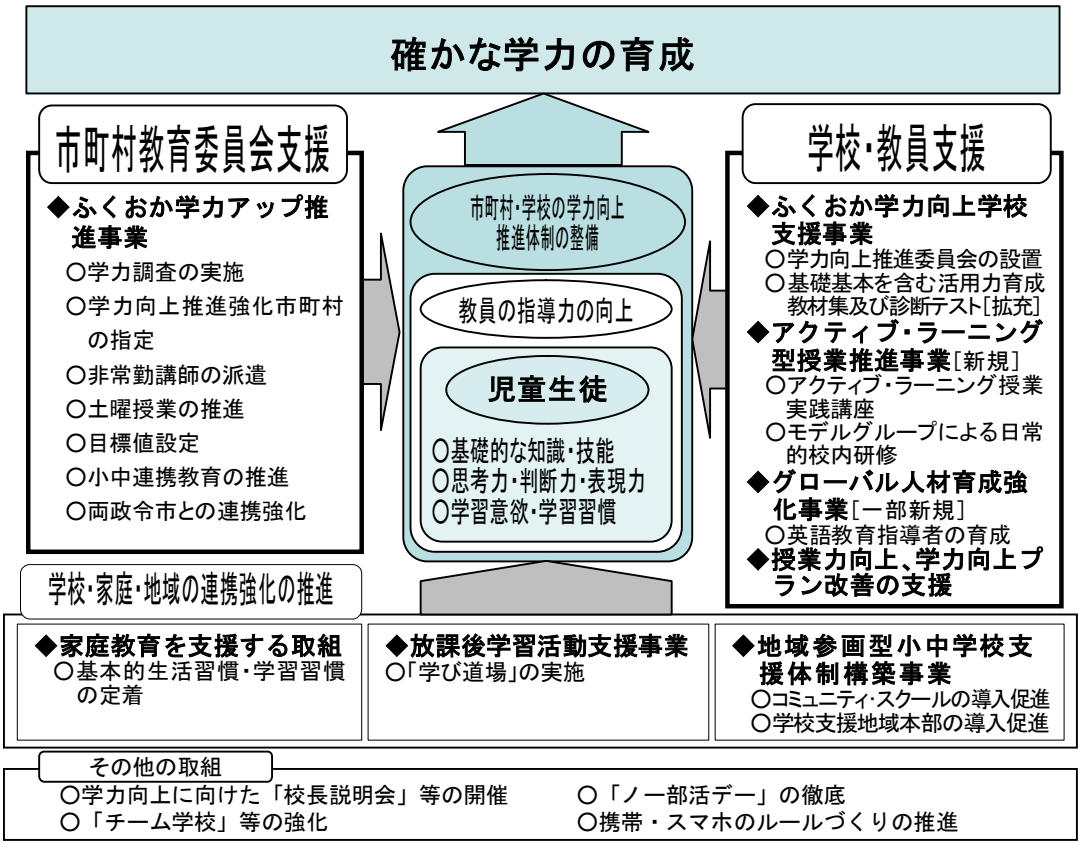
○　「授業のめあての提示」、「授業の最後に学習内容を振り返る活動」の項目において、肯定的な回答をした児童生徒の割合と学校の割合とを比較すると、小学校、中学校ともに、児童生徒の割合が低い。特に「授業の最後に学習内容を振り返る活動」については、学校の割合と比較して、児童生徒の割合が、小学校で 19.0 ポイント、中学校で 26.9 ポイント低く、「何を、どのように、学んだのか」といった学習内容の振り返りや次の学習への見通しを持つ活動等に対する意識が、児童生徒に伝わっていないことが課題である。

○　「発表する機会」、「話し合う活動」の項目において、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合と学校の割合とを比較すると、小学校、中学校ともに、児童生徒の方が割合が高く、発表や話合いが授業の中で行われ、自分の考えを深めたり広げたりしている意識は、児童生徒の方が高いことが分かる。

2　改善に向けた今後の取組

■　これまでの取組

県教育委員会では、これまでの全国学力・学習状況調査等の結果を踏まえ、「学力向上総合推進事業」を展開している。この事業は、「市町村教育委員会支援」「学校・教員支援」「学校・家庭・地域の連携強化の推進」を３つの柱としており、以下に示す施策を県、市町村、学校が一体となって総合的に推進することにより、本県児童生徒の確かな学力の育成を図っている。



学力向上総合推進事業の全体像

(1) ふくおか学力アップ推進事業

平成２０年度から８年間実施してきた「ふくおか学力アップ推進事業」の内容を充実させて実施している。

①　学力調査の実施

次のア・イの調査を通じて、各市町村教育委員会と各学校が、教育及び教育施策の成果と課題を把握し、全ての教科の基盤となる国語、算数・数学の検証改善サイクルを確立する。

ア　全国学力・学習状況調査（小６－国語、算数、中３－国語、数学）

イ　福岡県学力調査（小５－国語、算数、中２－国語、数学）

②　学力向上推進強化市町村の指定

学力向上に向けて特に支援が必要と認められる市町村を学力向上推進強化市町村（以下「強化市町村」という。）として３年間指定し、次に掲げる支援を行う。

ア　教育事務所の指導主事等の学力向上支援チームによる学力向上施策や学校への指導内容・方法、学力分析の方法、授業改善の具体的方法等についての指導助言

イ　強化市町村が行う教員の指導力向上の研修、家庭学習推進の取組、放課後や長期休業中の補充学習等に対する経費の補助

③　非常勤講師の派遣

強化市町村に対し、非常勤講師を派遣し、国語、算数・数学を基本とした少人数指導や習熟度別指導等及び担任等と共同した学習指導等を行う。

④　土曜授業の推進

土曜日及び長期休業中に保護者、地域住民等の人材を活用した授業等を行う市町村教育委員会の取組を支援するため、当該授業等に係る経費の一部を補助する。

⑤　目標値設定

全国学力・学習状況調査及び福岡県学力調査を基に、学校別及び市町村別、地区別目標値の設定状況及び目標値に基づく学力向上等の取組状況を確認する。

⑥　小中連携教育の推進

次のア・イの取組を通じて、小中連携教育を推進する。

ア　市町村教育委員会及び学校における小中学校間の教員による授業交流を促進

イ　福岡県重点課題研究指定・委嘱校の取組の成果を積極的に活用し、市町村教育委員会及び学校における小中学校教員の合同研修会の実施を促進

⑦　両政令市との連携強化

両政令市の学力向上の取組の成果と課題を共有するとともに、「基礎基本を含む活用力を育成する教材集」、指導資料の相互活用等の共通実践を進める。

⑵ ふくおか学力向上学校支援事業

平成２５年度から実施している「小中学校学力向上推進事業」については、その内容を一部再構成し、本年度から「ふくおか学力向上学校支援事業」として実施している。

①　各地区学力向上推進委員会

６教育事務所それぞれの管内において、学校及び市町村の学力向上の取組状況を具体的に把握し、課題に応じた改善の取組を地区内で統一的に推進する。

②　基礎基本を含む活用力を育成する教材集

「基礎基本を含む活用力を育成する教材集」を授業等で活用し、基礎基本を含む活用力の向上を図る。

ア　対象

小学校第４・５・６学年全児童及び中学校全学年全生徒

イ　教科

国語、算数・数学

ウ　内容と構成

・　基礎的・基本的な知識・技能を活用する力を育成する教材

・　基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る教材

エ　活用方法

授業や家庭学習等で繰り返し活用する。

③　基礎基本を含む活用力診断テスト

診断テストを定期的に実施することにより、児童生徒のつまずきや課題を短いスパンで定期的に明らかにし、習熟度別指導等の個に応じた指導が実施されるよう啓発を行う。

ア　対象

小学校第４・５・６学年全児童及び中学校全学年全生徒

イ　教科

国語、算数・数学

ウ　内容

基礎的・基本的な内容や思考力・判断力・表現力の育成状況を診断する問題

エ　実施回数

小学校…年間２回、中学校…年間２回

⑶ アクティブ・ラーニング型授業推進事業

アクティブ・ラーニング授業実践講座は、国語、算数・数学及び理科において、課題の発見と解決に向けて主体的・対話的で深い学び（いわゆる「アクティブ・ラーニング」）に関する公開授業、授業検討会等を通して、小・中学校教員の教科の本質を踏まえた実践的指導力の向上を図ることを目的として、義務教育課が主管する「附属学校講座」及び各教育事務所が主管する「各地区講座」で構成し実施している。

⑷ 家庭教育を支援する取組

○　基本的生活習慣・学習習慣の定着

家庭での実践と保護者等への啓発を行う。また、県ＰＴＡ連合会と連携した取組を行う。

(5) 放課後学習活動支援事業

○ 学び道場の実施

放課後等に地域の協力を得ながら補充学習等の学習活動を行う「学び道場」の実施に対する支援を行う。

(6) 地域参画型小中学校支援体制構築事業

① コミュニティ・スクールの導入促進

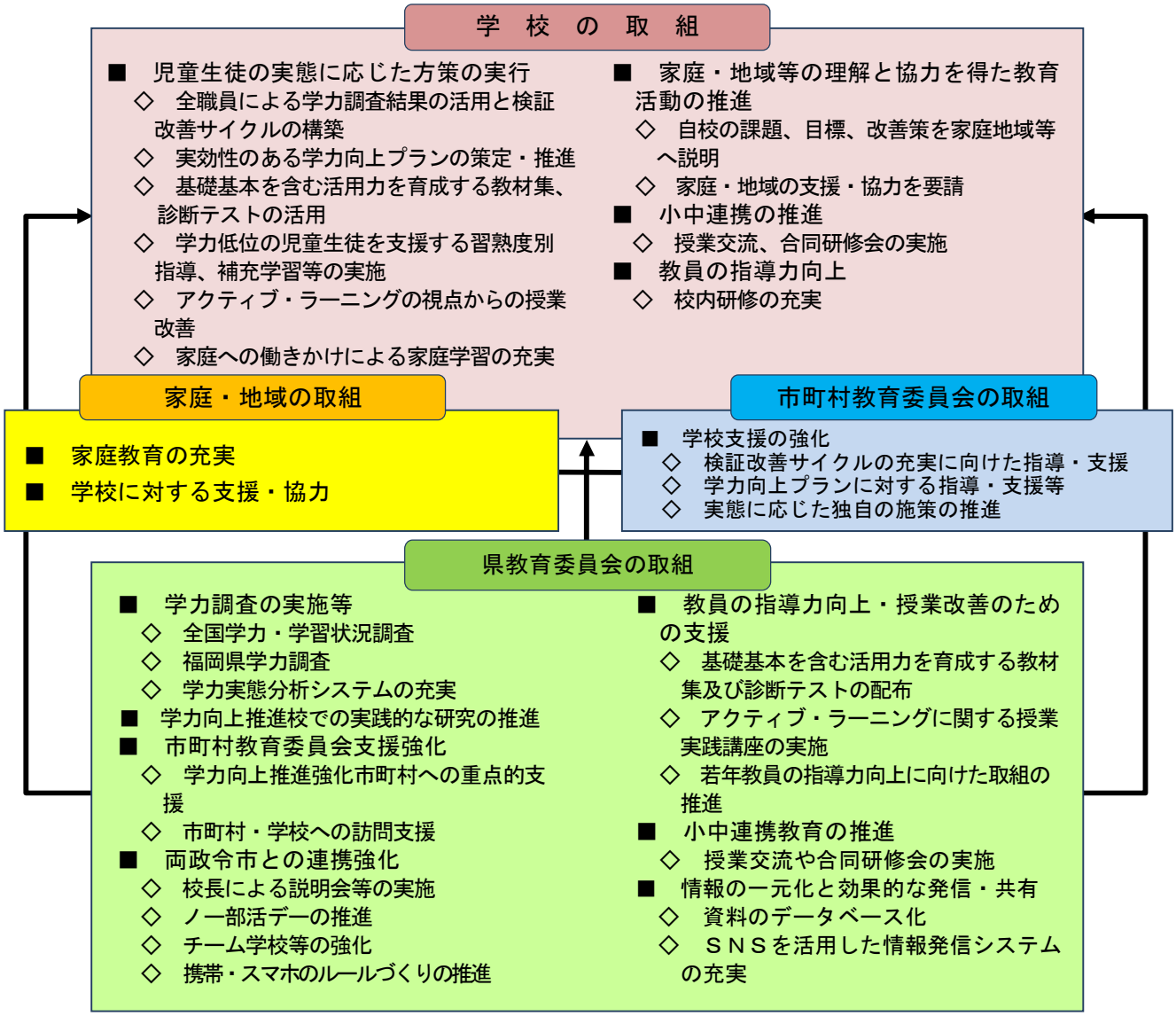
検討委員会の設置や先進事例の視察等に対する支援を行う。

② 学校支援地域本部の導入促進

学校支援コーディネーターの配置経費等に対する支援を行う。

■ 今後の改善の視点

○ 「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」という視点からカリキュラム・マネジメントの実現を図るとともに、児童生徒の学力実態や課題、改善の方策等を学校全体で共有して実施し、評価して改善を図る実効性の高いＰＤＣＡサイクルを確立する。
○ 授業では、児童生徒が主体的・対話的で深い学びを実現できるようにアクティブ・ラーニングの視点から授業改善に取り組むとともに、自分の学びを振り返る活動を確実に位置付け、評価を行う。
○ 学力向上に向けた環境構築のため、学校と地域・保護者が一体となって協働する体制づくりを行う。
○ 県教育委員会は、教育研究の充実と人材育成の観点から、市町村教育委員会及び学校の取組についてフォローアップを行う。

■ 今後の取組

今後の改善の視点を踏まえて関係者との連携を一層強化しながら取組の徹底を図り、全県で取り組む。